

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

大谷貝塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書2

上巻

平成21年3月

茨城県竜ヶ崎土木事務所
財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

おお や かい づか
大 谷 貝 塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書2

上 巻

平成21年3月

茨城県竜ヶ崎土木事務所
財団法人茨城県教育財団

序

茨城県では、21世紀の社会を展望し、県全域にわたる調和のとれた発展を図るために、県内の交通体系の整備を積極的に進めています。

このような中、茨城県竜ヶ崎土木事務所は、千葉県から茨城県、そして埼玉県へと伸びる広域な幹線道路であり、産業や経済活動を支える動脈として極めて重要な役割を果たしている国道125号線について、近年市街地区域で発生している交通渋滞の解消と、周辺環境の向上等を目的に、大谷バイパスの建設が計画されました。

しかしながら、この事業予定地内には埋蔵文化財包蔵地である大谷貝塚が所在することから、これを記録保存の方法により保護する必要があるため、当財団が茨城県竜ヶ崎土木事務所から委託を受け、平成18年4月から平成19年12月までの1年9か月間にわたって、埋蔵文化財の発掘調査を実施しました。

本書は、その成果を収録したものです。学術的な研究資料としてはもちろんのこと、郷土の歴史に対する理解を深めるために活用されることによりまして、教育・文化の向上の一助となれば幸いです。

最後になりますが、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、委託者であります茨城県竜ヶ崎土木事務所から多大な御協力を賜りましたことに対し、厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、美浦村教育委員会をはじめ、関係各位からいただいた御指導、御協力に対しまして深く感謝申し上げます。

平成21年3月

財団法人茨城県教育財団
理事長 稲葉節生

例 言

1 本書は、茨城県竜ヶ崎土木事務所の委託により、財団法人茨城県教育財団が平成18年度及び平成19年度に発掘調査を実施した、茨城県稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在する大谷貝塚^{おおやかいづか}の発掘調査報告書である。

2 発掘調査期間及び整理期間は、以下のとおりである。

調査 平成18年4月1日～平成19年3月31日，平成19年4月1日～12月31日

整理 平成19年6月1日～平成20年3月31日，平成20年4月1日～平成21年3月31日

3 発掘調査は、平成18年度が調査課長川井正一，平成19年度が調査課長瓦吹堅のもと、以下の者が担当した。

平成18年度

首席調査員兼班長 川又 清明

主任調査員 駒澤 悦郎

調査員 越川 欣和

平成19年度

首席調査員兼班長 藤田 哲也

主任調査員 駒澤 悦郎 平成19年4月1日～5月31日

主任調査員 奥沢 哲也

主任調査員 小室 弘毅

4 整理及び本書の作成は、整理課長村上和彦のもと、執筆は主任調査員駒澤悦郎，編集は首席調査員兼班長成島一也，主任調査員駒澤悦郎，調査員作山智彦が担当した。

5 出土遺物のうち、人骨，動物遺存体，貝類遺存体，魚類遺存体の鑑定及び分析に当たっては、次の各氏に依頼し，その結果を付章として掲載した。

人 骨.....明治大学・NPO法人スケルトン研究機構 谷畑 美帆氏

人骨年代測定.....東京大学総合研究博物館 吉田 邦夫氏

動物遺存体.....早稲田大学 金子 浩昌氏

貝類遺存体.....千葉県立中央博物館 黒住 耐二氏

魚類・貝類・動物遺存体.....早稲田大学 樋泉 岳二氏

6 発掘調査から報告書作成に至るまで、茨城県竜ヶ崎土木事務所，茨城県教育庁文化課，美浦村教育委員会，明治大学学術フロンティア，西野雅人氏，上守秀明氏，村田六郎太氏の御指導，御協力を得た。

凡 例

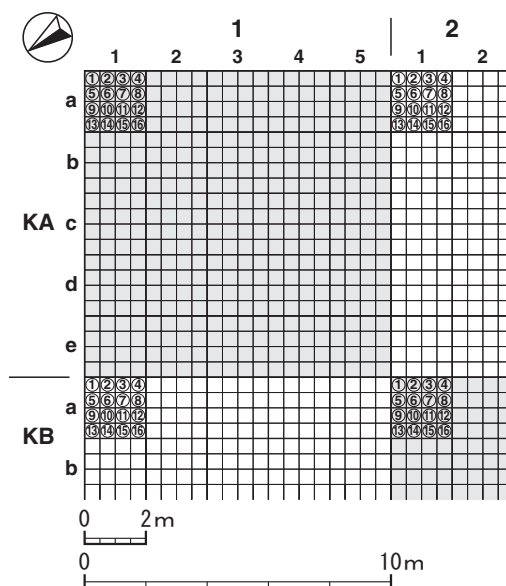
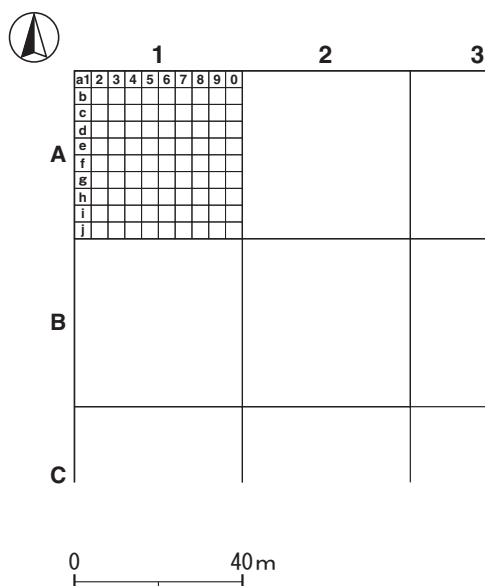
1 地区設定については、次の通りである。

(1) 台地部の地区設定は、日本平面直角座標第Ⅷ系座標に準拠し、X軸 = +240m、Y軸 = +43,200mの交点を基準点 (A 1 a1) とした。なお、この原点は、世界測地系による基準点である。地区設定にあたっては事業予定地内の遺跡全体を包括できるようにした。調査区は、この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北40m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々10等分し、4 m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA、B、C...、西から東へ1、2、3...とし、「A 1区」、「B 2区」のように呼称した。さらに、小調査区は、北から南へa、b、c... j、西から東へ1、2、3... 0とし、名称は大調査区の名称を冠して「A 1 a1区」、「B 2 b2区」のように呼称した。

(2) 斜面貝塚の地区設定は、その範囲と地形の傾斜に合わせて任意の調査区を設定した。調査区は、10m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を各々5等分して、2 m四方の中調査区を設定した。さらに、この中調査区内を各々16等分して、0.5m四方の小調査区を設定した。

調査区の名称は、台地部の調査区と区別するために、貝層を示す「K」を付した。大調査区は、アルファベットと算用数字を用い、斜面高位から低位へA、B、C、その直交方向の左から右へ1、2、3、4とし、「KA 1区」、「KB 2区」のように呼称した。中調査区は、斜面高位から低位へa、b、c、d、e、その直交方向の左から右へ1、2、3、4、5とし、名称は大調査区の名称を冠して「KA 1 a1区」、「KB 2 b2区」のように呼称した。さらに、中調査区内の0.5m四方の小調査区については、斜面高位左上から斜面低位右下へ①~⑯までに分割し、「KA 1 a1①区」、「KB 2 b2④区」のように呼称した。



2 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次の通りである。

遺構 SI - 住居跡 ST - 建物跡 SK - 土坑 SD - 溝跡 SF - 道路跡 FP - 炉穴
F - 炉跡 P - ピット

遺物 TP - 拓本で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器 DP - 土製品
Q - 石器・石製品 B - 骨角歯牙製品 S - 貝製品 M - 金属製品
BA(獣)・BB(鳥)・BH(人) - 骨角歯牙


数字のみは、実測で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器である。


土層 K - 攪乱


3 遺構・遺物の実測図の作成方法については、次のとおりである。

- (1) 遺跡全体図は縮尺400分の1，遺構実測図は原則として60分の1で掲載した。
- (2) 遺物実測図は原則として3分の1で掲載した。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。
- (3) 遺構及び遺物の実測図中の表示は次のとおりである。なお、区別・分類を図示する場合は、図中に表示した。

 焼土・赤彩・研磨痕・施釉

 炉・火床面・繊維土器断面

 竈部材・粘土範囲・炭化物範囲・黒色処理

 油煙・煤・硬化面

土器 土製品 石器・石製品 骨角歯牙製品 貝製品 金属製品
----- 硬化面範囲

4 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）を使用した。

5 遺構一覧表・遺物観察表の表記については、次のとおりである。

- (1) 計測値の単位は、m・cm，kg・gである。なお、現存値は（ ）で、推定値は[]を付して示した。
- (2) 備考の欄は、残存率や写真図版番号など、その他必要と思われる事項を記した。
- (3) 遺物番号については、実測で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器，拓本で記録した土器・土師器・須恵器・陶器・磁器，土製品，石器・石製品，骨角歯牙製品，貝製品，金属製品ごとに通し番号とし，本文・挿図・写真図版に記した番号も同一である。
- (4) 文字資料のうち、焼成前に線刻されたものを「範書」，焼成後に線刻されたものを「刻書」と分けて記述した。

6 竪穴住居跡の主軸は、炉あるいは竈を通る軸線あるいは南北の柱穴を結ぶ軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸（径）方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で示した（例N - 10° - E）。

目 次

- 上 卷 -

序	
例言	
凡例	
目次	
概要	
第1章 調査経緯	5
第1節 調査に至る経緯	5
第2節 調査経過	5
第2章 位置と環境	7
第1節 地理的環境	7
第2節 歴史的環境	7
第3章 調査の成果	12
第1節 調査の概要	12
第2節 基本層序	12
第3節 遺構と遺物	15
1 縄文時代の遺構と遺物	15
(1) 竪穴住居跡	15
(2) 炉跡	30
(3) 炉穴	31
(4) 土坑	32
(5) 斜面貝層	164
(6) 土坑墓	422

- 下 卷 -

2 弥生時代の遺構と遺物	425
(1) 竪穴住居跡	425
(2) 土坑	448
3 古墳時代の遺構と遺物	450
(1) 竪穴住居跡	450
(2) 古墳	479
(3) 土坑	486
4 平安時代の遺構と遺物	490
(1) 竪穴住居跡	490
(2) 竪穴建物跡	494
(3) 火葬墓	507
(4) 土坑	508
(5) 周溝跡	512
(6) 溝跡	514
5 中世・近世の遺構と遺物	516
(1) 土坑墓	516
(2) 周溝跡	517
(3) 塚	519
(4) 溝跡	521
(5) 道路跡	528
6 その他の遺構と遺物	532
(1) 土坑	532
(2) 遺構外出土遺物	539
第4節 まとめ	562
付 章	
1 大谷貝塚出土の縄文時代前期人骨について	571
2 大谷貝塚出土の縄文時代人骨の自然科学分析について	576
3 大谷貝塚の土壌サンプルから得られた貝類遺体(予報)	578
4 大谷貝塚の貝層サンプルから得られた動物遺体	591

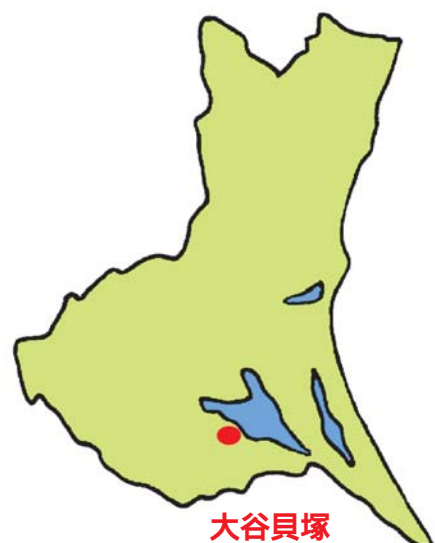
写真図版
抄録

【調査のあらまし】



大谷貝塚は、美浦村のほぼ中央を流れる高橋川左岸の標高19～25mの斜面と台地上にあります。今回の発掘調査は、平成18年4月から平成19年3月、平成19年4月から12月までの2回にわたって、一般国道125号大谷バイパス建設に先だつて実施しました。村域には、縄文時代の貝塚が数多く残されており、国指定史跡の陸平貝塚をはじめとして、興津貝塚などの著名な貝塚も点在しています。調査の結果、大谷貝塚も縄文時代を中心とした過去の人々の生活の舞台であったことが明らかになりました。

台地部からは縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代の住居跡、縄文時代の土坑、古墳時代の方墳、平安時代の溝、中世・近世の塚や溝、道路の跡などを確認しました。また、斜面の小さな谷からは、縄文時代前期（今から5,500年前）と中期（今から4,500年前）の貝塚が発見されました。



【調査の内容】



貝塚は、南北約22m、東西約24mの範囲に形成されていました。中央部の厚さは約1.5mで、時期は前期中頃と中期終わり頃です。

また、貝塚の基底部の黒色土の中からは、さらに古い早期や前期初め頃（今から9,000～7,000年前）の土器片も出土しました。



貝塚は、斜面の小さな谷を埋めつくしていました。土層や貝層がどのように形成していったか調べるために、一辺2mの正方形の範囲を互い違いに掘り下げていきました。



貝塚からは、ハイガイ・アサリ・ハマグリ・シオフキ・オキシジミ・アカニシ・カガミガイ・マガキなどの貝が出土しました。時期により貝の種類が異なっていました。



膨大な量の縄文土器片に混じって、割れた土器を網のおもりに再利用した土器片錘などもたくさん出土しました。ほとんどの土器片は貝が混じった土層から出土しました。



縄文時代前期の貝層を掘り込んで、脚を抱えた姿勢で葬られたと考えられる人骨が出土しました。大人の男性で、当時の人がどのように埋葬されたのかがよく分かります。



シカやイノシシの骨や角を加工した刺突具やツキノワグマ、オオカミ、イノシシ、イルカ、アオザメなどの歯牙を加工した垂飾りなどが出土しました。



縄文時代中期の集落は、台地の全体に広がっていました。貝塚が形成された時期の住居跡と、円筒形の土坑を確認しました。竪穴住居の中央部に石囲い炉が作られていました。



一辺約30mの方墳が台地の中央部に造られていました。周溝が長方形に巡っています。造られた時代は古墳時代後期（今から約1,400年前）と考えられます。



方墳には遺骸を安置するための石室が2か所に設けられていました。遺骸や副葬品は発見できませんでしたが、周溝の底面から石室で使われた石材が数多く出土しました。



古墳時代中期（今から約1,500年前）の竪穴住居の竈は、壁を掘り込まずに作られていました。これは竈が取り入れられた初期の形態で、土師器の高杯を支脚に利用していました。



平安時代（今から約1,000年前）の竪穴住居は、簡素な竈や炉を持っていました。床から土師器の小皿や高台付坏が出土しました。竈は雲母片岩の板石で作られていました。

【調査で分ったこと】

当貝塚で最初の貝が捨てられた時期は、縄文海進と呼ばれる地球の温暖化による海面の上昇で、内陸にも海水が侵入し、霞ヶ浦周辺地域に広大な内海が形成された縄文時代前期中頃です。これは、内海の形成と時を同じくして、貝塚もつくられ始め、縄文人と海の密接な関わりが始まったことを物語っています。調査の結果、貝が捨てられたピークは、縄文時代中期終わり頃になります。

貝塚からは、膨大な縄文土器をはじめ、スプーン形土製品やミニチュア土器、打製石斧、磨製石斧、石皿、敲石、磨石、土製耳飾り、土器片錘、土器片円盤、貝輪や貝製の装飾品、シカ・イノシシ・タイ・ススギ・ウナギなどの獣骨や魚骨が大量に出土しています。ツキノワグマ・オオカミ・イノシシ・イルカ・アオザメなどの歯牙を加工した垂飾り、シカやイノシシの骨や角を加工した刺突具などもたくさん出土しています。また、埋葬された様子がわかる人骨も出土しています。当時の生業や暮らし、身を飾る風習などに深く関係する遺物がたくさん発見され、貝塚の地点毎に時期や貝層の様子、遺物などに特色があります。貝塚の調査は、当時の漁労を中心に生活を営む人々の様子や、当時の自然環境を復元していく上で、大きな役割を果たすと考えられます。

台地部からは、縄文時代から平安時代の竪穴住居跡をはじめ、古墳時代後期の方墳や平安時代の火葬土坑、近世の土坑墓などの生と死の世界にまつわるさまざまな遺構が発見できました。そして、遺物は、日常生活で使う食器や道具をはじめ、お祭りや漁に使用された多様なものが出土しています。

【難しい用語の説明】

- 貝 塚... 食料とした貝殻などを捨てて、それが堆積した跡。
- 土 坑... 地面を掘りくぼめた穴。
- 方 墳... 古墳の一種で、墳丘の形が方形の墳墓。
- 刺 突 具... モリやヤスなど、刺したり、つついたりする道具で、主に漁で使用する。
- 垂 飾 り... 身を飾る品の一種。石や粘土、動物の骨や角、牙や歯を加工して作られる。
- 炉..... 火をたいて、煮炊きをしたり、暖房や灯りの役割をする施設。
- 周 溝... 古墳の周囲に巡らされた溝。
- 副 葬 品... 古墳に遺骸とともに埋納された鏡や剣、装飾品などで、埋葬された人物の権威や権力を表す。
- 竈..... 火を焚いて煮炊きをするための調理施設。
- 土 師 器... 古墳時代から使用された、野外で焼かれた素焼きの赤い色をした土器。
- 支 脚... 炉や竈にすえて、その上に土器のをせ、火のまわりをよくするための道具。
- 打製石斧... 石を打ち欠いて作られた斧形の道具。
- 磨製石斧... 石を磨いて仕上げられた斧形の道具。
- 石 皿... 種や実などをすりつぶす時に用いた、くぼみをもった道具。
- 敲 石... 食料などをつぶすための道具。
- 磨 石... 種や実などを磨りつぶすための道具。
- 土器片円盤... 割れた土器を再利用した、用途不明の土製品。
- 貝 輪... 貝で作った腕輪。
- 遺 物... 昔の生活で使われた道具。
- 遺 構... 台地を掘り込んだり、台地に残された昔の生活の跡。

第1章 調査経緯

第1節 調査に至る経緯

茨城県竜ヶ崎土木事務所は、首都圏全体の発展と交通の円滑化を図るため、一般国道125号大谷バイパスの建設を進めている。

平成16年7月20日、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長あて、国道125号大谷バイパス建設事業における埋蔵文化財の所在の有無及び取扱いについて照会があった。これを受けて茨城県教育委員会は平成17年7月19日に現地踏査を、平成17年11月30日～12月2日及び12月7日に試掘調査を実施し、遺跡の所在を確認した。平成17年12月22日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県竜ヶ崎土木事務所長あてに、事業地内に大谷貝塚が所在すること及びその取扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

平成18年度

平成18年1月27日、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、文化財保護法第94条に基づく土木工事の通知が提出された。茨城県教育委員会教育長は、現状保存が困難であることから記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、平成18年2月10日、茨城県竜ヶ崎土木事務所長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成18年2月14日、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書が提出された。平成18年2月22日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県竜ヶ崎土木事務所長あてに、大谷貝塚について発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成18年4月1日から平成19年3月31日まで発掘調査を実施した。

平成19年度

平成19年2月22日、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から、茨城県教育委員会教育長に対して、国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施について協議書が提出された。平成19年2月26日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県竜ヶ崎土木事務所長あてに、大谷貝塚について発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、茨城県竜ヶ崎土木事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成19年4月1日から平成19年12月31日まで発掘調査を実施した。

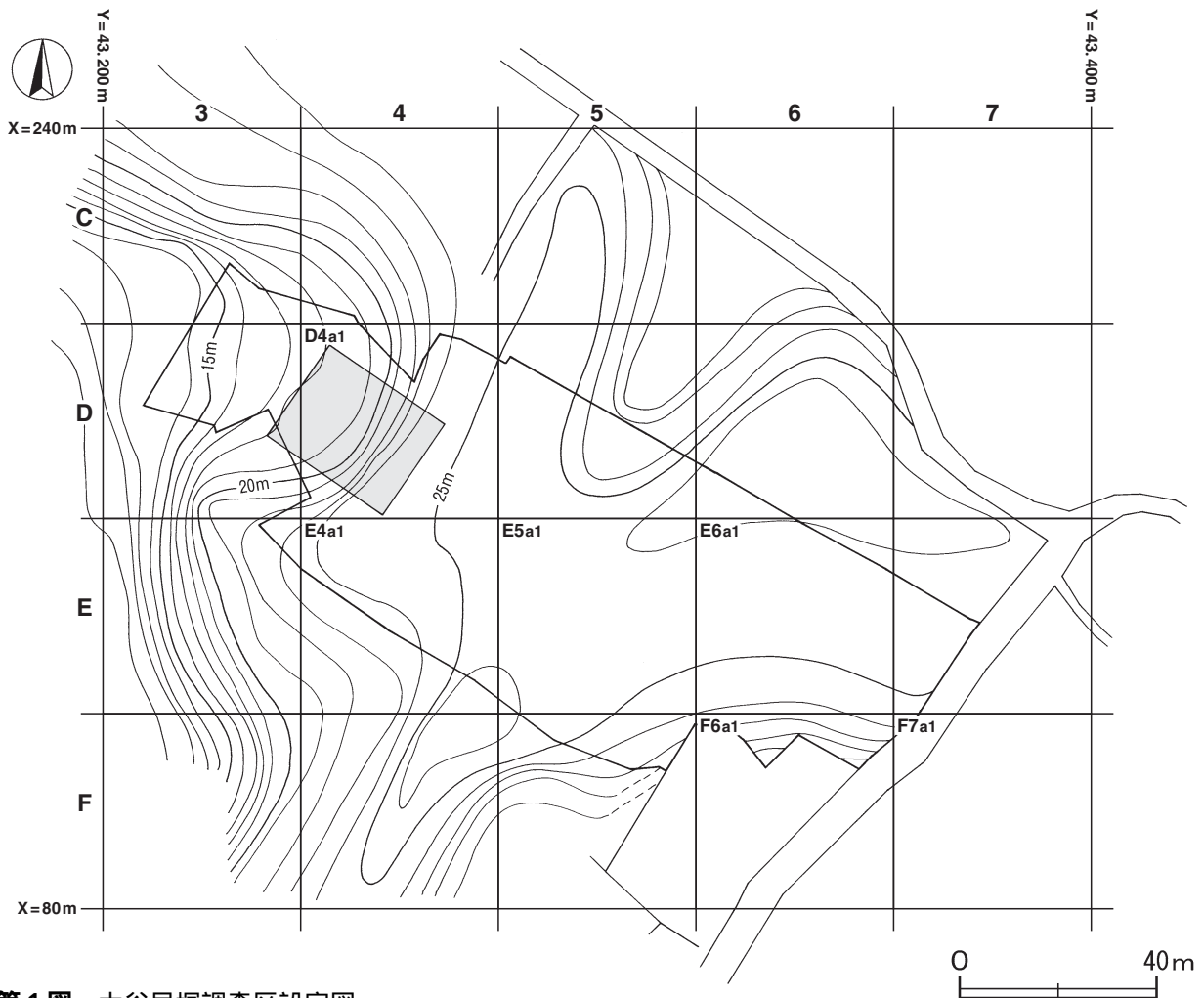
第2節 調査経過

大谷貝塚の調査は、平成18年4月1日から平成19年3月31日、平成19年4月1日から平成19年12月31日まで実施した。以下、その概要を表で記載する。

なお、平成18年度に実施した表土除去は、台地部については重機を使用して慎重に行い、斜面貝塚については、調査前に地形測量を実施し、貝層への影響を考慮して人力による表土除去を行った。

平成十八年度	工程	期間												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	調査準備 表土除去 遺構確認	■												
	遺構調査		■											
	遺物洗浄 写真整理 注写		■											
	補撤 足調 査収												■	

平成十九年度	工程	期間										
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
	調査準備 表土除去 遺構確認	■										
	遺構調査		■									
	遺物洗浄 写真整理 注写		■									
	補撤 足調 査収									■		



第1図 大谷貝塚調査区設定図

第2章 位置と環境

第1節 地理的環境

大谷貝塚は、茨城県の南部、霞ヶ浦南西岸の稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在している。

美浦村は東西約10.2km、南北約5.4kmで、北西に筑波山を、北に霞ヶ浦を望む標高30m以下の比較的低い台地と低地からなっている。台地は筑波・稲敷台地と呼ばれ、千葉県北部から茨城県南部に広がる常総台地の一部を形成している。この台地は数多くの河川によって開析され、樹枝状の入り組んだ複雑な地形を形づくっている。低地は河川流域に発達したものと、霞ヶ浦沿岸の標高1～3mほどの低湿地帯からなっている。主な河川は、阿見町1区北域を水源とし、南東に流れて美浦村舟子で霞ヶ浦に注ぐ清明川と、美浦村興津さんげ池を水源とし、周囲の谷戸地からの湧水を集めて霞ヶ浦に注ぐ高橋川である。これらの河川に沿って発達している沖積低地は、標高10～20mほどで、ほとんどが谷津田となっている。

台地の地質は、下部から第四紀洪積世下総層群下部の地蔵堂層・敷層（15～80万年前）、最終間氷期に形成された古東京湾を埋積した下総層群上部の成田（青灰色シルト）層（12～13万年前）、これを覆う常総層下部の竜ヶ崎層、常総層上部の箱根山の噴火による常総粘土層、その上部には関東ローム層が堆積し、最上部は沖積世沖積層となっている¹⁾。

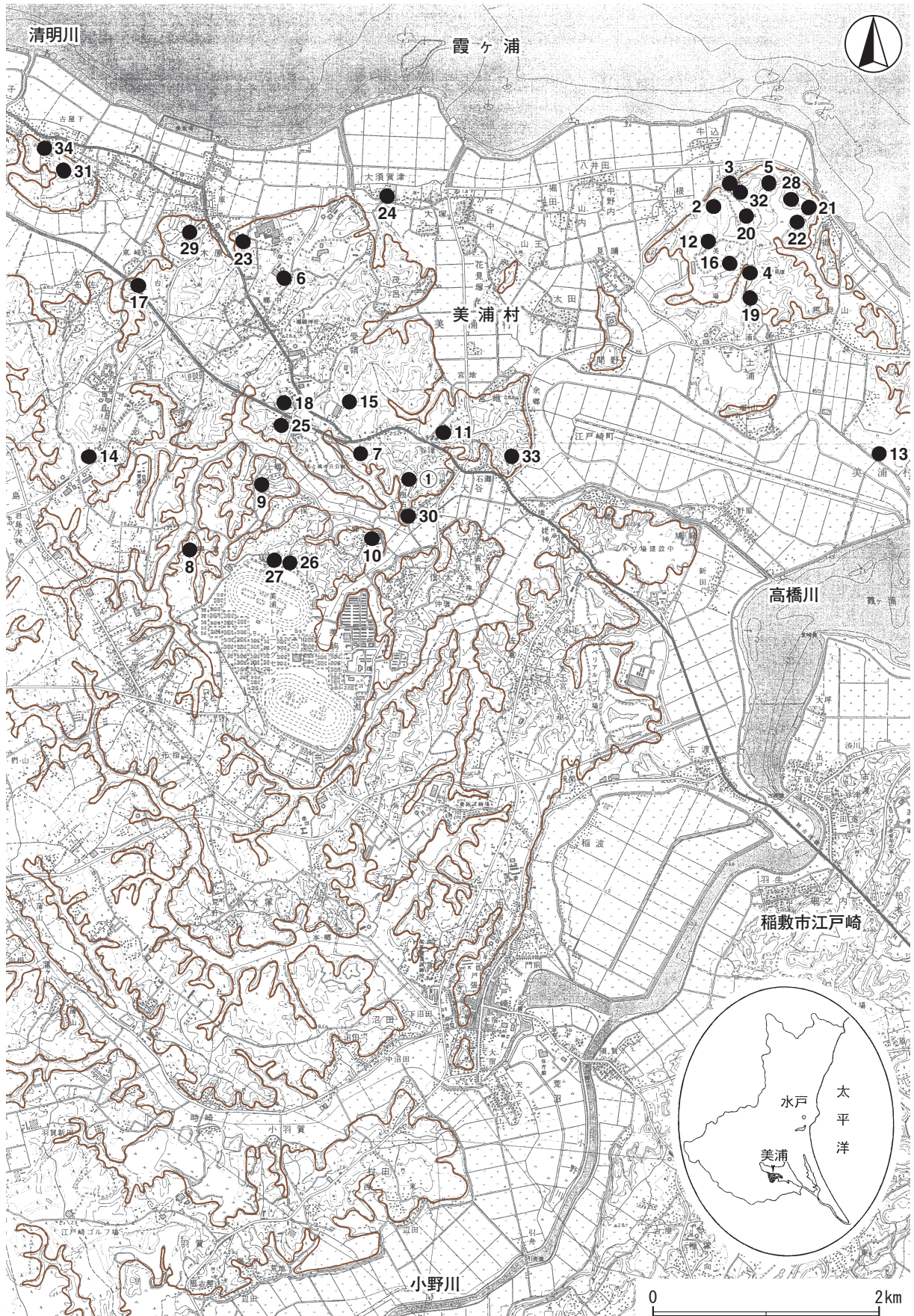
当貝塚は、村域のほぼ中央部、村立大谷小学校から北に約800mの地点に所在し、高橋川左岸の標高20～24mの台地縁辺部から台地上にかけて立地している。この台地は南北約240m、東西約160mで、北側と南側は沖積低地で、西側には南側の沖積低地から分岐した小規模ながら急傾斜の埋没谷が、中央部には南側の沖積低地から分岐した緩傾斜の埋没谷が北に入り込んでいる。その結果、台地は幅の広い馬蹄形を呈し、河川の後背湿地や谷津田に面した高燥の土地となっている。また、台地周辺は、高橋川によって開析された標高10～20mの沖積低地に囲繞され、台地との比高は5～10mである。

第2節 歴史的環境

当貝塚 1 は、縄文時代から近世に至るまで断続的に土地利用された複合遺跡である。霞ヶ浦をはじめ、河川、低地、台地といった変化に富んだ自然環境の美浦村は、水利の便に富み、樹枝状に入り込んだ低地と台地が織りなす複雑な地形により、人々の生活や生業、交通の要所となってきた。それを裏付けるように当貝塚の周辺には、旧石器時代から近世までの遺跡が数多く確認されている。ここでは、当貝塚に関連する遺跡を中心に、時代ごとに概観する²⁾。

旧石器時代の遺跡は、北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地上に数多く存在している。代表的な遺跡としては、陣屋敷遺跡³⁾ 2 と根本遺跡⁴⁾ 3 で小規模な石器集中地点が確認されている。その他、ナイフ形石器文化から有舌尖頭器文化までの各時期の石器群が、当貝塚をはじめ、陸平貝塚⁵⁾ 4、花立遺跡⁶⁾ 5、御茶園遺跡⁷⁾ 6、沢田古墳群⁸⁾ 7、興津白井遺跡⁹⁾ 8 などから出土している。

縄文時代の遺跡と貝塚は、北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地周辺部と、かつて霞ヶ浦の入り江であった余郷入から続く主谷の両岸に数多く点在している。陸平貝塚や陣屋敷遺跡からは、早期の炉穴や地点貝塚が発見されている。前期の貝塚としては、前期後葉の「興津式」土器の標識遺跡である興津貝塚¹⁰⁾ 9 や前期前葉の虚空蔵貝塚¹¹⁾ 10、前期中葉の当貝塚をはじめ、縄文海進時（約5,500年前）には、当時海域であった



第2図 大谷貝塚周辺遺跡位置図

表1 大谷貝塚周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	時代						番号	遺跡名	時代					
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中・近			旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中・近
①	大谷貝塚							18	野中遺跡						
2	陣屋敷遺跡							19	池端遺跡						
3	根本遺跡							20	御霊平遺跡						
4	陸平貝塚							21	天神平Ⅰ遺跡						
5	花立遺跡							22	天神平Ⅱ遺跡						
6	御茶園遺跡							23	木原白幡古墳群						
7	沢田古墳群							24	大塚古墳群						
8	興津白井遺跡							25	庚申古墳						
9	興津貝塚							26	原畑遺跡						
10	虚空蔵貝塚							27	稲荷山遺跡						
11	平木貝塚							28	多古山Ⅱ遺跡						
12	陣屋敷低湿地遺跡							29	木原城跡						
13	法堂遺跡							30	根古屋城跡						
14	常陸笹山遺跡							31	舟子城跡						
15	請領妙山遺跡							32	根本台城跡						
16	宮脇遺跡							33	大谷城跡						
17	下り内遺跡							34	城ノ内遺跡						

霞ヶ浦に浮かぶ島や半島状に突き出た台地の斜面部に、多くの貝塚が形成されたと考えられる。中期の貝塚は、国指定史跡の陸平貝塚、中期初頭の虚空蔵貝塚など、考古学史上において著名な貝塚はあるが、その集落跡については不明な点が多い。後・晩期の貝塚としては、霞ヶ浦に半島状に突き出た台地の斜面部に形成された^{ひら}平木貝塚 11 や陸平貝塚が知られ、また、特定の生業などの痕跡を示す遺跡が、低地の周辺部から確認されている。中でも谷津底から後期の粗製土器が大量に出土した陣屋敷低湿地遺跡^{じんやしきでいしつち} 12 や晩期の製塩遺跡である法堂遺跡^{ほうどう} 13 はその代表である。

弥生時代の遺跡は極めて少ない。余郷入から続く主谷の谷奥部には、常陸笹山遺跡¹⁴⁾ 14 が位置し、中期末葉の竪穴住居跡が発見されている。また、その主谷から派生した支谷を望む沢田古墳群からは、後期前葉の竪穴住居跡3軒が確認されている。北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地上では、陣屋敷遺跡と根本遺跡という谷を一つ隔てただけの隣接した遺跡群で、後期中葉から後葉の竪穴住居跡が、計27軒発見されている。両遺跡は同一地域、同一時期に属しながら、土器の様相が異なる点などから、多くの研究者の注目を集めている¹⁵⁾。

古墳時代の遺跡は、当遺跡をはじめ、興津白井遺跡、請領妙山遺跡¹⁵⁾ 15 などが余郷入から続く主谷の兩岸に位置している。北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地上では、陣屋敷遺跡、根本遺跡、宮脇遺跡¹⁶⁾ 16、下り内遺跡¹⁶⁾ 17、野中遺跡¹⁷⁾ 18 などで、中期を主とする集落跡が確認されている。前期に属する遺跡としては池端遺跡¹⁸⁾ 19 で土器集積遺構が発見されているが、それらの性格を含め、村域の前期の集落の様相は不明である。後期を主とする遺跡は、陸平貝塚、御霊平遺跡²⁰⁾ 20、天神平Ⅰ遺跡²¹⁾ 21、天神平Ⅱ遺跡²²⁾ 22 など、広い平坦面を有する台地上に形成される傾向が指摘されている¹⁹⁾。また、古墳については、霞ヶ浦を望む台地上に築造された100mを超える中期の前方後円墳である愛宕山古墳と、それを主墳とする木原白幡古墳群²³⁾ 23、霞ヶ浦に面した砂丘上の微高地には、国学者色川三中の『常陸国風土記』逸文にみる「黒坂命」の論考でも知られる大塚古墳群²⁴⁾ 24 などの多くの古墳群が存在している。余郷入から続く主谷の周辺には、中期の円墳2基からなる沢田古墳群が築造されており、隣接する八枚原古墳群内の庚申古墳²⁵⁾ 25 では、後期の箱形石棺の中から人骨、金環、青銅環、ガラス小玉などが出土している。

奈良・平安時代になると、北部の霞ヶ浦を望む島状に独立した台地上では、台地全体に集落が営まれるようになる。余郷入から続く主谷の周辺では、原畑遺跡²⁶⁾ 26、稲荷山遺跡²⁷⁾ 27 で平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが発見されている²¹⁾。墓域については、陸平貝塚、陣屋敷遺跡、池端遺跡、多古山Ⅱ遺跡²⁸⁾ 28、沢田古墳群²²⁾ 22などの台地縁辺部から、火葬墓が単独で発見されている。県域で火葬墓が盛行するのは、8世紀後半から9世紀後半のほぼ1世紀とみられ、この時期は村落内寺院が多く営まれる時期でもある。当地域でも仏教の一般集落への浸透とともに、火葬の風習も広く受け入れられていったと考えられる。なお、古代の村域は「信太郡」に属し、その郡域はおよそ現在の稲敷郡に相当する。そして、大谷周辺は「大野郷」の一部に比定されている。

中世の村域は常陸平氏の勢力下に入り、「信太荘」として成立したと考えられている。その後の東寺による支配も南北朝の動乱によって終焉を迎えると、高氏や上杉氏、土岐氏や小田氏の支配下に入り、佐竹氏が常陸統一を目前にした16世紀後半頃には、江戸崎城主の土岐氏が信太荘一円を支配するようになったと考えられる。城郭としては、土岐氏が霞ヶ浦を一望できる要衝の地に連郭式の木原城²⁹⁾ 29 を築き、信太の各地に土塁や空堀から構成される防御施設を数多く設けている。また、根古屋城跡³⁰⁾ 30、舟子城跡³¹⁾ 31、根本台城跡³²⁾ 32、大谷城跡³³⁾ 33 など、霞ヶ浦北岸や大きな入り江を強く意識した防衛拠点が幾つも築かれている²⁴⁾。この他にも、陣屋敷遺跡、城ノ内遺跡³⁴⁾ 34、御茶園遺跡など、多くの城跡や館跡、砦跡が確認されている。

近世以降は、天正18(1590)年、北条方に組みした土岐氏が、佐竹氏に江戸崎城を攻められて滅び、旧土岐氏領土の信太、河内の地は芦名氏に与えられた。慶長7(1602)年、佐竹氏の秋田移封後は、複数の幕藩領主による複雑な支配変遷をとげている。

文中の 内の番号は、表 1 及び第 2 図の該当遺跡番号と同じである。

註

- 1) 大森昌衛ほか 「茨城の地質をめぐって」『日曜の地学』8 築地書館 1979年9月
日本の地質『関東地方』編集委員会 『日本の地質3 関東地方』 共立出版 1986年10月
- 2) 茨城県教育庁文化課 『茨城県遺跡地図(地名表編・地図編)』 茨城県教育委員会 2001年3月
美浦村教育委員会 『茨城県稲敷郡美浦村 美浦村遺跡分布調査報告書および美浦村遺跡分布図』 2001年3月
- 3) 中村哲也ほか 「茨城県稲敷郡美浦村 陣屋敷遺跡」『陸平研究所報告』1 茨城県美浦村・陸平調査会 1992年12月
- 4) 中村哲也ほか 「茨城県稲敷郡美浦村 根本遺跡」『陸平研究所報告』2 茨城県美浦村・陸平調査会 1996年3月
- 5) 美浦村史編さん委員会 『美浦村誌 - 美浦村誕生40周年記念 - 』美浦村 1995年7月
- 6) 註5) に同じ
- 7) 高橋嘉朗ほか 『御茶園遺跡』 茨城県美浦村教育委員会 御茶園遺跡発掘調査会 1994年3月
- 8) 本橋弘巳 「沢田古墳群 国道125号大谷バイパス建設事業に係る埋蔵文化財調査報告書1」『茨城県教育財団文化財調査報告』第276集
2007年3月
- 9) 川村勝 「茨城県稲敷郡美浦村 興津白井遺跡 - 美浦村水処理センター建設に伴う埋蔵文化財の調査 - 」『美浦村教育委員会埋蔵文化財
発掘調査報告』9 美浦村教育委員会・美浦村興津白井遺跡調査会 2000年3月
- 10) 西村正衛 「茨城県稲敷郡興津貝塚(第1次調査)」『学術研究』17 早稲田大学教育学部 1968年3月
西村正衛 「茨城県稲敷郡興津貝塚 - 縄文時代前期後半文化の研究 - 」『石器時代における利根川下流域の研究 - 貝塚を中心として - 』
早稲田大学出版部 1984年3月
- 11) 大川清ほか 『茨城県美浦村 虚空蔵貝塚』 美浦村教育委員会 1977年3月
- 12) 戸沢充則ほか 「1988年度陸平貝塚周辺遺跡発掘調査報告および概要」『陸平調査会報告』2 陸平調査会 1990年3月
- 13) 戸沢充則ほか 「茨城県法堂遺跡の調査」『駿台史学』18 1966年3月
- 14) 大竹房雄ほか 『常陸笹山』 稲敷郡美浦村教育委員会・笹山遺跡発掘調査会 1986年3月
- 15) 註4) に同じ
- 16) 高木國男ほか 『下り内遺跡』茨城県美浦村教育委員会・下り内遺跡発掘調査会 1986年12月
- 17) 中村哲也 「茨城県稲敷郡美浦村 野中遺跡 - 第2次発掘調査報告書 - 」『美浦村教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告』8 美浦村教育
委員会 2000年3月
- 18) 中村哲也ほか 「茨城県稲敷郡美浦村 池端遺跡 - 発掘調査報告書 - 」『陸平研究所叢書』2 美浦村教育委員会 2004年3月
- 19) 註3) に同じ
- 20) 大竹房雄ほか 『庚申古墳(緊急発掘調査報告書)』 美浦村教育委員会・庚申古墳発掘調査会 1988年3月
- 21) 奥富雅之ほか 「興津地区遺跡群 高野台遺跡 原畑遺跡 稲荷山遺跡 日本中央競馬会美浦トレーニングセンター森林調教施設建設に
伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」『美浦村教育委員会埋蔵文化財発掘調査報告』7 美浦村教育委員会 1996年3月
- 22) 沢田古墳群第2号墳の周溝覆土の最上層から、8世紀後半の須恵器短頸壺が破碎された状態で出土している。周囲から火葬骨などは検出
されていないが、本来は火葬墓の容器に利用されていたものが、何らかの理由により掘り出され、2次的に廃棄された可能性が考えられ
る。
- 23) 後藤和民ほか 『木原城址Ⅰ - 平成5年度 予備発掘調査概報』 木原城址調査団 1994年3月
『木原城址Ⅱ - 平成6年度 予備発掘調査概報』 木原城址調査団 1995年3月
- 24) 註5) に同じ

第3章 調査の成果

第1節 調査の概要

当遺跡は、茨城県の南部、霞ヶ浦南西岸の稲敷郡美浦村大字大谷881番地ほかに所在し、高橋川左岸の標高20～24mの台地縁辺部から台地上にかけて立地している。調査面積は7,664㎡で、調査前の現況は畑地及び平地林である。

調査は平成18年4月1日から平成19年3月31日までの1年間と、平成19年4月1日から平成19年12月31日までの9か月間の計1年9か月間実施し、縄文時代の竪穴住居跡7軒、炉穴2基、炉跡2基、土坑435基、斜面貝塚1か所、土坑墓1基、弥生時代の竪穴住居跡14軒、土坑9基、古墳時代の竪穴住居跡8軒、古墳1基、土坑5基、平安時代の竪穴住居跡2軒、竪穴建物跡6棟、火葬墓1基、土坑6基、周溝跡1基、溝跡1条、中世から近世の塚1基、土坑墓2基、周溝跡1基、溝跡5条、道路跡3条、その他、時期不明の土坑46基を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ(60×40×20cm)に484箱出土している。旧石器時代の遺物は、石器(ナイフ形石器・石刃)、縄文時代の遺物は、縄文土器(深鉢・浅鉢・蓋・器台・有孔鏝付土器・瓢箪形土器・小形土器・特殊土器)、石器(石鏃・石匙・搔器・削器・尖頭器・楔形石器・石錐・石核・剥片・打製石斧・磨製石斧・磨石・敲石・凹石・石皿)、石製品(石棒・石錘・浮子・砥石・研磨器・軽石製品・垂飾り・小玉)、骨角歯牙製品(返刺付刺突具・刺突具・釣り針・磨製刃器・端平頭棒状角製品・弭形角器・歯牙製垂飾り・針・札状加工品・錐状加工品・ヘラ状加工品・線刻を有する骨・切断痕を有する骨角)、貝製品(貝輪・貝輪素材・貝刃・タカラガイ加工品・ツノガイ加工品・貝器)、土製品(土器片錘・土器片円盤・耳栓・大珠形土製品・土製垂飾り・スプーン形土製品・土製球状耳飾り・環状土製品)、人骨、動物・魚類・貝類遺存体、弥生時代の遺物は、弥生土器(壺・甕)、土製品(紡錘車)、石器(敲石・石皿)、古墳時代の遺物は、土師器(椀・坏・高坏・壺・甕・鉢・甌)、須恵器(坏・蓋・壺・甕)、石製品(剣形模造品・双孔円板・勾玉)、土製品(支脚・球状土錘・管状土錘)、平安時代の遺物は、土師器(坏・高台付坏・皿・高台付皿・小皿・壺・甕・鉢・甌)、須恵器(坏・高台付坏・壺・甕・鉢・甌)、土製品(球状土錘・管状土錘・紡錘車)、金属製品(刀子)、中世から近世の遺物は、陶器(碗・鉢・搦り鉢・甕)、磁器(碗・皿)、土師質土器(カワラケ・内耳鍋)、瓦質土器(鉢)、金属製品(銭貨・小柄・釘・火皿)、土製品(泥面子)、陶製品(転用砥)、石製品(砥石)、人骨である。

第2節 基本層序

調査区北西部(D4g5)に試掘坑を設定し、深さ2.3mまで掘り下げて基本層序の確認を行った。土層は13層に別けられ、第1層が表土、第2a層が黒色土、第2b層が黒褐色土で縄文時代前期後葉の遺物包含層、第2c層が黒褐色土で縄文時代早期後葉の遺物包含層、第4層以下が関東ローム層、第11層以下が常総粘土層である。以下、各層の特徴を述べる。

第1層はローム小ブロックを少量含む暗褐色の耕作土で、粘性及び締まりは弱い。層厚は40cmである。

第2a層は焼土粒・貝粉(貝殻から溶解した成分が土中で再凝固したと推測できる白色粉状の物質)を多量、ローム粒を少量含む黒色土で、粘性は普通で、締まりは弱い。層厚は10～20cmである。

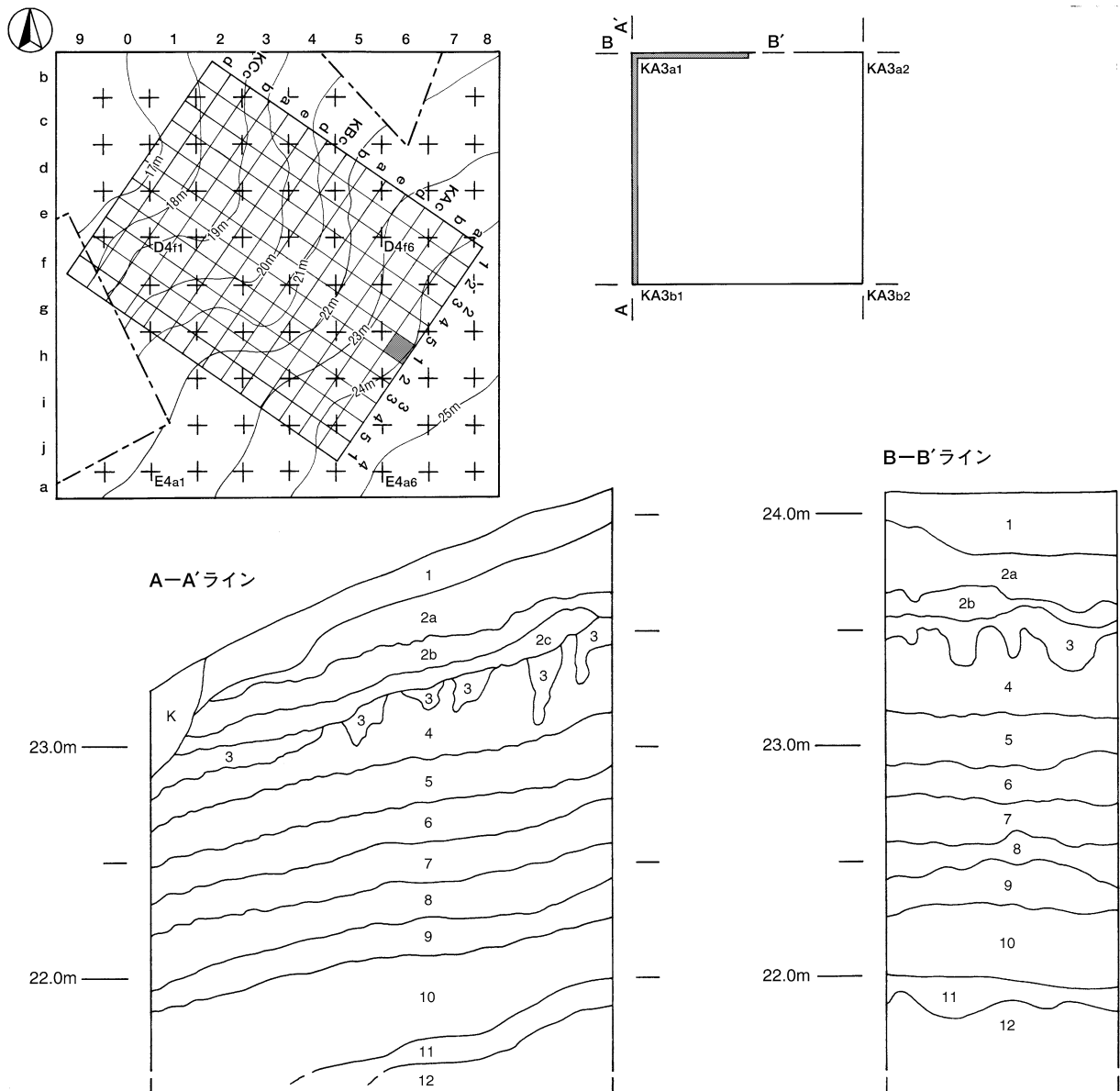
第2 b層はローム粒を多量，貝粉を少量含む黒褐色土で，粘性は普通で，締まりは弱い。層厚は5～15cmである。

第2 c層はローム小ブロックを多量，貝粉を微量含む暗褐色土で，粘性は普通で，締まりは弱い。層厚は20～30cmである。

第3層は黄褐色のソフトローム層で，ローム小ブロックを少量，貝粉を微量含んでいる。下位にクラックが発達している。粘性は強く，締まりは弱い。層厚は5～20cmである。立川ローム層に相当する。

第4層は黄褐色のハードローム層で，黒色粒子を微量含んでいる。粘性は強く，締まりは極めて強い。第3層よりも暗い。層厚は20～40cmである。立川ローム層に相当する。

第5層は黄褐色のハードローム層で，黒色粒子・赤色粒子を極少量含んでいる。粘性は強く，締まりは極めて強い。第4層よりも暗い。層厚は15～25cmである。以下，第10層まで武蔵野ローム層に相当する。



第3図 基本土層図

第6層は明黄褐色のハードローム層で、黒色粒子を少量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第5層よりも白みがかったり。層厚は10～25cmである。

第7層はにぶい黄褐色のハードローム層で、黒色粒子・白色粒子を微量含んでいる。粘性は強く、締まりは極めて強い。第6層よりも暗い。層厚は10～20cmである。

第8層はにぶい黄褐色のハードローム層で、黒色粒子・白色粒子を微量含んでいる。粘性及び締まりは極めて強い。第7層よりも暗い。層厚は5～20cmである。

第9層は灰黄褐色のハードローム層で、細礫を微量含んでいる。粘性及び締まりは強い。第8層よりも暗く、やや柔らかい。層厚は10～20cmである。

第10層は暗褐色のハードローム層で、砂及び細礫を含んでいる。粘性は極めて強く、締まりは強い。断面を削ると粗粒の感触がある。第9層よりも暗い。層厚は10～20cmである。

第11層は浅黄褐色の粘土層で、砂を中量含んでいる。粘性は極めて強く、締まりは強い。断面を削ると粗粒の感触がある。層厚は30～35cmである。

第12層は灰白色の粘土層で、砂を多量、細礫を微量含んでいる。粘性は弱く、締まりは普通である。断面を削ると粗粒の感触が強くある。第11層よりも灰白色が強い。層厚は下層が未掘のために不明である。

なお、遺構の多くは、第2層下部及び第3層上面で確認され、第4～6層にかけて掘り込まれている。



写真① 斜面貝層の調査（掘り込み作業）



写真② 斜面貝層の調査（貝層剥ぎ取り作業）



写真③ 斜面貝層の調査（発掘体験活動）



写真④ 斜面貝層の調査（一般公開）

第3節 遺構と遺物

1 縄文時代の遺構と遺物

今回の調査で確認した当時代の遺構は、台地部で竪穴住居跡7軒、炉穴2基、炉跡2基、土坑435基、斜面部で斜面貝層1か所、土坑墓1基である。以下、それぞれの遺構の特徴と出土した遺物について記述する。なお、台地部で確認した435基の土坑の内、出土した遺物が少なく、時期を判断できない土坑330基については、出土遺物、形状、重複関係、覆土の様相などの総合的な所見から、当時代に属すると判断し、断面形がフラスコ状のものをA類、長径150cm以上のものをB類、長径100cm以上150cm未満のものをC類、長径100cm未満のものをD類、長径100cm未満の柱穴状のものをE類、方形及び長方形のものをF類と6類に分類した。これらの土坑については、実測図と土層解説だけを掲載する。

(1) 竪穴住居跡

第5号住居跡（第4図）

位置 調査区北部のD4b9区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 西部を第1号溝に掘り込まれている。北半分は調査区域外に延びているため、確認できた北西・南東径は3.62m、確認できた北東・南西径は1.82mで、本来は長径4.40mほど、短径3.70mほどの楕円形と推測できる。壁高は5～19cmで、外傾して立ち上がっている。

床 やや凹凸がある。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 中央部から西に偏った壁際に位置する地床炉である。長径83cm、現存する短径43cmで、不整楕円形と推測され、床面を皿状に10cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

1 に深い赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子微量

2 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子微量

ピット 3か所。P1～P3の深さは27～52cmで、柱穴と考えられる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量

2 褐色 ロームブロック中量

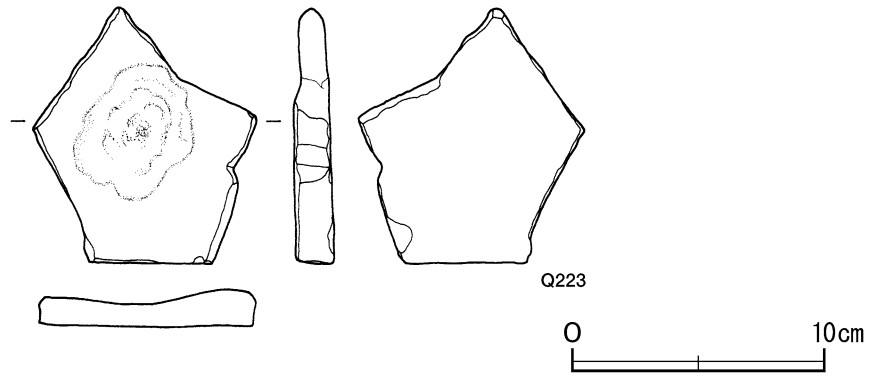
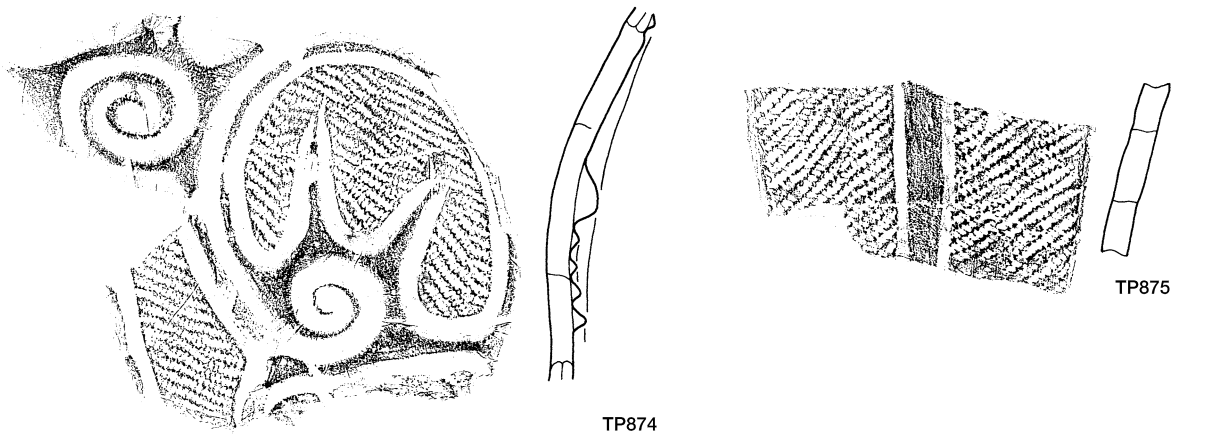
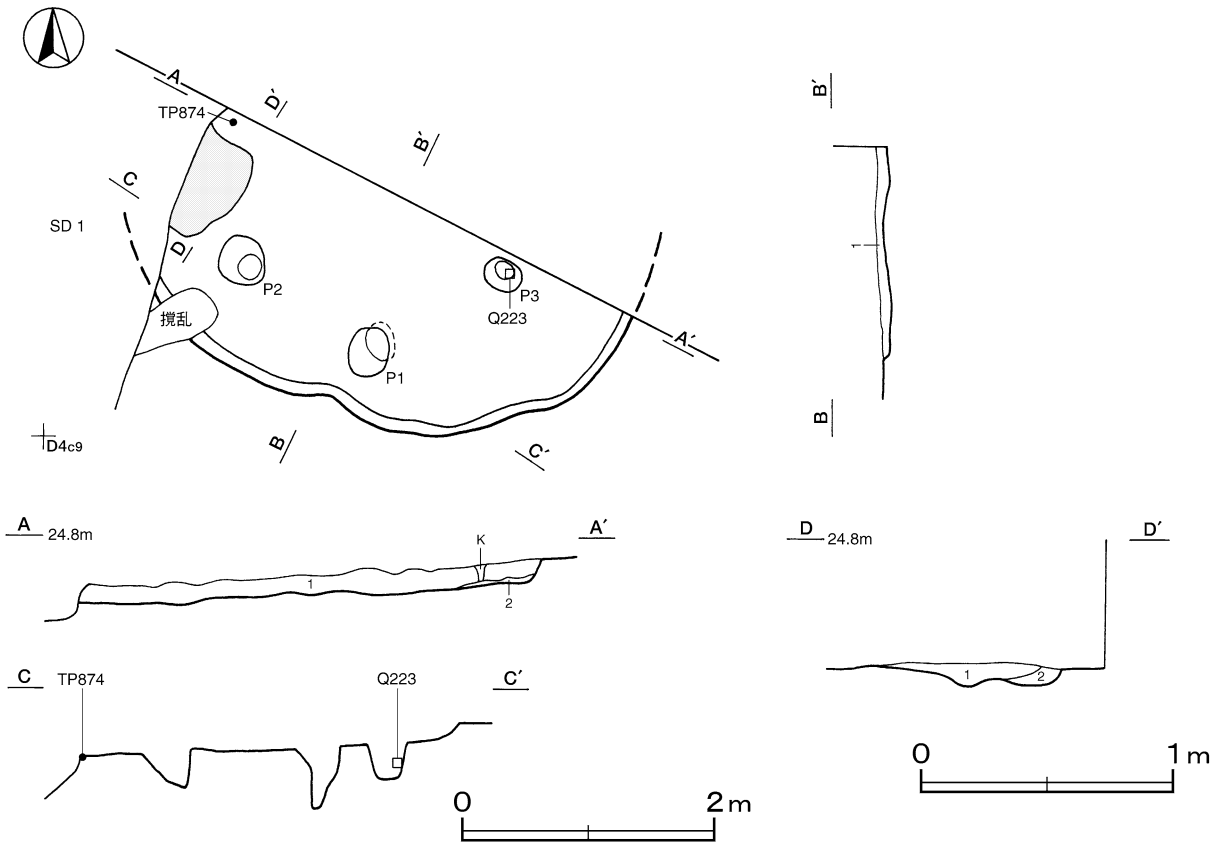
遺物出土状況 縄文土器片176点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で、石器1点（石皿）が、P3の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。

第5号住居跡出土遺物観察表（第4図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP874	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	隆帯と沈線によって棘状のモチーフを有する渦巻文を垂下。縦位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土下層	
TP875	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	石英・長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	縦位回転の2段RL単節縄文を施文後、沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q223	石皿	10.2	8.9	1.6	146.7	凝灰岩	素材は板状の礫 片面に皿状の擦り面	P3覆土	



第4图 第5号住居跡・出土遺物実測図

第23号住居跡（第5図）

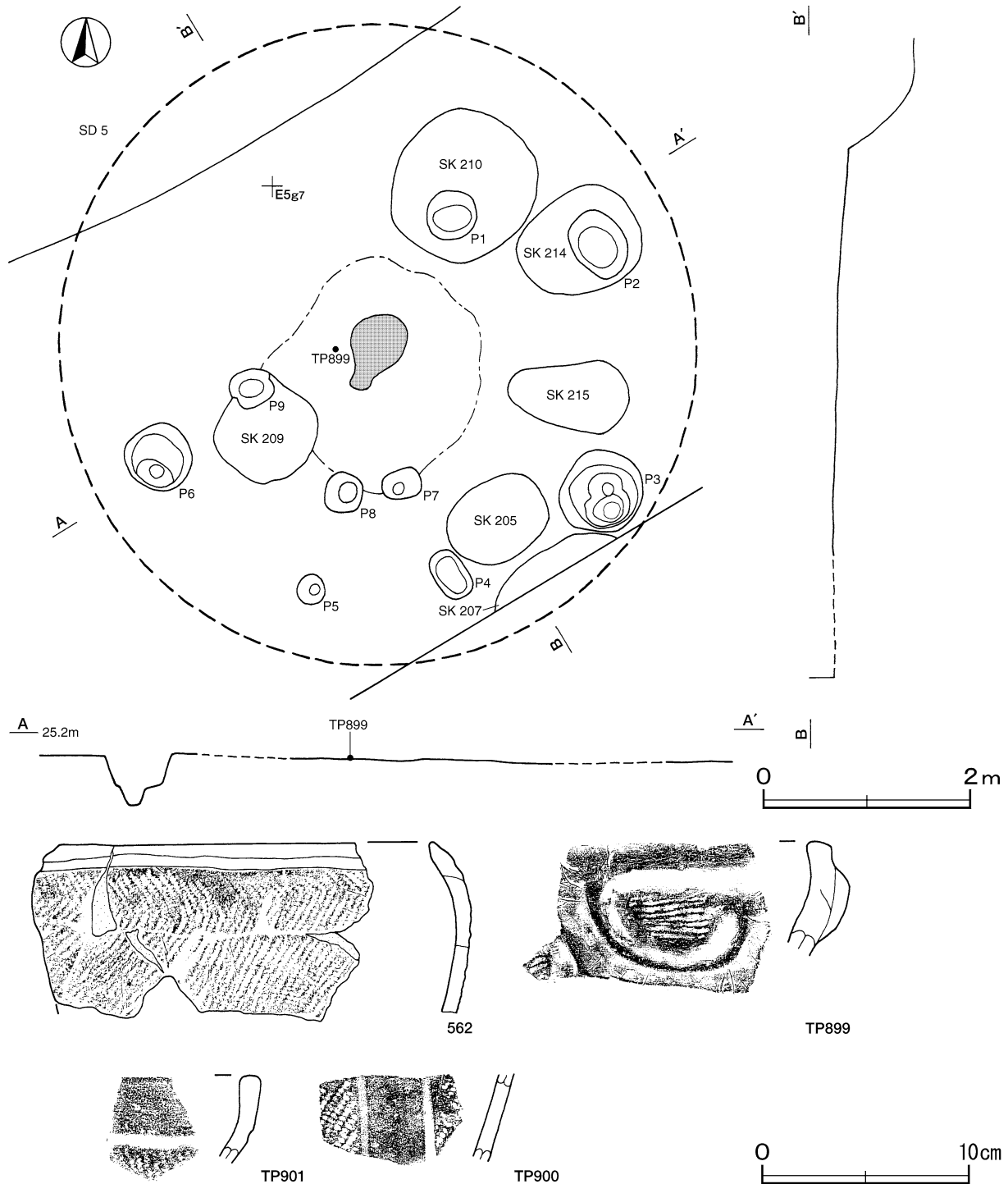
位置 調査区南部のE 5 j7区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 南東側の一部は調査区域外に延びていると推測できる。壁は削平を受けており、床の一部と炉及びピットを確認した。

規模と形状 不明である。第5図には炉を中心とした円形の推定線を表したが、あくまでも参考である。

重複関係 第212号土坑を掘り込み、第205・207・209・210・214・215号土坑、第5号溝に掘り込まれている。

床 ほぼ平坦で、炉の周囲で硬化面を確認した。



第5図 第23号住居跡・出土遺物実測図

炉 長径78cm，短径50cmの不整楕円形で地床炉である。火床面は床面と同じ高さで，火熱を受けて赤変硬化している。

ピット 9か所。P1～P9の深さは25～62cmで，性格は不明である。

遺物出土状況 縄文土器片146点（深鉢），土製品3点（土器片錘）が，炉の周囲の硬化面直上から出土している。その他，混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加普利EⅢ（新）式期である。

第23号住居跡出土遺物観察表（第5図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
562	縄文土器	深鉢	[18.2]	(8.1)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	無文の口縁部下に凹線を巡らす 以下に縦・横位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土	10%
TP899	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	石英・長石	にぶい黄橙	普通	隆帯と沈線によって楕円形区画を形成 区画内に斜位回転の1段L無節縄文を施文	覆土	
TP900	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	石英・長石	暗褐	普通	縦位回転の2段R L単節縄文を施文後，沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土	
TP901	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	石英・長石	暗褐	普通	無文の口縁部下に凹線を巡らす 以下に単節縄文を施文	覆土	

第35号住居跡（第6～8図）

位置 調査区東部のE6f0区で，標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 南側の壁は斜面によって削平されている。複数の炉やピットの配置などから，少なくとも3回の建て替えが推測できる。最古段階を第35A号住居跡，中段階を第35B号住居跡，最新段階を第35C号住居跡として区別した。遺存状況はいずれも不良である。

規模と形状 第35A号住居跡は，形状が不明であるが，ピットの配置から楕円形と推測できる。第35B号住居跡は，長軸5.46m，現存する短軸4.50mで，楕円形と推測できる。主軸方向はN-3°-Eである。壁高は11cmで，外傾して立ち上がっている。第35C号住居跡は，現存する長軸6.38m，短軸5.64mで，楕円形と推測できる。主軸方向はN-3°-Eである。壁高は5～8cmで，外傾して立ち上がっている。

床 第35A号住居跡は不明である。第35B号住居跡は，壁直下には幅10～25cm，深さ5cm，断面形がU字状の壁溝が断続的に巡っている。第35C号住居跡はやや凹凸がある。炉を中心に壁際を除いて踏み固められている。壁直下には幅8～25cm，深さ2～5cm，断面形がU字状の壁溝が巡っているが，削平を受けている南側の状況は不明である。

炉 地床炉2か所，石囲い炉1か所。炉1は，第35A号住居跡に伴う地床炉と考えられる。ピットで囲まれた範囲のほぼ中央部に位置し，炉3によって東半分が失われている。長径44cm，現存する短径24cm，楕円形と推測できる。床面を皿状に11cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで，火熱を受けて赤変硬化している。炉2は，第35B号住居跡に伴う地床炉と考えられる。中央部から北寄りに位置し，長径83cm，短径52cmの不整楕円形で，床面を皿状に10cm掘りくぼめている。火床面は床面と同じ高さで，火熱を受けて赤変硬化している。炉3は，第35C号住居跡に伴う石囲い炉と考えられる。長径89cm，短径48cmの楕円形で，床面を皿状に10cm掘りくぼめている。石囲いは東側と西側の一部に認められ，長楕円形の礫を埋め込んでいる。本来，全周していた炉縁石の大半が抜き取られたと推測できる。火床面は床面と同じ高さで，火熱を受けて赤変硬化している。

炉2・3土層解説

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 赤褐色 焼土ブロック多量，炭化物微量 | 3 暗褐色 焼土ブロック・炭化物中量，ローム粒子少量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量 炭化粒子少量 焼土粒子微量 |

ピット 36か所。P1～P8は深さ39～90cmで，第35A号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P9～P15は深さ

46～66cmで、第35B号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P16～P32は深さ10～90cmで、第35C号住居跡に伴う柱穴と考えられる。P33～P36は深さ12～32cmで、帰属及び性格は不明である。

ピット土層解説

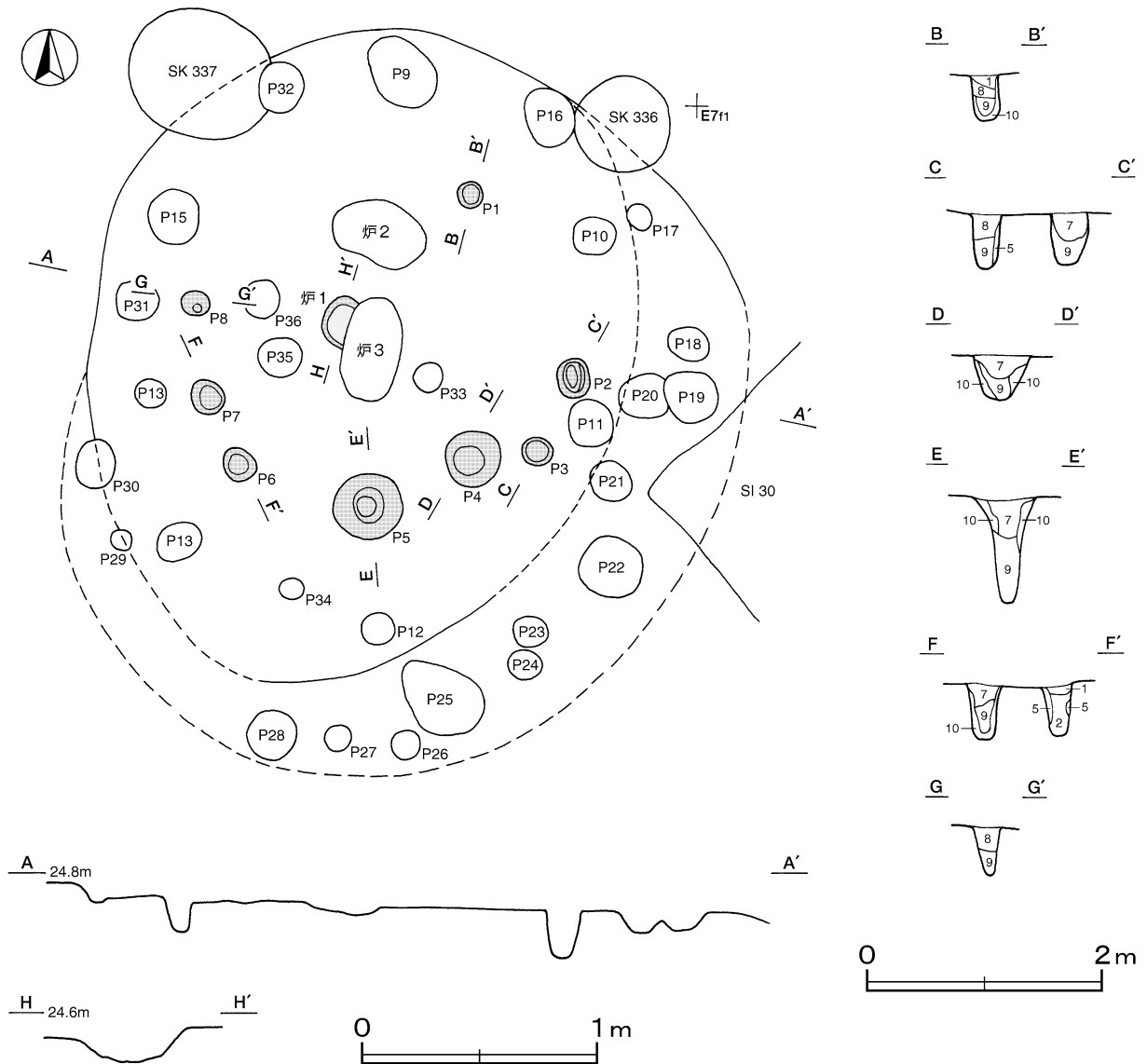
- | | | | |
|-------|------------------|--------|-----------------------|
| 1 褐色 | ロームブロック中量,炭化粒子微量 | 7 極暗褐色 | ロームブロック中量,炭化物微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量,炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量,炭化粒子微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック多量,炭化粒子微量 |
| 4 褐色 | ローム粒子中量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量,炭化粒子微量 | 11 暗褐色 | ロームブロック中量,焼土ブロック少量 |
| 6 褐色 | ローム粒子多量 | 12 暗褐色 | ロームブロック少量,炭化粒子微量 |

覆土 7層に分けられ、いずれも第35C号住居跡の覆土である。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

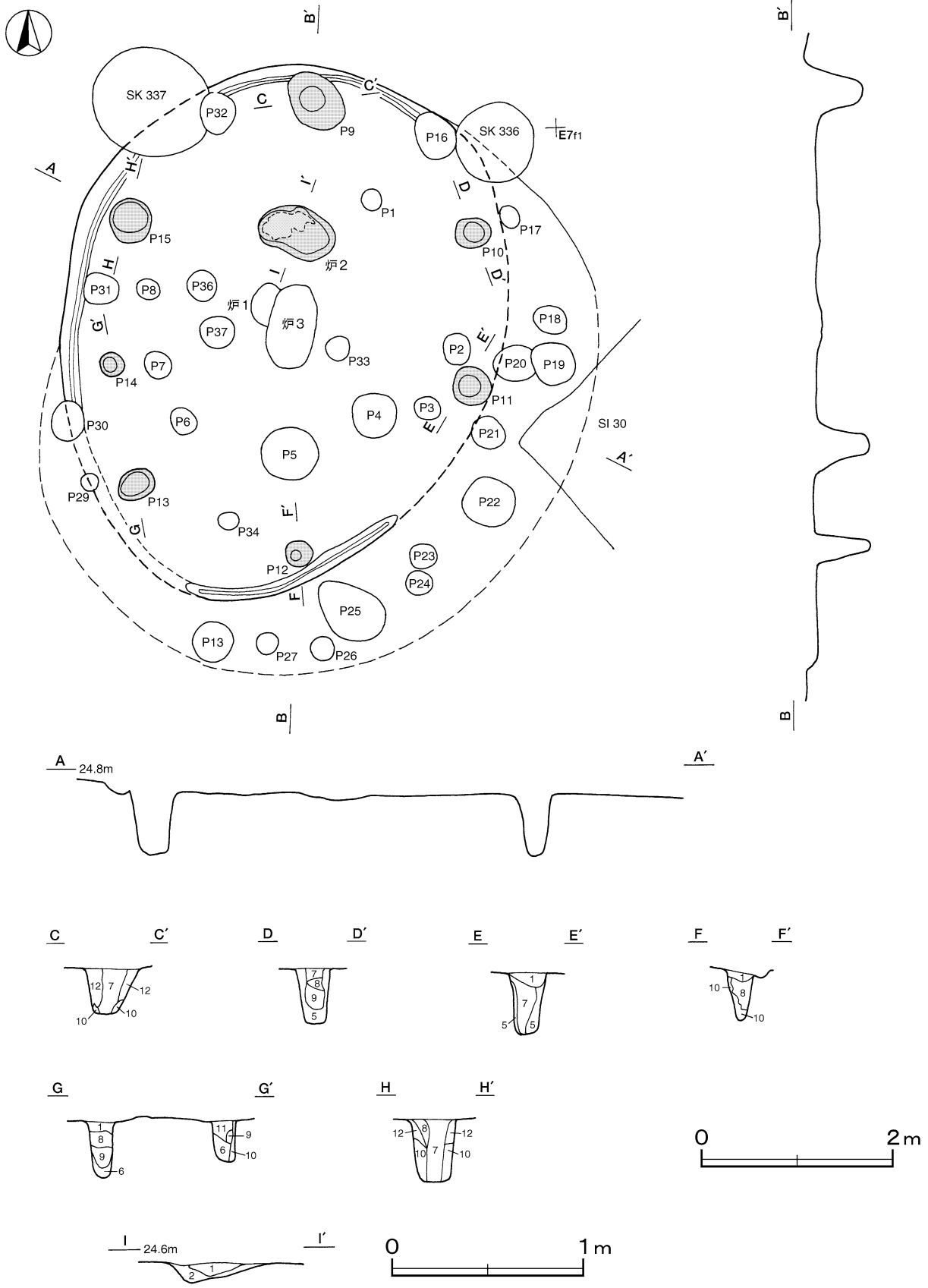
土層解説

- | | | | |
|--------|----------------|--------|--------------------------|
| 1 極暗褐色 | ローム粒子少量,焼土粒子微量 | 5 暗赤褐色 | 焼土ブロック多量,ロームブロック中量,炭化物微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子中量,炭化粒子微量 | 6 暗赤褐色 | ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 暗褐色 | ローム粒子多量,炭化粒子微量 | | |

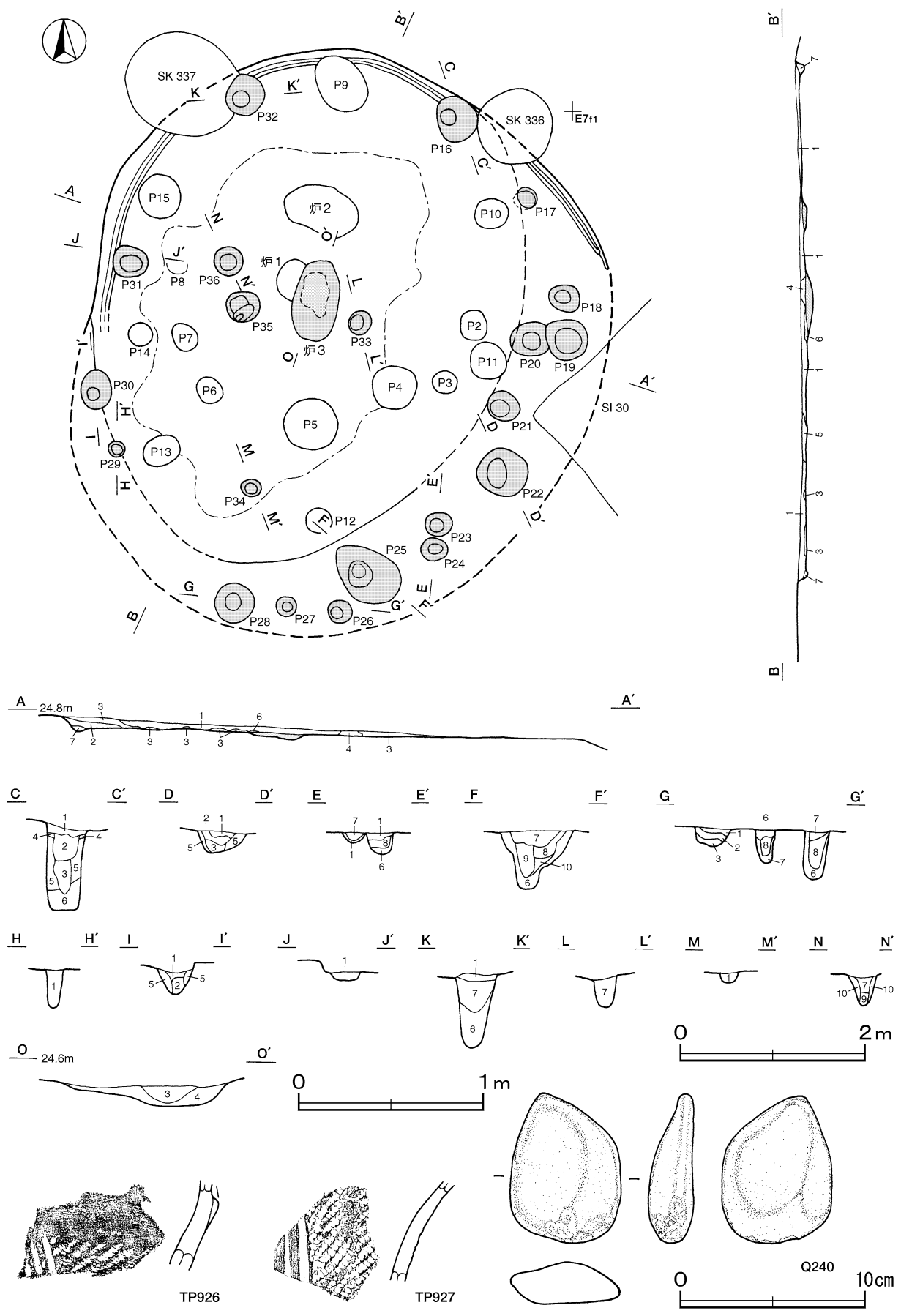
遺物出土状況 縄文土器片116点（深鉢）、石器1点（敲石）が、覆土中から散在した状態で出土している。



第6図 第35A号住居跡実測図



第7图 第35B号住居跡実測图



第8图 第35C号住居跡・出土遺物実測図

所見 複数の炉やピットの配置などから、少なくとも3回の建て替えが認められる。最終段階の時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。最古段階の第35A号住居跡は地床炉とピットしか確認できなかったため、建て替えではなくて重複の可能性もある。中段階の第35B号住居跡と最終段階の第35C号住居跡は、周溝の一部を共有しているために拡張と考えられる。炉は地床炉から石囲い炉へ変化している。

第35C号住居跡出土遺物観察表（第8図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP926	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	石英・長石	褐	普通	隆帯を巡らし、3本単位の沈線を垂下 横位回転の前々段反摺Lを施文	覆土	
TP927	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	石英・長石	橙	普通	縦位回転の2段RL単節縄文を施文後、沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q240	敲石	8.1	6.0	2.5	146.1	砂岩	素材は扁平な礫 下端部に敲打による痘痕状の凹み	覆土	

第37号住居跡（第9～11図）

位置 調査区東部のE6i9区で、標高24.5mの台地縁辺部に位置している。南側の壁は斜面によって削平されている。

重複関係 第38号住居・第484号土坑を掘り込み、第346・380・389・397・398・399号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸5.91m、短軸5.02mの隅丸長方形で、主軸方向はN-10°-Wである。壁高は6～40cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほぼ平坦で、全体的に南側に傾斜している。壁直下には幅9～18cm、深さ8～10cm、断面形がU字状の壁溝が巡っている。壁際を除いて踏み固められている。

炉 中央部から北寄りに位置する地床炉である。長径65cm、短径51cmの楕円形で、床面を皿状に10cm掘りくぼめている。火床面は火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 2 赤褐色 焼土ブロック多量、炭化物微量

ピット 14か所。P1～P6は深さ35～49cmで、柱穴と考えられる。P7～P12は深さ14～30cmで、補助的な柱穴と考えられる。P13は深さ18cm、P14は深さ25cmで、性格は不明である。

ピット土層解説

1 黒褐色 ロームブロック中量 3 暗褐色 ローム粒子中量
2 暗褐色 ローム粒子少量

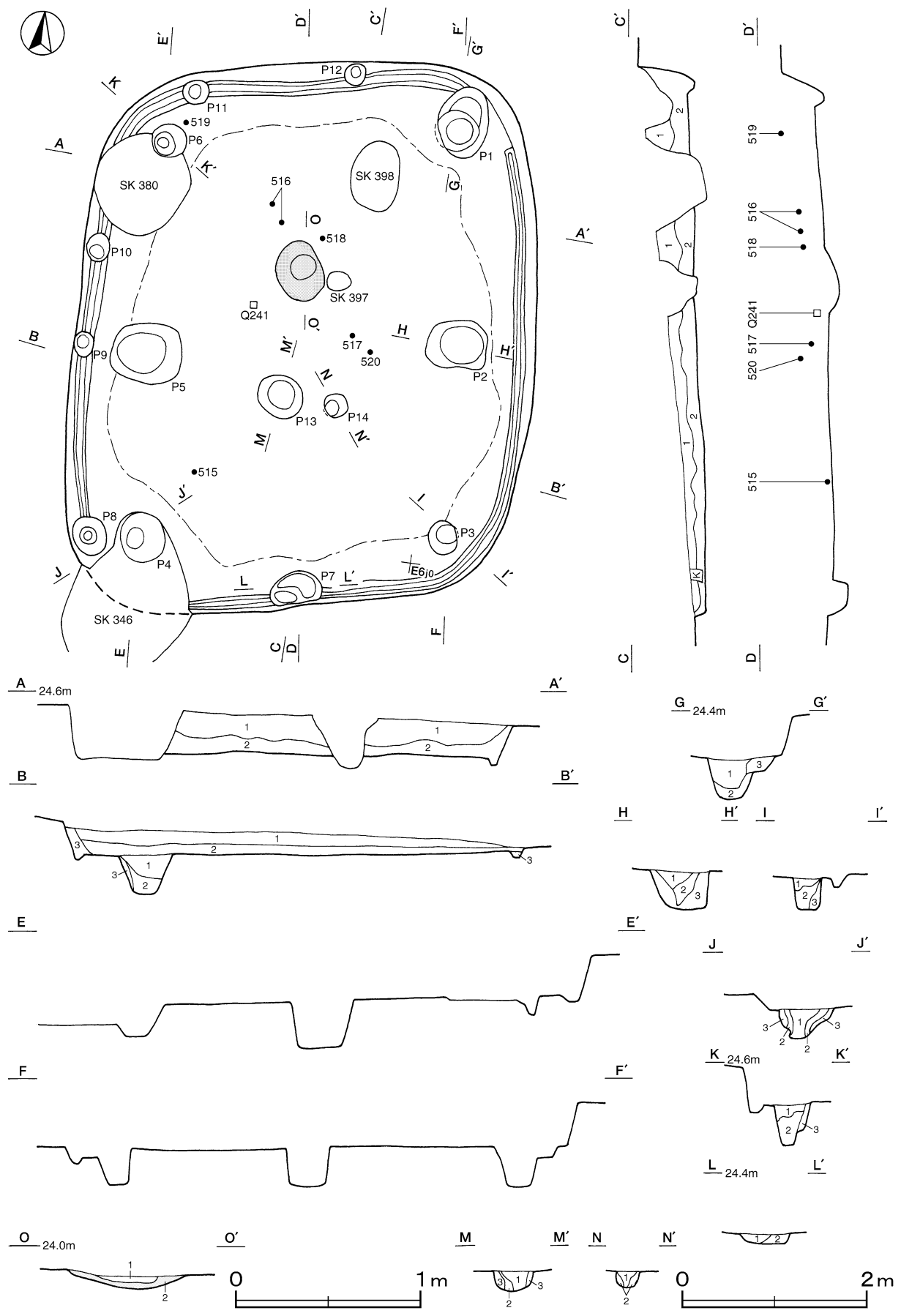
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

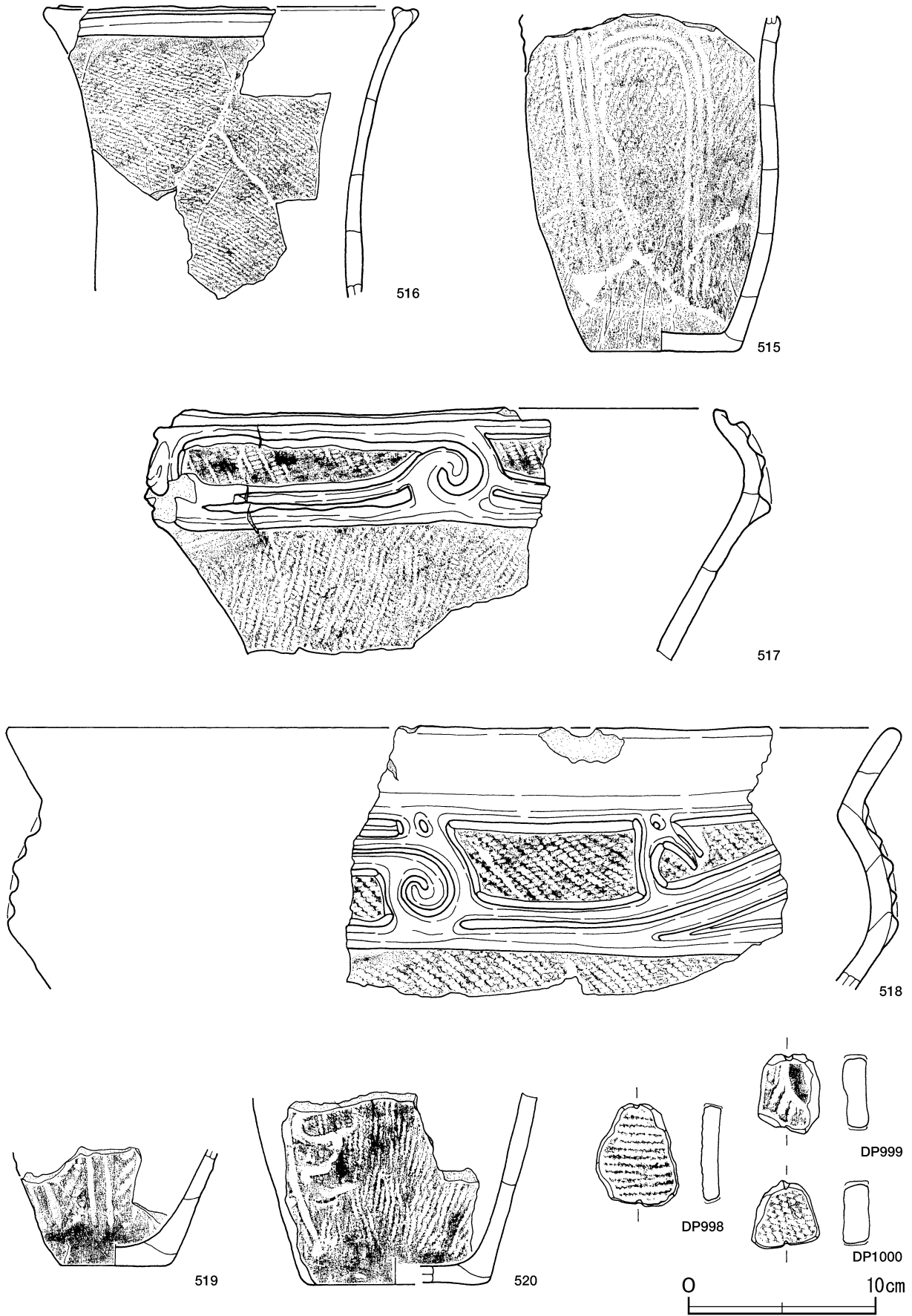
1 黒褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
2 暗褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片1381点（深鉢）、土製品6点（土器片錘）、石器10点（石鏃1、石皿1、磨石2、剥片6）が、第1層から散在した状態で出土している。住居廃絶後しばらくしてから廃棄された遺物と考えられる。その他、混入した土師器片11点と須恵器片3点も出土している。

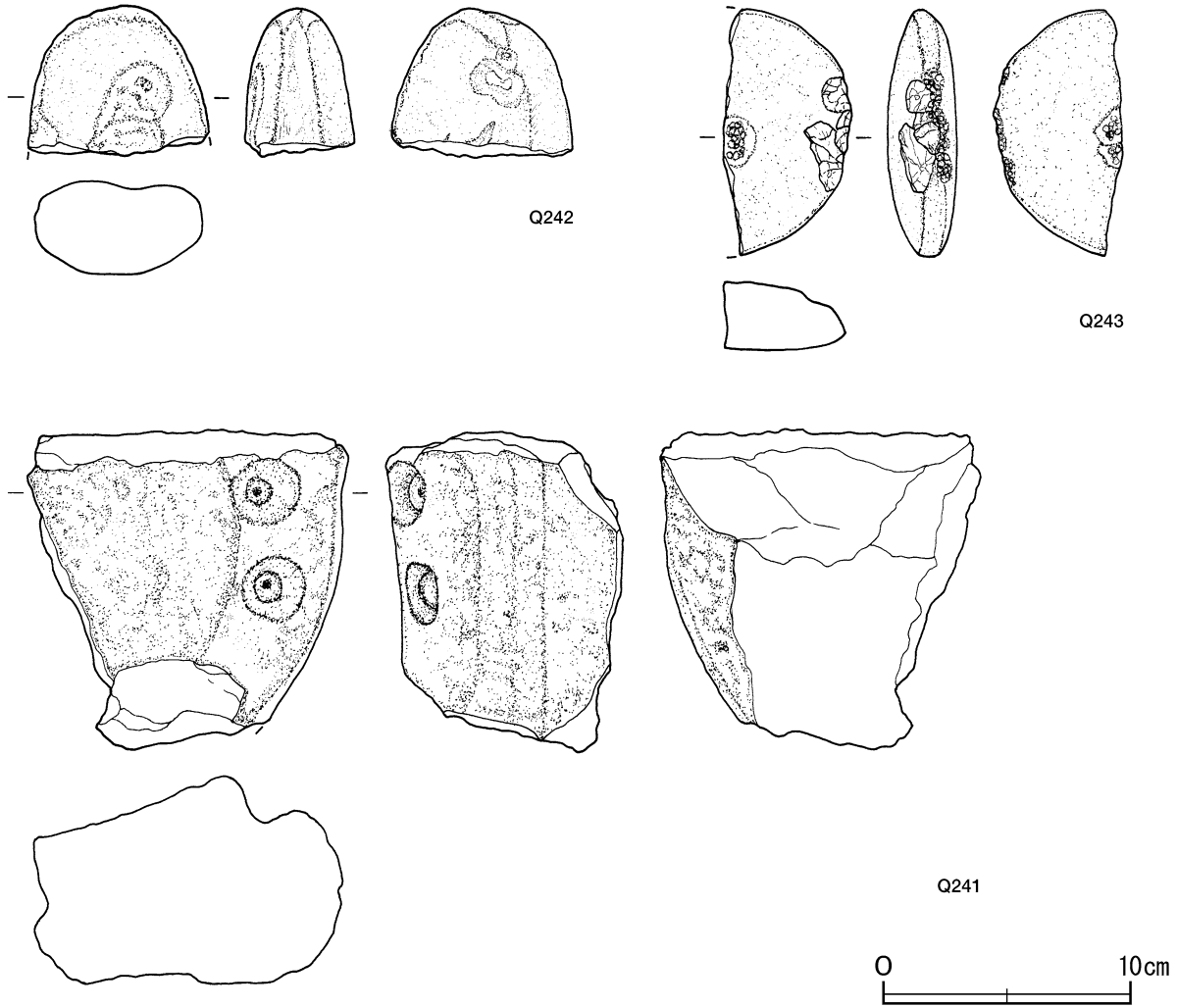
所見 覆土中の縄文土器片に大きな時期差は認められない。中期後葉の加曾利EⅡ式期には廃絶されていたと考えられる。時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅠ（新）式期と推測できる。



第9图 第37号住居跡実測图



第10图 第37号住居跡出土遺物実測図(1)



第11図 第37号住居跡出土遺物実測図(2)

第37号住居跡出土遺物観察表 (第10・11図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
515	縄文土器	深鉢	-	(18.0)	7.8	長石・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線を垂下 h字状のモチーフを描出 横位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土下層	45%
516	縄文土器	深鉢	[18.2]	(15.4)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	口唇部に隆帯を巡らす 縦位回転の直前段多条Lを施文	覆土中層	20%
517	縄文土器	深鉢	[27.9]	(13.5)	-	石英・長石・雲母	褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出 口縁部は縦位回転、頸部は斜位回転の合燃Lを施文	覆土中層	10%
518	縄文土器	鉢	[48.0]	(14.0)	-	石英・長石・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出 肩部は縦位回転の2段L R単節縄文、胴部は縦位回転の3段L R複節縄文を施文	覆土中層	10%
519	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	5.5	長石・雲母	橙	普通	縦位回転の2段R L単節縄文を施文後、沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土上層	10%
520	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	[9.0]	石英・長石・雲母	橙	普通	斜位回転の2段R L単節縄文を施文後、蛇行沈線を沿わせた2・3本単位の沈線を垂下	覆土中層	10%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP998	土器片錘	5.4	4.4	1.0	27.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.1cm	覆土	PL56
DP999	土器片錘	4.3	3.3	1.2	20.5	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm	覆土	PL56
DP1000	土器片錘	3.6	3.6	1.4	21.9	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm	覆土	PL56

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q241	石皿	(12.8)	(12.9)	(9.2)	(1305.9)	安山岩	片面に皿状の擦り面 縁辺部に複数の断面形がV字状の凹み	覆土中層	
Q242	磨石	(6.1)	(4.4)	(7.4)	(211.5)	安山岩	全面擦り面 両面に浅い凹み	覆土	
Q243	磨石	(10.1)	(5.2)	(2.8)	(193.4)	安山岩	全面擦り面 両面に浅い凹み 側面の一部に敲打による痘痕状の凹み	覆土	

第38号住居跡（第12図）

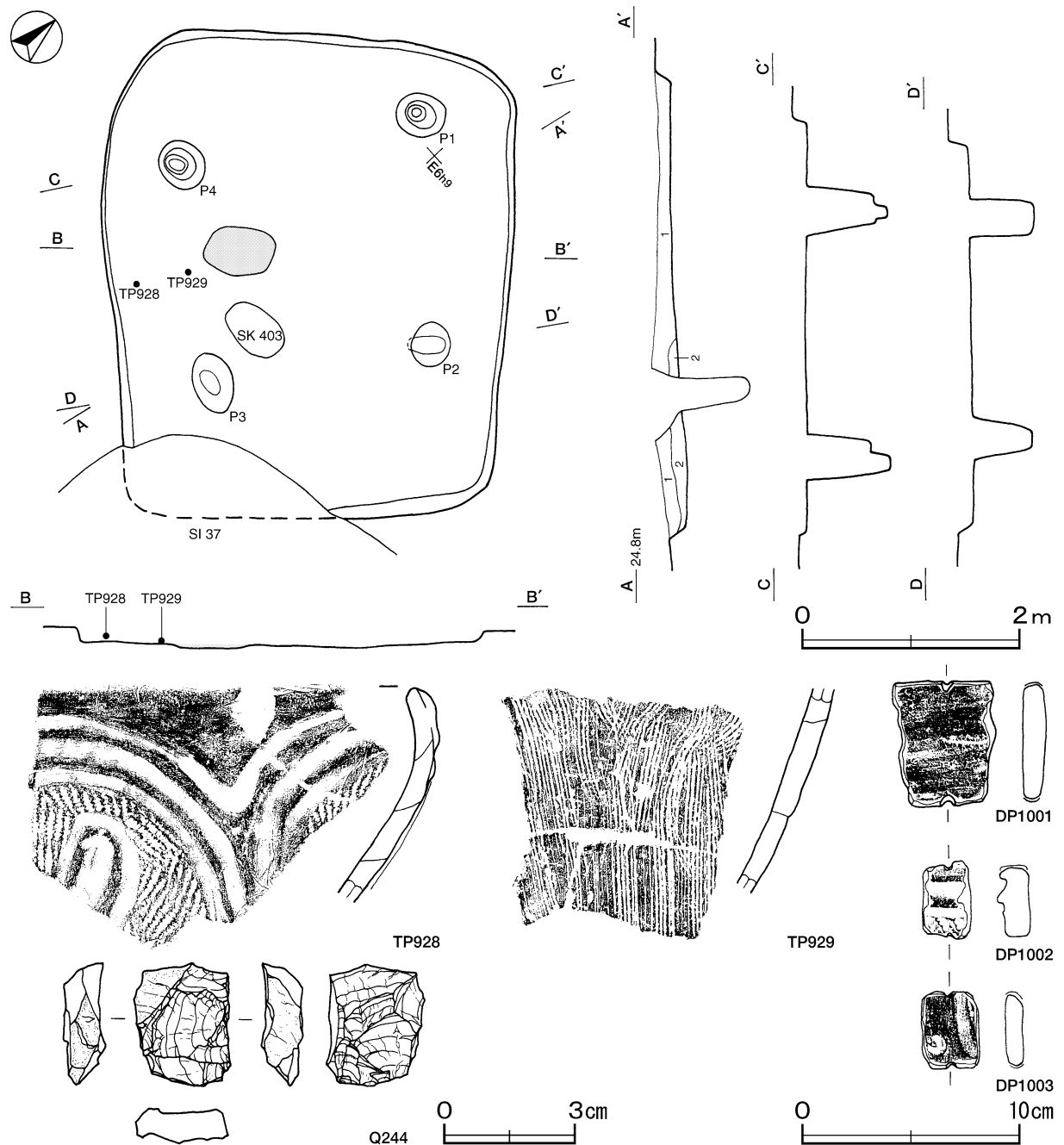
位置 調査区東部のE 6 h8区で、標高24.5mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第333・445・469・484号土坑を掘り込み、第37号住居、第403号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸4.41m、短軸3.68mの隅丸長方形で、主軸方向はN - 45° - Wである。壁高は7～20cmで、直立している。

床 ほぼ平坦で、全体的に南東側に傾斜している。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 中央部から南西寄りに位置する地床炉である。長径67cm、短径45cmの楕円形である。火床面は床面と同じ高さで、火熱を受けて赤変硬化している。



第12図 第38号住居跡・出土遺物実測図

ピット 4か所。P1～P4は深さ47～76cmで、柱穴と考えられる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化物微量 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片286点(深鉢),石器5点(敲石1,剥片4),土製品3点(土器片錘)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ(新)式期と推測できる。

第38号住居跡出土遺物観察表(第12図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP928	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	隆帯と沈線によってY字状のモチーフを描出 縦・横・斜位回転の2段R.L単節縄文を施文	覆土下層	
TP929	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	石英・長石	橙	普通	4本単位の条線を縦位に施文	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1001	土器片錘	5.6	4.2	1.1	38.4	縄文土器	3側縁研磨・1側縁打ち欠き調整 1方向の切り込み 切り込み間5.3cm	覆土	PL56
DP1002	土器片錘	3.5	2.3	1.4	13.3	縄文土器	3側縁研磨・1側縁打ち欠き調整 1方向の切り込み 切り込み間3.0cm	覆土	PL56
DP1003	土器片錘	3.5	2.2	0.8	9.8	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm	覆土	PL56

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q244	楔形石器	2.7	2.3	0.9	7.2	チャート	両面に上下方向からの剥離面が交錯 両極打法 背面に礫面を残す 縦断面形は不整な菱形	覆土	

第40号住居跡(第13図)

位置 調査区東部のE7e2区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第317号土坑を掘り込み、第30号住居に掘り込まれている。北半分は調査区域外に延びている。壁及び床は削平を受けており、炉とピットだけを確認した。

炉 長径64cm,短径55cmの楕円形で地床炉である。確認面から皿状に12cm掘り込んでいる。火床面は第2層上面で、火熱を受けて赤変硬化している。第3層は掘り方への埋土である。

炉土層解説

1 に近い赤褐色 焼土ブロック中量,炭化粒子少量,ローム粒子微量 3 極暗赤褐色 焼土ブロック中量,ローム粒子・炭化粒子微量
2 暗赤褐色 焼土ブロック多量,ロームブロック少量,炭化物微量

ピット 8か所。P1～P8の深さは13～55cmで、性格は不明である。P8は炉の下から確認されている。

ピット土層解説

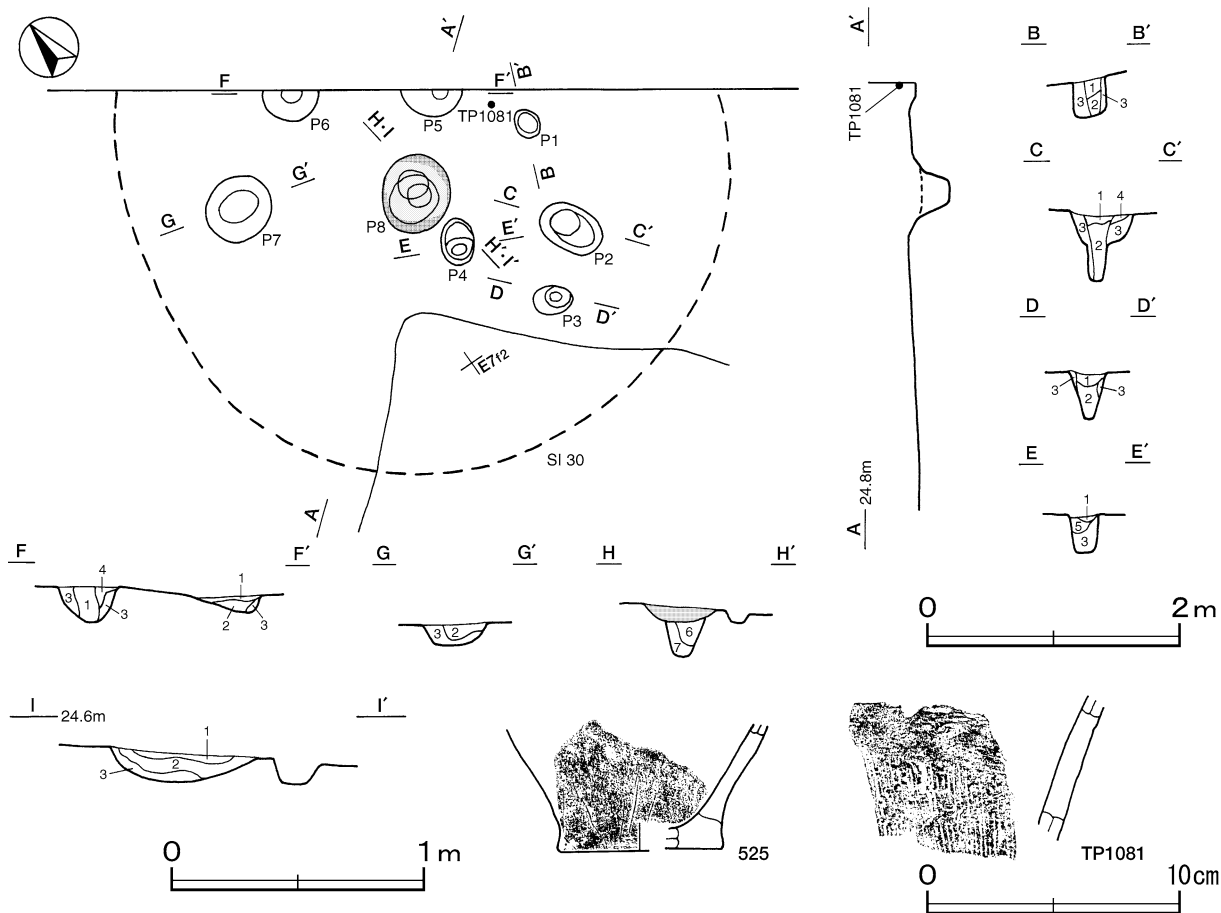
1 暗褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量 5 暗褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量 6 暗褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化物微量
3 褐色 ローム粒中量,焼土粒子・炭化粒子微量 7 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化物微量
4 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片5点(深鉢)が、炉の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ(新)式期である。

第40号住居跡出土遺物観察表(第13図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
525	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	[6.5]	長石・雲母	にに近い	普通	無文	覆土	10%
TP1081	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・雲母	橙	普通	条線文を縦位に施文	覆土下層	



第13図 第40号住居跡・出土遺物実測図

第41号住居跡 (第14図)

位置 調査区東部の E 6 e4区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第24号住居に掘り込まれている。壁は削平を受けており、床の一部と炉及びピットを確認した。第269・350・458・459・501号土坑と平面的に重複しているが、先後関係は不明である。

床 ほぼ平坦で、全体的に南東側に傾斜している。明瞭な硬化面はなく、炉の周囲が比較的踏み固められている。

炉 長径89cm、短径80cmの楕円形で地床炉である。確認面から皿状に35cm掘り込んでいる。火床面は第5層上面で、火熱を受けて赤変硬化している。

炉土層解説

- | | | | |
|--------|--------------------------|----------|------------------------|
| 1 褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子少量 | 4 極暗赤褐色 | 焼土ブロック中量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 5 にぶい赤褐色 | 焼土ブロック中量、炭化物少量、ローム粒子微量 |
| 3 暗赤褐色 | 焼土ブロック中量、ロームブロック少量、炭化物微量 | | |

ピット 11か所。P1～P11の深さは25～64cmで、性格は不明である。

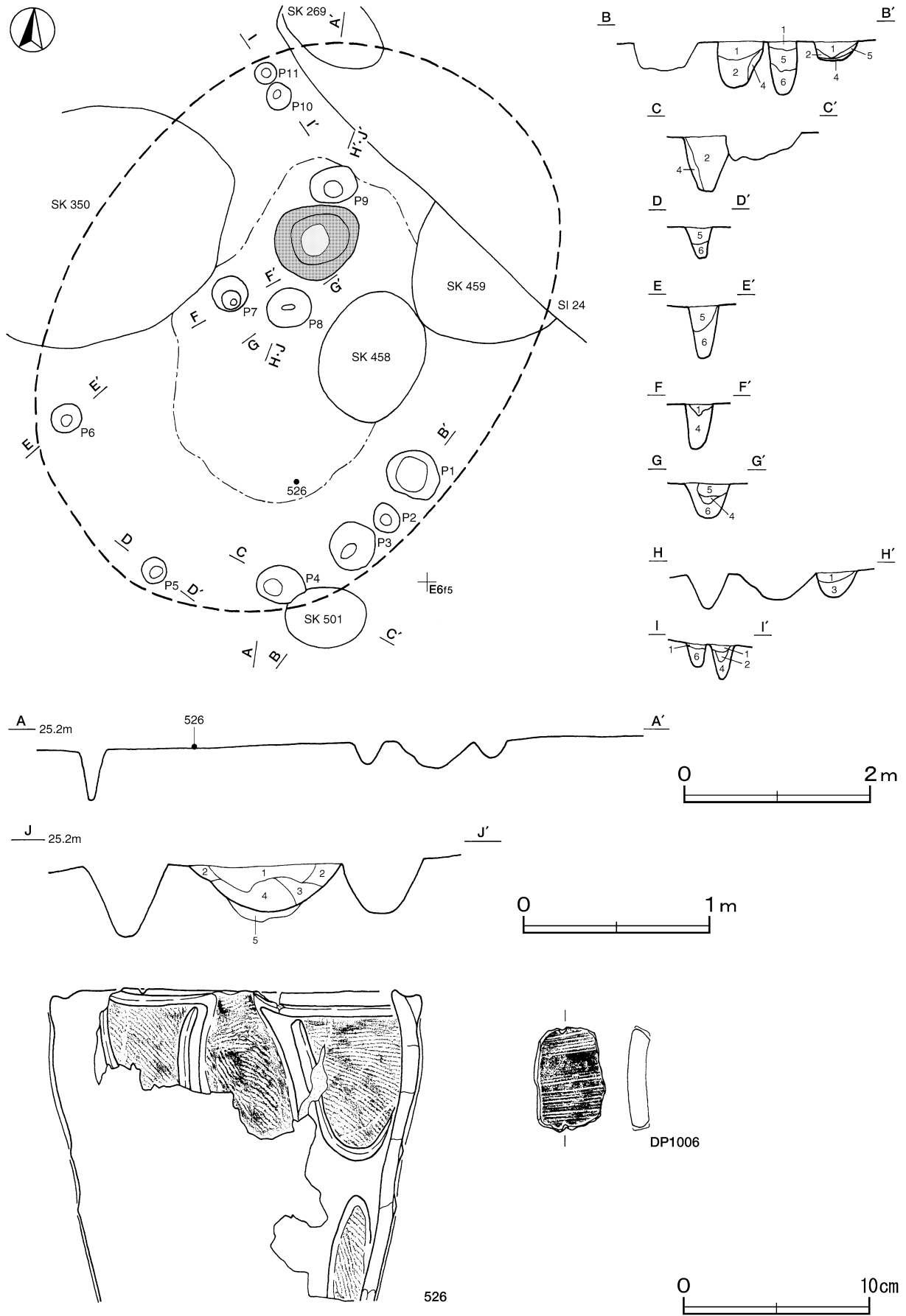
ピット土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|----------------|
| 1 褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 明褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | 6 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片192点(深鉢)、土製品1点(土器片錘)が、炉の周囲の床面直上から出土している。

その他、混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加善利 E IV (古) 式期である。



第14图 第41号住居跡・出土遺物実測図

第41号住居跡出土遺物観察表 (第14図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
526	縄文土器	深鉢	[17.4]	(16.7)	-	石英・雲母	オリブ褐	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胴部は微隆帯によって楕円形や逆三角形区画を形成。縦位回転の1段L無節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す	床直上	30%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1006	土器片鏝	5.6	3.8	1.0	29.5	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.1cm	覆土	PL56

表2 縄文時代竪穴住居跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設						覆土	主な出土遺物	時期	備考 重複関係 (古→新)	
								ピット				竈	炉					貯蔵穴
								主柱穴	柱穴	出入口	不明							
5	D 4 b9	-	[楕円形]	(3.62)×(1.82)	5~19	凹凸	-	-	3	-	-	-	地床 炉1	-	自然	縄文土器・石 皿	中期後葉	本跡 SD 1
23	E 5 j7	-	-	-	-	平坦	-	-	-	-	9	-	地床 炉1	-	-	縄文土器・土 器片鏝	中期後葉	SK212 本跡 SK205・207 ・209・210・214・215 SD5
35a	E 6 f0	N - 3° - E	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	地床 炉1	-	-	-	中期後葉	-
35b	E 6 f0	N - 3° - E	[楕円形]	5.46×(4.50)	11	凹凸	一部	-	7	-	-	-	地床 炉1	-	-	-	中期後葉	本跡 SK336・ 337
35c	E 6 f0	N - 3° - E	[楕円形]	(6.38)×5.64	5~8	凹凸	一部	-	17	-	-	-	石囲 炉1	-	自然	縄文土器・敲 石	中期後葉	本跡 SK336・ 337, S130
37	E 6 i9	N - 10° - W	隅丸長方形	5.91×5.02	6~40	平坦(全周)	-	6	-	-	8	-	地床 炉1	-	自然	縄文土器・土器片鏝・ 石鏝・石皿・磨石・剥片	中期後葉	SK484 S138 本跡 SK 346・380・389・397 - 399
38	E 6 h8	N - 45° - W	隅丸長方形	4.41×3.68	7~20	平坦	-	4	-	-	-	-	地床 炉1	-	自然	縄文土器・土器 片鏝・敲石・剥片	中期後葉	SK333・445・469・484 本跡 SK403, S137
40	E 7 e2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	地床 炉1	-	-	縄文土器	中期後葉	SK317 本跡 S130
41	E 6 e4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	地床 炉1	-	-	縄文土器・土 器片鏝	中期後葉	本跡 S124

(2) 炉跡

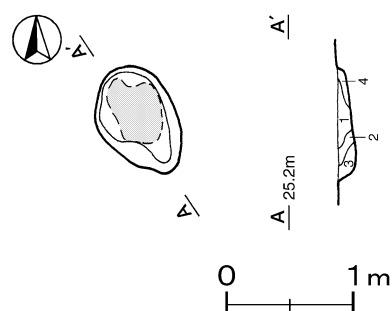
第1号炉跡 (第15図)

位置 調査区東部の E 6 c8区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 周辺に本跡に伴う施設は認められず、遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.91m、短径0.55mの不整楕円形で、皿状に14cm掘り込んでいる。壁は緩やかに立ち上がっている。長径方向はN - 29° - Wである。

覆土 4層に分かれ、第1・2層上面が火床面で、第3・4層は掘り方への埋土である。



土層解説

- 1 赤褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック・ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 極暗赤褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量, ローム粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片10点(深鉢)が、覆土中から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II式期と推測できる。

第15図 第1号炉跡実測図

第2号炉跡 (第16図)

位置 調査区東部の E 6 g9区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 周辺に本跡に伴う施設は認められず、遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.14m、短径1.00mの楕円形で、皿状に15cm掘り込んでいる。壁は緩やかに立ち上がっている。

る。長径方向はN - 47° - Wである。

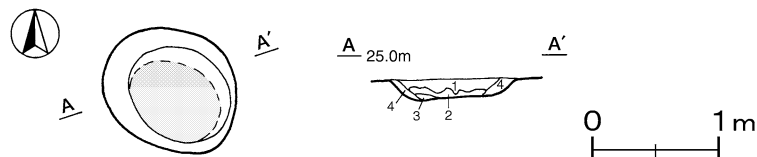
覆土 4層に分かれ、第2層上面が火床面で、第3・4層は掘り方への埋土である。

土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック少量,ロームブロック・炭化粒子微量 3 極暗赤褐色 焼土ブロック少量,ローム粒子・炭化粒子微量
 2 赤褐色 焼土ブロック・ロームブロック中量,炭化物微量 4 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量,ローム粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片2点(深鉢)が、覆土中から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II 式期と推測できる。



第16図 第2号炉跡実測図

表3 縄文時代炉跡一覧表

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)							
1	E 6 c 8	不整楕円形	N - 29° - W	0.91 × 0.55	14	緩斜	皿状	-	自然	-	中期後葉	-
2	E 6 g 9	楕円形	N - 47° - W	1.14 × 1.00	15	緩斜	平坦	-	自然	-	中期後葉	-

(3) 炉穴

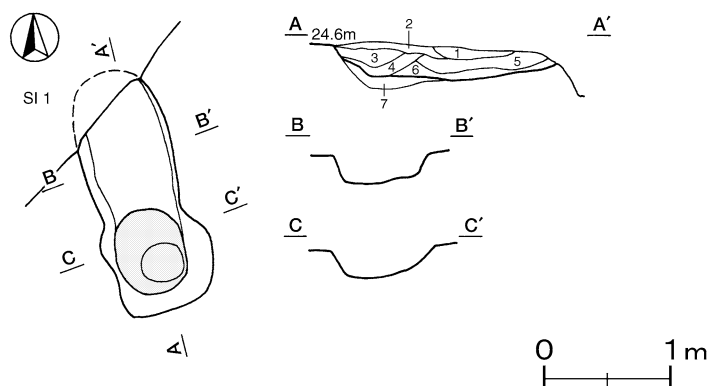
第1号炉穴(第17図)

位置 調査区北部のD 4 g 8区で、標高24.5mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号住居に掘り込まれている。

規模と形状 北側は第1号住居に掘り込まれているため、確認できた長径は1.74mで、本来は長径2.00mほど、短径0.84mの不整楕円形と推測され、長径方向はN - 16° - Wである。南側が火焚部で、北側に足場が付設されている。深さは火焚部が39cm、足場が25cmである。壁は外傾して立ち上がっている。火焚部は皿状で、底面は火熱を受けて赤変硬化している。足場は火焚部に向かって緩やかに傾斜している。

覆土 7層に分かれ、第2～4層は焼土ブロックを多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第1・5・6層は、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第7層は火床面の焼土である。



第17図 第1号炉穴実測図

土層解説

- | | | | |
|--------|--------------------|--------|-------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ローム粒子・炭化物微量 |
| 2 暗赤褐色 | 焼土ブロック少量,ロームブロック微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 赤褐色 | 焼土ブロック中量,ローム粒微量 | 7 暗赤褐色 | 焼土ブロック多量 |
| 4 暗赤褐色 | 焼土ブロック少量,ローム粒微量 | | |

所見 時期は,出土遺物がないので,遺構の形状から,早期から前期と推測できる。

第2号炉穴(第18図)

位置 調査区北部のD4g8区で,標高24.5mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第25号土坑に掘り込まれている。

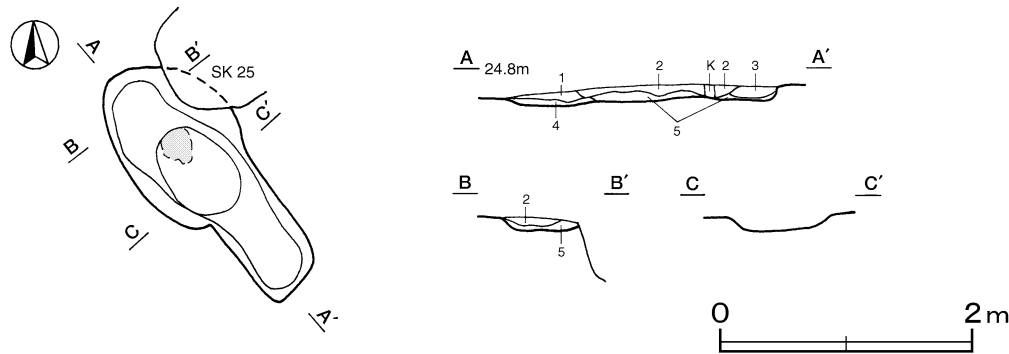
規模と形状 北東側が第25号土坑に掘り込まれているため,長径2.20m,確認できた短径は0.96mで,本来は短径1.00mほどの不整楕円形と推測され,長径方向はN-40°-Wである。北西側が火焚部で,南東側に足場が付設されている。深さは火焚部が12cm,足場が10cmである。壁は外傾して立ち上がっている。火焚部は皿状を呈し,底面のほぼ中央部が火熱を受けて赤変硬化している。足場は火焚部に向かって緩やかに傾斜している。

覆土 5層に分かれ,全体的に焼土ブロックを含んでいるため,埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|--------|--------------------|-------|--------------------|
| 1 黒褐色 | 焼土ブロック少量,ロームブロック微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック中量,焼土ブロック微量 |
| 2 暗赤褐色 | 焼土ブロック中量 | 5 暗褐色 | ロームブロック中量,焼土ブロック微量 |
| 3 赤褐色 | ロームブロック少量,焼土ブロック微量 | | |

所見 時期は,出土遺物がないので,遺構の形状から,早期から前期と推測できる。



第18図 第2号炉穴実測図

表4 縄文時代炉穴一覧表

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)							
1	D4g8	[不整楕円形]	N-16°-W	(1.74)×0.84	23	外傾	平坦	-	自然 人為	-	早期~前期	本跡 SI1
2	D4g8	[不整楕円形]	N-40°-W	2.20×(0.96)	12	外傾	平坦	-	人為	-	早期~前期	本跡 SK25

(4) 土坑

第2号土坑(第19図)

位置 調査区北部のD4f8区で,標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1・4号住居に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第1・4号住居に掘り込まれているため,確認できた長径は1.58mで,本来は長径1.70m

ほど、短径1.62mの円形と推測できる。深さは57cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

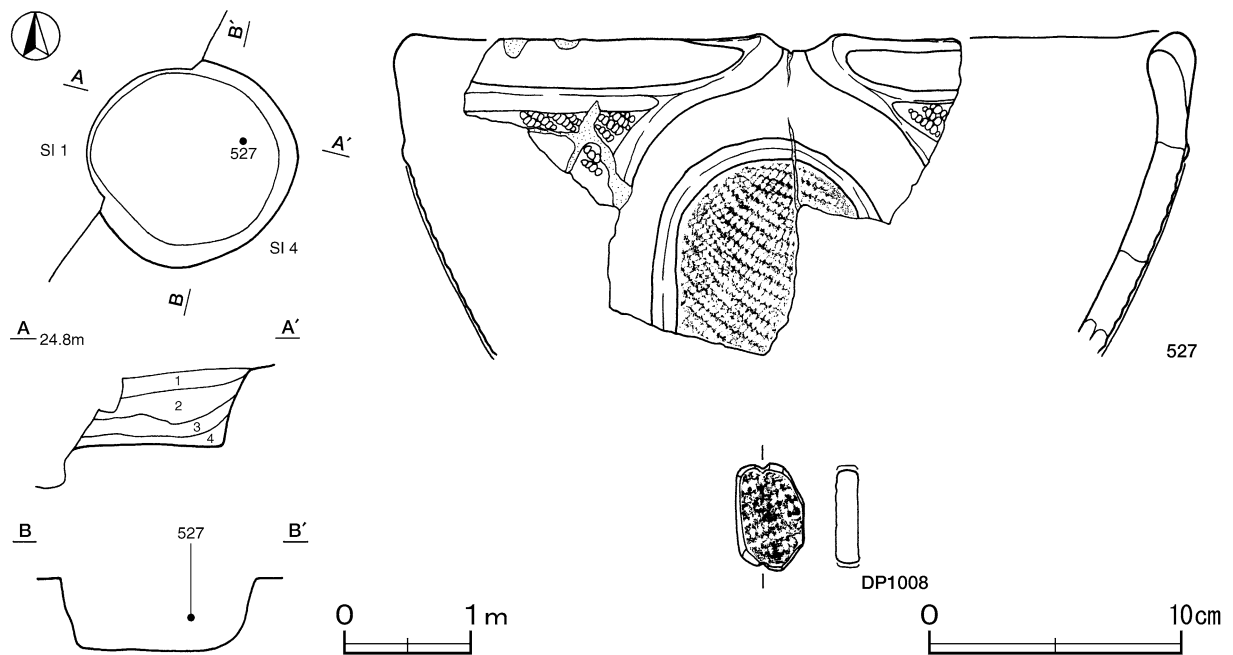
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
 2 褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 4 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片141点（深鉢）、土製品3点（土器片錘）、石器1点（剥片）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。その他、混入した土師器片2点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E IV（古）式期である。



第19図 第2号土坑・出土遺物実測図

第2号土坑出土遺物観察表（第19図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
527	縄文土器	深鉢	[30.1]	(12.7)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胴部は微隆帯によって楕円形区画を形成。縦位回転の2段LR単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す	覆土中層	10%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1008	土器片錘	4.2	2.7	0.9	14.8	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm	覆土	PL56

第3号土坑（第20図）

位置 調査区北部のD 5 d1区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.21m、短径1.12mの円形で、深さは13cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

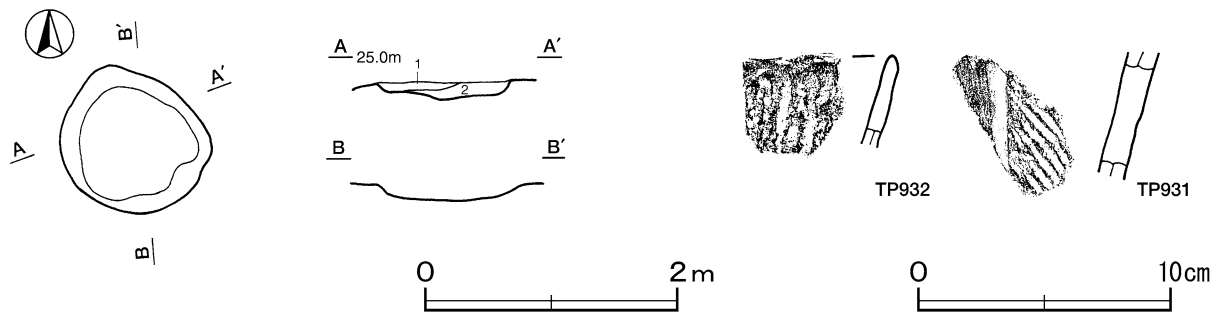
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量 2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片26点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第20図 第3号土坑・出土遺物実測図

第3号土坑出土遺物観察表（第20図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP931	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	石英・長石	にぶい褐	普通	縦位回転の2段LR単節縄文を施文後、沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土	
TP932	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	石英・長石・雲母	褐	普通	斜位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土	

第5号土坑（第21図）

位置 調査区北部のD5 d1区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.95m、短径0.82mの楕円形で、長径方向はN-45°-Eである。深さは18cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

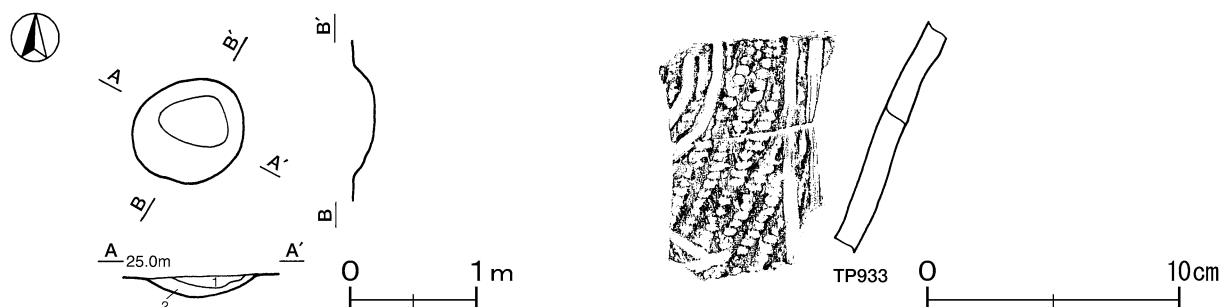
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片8点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から縄文時代中期後葉の加曾利EⅠ式期である。



第21図 第5号土坑・出土遺物実測図

第5号土坑出土遺物観察表（第21図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP933	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	石英・長石・雲母	明赤褐	普通	斜位回転の2段RL単節縄文を施文後、2・3本単位の沈線を垂下	覆土	

第6号土坑（第22図）

位置 調査区北部のD 5 c2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.96m、短径0.76mの楕円形で、長径方向はN - 38° - Wである。深さは20cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

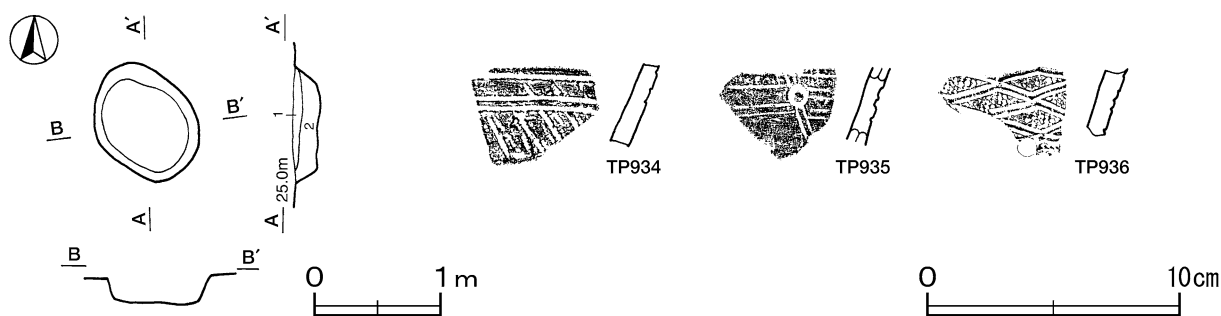
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から前期後葉の浮島 I a 式期である。



第22図 第6号土坑・出土遺物実測図

第6号土坑出土遺物観察表（第22図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP934	縄文土器	深鉢	-	(3.2)	-	石英・長石・雲母	明赤褐	普通	半截竹管による平行沈線を横位に施文 地文は付加条を施文	覆土	
TP935	縄文土器	深鉢	-	(3.1)	-	石英・長石	浅黄橙	普通	半截竹管による肋骨文と円形刺突文を施文	覆土	
TP936	縄文土器	深鉢	-	(2.7)	-	石英・長石・雲母	黒褐	普通	半截竹管による網目状文を施文 地文は2段LR単節縄文を施文	覆土	

第7号土坑（第23図）

位置 調査区北部のD 5 c1区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 北西・北東側は調査区域外に延びている。遺存状況は良好である。

規模と形状 北西・北東側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.89m、確認できた短径は1.02mで、本来は径1.30mほどの円形と推測できる。深さは38cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

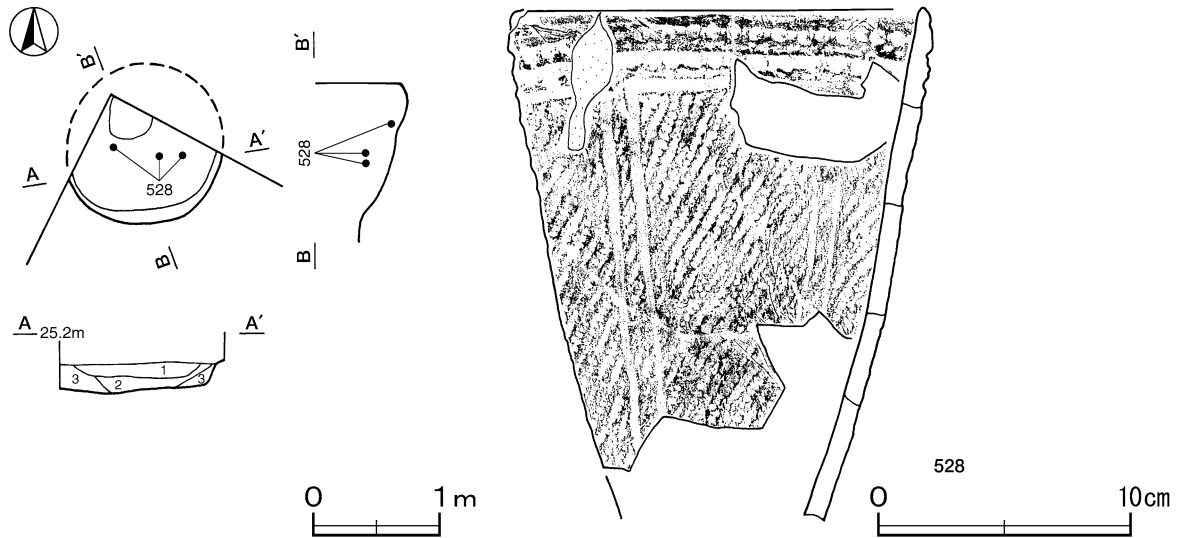
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片30点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。その他、混入した須恵器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利 E I（新）～ E II（古）式期である。



第23図 第7号土坑・出土遺物実測図

第7号土坑出土遺物観察表(第23図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
528	縄文土器	深鉢	[15.8]	(20.2)	-	石英・長石	橙	普通	口唇部に2段の連続する円形刺突と1条の沈線を巡らす 以下に縦位回転の2段LR単節縄文を施文後、2本単位の沈線を垂下	覆土下層	20%

第8号土坑(第24図)

位置 調査区北部のD5c2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 第9号土坑と接しているが、先後関係は不明である。

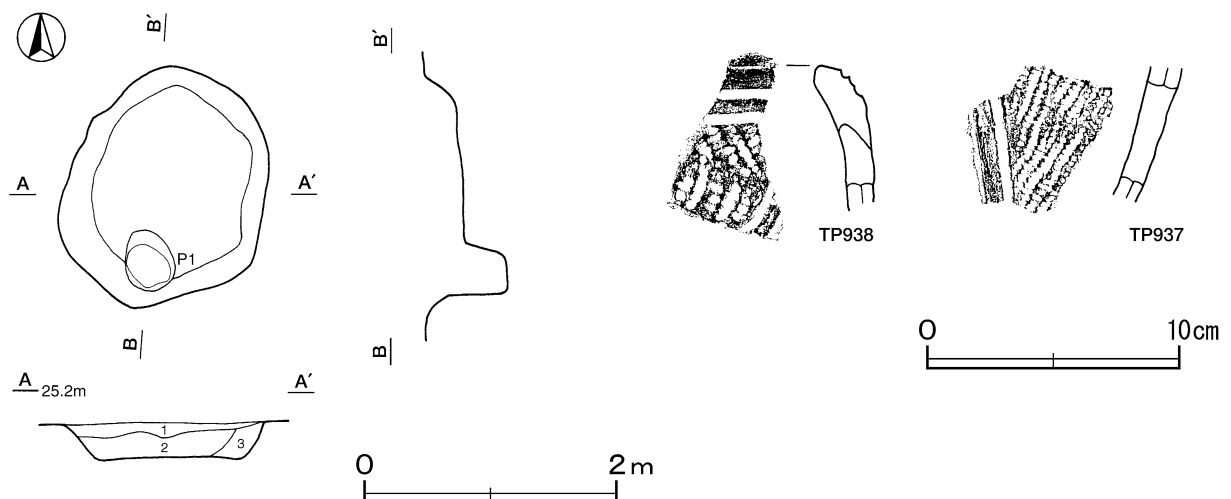
規模と形状 長径1.89m、短径1.57mの楕円形で、長径方向はN-24°-Eである。深さは30cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは32cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒微量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量、炭化物微量

- 3 暗褐色 ロームブロック少量



第24図 第8号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片65点（深鉢），石器1点（剥片）が，覆土下層から散在した状態で出土している。
所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期と推測できる。

第8号土坑出土遺物観察表（第24図）

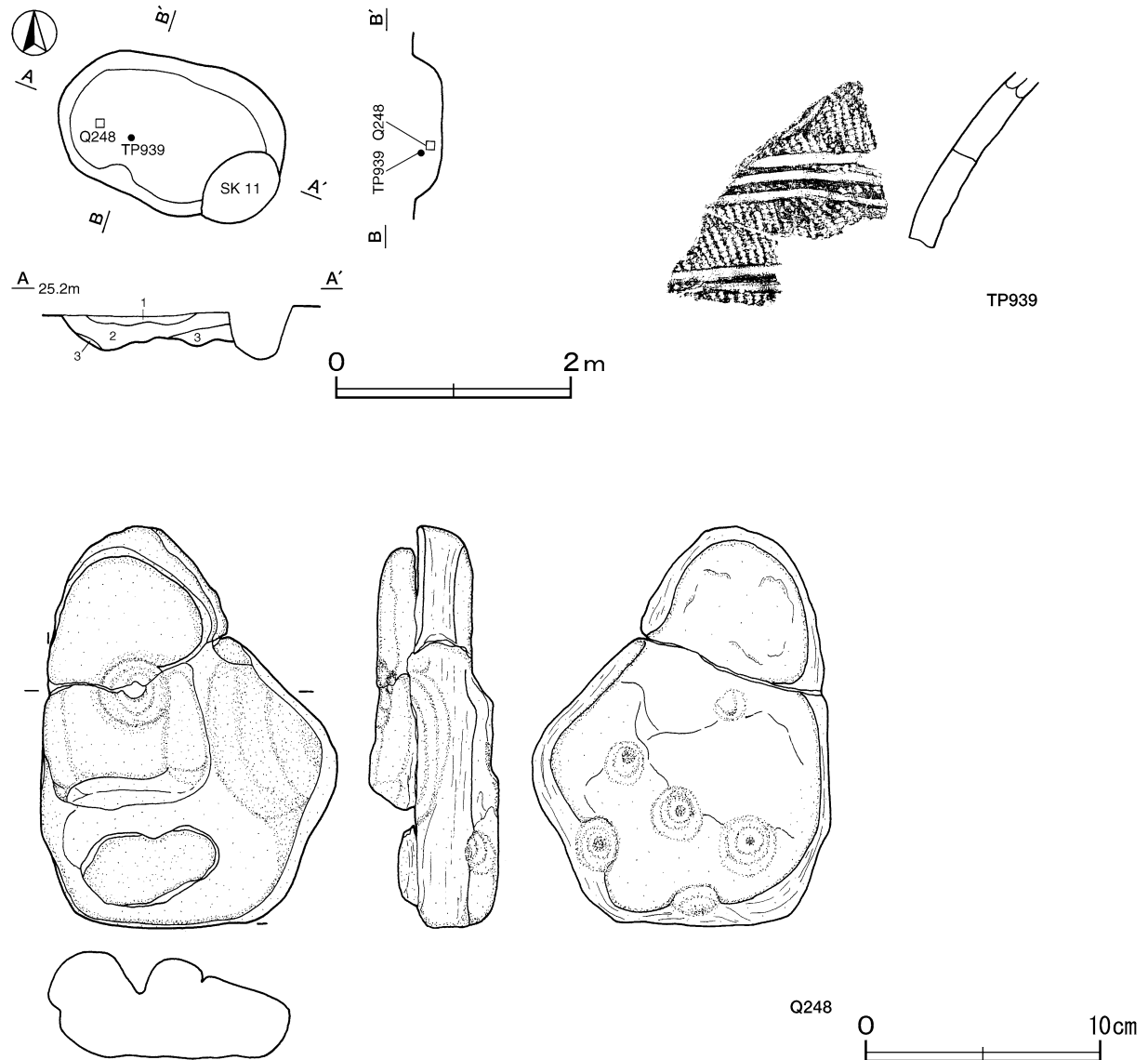
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP937	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	石英・長石	暗褐	普通	縦位回転の2段R L単節縄文を施文後，沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土	
TP938	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	石英・長石	暗褐	普通	口唇部に2条の沈線を巡らす 以下に縦位・横位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土	

第10号土坑（第25図）

位置 調査区北部のD 5 d2区で，標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第11号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第11号土坑に掘り込まれているため，確認できた長径は1.50mで，本来は長径2.00mほど，短径1.34mで，長径方向はN - 70° - Wの楕円形と推測できる。深さは24cmで，壁は緩やかに立ち上がっ



第25図 第10号土坑・出土遺物実測図

ている。底面は波板状の凹凸を有している。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片30点(深鉢), 石器5点(石皿)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。

第10号土坑出土遺物観察表(第25図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP939	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐色	普通	斜位回転の2段LR単節縄文を施文後, 2・3本単位の沈線を横位2段に巡らす	覆土中層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q248	石皿	(17.0)	(12.6)	(5.1)	(1139.5)	雲母片岩	片面に皿状の擦り面 縁辺部に複数の断面形がV字状の凹み	覆土中層	

第11号土坑(第26図)

位置 調査区北部のD 5 d2区で, 標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第10号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.77m, 短径0.60mの楕円形で, 長径方向はN - 45° - Eである。深さは60cmで, 壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

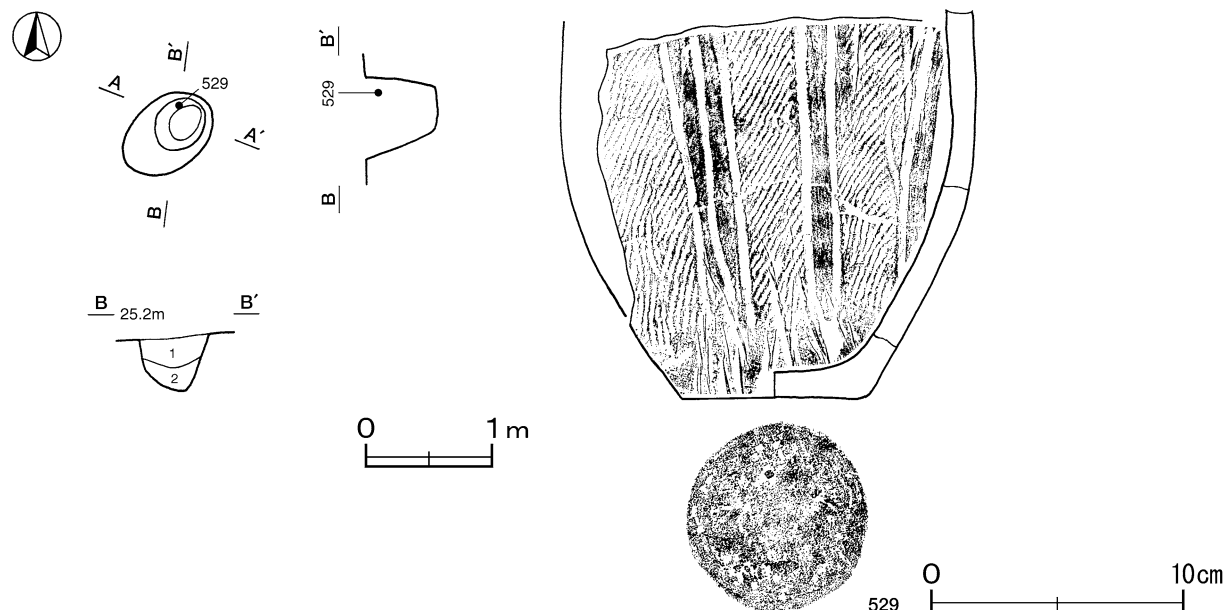
覆土 2層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片21点(深鉢)が, 覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利E II (新) 式期である。



第26図 第11号土坑・出土遺物実測図

第11号土坑出土遺物観察表（第26図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
529	縄文土器	深鉢	-	(15.2)	7.2	石英・長石・雲母	橙	普通	縦位・斜位回転の2段R L単節縄文を施文後、2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 底部縄痕	覆土上層	30%

第13号土坑（第27図）

位置 調査区北部のD 5 c1区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.65m，短径0.60mの不整形円で、深さは37cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

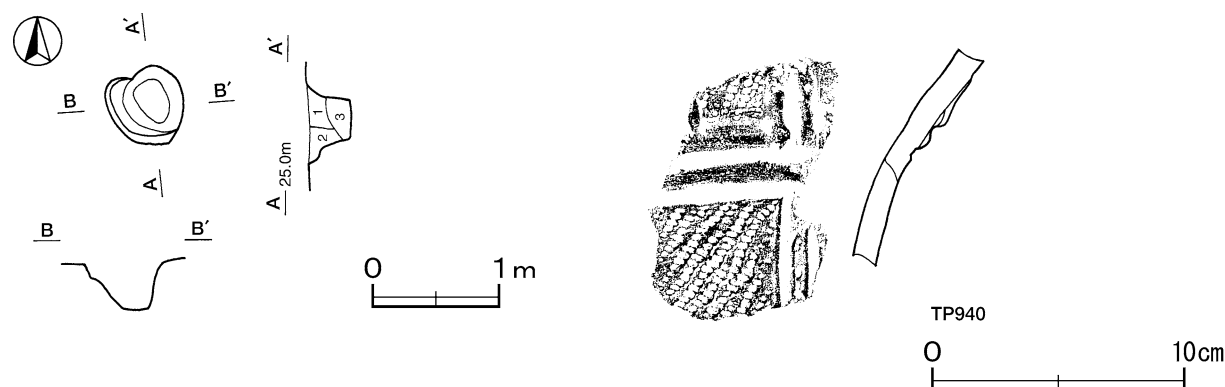
覆土 3層からなる。不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片11点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I（古）式期である。



第27図 第13号土坑・出土遺物実測図

第13号土坑出土遺物観察表（第27図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP940	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	石英・長石・雲母	にびい褐	普通	2本単位の隆帯を垂下させた沈線を沿わせた2本単位の隆帯を横位に巡らす。2本単位の沈線を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	

第14号土坑（第28図）

位置 調査区北部のD 5 e4区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.10m，短径1.60mの楕円形で、長径方向はN - 21° - Eである。深さは20cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側にピットが存在し、P1の深さは16cm，P2の深さは38cmである。

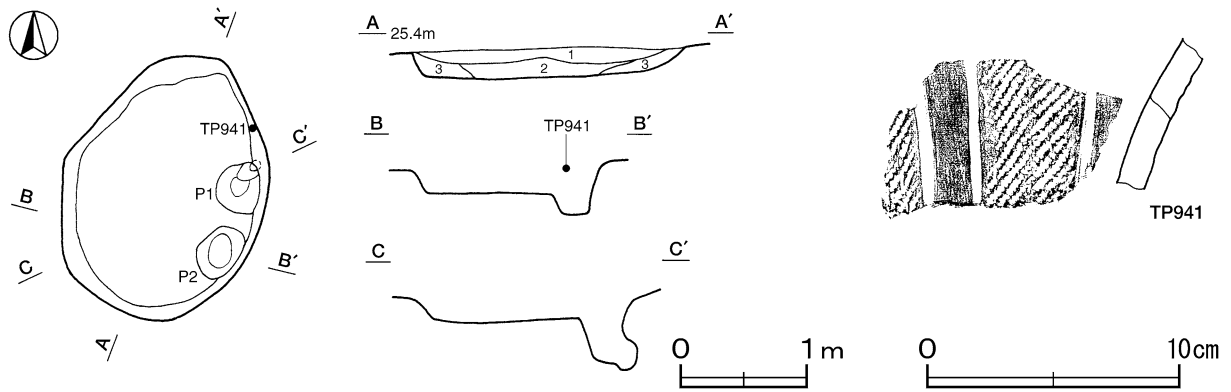
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック中量，炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量，炭化物微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片18点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第28図 第14号土坑・出土遺物実測図

第14号土坑出土遺物観察表 (第28図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP941	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐	普通	縦位回転の2段R L単節縄文を施文後、沈線を伴う磨り消し帯を垂下	覆土上層	

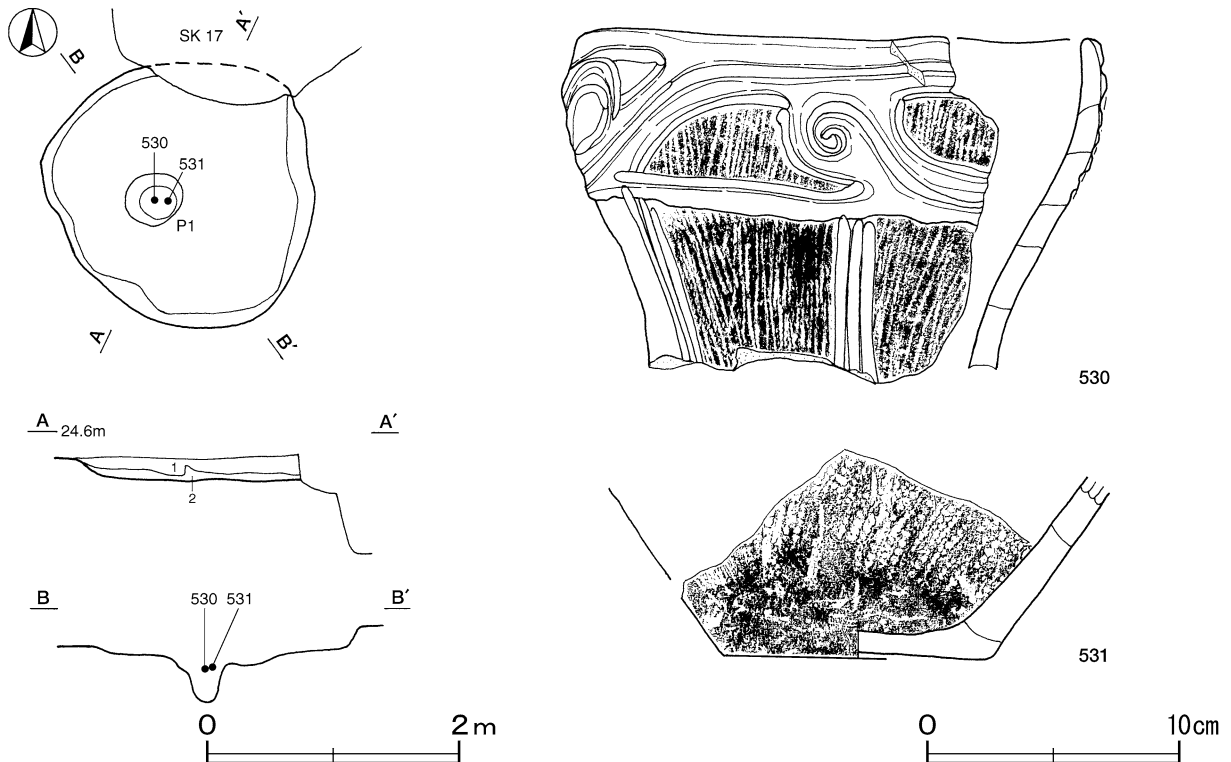
第16号土坑 (第29図)

位置 調査区北部のD 4 e8区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第17号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.18m、短径2.11mの円形で、深さは28cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。中央部西寄りにP1が存在し、深さは32cmである。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。



第29図 第16号土坑・出土遺物実測図

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片39点（深鉢）、石器2点（剥片）が、覆土下層から散在した状態で出土している。**所見** 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。**第16号土坑出土遺物観察表（第29図）**

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
530	縄文土器	深鉢	[21.2]	(13.9)	-	石英・長石・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状・稜状のモチーフを描出。胴部は3本単位の沈線を垂下。区画内は燃糸文を施文	P1覆土	10%
531	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	10.4	石英・長石・雲母	明赤褐	普通	縦位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	P1覆土	10%

第17号土坑（第30図）**位置** 調査区北部のD4e8区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。**重複関係** 第16号土坑を掘り込み、第22号土坑に掘り込まれている。**規模と形状** 長径2.07m、短径2.00mの円形で、深さは35cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。**覆土** 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。**土層解説**

1 暗褐色 ロームブロック少量

3 暗褐色 ロームブロック微量

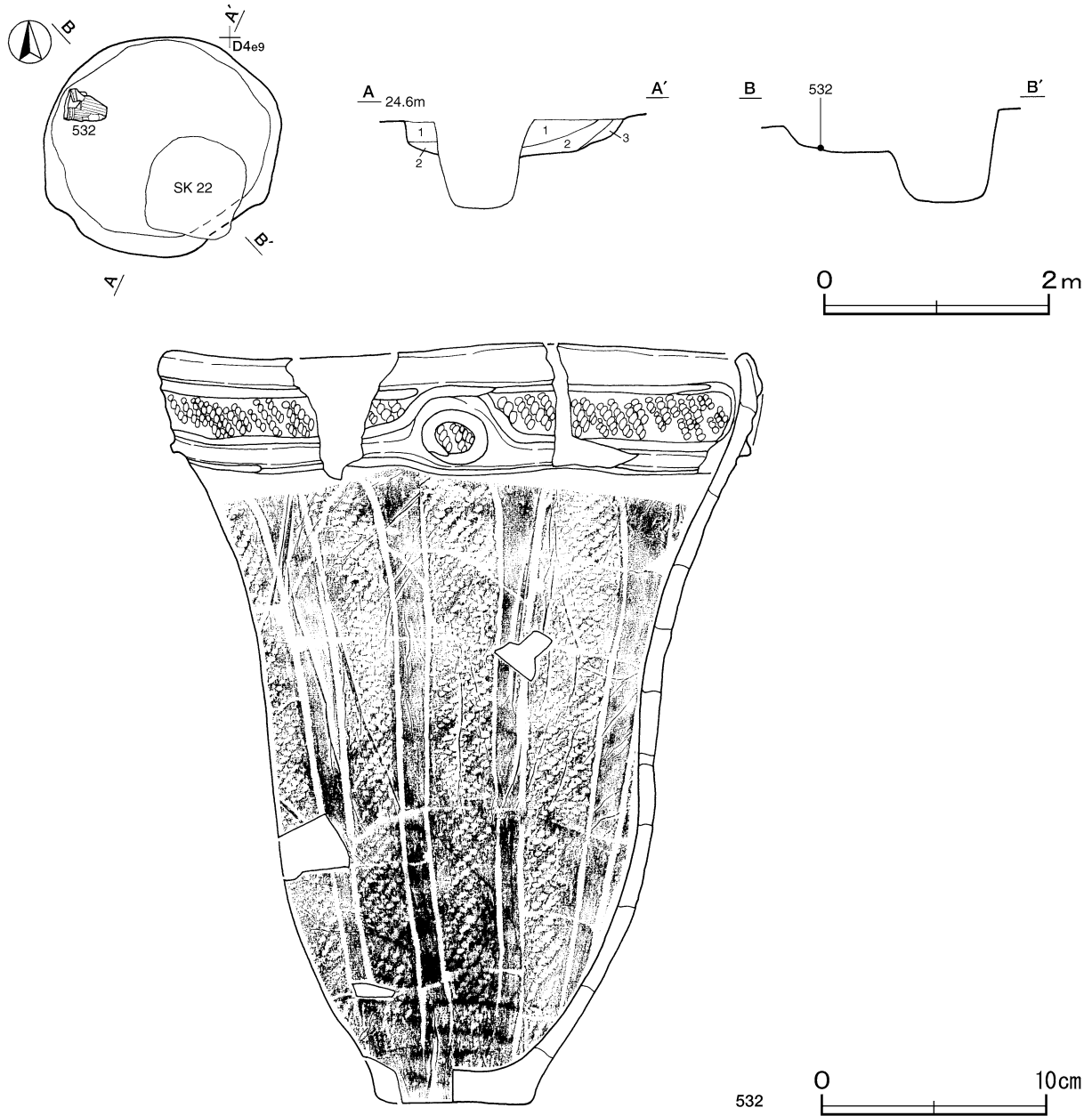
2 黒褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片90点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。532は西側の底面直上から横転した状態で出土している。**所見** 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。**第18号土坑（第31図）****位置** 調査区北部のD4h8区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。**重複関係** 第31号土坑を掘り込み、第20・21号土坑に掘り込まれている。**規模と形状** 長径2.19m、短径2.18mの円形で、深さは30cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁際にP1が存在し、深さは16cmである。**覆土** 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。**土層解説**

1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片105点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。**所見** 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。**第19号土坑（第32図）****位置** 調査区北部のD4i8区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。**確認状況** 第31号土坑と接しているが、先後関係は不明である。**規模と形状** 長径1.07m、短径0.93mの楕円形で、長径方向はN-44°-Wである。深さは28cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。



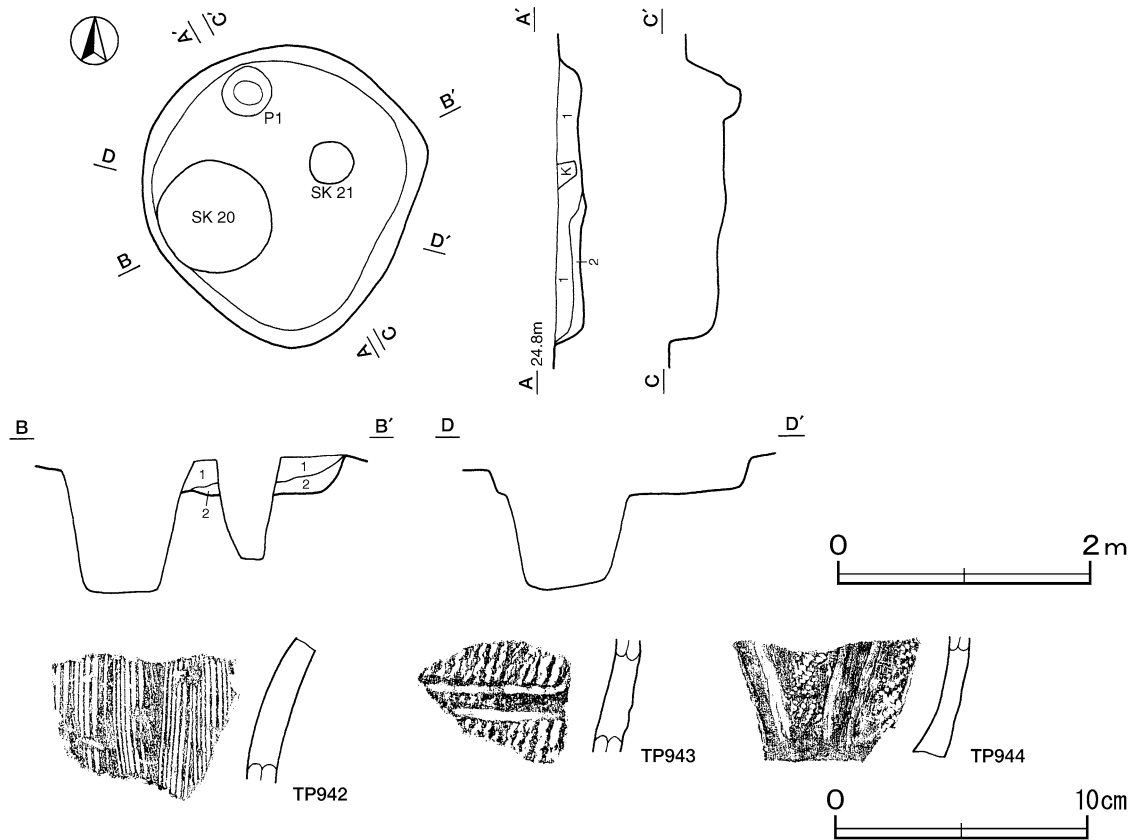
第30図 第17号土坑・出土遺物実測図

第17号土坑出土遺物観察表 (第30図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
532	縄文土器	深鉢	25.8	33.9	6.8	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部は隆帯と沈線によって円形や杵状のモチーフを描出。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位回転、胴部が縦位回転の2段R.L.単節縄文を施文	底面	90% PL43

第18号土坑出土遺物観察表 (第31図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP942	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	石英・長石	褐	普通	6本単位の条線を縦位に施文	覆土	
TP943	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	石英・長石	明褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を横位に巡らす。地文は撚糸文を施文	覆土	
TP944	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は縦位回転の2段R.L.単節縄文を施文	覆土	



第31図 第18号土坑・出土遺物実測図

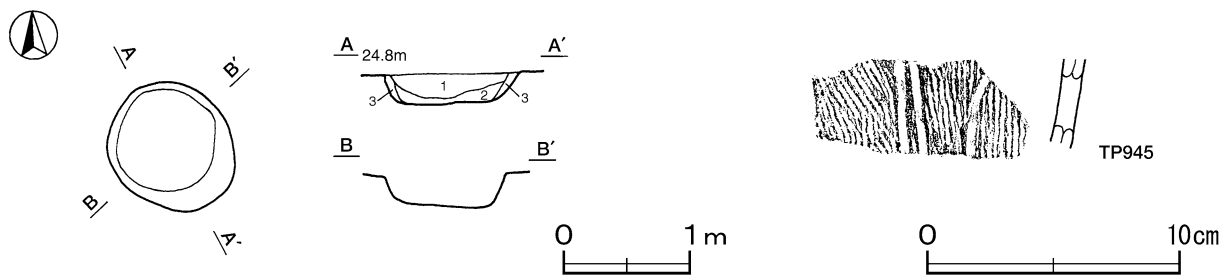
覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片47点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第32図 第19号土坑・出土遺物実測図

第19号土坑出土遺物観察表（第32図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP945	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	石英・長石	橙	普通	1・2本単位の沈線を垂下 地文は燃糸文を施文	覆土	

第20号土坑（第33図）

位置 調査区北部のD 4 h8区で，標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第18号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.12m，短径1.04mの円形で，深さは75cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

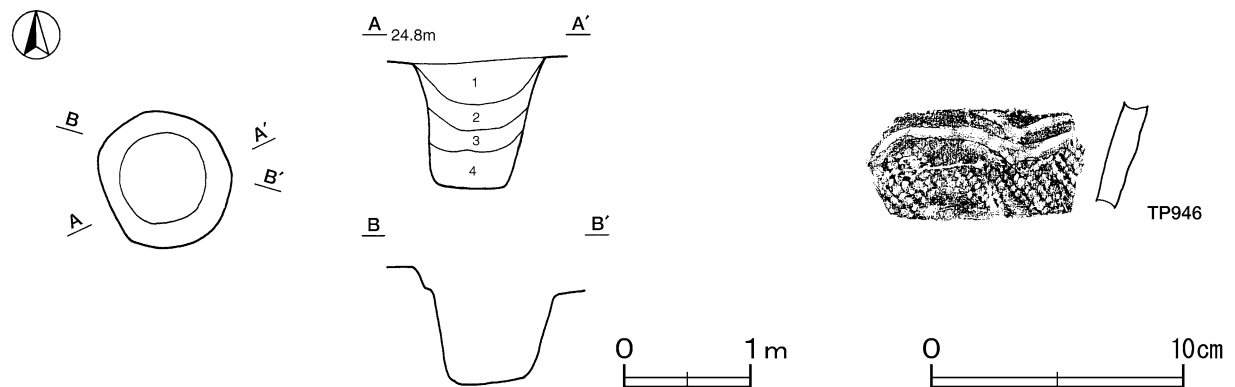
覆土 4層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片42点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第33図 第20号土坑・出土遺物実測図

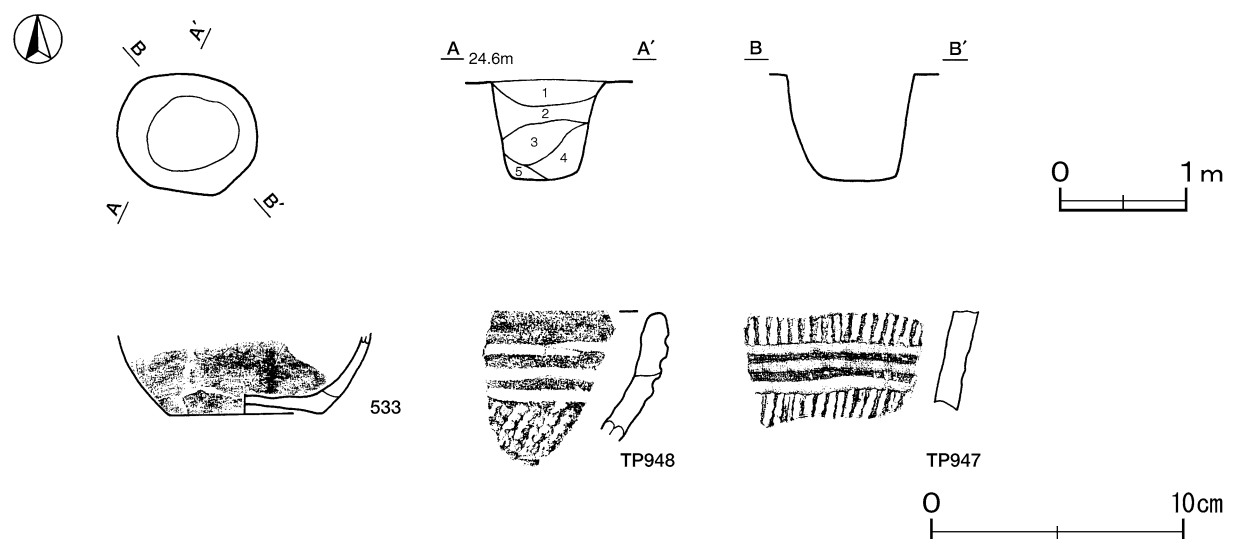
第20号土坑出土遺物観察表（第33図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP946	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	-	石英・長石	橙	普通	2本単位の波状の沈線を横位に巡らす は縦位回転の2段L R単節縄文を施文	地文 覆土	

第22号土坑（第34図）

位置 調査区北部のD 4 e8区で，標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第17号土坑を掘り込んでいる。



第34図 第22号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径1.10m，短径0.93mの円形で，深さは83cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 5層に分かれ，不自然な堆積状況から，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片10点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E II（新）式期である。

第22号土坑出土遺物観察表（第34図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
533	縄文土器	鉢	-	(3.3)	6.0	石英・長石・雲母	黄橙	普通	無文	覆土	10%
TP947	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	擦糸文を施文後，3本の沈線を伴う磨り消し帯を横位に巡らす	覆土	
TP948	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	石英・長石	橙	普通	口唇部は無文で3本の沈線を巡らす 以下に縦位回転の3段R L R複節縄文を施文	覆土	

第23号土坑（第35図）

位置 調査区北部のD 4 h8区で，標高24.6mの台地平坦部に位置している。

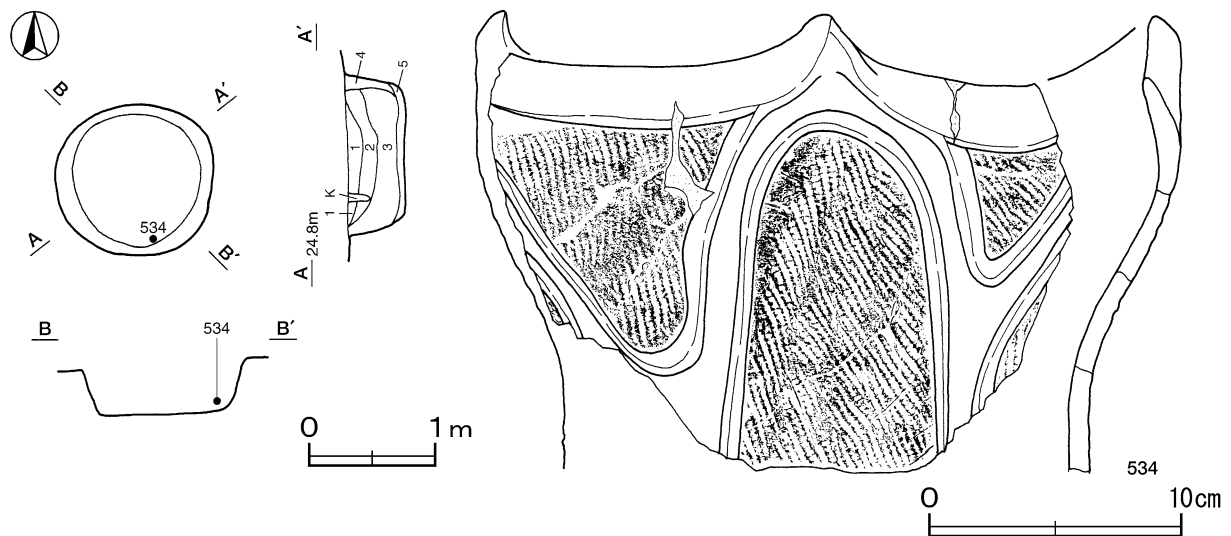
確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.23m，短径1.18mの円形で，深さは40cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 5層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------|------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | 5 褐色 | ロームブロック多量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量 | | |



第35図 第23号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片23点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ（古）式期である。

第23号土坑出土遺物観察表（第35図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
534	縄文土器	深鉢	[26.2]	(18.1)	-	石英・長石・雲母	黄橙	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胴部は微隆帯によって楕円形や逆三角形区画を形成。縦位回転の2段LR単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す	覆土下層	15%

第24号土坑（第36図）

位置 調査区北部のD5e2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第30号土坑を掘り込み、第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号溝に掘り込まれているため、確認できた長径は1.04mで、本来は長径1.70mほど、短径1.02mで、長径方向はN-33°-Eの楕円形と推測できる。深さは27cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

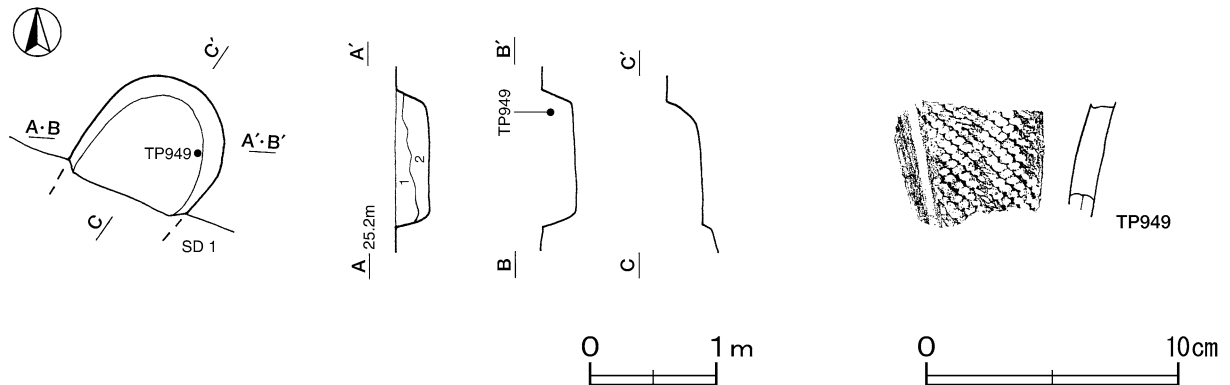
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片9点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第36図 第24号土坑・出土遺物実測図

第24号土坑出土遺物観察表（第36図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP949	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	石英・長石	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は縦位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土上層	

第25号土坑（第37図）

位置 調査区北部のD4g8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号炉穴、第26号土坑を掘り込んでいます。

規模と形状 長径1.05m、短径0.94mの楕円形で、長径方向はN-64°-Eである。深さは19cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

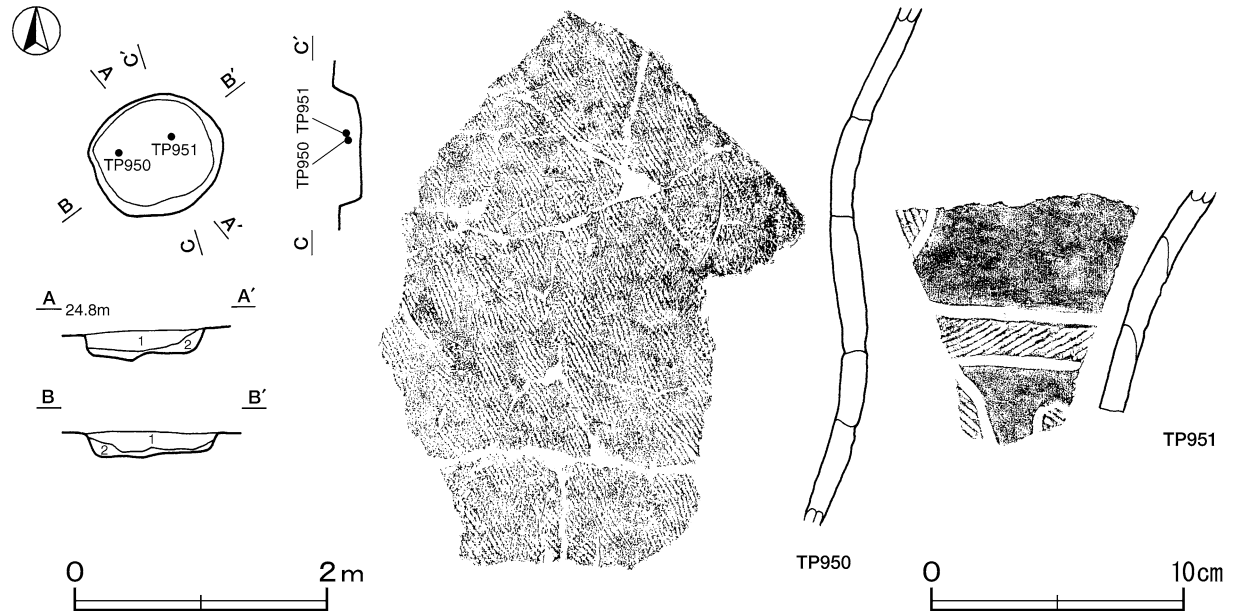
覆土 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉から後期前葉の加曾利 E IV（新）～称名寺（古）式期である。



第37図 第25号土坑・出土遺物実測図

第25号土坑出土遺物観察表（第37図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP950	縄文土器	深鉢	-	(20.5)	-	石英・長石	にぶい褐	普通	地文は縦位回転の1段L無節縄文を施文	覆土中層	
TP951	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	沈線でJ字状ないしその変形したモチーフを描出 沈線間を1段L無節縄文で充填	覆土中層	PL52

第26号土坑（第38図）

位置 調査区北部のD 4 g 8区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

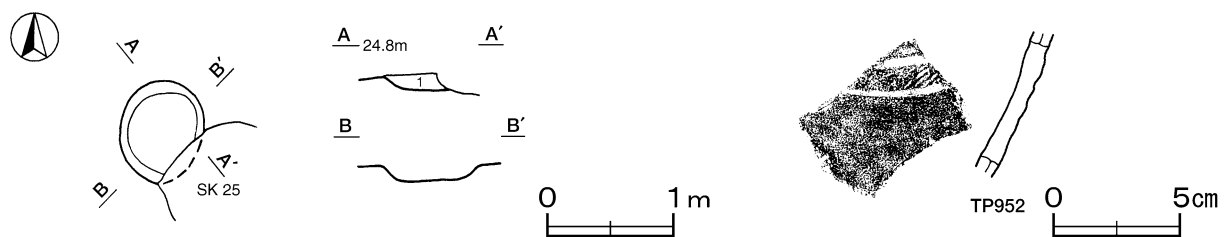
重複関係 第25号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径0.82m、短径0.64mの楕円形で、長径方向はN - 6° - Eである。深さは13cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量



第38図 第26号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片17点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉から後期前葉の加曾利EⅣ（新）～称名寺（古）式期である。

第26号土坑出土遺物観察表（第38図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP952	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	沈線でモチーフを描出 沈線間を1段L無節縄文で充填	覆土	

第28号土坑（第39図）

位置 調査区北部のD5e3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第29号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.30m、短径1.10mの楕円形で、長径方向はN - 50° - Wである。深さは22cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

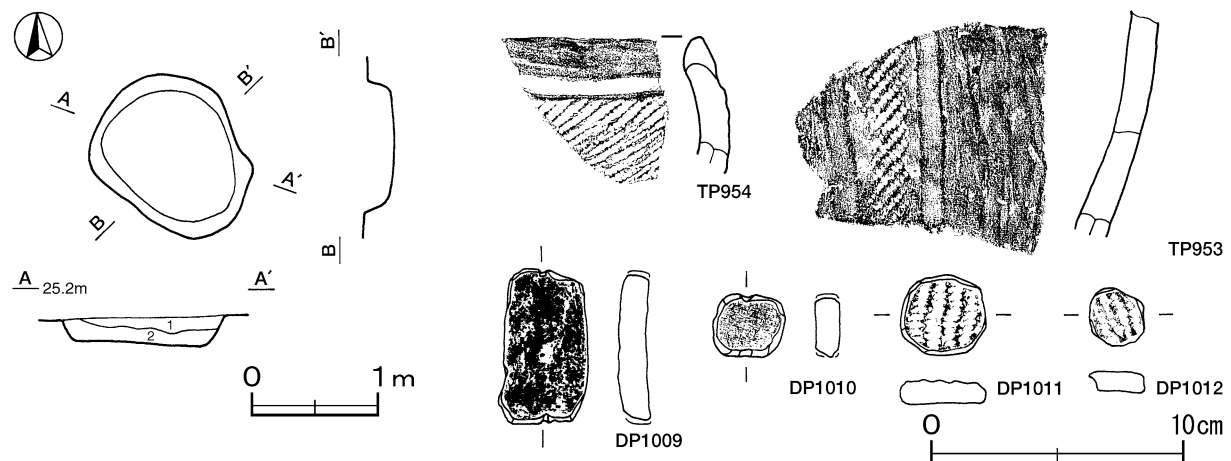
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片89点（深鉢）、土製品4点（土器片錘2，土器片円盤2），礫1点が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ～Ⅳ式期と推測できる。



第39図 第28号土坑・出土遺物実測図

第28号土坑出土遺物観察表（第39図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP953	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	2本の太い凹線を垂下 凹線間を縦位回転の2段R L単節縄文で充填	覆土	
TP954	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	無文の口唇部下に凹線を巡らす 以下に2段L R単節縄文を施文	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1009	土器片錘	6.2	3.5	1.1	33.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.8cm	覆土	PL56
DP1010	土器片錘	2.5	2.8	0.9	9.6	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.3cm	覆土	PL56

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1011	土器片円盤	3.1	3.3	0.9	13.1	縄文土器	周縁研磨調整	覆土	PL56
DP1012	土器片円盤	2.3	2.2	0.9	5.4	縄文土器	周縁研磨調整	覆土	PL56

第29号土坑（第40図）

位置 調査区北部のD 5 e3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第28号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 東側が第28号土坑に掘り込まれているため、長径0.85m、確認できた短径は0.47mで、本来は短径0.70mほどで、長径方向はN - 38° - Eの楕円形と推測できる。深さは10cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

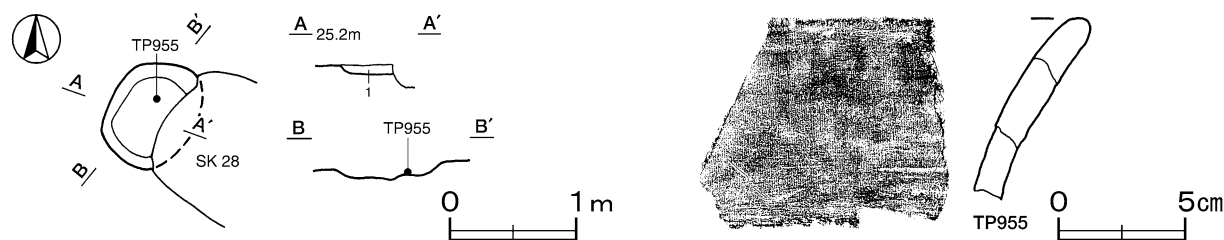
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第40図 第29号土坑・出土遺物実測図

第29号土坑出土遺物観察表（第40図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP955	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	無文	底面	

第30号土坑（第41図）

位置 調査区北部のD 5 e2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第24号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第24号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.44m、確認できた短径は0.93mで、本来は長径1.30m、短径1.00mほどで、長径方向はN - 70° - Eの楕円形と推測できる。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 2層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

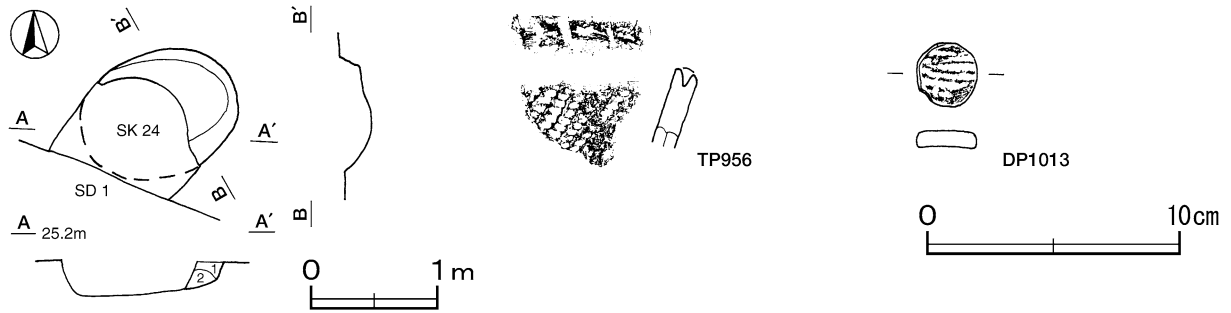
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒微量

2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片17点（深鉢）、土製品1点（土器片円盤）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ～Ⅲ式期と推測できる。



第41図 第30号土坑・出土遺物実測図

第30号土坑出土遺物観察表（第41図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP956	縄文土器	深鉢	-	(3.2)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	2段R L単節縄文を施文 破断面の粘土紐に刺突痕	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1013	土器片円盤	2.5	2.5	0.7	6.2	縄文土器	周縁研磨調整	覆土	PL56

第32号土坑（第42図）

位置 調査区北部のD 4 h9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号住居，第34号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第2号住居に掘り込まれているため，確認できた長径は1.20m，確認できた短径は1.08mで，本来は長径1.20m，短径1.10mほどの円形と推測できる。深さは29cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，北壁際にP1が存在し，深さは13cmである。

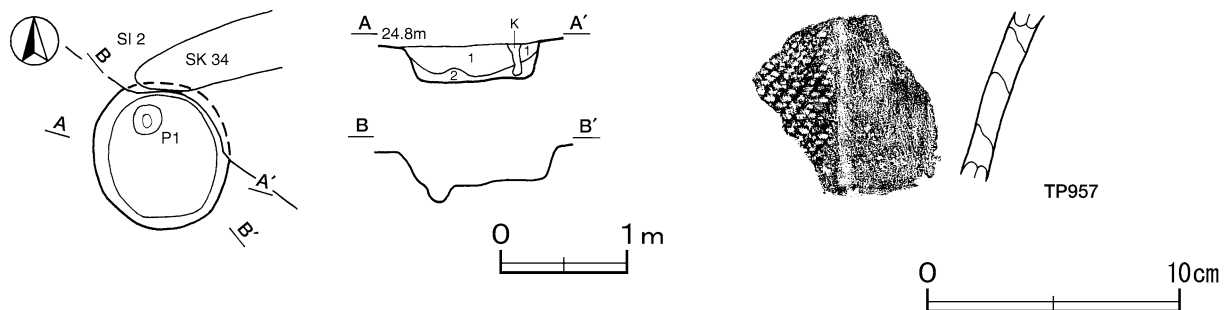
覆土 2層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片15点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E III～IV式期と推測できる。



第42図 第32号土坑・出土遺物実測図

第32号土坑出土遺物観察表（第42図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP957	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	石英・長石・雲母	にぶい黄橙	普通	磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	覆土	

第33号土坑（第43図）

位置 調査区北部のD 5 h1区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.15m、短径1.10mの円形で、深さは10cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

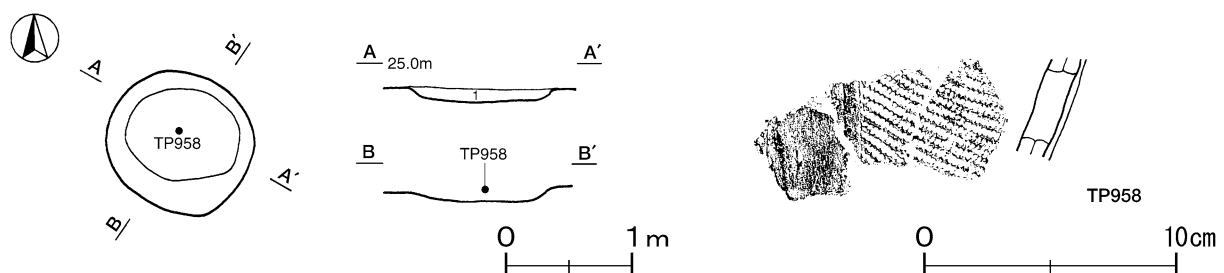
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片15点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E IV式期である。



第43図 第33号土坑・出土遺物実測図

第33号土坑出土遺物観察表（第43図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP958	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	石英・長石	褐	普通	微隆帯を垂下。微隆帯間は磨り消す。地文は2段LR単節縄文を施文。	覆土上層	

第37号土坑（第44図）

位置 調査区北部のD 4 j9区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第38号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.46m、短径1.56mの楕円形で、長径方向はN - 76° - Wである。深さは31cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側から南側にかけてピットが存在し、P1～P5の深さは10～49cmである。

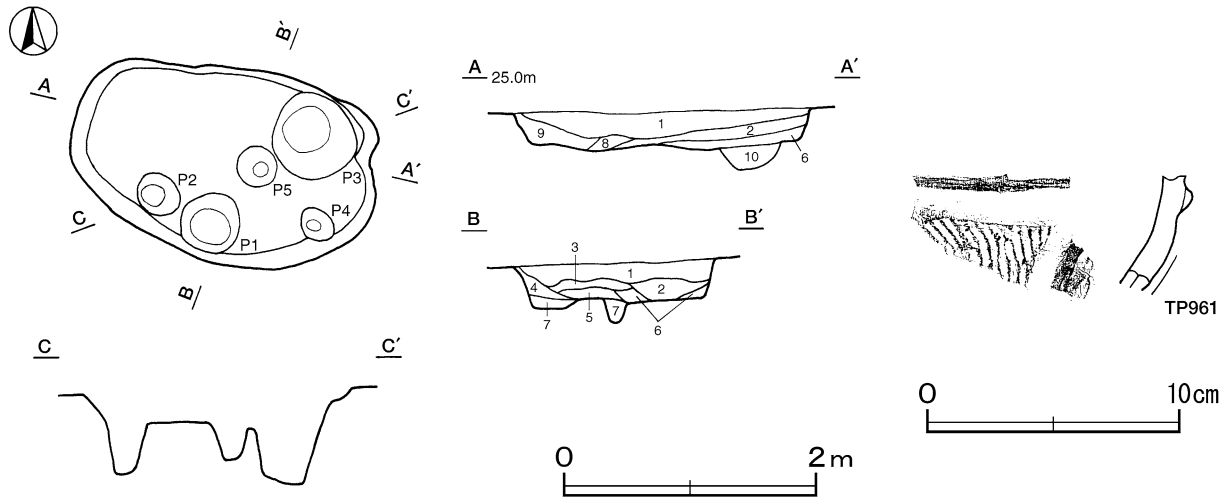
覆土 10層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

1 暗褐色	ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化粒子微量	6 褐色	ロームブロック中量，炭化粒子微量
2 黒褐色	ロームブロック少量，焼土粒子微量	7 暗褐色	ロームブロック中量
3 暗褐色	ロームブロック少量	8 黒褐色	ロームブロック中量
4 褐色	ロームブロック少量	9 暗褐色	ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
5 褐色	ロームブロック中量	10 褐色	ロームブロック多量

遺物出土状況 縄文土器片71点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第44図 第37号土坑・出土遺物実測図

第37号土坑出土遺物観察表（第44図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP961	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐	普通	縦位・斜位回転の2段LR単節縄文を施文後、沈線を沿わせた隆帯を横位及び曲線的に施文	覆土	

第41号土坑（第45図）

位置 調査区北部のD4j7区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.52m、短径0.42mの楕円形で、長径方向はN-4°-Wである。深さは21cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片6点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から前期中葉の植房式期である。



第45図 第41号土坑・出土遺物実測図

第41号土坑出土遺物観察表（第45図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP962	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	石英・長石・繊維	橙	普通	半截竹管による横位の櫛歯状文を施文	覆土	

第43号土坑（第46図）

位置 調査区北部のD 4 h7区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.46m，短径0.42mの円形で、深さは32cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

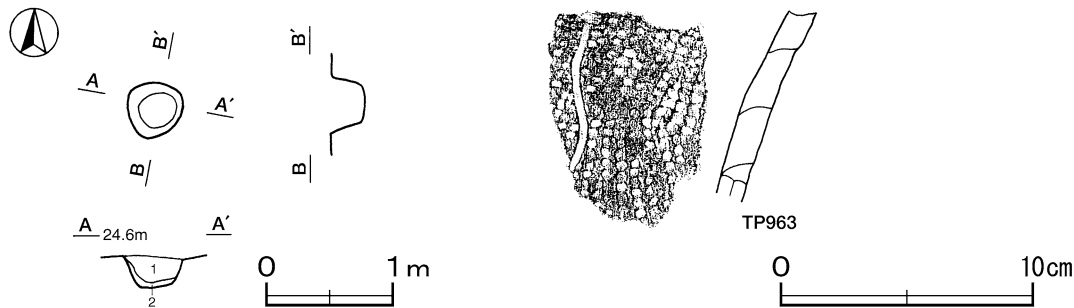
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 2 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片5点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利E I式期である。



第46図 第43号土坑・出土遺物実測図

第43号土坑出土遺物観察表（第46図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP963	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	石英・長石	にぶい褐	普通	蛇行する沈線を垂下 R L単節縄文を施文 地文は斜位回転の2段	覆土	

第44号土坑（第47図）

位置 調査区北部のD 4 j9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径1.06m，短径1.04mの円形である。深さは51cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径1.27m，短径1.11mの楕円形で、ほぼ平坦である。

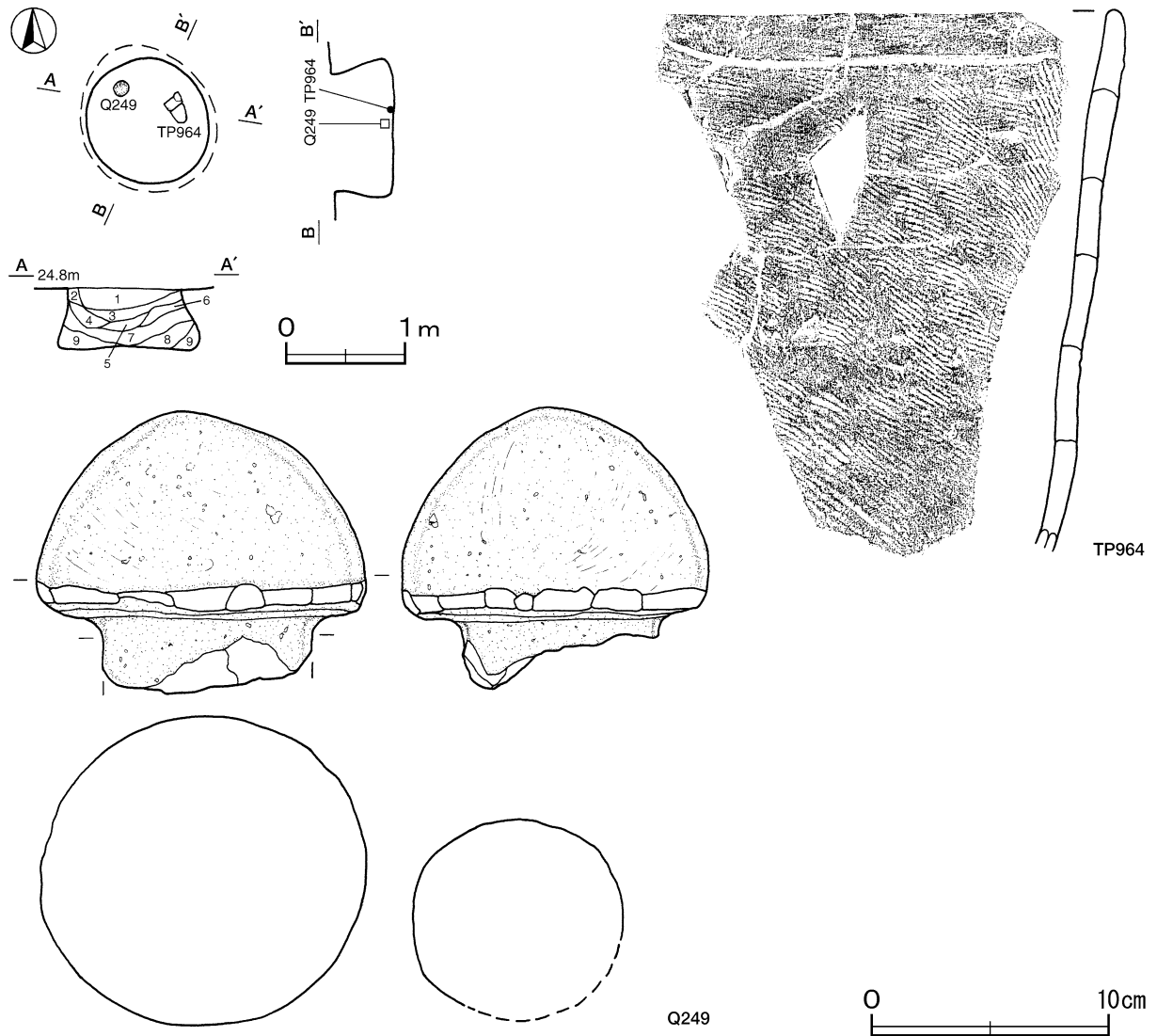
覆土 9層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量 6 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量
 2 褐色 ロームブロック中量 7 黒褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量
 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 8 黒褐色 ロームブロック中量
 4 暗褐色 ロームブロック少量，焼土ブロック微量 9 褐色 ロームブロック多量
 5 褐色 ロームブロック中量，炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片115点（深鉢），石器2点（石棒，剥片）が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。Q249は、北西側の底面直上から立位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利E III（新）式期である。形状から、フラスコ状土坑である。



第47図 第44号土坑・出土遺物実測図

第44号土坑出土遺物観察表 (第47図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP964	縄文土器	深鉢	-	(22.7)	-	石英・長石	浅黄橙	普通	無文の口唇部下に1条の沈線を巡らす以下に斜位回転の1段L無節縄文を施文	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q249	石棒	(11.9)	(13.9)	(12.9)	(229.4)	花崗岩	丁寧な研磨・敲打調整 頭部下端は横長の剥離痕が連続する	覆土下層	PL55

第45号土坑 (第48図)

位置 調査区北部のD 4 d8区で、標高24.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.60m、短径1.88mの楕円形で、長径方向はN - 51° - Eである。深さは25cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北東壁際、中央部の南西寄りにピットが存在し、P1の深さは24cm、P2の深さは46cmである。

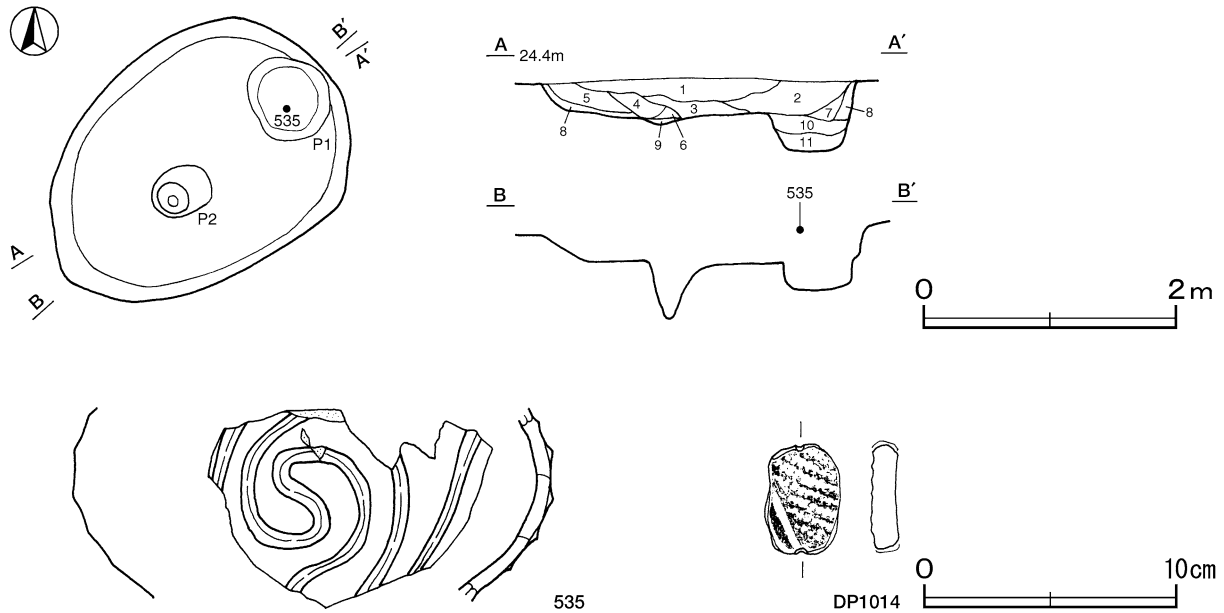
覆土 11層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|--------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 8 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量, 炭化物微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック多量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量 | 11 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物微量 |
| 6 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片92点(深鉢), 土製品2点(土器片錘)が, 覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。その他, 混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ~Ⅳ式期と推測できる。



第48図 第45号土坑・出土遺物実測図

第45号土坑出土遺物観察表(第48図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
535	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	石英・長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを描出 丁寧なナデ	覆土上層	10%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1014	土器片錘	4.3	3.0	1.1	18.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.1cm	覆土	PL56

第46号土坑(第49図)

位置 調査区北部のD4e0区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径2.08m, 短径1.71mの不整楕円形である。深さは65cm, 壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径2.19m, 短径2.02mの円形で, ほぼ平坦である。

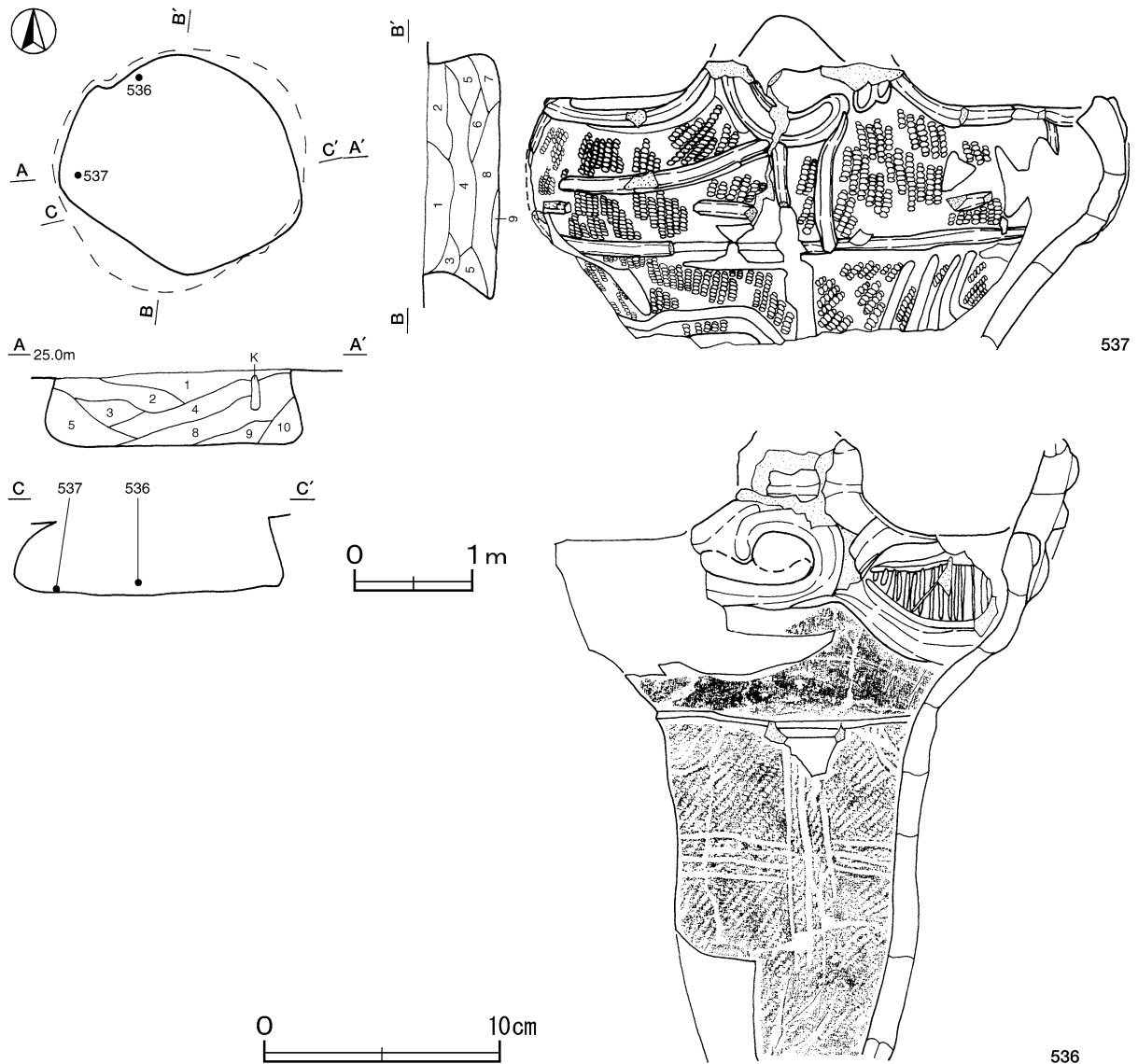
覆土 10層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|----------|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 6 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック微量 | 7 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 8 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量 | 9 褐色 | ロームブロック多量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 10 褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片298点(深鉢)が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。537は、西側の底面直上から逆位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I(古)式期である。形状から、フラスコ状土坑である。



第49図 第46号土坑・出土遺物実測図

第46号土坑出土遺物観察表(第49図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
536	縄文土器	深鉢	-	(26.0)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口縁部は隆帯によって渦巻状・クランク状・杵状のモチーフを描出。胴部は沈線を曲線的に施文。地文は縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文。	覆土下層	35%
537	縄文土器	深鉢	[21.2]	(13.9)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状・杵状のモチーフを描出。区画内には集合沈線を充填。頸部は無文。胴部は2・3本単位の沈線で半球状・格子状のモチーフを描出。地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文。	底面	20%

第47号土坑(第50図)

位置 調査区北部のD 4 f 0区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第48号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.02m, 短径1.63mの不整楕円形で, 長径方向はN - 23° - Wである。深さは32cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 東壁際にP1が存在し, 深さは60cmである。

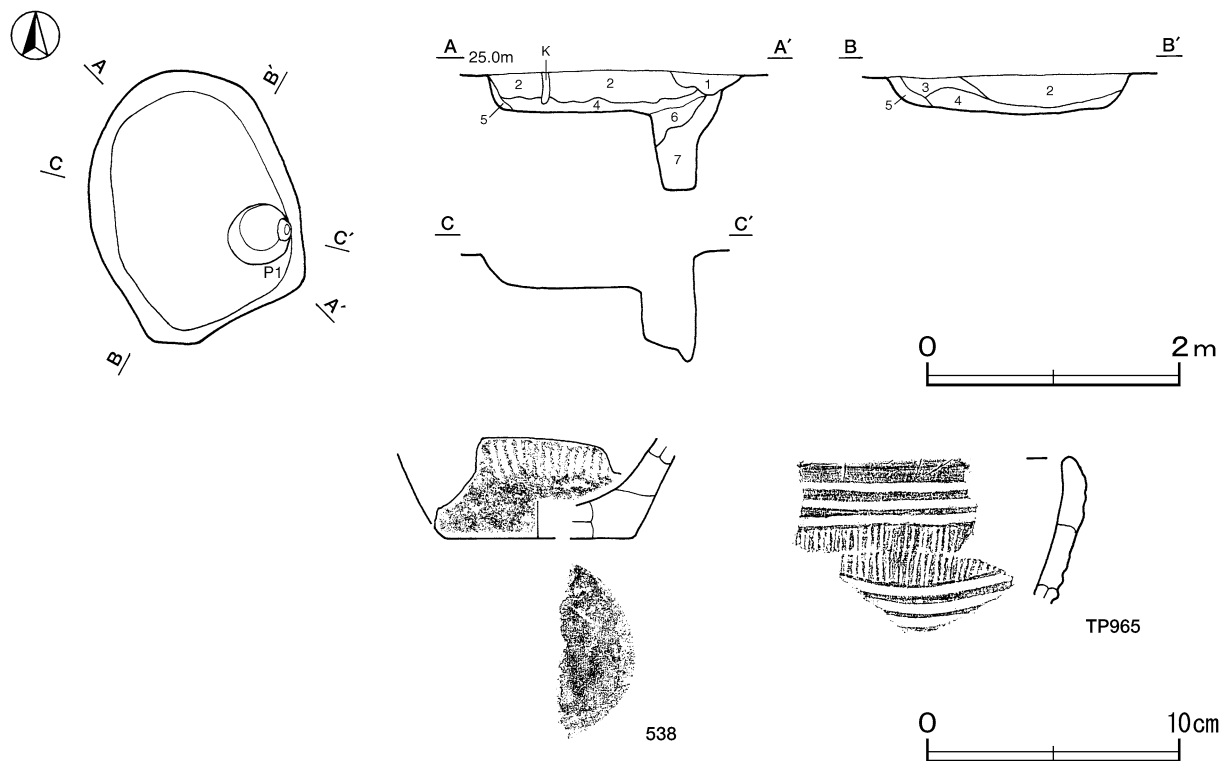
覆土 7層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-----------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量 | 5 褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化物・焼土粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片124点(深鉢)が, 覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第50図 第47号土坑・出土遺物実測図

第47号土坑出土遺物観察表(第50図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
538	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	[7.5]	石英・長石・雲母	橙	普通	燃糸文を施文 底部網代痕	覆土	10%
TP965	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	石英・長石	橙	普通	口唇部は無文で3本の沈線を巡らす 口縁部は沈線を伴う磨り消し帯で連弧状のモチーフを描出 地文は燃糸文を施文	覆土	

第49号土坑(第51図)

位置 調査区北部のD 4 e9区で, 標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第50号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.39m, 短径1.35mの円形で, 深さは34cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 南西壁際にP1が存在し, 深さは19cmである。

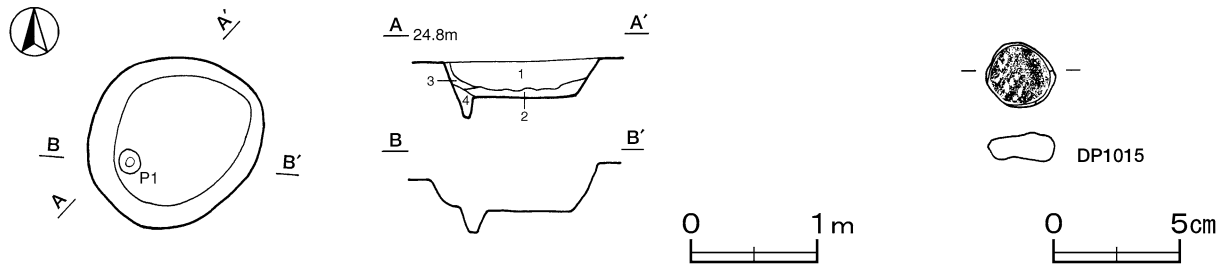
覆土 4層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量,炭化物・焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量,炭化物・焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片53点(深鉢),土製品2点(土器片錘,土器片円盤)が,覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は,土器片の様相からから中期後葉の加曾利E II式期と推測できる。



第51図 第49号土坑・出土遺物実測図

第49号土坑出土遺物観察表(第51図)

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1015	土器片円盤	2.6	2.8	1.2	8.5	縄文土器	周縁研磨調整	覆土	PL56

第50号土坑(第52図)

位置 調査区北部のD 4 e9区で,標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第49・53号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第53号土坑に掘り込まれているため,長径2.07m,確認できた短径は1.90mで,本来の短径は2.00mほどの円形と推測できる。深さは28cmで,壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で,北側から中央部にかけてピットが存在し,P1~P4の深さは38~46cmである。

覆土 3層に分かれ,周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量

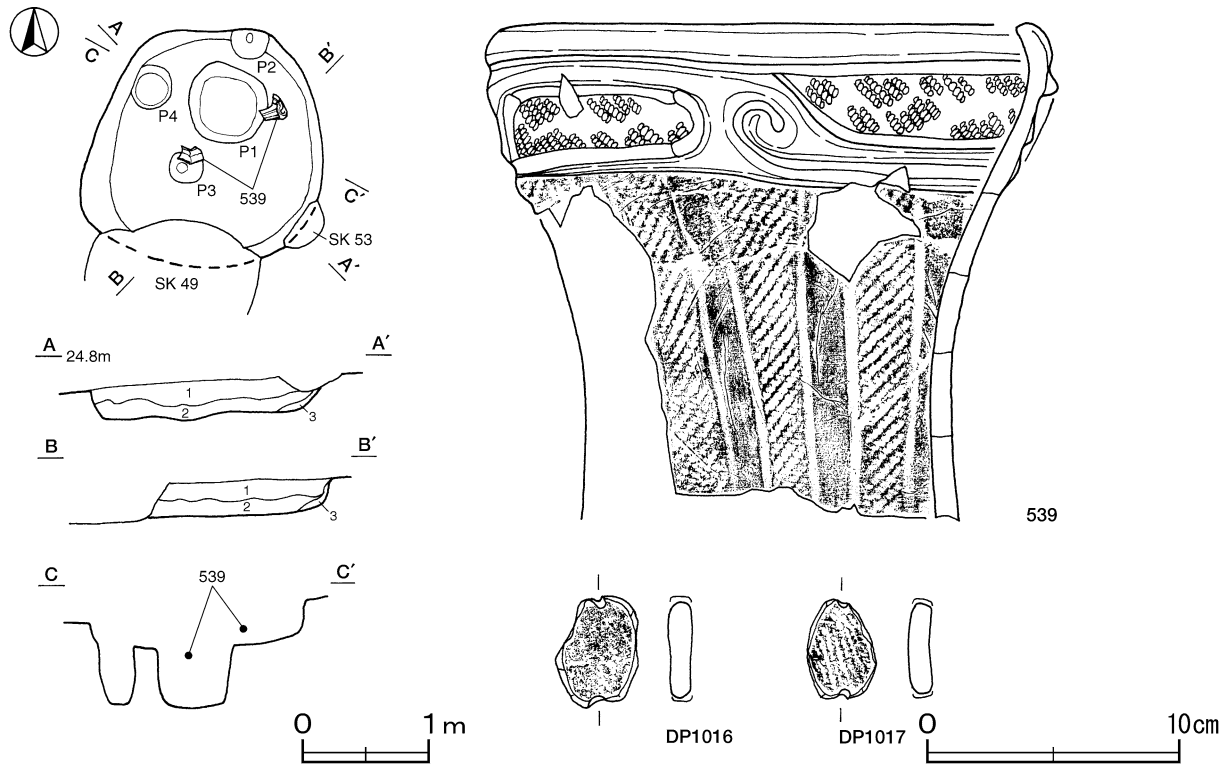
遺物出土状況 縄文土器片160点(深鉢),土製品2点(土器片錘)が,覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は,出土土器から中期後葉の加曾利E II(新)式期である。

第50号土坑出土遺物観察表(第52図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
539	縄文土器	深鉢	20.4	(19.6)	-	石英・長石	橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位回転。胴部が縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土下層	40%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1016	土器片錘	4.4	3.2	1.0	15.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.8cm	覆土	PL56
DP1017	土器片錘	3.9	2.8	0.9	11.1	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.6cm	覆土	PL56



第52図 第50号土坑・出土遺物実測図

第59号土坑 (第53図)

位置 調査区北部のD 4 h6区で、標高24.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.85m、短径1.76mの円形で、深さは30cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 6層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|--------|-------------------------|-------|----------------------|
| 1 極暗褐色 | ロームブロック中量,炭化物・焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック少量,炭化物・焼土粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 褐色 | ロームブロック少量,炭化粒子微量 |

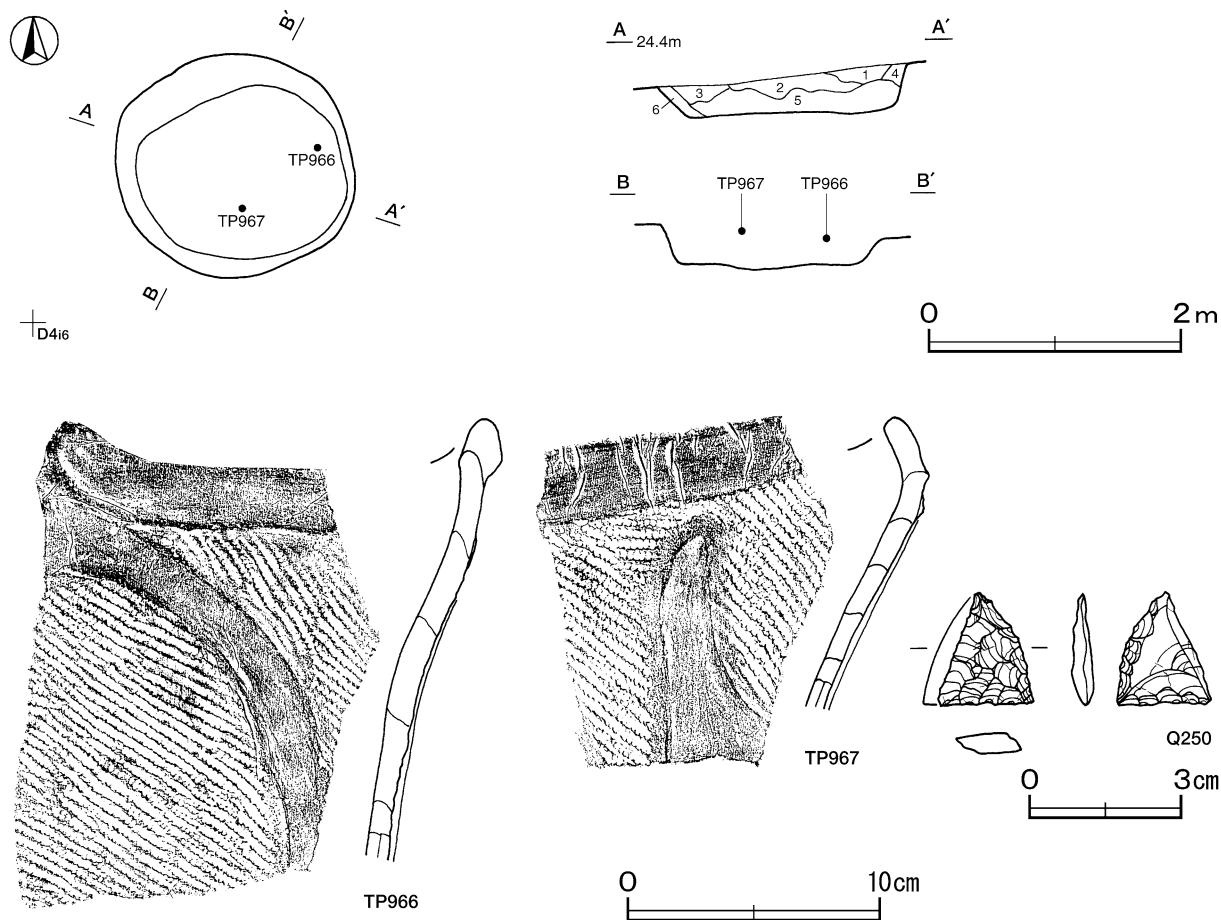
遺物出土状況 縄文土器片371点(深鉢),石器1点(石鏃),土製品4点(土器片錘2,焼成粘土塊2),獣骨1点(イノシシ・歯)が、覆土中層から上層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E IV(古)式期である。

第59号土坑出土遺物観察表(第53図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP966	縄文土器	深鉢	-	(17.5)	-	石英・長石	にぶい黄褐色	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胸部は微隆帯によって楕円形や逆三角形区画を形成。縦位回転の2段LR単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す	覆土上層	TP967と同一個体 PL52
TP967	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	石英・長石	灰黄褐色	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胸部は微隆帯によって楕円形や逆三角形区画を形成。縦位回転の2段LR単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す	覆土上層	TP966と同一個体

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q250	石鏃	(2.2)	(1.8)	(0.4)	(1.4)	チャート	両面調整 背面に素材の主要剥離面を残す 1側縁欠損	覆土	



第53図 第59号土坑・出土遺物実測図

第63号土坑 (第54図)

位置 調査区北部のD 4 f 9区で、標高24.7mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第4号住居に掘り込まれている。第60号土坑と接しているが、先後関係は不明である。

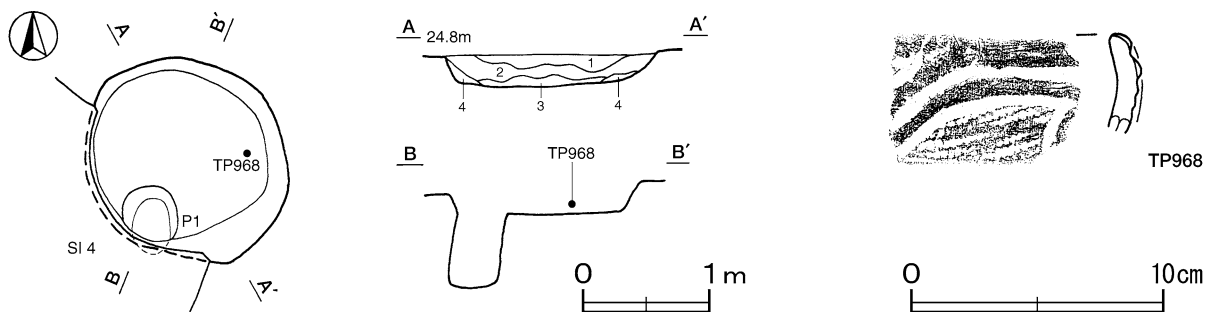
規模と形状 長径1.70m，短径1.55mの円形で、深さは28cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは59cmである。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量 | 4 褐色 ロームブロック少量 |

遺物出土状況 縄文土器片38点（深鉢），石器1点（敲石）が，覆土中から散在した状態で出土している。



第54図 第63号土坑・出土遺物実測図

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E II 式期である。

第63号土坑出土遺物観察表（第54図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP968	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	石英・長石	明赤褐	普通	隆帯と沈線によって枠状のモチーフを描出 区画内は斜位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土下層	

第67号土坑（第55図）

位置 調査区北部のD 5 e1区で，標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 開口部は，北側が第1号溝に掘り込まれているため，確認できた長径は1.38mで，本来は，長径1.40mほど，短径1.20mの楕円形と推測できる。深さは72cmで，壁は若干内傾して立ち上がっている。底面は長径1.28m，短径1.22mの円形で，ほぼ平坦である。

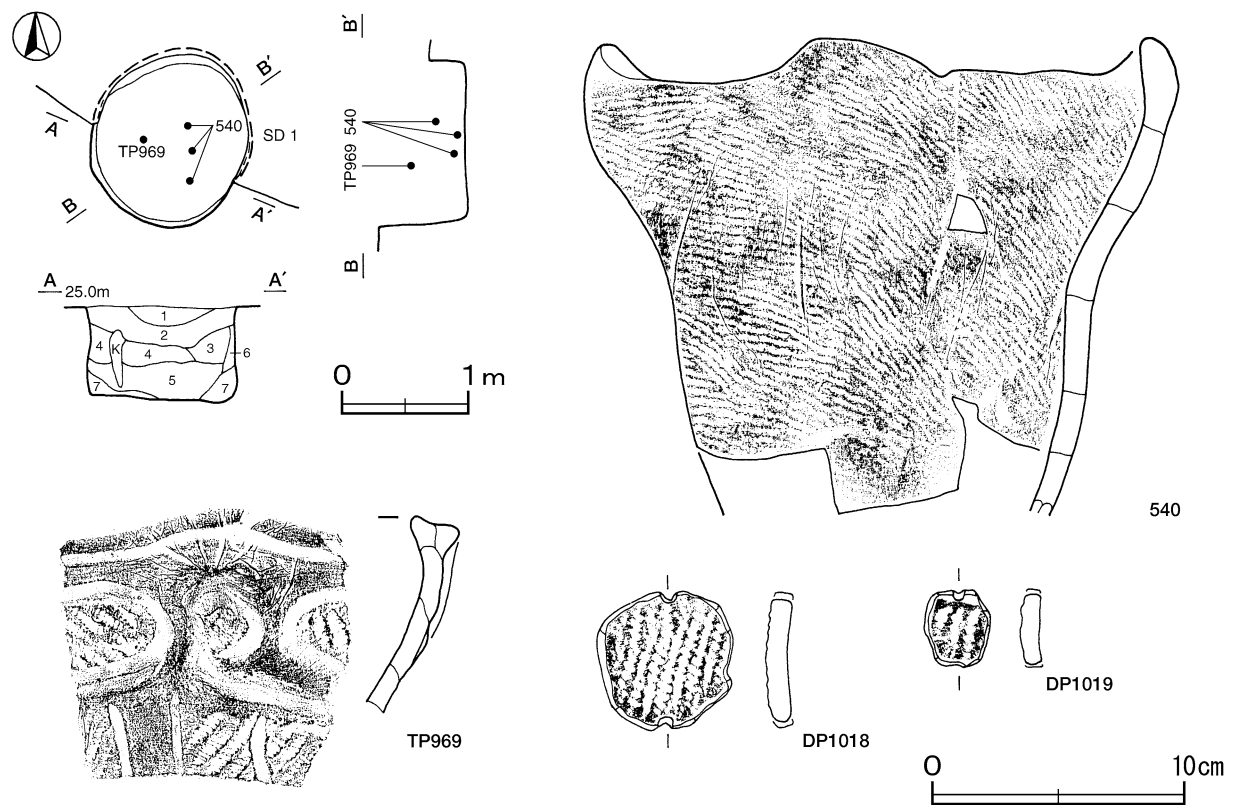
覆土 7層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|--------|------------------------|-------|----------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化物微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック少量，炭化物・焼土粒子微量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化物微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量，炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片224点（深鉢），土製品3点（土器片錘），礫2点が，覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E II（新）式期である。



第55図 第67号土坑・出土遺物実測図

第67号土坑出土遺物観察表（第55図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
540	縄文土器	深鉢	21.7	(18.9)	-	石英・長石	橙	普通	縦位・斜位回転の1段L無節縄文を施文	覆土下層	20%
TP969	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成 胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は口縁部が横位回転、胴部が縦位回転の前後多奈Rを施文	覆土中層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1018	土器片錘	5.5	5.4	0.9	37.5	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.9cm	覆土	PL56
DP1019	土器片錘	3.1	2.7	0.7	8.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm	覆土	PL56

第68号土坑（第56図）

位置 調査区北部のD 5 f 2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.25m、短径1.07mの楕円形で、長径方向はN - 72° - Wである。深さは34cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

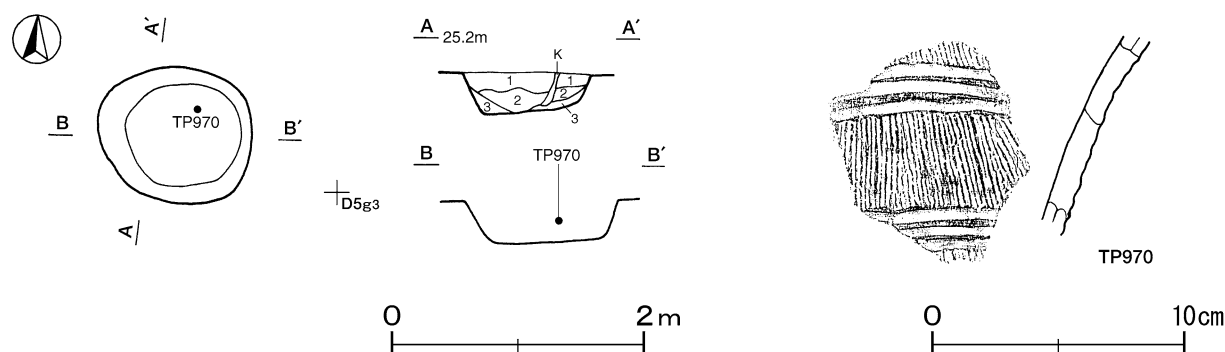
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片24点（深鉢）が、覆土中層から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第56図 第68号土坑・出土遺物実測図

第68号土坑出土遺物観察表（第56図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP970	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	3本の沈線を伴う磨り消し帯を2段に巡らす 地文は燃糸文を施文	覆土中層	

第69号土坑（第57図）

位置 調査区北部のD 5 g 2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.20m、短径2.00mの円形で、深さは18cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。北東側、南西壁際、中央部の南寄りにピットが存在し、P1～P3の深さは52～62cmである。

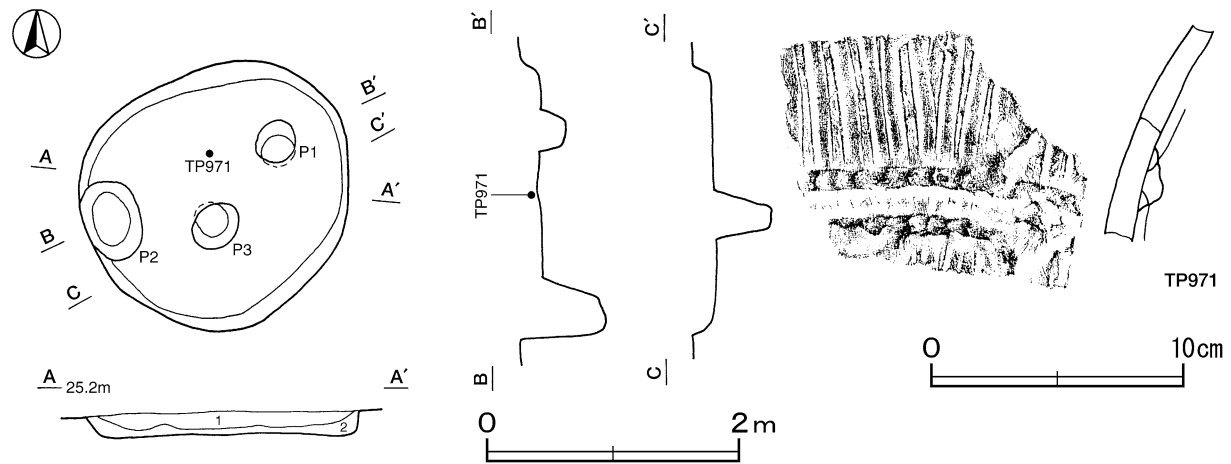
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片157点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第57図 第69号土坑・出土遺物実測図

第69号土坑出土遺物観察表（第57図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP971	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	連続して押捺された2本の隆帯を横位に貼付 地文は半載竹管による平行沈線と縦位に糸線文を描く	覆土下層	

第70号土坑（第58図）

位置 調査区北部のD5 f2区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.01m、短径1.63mの楕円形で、長径方向はN - 10° - Wである。深さは15cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

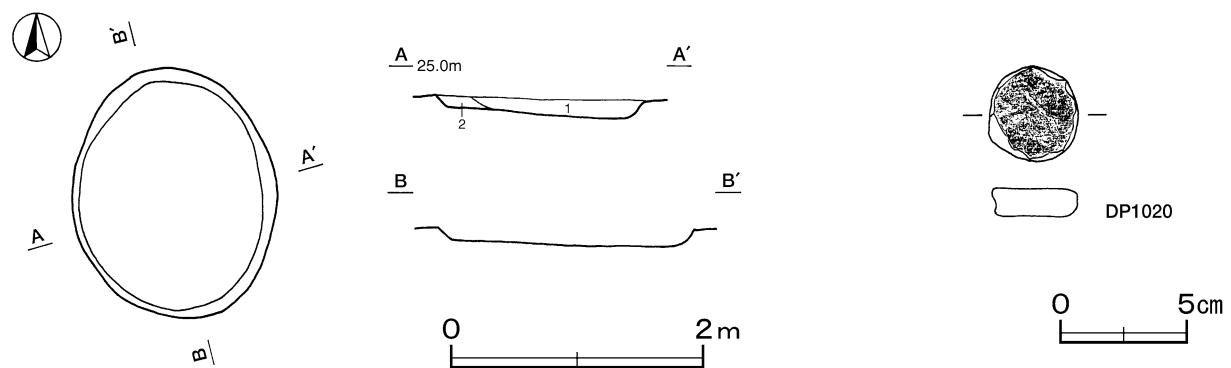
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 2 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片34点（深鉢）、土製品1点（土器片円盤）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第58図 第70号土坑・出土遺物実測図

第70号土坑出土遺物観察表（第58図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1020	土器片円盤	3.9	3.5	1.1	19.1	縄文土器	周縁研磨調整	覆土	PL56

第73号土坑（第59図）

位置 調査区北部のD 5 g1区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.85m、短径1.73mの不整形円で、深さは23cmである。壁は南側の一部で内傾し、全体的には外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際と南東壁際にピットが存在し、P1の深さは33cm、P2の深さは57cmである。

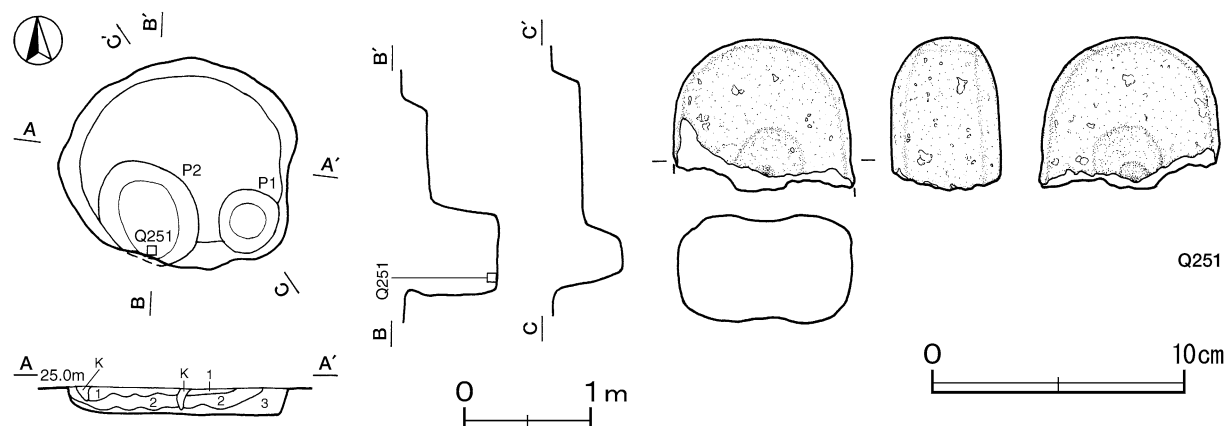
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片21点（深鉢）、石器1点（磨石）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曽利EⅡ式期と推測できる。



第59図 第73号土坑・出土遺物実測図

第73号土坑出土遺物観察表（第59図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q251	磨石	(6.0)	(7.1)	(4.3)	(276.7)	安山岩	全面研磨 両面中央部に皿状の凹み 約半分欠損	P1覆土	

第74号土坑（第60図）

位置 調査区北部のD 5 g2区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第6号住居に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第6号住居に掘り込まれているため、長径1.95m、確認できた短径は1.73mで、本来の短径は1.80mほどの円形と推測できる。深さは34cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際、北西壁際、南東壁際にピットが存在し、P1～P3の深さは8～17cmである。

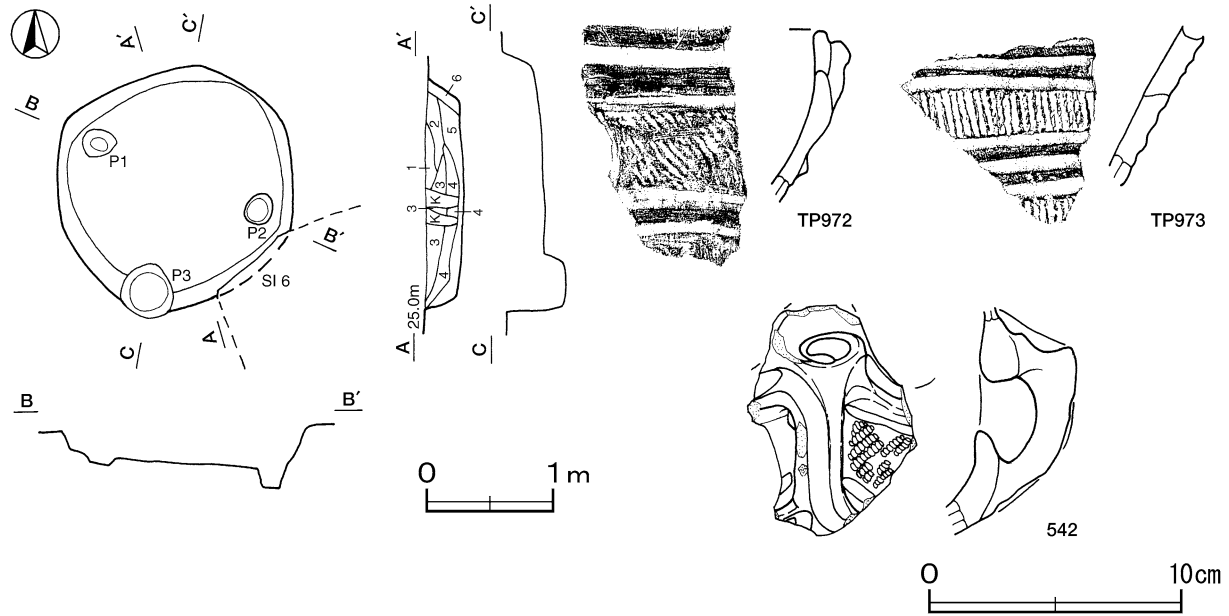
覆土 6層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 褐色 | ロームブロック中量 | 6 褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 縄文土器片219点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利 E II（新）式期である。



第60図 第74号土坑・出土遺物実測図

第74号土坑出土遺物観察表（第60図）

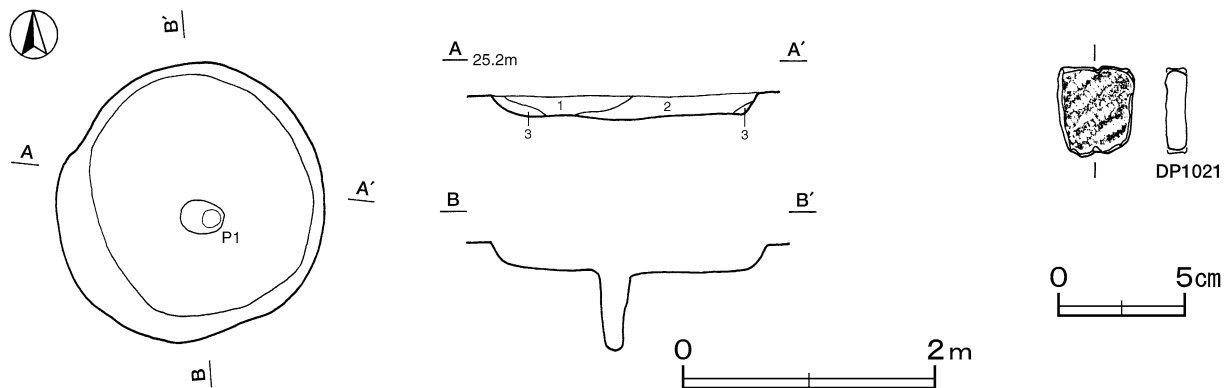
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
542	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	頂部に渦巻状のモチーフを描いた隆帯が橋状に垂下した把手が付される 円孔を有する 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	10%
TP972	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	隆帯と沈線によって枠状のモチーフを描出 地文は横位回転の1段R無節縄文を施文	覆土	
TP973	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	石英・長石・雲母	赤褐	普通	3本の沈線を伴う磨り消し帯を2段に巡らす 地文は燃糸文を施文	覆土	

第75号土坑（第61図）

位置 調査区北部のD 5 g2区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.22m，短径2.14mの円形で、深さは24cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面は



第61図 第75号土坑・出土遺物実測図

ほぼ平坦で、中央部にP1が存在し、深さは61cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量 3 褐色 ロームブロック中量
2 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片40点(深鉢)、土製品1点(土器片錘)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。

第75号土坑出土遺物観察表(第61図)

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1021	土器片錘	3.5	3.0	1.0	12.9	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.2cm	覆土	PL56

第76号土坑(第62図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第72号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 開口部は長径1.08m、短径0.91mの楕円形で、長径方向はN-58°-Wである。深さは78cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は長径1.07m、短径0.98mの円形で、ほぼ平坦である。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 3 暗褐色 ロームブロック少量
2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片201点(深鉢)、石器4点(石棒1、剥片3)が、覆土下層から中層にかけて散在した状態で出土している。Q252は、第3層から横位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ~Ⅳ式期と推測できる。形状から、フラスコ状土坑である。

第79号土坑(第63図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第72・80号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 東側と西側が第72・80号土坑に掘り込まれているため、長径1.95m、確認できた短径は1.06mで、本来は短径1.50mほどで、長径方向はN-2°-Eの楕円形と推測できる。深さは28cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁にP1が存在し、深さは10cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

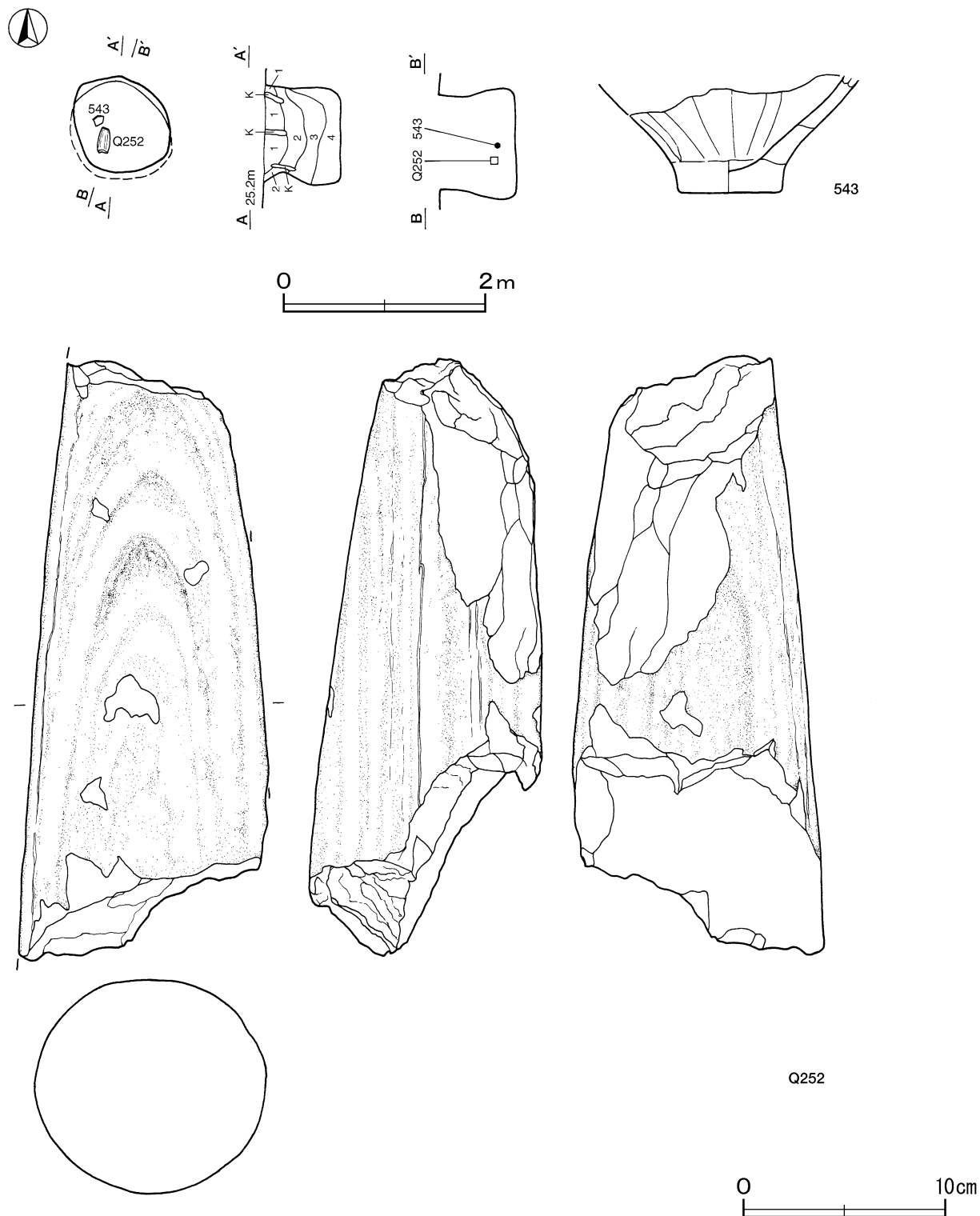
- 1 暗褐色 ロームブロック少量 3 褐色 ロームブロック中量
2 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片221点(深鉢)、石器1点(凹石)が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅠ式期である。

第80号土坑(第64図)

位置 調査区北部のD5g3区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

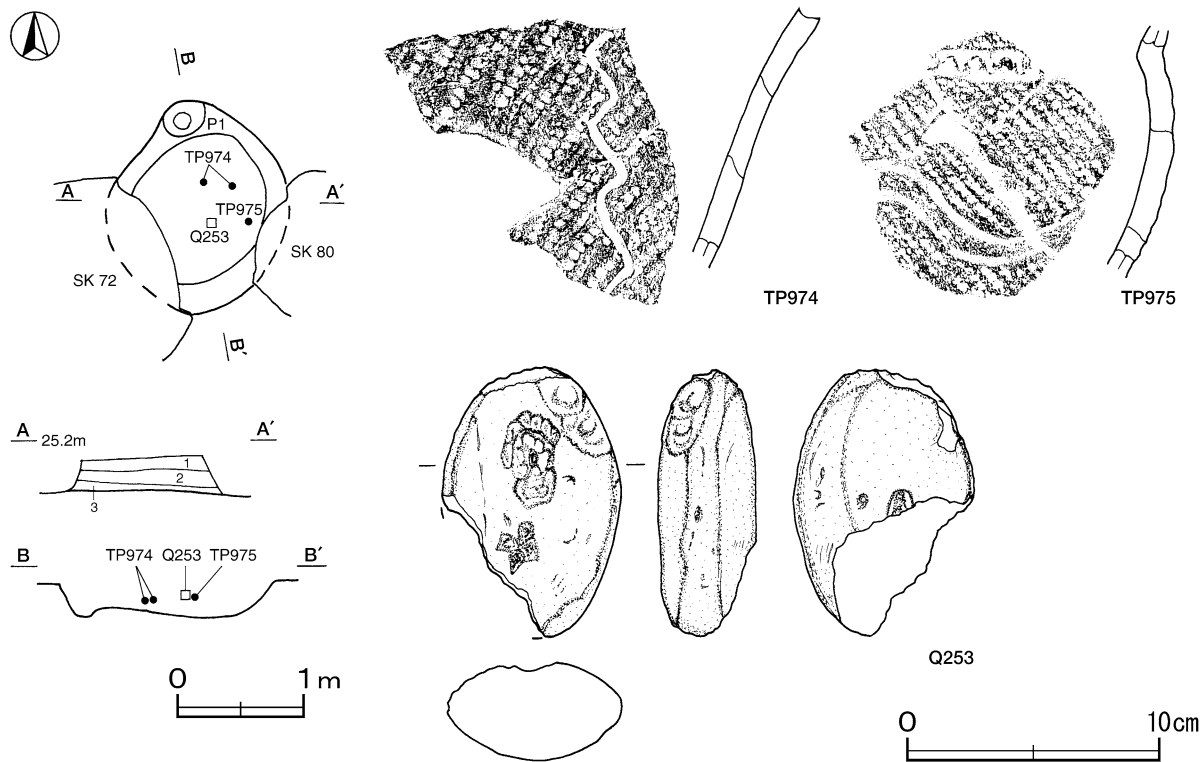


第62図 第76号土坑・出土遺物実測図

第76号土坑出土遺物観察表 (第62図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
543	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	5.0	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	無文 丁寧なナデ	覆土中層	10%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q252	石棒	(29.5)	(12.5)	(11.6)	(5441.2)	緑泥片岩	研磨・敲打調整 両端欠損	覆土中層	PL55



第63図 第79号土坑・出土遺物実測図

第79号土坑出土遺物観察表 (第63図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP974	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	石英・長石	褐	普通	蛇行する沈線を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	覆土下層	
TP975	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	石英・長石	赤褐	普通	球状に内湾する胴部破片 上部に連続「コ」の字状文を巡らす 地文は變位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q253	磨石	(10.6)	6.9	3.9	(314.5)	石英斑岩	全面研磨 両面中央部に複数の皿状の凹み 一部欠損	覆土下層	

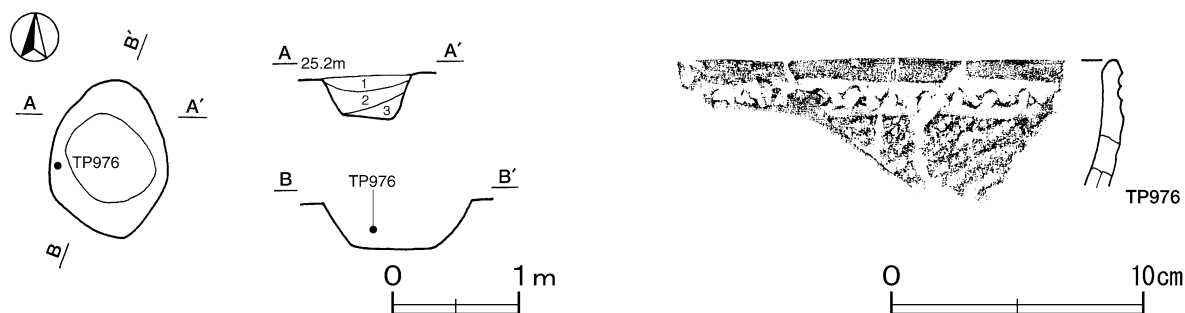
重複関係 第79号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.26m，短径0.95mの楕円形で，長径方向はN - 3° - Wである。深さは38cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である

覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量，焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック中量



第64図 第80号土坑・出土遺物実測図

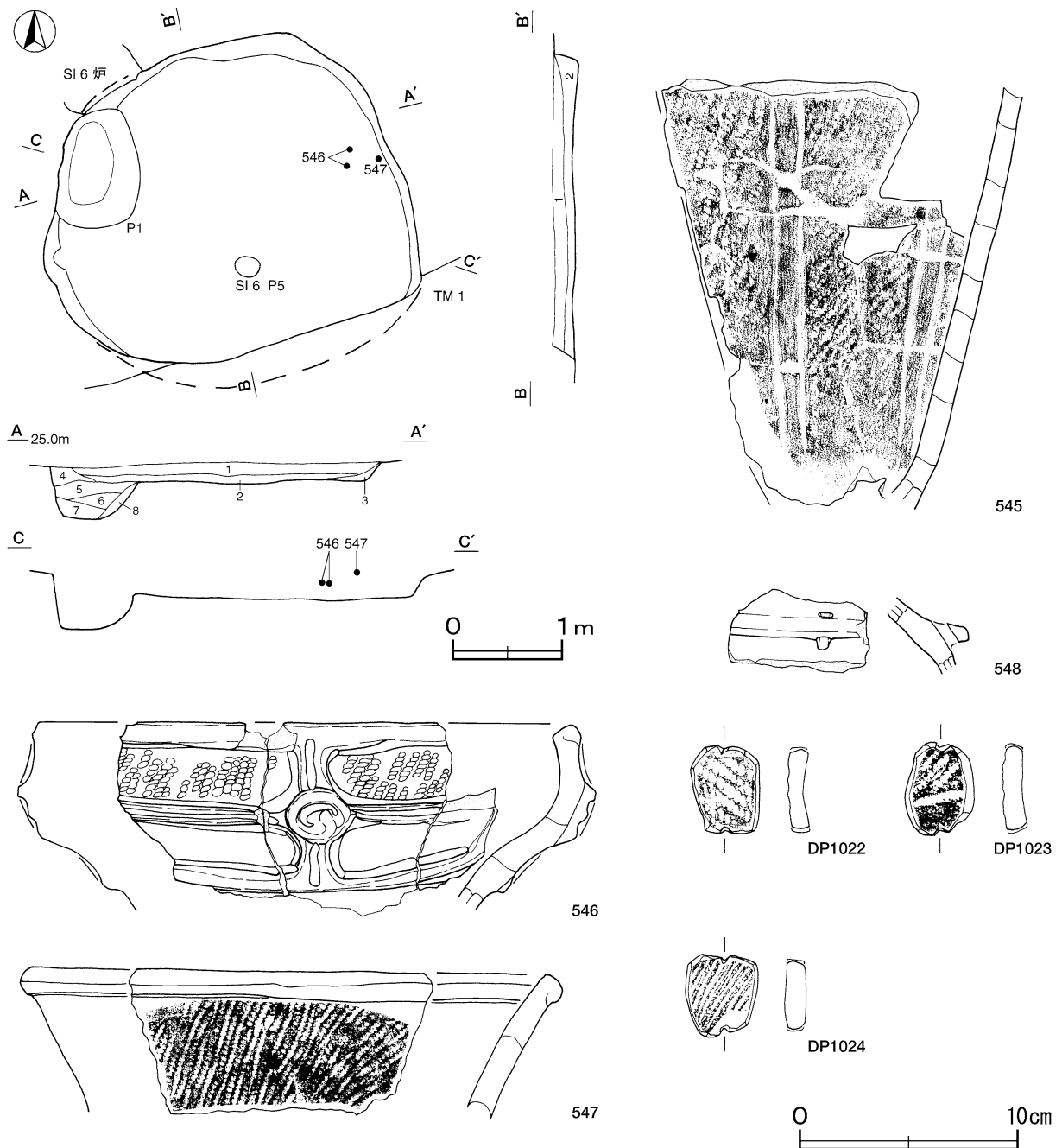
遺物出土状況 縄文土器片98点（深鉢）が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。
所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。

第80号土坑出土遺物観察表（第64図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP976	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	石英・長石・雲母	にぶい黄褐色	普通	口唇部直下に連続「コ」の字状文を巡らす地文は横位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土中層	

第87号土坑（第65図）

位置 調査区北部のD 5 h3区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。



第65図 第87号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第6号住居，第1号墳に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号墳に掘り込まれているため，長径3.42m，確認できた短径は2.82mで，本来は短径3.10mほどで，長径方向がN - 77° - Eの楕円形と推測できる。深さは23cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，西壁際にP1が存在し，深さは36cmである。

覆土 8層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第5～8層はP1の覆土である。

土層解説

1	暗褐色	ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物微量	5	暗褐色	ロームブロック中量，焼土ブロック・炭化物微量
2	暗褐色	ロームブロック・炭化物少量，焼土ブロック微量	6	黒褐色	ロームブロック少量，焼土ブロック微量
3	褐色	ロームブロック中量，炭化物微量	7	暗褐色	ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化物微量
4	黒褐色	ロームブロック中量，焼土ブロック少量	8	黒褐色	ロームブロック中量，焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片256点（深鉢），石器4点（石皿1，剥片3），土製品3点（土器片錘）が，覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。その他，混入した土師器片3点も出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E I～II式期と推測できる。

第87号土坑出土遺物観察表（第65図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
545	縄文土器	深鉢	-	(19.4)	-	石英・長石・雲母	にぶい赤褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	20%
546	縄文土器	深鉢	[24.6]	(8.7)	-	石英・長石	黄橙	普通	隆帯と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出 上段の区画内に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土上層	10%
547	縄文土器	深鉢	[23.4]	(6.7)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部に隆帯を巡らす 地文は縦位・斜位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土上層	10%
548	縄文土器	前立土器	-	(3.1)	-	石英・長石	橙	普通	突帯状の鐔を巡らす 丁寧なナデ調整 孔径0.6cm	覆土	5%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1022	土器片錘	4.1	3.2	1.1	15.6	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm	覆土	PL56
DP1023	土器片錘	4.2	3.2	1.2	16.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm	覆土	PL56
DP1024	土器片錘	3.8	3.3	1.0	15.4	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm	覆土	PL56

第88号土坑（第66図）

位置 調査区北部のD 5 f 5区で，標高25.2mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径2.78m，短径1.92mの不整楕円形で，長径方向はN - 42° - Wである。深さは20cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，北西側P1が存在し，深さは40cmである。

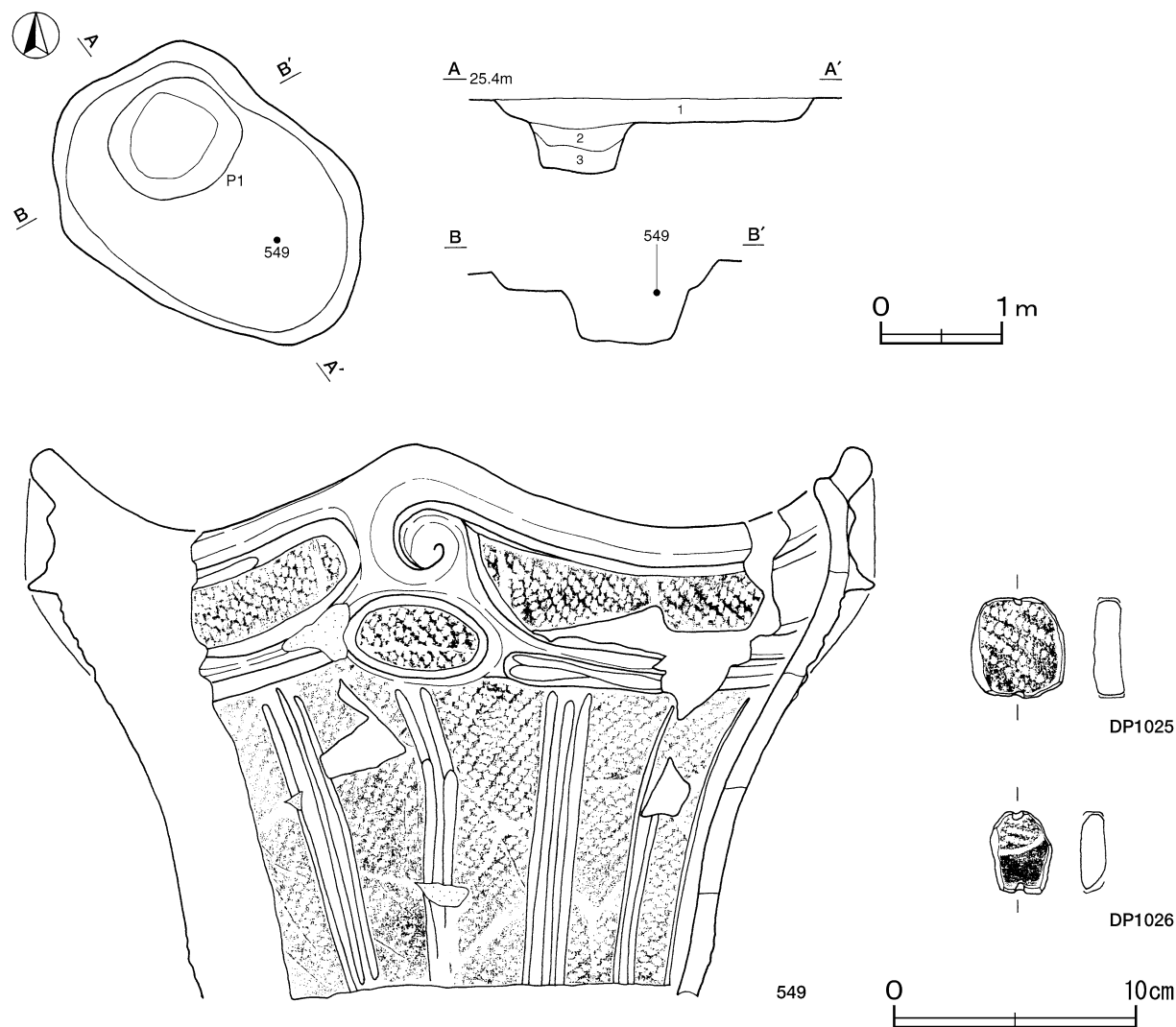
覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第2・3層はP1の覆土である。

土層解説

1	暗褐色	ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物微量	2	褐色	ロームブロック中量
			3	黒褐色	ロームブロック中量，炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片216点（深鉢），土製品2点（土器片錘）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第66図 第88号土坑・出土遺物実測図

第88号土坑出土遺物観察表（第66図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
549	縄文土器	深鉢	[33.4]	(22.3)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと円形や楕円形区画を形成。胸部は2・3本の沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位回転、胸部が縦位回転の2段R.L.半節縄文を施文	覆土下層	30%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1025	土器片錘	4.1	3.8	1.2	23.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm	覆土	PL56
DP1026	土器片錘	3.4	2.5	1.0	9.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.1cm	覆土	PL56

第99号土坑（第67図）

位置 調査区北部のD 5 f6区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第98号土坑を掘り込み、第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第1号溝に掘り込まれているため、長径1.29m、確認できた短径は0.84mで、本来は短径1.00mほどで、長径方向がN - 60° - Wの楕円形と推測できる。深さは40cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

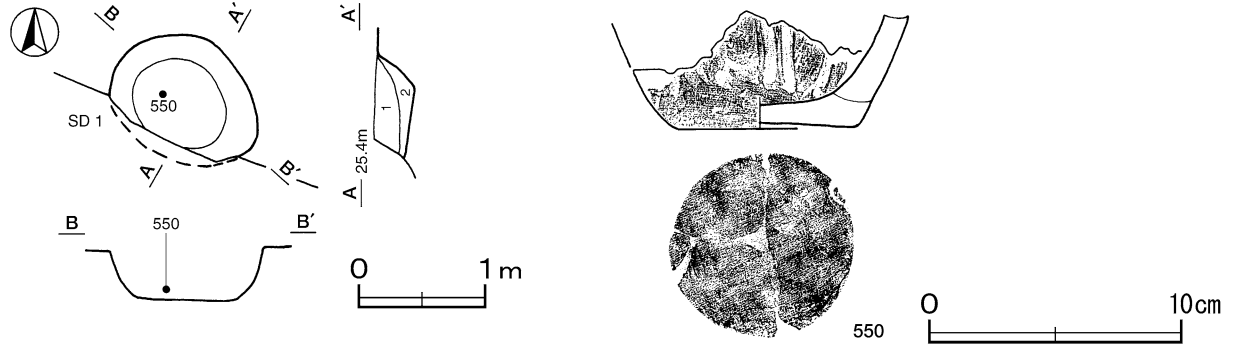
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 2 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片136点(深鉢), 石器1点(剥片)が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第67図 第99号土坑・出土遺物実測図

第99号土坑出土遺物観察表(第67図)

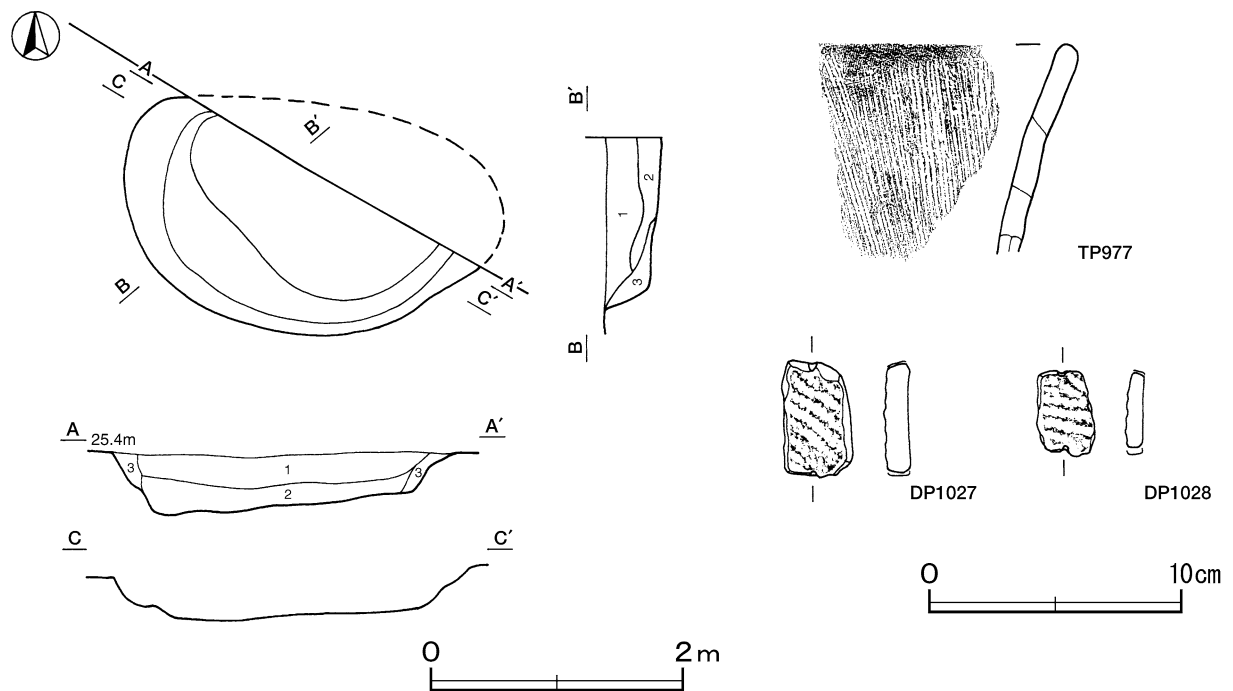
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
550	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	7.3	長石・赤色粒子	にぶい橙	普通	1・2本単位の沈線を垂下 底部網代痕	覆土下層	10%

第100号土坑(第68図)

位置 調査区北部のD5f6区で, 標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第101号土坑を掘り込んでいる。北東側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北東側が調査区域外に延びているため, 確認できた長径は1.90m, 確認できた短径は1.30mで, 本来は長径3.10m, 短径1.80mほどで, 長径方向がN-83°-Wの楕円形と推測できる。深さは44cmで, 壁は



第68図 第100号土坑・出土遺物実測図

緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片180点(深鉢),土製品2点(土器片錘)が,覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は,出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。

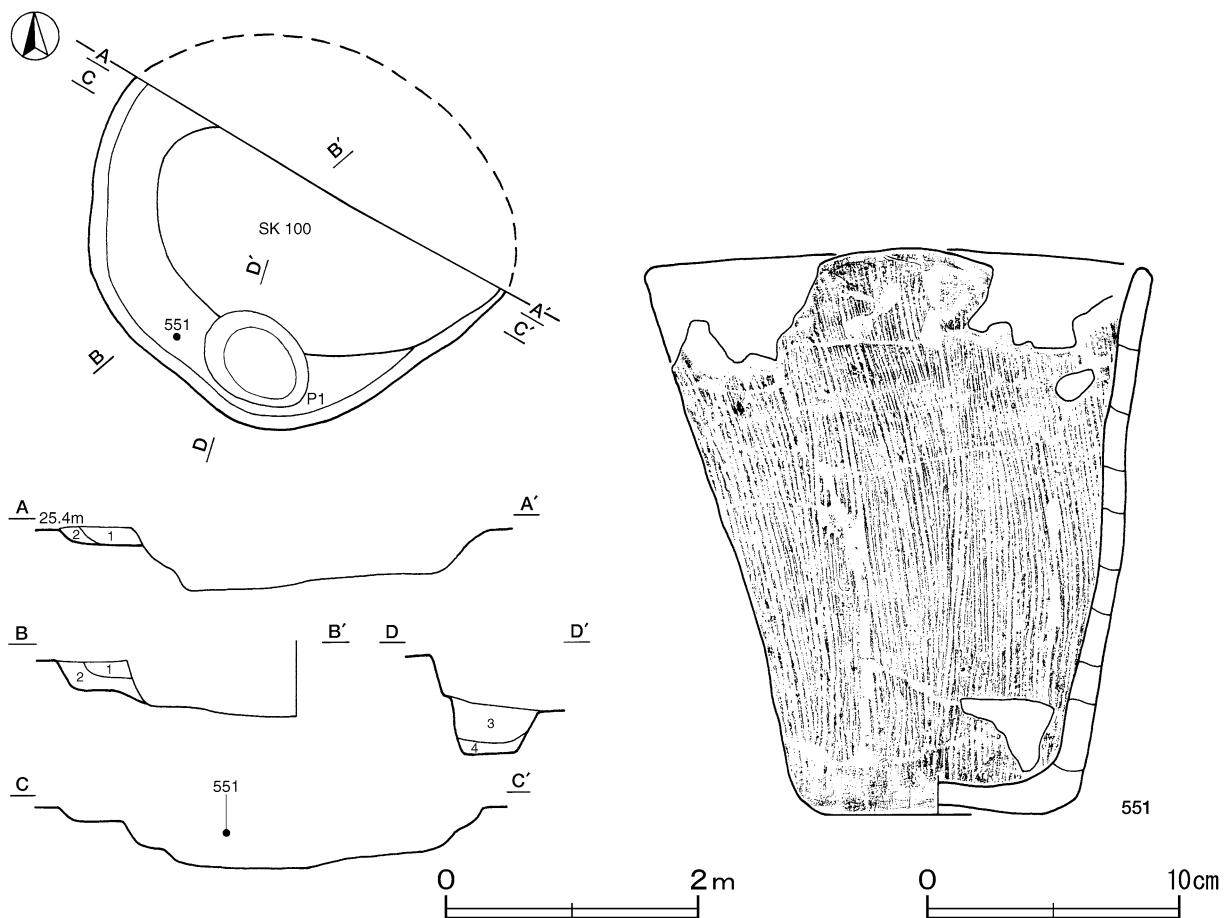
第100号土坑出土遺物観察表(第68図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP977	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	石英・長石・雲母	にぶい赤褐	普通	縦位に条線文を施文	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1027	土器片錘	4.7	2.8	1.0	17.1	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.3cm	覆土	PL56
DP1028	土器片錘	3.5	2.3	0.7	7.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm	覆土	PL56

第101号土坑(第69図)

位置 調査区北部のD5 f6区で,標高25.0mの台地平坦部に位置している。



第69図 第101号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第100号土坑に掘り込まれている。北東側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北東側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は2.21m、確認できた短径は1.99mで、本来は長径3.40m、短径3.10mほどで、長径方向がN - 74° - Wの楕円形と推測できる。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁際にP1が存在し、深さは56cmである。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。第3・4層はP1の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片82点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。551は、南部の底面直上から横位の状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。

第101号土坑出土遺物観察表（第69図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
551	縄文土器	深鉢	[19.8]	22.4	8.7	石英・長石	にぶい赤褐	普通	縦位に条線文を施文	覆土下層	85%

第106号土坑（第70図）

位置 調査区東部のE6d1区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第104・105号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南東側が第104・105号土坑に掘り込まれているため、長径3.00m、確認できた短径は2.34mで、本来は短径2.40mほどで、長径方向がN - 30° - Eの楕円形と推測できる。深さは56cmで、壁は西側の一部で内傾し、全体的には緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、北壁際、西壁下、南東壁下及び中央部にピットが存在し、P1～P4の深さは20～46cmである。

覆土 7層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第6層はP3の覆土である。

土層解説

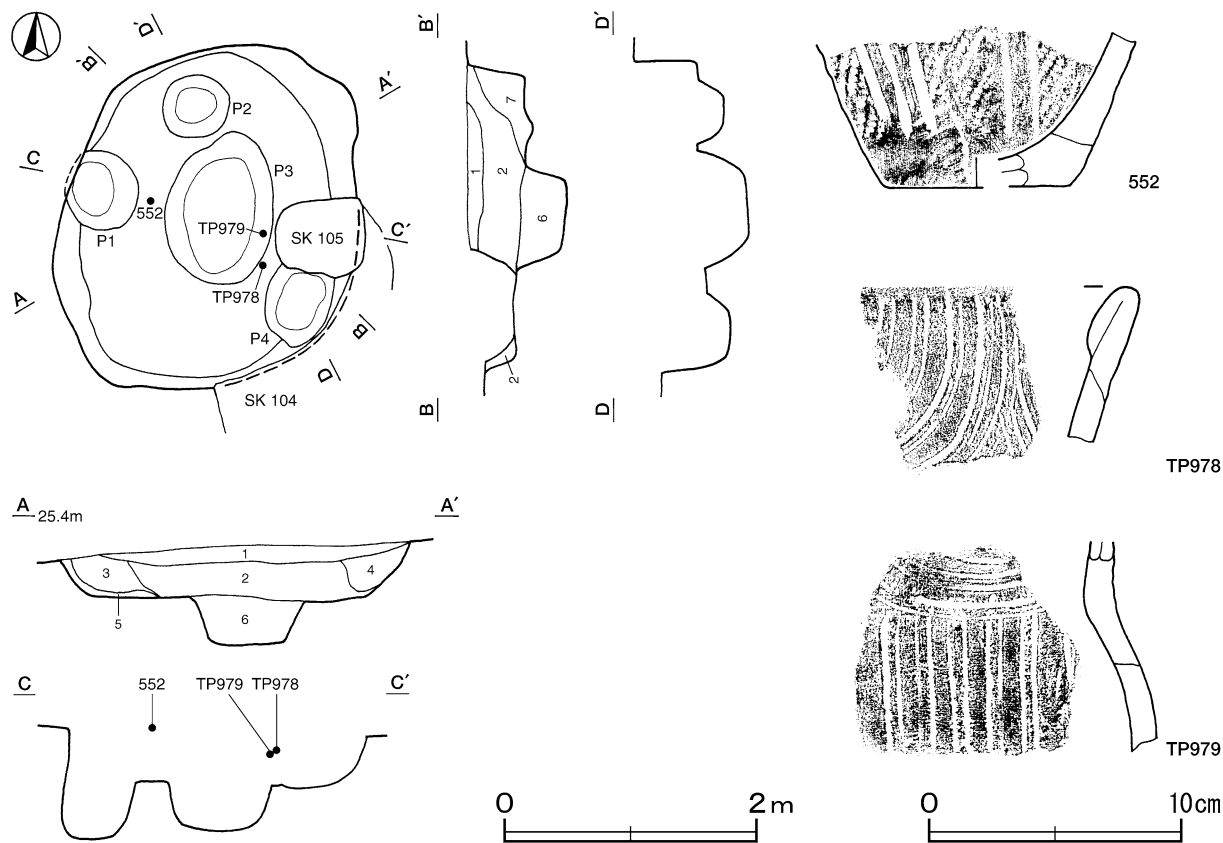
- | | | | |
|-------|--------------------------|----------|--------------------|
| 1 褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | 4 赤褐色 | 焼土ブロック中量、ロームブロック少量 |
| 2 灰褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 | 6 にぶい黄褐色 | ロームブロック中量 |
| | | 7 暗褐色 | 焼土ブロック多量、炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片4点（深鉢）が、覆土下層から散在した状態で出土している。その他、混入した土師器片3点、須恵器片1点、磁器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第106号土坑出土遺物観察表（第70図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
552	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	[7.2]	石英・長石・雲母	橙	普通	2・3本単位の洗線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土上層	10%
TP978	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部内側に突帯を巡らす。半截竹管による 平行洗線で重弧状の条線文を施文	覆土中層	TP979と同一 個体
TP979	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	石英・長石・雲母	赤褐	普通	半截竹管による平行洗線で、頸部は重弧状に、 胴部は縦位に条線文を施文	覆土中層	TP978と同一 個体



第70図 第106号土坑・出土遺物実測図

第108号土坑 (第71図)

位置 調査区東部の E 6 c3区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第111・157号土坑を掘り込み、第117号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.40m、短径0.91mの楕円形で、長径方向はN - 60° - Eである。深さは38cmで、壁は東側の一部で内傾し、全体的には直立している。底面はほぼ平坦で、東側に P1 が存在し、深さは70cmである。

覆土 5層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第5層は P1 の覆土である。

土層解説

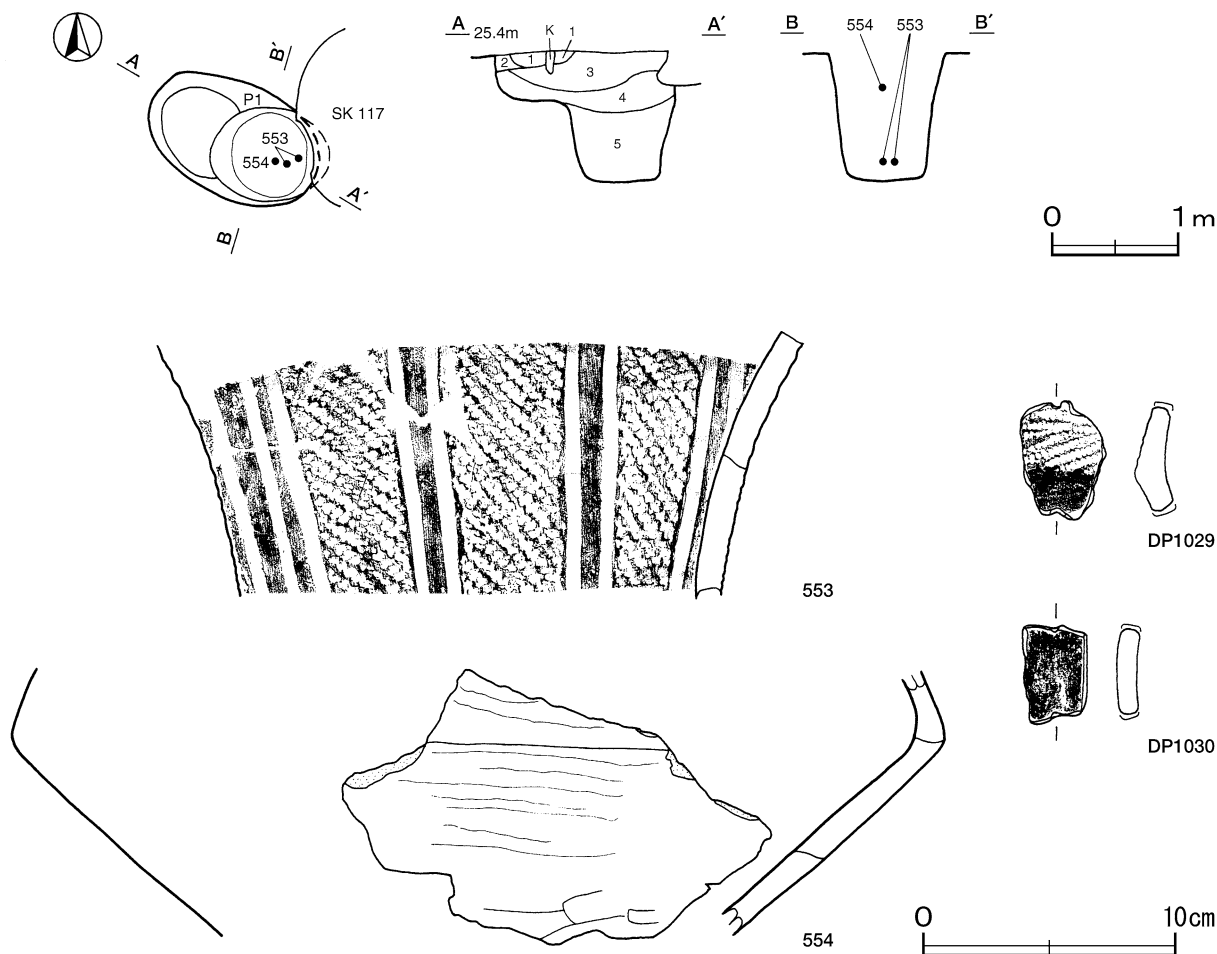
- | | | | | | |
|-------|------------------|---------------|------|-----------|----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 | 焼土ブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量 | 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 | |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | 炭化粒子微量 | | | |

遺物出土状況 縄文土器片309点(深鉢), 石器2点(石皿, 剥片), 土製品4点(土器片錘), 礫1点が、覆土下層から散在した状態で出土している。その他、混入した土師器片2点, 須恵器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利 E II 式期である。

第108号土坑出土遺物観察表 (第71図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
553	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐色	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土下層	10%
554	縄文土器	浅鉢	-	(10.6)	-	石英・長石・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐色	普通	無文 丁寧なナデ調整	覆土中層	10%



第71図 第108号土坑・出土遺物実測図

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1029	土器片錘	4.7	3.4	1.2	17.8	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.1cm	覆土	PL56
DP1030	土器片錘	3.9	2.5	0.8	12.1	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.4cm	覆土	PL56

第112号土坑（第72図）

位置 調査区東部の E 6 d3区で，標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第111号土坑を掘り込み，第113・117・118号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側及び東側が第113・117号土坑に掘り込まれているため，確認できた長径は1.85m，確認できた短径は1.56mで，本来は長径1.90m，短径1.70mほどで，長径方向がN - 78° - Wの楕円形と推測できる。深さは64cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，西壁際にP1が存在し，深さは29cmである。

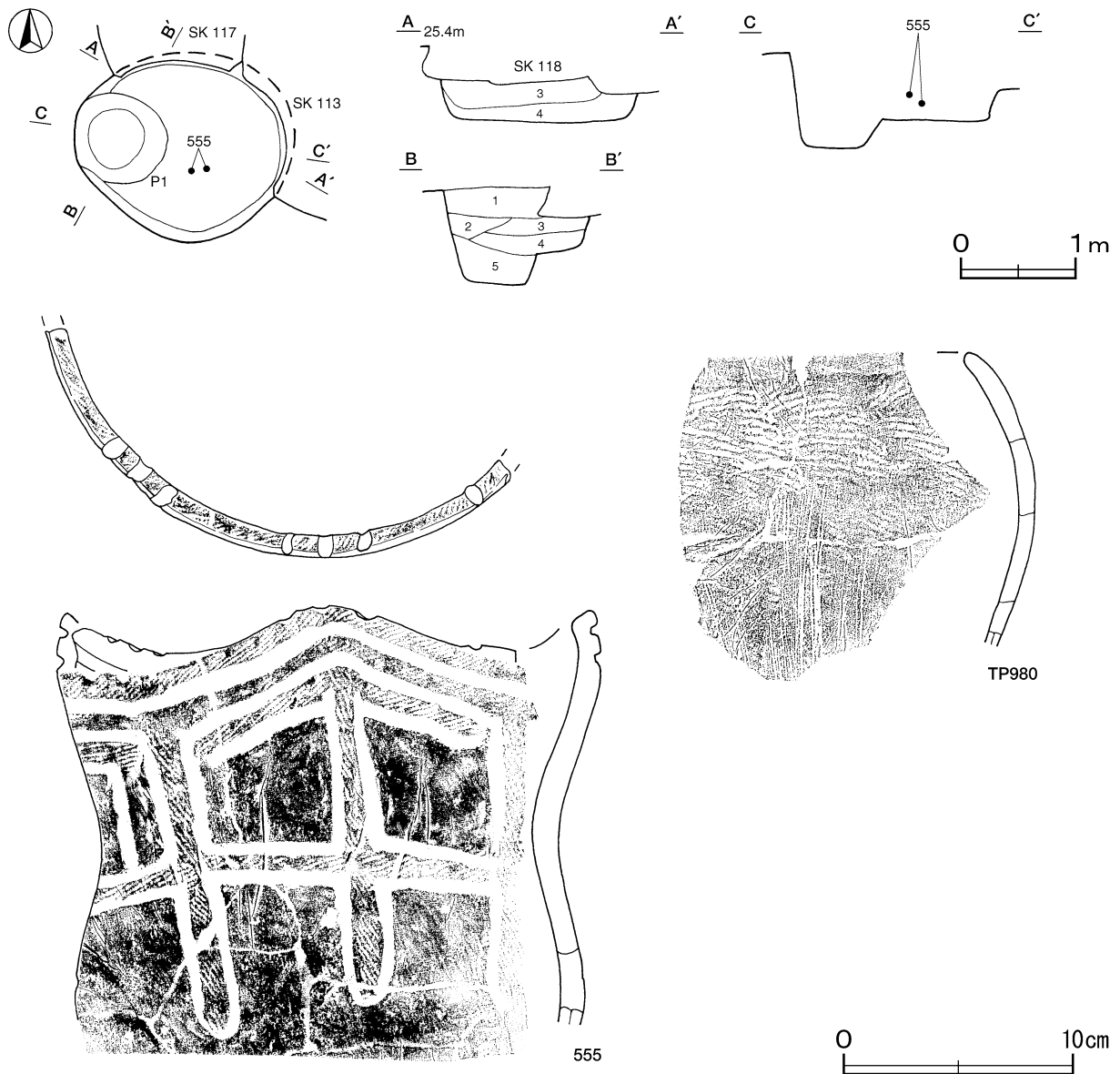
覆土 5層に分かれ，不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため，埋め戻されたと考えられる。第5層は西壁際のP1の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化物微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量，炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片64点（深鉢），石器2点（磨石，剥片）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉から後期前葉の加曾利 E IV（新）～称名寺（古）式期である。



第72図 第112号土坑・出土遺物実測図

第112号土坑出土遺物観察表（第72図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
555	縄文土器	深鉢	[22.8]	(17.2)	-	石英・長石・雲母	にぶ赤褐色	普通	2本の沈線で窓枠状のモチーフを描出。沈線間・口唇部に1段L無節縄文を充填。口唇部に3個単位の刻み目。4単位の波状口縁	覆土下層	25% PL46
TP980	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	石英・長石・雲母	暗褐色	普通	口縁部は斜位回転の1段L無節縄文。以下に縦位の糸線文を施文	覆土下層	

第120号土坑（第73図）

位置 調査区東部のD 6 j 2区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第278・288・290・292号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.40m，短径1.13mの楕円形で，長径方向はN - 40° - Eである。深さは33cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

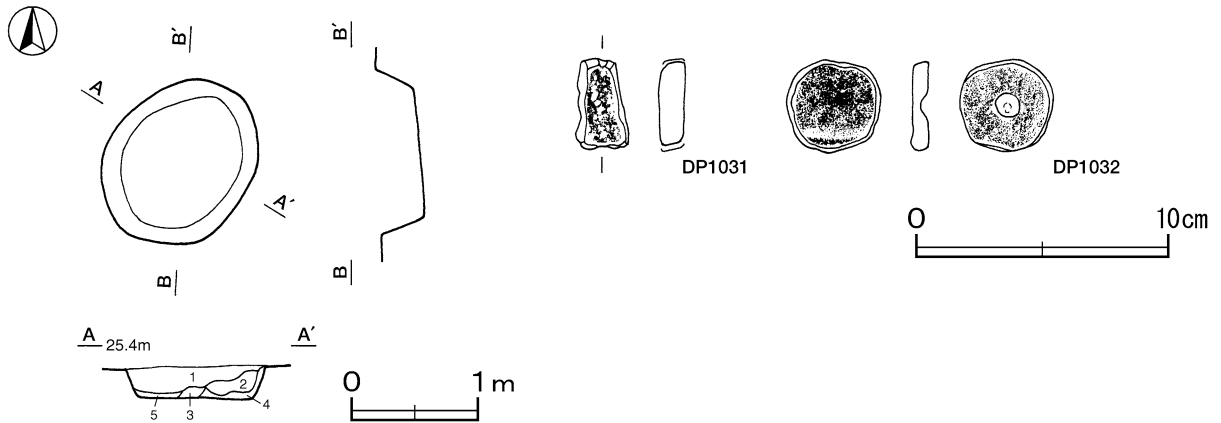
覆土 5層に分かれ，不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片151点（深鉢）, 土製品3点（土器片錘）が, 覆土中から散在した状態で出土している。その他, 混入した弥生土器片1点, 須恵器片2点も出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は, 土器片の様相から中期後葉の加曾利E II 式期と推測できる。



第73図 第120号土坑・出土遺物実測図

第120号土坑出土遺物観察表（第73図）

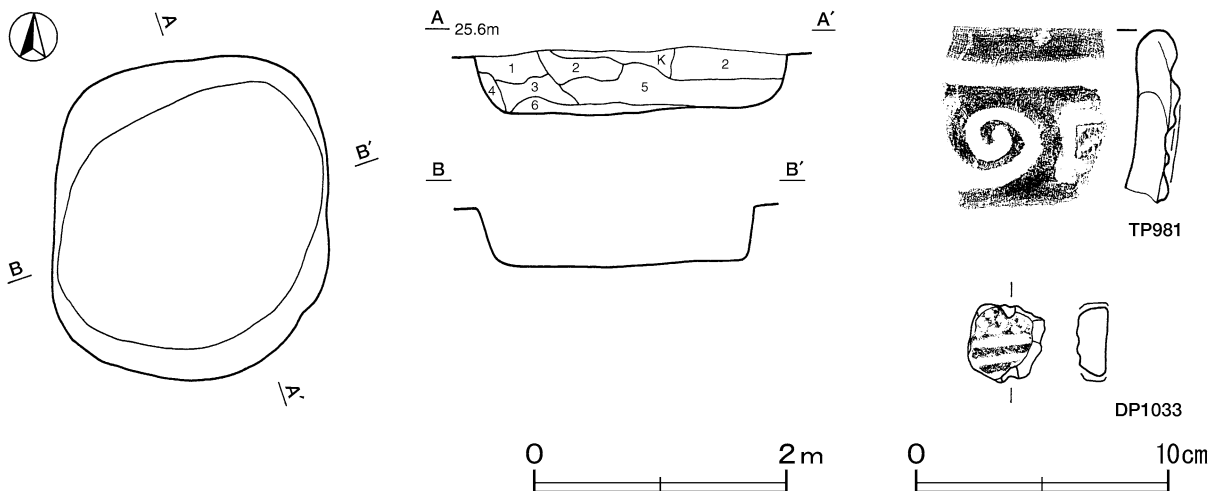
番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1031	土器片錘	3.6	2.2	1.0	9.6	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.3cm	覆土	PL56
DP1032	土器片円盤	3.6	3.7	0.7	12.1	縄文土器	周縁研磨調整 片面中央部に研磨による凹み	覆土	PL56

第123号土坑（第74図）

位置 調査区東部のD 6 j 1区で, 標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第124・280号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.54m, 短径2.17mの楕円形で, 長径方向はN - 3° - Eである。深さは50cmで, 壁は緩や



第74図 第123号土坑・出土遺物実測図

かに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 6層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる

土層解説

- | | | | | | |
|-------|------------------|----------|-------|-----------|-------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック多量 | 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量 | 炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック中量 | 炭化物少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 焼土ブロック少量 | 6 褐色 | ロームブロック中量 | 炭化粒子少量 |

遺物出土状況 縄文土器片128点（深鉢），石器（剥片1），土製品1点（土器片錘）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ式期である。

第123号土坑出土遺物観察表（第74図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP981	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	隆帯と沈線によって渦巻状・粹状のモチーフを描出	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1033	土器片錘	3.1	3.0	1.3	11.4	縄文土器	主に周縁打ち欠き調整 1方向の切り込み 切り込み間2.7cm	覆土	PL56

第124号土坑（第75図）

位置 調査区東部のD6i1区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第121・123・125・128号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側，東側，南側が第123・125・128号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.70m，確認できた短径は2.35mで、本来は長径3.00m，短径2.40mほどで、長径方向がN-20°-Eの楕円形と推測できる。深さは64cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼみ、中央部の北寄りと南壁際にピットが存在し、P1の深さは50cm，P2の深さは79cmである。

覆土 13層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。第9～13層はP1の覆土である。

土層解説

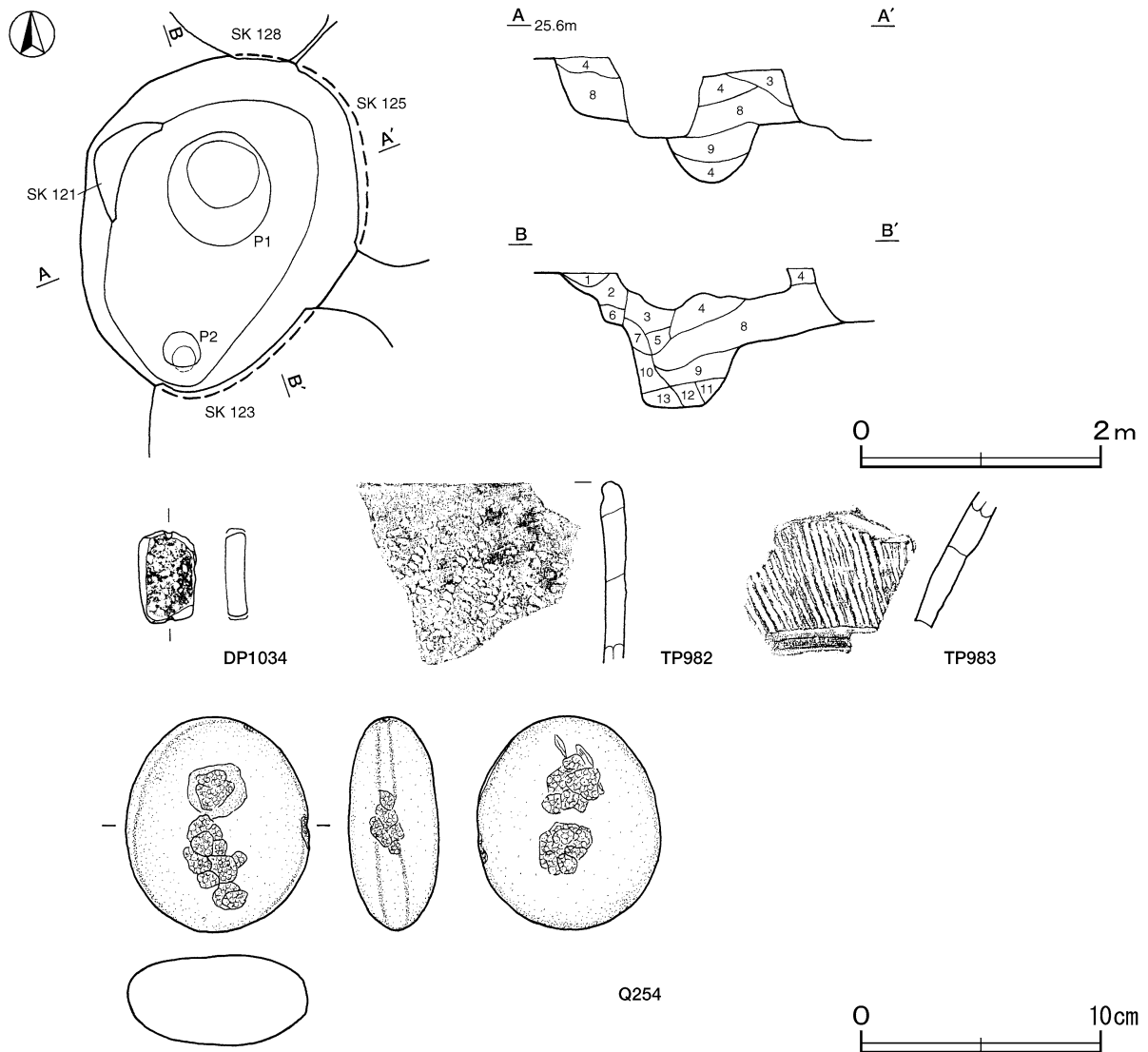
- | | | | | | |
|-------|---------------|----------------|-----------|-------------------|--------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量 | 7 褐色 | ロームブロック中量 | | |
| 2 褐色 | 焼土ブロック少量 | ロームブロック・炭化粒子微量 | 8 暗褐色 | ロームブロック少量 | 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量 | 焼土ブロック少量 | 炭化物微量 | 9 黒褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 暗褐色 | ロームブロック少量 | 焼土粒子・炭化粒子微量 | 10 暗褐色 | ロームブロック少量 | 炭化物・焼土粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ローム粒少量 | 焼土粒子・炭化粒子微量 | 11 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量 | |
| 6 暗褐色 | ロームブロック・炭化物少量 | 焼土ブロック微量 | 12 暗褐色 | ロームブロック中量 | 焼土ブロック・炭化物微量 |
| | | | 13 暗褐色 | ロームブロック中量 | |

遺物出土状況 縄文土器片151点（深鉢），石器1点（磨石），土製品1点（土器片錘）が、覆土中から散在した状態で出土している。TP982は、後期後葉の加曽利B式の粗製土器であるが、覆土中から出土しており、混入した可能性がある。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曽利EⅡ（新）式期と推測できる。

第124号土坑出土遺物観察表（第75図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP982	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	石英・長石・雲母	浅黄橙	普通	地文は横位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土	
TP983	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	石英・長石・雲母	にぶい黄橙	普通	1・2本単位の沈線を横位・曲線的に施文 地文は燃系文を施文	覆土	



第75図 第124号土坑・出土遺物実測図

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1034	土器片錘	3.9	2.4	0.9	11.5	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.5cm	覆土	PL56

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q254	磨石	8.9	7.7	3.8	373.0	安山岩	全面研磨 両面の中央付近と側縁の一部に痘痕状の敲打痕	覆土	

第125号土坑（第76図）

位置 調査区東部のD6i1区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第124号土坑を掘り込み、第122・129・151号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.10m、短径2.02mの円形で、深さは74cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、中央部の西寄りにP1が存在し、深さは54cmである。

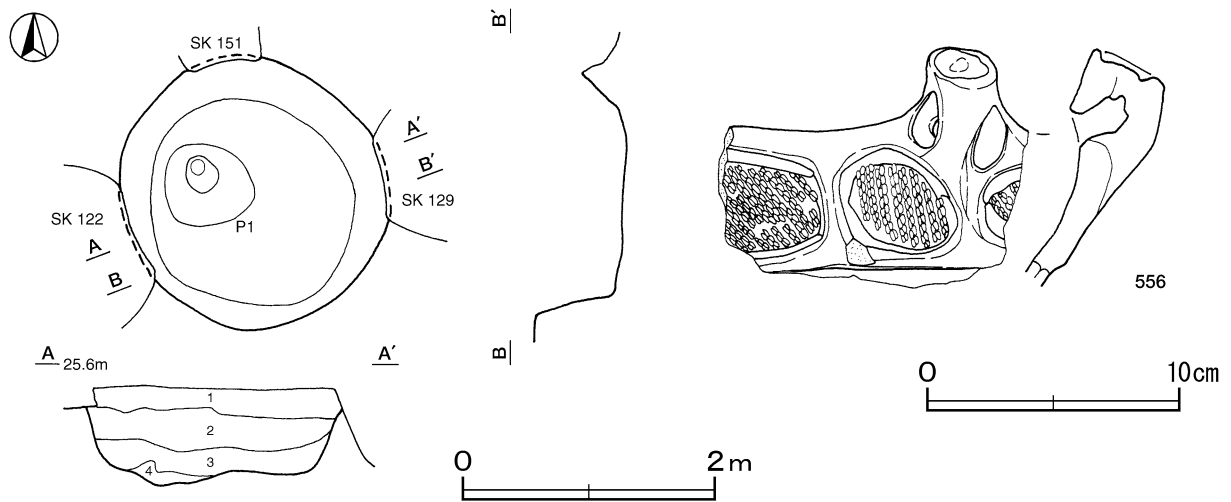
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
 2 暗褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片48点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第76図 第125号土坑・出土遺物実測図

第125号土坑出土遺物観察表（第76図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
556	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	石英・長石	にぶい橙	普通	頂部に円形のモチーフを描いた隆帯が橋状に垂下した把手が付される。円孔を有する。地文は横位・斜位回転の3段R L R複節縄文を施文	覆土	10%

第141号土坑（第77図）

位置 調査区中央部のE 4 c0区で、標高24.6mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.52m、短径0.45mの楕円形で、長径方向は、N - 73° - Eである。深さは42cmで、壁は直立している。底面はほぼ平坦である。

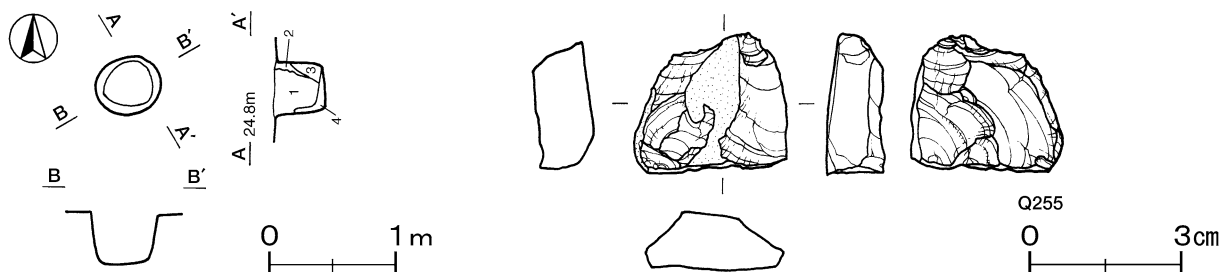
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片1点（深鉢）、石器1点（楔形石器）が、覆土中から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曽利E II式期と推測できる。



第77図 第141号土坑・出土遺物実測図

第141号土坑出土遺物観察表（第77図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q255	楔形石器	2.7	3.0	1.2	11.4	チャート	両面に上下方向からの剥離面が交錯。両極打法。背面に礫面を残す。縦断面形は不整な菱形。	覆土	

第165号土坑（第78図）

位置 調査区中央部のE 4 f9区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第2号道路に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第2号道路に掘り込まれているため、確認できた長径は1.40mで、本来は長径1.50mほど、短径1.26mで、長径方向がN - 42° - Eの楕円形と推測できる。深さは30cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

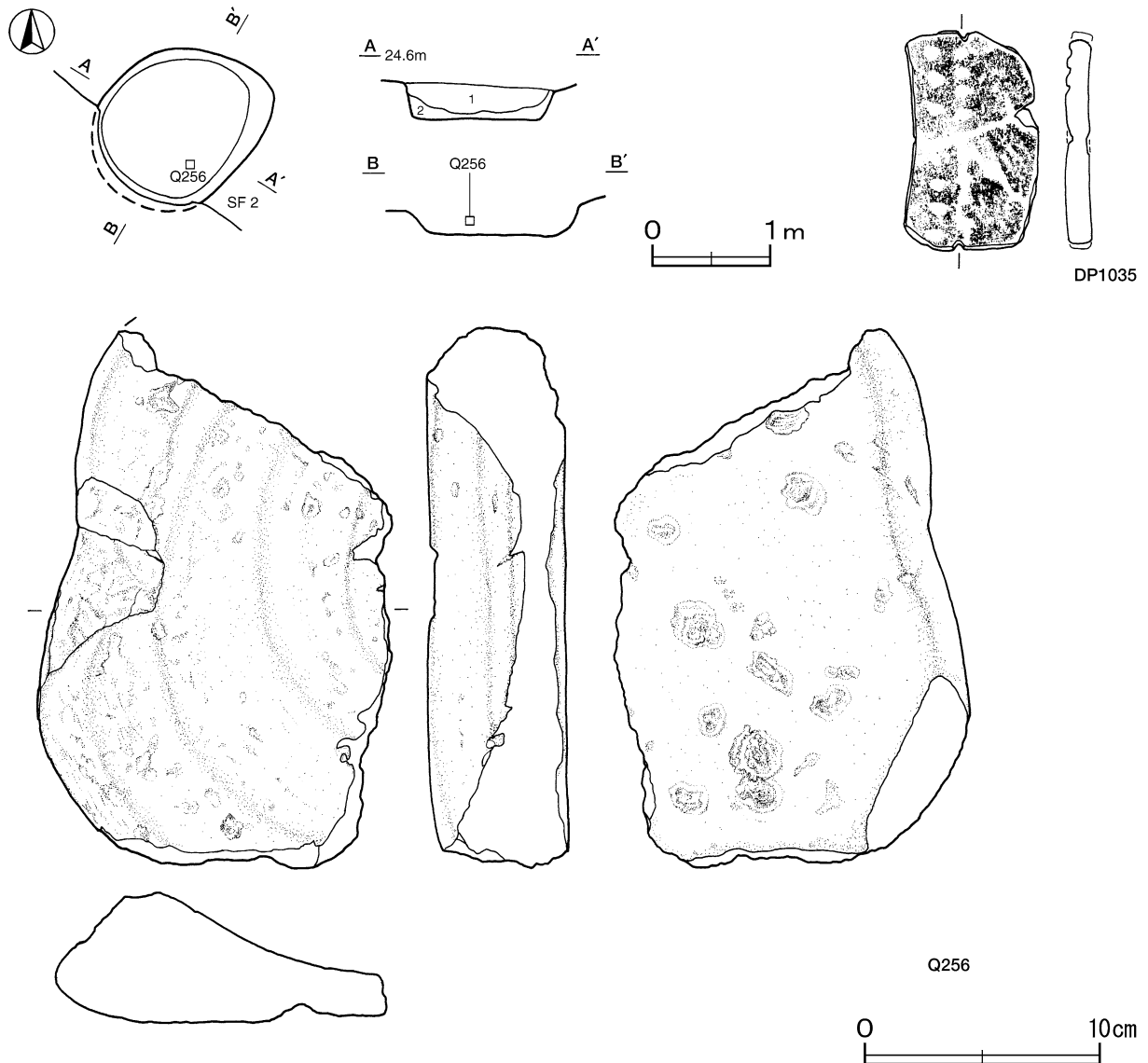
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化物微量 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片42点（深鉢）、石器2点（石皿）、土製品4点（土器片錘）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II 式期と推測できる。



第78図 第165号土坑・出土遺物実測図

第165号土坑出土遺物観察表（第78図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1035	土器片錘	9.3	5.7	1.0	74.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間8.7cm	覆土	PL56
Q256	石皿	(22.9)	(15.1)	(6.0)	(2120.4)	安山岩	片面に皿状の擦り面 裏面に複数の断面形がV字状の凹み	覆土中層	PL54

第179号土坑（第79図）

位置 調査区中央部のE 5 c3区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第177号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.01m、短径1.44mの楕円形で、長径方向はN - 29° - Eである。深さは40cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

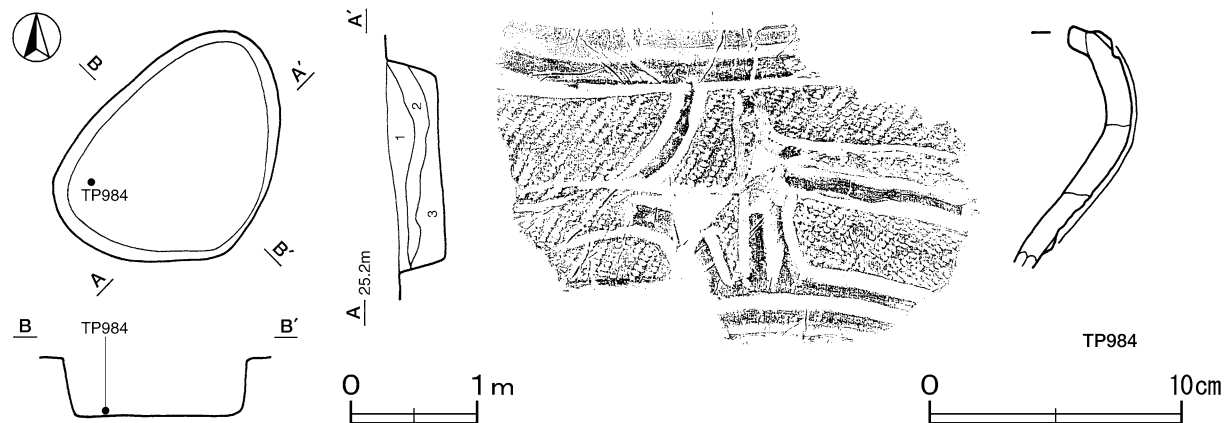
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量、ロームブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片33点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I式期である。



第79図 第179号土坑・出土遺物実測図

第179号土坑出土遺物観察表（第79図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP984	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	石英・長石	橙	普通	隆帯と沈線によってクランク状・稜状のモチーフを描出 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	

第184号土坑（第80図）

位置 調査区中央部のE 5 c3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第185号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南西側が第185号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.85mで、本来は長径2.20mほど、短径1.61mで、長径方向がN - 57° - Eの楕円形と推測できる。深さは37cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

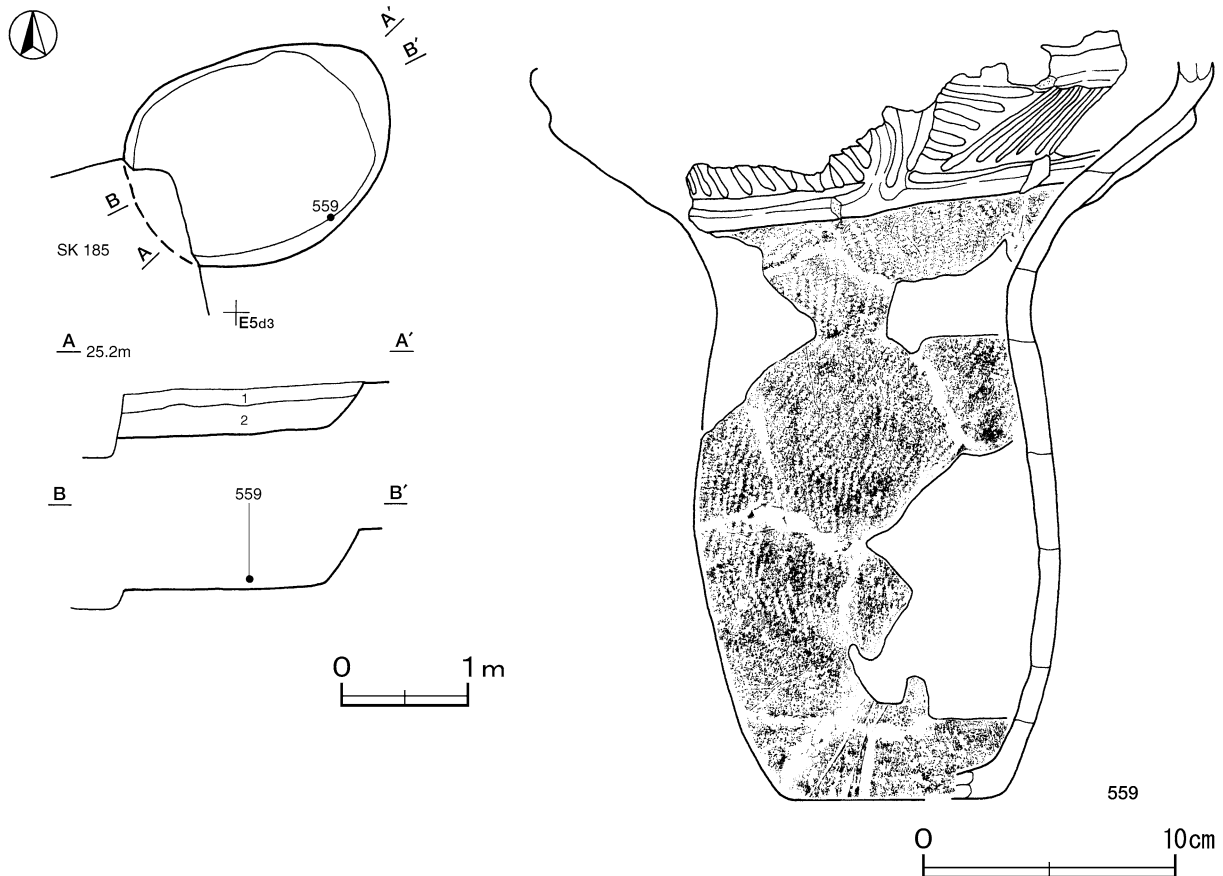
土層解説

1 暗褐色 ロームブロック少量

2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片56点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。



第80図 第184号土坑・出土遺物実測図

第184号土坑出土遺物観察表（第80図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
559	縄文土器	深鉢	-	(29.0)	[7.8]	石英・長石・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線によって椀状のモチーフを描出。区画内に縦位・斜位の沈線を密に施文。地文は縦位・横位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	40%

第185号土坑（第81図）

位置 調査区中央部のE 5 d2区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第183・184号土坑を掘り込み、第186・195・196・522号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西側が第522号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.64mで、本来は長径2.70mほど、短径2.44mで、長径方向はN - 70° - Eの不整長方形と推測できる。深さは55cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 明褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

5 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

2 褐色 ロームブロック・炭化粒子微量

6 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

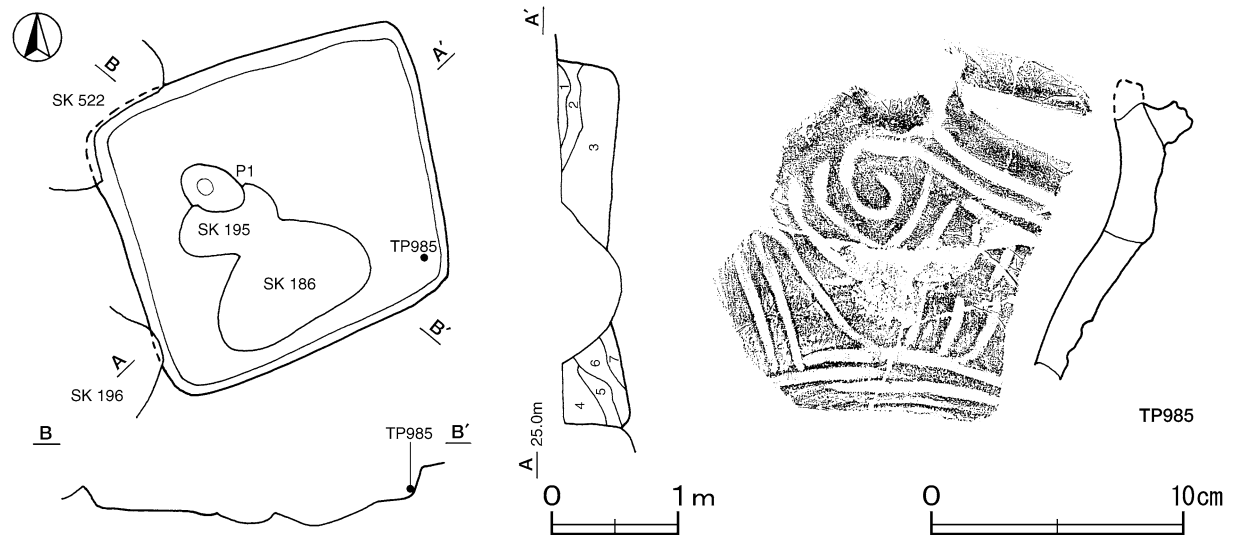
3 暗褐色 ロームブロック少量

7 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

4 明褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片30点（深鉢），石器2点（剥片）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E I（新）式期である。形状から，後世に構築された可能性もあるが，出土遺物と覆土の様相などから，当該期に位置づけた。



第81図 第185号土坑・出土遺物実測図

第185号土坑出土遺物観察表（第81図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP985	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	石英・長石	褐	普通	口唇部に隆帯を巡らす 沈線によって渦巻状・重弧状のモチーフを描出	覆土下層	PL52

第200号土坑（第82図）

位置 調査区南部の F 5 a5区で，標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第201・531号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第201号土坑に掘り込まれているため，確認できた長径は1.88mで，本来は長径2.10mほど，短径1.50mで，長径方向がN - 51° - Eの不整楕円形と推測できる。深さは42cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 4層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

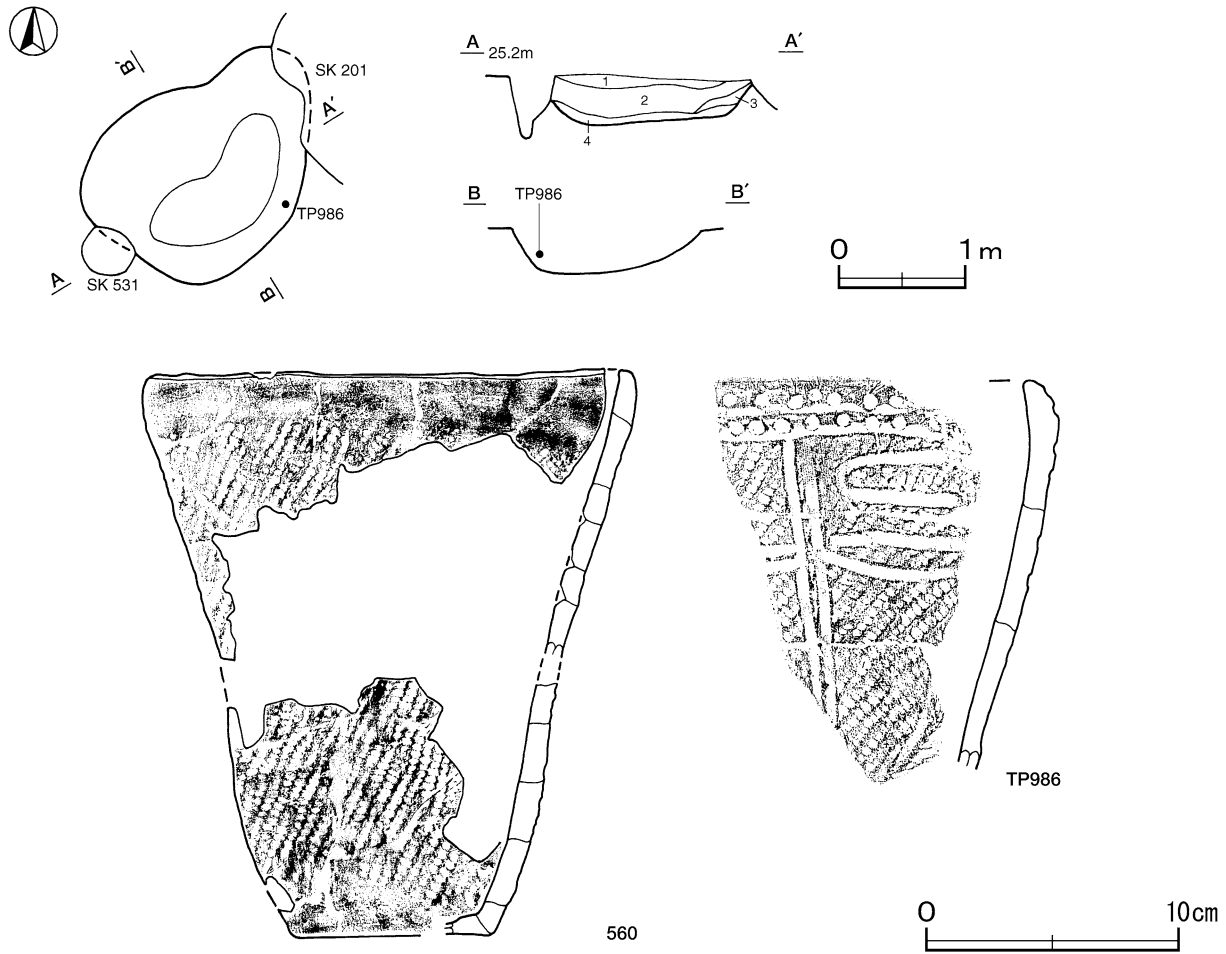
- | | | | | |
|-------|--------------------|--------|-------|------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 炭化粒子微量 | 3 暗褐色 | 焼土ブロック少量，ロームブロック・炭化物微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量，焼土ブロック微量 | | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片199点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E II 式期と考えられる。

第200号土坑出土遺物観察表（第82図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
560	縄文土器	深鉢	[18.5]	[22.3]	7.6	長石・雲母	にぶい橙	普通	口唇部は無文 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	30%
TP986	縄文土器	深鉢	-	(15.2)	-	石英・長石	明赤褐	普通	口唇部直下に2本の沈線と連続する円形刺突文を巡らす。胴部は2本の沈線を垂下・横位にも巡らす 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土下層	



第82図 第200号土坑・出土遺物実測図

第203号土坑（第83図）

位置 調査区南部のF 5 a6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第204号土坑に掘り込まれている。南側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北側が第204号土坑に掘り込まれ、南側が調査区域外に延びているため、長径0.80m、確認できた短径は0.45mで、本来は短径0.70mほどで、長径方向がN - 74° - Eの楕円形と推測できる。深さは58cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

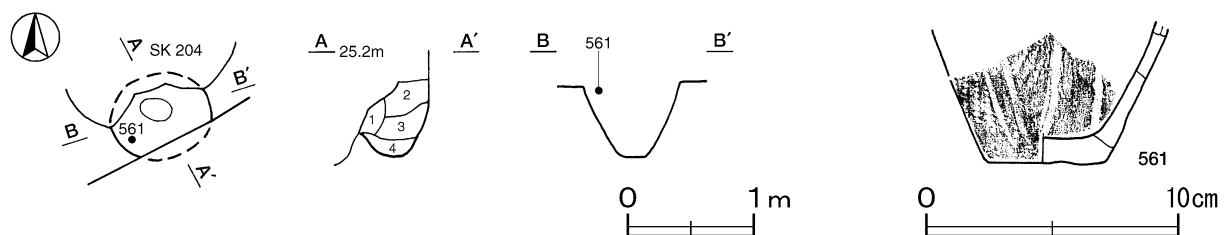
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|-------|------------------|---------------|-------|-----------|----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量 | 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック少量 | 焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 | 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 | |

遺物出土状況 縄文土器片76点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期と考えられる。



第83図 第203号土坑・出土遺物実測図

第203号土坑出土遺物観察表（第83図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
561	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	4.7	石英・長石・雲母	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地の2段L R単節縄文を施文	覆土上層	10%

第204号土坑（第84図）

位置 調査区南部のF 5 a6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第203・246号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.54m、短径1.08mの楕円形で、長径方向はN - 56° - Eである。深さは65cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、東側にテラス状の段を有している。

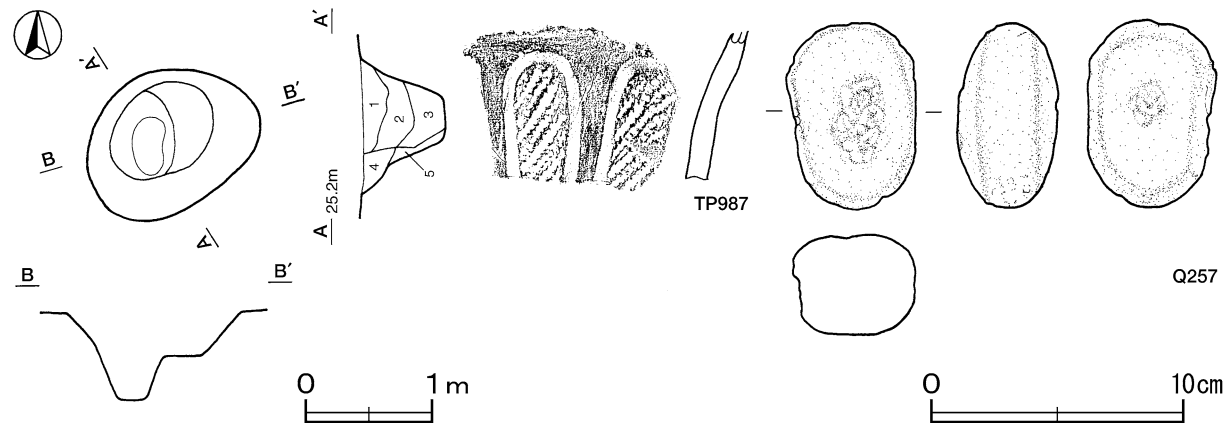
覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|-------|--------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック中量、焼土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片78点（深鉢）、石器1点（凹石）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II（新）式期と考えられる。



第84図 第204号土坑・出土遺物実測図

第204号土坑出土遺物観察表（第84図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP987	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	石英・長石	橙	普通	沈線で長楕円形のモチーフを描き、縦位回転の2段R L単節縄文を充填	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q257	磨石	7.4	5.1	4.0	194.6	砂岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土	

第205号土坑（第85図）

位置 調査区南部のE 5 j7区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第23号住居跡と平面的に重複しているが、先後関係は不明である。

規模と形状 長径1.01m、短径0.79mの楕円形で、長径方向はN - 59° - Eである。深さは30cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

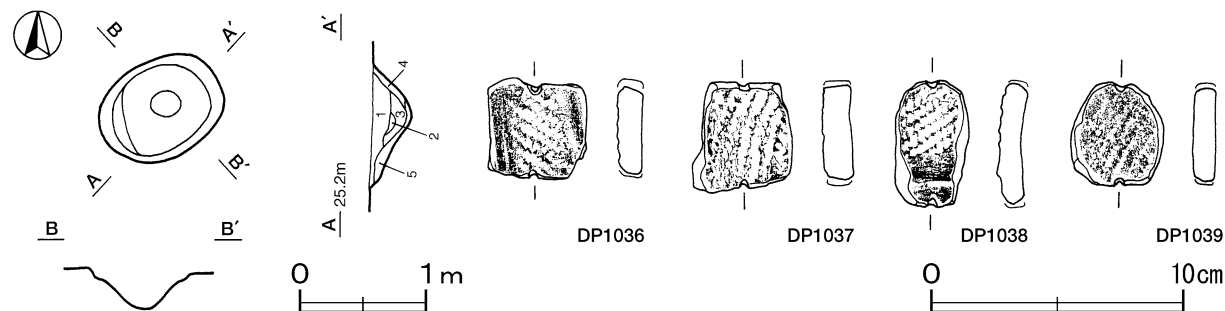
覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | 5 褐色 | ローム粒子微量 |
| 3 暗褐色 | 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片32点(深鉢), 土製品4点(土器片錘)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は, 土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第85図 第205号土坑・出土遺物実測図

第205号土坑出土遺物観察表(第85図)

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1036	土器片錘	4.0	3.9	1.0	23.6	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.4cm	覆土	PL56
DP1037	土器片錘	4.5	3.9	1.1	27.1	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm	覆土	PL56
DP1038	土器片錘	5.0	2.9	0.9	18.0	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間4.7cm	覆土	PL56
DP1039	土器片錘	4.0	3.6	0.9	13.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.7cm	覆土	PL56

第222号土坑(第86図)

位置 調査区東部のE6i8区で, 標高24.4mの台地縁辺部に位置している。

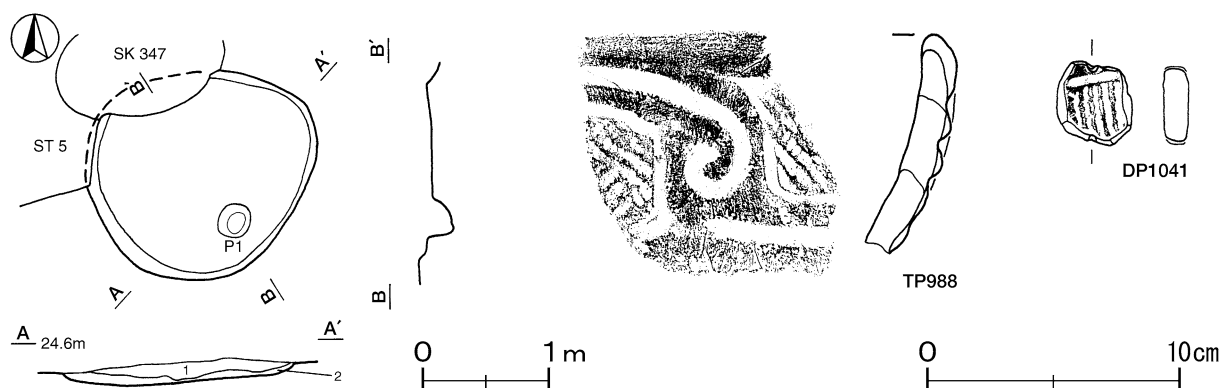
重複関係 第5号建物, 第347号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第347号土坑に掘り込まれているため, 長径1.87m, 確認できた短径は1.31mで, 本来は短径1.60mほどで, 長径方向がN-58°-Eの楕円形と推測できる。深さは16cmで, 壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で, 南東側にP1が存在し, 深さは25cmである。

覆土 2層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量 | 2 暗褐色 | ロームブロック中量 |
|-------|--------------------------|-------|-----------|



第86図 第222号土坑・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片34点(深鉢),土製品1点(土器片錘)が,覆土中から散在した状態で出土している。
所見 時期は,出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期と考えられる。

第222号土坑出土遺物観察表(第86図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP988	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	石英・長石	黒	普通	隆帯と沈線によって渦巻状・棒状のモチーフを描出 区画内に縦位・斜位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1041	土器片錘	3.3	3.0	1.0	11.2	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.9cm	覆土	PL56

第227号土坑(第87図)

位置 調査区南部のE5h0区で,標高24.5mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第228・229号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.00m,短径0.95mの円形で,深さは27cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

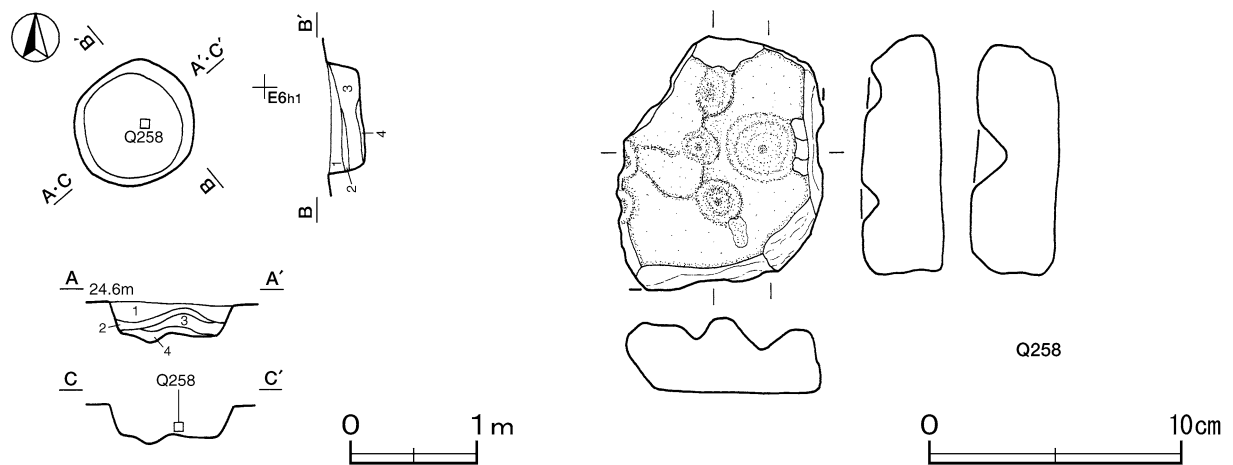
覆土 4層に分かれ,不自然な堆積状況から,埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 石器1点(凹石)が,覆土下層から出土している。

所見 時期は,出土石器から中期と推測できる。



第87図 第227号土坑・出土遺物実測図

第227号土坑出土遺物観察表(第87図)

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q258	凹石	(10.0)	(8.2)	(3.5)	(386.7)	雲母片岩	片面に複数の断面形がV字状の凹みと擦痕	覆土下層	

第230号土坑(第88図)

位置 調査区南部のE5i7区で,標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第5号溝に掘り込まれている。

規模と形状 北西側が第5号溝に掘り込まれているため、長径1.82m、確認できた短径は0.97mで、本来は短径1.50mほどで、長径方向がN - 57° - Eの楕円形と推測できる。深さは44cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

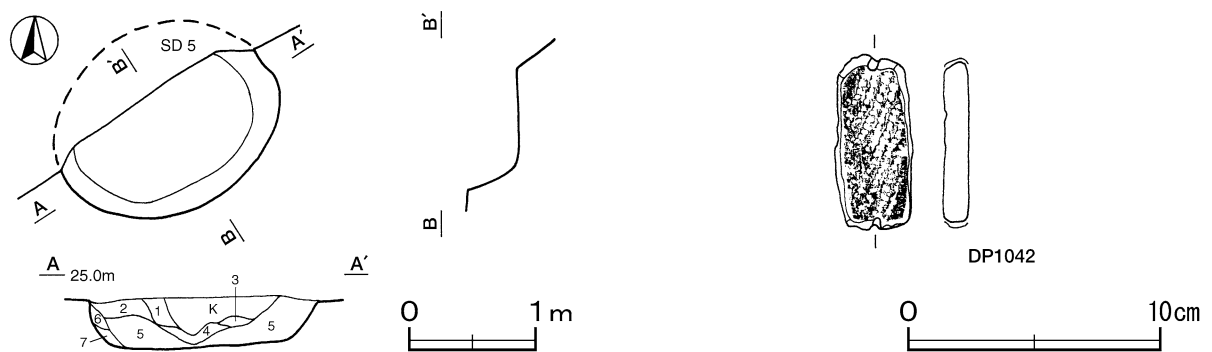
覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック少量，ローム粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化物微量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子微量 | 6 褐色 ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック微量 | 7 極暗褐色 ロームブロック微量 |
| 4 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 | |

遺物出土状況 縄文土器片182点(深鉢)，土製品1点(土器片錘)が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II 式期と推測できる。



第88図 第230号土坑・出土遺物実測図

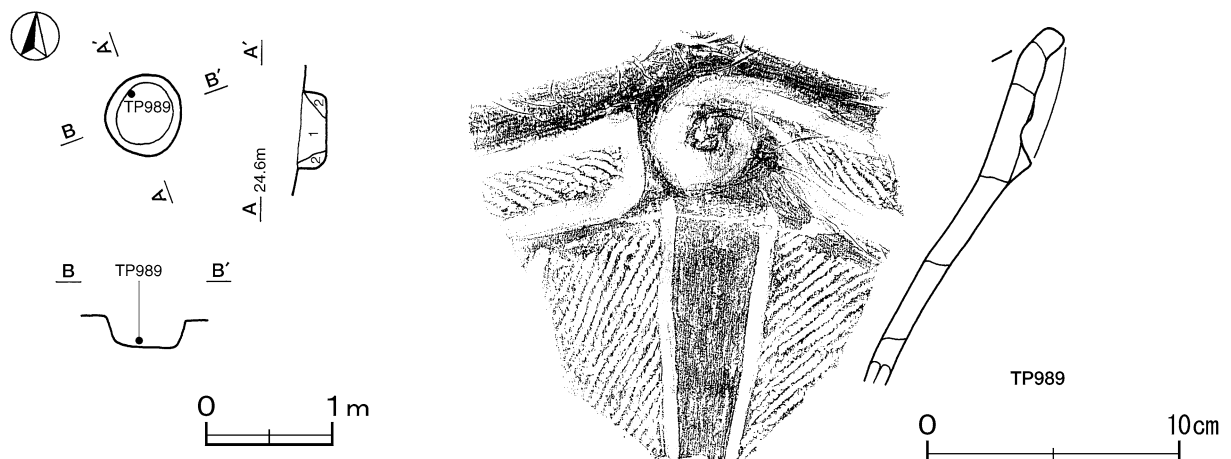
第230号土坑出土遺物観察表 (第88図)

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1042	土器片錘	6.8	3.0	1.0	31.7	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間6.3cm	覆土	PL56

第233号土坑 (第89図)

位置 調査区南部のE 5 h9区で、標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。



第89図 第233号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径0.64m，短径0.60mの円形で，深さは25cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化物微量

遺物出土状況 縄文土器片11点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期と考えられる。

第233号土坑出土遺物観察表（第89図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP989	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	石英・長石	暗褐	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状・杵状のモチーフを描出。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位回転，胴部が縦位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	

第234号土坑（第90図）

位置 調査区南部のE 5 h9区で，標高24.4mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.92m，短径0.82mの隅丸長方形で，長径方向はN - 21° - Wである。深さは40cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

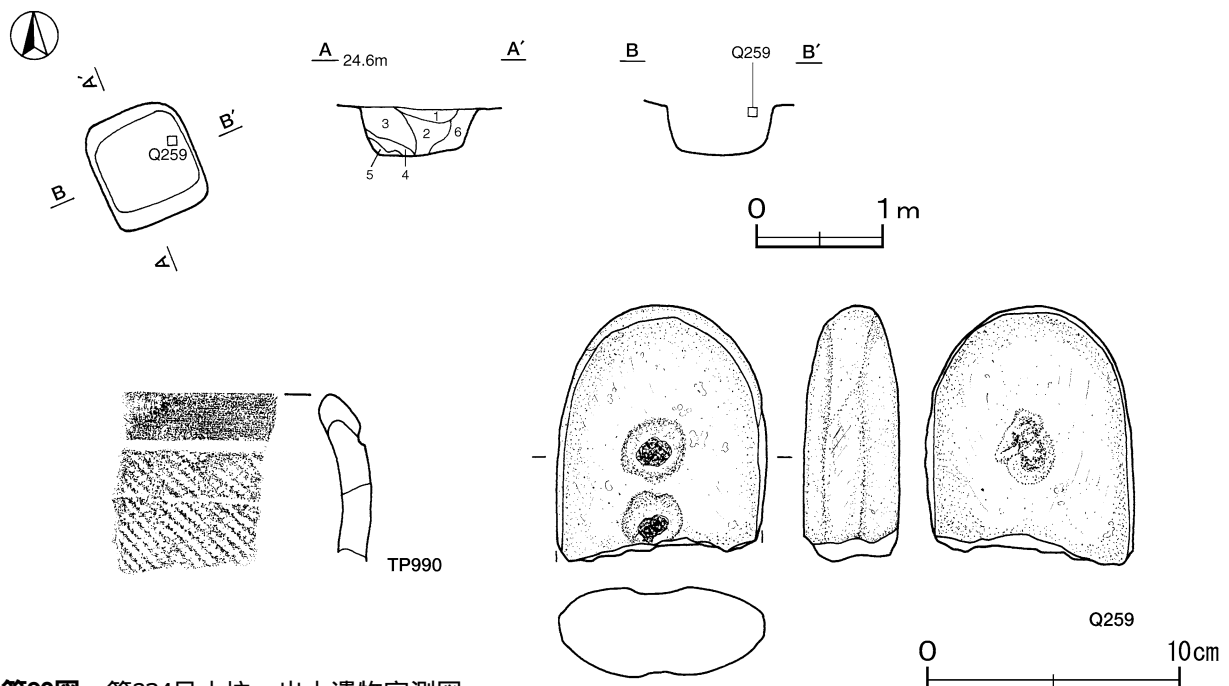
覆土 6層に分かれ，不自然な堆積状況から，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 4 暗褐色 ロームブロック少量，焼土ブロック・炭化物微量
 2 暗褐色 ロームブロック少量 5 褐色 ロームブロック少量
 3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 6 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片29点（深鉢），石器1点（磨石）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。



第90図 第234号土坑・出土遺物実測図

第234号土坑出土遺物観察表（第90図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP990	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	石英・長石	褐	普通	口唇部は無文 以下に沈線を巡らす 縦位回転の2段LR単節縄文を施文 地文は	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q259	磨石	(10.2)	(8.2)	(3.8)	(472.0)	安山岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土上層	

第237号土坑（第91図）

位置 調査区南部のE 6 i 1区で、標高24.2mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第238号土坑を掘り込んでいる。南側は調査区域外に延びている。

規模と形状 南側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.64mで、本来は長径1.30mほど、短径1.09mで、長径方向がN - 23° - Eの楕円形と推測できる。深さは21cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から後期後葉の加曾利B式期である。



第91図 第237号土坑・出土遺物実測図

第237号土坑出土遺物観察表（第91図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP991	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	地文は横位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	

第256号土坑（第92図）

位置 調査区東部のD 6 j 2区で、標高25.1mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第278号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径2.12m、短径1.85mの楕円形で、長径方向はN - 7° - Wである。深さは42cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、西壁下にP1が存在し、深さは35cmである。

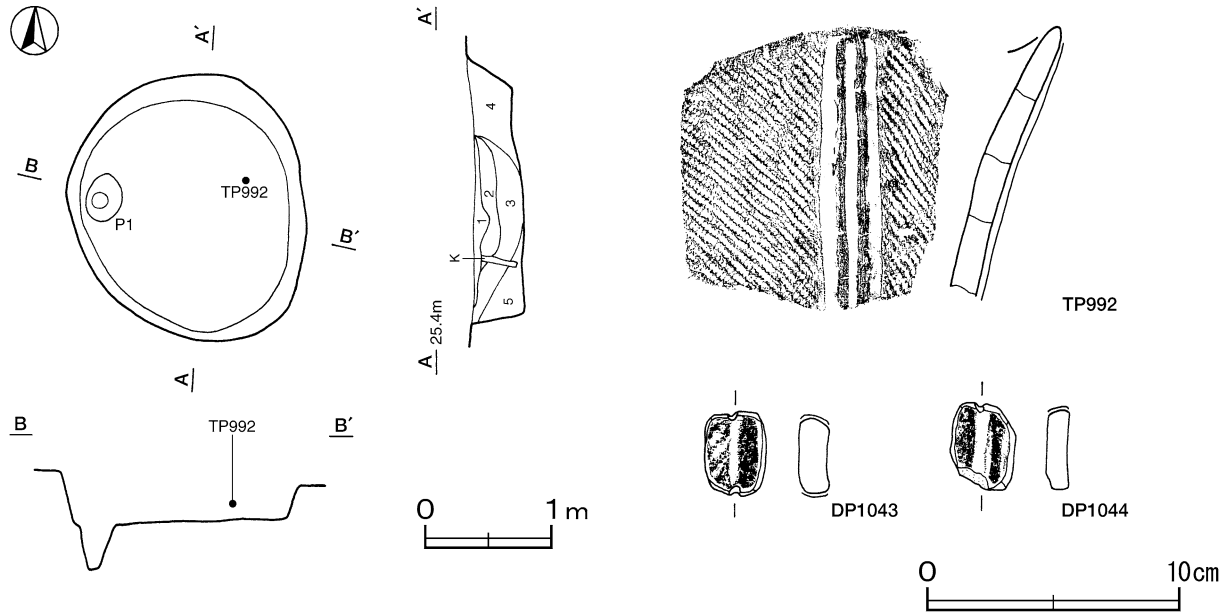
覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片51点(深鉢), 土製品2点(土器片錘)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第92図 第256号土坑・出土遺物実測図

第256号土坑出土遺物観察表 (第92図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP992	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐	普通	上部と両脇に沈線に沿せた隆帯を垂下 文は縦位回転の2段LR単節縄文を施文	地 覆土下層	
番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴		出土位置	備考	
DP1043	土器片錘	3.2	2.5	1.2	12.8	縄文土器	主に周縁研磨調整	1方向の切り込み 切り込み間2.9cm	覆土	PL56	
DP1044	土器片錘	3.4	2.6	0.9	9.3	縄文土器	主に周縁研磨調整	1方向の切り込み 切り込み間3.2cm	覆土	PL56	

第258号土坑 (第93図)

位置 調査区東部のE 6 e3区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第264・266号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.02m, 短径0.98mの円形で, 深さは75cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

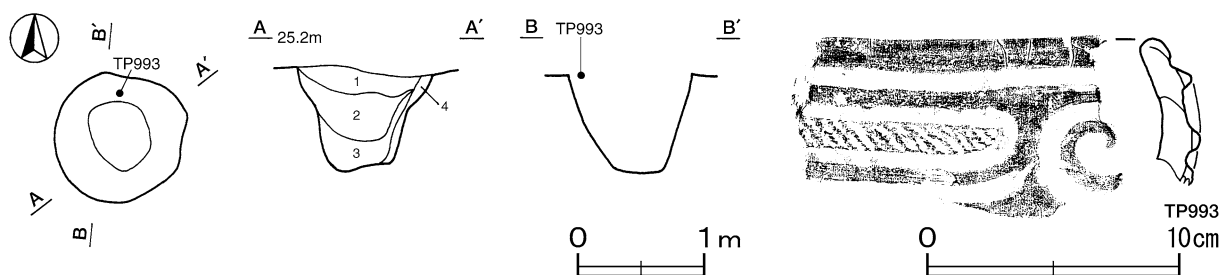
覆土 4層に分かれ, 周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量 焼土ブロック少量 炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片80点(深鉢)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第93図 第258号土坑・出土遺物実測図

第258号土坑出土遺物観察表（第93図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP993	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	石英・長石・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成。区画内に縦位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土上層	

第266号土坑（第94図）

位置 調査区東部のE 6 e3区で、標高24.8mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第258号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第258号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.47mで、本来は長径0.70mほど、短径0.61mで、長径方向がN - 22° - Wの楕円形と推測できる。深さは16cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

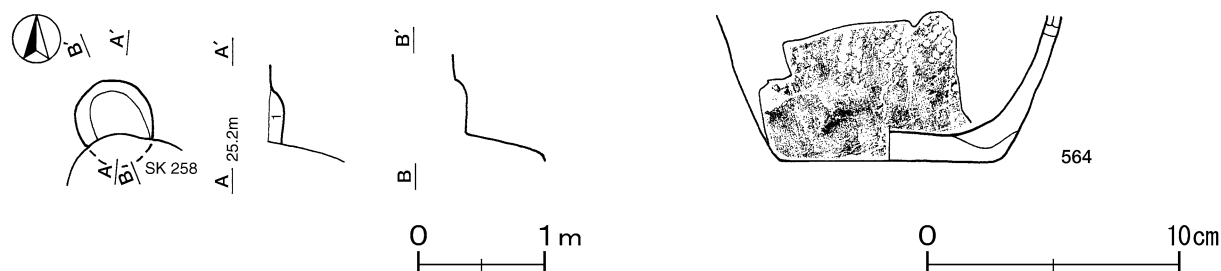
覆土 単一層。均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片36点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利E II式期である。



第94図 第266号土坑・出土遺物実測図

第266号土坑出土遺物観察表（第94図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
564	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	[8.4]	石英・長石・雲母	橙	普通	地文は縦位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土	10%

第271号土坑（第95図）

位置 調査区東部のE 6 d7区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第343・344号土坑を掘り込み、第24号住居に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第24号住居に掘り込まれているため、長径3.09m、確認できた短径は1.10mで、本来は短

径2.50mほどで、長径方向がN - 40° - Wの楕円形と推測できる。深さは42cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有し、東壁下、南壁下にピットが存在し、P1の深さは48cm、P2の深さは42cmである。

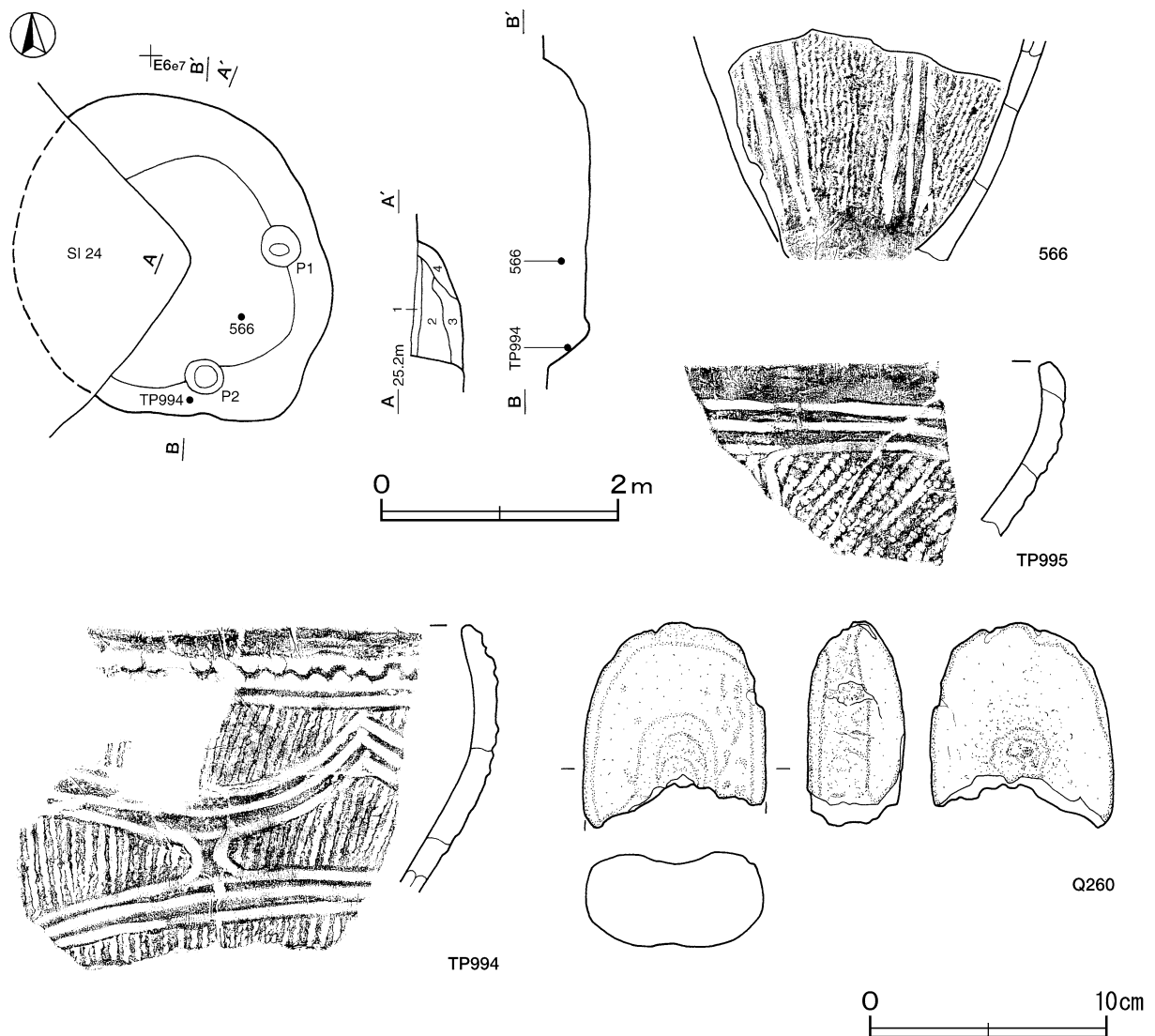
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|---------------------|------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 3 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片137点(深鉢), 石器1点(磨石)が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II(新)式期である。



第95図 第271号土坑・出土遺物実測図

第271号土坑出土遺物観察表(第95図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
566	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	6.8	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は燃糸文を施文	覆土中層	10%
TP994	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	口唇部直下に連続コの字状文を巡らす 3本単位の沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモチーフを描出 地文は燃糸文を施文	覆土下層	
TP995	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部は無文 以下に3本の沈線を巡らし、縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q260	磨石	(8.6)	(7.8)	(4.2)	(374.7)	安山岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土	

第280号土坑 (第96図)

位置 調査区東部のD 6 j1区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第123号土坑に掘り込まれている。

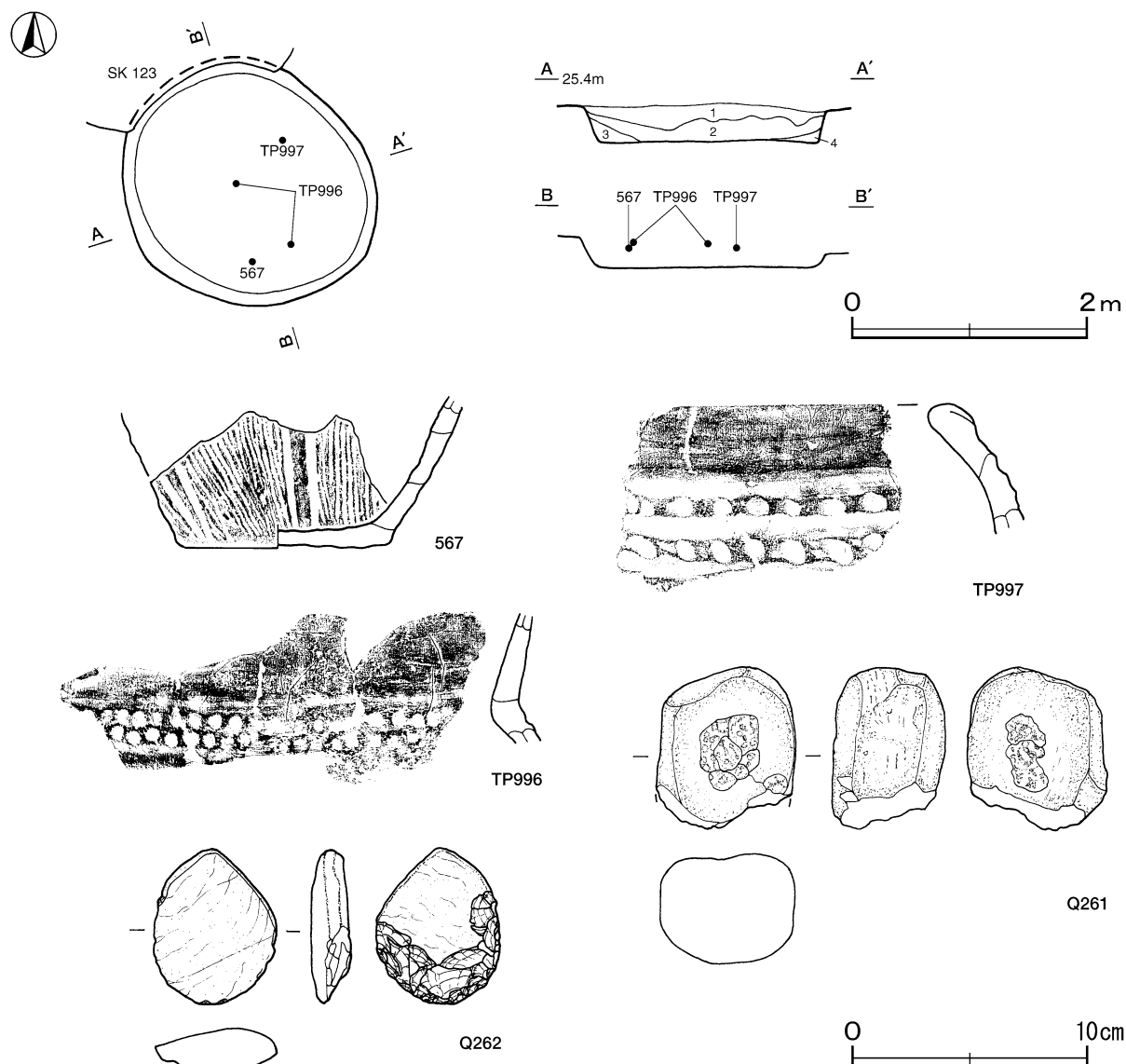
規模と形状 北西側が第123号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は2.24mで、本来は長径2.30mほど、短径2.02mで、長径方向がN - 50° - Wの楕円形と推測できる。深さは32cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は緩やかな凹凸を有している。

覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片143点(深鉢), 石器2点(打製石斧, 敲石)が、覆土上層から中層にかけて散在し



第96図 第280号土坑・出土遺物実測図

た状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E II（新）式期である。

第280号土坑出土遺物観察表（第96図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
567	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	8.5	長石・雲母	にぶい橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は燃糸文を施文	覆土中層	10%
TP996	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	石英・長石・雲母	灰黄褐	普通	上部は無文 くびれ部に円形刺突文を2段に 巡らす	覆土中層	
TP997	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部は無文 以下に3本の凹線と円形刺突 文を交互に巡らす	覆土中層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q261	磨石	(6.9)	(5.9)	(4.8)	(304.1)	安山岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土	
Q262	打製石斧	6.6	5.2	1.7	73.7	凝灰岩	片面側から階段状の剥離を連続させて刃部を形成 両面に大きく鎌面を残す	覆土	

第305号土坑（第97図）

位置 調査区東部の E 6 e7区で，標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.51m，短径1.29mの楕円形で，長径方向はN - 10° - Wである。深さは30cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|---------|-------------------------|-------|-----------|
| 1 暗 褐 色 | ロームブロック少量，焼土ブロック微量 | 3 褐 色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗 褐 色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片279点（深鉢），土製品2点（土器片錘）が，覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E III ~ IV式期と推測できる。

第306号土坑（第98図）

位置 調査区東部の E 6 c7区で，標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第307・359・455号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.72m，短径0.98mの楕円形で，長径方向はN - 44° - Wである。深さは27cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 4層に分かれ，不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

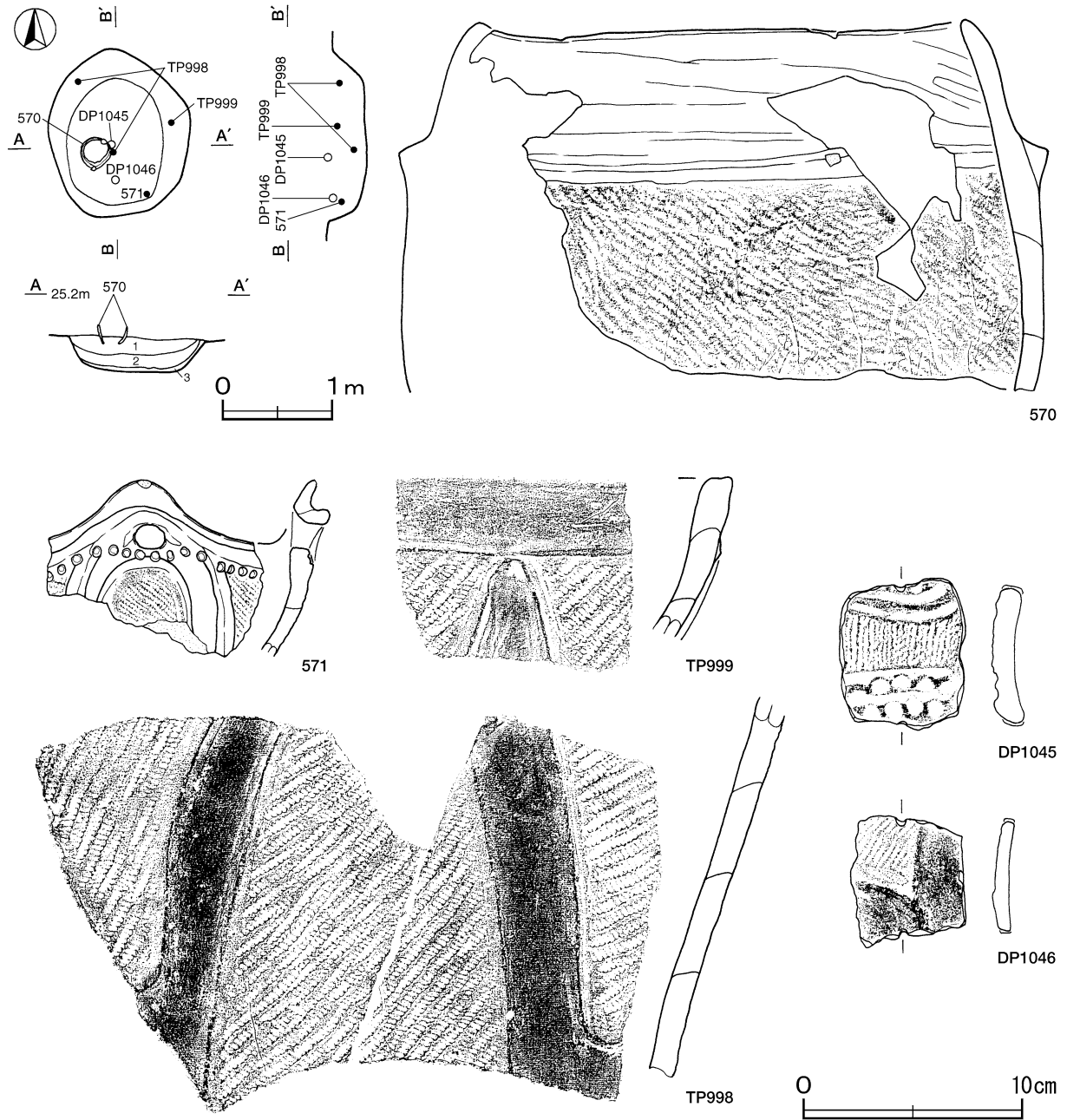
- | | | | |
|---------|-----------------|---------|-----------|
| 1 黒 褐 色 | ロームブロック中量，炭化物微量 | 3 黒 褐 色 | ロームブロック中量 |
| 2 褐 色 | ロームブロック中量，炭化粒微量 | 4 暗 褐 色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片10点（深鉢）が，覆土上層から散在した状態で出土している。その他，混入した土師器片2点も出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利 E II式期である。

第315号土坑（第99図）

位置 調査区東部の E 6 d8区で，標高24.8mの台地平坦部に位置している。

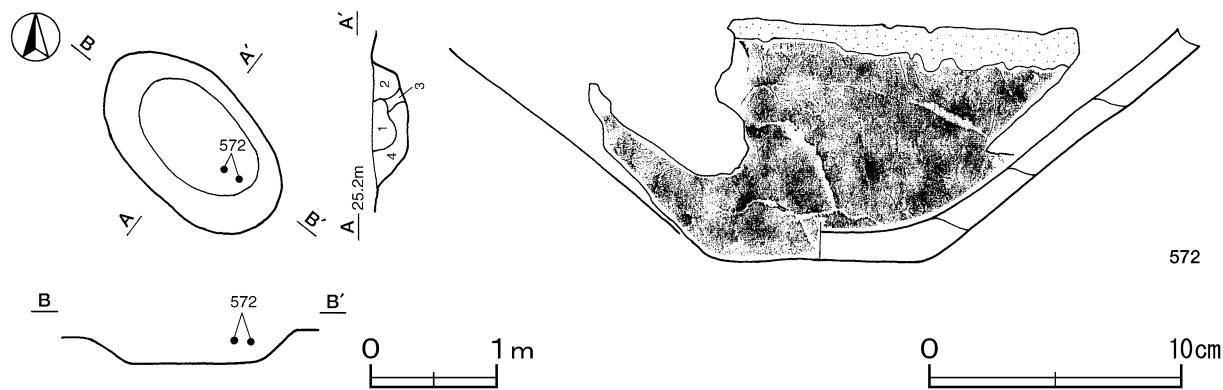


第97図 第305号土坑・出土遺物実測図

第305号土坑出土遺物観察表（第97図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
570	縄文土器	深鉢	[22.3]	(17.0)	-	石英・長石・雲母	にぶい褐	普通	口縁部は無文 以下に隆帯を巡らし、縦位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土上層	30%
571	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	石英・長石・雲母	灰黄褐	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす 胴部は微隆帯によって楕円形区画を形成 縦位回転の前々段多糸L Rを施文 微隆帯間は磨り消す	覆土中層	10%
TP998	縄文土器	深鉢	-	(17.5)	-	石英・長石・雲母	明褐	普通	微隆帯によって三角形・楕円形区画を形成 縦位回転の前々段多糸Lを施文 微隆帯間は磨り消す	覆土中層	
TP999	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	石英・長石・雲母	黒褐	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす 胴部は微隆帯によって三角形区画を形成 縦位回転の前々段多糸R Lを施文 微隆帯間は磨り消す	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1045	土器片錘	6.9	5.8	1.5	65.5	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間6.2cm	覆土上層	PL56
DP1046	土器片錘	6.1	5.2	1.1	26.6	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間5.0cm	覆土上層	PL56



第98図 第306号土坑・出土遺物実測図

第306号土坑出土遺物観察表（第98図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
572	縄文土器	浅鉢	-	(9.2)	8.3	石英・長石・雲母	黒褐	普通	無文	覆土中層	20%

重複関係 第4号建物に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.44m，短径2.25mの不整形円形で，深さは30cmである。壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，中央部，北東壁下，南西壁下にピットが存在し，P1～P5の深さは8～57cmである。

覆土 6層に分かれ，不自然な堆積状況とロームブロックや焼土ブロックなどを比較的多く含んでいるため，埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-----------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物微量 | 6 褐色 | ロームブロック中量，焼土粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片232点（深鉢），石器8点（石鏃1，磨石3，剥片4）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ（新）式期である。

第331号土坑（第100図）

位置 調査区東部のE6g5区で，標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第483号土坑を掘り込んでいます。

規模と形状 長径1.89m，短径1.78mの円形で，深さは60cmである。壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，中央部の南寄りにP1が存在し，深さは36cmである。

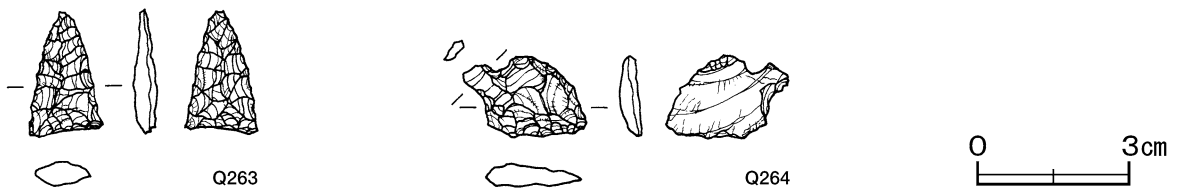
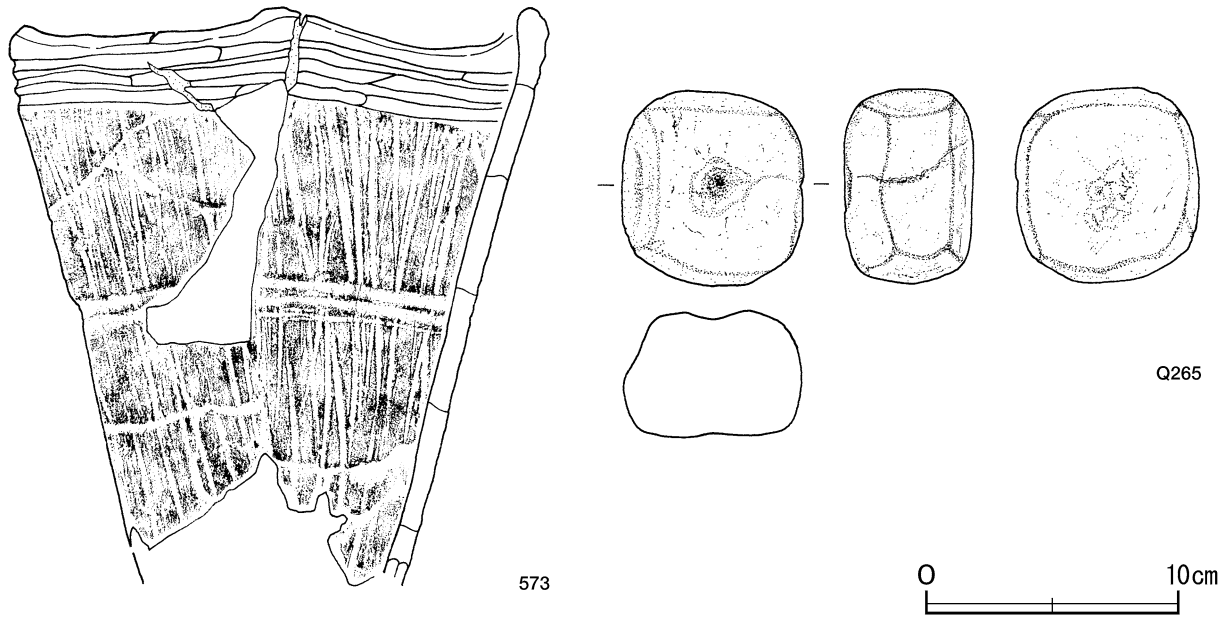
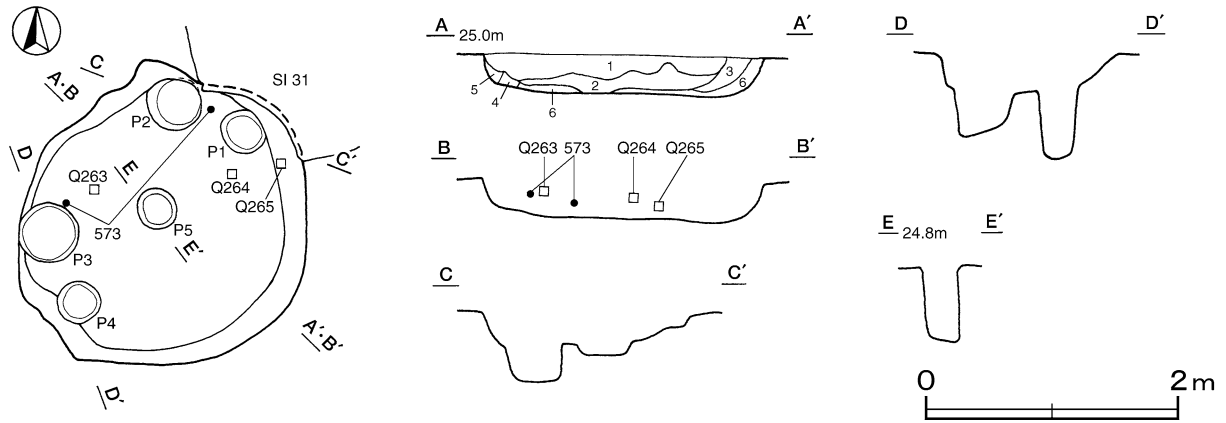
覆土 6層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化粒子微量 | 6 褐色 | ロームブロック中量，炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片71点（深鉢），礫1点，が，覆土中から散在した状態で出土している。575は覆土中層から逆位の状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の曾利Ⅱ～Ⅲ式期と推測できる。

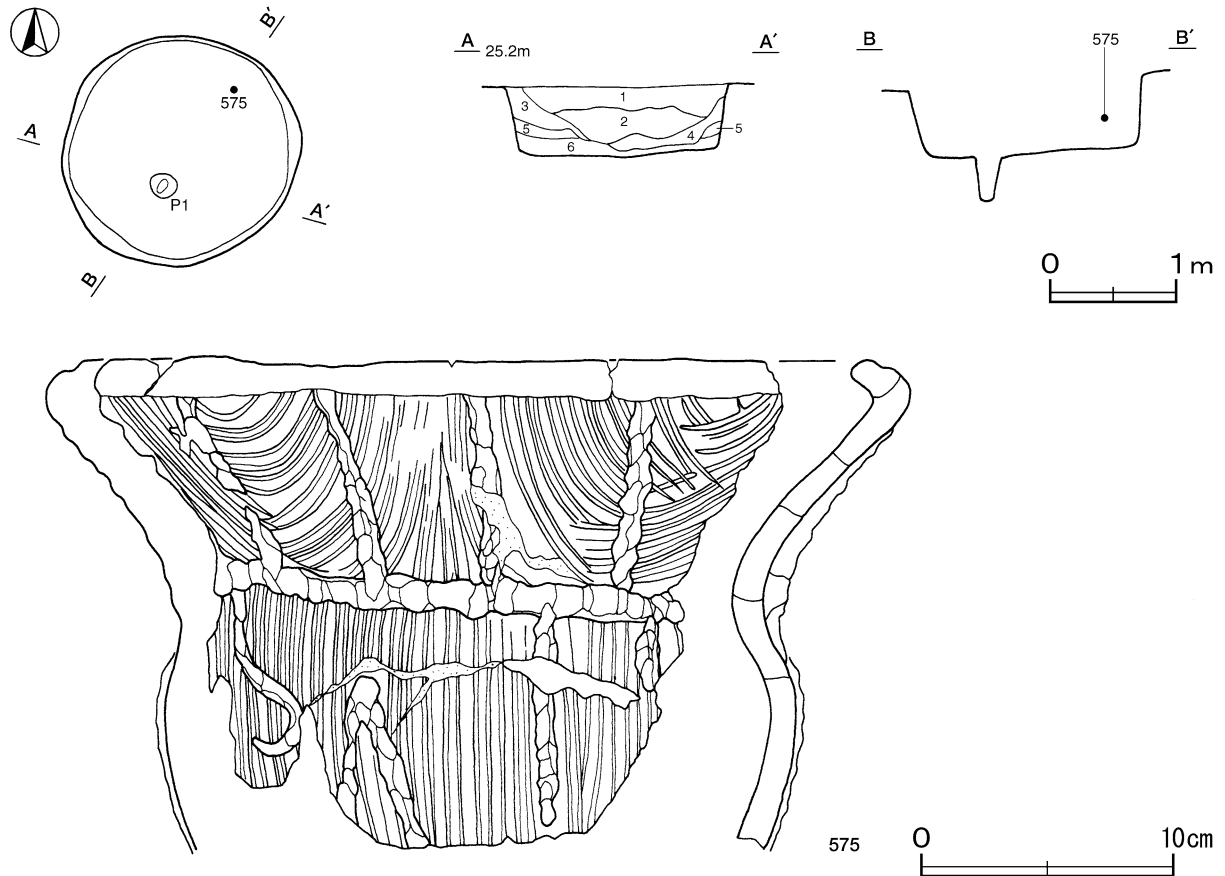


第99図 第315号土坑・出土遺物実測図

第315号土坑出土遺物観察表（第99図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
573	縄文土器	深鉢	20.1	(22.8)	-	石英・長石・雲母	明赤褐	普通	口唇部と胴部中央に3本単位の沈線を巡らす 太い棒状工具によって荒い条線文を縦位に施文	覆土下層	40%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q263	石鏃	2.5	1.4	0.5	1.1	黒曜石	両面調整	覆土下層	
Q264	石匙	1.7	2.5	0.5	1.4	チャート	主要剥離面側からの調整を主とし、抉り加工で撮み状の突起 を作出	覆土下層	
Q265	磨石	7.8	7.3	5.1	493.9	安山岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土下層	PL54



第100図 第331号土坑・出土遺物実測図

第331号土坑出土遺物観察表（第100図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
575	縄文土器	浅鉢	[30.0][19.4)	-	-	石英・長石	にぶい橙	普通	口唇部が内傾し、突帯状に巡る。口縁部と胴部は連続して押捺された隆帯を縦位に、くびれ部は横位に貼付。地文は半截竹管による平行沈線で、口縁部が重弧状、胴部が茶線文を縦位に描く。いわゆる竜目土器。	覆土中層	30%

第345号土坑（第101・102図）

位置 調査区東部のE 6 b6区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第26・28号住居に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第28号住居に掘り込まれているため、長径2.06m、確認できた短径は1.73mで、本来は短径1.75mほどで、長径方向がN - 68° - Wの楕円形と推測できる。深さは70cmで、壁は直立している。底面はほぼ平坦で、東壁下、西壁下にピットが存在し、P1～P4の深さは19～51cmである。

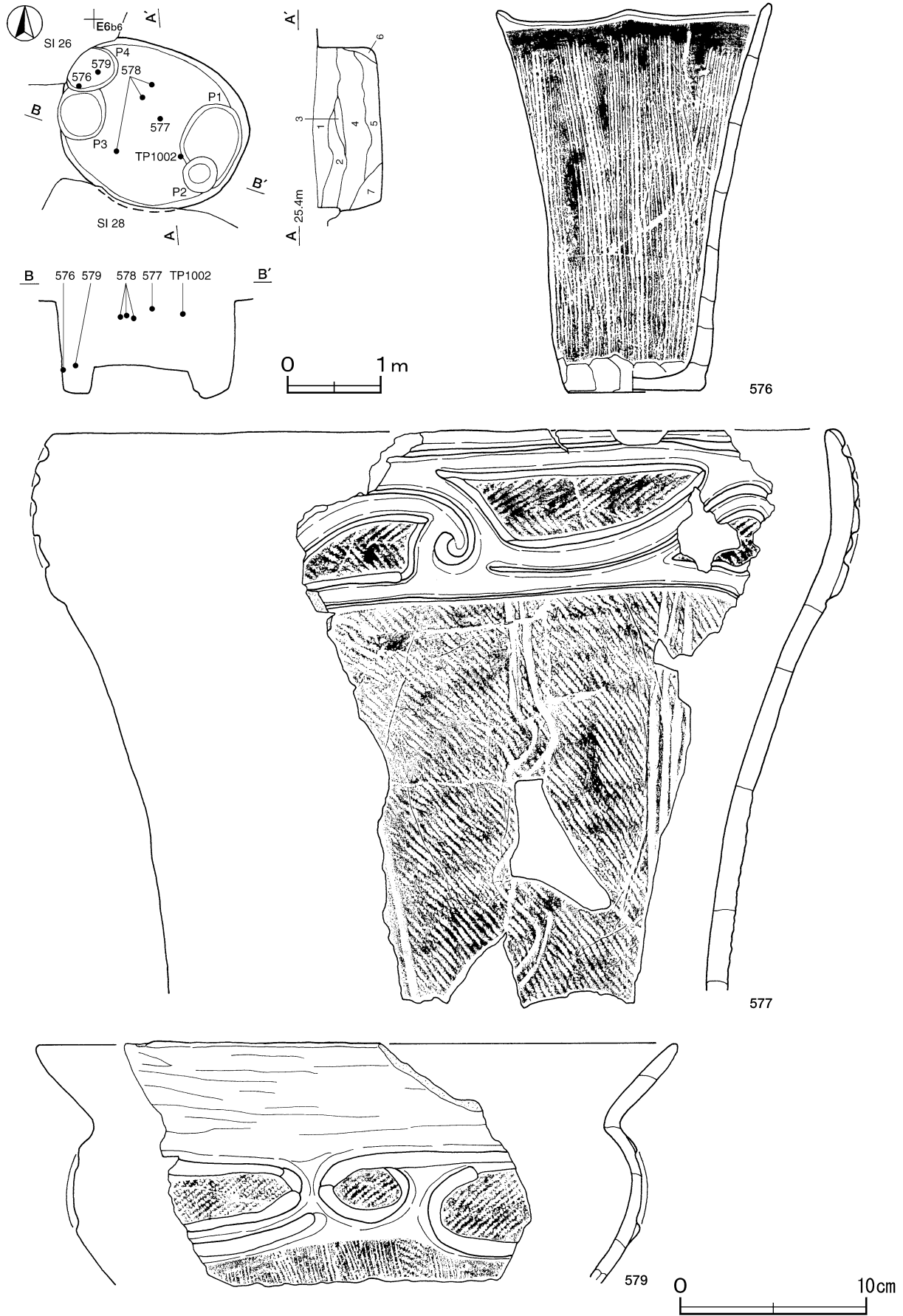
覆土 7層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

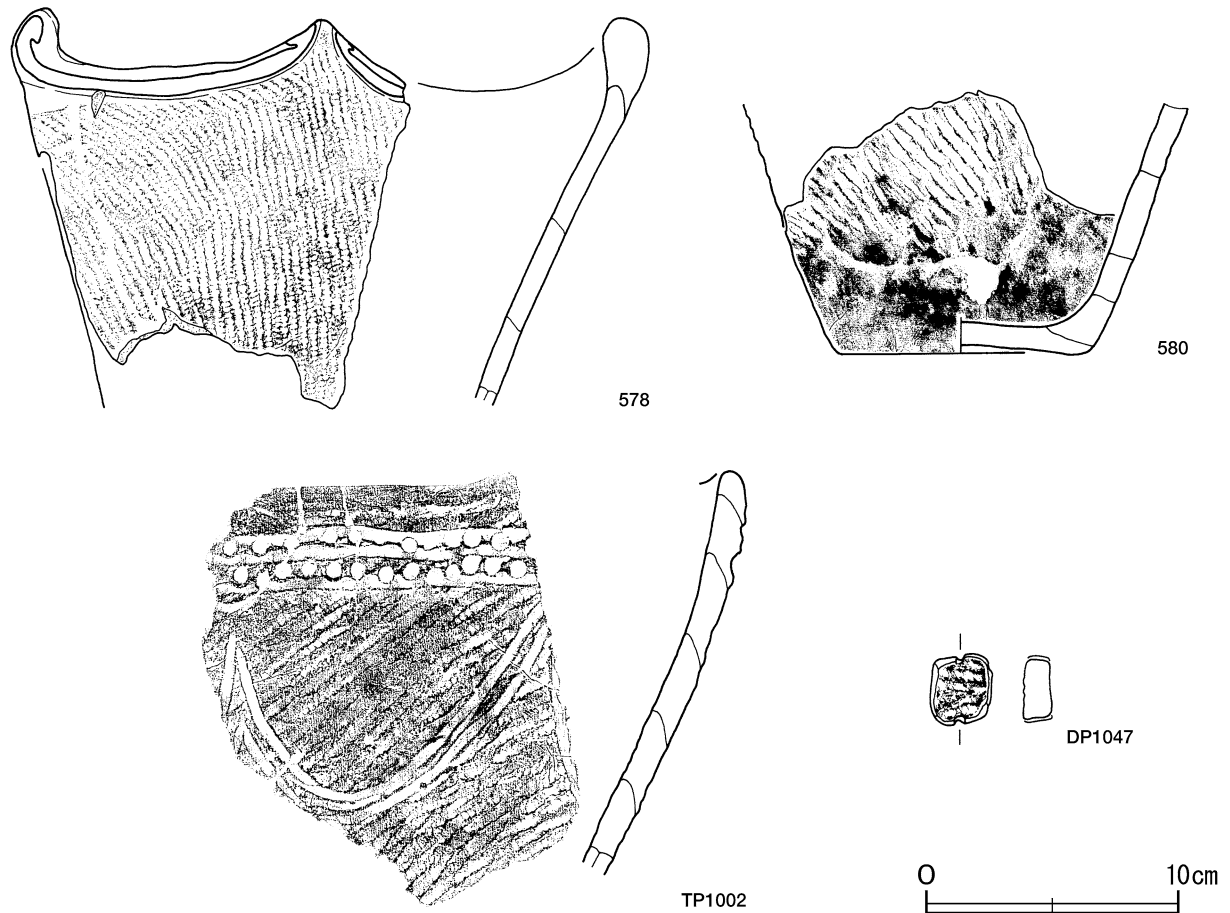
- | | | | |
|-------|----------------------|-------|------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化物・焼土粒子微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 6 暗褐色 | ローム粒子少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量 | 7 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片327点（深鉢）、土製品1点（土器片錘）が、覆土上層を中心に散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利E II（新）式期である。



第101图 第345号土坑·出土遗物实测图



第102図 第345号土坑出土遺物実測図

第345号土坑出土遺物観察表（第101・102図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
576	縄文土器	深鉢	14.7	20.7	7.4	石英・長石・雲母	明黄褐	普通	口唇部は無文 以下に5・6本単位の条線文を縦に施文	覆土下層	80% PL43
577	縄文土器	深鉢	[41.4]	[30.2]	-	石英・長石・雲母	黄橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって渦巻状・杵状のモチーフを描出 胴部は2・3本単位の平行・蛇行沈線を垂下 地文は口縁部が羽状構成、胴部が縦位回転の2段L R単節縄文を施文	覆土上層	30%
578	縄文土器	深鉢	[22.7]	[15.9]	-	石英・長石・雲母	にぶい赤褐	普通	口唇上部に沈線を加える 地文は口唇部付近が横位回転、胴部が斜位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土上層	20%
579	縄文土器	鉢	[34.4]	[12.9]	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口縁部は無文 胴部は隆帯と沈線によって円形・楕円形区画を形成、区画内に横位回転の2段L R単節縄文を施文 以下に7本単位の条線文と2段L R単節縄文を縦に施文	覆土下層	20%
580	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	10.0	石英・長石・雲母	橙	普通	地文は縦位回転の1段L無節縄文を施文	覆土	20%
TP1002	縄文土器	深鉢	-	(16.0)	-	石英・長石・雲母	褐	普通	口唇部は無文 以下に3本の沈線と円形刺突文を交互に巡らす 胴部は2本単位の沈線によって重弧状のモチーフを描出 地文は縦位回転の反折りR Rを施文	覆土上層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1047	土器片錘	2.9	2.5	1.1	8.8	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.4cm	覆土	PL56

第346号土坑（第103図）

位置 調査区東部のE 6 j 9区で、標高24.0mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第37号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.79m、短径1.30mの楕円形で、長径方向はN - 26° - Eである。深さは31cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

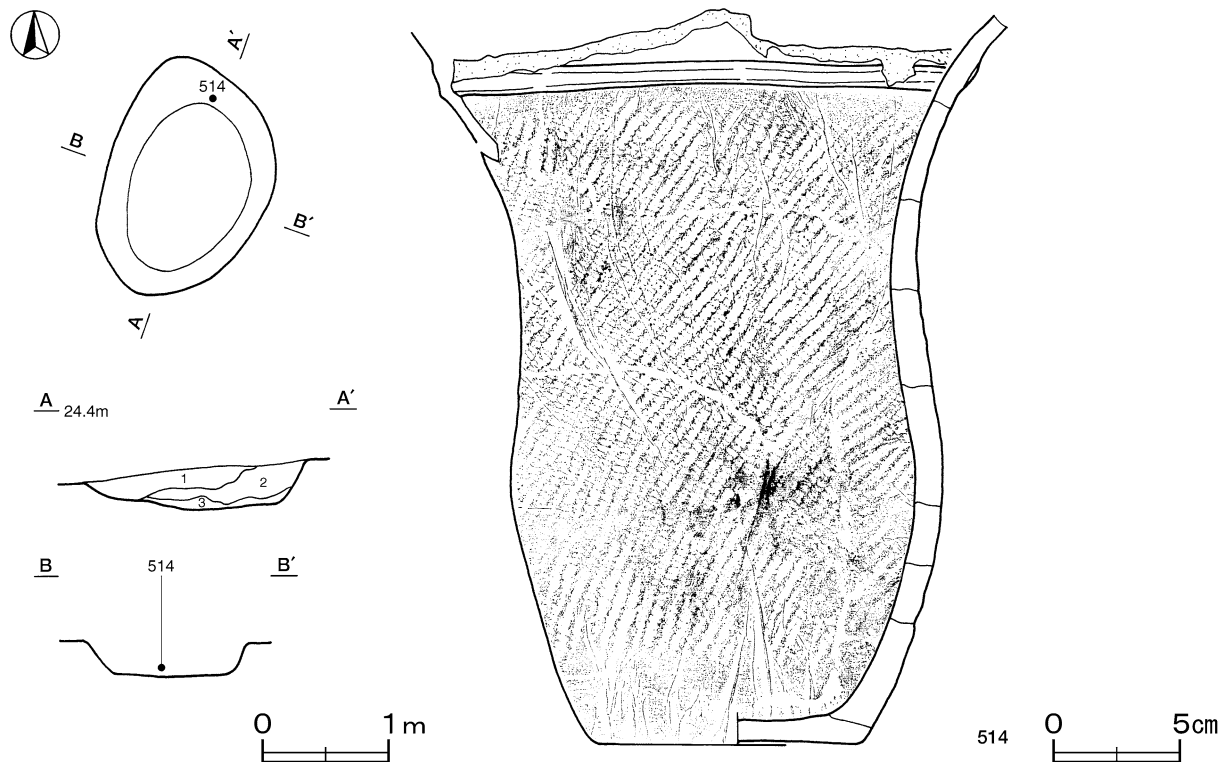
覆土 3層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子少量，炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
 2 極暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片71点（深鉢），剥片1点が，覆土下層を中心に散在した状態で出土している。その他，混入した土師器片4点も出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加普利E I（新）式期である。



第103図 第346号土坑・出土遺物実測図

第346号土坑出土遺物観察表（第103図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
514	縄文土器	深鉢	-	(29.0)	10.2	石英・長石・雲母	黄褐	普通	頸部無文 以下に隆帯を巡らし，縦位回転の2段R.L.単節縄文を施文	覆土下層	90%

第350号土坑（第104図）

位置 調査区東部のE 6 e4区で，標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第41号住居跡と重複しているが，先後関係は不明である。

規模と形状 長径3.10m，短径2.50mの楕円形で，長径方向はN - 57° - Eである。深さは23cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，中央部の西寄り，南東側にピットが存在し，P1～P3の深さは45～66cmである。

覆土 2層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

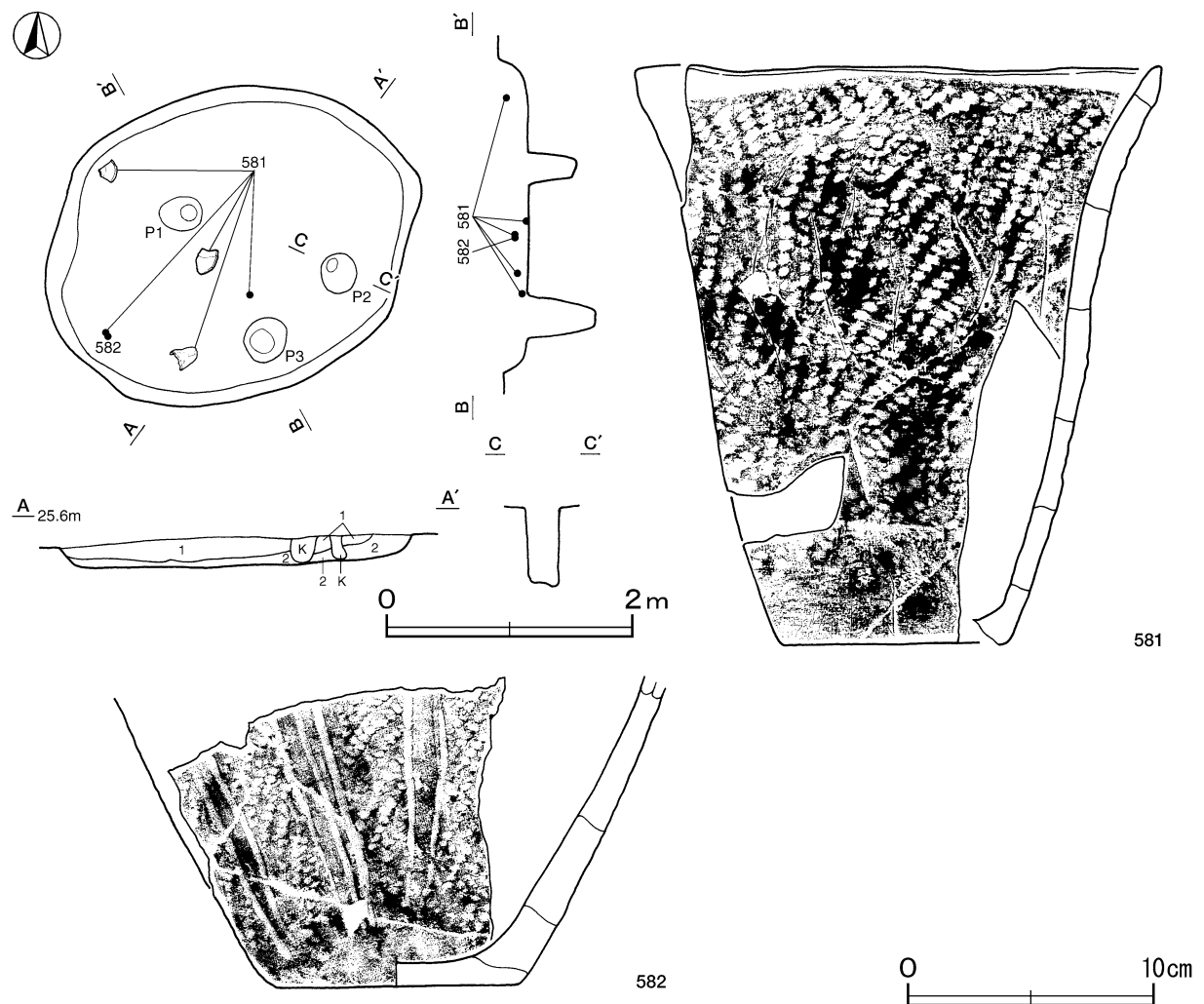
土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量，焼土ブロック少量，炭化物 2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量，炭化物微量
 微量

遺物出土状況 縄文土器片360点（深鉢）が，覆土中から出土している。581は覆土下層を中心に散在して出土

している。その他、混入した土師器片1点も出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利EⅡ（新）式期である。



第104図 第350号土坑・出土遺物実測図

第350号土坑出土遺物観察表（第104図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
581	縄文土器	深鉢	[21.3]	23.5	9.2	石英・長石・赤色粒子	にぶい橙	普通	地文は縦位・横位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	40%
582	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	9.9	石英・長石・雲母	橙	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	20%

第386号土坑（第105図）

位置 調査区東部のE6 e6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第387号土坑を掘り込み、第285・385号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北西側と南東側が第285・385号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.08mで、本来は長径1.60mほど、短径1.50mの円形と推測できる。深さは33cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

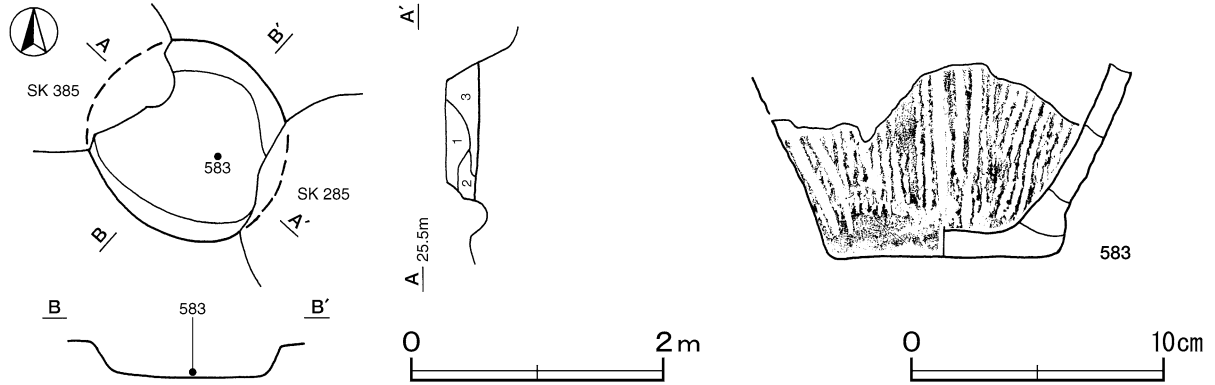
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 3 暗褐色 ロームブロック中量
 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片24点(深鉢)が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。



第105図 第386号土坑・出土遺物実測図

第386号土坑出土遺物観察表(第105図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
583	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	8.9	石英・長石・雲母	橙	普通	2・3本単位の沈線を垂下 地文は捺糸文を施文	覆土下層	10%

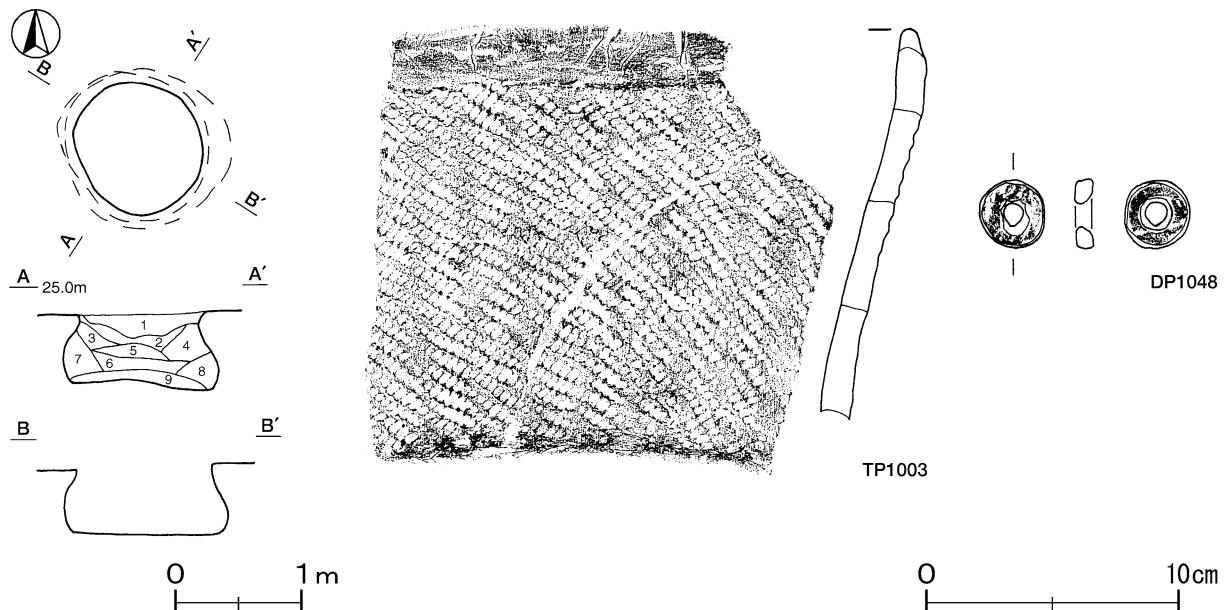
第395号土坑(第106図)

位置 調査区南部のE 5 i5区で, 標高24.8mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 開口部は長径1.05m, 短径1.00mの円形である。深さは58cmで, 壁は内傾して立ち上がっている。

底面は長径1.30m, 短径1.10mの楕円形で, 緩やかな凹凸を有している。



第106図 第395号土坑・出土遺物実測図

覆土 9層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 7 褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 8 褐色 | ロームブロック中量 |
| 4 黒褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 9 褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片343点(深鉢), 石器1点(剥片), 土製品5点(土器片錘4, 土器片円盤1)が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。形状から、フラスコ状土坑である。

第395号土坑出土遺物観察表(第106図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1003	縄文土器	深鉢	-	(15.4)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部は無文 節縄文を施文 地文は縦位回転の2段LR単	覆土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1048	土器片円盤	2.8	2.6	0.7	4.9	縄文土器	周縁研磨調整 2方向からの穿孔 孔径0.8cm	覆土	PL56

第397号土坑(第107図)

位置 調査区東部のE6i9区で、標高24.4mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第37号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 長径0.83m, 短径0.58mの楕円形で、長径方向はN-63°-Eである。深さは47cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

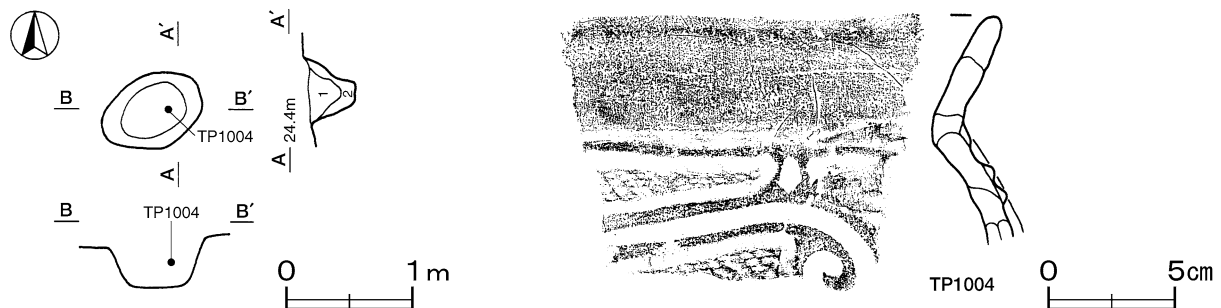
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|------|------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量 | 2 褐色 | ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
|-------|-------------------------|------|------------------------|

遺物出土状況 縄文土器片15点(深鉢), 土製品4点(土器片錘)が、覆土上層から中層にかけて散在して出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ(新)式期である。



第107図 第397号土坑・出土遺物実測図

第397号土坑出土遺物観察表(第107図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1004	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	石英・長石	橙	普通	口縁部は無文 胴部は隆帯と沈線によって渦巻状・杵状のモチーフを描出、区画内に縦位回転の2段LR単節縄文を施文	覆土中層	

第416号土坑（第108図）

位置 調査区東部のE 6 c8区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第417・454号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北側と西側が第417・454号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は0.83m、確認できた短径は0.60mで、本来は長径0.95m、短径0.65mほどで、長径方向がN - 32° - Eの楕円形と推測できる。深さは45cmで、壁は外傾して立ち上がり、南側にテラス状の段を有している。底面はほぼ平坦である。

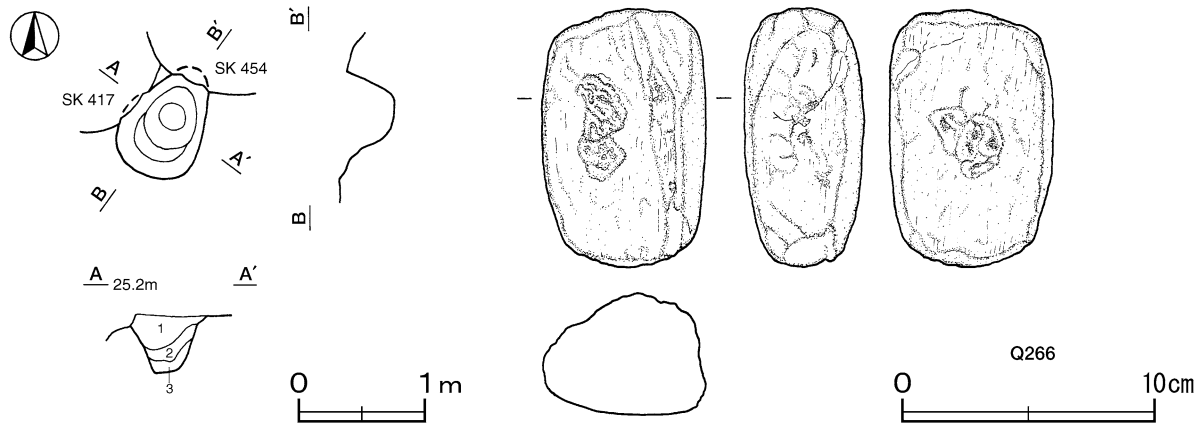
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片9点（深鉢）、石器1点（磨石）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第108図 第416号土坑・出土遺物実測図

第416号土坑出土遺物観察表（第108図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q266	磨石	10.2	6.5	4.8	465.0	安山岩	全面研磨 両面の中央部に皿状の凹み	覆土	

第418号土坑（第109図）

位置 調査区南部のE 6 b8区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第453号土坑を掘り込んでいる。北側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は0.92mで、本来は長径1.30mほど、短径1.09mの円形と推測できる。深さは30cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

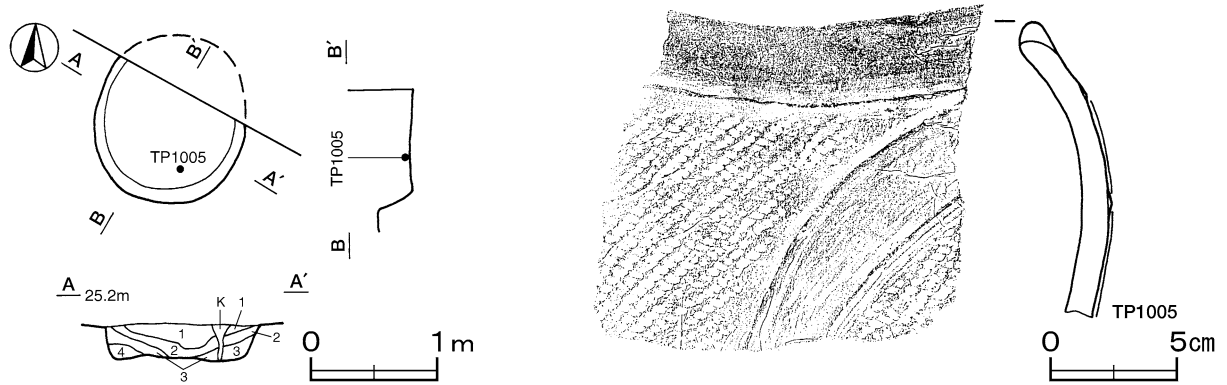
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況から、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片29点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅢ式期である。



第109図 第418号土坑・出土遺物実測図

第418号土坑出土遺物観察表（第109図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1005	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胴部は微隆帯で区画を形成。縦位回転の2段R.L単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す。	覆土下層	

第437号土坑（第110図）

位置 調査区東部のE 6 g 8区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径1.26m、短径1.19mの円形で、深さは31cmである。壁は南側の一部が内傾しているほかは、外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁下にP1が存在し、深さは20cmである。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

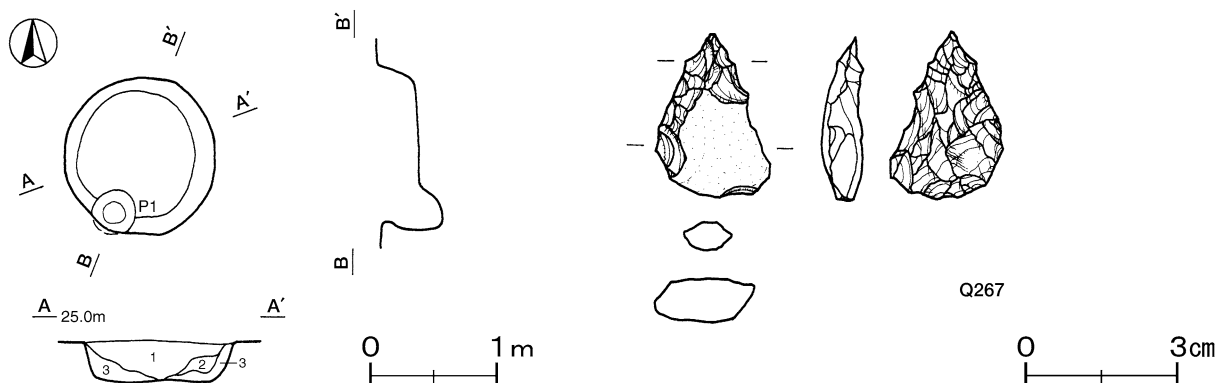
土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量

遺物出土状況 縄文土器片18点（深鉢）、石器1点（2次加工を有する剥片）が、覆土中から出土している。

その他、混入した土師器片1点、陶器片1点も出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II式期と推測できる。



第110図 第437号土坑・出土遺物実測図

第437号土坑出土遺物観察表（第110図）

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q267	2次加工を有する剥片	3.3	2.2	0.8	4.8	安山岩	背面は尖頭状の先端部に急角度の調整を施し、大きく礫面を残す。主要剥離面は平坦な剥離を面的に連続させる。	覆土	

第442号土坑（第111図）

位置 調査区東部のE 6 f 8区で、標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第441・443号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北東側が第443号土坑に掘り込まれているため、長径2.36m、確認できた短径は1.29mで、本来は短径1.90mほどで、長径方向がN - 28° - Wの楕円形と推測できる。深さは41cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

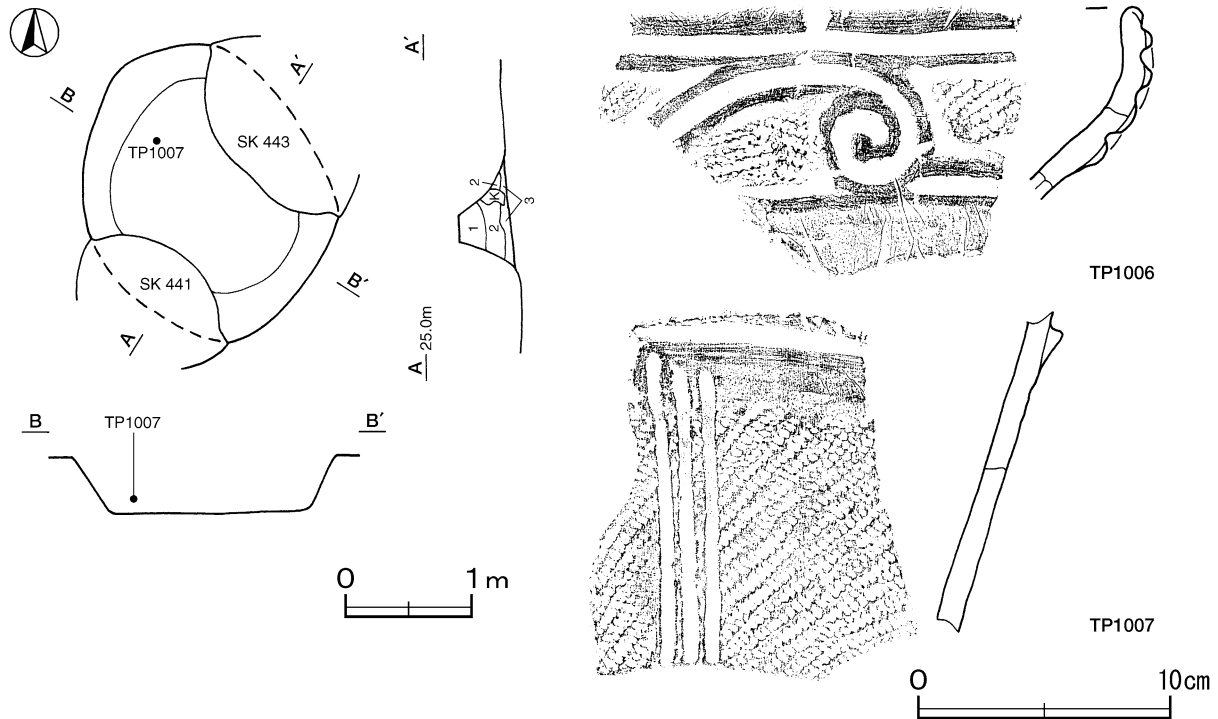
覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子中量
- 3 暗褐色 ローム粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片61点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II 式期である。



第111図 第442号土坑・出土遺物実測図

第442号土坑出土遺物観察表（第111図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1006	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	石英・長石・雲母	褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと三角形区画を形成、区画内に縦位・横位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土	TP1007と同一個体
TP1007	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	石英・長石・雲母	赤褐	普通	3本単位の沈線を垂下、地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	覆土中層	TP1006と同一個体

第443号土坑（第112図）

位置 調査区東部のE 6 f 8区で、標高24.7mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第442号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.72m、短径1.46mの楕円形で、長径方向はN - 27° - Wである。深さは35cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

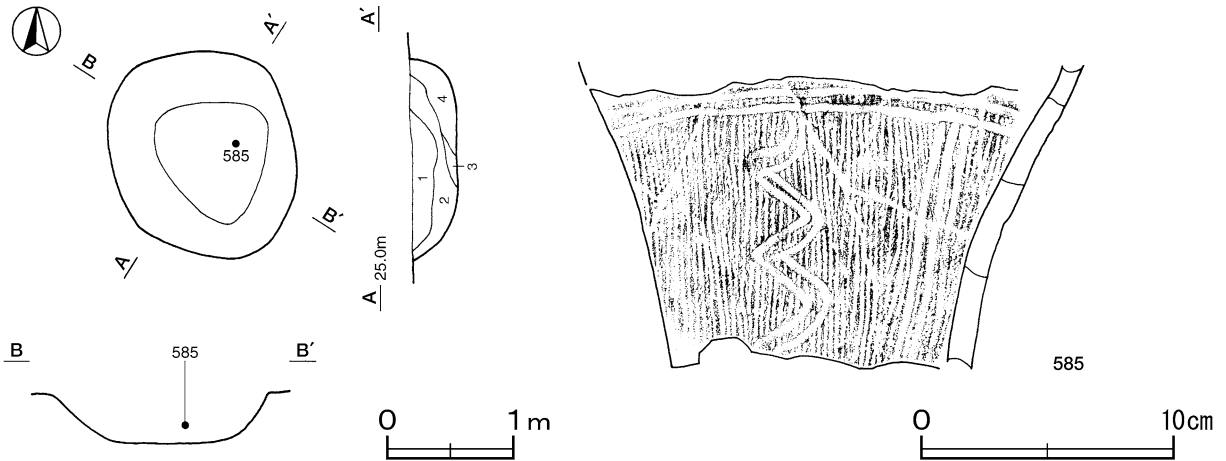
覆土 4層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量，炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量，焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量

遺物出土状況 縄文土器片114点（深鉢）が，覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E I 式期である。



第112図 第443号土坑・出土遺物実測図

第443号土坑出土遺物観察表（第112図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
585	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	2本単位の平行沈線を巡らす 2・3本単位の平行・蛇行沈線を垂下 地文は燃糸文を施文	覆土下層	20%

第458号土坑（第113図）

位置 調査区東部のE 6 e4区で，標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第41号住居跡と重複しているが，先後関係は不明である。



第113図 第458号土坑・出土遺物実測図

規模と形状 長径1.35m，短径1.09mの楕円形で，長径方向はN - 32° - Eである。深さは25cmで，壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

覆土 4層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量，焼土粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片211点（深鉢）が，覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。586は覆土下層から正位の状態出土している。

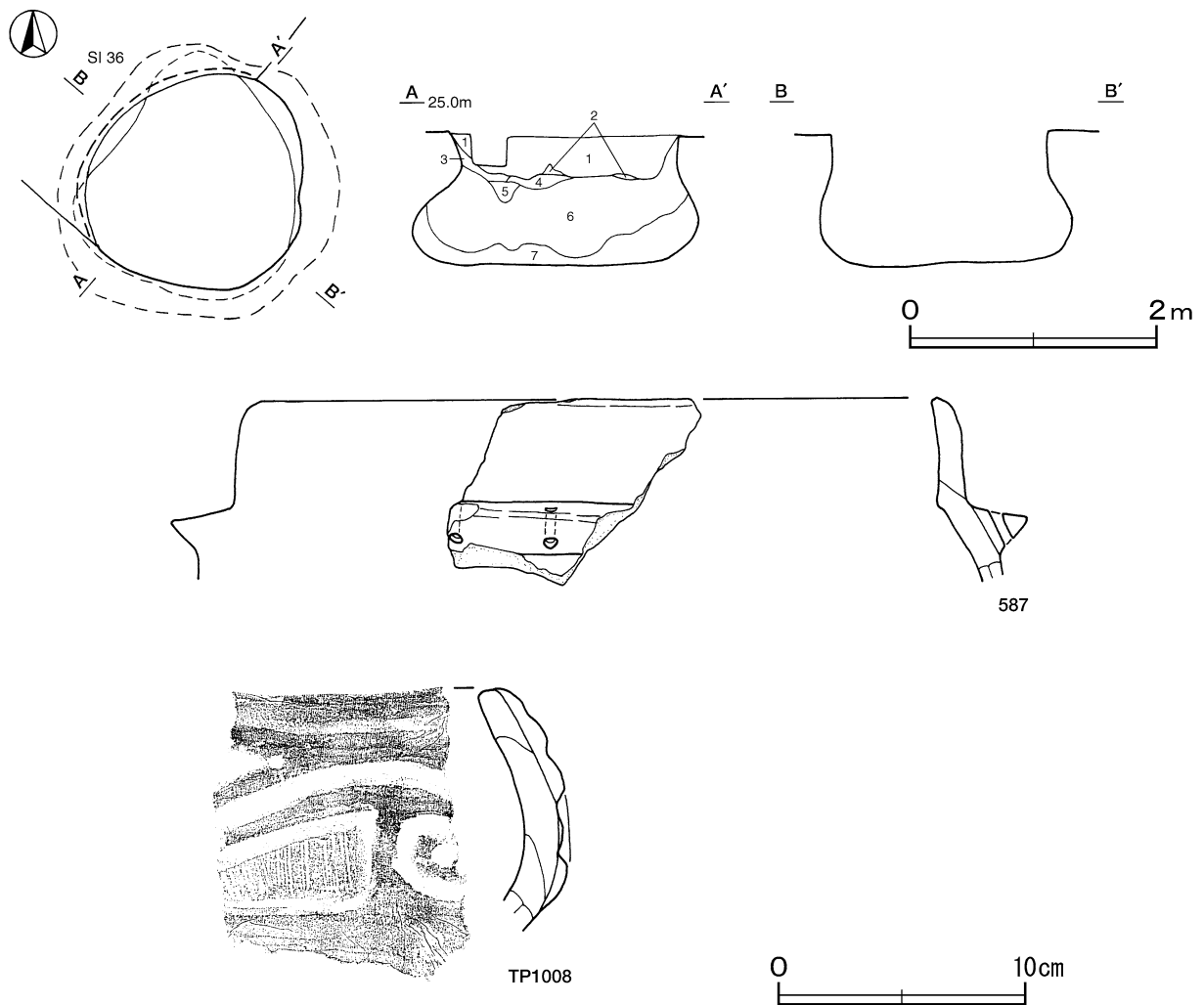
所見 時期は，出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。

第458号土坑出土遺物観察表（第113図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
586	縄文土器	深鉢	-	(21.7)	[6.9]	長石・雲母	にぶい橙	普通	地文は縦位・横位・斜位回転の1段L無節縄文を施文	覆土下層	40%

第460号土坑（第114図）

位置 調査区東部のE 6 f 9区で，標高24.7mの台地縁辺部に位置している。



第114図 第460号土坑・出土遺物実測図

重複関係 第36号住居に掘り込まれている。

規模と形状 開口部は、北西側が第36号住居に掘り込まれているため、長径1.87m、確認できた短径は1.72mで、本来は短径1.70mほどの円形と推測できる。深さは105cmで、壁は内傾して立ち上がっている。底面は、長径2.00m、短径1.86mの不整形円で、ほぼ平坦である。

覆土 7層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- | | | | |
|---------|-------------------|------|-------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 | 5 褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 |
| 2 にぶい褐色 | ロームブロック中量 | 6 褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 7 褐色 | ロームブロック多量 |
| 4 褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片36点（深鉢）が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。形状から、フラスコ状土坑である。

第460号土坑出土遺物観察表（第114図）

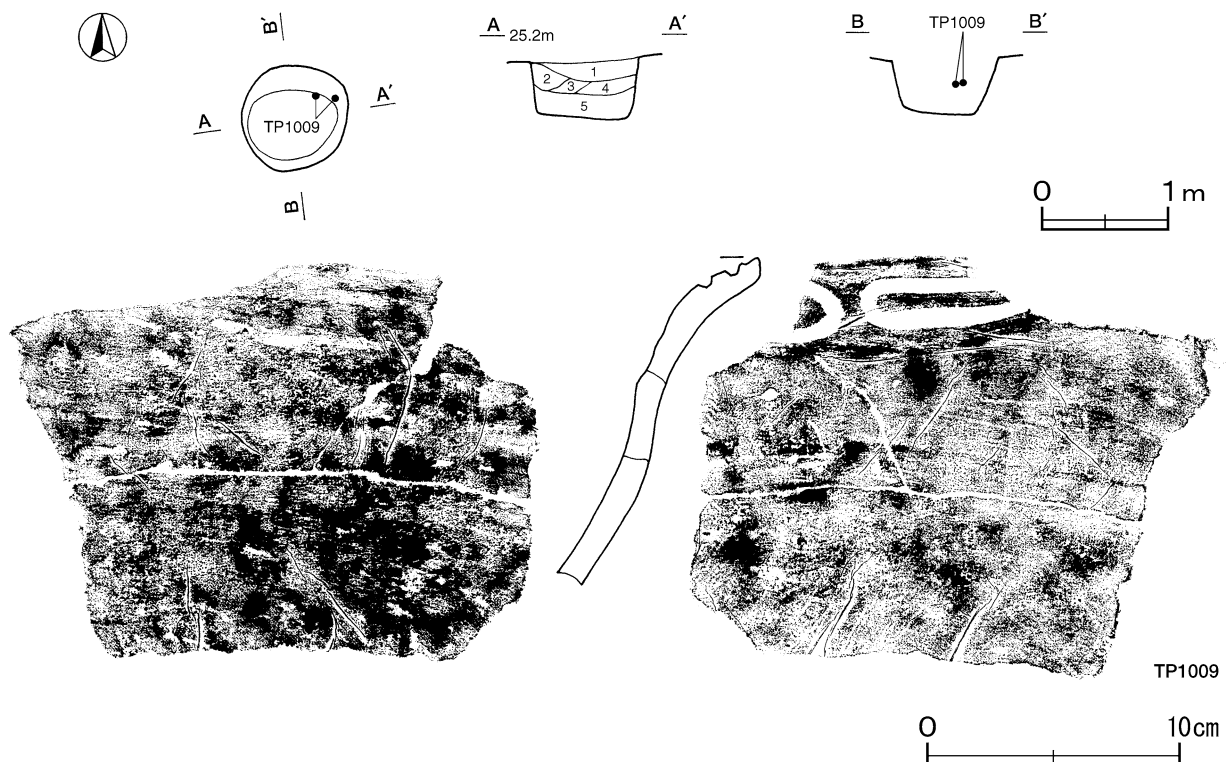
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
587	縄文土器	有孔罎付土器	[27.3]	(7.5)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	口縁部は無文 以下に突帯状の罎を巡らす丁寧なナデ調整 孔径0.5cm	覆土	10%
TP1008	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	石英・長石・雲母	褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと三角形区画を形成、区画内に2本単位の条線文を縦位に施文	覆土	

第463号土坑（第115図）

位置 調査区南部のE 5 h6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

確認状況 遺存状況は良好である。

規模と形状 長径0.86m、短径0.81mの円形で、深さは43cmである。壁は直立している。底面はほぼ平坦である。



第115図 第463号土坑・出土遺物実測図

覆土 5層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|-------------------------|------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量、炭化物微量 | 4 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 5 褐色 | ロームブロック中量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片5点（深鉢）が、覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利EⅡ式期である。

第463号土坑出土遺物観察表（第115図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1009	縄文土器	浅鉢	-	(12.9)	-	石英・長石	橙	普通	外面無文、口縁部内面に沈線で楕円形のモチーブを描出、丁寧なナデ調整	覆土中層	

第464号土坑（第116図）

位置 調査区南部のE 5 g6区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第500号土坑を掘り込み、第1号墳に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第1号墳に掘り込まれているため、確認できた長径は1.09m、確認できた短径は1.13mで、本来は長径1.60m、短径1.20mほどで、長径方向がN - 15° - Wの楕円形と推測できる。深さは41cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

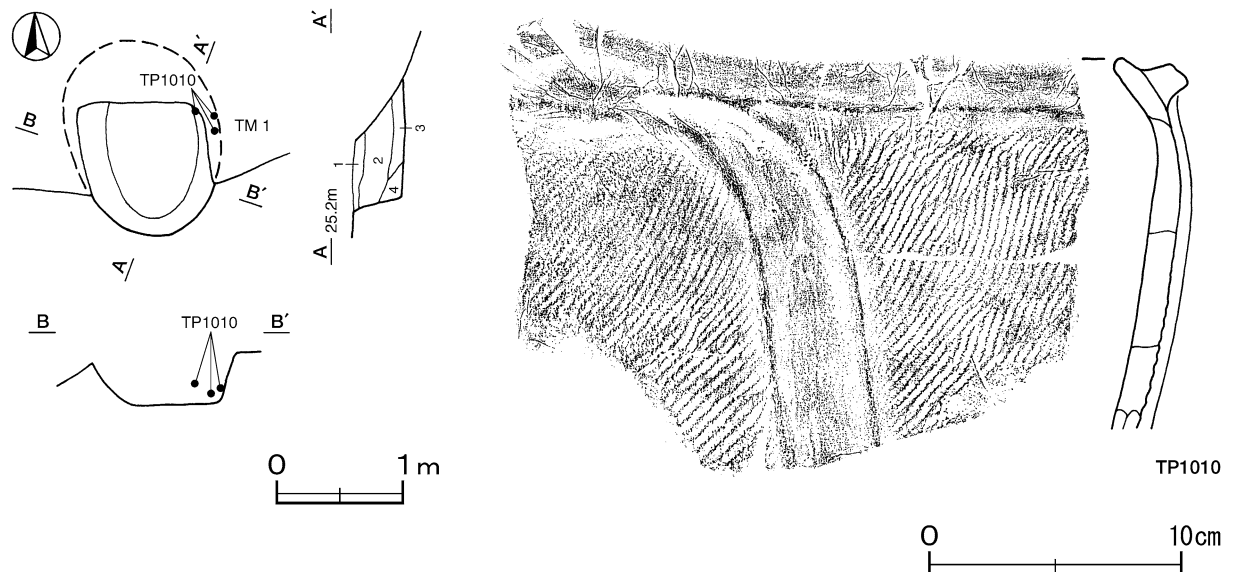
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | |
|-------|----------------------|------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化物微量 | 3 褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土ブロック微量 | 4 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |

遺物出土状況 縄文土器片26点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加普利EⅣ（古）式期である。



第116図 第464号土坑・出土遺物実測図

第464号土坑出土遺物観察表（第116図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1010	縄文土器	深鉢	-	(14.6)	-	石英・長石	明黄褐	普通	口唇部は無文で微隆帯を巡らす。胴部は微隆帯の区画を形成。横位回転の2段LR単節縄文を施文。微隆帯間は磨り消す。	覆土中層	

第483号土坑（第117図）

位置 調査区東部のE 6 f5区で、標高25.0mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第331号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 西側が第331号土坑に掘り込まれているため、確認できた長径は1.03mで、本来は長径1.40mほど、短径0.96mで、長径方向がN - 80° - Wの楕円形と推測できる。深さは34cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

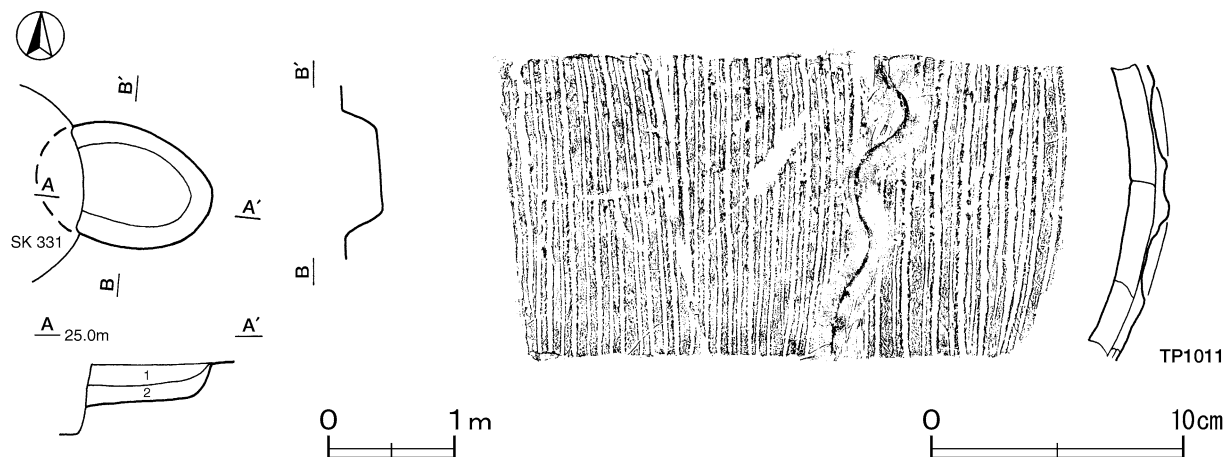
覆土 2層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量 2 暗褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片7点（深鉢）が、覆土中から散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利E II式期である。



第117図 第483号土坑・出土遺物実測図

第483号土坑出土遺物観察表（第117図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1011	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	石英・長石	褐	普通	蛇行する隆帯を垂下。地文は半截竹管による平行沈線で、糸線文を縦位に描く。	覆土	

第490号土坑（第118図）

位置 調査区東部のE 6 g7区で、標高24.8mの台地縁辺部に位置している。

重複関係 第491号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.77m、短径1.42mの不整楕円形で、長径方向はN - 8° - Wである。深さは33cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

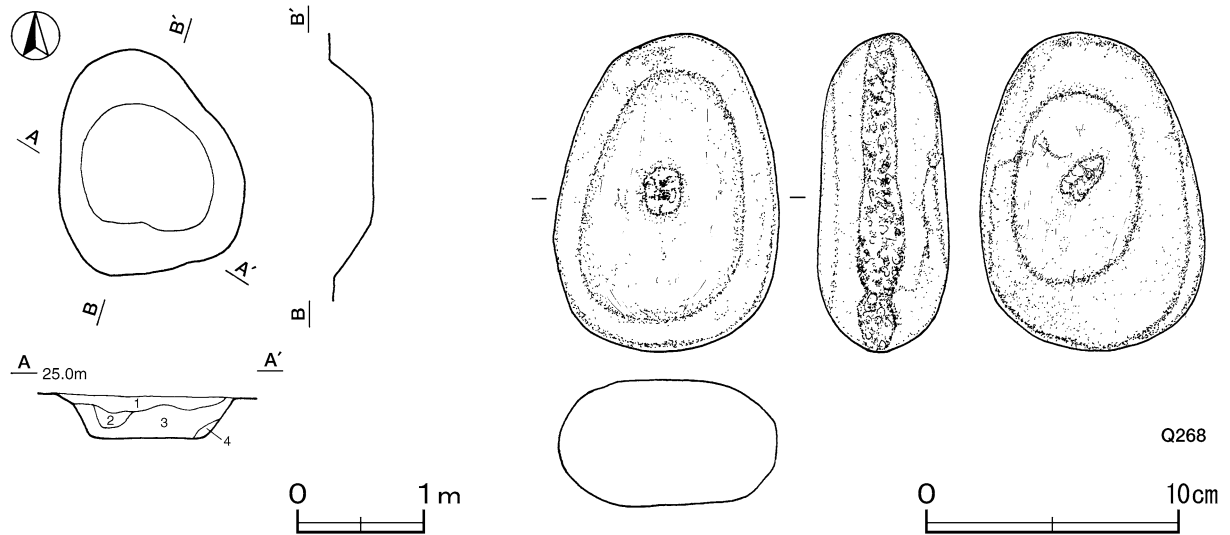
覆土 4層に分かれ、不自然な堆積状況とロームブロックなどを比較的多く含んでいるため、埋め戻されたと考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

遺物出土状況 縄文土器片9点(深鉢), 石器1点(磨石)が, 覆土中から散在した状態で出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は, 土器片の様相から中期後葉の加曾利EⅡ式期と推測できる。



第118図 第490号土坑・出土遺物実測図

第490号土坑出土遺物観察表 (第118図)

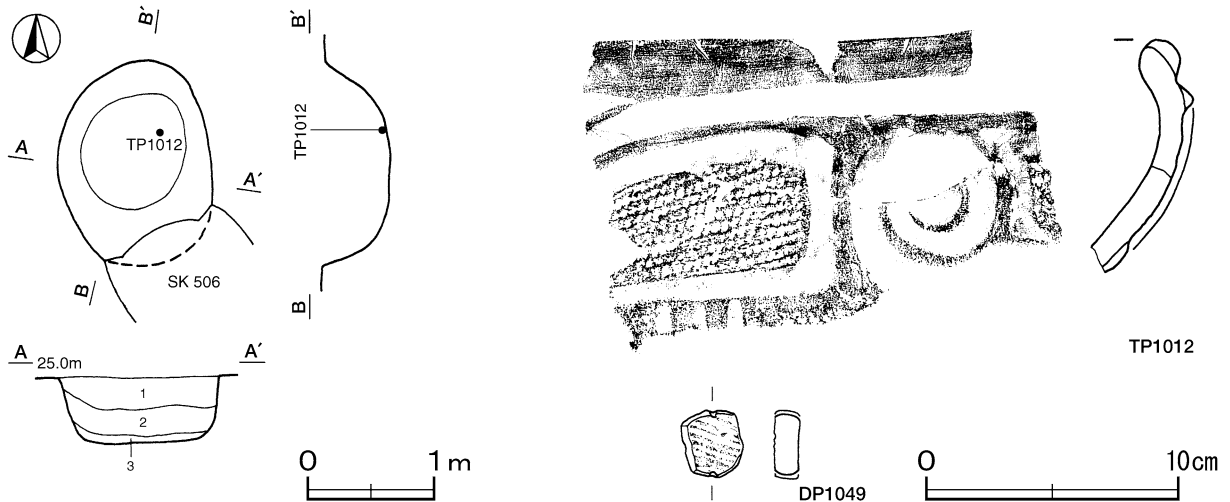
番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q268	磨石	12.7	9.0	5.3	912.2	石英斑岩	両面研磨 側縁に敲打による痘痕状の凹み	覆土	

第505号土坑 (第119図)

位置 調査区中央部のE 5 d3区で, 標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第506号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第506号土坑に掘り込まれているため, 確認できた長径は1.32mで, 本来は長径1.60mほど, 短径1.20mで, 長径方向がN - 12° - Wの楕円形と推測できる。深さは53cmで, 壁は外傾して立ち上がった。



第119図 第505号土坑・出土遺物実測図

ている。底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片72点(深鉢), 土製品2点(土器片錘)が、覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅡ式期である。

第505号土坑出土遺物観察表(第119図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1012	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	石英・長石	黒褐	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成, 区画内に斜位回転の3段LRL複節縄文を施文	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP1049	土器片錘	2.7	2.5	1.0	7.8	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間2.5cm	覆土	PL56

第506号土坑(第120図)

位置 調査区中央部のE5d3区で、標高24.9mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第502・503・505号土坑を掘り込み、第504号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径1.47m, 短径1.10mの楕円形で、長径方向はN-29°-Wである。深さは50cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。

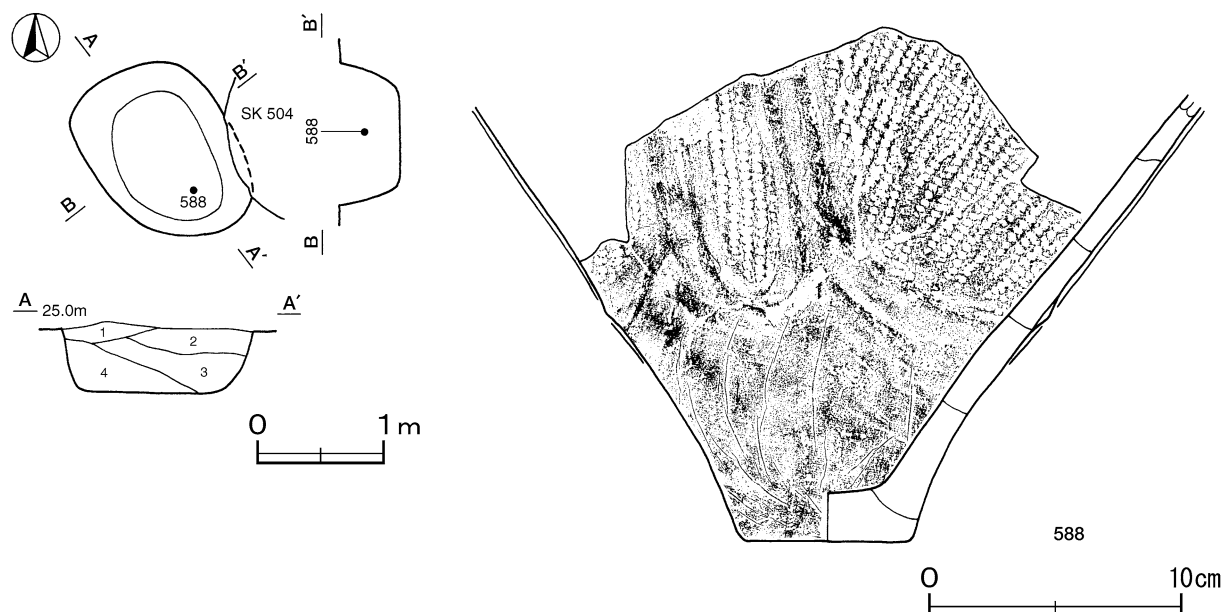
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 縄文土器片29点(深鉢)が、覆土上層から中層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は、出土土器から中期後葉の加曾利EⅣ(古)式期である。



第120図 第506号土坑・出土遺物実測図

第506号土坑出土遺物観察表（第120図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
588	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	6.4	長石・雲母・雲母	明黄褐	普通	微隆帯によって楕円形区画を形成 縦位回転の2段R.L単節縄文を施文 微隆帯間は磨り消す	覆土中層	20%

第508号土坑（第121図）

位置 調査区東部のE 6 c5区で、標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第519号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長径2.21m、短径1.92mの楕円形で、長径方向はN - 45° - Wである。深さは23cmで、壁は緩やかに立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、中央部の東寄りにP1が存在し、深さは25cmである。

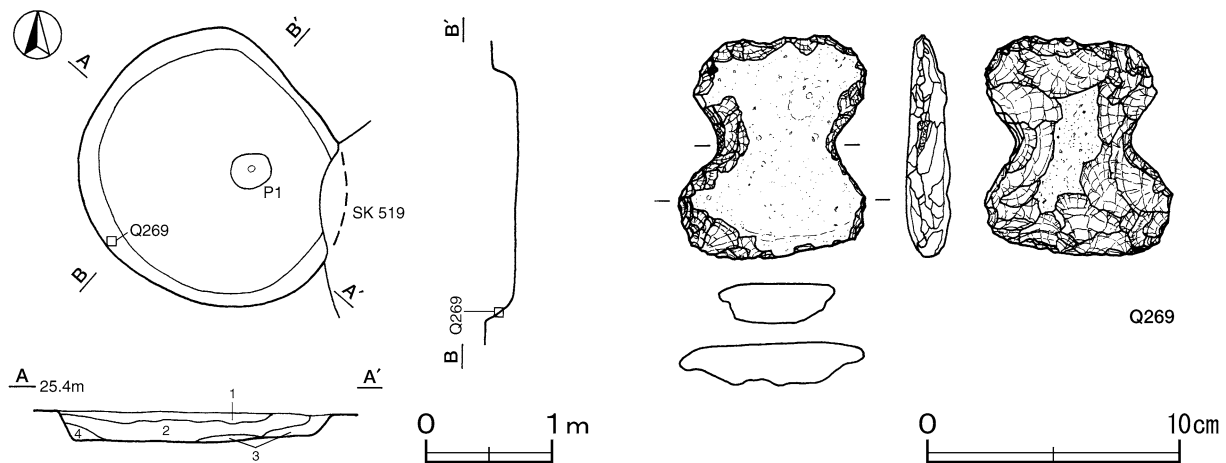
覆土 4層に分かれ、周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | | | | | |
|---|-----|-------------------------|---|----|-----------|
| 1 | 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 3 | 褐色 | ロームブロック少量 |
| 2 | 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 | 4 | 褐色 | ロームブロック中量 |

遺物出土状況 縄文土器片178点（深鉢）、石器1点（打製石斧）が、覆土中層から出土している。

所見 出土土器は細片のため図示できない。時期は、土器片の様相から中期後葉の加曾利E II 式期と推測できる。



第121図 第508号土坑・出土遺物実測図

第508号土坑出土遺物観察表（第121図）

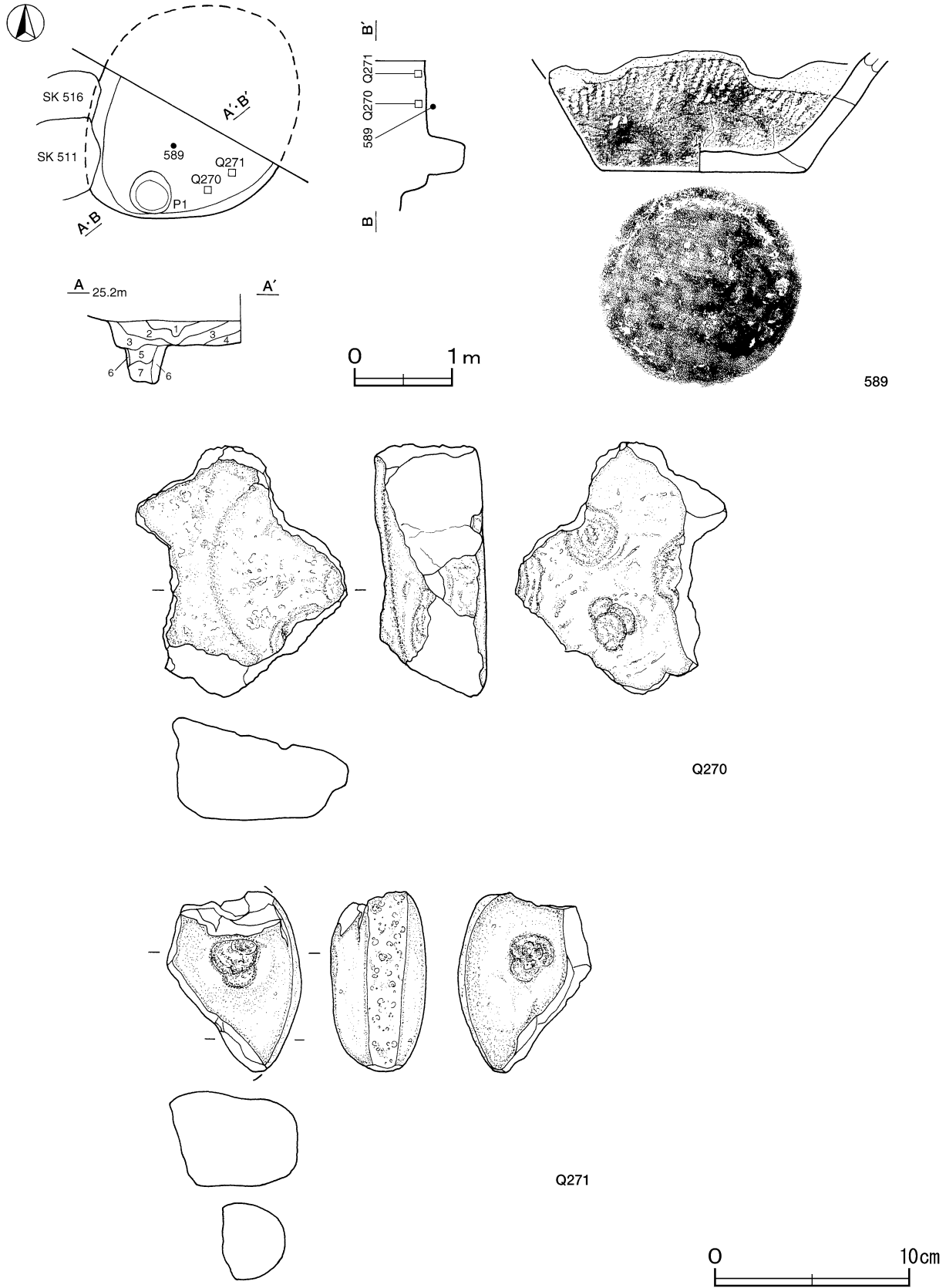
番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q269	打製石斧	8.7	7.4	1.8	124.8	安山岩	素材は扁平な礫 正面は周辺調整 裏面は階段状の剥離を連続させる 両面に礫面を残す 撥形を呈する	覆土中層	

第510号土坑（第122図）

位置 調査区東部のE 6 d9区で、標高25.0mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第511・516号土坑に掘り込まれている。北側は調査区域外に延びている。

規模と形状 北側が調査区域外に延びているため、確認できた長径は1.30m、確認できた短径は1.08mで、本来は長径2.60m、短径2.10mほどで、長径方向がN - 47° - Eの楕円形と推測できる。深さは24cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、南壁下にP1が存在し、深さは39cmである。



第122図 第510号土坑・出土遺物実測図

覆土 7層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。
 第5～7層はP1の覆土である。

土層解説

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1 暗 褐 色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化物少量 | 5 暗 褐 色 ロームブロック少量 |
| 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 褐 色 ローム粒子中量 |
| 3 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | 7 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 4 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量 | |

遺物出土状況 縄文土器片56点（深鉢），石器4点（敲石1，磨石1，石皿2），土製品1点（土器片錘）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加普利EⅡ式期である。

第510号土坑出土遺物観察表（第122図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
589	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	10.2	石英・長石・雲母・細礫	橙	普通	地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	底面	10%

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q270	石皿	(13.0)	(9.0)	(5.7)	(685.4)	安山岩	片面に皿状の擦り面 裏面に複数の断面形がV字状の凹み	覆土下層	
Q271	磨石	(9.3)	(7.0)	(4.9)	(392.5)	花崗岩	両面研磨 両面の中央部に皿状の凹み 側縁に敲打による痕跡状の凹み	覆土下層	

第530号土坑（第123図）

位置 調査区北部のD5 d2区で，標高25.2mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第1号溝に掘り込まれている。

規模と形状 南側が第1号溝に掘り込まれているため，確認できた長径は1.93mで，本来の長径は2.80mほど，短径2.66mの円形と推測できる。深さは32cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で，東側にP1が存在し，深さは55cmである。

覆土 5層に分かれ，周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

土層解説

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量 炭化粒子微量 | 4 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗 褐 色 ロームブロック中量 |
| 3 暗 褐 色 ロームブロック少量 焼土ブロック・炭化粒子微量 | |

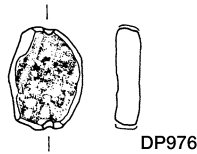
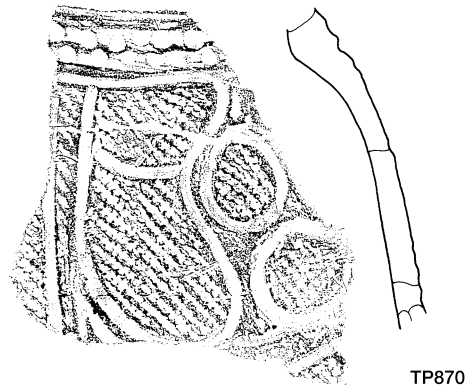
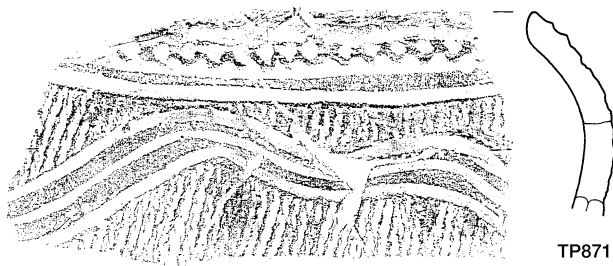
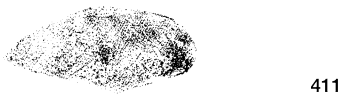
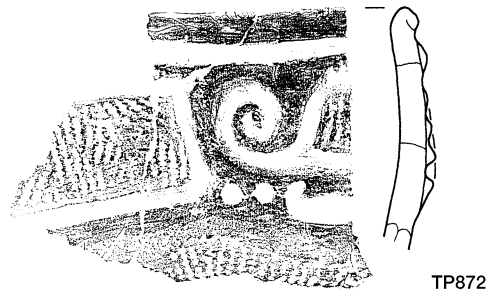
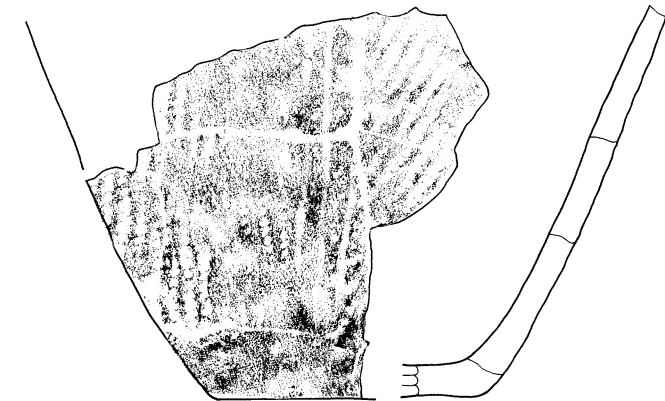
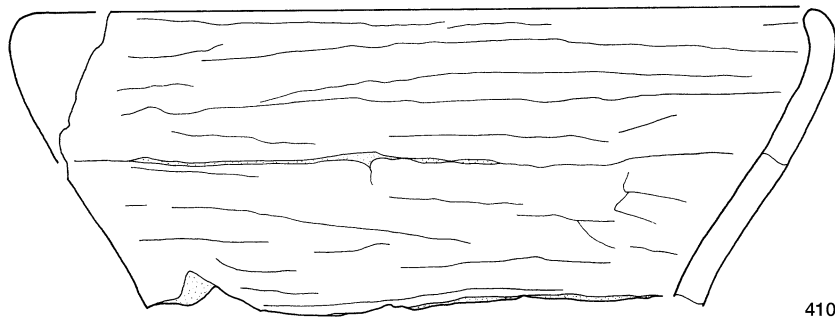
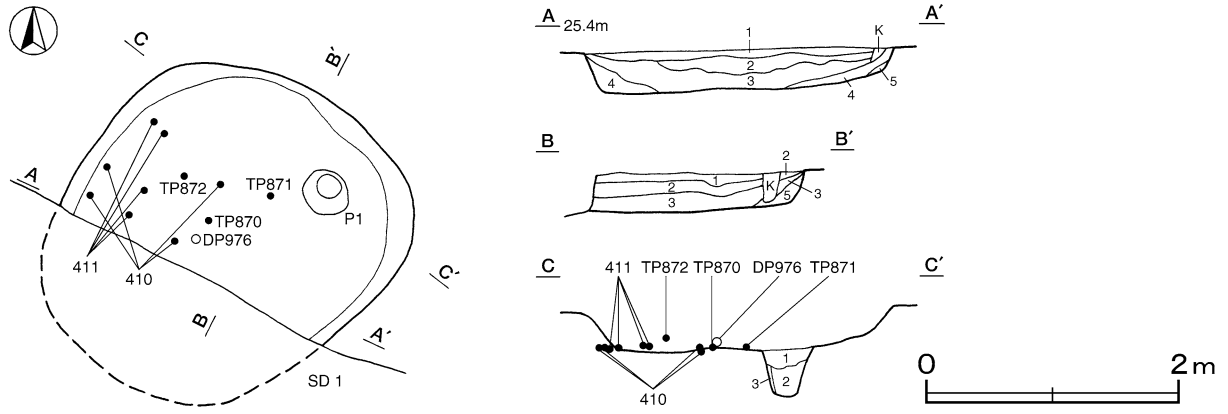
遺物出土状況 縄文土器片345点（深鉢），石器2点（剥片），土製品2点（土器片錘）が，覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。

所見 時期は，出土土器から中期後葉の加普利EⅡ（新）式期である。

第530号土坑出土遺物観察表（第123図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
410	縄文土器	深鉢	[31.0]	(11.8)	-	石英・長石	橙	普通	無文	底面	30%
411	縄文土器	深鉢	-	(15.5)	[10.5]	長石・雲母	橙	普通	3本単位の沈線を垂下 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	底面	20%
TP870	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	2本の沈線上に円形刺突文を連続させる 以下に沈線によって円形・楕円形のモチーフを描出 地文は縦位回転の3段RL単節縄文を施文	覆土下層	PL52
TP871	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	石英・長石	橙	普通	口唇部直下の沈線間にコの字状文を巡らす 以下に1条の沈線と3本単位の沈線を伴う波状の磨り消し帯を巡らす 地文は捺糸文を施文	覆土下層	
TP872	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	石英・長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成 地文は縦位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP976	土器片錘	4.2	3.0	1.1	14.2	縄文土器	主に周縁研磨調整 1方向の切り込み 切り込み間3.9cm	覆土下層	PL56



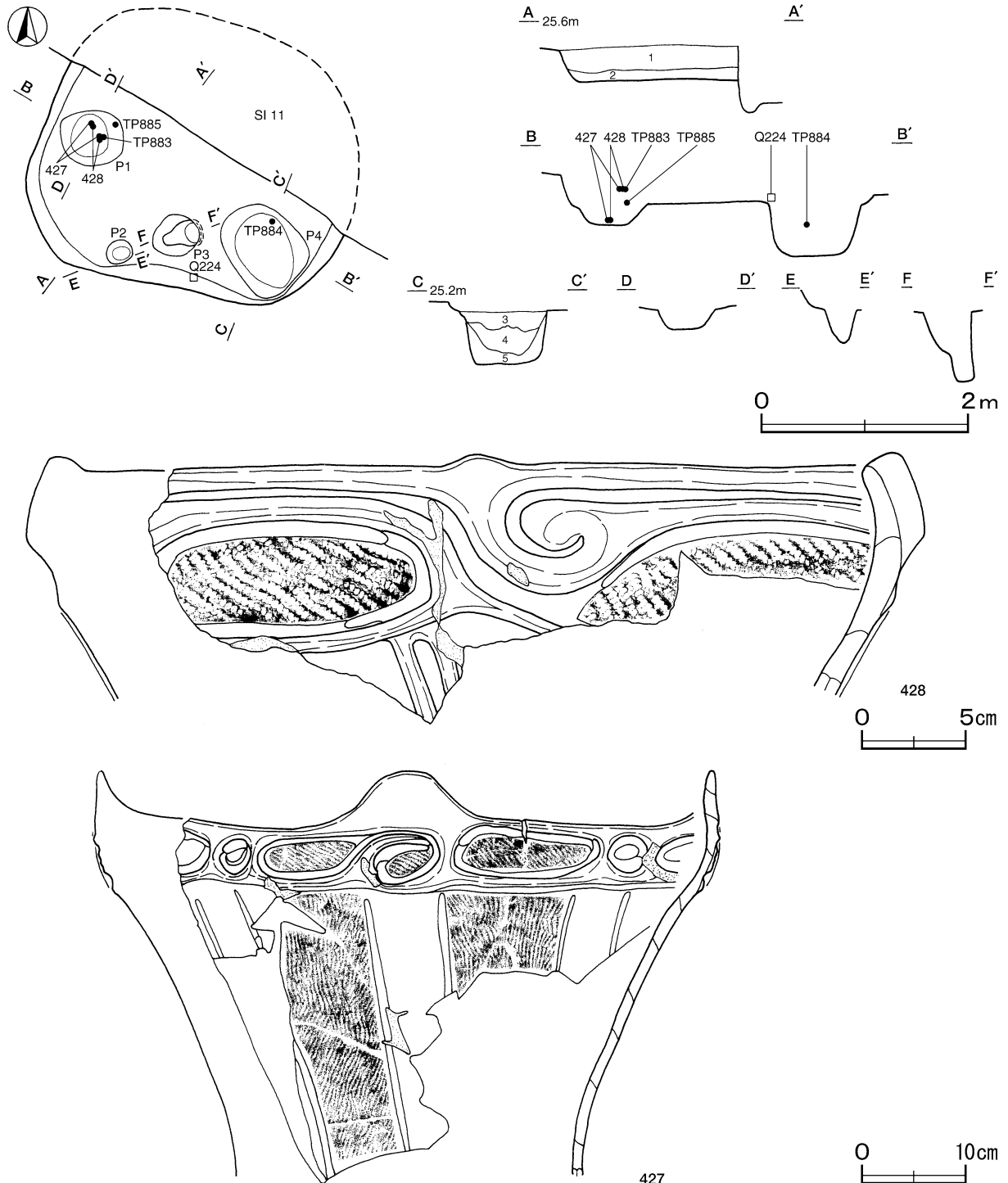
第123图 第530号土坑·出土遗物实测图

第532号土坑（第124・125図）

位置 調査区東部のE 6 b4区で、標高25.4mの台地平坦部に位置している。

重複関係 第11号住居に掘り込まれている。

規模と形状 北側が第11号住居に掘り込まれているため、長径3.10m、確認できた短径は1.75mで、本来は短径2.70mほどで、長径方向がN - 2° - Eの楕円形と推測できる。深さは32cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、西壁下、南側、南東壁下、南西壁下にピットが存在し、P1～P4の深さは18～63cmである。



第124図 第532号土坑・出土遺物実測図

覆土 5層からなる。周囲からの土の流入を示す堆積状況と均質な含有物の様相から自然堆積と考えられる。

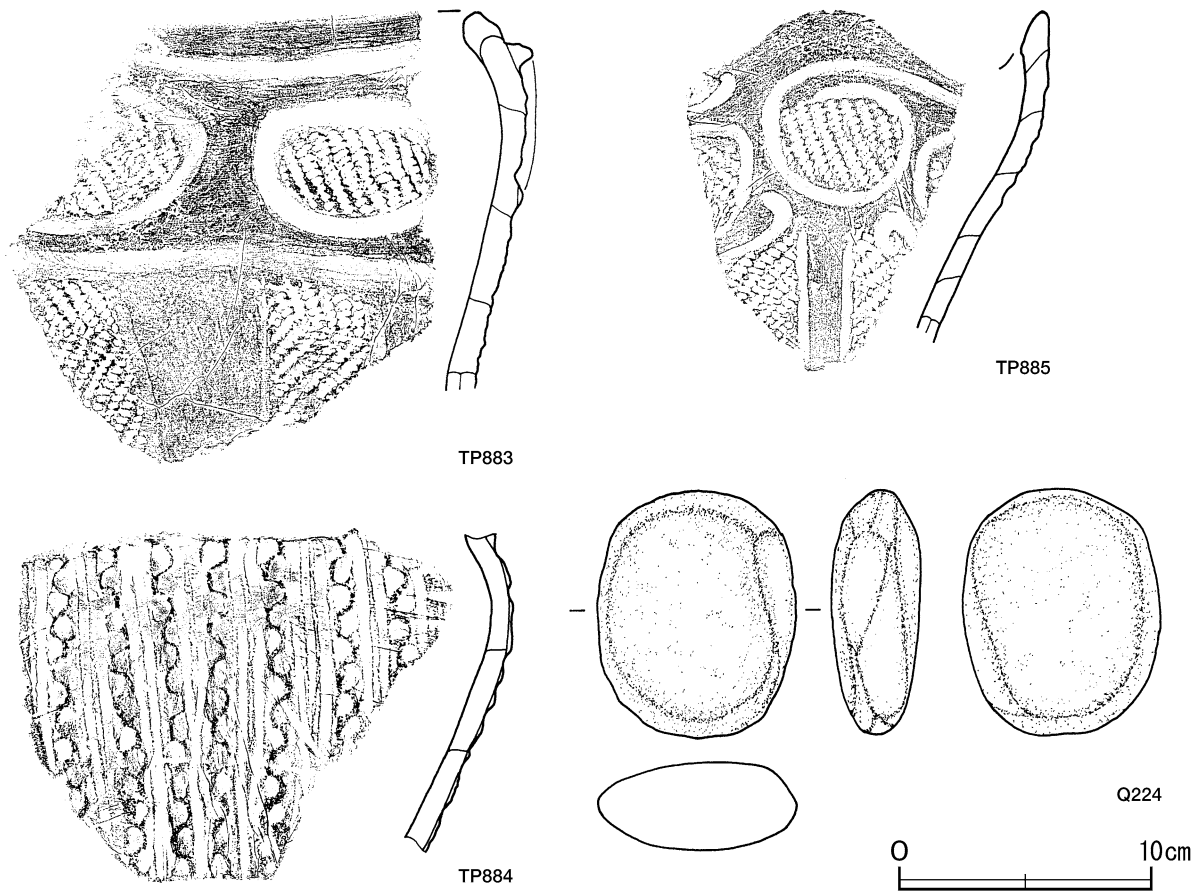
第3～5層はP4の覆土である。

土層解説

- | | | | |
|-------|------------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量, 焼土ブロック少量 | 4 黒褐色 | ロームブロック中量, 炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土ブロック微量 | 5 暗褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片418点(深鉢), 石器1点(敲石), 土製品1点(土器片錘), 礫1点が, 覆土中層から下層にかけて散在した状態で出土している。その他, 混入した弥生土器片1点, 土師器片30点も出土している。

所見 時期は, 出土土器から中期後葉の加曾利E II(新)式期である。

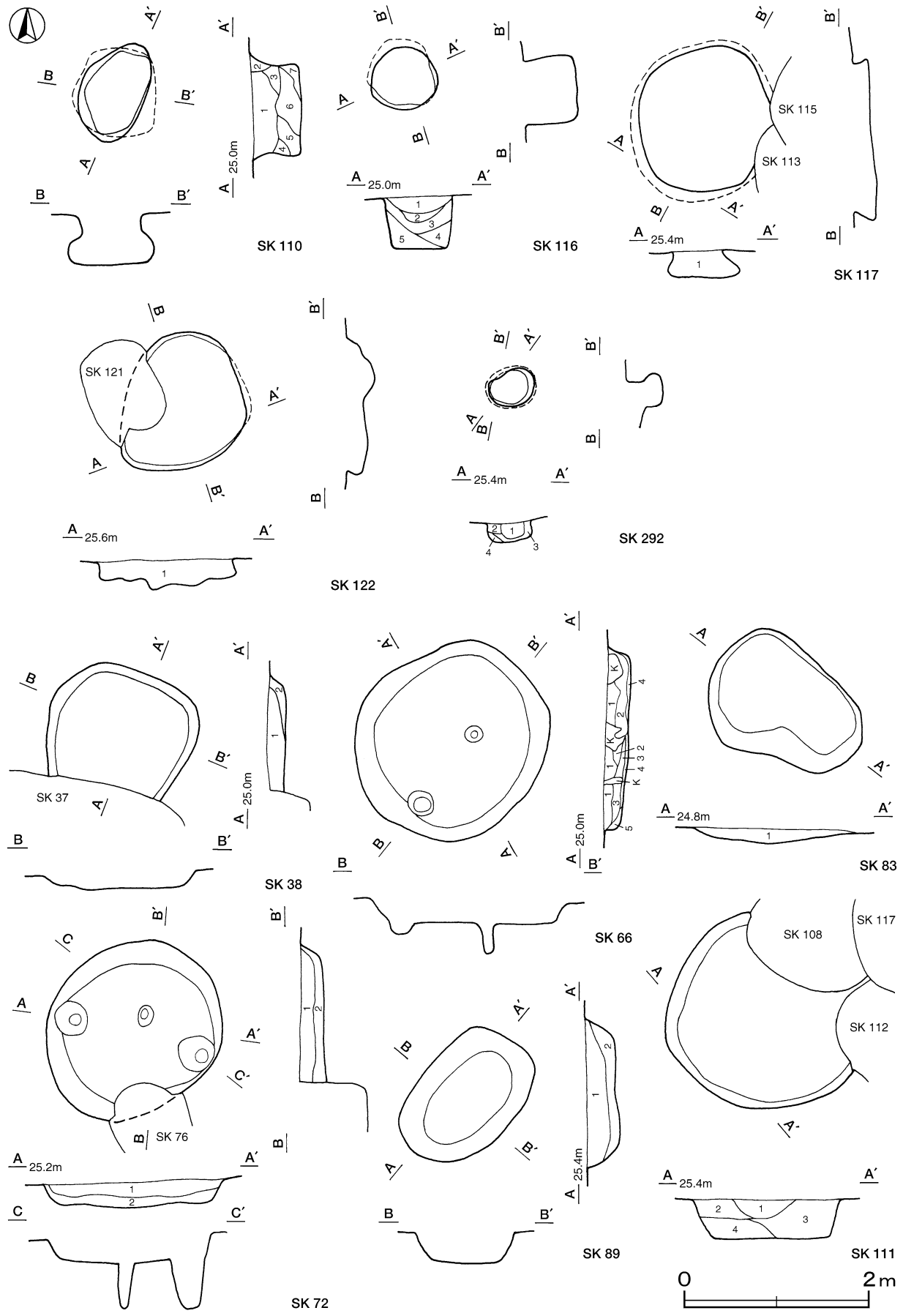


第125図 第532号出土遺物実測図

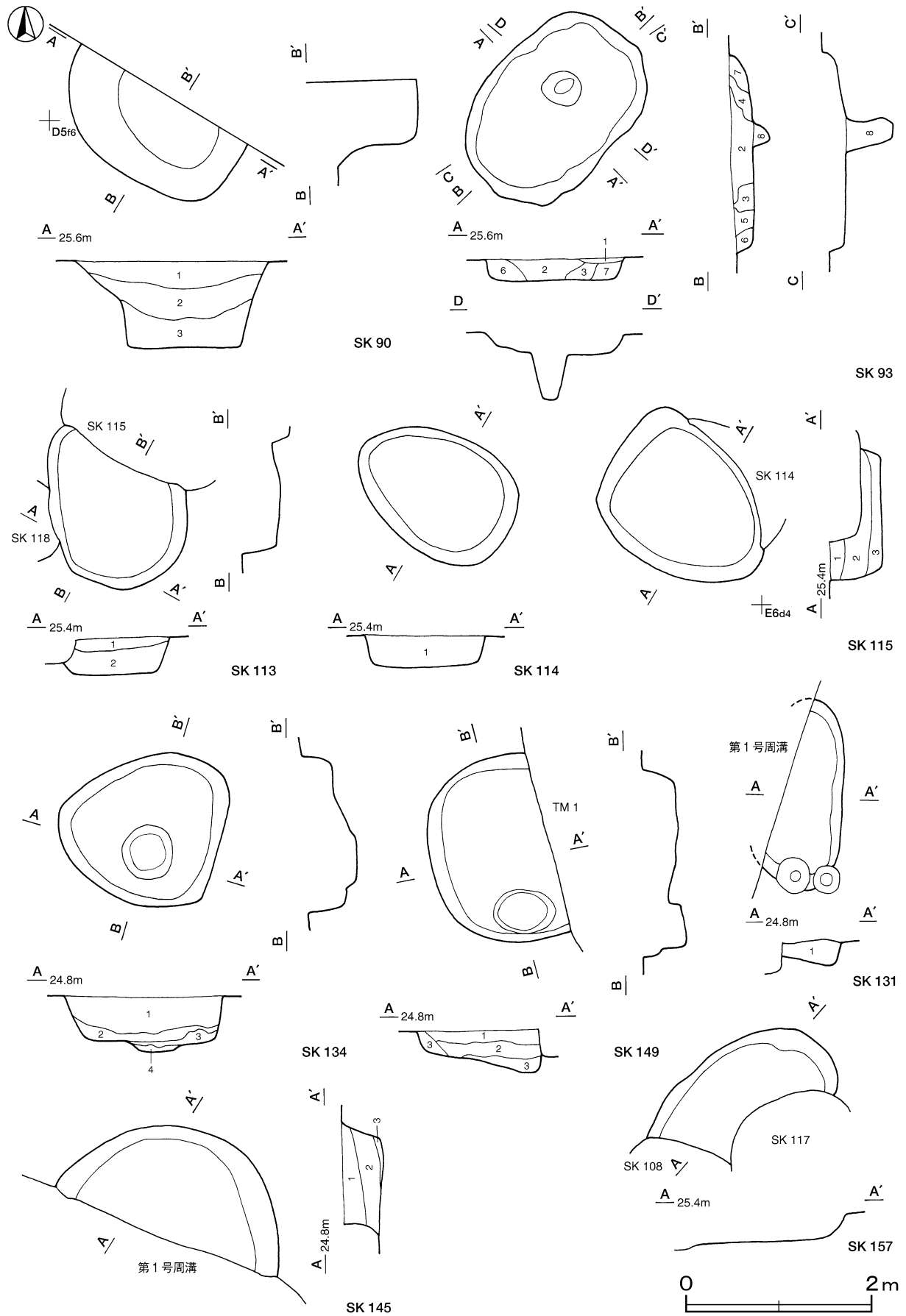
第532号土坑出土遺物観察表(第124・125図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
427	縄文土器	深鉢	[58.9]	(39.3)	-	長石・雲母	橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって円形・楕円形区画を形成。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位、胴部が縦位・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	P1覆土	20%
428	縄文土器	深鉢	[40.8]	(11.8)	-	石英・長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	隆帯と沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成。区画内に横位回転の2段RL単節縄文を施文	P1覆土	10%
TP883	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	石英・長石・雲母	浅黄橙	普通	口縁部は隆帯と沈線によって円形・楕円形区画を形成。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位、胴部が縦位・横位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土中層	
TP884	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	石英・長石・雲母	橙	普通	連続して押捺された隆帯を垂下。地文は棒状工具による平行沈線で祭線文を縦位に描く	P4覆土	
TP885	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	石英・長石	橙	普通	口縁部は沈線によって渦巻状のモチーフと楕円形区画を形成。胴部は沈線を伴う磨り消し帯を垂下。地文は口縁部が横位、胴部が縦位回転の2段RL単節縄文を施文	覆土下層	

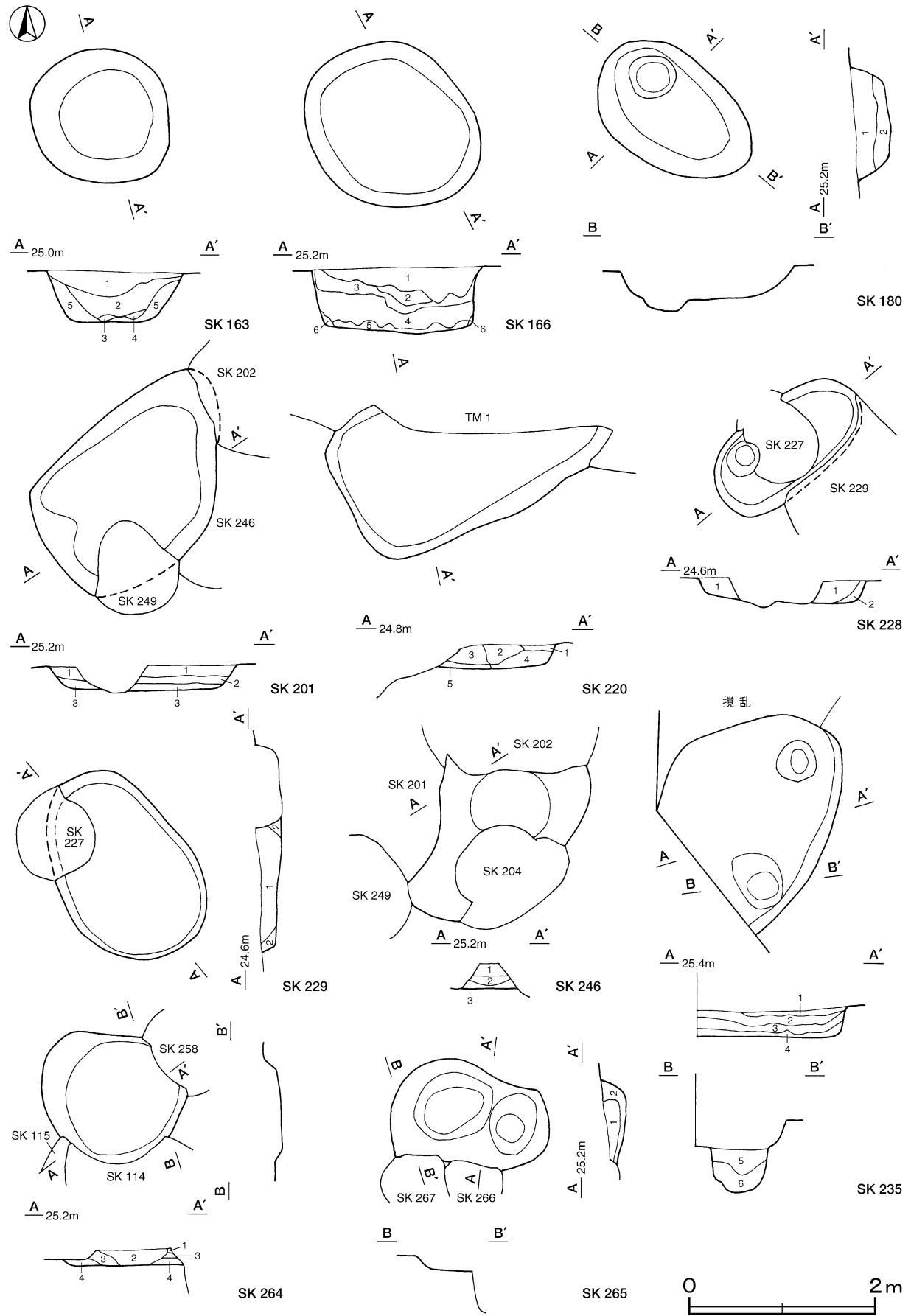
番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q224	磨石	9.7	7.9	3.6	384.5	安山岩	全面研磨	覆土下層	PL55



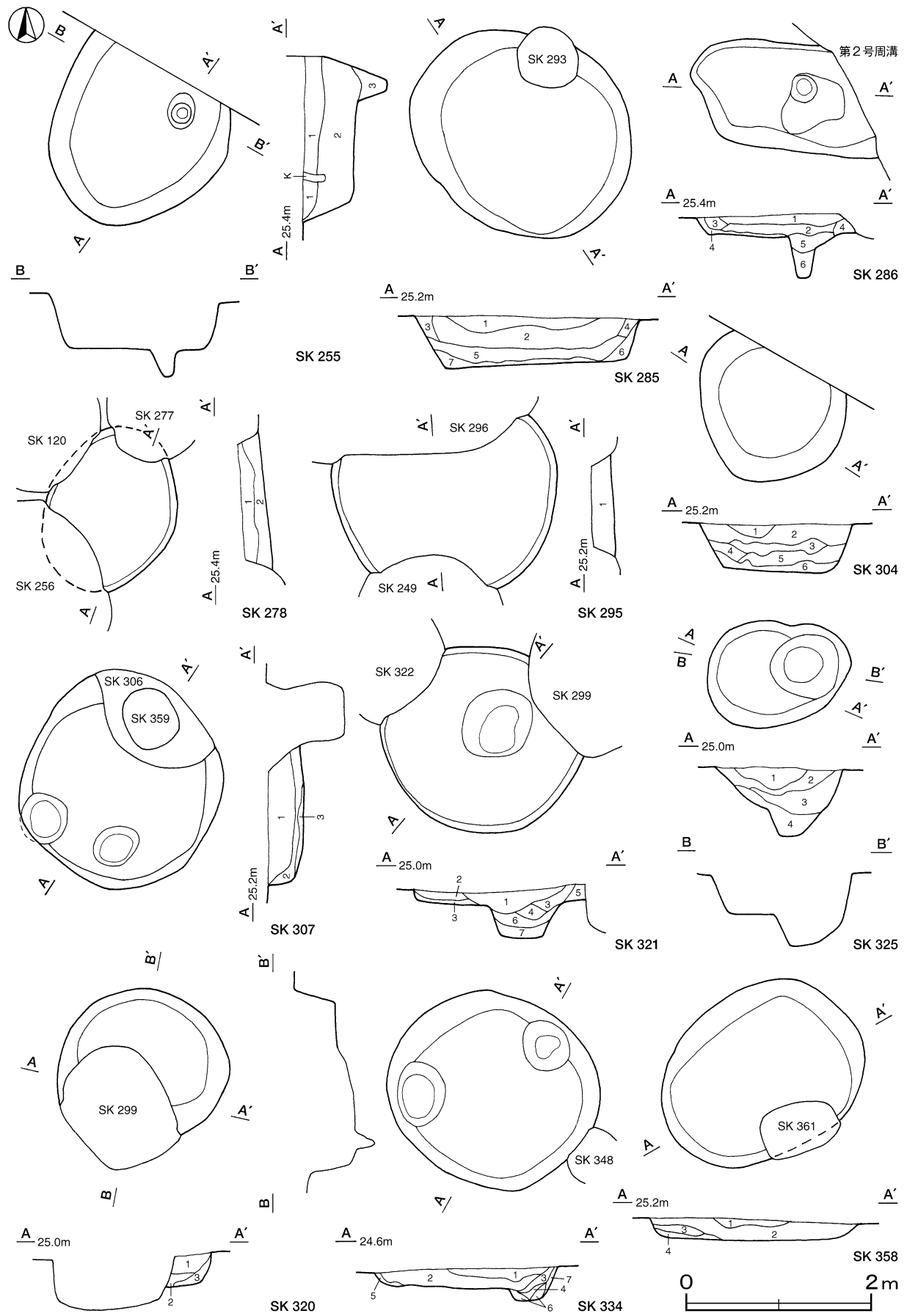
第126图 土坑实测图(1)



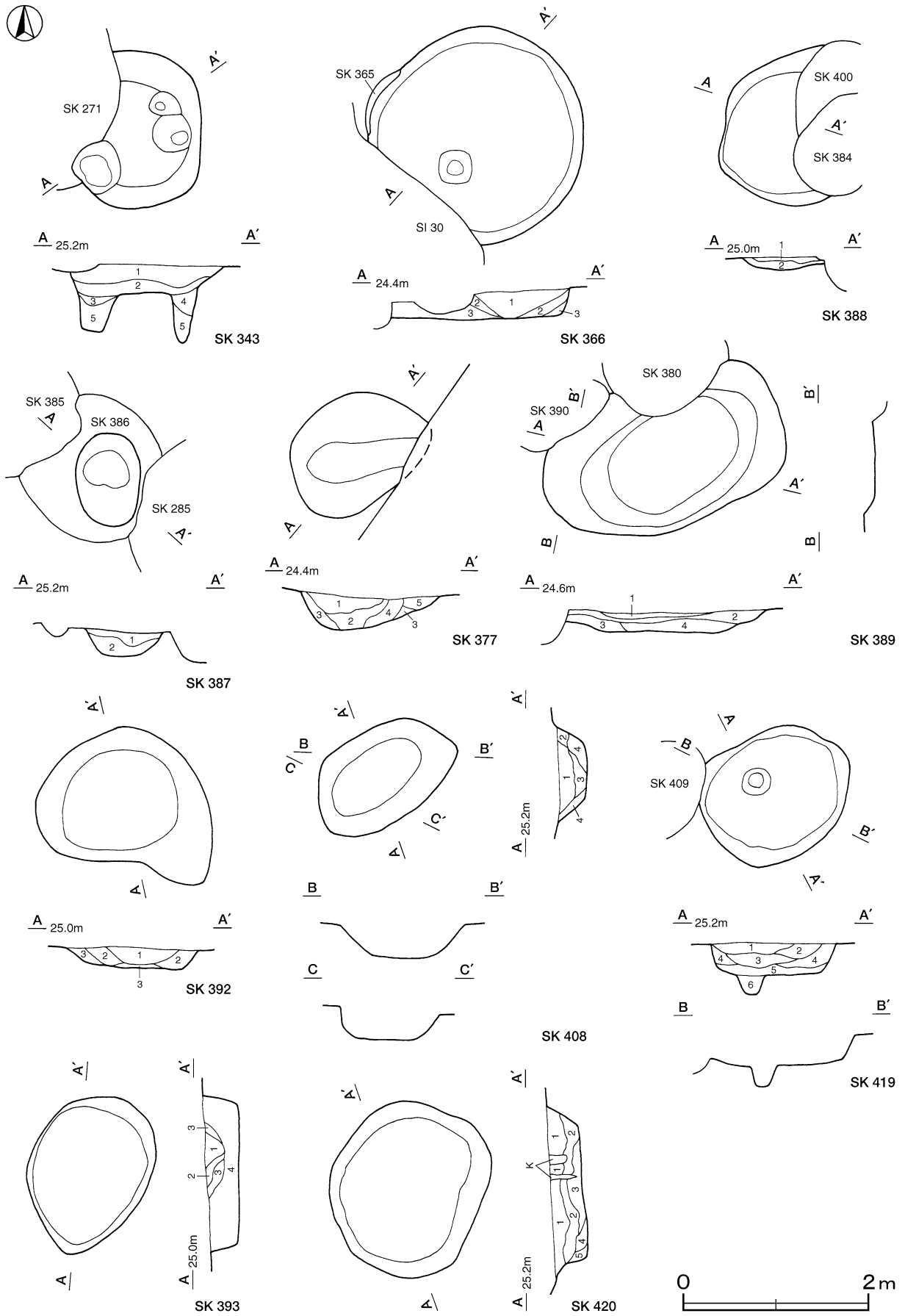
第127图 土坑实测图(2)



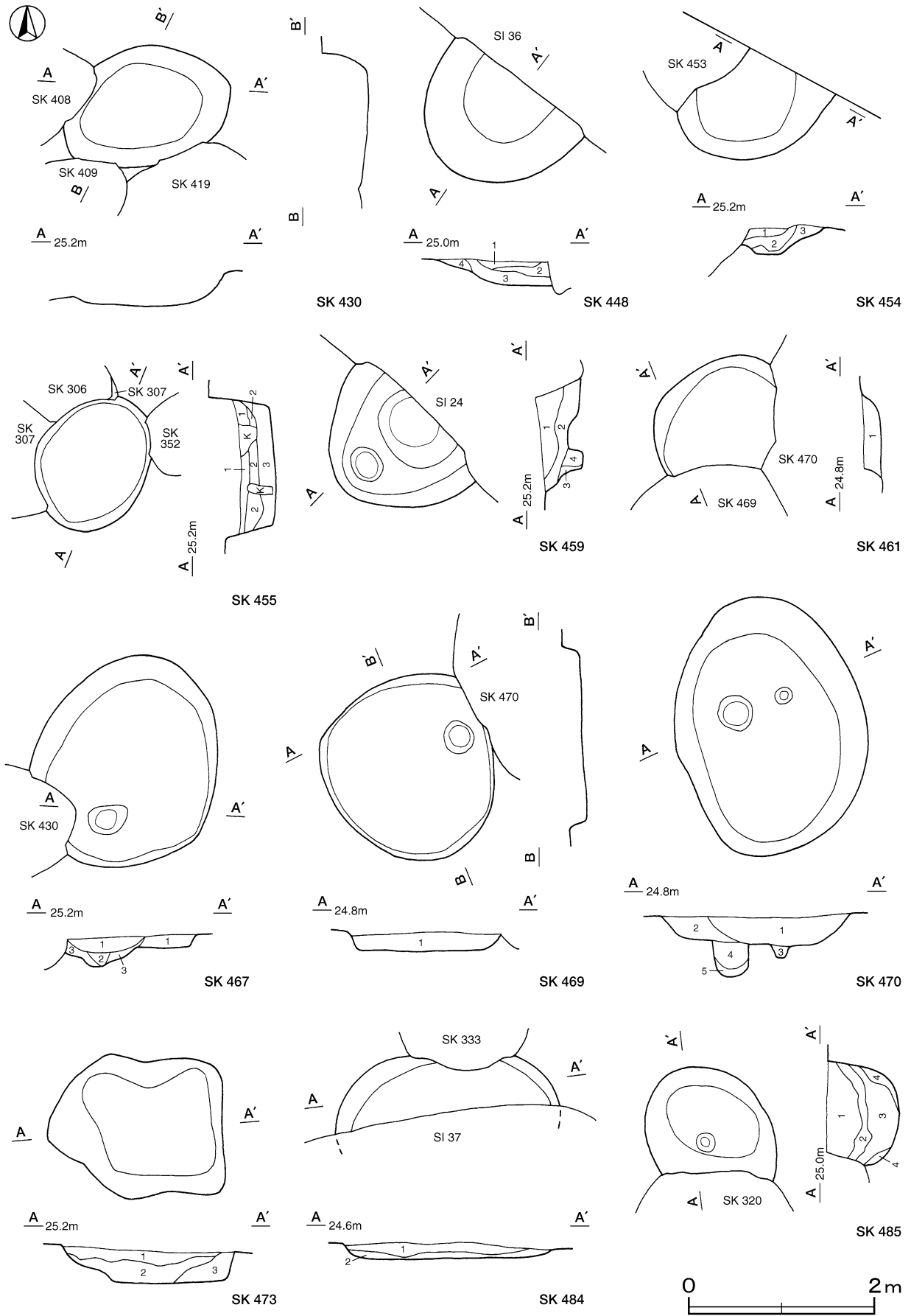
第128图 土坑实测图(3)



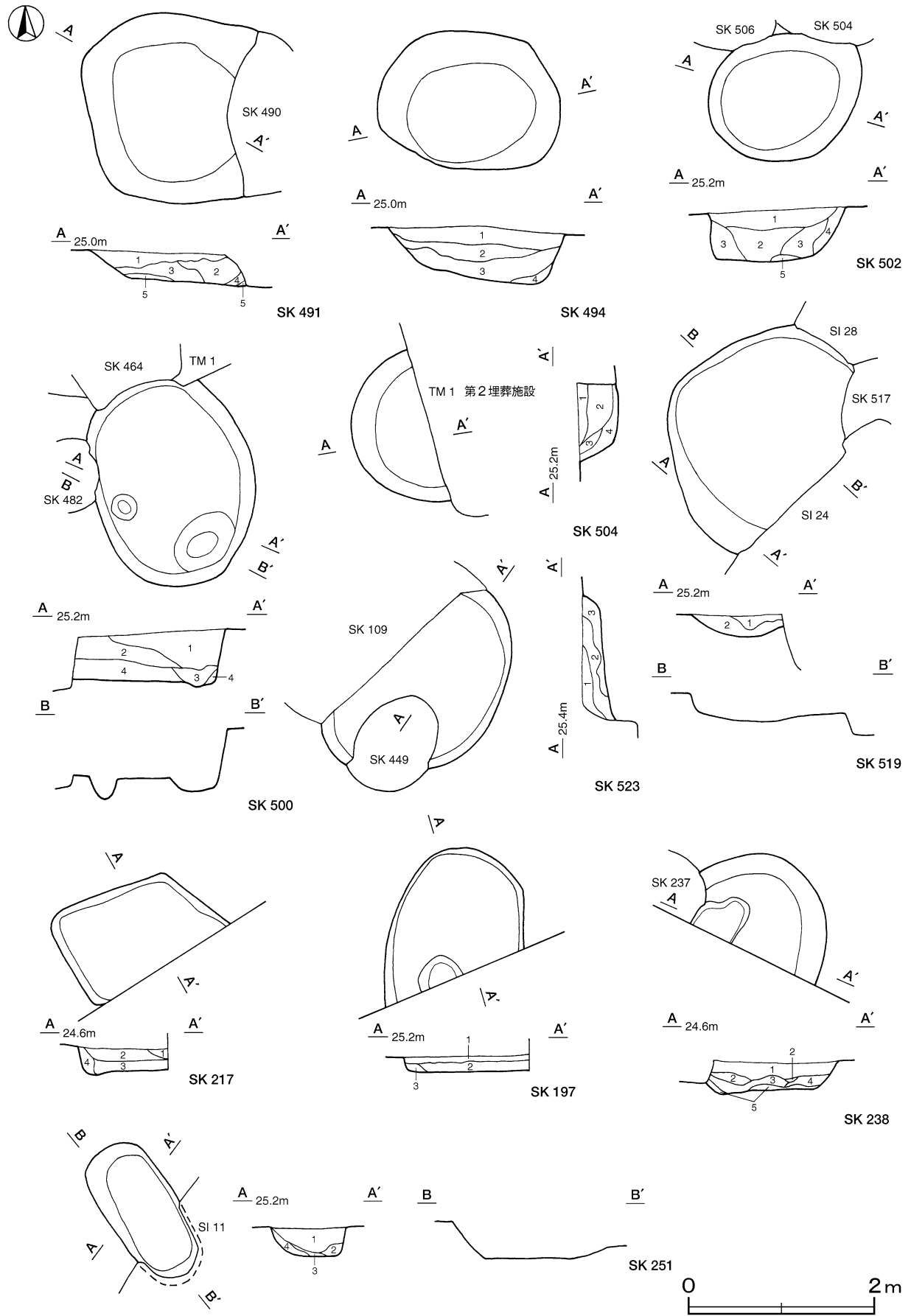
第129图 土坑实测图(4)



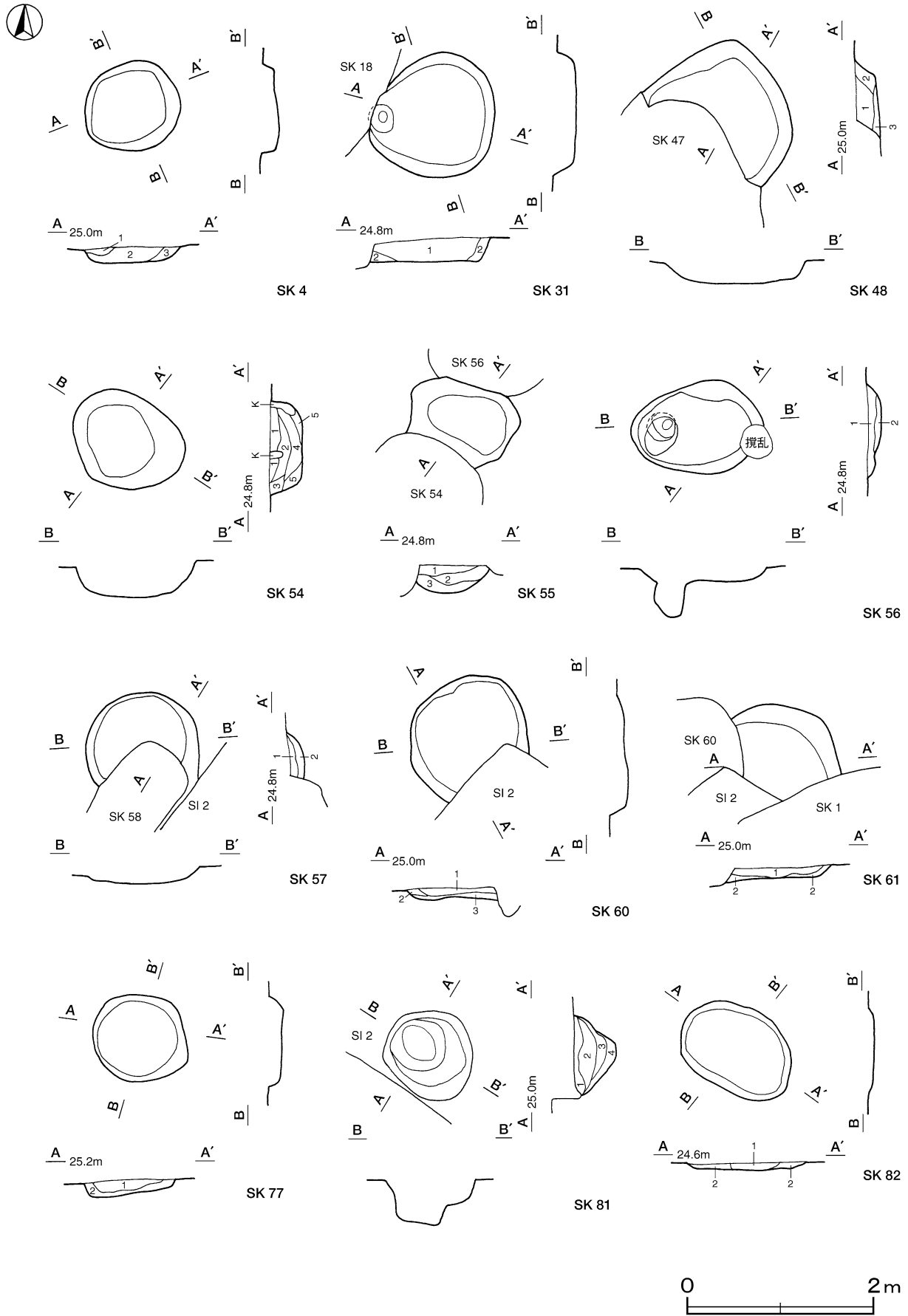
第130图 土坑实测图(5)



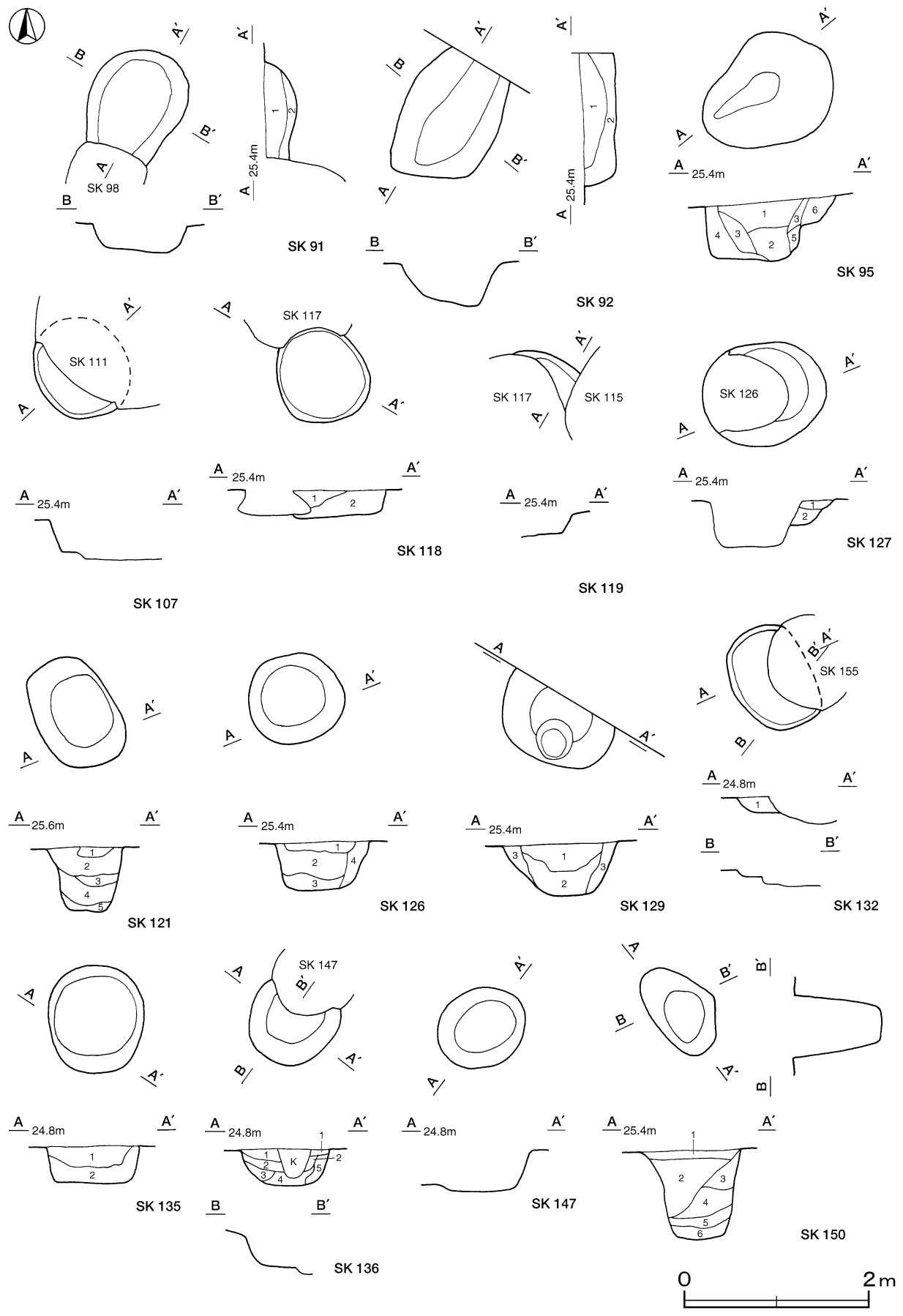
第131图 土坑实测图(6)



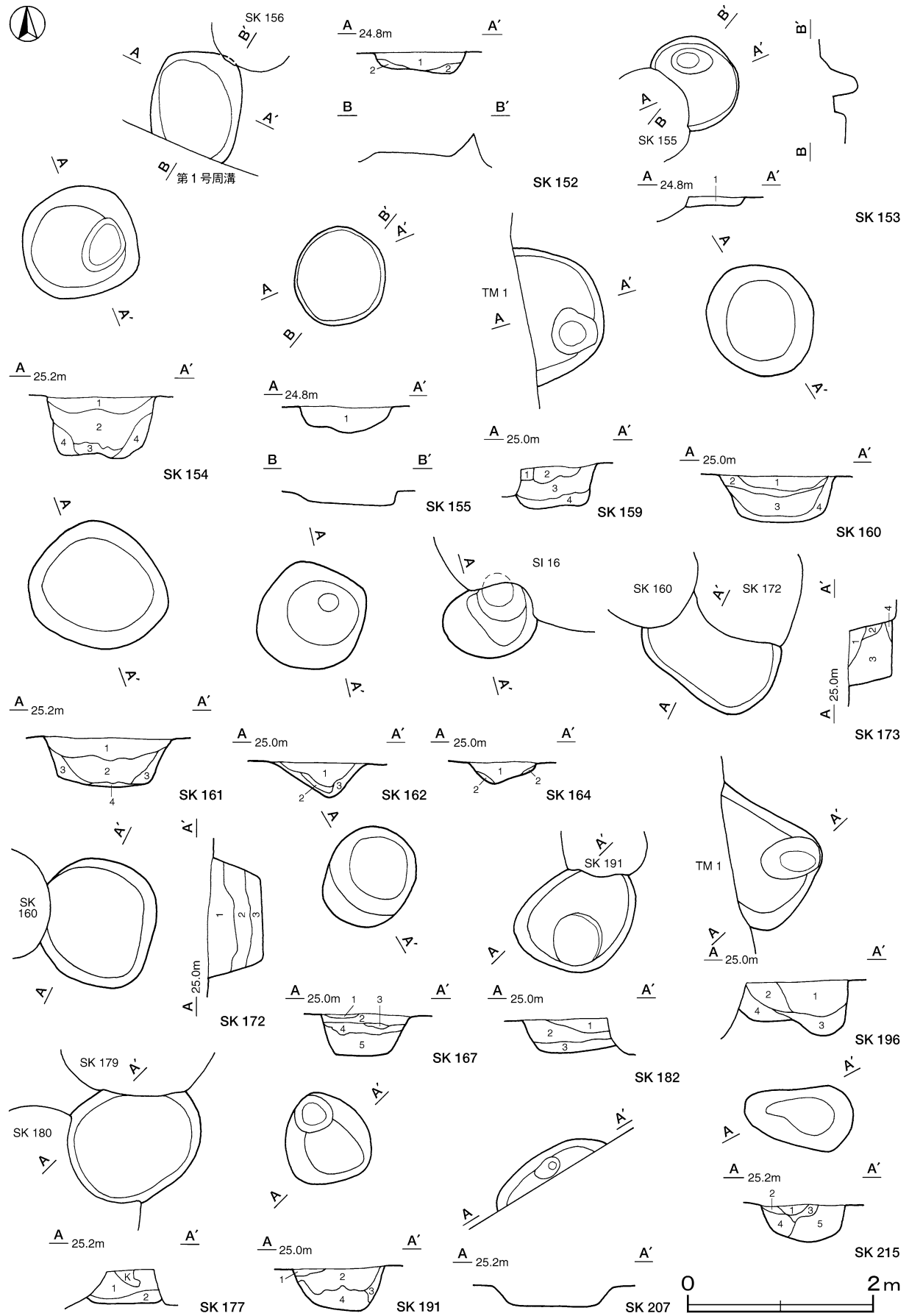
第132图 土坑实测图(7)



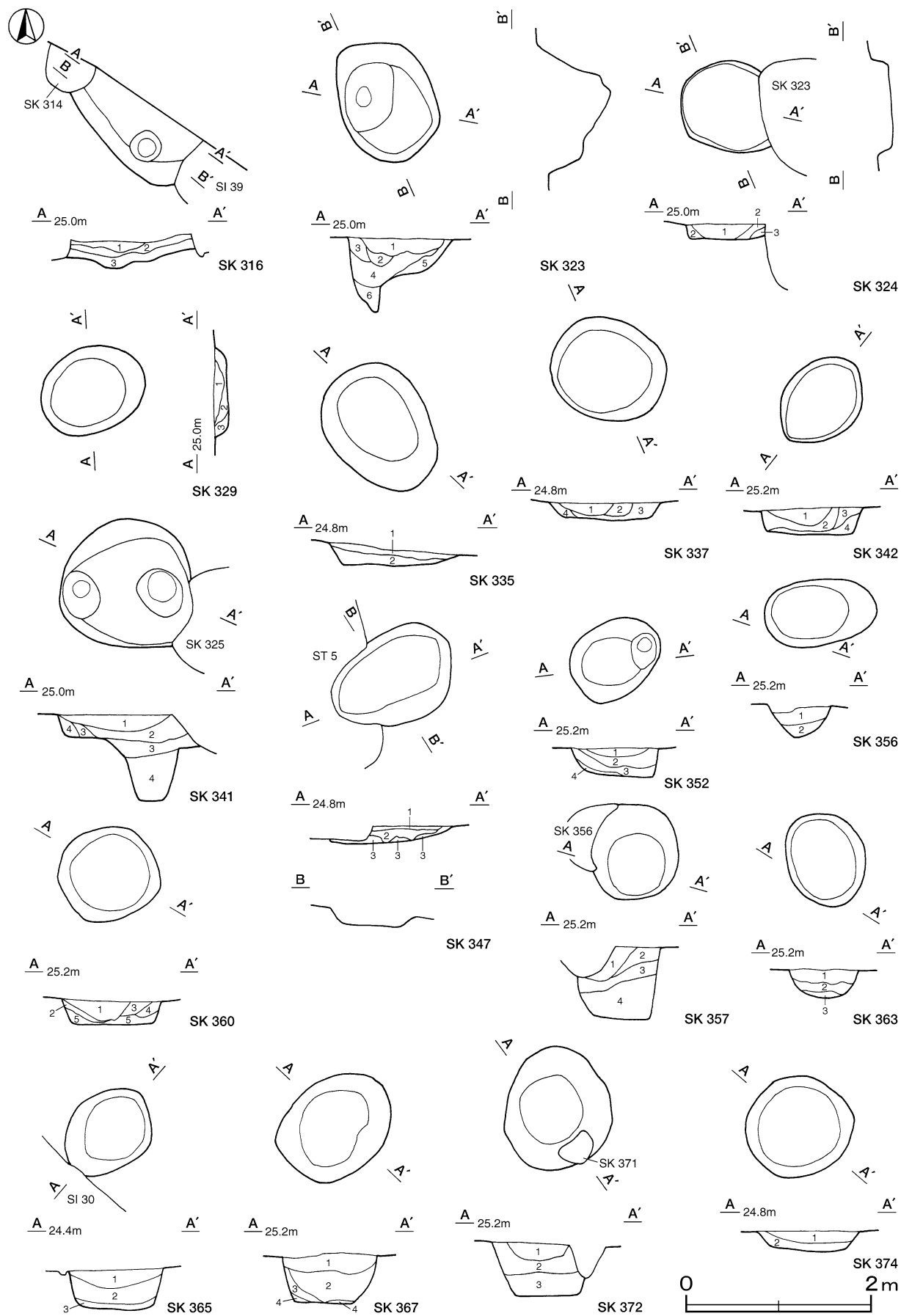
第133图 土坑实测图(8)



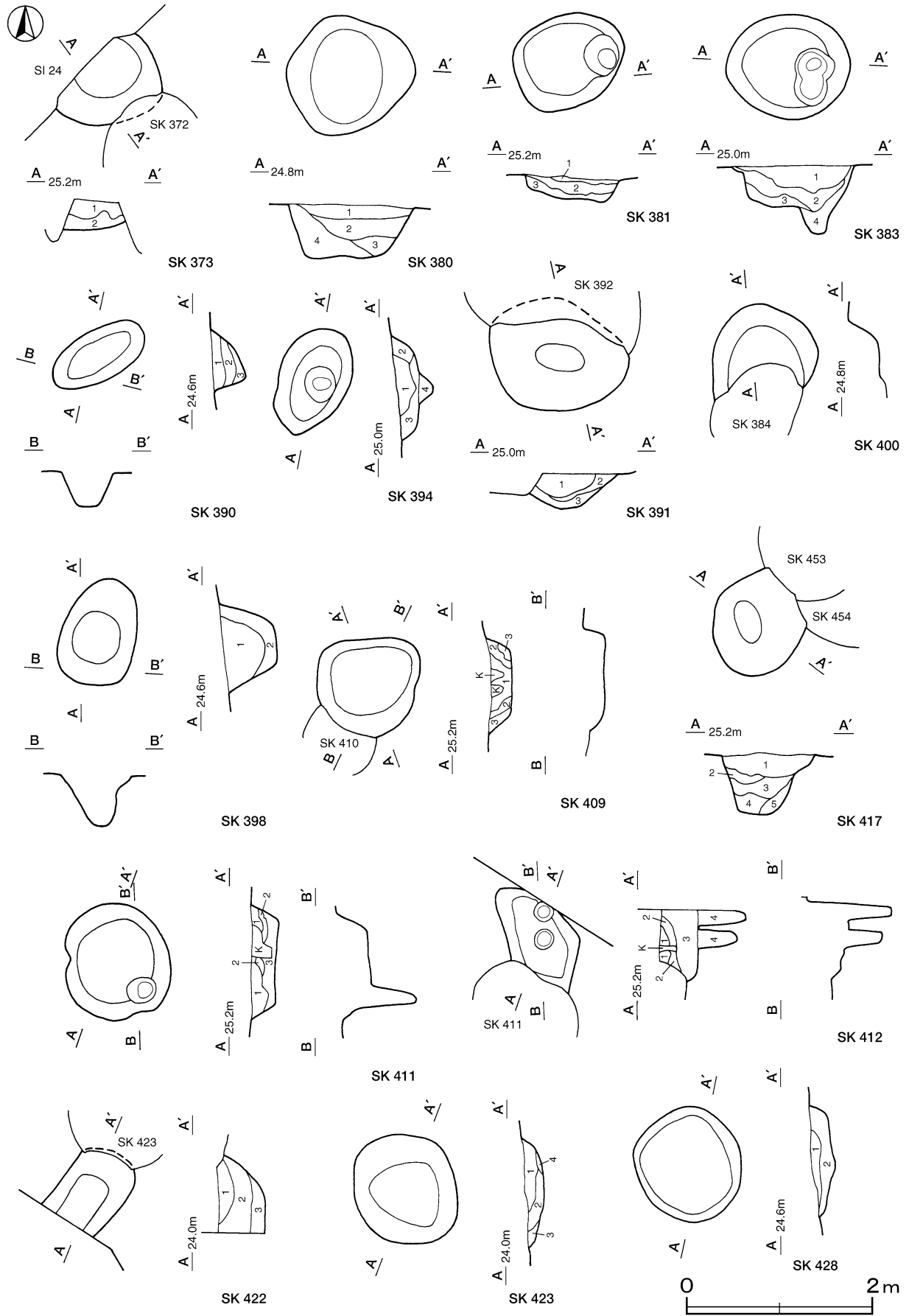
第134图 土坑实测图(9)



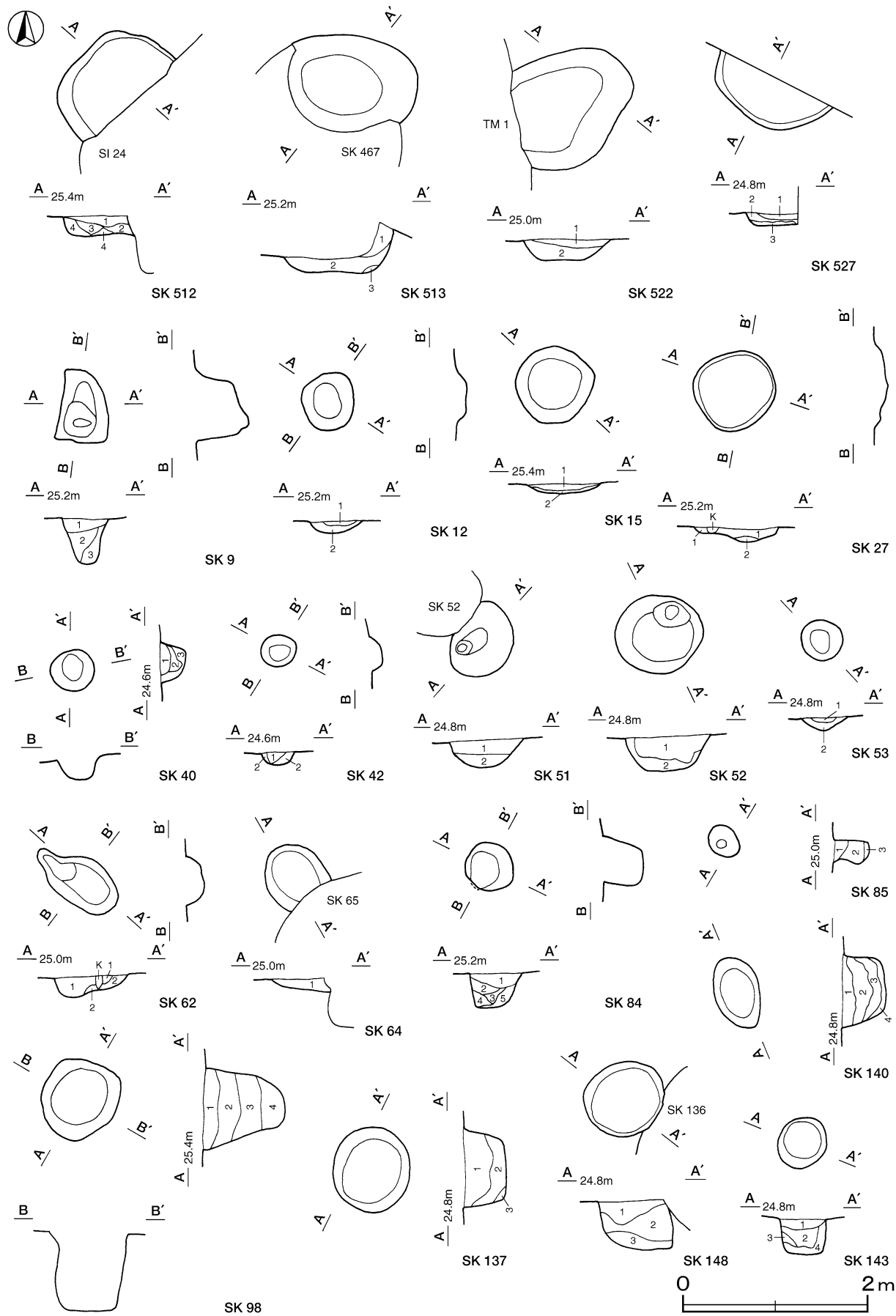
第135图 土坑实测图(10)



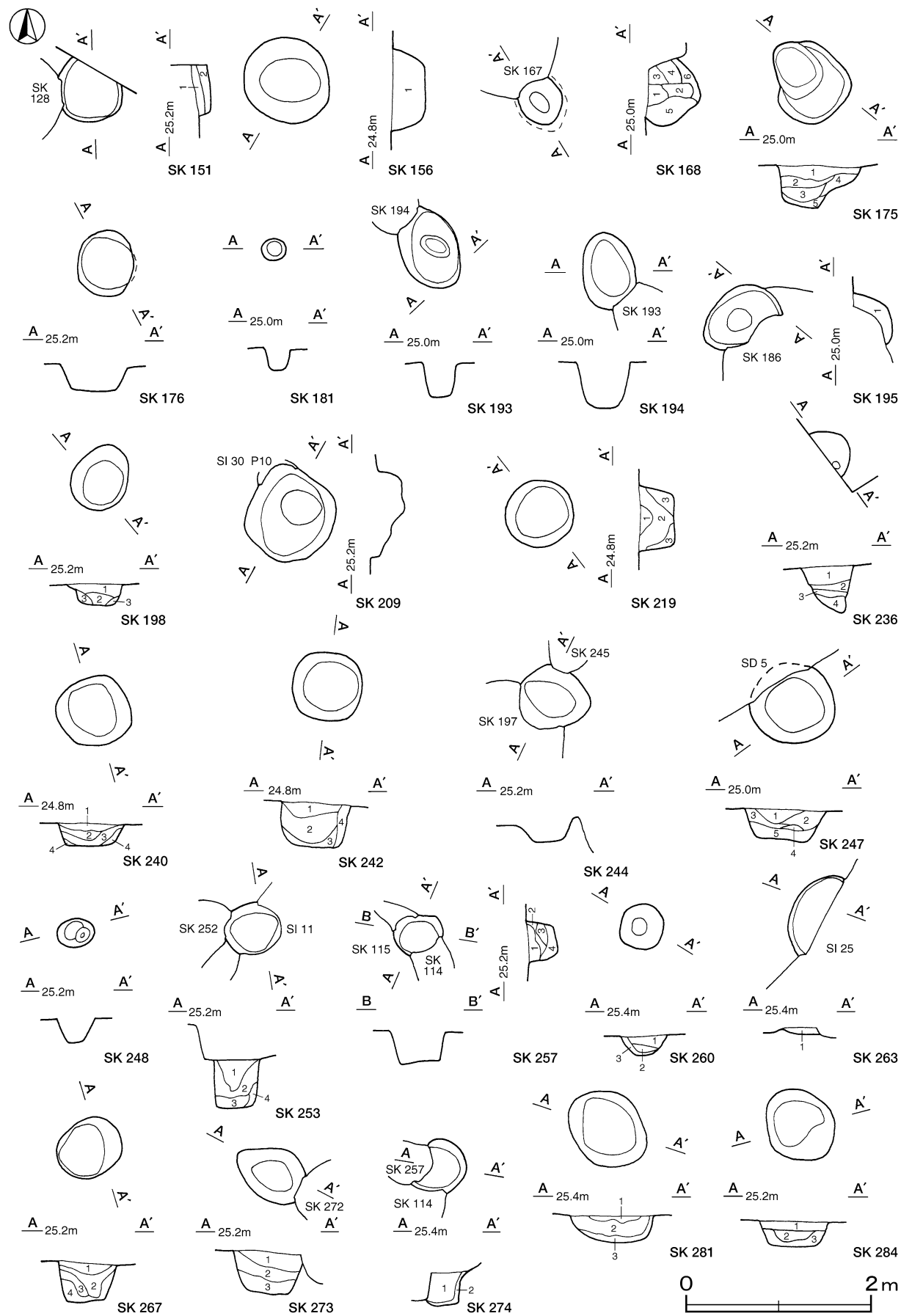
第137图 土坑实测图(12)



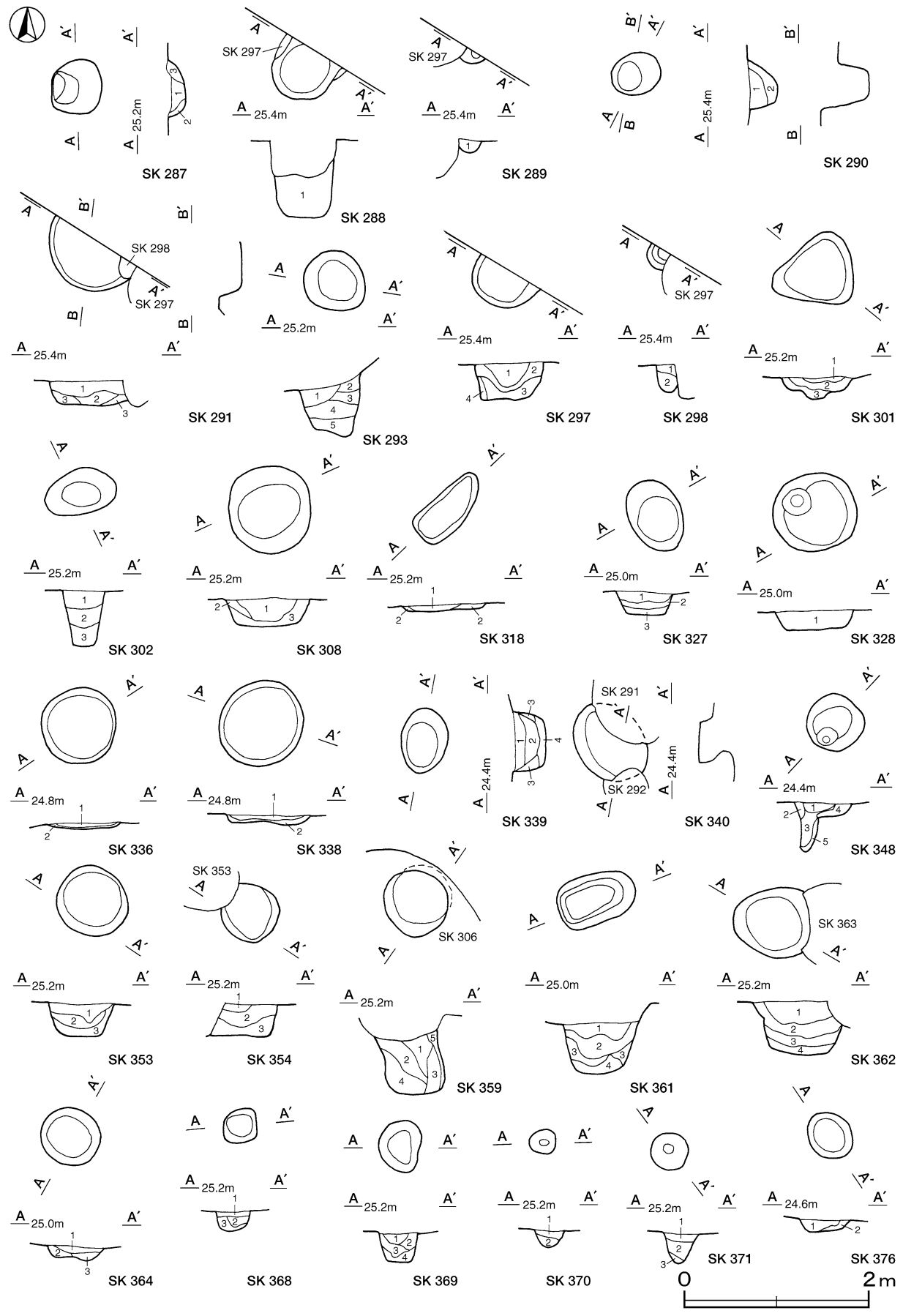
第138图 土坑实测图(13)



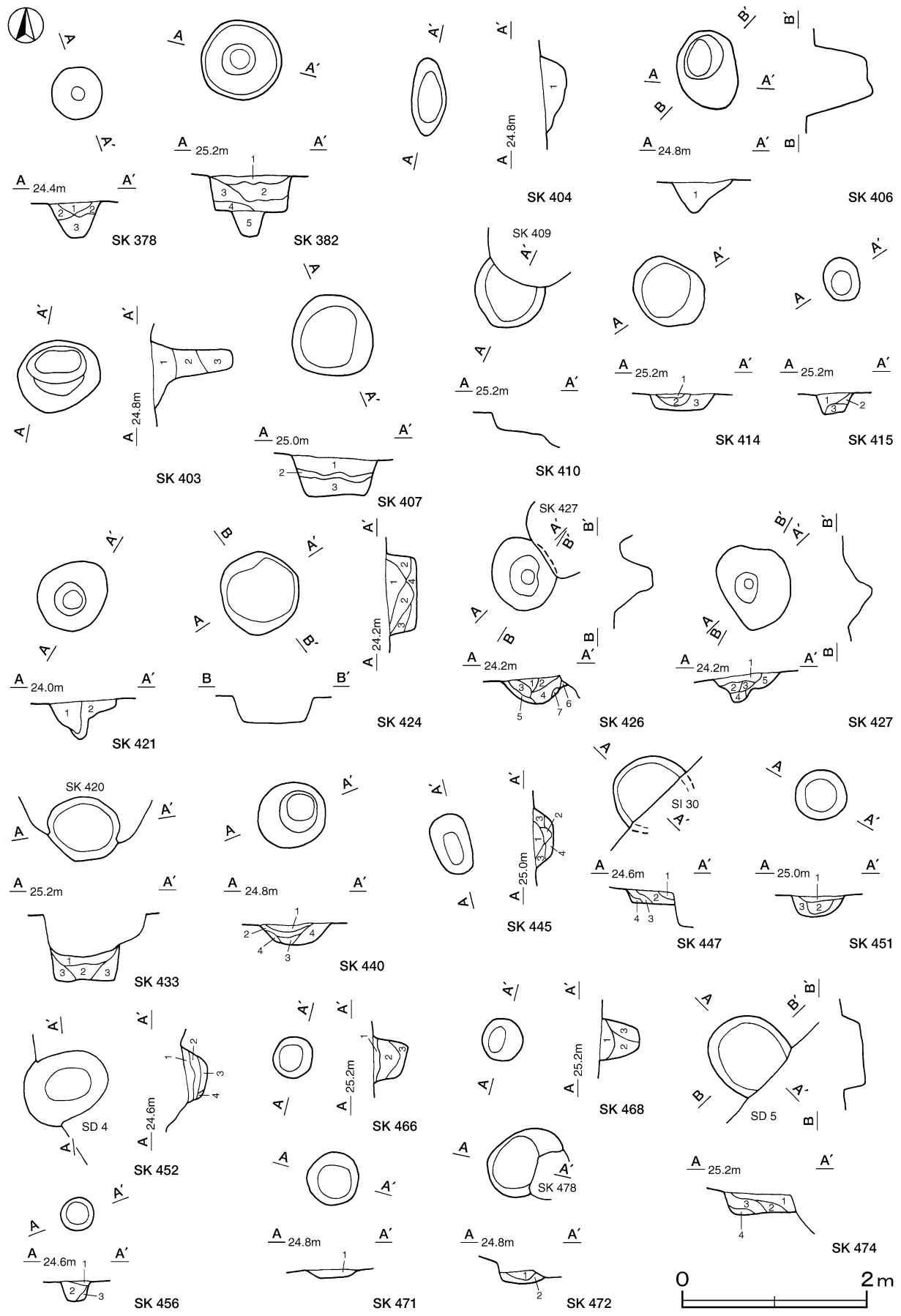
第140图 土坑实测图(15)



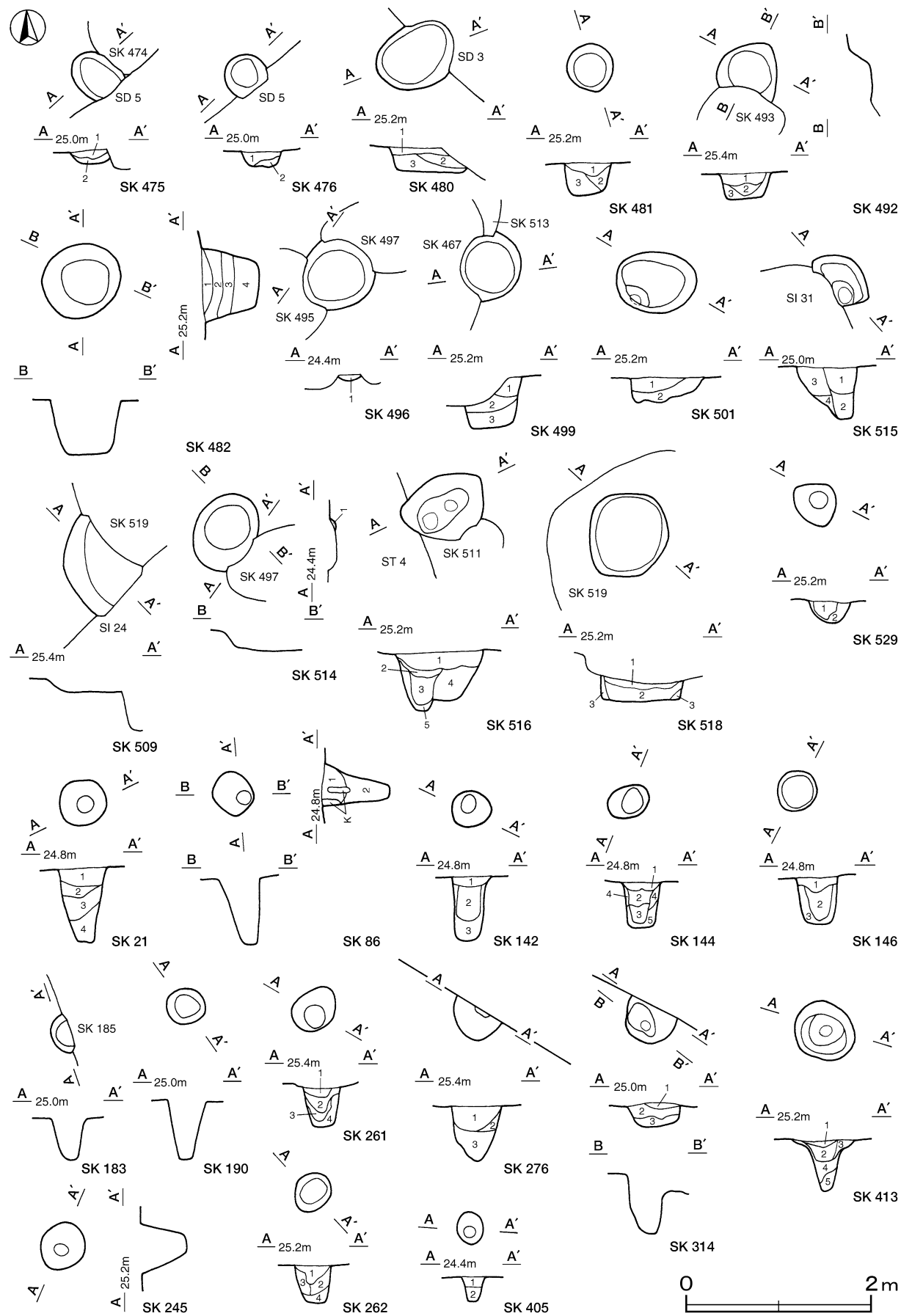
第141图 土坑实测图(16)



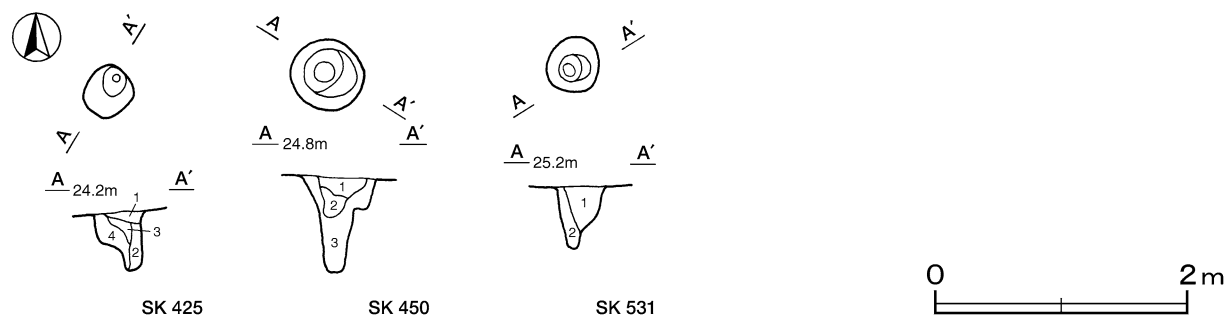
第142图 土坑实测图(17)



第143图 土坑实测图(18)



第144图 土坑实测图(19)



第145図 土坑実測図(20)

第4号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第9号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第12号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第15号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第21号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第27号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第31号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第38号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第40号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第42号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第48号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第51号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第52号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第53号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第54号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量

第55号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第56号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第57号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

第60号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第61号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第62号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物・焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第64号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量

第66号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック多量

第72号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第77号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第81号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量
- 4 褐 色 ローム粒子少量

第82号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

第83号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化粒子微量

第84号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 5 褐 色 ローム粒子中量

第85号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第86号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量

第89号土坑土層解説

- 1 にぶい黄褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第90号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 にぶい黄褐色 ロームブロック多量

第91号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第92号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子中量

第93号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 焼土ブロック多量, ロームブロック・炭化物少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土ブロック少量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 6 褐 色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 7 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 8 暗 褐 色 ロームブロック中量

第95号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 4 明 褐 色 ローム粒子中量
- 5 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 6 にぶい褐色 ロームブロック少量

第98号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子多量
- 4 暗 褐 色 ローム粒子多量

第110号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子少量, 炭化物微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック多量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 6 暗 褐 色 ロームブロック・炭化材中量, 焼土粒子微量
- 7 暗 褐 色 ロームブロック中量

第111号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック少量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 4 褐 色 ロームブロック多量

第113号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック少量

第114号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量

第115号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック少量
- 3 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第116号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック中量

第117号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第118号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第121号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒 褐 色 ロームブロック多量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 3 極暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土ブロック微量
- 4 黒 褐 色 ロームブロック多量, 炭化物少量
- 5 暗 褐 色 ロームブロック多量

第122号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第126号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子少量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第127号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第129号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第131号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子多量

第132号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第134号土坑土層解説

- 1 にぶい黄褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 にぶい黄褐色 ローム粒子多量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第135号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第136号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 にぶい黄褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第137号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第140号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第142号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第143号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第144号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック中量

第145号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第146号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第148号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 細礫微量

第149号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 にぶい褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第150号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第151号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第152号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 にぶい黄褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第153号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第154号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第155号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量

第156号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第159号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック多量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第160号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量
- 2 褐色 焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第161号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 明褐色 ローム粒子多量

第162号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量

第163号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 にぶい黄褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 4 黄褐色 ロームブロック多量
- 5 褐色 ロームブロック多量, 焼土ブロック中量

第164号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第166号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック多量, 炭化粒子微量
- 6 にぶい褐色 ロームブロック中量

第167号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第168号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック中量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第172号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第173号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第175号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ローム粒子多量
- 5 にぶい褐色 ロームブロック少量

第177号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子多量
- 2 にぶい褐色 ロームブロック少量

第180号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第182号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第191号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第195号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第196号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第197号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 極暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第198号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化物微量

第199号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第201号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量

第212号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 明褐色 ローム粒子中量

第214号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

第215号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子多量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第217号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第218号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第219号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 明褐色 ローム粒子多量

第220号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 5 黒褐色 ロームブロック多量, ロームブロック微量

第228号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量

第229号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化粒子微量

第232号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第235号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 灰褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土粒子少量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第236号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック・ローム粒子少量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック・ローム粒子中量, 炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量

第238号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 極暗褐色 ロームブロック中量
- 5 にぶい褐色 ローム粒子中量

第239号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第240号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第242号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第243号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土ブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第246号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量

第247号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 5 黒褐色 焼土ブロック・ロームブロック・炭化材中量

第249号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第251号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第252号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量
- 4 褐色 ロームブロック多量

第253号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量

第254号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第255号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 2 褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第257号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第259号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土ブロック少量

第260号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第261号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子多量

第262号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子多量

第263号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量

第264号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック微量
- 4 明褐色 ロームブロック少量

第265号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第267号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第269号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第273号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第274号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量

第275号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・粘土ブロック・炭化物少量

第276号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第277号土坑土層解説

- 1 にぶい黄褐色 ローム粒子多量, 焼土粒子微量

第278号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第281号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第284号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子中量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量

第285号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化材微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量
- 7 褐色 ローム粒子中量

第286号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第287号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第288号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第289号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第290号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第291号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量

第292号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第293号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 極暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物微量

第295号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第297号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第298号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量

第301号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第302号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第303号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第304号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック多量, 焼土ブロック中量, 炭化粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック中量

第307号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第308号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第311号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第312号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第314号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量

第316号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第318号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

第320号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第321号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 6 明褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 7 褐色 ローム粒子中量

第323号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ローム粒子中量
- 6 明褐色 ローム粒子多量

第324号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量
- 2 にぶい褐色 ローム粒子多量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第325号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第327号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第328号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量

第329号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第334号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック微量
- 5 極暗褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 ロームブロック中量
- 7 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第335号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量

第336号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第337号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

第338号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

第339号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第341号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ローム粒子中量

第342号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第343号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ローム粒子中量

第344号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第347号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第348号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子多量

第352号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第353号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第354号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量,炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量

第356号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第357号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子多量,炭化粒子微量
- 4 明褐色 ローム粒子多量

第358号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量

第359号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量,炭化物微量
- 5 黒褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量

第360号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 4 灰褐色 ローム粒子中量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

第361号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量,焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第362号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,炭化物微量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第363号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック少量

第364号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,炭化物微量

第365号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,炭化物微量

第366号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化物微量
- 3 褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック少量,炭化粒子微量

第367号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量

第368号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第369号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第370号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量

第371号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第372号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量

第373号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量,炭化物少量,焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第374号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量,炭化物少量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第376号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック・炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量,炭化物少量

第377号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量,炭化物微量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第378号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

第380号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化物少量,焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量,炭化物微量
- 4 黒色 ロームブロック中量,焼土ブロック・炭化物微量

第381号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

第382号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 褐色 ローム粒子多量

第383号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 極暗褐色 ローム粒子少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量

第387号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第388号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 明褐色 ローム粒子多量

第389号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック少量, ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 暗赤褐色 焼土ブロック中量, ロームブロック・炭化物少量
- 4 暗赤褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子・炭化粒子微量

第390号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第391号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子微量
- 3 にぶい褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第392号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第393号土坑土層解説

- 1 暗褐色 焼土ブロック少量, ロームブロック微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第394号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第398号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第403号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子少量

第404号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第405号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第406号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量

第407号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 明褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第408号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第409号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第411号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第412号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量
- 3 褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第413号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第414号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第415号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量

第417号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 炭化物少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第419号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 灰褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック少量
- 6 褐色 焼土ブロック中量, ローム粒子少量

第420号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

第421号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

第422号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量, 粘土ブロック微量

第423号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 明褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック少量

第424号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 明褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック中量
- 4 にぶい褐色 ローム粒子中量

第425号土坑土層解説

- 1 明褐色 ロームブロック少量
- 2 灰褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ローム粒子中量
- 4 明褐色 ローム粒子多量

第426号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量
- 3 灰褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック少量
- 5 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 6 明褐色 ローム粒子多量
- 7 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第427号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量
- 5 明褐色 ローム粒子多量

第428号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量

第431号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第432号土坑土層解説

- 1 明褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第433号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 明褐色 ローム粒子中量

第434号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック中量, 炭化物少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

第435号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第436号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第439号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 6 にぶい褐色 ロームブロック中量
- 7 明褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第440号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量

第441号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第445号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第447号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 明褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量

第448号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量

第450号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第451号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

第452号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 明褐色 ローム粒子中量
- 4 にぶい褐色 ロームブロック中量

第453号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 極暗褐色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 6 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第454号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第455号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量

第456号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ローム粒子中量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子微量

第459号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量

第461号土坑土層解説

- 1 明 褐 色 ロームブロック少量

第462号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量
- 4 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 5 褐 色 ロームブロック中量
- 6 明 褐 色 ローム粒子多量

第465号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック・炭化物少量

第466号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 褐 色 ローム粒子多量, 炭化粒子微量

第467号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ローム粒子少量, 焼土粒子微量

第468号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第469号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量

第470号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 3 褐 色 ロームブロック少量
- 4 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 5 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量

第471号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量

第472号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明 褐 色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量

第473号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明 褐 色 ローム粒子中量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量

第474号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量
- 4 褐 色 ロームブロック中量

第475号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第476号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 褐 色 ロームブロック中量

第480号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐 色 ロームブロック中量
- 3 褐 色 ロームブロック多量

第481号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量

第482号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量
- 3 黒 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック中量

第484号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量

第485号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 2 暗 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 4 褐 色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量

第488号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化物微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック中量

第489号土坑土層解説

- 1 極 暗 褐 色 ロームブロック・焼土粒子少量, 炭化物微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量, 炭化物微量
- 4 灰 黄 褐 色 炭化物少量, ローム粒子微量

第491号土坑土層解説

- 1 黒 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック中量, 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐 色 ロームブロック少量
- 5 褐 色 ロームブロック中量

第492号土坑土層解説

- 1 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗 褐 色 ロームブロック少量, 焼土粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック少量

第494号土坑土層解説

- 1 暗 褐 色 ロームブロック・焼土ブロック少量, 炭化粒子微量
- 2 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量
- 3 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量
- 4 暗 褐 色 ロームブロック少量

第495号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量,ロームブロック少量,炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子多量,焼土粒子・炭化粒子微量

第496号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第498号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第499号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 焼土ブロック少量,ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第500号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量
- 4 褐色 ロームブロック中量,焼土粒子微量

第501号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 明褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量

第502号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 2 褐色 焼土ブロック中量,ロームブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック少量,炭化物微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 褐色 ロームブロック多量

第503号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量

第504号土坑土層解説

- 1 黒褐色 焼土ブロック中量,ロームブロック少量,炭化物微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック中量,ロームブロック・炭化物少量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック・炭化粒子少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量

第507号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量

第512号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 炭化物中量,ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック・炭化物少量
- 3 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 4 褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量

第513号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック少量,炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量

第514号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量

第515号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量

第516号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック中量,焼土ブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック中量,炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量

第517号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量,炭化物微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化粒子微量
- 4 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量

第518号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量,焼土ブロック・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子微量

第519号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量,炭化粒子微量

第522号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック少量,焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック少量

第523号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量,炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック少量,炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量,炭化粒子微量

第527号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック中量

第529号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量,炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

第531号土坑土層解説

- 1 黒色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

表5 縄文時代土坑一覽表

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)								
2	D 4 f 8	[円形]	-	(1.58)× 1.62	57	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・土器 片鏢・剥片	中期後葉	-	本跡 S11・4
3	D 5 d1	円形	-	1.21 × 1.12	13	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
4	D 5 d1	円形	-	1.03 × 1.00	19	外傾 直立	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
5	D 5 d1	楕円形	N - 45 ° - E	0.95 × 0.82	18	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
6	D 5 c2	楕円形	N - 38 ° - W	0.96 × 0.76	20	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	前期後葉	-	-
7	D 5 c1	[円形]	-	(0.89)×(1.02)	38	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
8	D 5 c2	楕円形	N - 24 ° - E	1.89 × 1.57	30	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	SK9 - 関係不明
9	D 5 c2	不整楕円形	N - 5 ° - E	0.78 × 0.50	58	外傾	平坦	1	自然	-	-	D	SK8 - 関係不明
10	D 5 d2	[楕円形]	N - 70 ° - W	(1.50)× 1.34	24	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器・石皿	中期後葉	-	本跡 SK11
11	D 5 d2	楕円形	N - 45 ° - E	0.77 × 0.60	60	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK10 本跡
12	D 5 d2	楕円形	N - 17 ° - W	0.60 × 0.55	11	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
13	D 5 c1	不整円形	-	0.65 × 0.60	37	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
14	D 5 e4	楕円形	N - 21 ° - E	2.10 × 1.60	20	緩斜	平坦	2	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
15	D 5 e4	円形	-	0.85 × 0.80	10	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-
16	D 4 e8	円形	-	2.18 × 2.11	28	緩斜	凹凸	1	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	本跡 SK17
17	D 4 e8	円形	-	2.07 × 2.00	35	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK16 本跡 SK22
18	D 4 h8	円形	-	2.19 × 2.18	30	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK31 本跡 SK20・21
19	D 4 i8	楕円形	N - 44 ° - W	1.07 × 0.93	28	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK31 - 関係不明
20	D 4 h8	円形	-	1.12 × 1.04	75	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK18 本跡
21	D 4 h8	円形	-	0.53 × 0.51	79	外傾	平坦	-	自然	-	-	E	SK18 本跡
22	D 4 e8	円形	-	1.10 × 0.93	83	外傾	平坦	-	自然	-	中期後葉	-	SK17 本跡
23	D 4 h8	円形	-	1.23 × 1.18	40	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
24	D 5 e2	[楕円形]	N - 33 ° - E	(1.04)×(1.02)	27	外傾	平坦	-	人為	縄文土器	中期後葉	-	SK30 本跡 SD1
25	D 4 g8	楕円形	N - 64 ° - E	1.05 × 0.94	19	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉 - 後期前葉	-	SK26, 第2号炉穴 本跡
26	D 4 g8	楕円形	N - 6 ° - E	0.82 ×(0.64)	13	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉 - 後期前葉	-	本跡 SK25
27	D 5 d2	円形	-	0.92 × 0.88	15	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	D	-
28	D 5 e3	楕円形	N - 50 ° - W	1.30 × 1.10	22	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・土器片 鏢・土器片円盤・鏢	中期後葉	-	SK29 本跡
29	D 5 e3	[楕円形]	N - 38 ° - E	0.85 ×(0.47)	10	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK28
30	D 5 e2	[楕円形]	N - 70 ° - E	(0.44)×(0.93)	23	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器・土器 片円盤	中期後葉	-	本跡 SK24
31	D 4 h9	円形	-	1.35 × 1.30	25	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK18・19
32	D 4 h9	[円形]	-	(1.20)×(1.08)	29	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK34, S12
33	D 5 h1	円形	-	1.15 × 1.10	10	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
37	D 4 j9	楕円形	N - 76 ° - W	2.46 × 1.56	31	外傾	平坦	5	人為	縄文土器	中期後葉	-	SK38 本跡
38	D 4 j9	(楕円形)	N - 22 ° - E	1.60 × 1.24	43	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK37
40	D 4 j7	円形	-	0.47 × 0.45	25	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	-
41	D 4 j7	楕円形	N - 4 ° - W	0.52 × 0.42	21	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	前期中葉	-	-
42	D 4 j7	円形	-	0.38 × 0.35	12	緩斜	皿状	-	自然	-	-	D	-
43	D 4 h7	円形	-	0.46 × 0.42	32	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
44	D 4 j9	円形	-	1.06 × 1.04	51	内傾	平坦	-	自然	縄文土器・石棒・ 剥片	中期後葉	-	-
45	D 4 d8	楕円形	N - 51 ° - E	2.60 × 1.88	25	外傾	平坦	2	自然	縄文土器・土器 片鏢	中期後葉	-	-
46	D 4 e0	不整楕円形	N - 63 ° - W	2.08 × 1.71	65	内傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
47	D 4 f0	不整楕円形	N - 23 ° - W	2.02 × 1.63	32	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK48 本跡
48	D 4 f0	不定形	N - 34 ° - W	1.49 ×(0.98)	24	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK47 本跡
49	D 4 e9	円形	-	1.39 × 1.35	34	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・土器片 鏢・土器片円盤	中期後葉	-	SK50 本跡
50	D 4 e9	[円形]	-	2.07 ×(1.90)	28	外傾	平坦	4	自然	縄文土器・土器 片鏢	中期後葉	-	本跡 SK49・53

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)								
51	D 4 e9	楕円形	N - 13 ° - E	0.84 × 0.64	33	緩斜	皿状	1	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK52
52	D 4 e9	楕円形	N - 67 ° - W	0.93 × 0.86	37	緩斜	皿状	1	自然	縄文土器	-	D	SK52 本跡
53	D 4 e9	円形	-	0.44 × 0.44	13	緩斜	皿状	-	自然	-	-	D	SK50 本跡
54	D 4 g8	楕円形	N - 57 ° - W	1.26 × 1.00	35	緩斜	平坦	-	人為	縄文土器	-	C	SK52, S14 本跡
55	D 4 g8	[楕円形]	N - 62 ° - E	1.16 ×(0.69)	30	緩斜	皿状	-	人為	縄文土器	-	C	S14 本跡 SK54・56
56	D 4 g8	楕円形	N - 79 ° - W	1.36 × 1.00	15	緩斜	平坦	1	人為	縄文土器	-	C	SK55, S14 本跡
57	D 4 g9	円形	-	1.25 × 1.20	15	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK58
59	D 4 h6	円形	-	1.85 × 1.76	30	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・石器 片錘・土器片 鏟・焼成粘土塊・獣骨	中期後葉	-	-
60	D 4 g9	[円形]	-	[1.40]× 1.30	18	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	SK61 本跡 S12
61	D 4 g0	[楕円形]	N - 40 ° - W	(1.07)×(1.00)	17	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK1・60, S12
62	D 4 g0	不整楕円形	N - 50 ° - W	0.99 × 0.51	22	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	-
63	D 4 f9	円形	-	1.70 × 1.55	28	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・敲石	中期後葉	-	本跡 S14 SK60・関係不明
64	D 5 e1	楕円形	N - 42 ° - W	0.84 × 0.64	15	緩斜	皿状	-	人為	-	-	D	本跡 SK65
66	D 5 f1	円形	-	2.16 × 1.97	25	緩斜	平坦	2	人為	縄文土器	-	B	-
67	D 5 e1	[楕円形]	N - 25 ° - E	(1.38)× 1.20	72	内傾	平坦	-	自然	縄文土器・石器 片錘・土器 片鏟・土器	中期後葉	-	本跡 SD1
68	D 5 f2	楕円形	N - 72 ° - W	1.25 × 1.07	34	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
69	D 5 g2	円形	-	2.20 × 2.00	18	緩斜	平坦	3	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
70	D 5 f2	楕円形	N - 10 ° - W	2.01 × 1.63	15	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器・石器 片盤	中期後葉	-	-
72	D 5 g3	楕円形	N - 21 ° - E	2.04 × 1.84	28	緩斜	平坦	3	自然	縄文土器	-	B	SK79 本跡 SK76
73	D 5 g1	不整円形	-	1.85 × 1.73	23	外傾	平坦	2	自然	縄文土器・磨石	中期後葉	-	-
74	D 5 g2	[円形]	-	1.95 ×(1.73)	34	外傾	平坦	3	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 S16
75	D 5 g2	円形	-	2.22 × 2.14	24	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・石器 片錘	中期後葉	-	-
76	D 5 g3	楕円形	N - 58 ° - W	1.08 × 0.91	78	内傾	平坦	-	自然	縄文土器・石棒 ・剥片	中期後葉	-	SK72 本跡
77	D 5 f3	楕円形	N - 65 ° - W	1.09 × 0.96	16	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
79	D 5 g3	[楕円形]	N - 2 ° - E	1.95 ×(1.06)	28	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・凹石	-	-	本跡 SK72・80
80	D 5 g3	楕円形	N - 3 ° - W	1.26 × 0.95	38	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK79 本跡
81	D 4 i0	楕円形	N - 33 ° - W	1.04 × 0.90	47	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 S12
82	D 4 h0	楕円形	N - 65 ° - W	1.30 × 0.92	8	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 S12
83	D 4 h9	不整楕円形	N - 50 ° - E	1.76 × 1.13	18	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 S12
84	D 5 f3	楕円形	N - 60 ° - W	0.56 × 0.50	43	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
85	D 4 i0	楕円形	N - 45 ° - W	0.41 × 0.27	64	直立	平坦	-	自然	-	-	D	-
86	D 4 f0	円形	-	0.44 × 0.41	70	外傾 直立	平坦	-	自然	縄文土器	-	E	-
87	D 5 h3	[楕円形]	N - 77 ° - E	3.42 ×(2.82)	23	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・石皿 ・剥片・石器 片錘	中期後葉	-	本跡 S16, 第1号墳
88	D 5 f5	不整楕円形	N - 42 ° - W	2.78 × 1.92	20	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・石器 片錘	中期後葉	-	-
89	D 5 e5	楕円形	N - 44 ° - E	1.61 × 0.84	41	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	B	-
90	D 5 f6	[楕円形]	N - 60 ° - E	2.10 ×(0.95)	95	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	-
91	D 5 f6	[楕円形]	N - 26 ° - E	[1.35]× 1.02	30	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK98
92	D 5 e5	[隅丸長方形]	N - 27 ° - E	(1.40)× 1.04	43	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	-
93	E 5 b0	楕円形	N - 46 ° - E	2.16 × 1.49	23	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	-
95	E 6 c1	不整楕円形	N - 59 ° - E	1.50 × 1.17	58	外傾 緩斜	凹凸	-	自然	-	-	B	-
98	D 5 f6	円形	-	0.90 × 0.83	87	直立	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK81 本跡 SK99
99	D 5 f6	[楕円形]	N - 60 ° - W	1.29 ×(0.84)	40	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	SK98 本跡 SD1
100	D 5 f6	[楕円形]	N - 83 ° - W	(1.90)×(1.30)	44	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器・石器 片錘	-	-	SK101 本跡
101	D 5 f6	[楕円形]	N - 74 ° - W	(2.21)×(1.99)	23	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK100
106	E 6 d1	[楕円形]	N - 30 ° - E	3.00 ×(2.34)	56	緩斜	平坦	4	人為	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK104
107	E 6 c2	[楕円形]	N - 51 ° - E	1.14 ×(0.32)	-	緩斜	平坦	-	-	縄文土器	-	C	本跡 SK111

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)								
108	E 6 c3	楕円形	N - 60° - E	1.40 × 0.91	38	内傾 直立	平坦	1	人為	縄文土器・石皿・剥片・土器片・鏝・礫	中期後葉	-	SK111・157 本跡 SK117
110	E 6 d2	楕円形	N - 25° - E	1.15 × 0.70	54	内傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	A	-
111	E 6 d3	[楕円形]	N - 56° - E	2.15 × (1.49)	42	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK107 本跡 SK108・112・117
112	E 6 d3	[楕円形]	N - 78° - W	(1.85)×(1.56)	64	外傾	平坦	1	人為	縄文土器・磨石・剥片	中期後葉～ 後期前葉	-	SK111 本跡 SK113・117・118
113	E 6 c3	[楕円形]	N - 7° - W	(1.82)× 1.34	38	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK112・117 本跡 SK 1151・118
114	E 6 c3	楕円形	N - 57° - W	1.83 × 1.20	46	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK113・115・257・264・274 本跡
115	E 6 c3	楕円形	N - 51° - W	2.00 × 1.50	56	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK113・117・119 本跡 SK114
116	D 5 g3	円形	-	0.73 × 0.69	58	直立	平坦	-	自然	-	-	A	本跡 SI6
117	E 6 c3	楕円形	N - 10° - W	1.54 × 0.94	27	内傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	A	SK119 本跡 SK113・115
118	E 6 d3	[楕円形]	N - 26° - W	(1.05)× 0.95	29	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK112・113 本跡 SK117
119	E 6 c3	-	-	-	-	-	-	-	-	縄文土器	-	C	本跡 SK115・117・157
120	D 6 j2	楕円形	N - 40° - E	1.40 × 1.13	33	外傾	平坦	-	人為	縄文土器・土器片・鏝	中期後葉	-	SK278・288・290・292 本跡
121	D 6 i1	楕円形	N - 26° - W	1.24 × 0.85	68	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK122・124 本跡
122	D 6 i1	円形	-	1.43 × 1.40	33	直立	凹凸	-	自然	-	-	A	SK124・125 本跡 SK121
123	D 6 j1	楕円形	N - 3° - E	2.54 × 2.17	50	緩斜	平坦	-	人為	縄文土器・剥片・土器片・鏝	中期後葉	-	SK124・280 本跡
124	D 6 i1	[楕円形]	N - 20° - E	(2.70)×(2.35)	64	緩斜	皿状	2	人為	縄文土器・磨石・土器片・鏝	中期後葉	-	本跡 SK121・123・125・128
125	D 6 i1	円形	-	2.10 × 2.02	74	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK124 本跡 SK122・129・151
126	D 6 i2	円形	-	1.05 × 0.97	51	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK127 本跡
127	D 6 i2	[楕円形]	N - 73° - E	[1.35]× 1.10	27	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK126
129	D 6 i2	不定形	N - 70° - W	1.26 × (0.74)	55	外傾	凹凸	1	自然	縄文土器	-	C	SK125 本跡
131	E 4 e0	[楕円形]	N - 0°	[2.07]×(0.63)	29	外傾	傾斜	2	自然	縄文土器	-	B	本跡 SI15 第1号周溝跡
132	E 4 e0	[楕円形]	N - 26° - W	(1.17)×(0.88)	15	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK155, SI15
134	E 4 d0	不定形	N - 18° - E	1.76 × 1.70	45	外傾	凹凸	1	自然	縄文土器	-	B	-
135	E 4 d9	楕円形	N - 0°	1.17 × 1.02	41	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
136	E 4 d9	[楕円形]	N - 24° - E	[1.08]× 0.96	37	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK148 本跡 SK147
137	E 4 c9	楕円形	N - 8° - E	0.91 × 0.82	45	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 第1号周溝跡
140	E 5 d1	楕円形	N - 23° - W	0.80 × 0.51	50	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-
141	E 4 c0	楕円形	N - 73° - E	0.52 × 0.45	42	直立	平坦	-	人為	縄文土器・楔形石器	中期後葉	-	-
142	E 4 b0	円形	-	0.43 × 0.42	69	直立	皿状	-	自然	縄文土器	-	E	-
143	E 4 b0	楕円形	N - 29° - E	0.58 × 0.52	43	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
144	E 4 b0	楕円形	N - 89° - W	0.43 × 0.36	51	外傾	平坦	-	自然	-	-	E	-
145	E 4 c0	不定形	N - 67° - W	2.52 × (1.13)	44	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 第1号周溝跡
146	E 4 b0	円形	-	0.44 × 0.43	50	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	E	-
147	E 4 d9	楕円形	N - 42° - E	0.98 × 0.88	45	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	SK136 本跡
148	E 4 d9	円形	-	0.86 × 0.86	53	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	本跡 SK136
149	E 5 c1	不定形	N - 14° - W	2.06 × (1.30)	50	外傾	凹凸	1	自然	縄文土器	-	B	本跡 第1号墳
150	D 5 i0	楕円形	N - 39° - W	1.07 × 0.66	94	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK130 本跡 SI13
151	D 6 i1	[円形]	-	0.68 × (0.64)	18	直立	平坦	-	自然	-	-	D	SK125 本跡 SK128
152	E 4 c9	不定形	N - 8° - E	(1.02)× 0.96	24	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 第1号周溝跡
153	E 5 e1	[円形]	-	1.00 × (0.91)	15	緩斜	平坦	1	自然	-	-	C	本跡 SK155, SI15
154	E 5 b3	楕円形	N - 68° - E	1.27 × 1.18	67	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	-
155	E 5 e1	円形	-	1.04 × (0.99)	25	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK132・153 本跡 SI15
156	E 4 c9	円形	-	0.97 × 0.91	36	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
157	E 6 c3	不定形	N - 50° - E	(1.69)×(0.77)	-	-	-	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK108・117・119
159	E 5 e3	不定形	-	1.44 × (0.82)	43	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 第1号墳
160	E 5 e3	楕円形	N - 40° - W	1.27 × 1.15	50	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	SK172・173 本跡

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	高さ (cm)								
161	E 5 c 2	楕円形	N - 52 ° - W	1.45 × 1.30	55	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
162	E 5 c 2	不定形	N - 76 ° - W	1.22 × 1.18	50	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	-
163	E 5 b 2	円形	-	1.48 × 1.45	56	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	-
164	E 5 b 2	[楕円形]	N - 76 ° - E	(1.00)× 0.80	26	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SI16
165	E 4 f 9	[楕円形]	N - 42 ° - E	(1.40)× 1.26	30	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・石皿・ 土器片鏝	中期後葉	-	本跡 SF2
166	E 5 c 3	楕円形	N - 52 ° - W	2.02 × 1.71	70	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	-
167	E 5 a 2	楕円形	N - 35 ° - E	1.12 × 0.94	46	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK168 本跡 SI16
168	E 5 b 2	楕円形	N - 29 ° - W	0.52 × 0.48	58	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK167, SI16
172	E 5 e 3	円形	-	1.34 × 1.22	60	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK173・503 本跡 SK160
173	E 5 e 3	[楕円形]	N - 54 ° - W	[1.56]×[0.99]	48	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK160・172
175	E 5 e 2	不定形	N - 42 ° - W	0.93 × 0.76	45	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	D	-
176	E 5 d 3	楕円形	N - 4 ° - W	0.72 × 0.63	28	-	-	-	-	-	-	D	-
177	E 5 d 3	[楕円形]	N - 53 ° - W	(1.51)× 1.25	35	-	平坦	-	自然	-	-	B	本跡 SK179・180
179	E 5 c 3	楕円形	N - 29 ° - E	2.01 × 1.44	40	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK177 本跡
180	E 5 d 3	楕円形	N - 50 ° - W	1.88 × 1.19	37	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	SK189 本跡
181	E 5 d 2	円形	-	0.27 × 0.25	20	-	-	-	-	-	-	D	-
182	E 5 d 2	[楕円形]	N - 35 ° - E	(1.24)× 1.06	37	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK191
183	E 5 d 2	不定形	N - 16 ° - W	0.42 ×(0.22)	45	-	-	-	自然	縄文土器	-	E	-
184	E 5 c 3	[楕円形]	N - 57 ° - E	(1.85)× 1.61	37	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK185
185	E 5 d 2	[不整長方形]	N - 70 ° - E	(2.64)× 2.44	55	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	SK183・184 本跡 SK186・195・196・522
190	E 5 d 2	楕円形	N - 77 ° - W	0.42 × 0.38	61	-	-	-	-	縄文土器	-	E	-
191	E 5 d 2	不整楕円形	N - 29 ° - W	1.00 × 0.91	46	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	SK182 本跡 SK190
193	E 5 d 2	楕円形	N - 21 ° - W	0.93 × 0.64	36	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	D	SK194 - 関係不明
194	E 5 d 2	楕円形	N - 17 ° - W	0.84 × 0.57	50	-	-	-	-	縄文土器	-	D	SK193 - 関係不明
195	E 5 d 2	[不整楕円形]	N - 59 ° - E	0.93 ×(0.51)	44	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	SK185 本跡 SK186
196	E 5 d 2	[隅丸長方形]	N - 60 ° - W	(1.02)× 1.18	42	-	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	SK185 本跡 第1号墳
197	F 5 b 4	[楕円形]	N - 1 ° - E	[1.49]× 1.42	16	直立	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	SK244 本跡
198	F 5 a 5	楕円形	N - 36 ° - E	0.69 × 0.62	22	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK199 本跡
199	F 5 a 4	楕円形	N - 44 ° - E	1.30 × 0.94	15	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK198
200	F 5 a 5	[不整楕円形]	N - 51 ° - E	(1.88)× 1.50	42	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK201・531
201	F 5 a 5	不定形	N - 49 ° - E	[2.52]× 1.66	40	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK200・246 本跡 SK202・249
203	F 5 a 6	[楕円形]	N - 74 ° - E	0.80 ×(0.45)	58	外傾	平坦	-	人為	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK204
204	F 5 a 6	楕円形	N - 56 ° - E	1.54 × 1.08	65	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・凹石	中期後葉	-	SK203・246 本跡
205	E 5 j 7	楕円形	N - 59 ° - E	1.01 × 0.79	30	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	SI23 - 関係不明
207	E 5 j 7	不定形	N - 59 ° - E	1.37 ×(0.27)	45	-	-	1	-	縄文土器	-	C	本跡 SI23
209	E 5 j 7	円形	-	0.93 × 0.93	36	緩斜	傾斜	-	自然	-	-	D	本跡 SI23
212	E 5 j 7	不定形	N - 39 ° - E	[1.35]× 1.18	16	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	SK210 本跡
214	E 5 j 7	楕円形	N - 50 ° - E	1.18 × 0.98	21	緩斜	凹凸	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 SI23
215	E 5 j 7	楕円形	N - 84 ° - W	1.18 × 0.62	48	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SI23
217	E 5 i 9	不定形	N - 61 ° - E	1.69 ×(1.12)	30	外傾	凹凸	-	自然	縄文土器	-	B	-
218	E 5 i 9	不定形	N - 52 ° - E	1.32 ×(1.10)	18	外傾	平坦	3	自然	縄文土器	-	C	-
219	E 5 i 9	円形	-	0.76 × 0.71	40	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
220	E 5 g 2	[隅丸長方形]	N - 64 ° - E	(2.45)× 1.71	26	外傾	平坦	-	自然	-	-	B	本跡 第1号墳
222	E 6 i 8	[楕円形]	N - 58 ° - E	1.87 ×(1.31)	16	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	本跡 SK347, ST5
227	E 5 h 0	円形	-	1.00 × 0.95	27	外傾	平坦	-	人為	縄文土器・凹石	中期	-	SK228・229 本跡
228	E 5 h 0	[楕円形]	N - 49 ° - E	[1.83]×[0.98]	24	外傾	平坦	1	自然	-	-	B	本跡 SK227・229

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	高さ (cm)								
229	E 5 h0	楕円形	N - 33° - W	2.18 x 1.44	26	外傾	皿状	-	人為	-	-	B	SK228 本跡 SK227
230	E 5 i7	[楕円形]	N - 57° - E	1.82 x(0.97)	44	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	本跡 SD5
232	E 5 i6	[楕円形]	N - 57° - W	[1.90]x[1.31]	45	外傾	平坦	-	自然	-	-	B	本跡 SK439, SD5
233	E 5 h9	円形	-	0.64 x 0.60	25	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
234	E 5 h9	隅丸方形	N - 21° - W	0.92 x 0.82	40	外傾	平坦	-	人為	縄文土器・磨石	中期後葉	-	-
235	F 5 a4	不定形	N - 45° - E	(1.99)x 1.93	32	外傾	平坦	2	自然	縄文土器	-	B	-
236	F 5 b4	不定形	N - 0°	0.56 x(0.30)	50	-	傾斜	-	自然	縄文土器	-	D	-
237	E 6 i1	[楕円形]	N - 23° - E	(0.64)x 1.09	21	外傾	平坦	-	人為	縄文土器	後期後葉	-	SK238 本跡
238	E 6 i1	不定形	N - 60° - W	1.51 x(1.08)	30	緩斜	凹凸	1	人為	-	-	B	本跡 SK237
239	E 5 i8	[楕円形]	N - 62° - W	[1.76]x 1.19	25	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SD4
240	E 5 g3	円形	-	0.80 x 0.75	25	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
242	E 5 h3	円形	-	0.75 x 0.74	51	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
243	E 5 h3	楕円形	N - 29° - W	1.39 x 1.04	30	外傾	傾斜	-	自然	縄文土器	-	C	-
244	F 5 b5	[楕円形]	N - 48° - W	0.72 x(0.56)	36	緩斜	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SK197・245
245	F 5 a5	円形	-	0.52 x 0.48	48	外傾	平坦	-	自然	-	-	E	SK244 本跡
246	F 5 a6	不定形	N - 50° - E	2.38 x[1.80]	42	-	-	-	-	縄文土器	-	B	本跡 SK201・203
247	E 5 i8	[円形]	-	[0.90]x[0.88]	36	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SD5
248	F 5 a4	楕円形	N - 79° - E	0.38 x 0.33	-	-	-	1	-	縄文土器	-	D	-
249	F 5 a5	楕円形	N - 29° - W	1.20 x 0.93	28	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	SK201・246 本跡
251	D 6 j4	[楕円形]	N - 35° - W	[1.68]x[0.75]	38	緩斜	皿状	-	自然	-	-	B	SK252 本跡 SI11
252	D 6 j4	[楕円形]	N - 34° - E	[1.50]x[1.13]	32	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK253 本跡 SK251, SI11
253	D 6 j4	[円形]	-	[0.70]x[0.60]	38	外傾	凹凸	-	自然	-	-	D	本跡 SK252, SI11
254	D 6 j3	楕円形	N - 37° - W	1.24 x 1.22	45	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	-
255	D 6 j3	[楕円形]	N - 58° - W	1.90 x(1.77)	56	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	-
256	D 6 j2	楕円形	N - 7° - W	2.12 x 1.85	42	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	SK278 本跡
257	E 6 c3	[楕円形]	N - 79° - W	(0.55)x(0.45)	41	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK274 本跡
258	E 6 e3	円形	-	1.02 x 0.98	75	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK264・266 本跡
259	E 6 c4	楕円形	N - 34° - E	1.05 x 0.90	23	外傾 緩斜	傾斜	1	自然	-	-	C	-
260	E 6 c4	円形	-	0.49 x 0.46	21	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
261	E 6 b4	楕円形	N - 53° - E	0.50 x 0.40	42	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	E	-
262	E 6 b4	楕円形	N - 34° - E	0.45 x 0.38	41	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	E	-
263	E 5 c7	[楕円形]	N - 25° - E	0.99 x(0.35)	15	緩斜	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SI25, SF3
264	E 6 c3	楕円形	N - 56° - W	1.57 x 1.45	45	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK114・115 本跡 SK258
265	E 6 c3	不定形	N - 74° - W	1.71 x(0.98)	26	外傾	傾斜	2	自然	-	-	B	本跡 SK266・267
266	E 6 e3	[楕円形]	N - 22° - W	(0.47)x(0.61)	16	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK258
267	E 6 c3	楕円形	N - 45° - E	0.77 x 0.64	40	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK265 本跡
269	E 6 d4	楕円形	N - 49° - W	1.23 x 0.73	53	-	-	-	-	縄文土器	-	C	本跡 SI24
271	E 6 d7	[楕円形]	N - 40° - W	3.09 x(1.10)	42	緩斜	凹凸	2	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK343・344 本跡 SI24
273	E 6 c4	不定形	N - 58° - W	(0.76)x 0.57	46	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SK272
274	E 6 c4	楕円形	N - 11° - E	0.58 x(0.36)	14	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK257
275	E 5 c6	不定形	N - 40° - E	1.23 x(0.58)	34	外傾	凹凸	-	自然	-	-	C	本跡 SI27, 第2号周溝跡
276	D 6 i3	不定形	N - 60° - W	0.55 x(0.32)	60	外傾	凹凸	-	自然	縄文土器	-	E	SK277 本跡
277	D 6 i3	不定形	N - 59° - W	1.16 x(0.90)	25	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK276・289
278	D 6 j3	[楕円形]	N - 32° - E	[1.82]x[1.42]	30	-	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK120・256・277
280	D 6 j1	[楕円形]	N - 50° - W	(2.24)x 2.02	32	外傾	凹凸	-	自然	縄文土器・打製 石斧・敲石	中期後葉	-	本跡 SK123
281	D 6 j1	円形	-	0.84 x 0.77	28	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸	高さ (cm)								
284	E 6 e7	楕円形	N - 25 ° - W	0.80 x 0.72	27	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
285	E 6 e7	楕円形	N - 43 ° - W	2.47 x 2.13	55	外傾 緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK293
286	E 5 d6	不定形	N - 88 ° - W	(1.69)x 1.15	22	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	本跡 第2号周溝跡
287	E 6 c8	楕円形	N - 0 °	0.57 x 0.54	19	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-
288	D 6 i2 [楕円形]	楕円形	N - 56 ° - W	(0.65)x(0.57)	82	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK297 SK120 - 関係不明
289	D 6 i3	不定形	N - 55 ° - W	(0.24)x(0.13)	15	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	SK277 本跡 SK297
290	D 6 j2	楕円形	N - 59 ° - E	0.55 x 0.47	32	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK120 - 関係不明
291	D 6 i2 [楕円形]	楕円形	N - 60 ° - W	0.94 x(0.56)	25	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK340 本跡 SK298
292	D 6 i2	楕円形	N - 60 ° - E	0.50 x 0.43	40	内傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	A	SK120・340 - 関係不明
293	E 6 e7	円形	-	0.70 x 0.65	55	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK285 本跡
295	E 5 e6	不定形	N - 73 ° - W	2.43 x(0.91)	25	-	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK294・296
297	D 6 i2	不定形	N - 60 ° - W	0.72 x(0.43)	40	外傾	凹凸	-	自然	縄文土器	-	D	SK288・289・298 本跡
298	D 6 i2	不定形	N - 60 ° - W	(0.21)x(0.21)	28	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	本跡 SK297
301	E 6 c7	不定形	N - 75 ° - E	0.91 x 0.68	22	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	D	-
302	E 6 b7	楕円形	N - 71 ° - E	0.78 x 0.48	59	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK303 本跡
303	E 6 b7 [楕円形]	楕円形	N - 69 ° - E	1.26 x[1.10]	14	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK302
304	E 6 b6 [楕円形]	楕円形	N - 81 ° - E	[1.72]x[1.60]	53	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	-
305	E 6 e7	楕円形	N - 10 ° - W	1.51 x 1.29	30	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	-
306	E 6 c7	楕円形	N - 44 ° - W	1.72 x 0.98	27	緩斜	皿状	-	人為	縄文土器・石鏝・ 磨石・剥片	中期後葉	-	SK307・359・455 本跡
307	E 6 c7 [楕円形]	楕円形	N - 38 ° - E	[2.18]x 2.11	40	緩斜	平坦	2	自然	縄文土器	-	B	SK455 本跡 SK306・359
308	E 6 c8	円形	-	0.97 x 0.95	29	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
311	E 6 c7 [楕円形]	楕円形	N - 79 ° - W	1.25 x(1.02)	60	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK310
312	E 6 e0	円形	-	1.12 x 1.08	35	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
314	E 6 c0	-	-	0.58 x(0.40)	65	直立	皿状	-	自然	縄文土器	-	E	SK316 本跡
315	E 6 d8	不整楕円形	-	2.44 x 2.25	30	緩斜	平坦	5	人為	縄文土器	中期後葉	-	本跡 ST4
316	E 7 h1	不定形	N - 43 ° - W	(1.35)x(0.64)	23	外傾	凹凸	1	自然	-	-	C	本跡 SK314, SI39
318	E 6 c1	楕円形	N - 48 ° - E	0.87 x 0.40	8	緩斜	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SI27
320	E 6 b2 [楕円形]	楕円形	N - 66 ° - W	1.78 x[1.58]	43	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK485 本跡 SK299
321	E 6 g5 [円形]	円形	-	[2.16]x 2.05	15	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK299・322
323	E 6 g5	楕円形	N - 31 ° - W	1.36 x 1.04	73	緩斜	凹凸	1	自然	縄文土器	-	C	SK324 本跡
324	E 6 g4 [楕円形]	楕円形	N - 62 ° - W	[1.11]x 0.98	20	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	本跡 SK323
325	E 6 g4	不整楕円形	N - 85 ° - E	1.57 x 1.14	42	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	SK341 本跡
327	E 6 d9	楕円形	N - 27 ° - W	0.80 x 0.58	23	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
328	E 6 d9	円形	-	0.92 x 0.91	20	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
329	E 6 d9	楕円形	N - 64 ° - E	1.16 x 0.93	15	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
331	E 6 g5	円形	-	1.89 x 1.78	60	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・礫	中期後葉	-	SK483 本跡
334	E 6 h0	円形	-	2.20 x 2.10	20	緩斜	凹凸	2	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK339・348
335	E 7 e1	楕円形	N - 34 ° - W	1.43 x 1.08	25	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
336	E 6 f0	円形	-	0.83 x 0.81	6	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SI35 本跡
337	E 6 e9	楕円形	N - 74 ° - W	1.26 x 1.11	18	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	SI35 本跡
338	E 6 g8	円形	-	0.95 x 0.91	10	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
339	E 6 h0	楕円形	N - 0 °	0.70 x 0.50	35	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK334 本跡
340	D 6 i2 [楕円形]	楕円形	N - 34 ° - W	[1.00]x[0.73]	10	-	平坦	1	自然	-	-	D	本跡 SK291・292
341	E 6 g4	不定形	N - 80 ° - W	1.46 x 1.38	44	直立	平坦	2	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK325
342	E 6 e6	不定形	N - 39 ° - E	1.10 x 0.84	30	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
343	E 6 d7 [楕円形]	楕円形	N - 5 ° - W	1.67 x(0.98)	30	緩斜	平坦	3	自然	縄文土器	-	B	SK344 本跡 SK271

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)								
344	E 6 d7	-	-	-	25	緩斜	傾斜	1	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK271・343
345	E 6 b6	[楕円形]	N - 68° - W	2.06 x(1.73)	70	直立	平坦	4	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	本跡 SI26・28
346	E 6 j9	楕円形	N - 26° - E	1.79 x 1.30	31	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	SI37 本跡
347	E 6 h8	楕円形	N - 58° - E	1.43 x 1.00	18	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK222 本跡 ST5
348	E 6 h0	円形	-	0.60 x 0.60	16	緩斜	皿状	1	自然	-	-	D	SK334 本跡
350	E 6 e4	楕円形	N - 57° - E	3.10 x 2.50	23	緩斜	平坦	3	自然	縄文土器	中期後葉	-	SI41 - 関係不明
352	E 6 c7	楕円形	N - 57° - E	1.01 x 0.80	32	外傾 緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	SK455 - 関係不明
353	E 6 c7	円形	-	0.79 x 0.75	35	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK354 本跡
354	E 6 c7	[円形]	-	(0.64)x 0.62	34	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK353
356	E 6 c7	楕円形	N - 87° - E	1.32 x 0.77	15	緩斜	皿状	-	自然	-	-	C	SK357 本跡
357	E 6 c7	円形	-	1.04 x 0.97	80	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK356
358	E 6 d9	[楕円形]	N - 60° - E	2.30 x(0.80)	23	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK361
359	E 6 c7	楕円形	N - 47° - W	0.75 x 0.65	83	外傾 内傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK307 本跡 SK306
360	E 6 d8	円形	-	1.05 x 1.01	27	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK527 - 関係不明
361	E 6 d9	隅丸長方形	N - 69° - E	0.92 x 0.55	55	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	SK358 本跡
362	E 6 c7	[楕円形]	N - 84° - W	(1.70)x 0.72	58	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK363
363	E 6 c7	楕円形	N - 15° - W	1.00 x 0.83	30	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	SK362 本跡
364	E 5 f9	円形	-	0.66 x 0.62	15	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	D	-
365	E 7 f2	楕円形	N - 42° - E	1.09 x 0.85	66	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK366 本跡
366	E 7 f2	[円形]	-	[2.32]x[2.28]	30	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK365
367	E 6 e6	楕円形	N - 41° - E	1.30 x 1.10	50	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
368	E 6 e7	円形	-	0.37 x 0.37	21	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	-
369	E 6 e6	楕円形	N - 11° - E	0.57 x 0.44	33	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
370	E 6 e6	楕円形	N - 71° - E	0.30 x 0.27	20	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	-
371	E 6 e6	円形	-	0.38 x 0.38	34	外傾	皿状	-	自然	-	-	D	SK372 本跡
372	E 6 e6	楕円形	N - 39° - W	1.21 x 1.21	58	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK373 本跡 SK371
373	E 6 e6	不定形	N - 41° - E	1.18 x[0.68]	33	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK372, SI24
374	E 6 e8	円形	-	1.10 x 1.10	23	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SI36
376	E 6 g0	楕円形	N - 41° - W	0.54 x 0.48	15	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
377	E 7 g2	[不整楕円形]	N - 86° - E	(1.31)x 1.29	40	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
378	E 7 f3	円形	-	0.56 x 0.56	40	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
380	E 6 i9	円形	-	1.35 x 1.27	55	外傾 緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK389, SI37 本跡
381	E 6 f5	楕円形	N - 74° - E	1.20 x 1.00	25	外傾	傾斜	1	自然	縄文土器	-	C	SK201・246 本跡
382	E 6 e6	円形	-	0.86 x 0.85	38	直立	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
383	E 6 f7	楕円形	N - 90° - E	1.34 x 1.12	44	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	-
386	E 6 e6	[円形]	-	(1.08)x 1.50	33	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK387 本跡 SK285・385
387	E 6 e6	楕円形	N - 4° - E	1.01 x 0.72	53	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK386
388	E 6 d6	-	-	1.56 x(0.92)	14	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK384・400
389	E 6 i9	楕円形	N - 67° - E	2.68 x 1.63	24	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SI37 本跡 SK380・390
390	E 6 i8	楕円形	N - 55° - E	1.10 x 0.54	36	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK389 本跡
391	E 5 h4	不定形	N - 73° - W	1.56 x 1.27	38	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK392
392	E 5 g4	不定形	N - 70° - W	1.92 x 1.42	21	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK391 本跡
393	E 5 h4	楕円形	N - 24° - E	1.78 x 1.29	34	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	-
394	E 5 h4	楕円形	N - 34° - E	1.20 x 0.76	25	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	-
395	E 5 i5	円形	-	1.05 x 1.00	58	内傾	凹凸	-	自然	縄文土器・剥片・土器 片鏝・土器片皿	-	-	-
397	E 6 i9	楕円形	N - 63° - E	0.83 x 0.58	47	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	SI37 本跡

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸	深さ (cm)								
398	E 6 h9	楕円形	N - 14 ° - E	1.18 × 0.81	57	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SI37 本跡
400	E 6 f6	[楕円形]	N - 64 ° - W	1.08 ×(0.56)	-	緩斜	平坦	-	-	-	-	C	SK388 本跡 SK384
403	E 6 h9	楕円形	N - 54 ° - E	0.88 × 0.75	88	直立	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	SI38 本跡
404	E 6 i8	楕円形	N - 0 °	0.84 × 0.38	27	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-
405	E 6 i8	楕円形	N - 11 ° - W	0.35 × 0.26	27	外傾	平坦	-	自然	-	-	E	-
406	E 6 h8	楕円形	N - 17 ° - W	0.88 × 0.64	70	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
407	E 5 i5	円形	-	0.87 × 0.87	41	緩斜	平坦	-	自然	-	-	D	-
408	E 5 g5	楕円形	N - 60 ° - E	1.61 × 1.00	33	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK430 本跡
409	E 5 h5	楕円形	N - 4 ° - E	1.07 × 1.05	40	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK410 - 関係不明
410	E 5 h5	[楕円形]	N - 60 ° - W	0.78 ×(0.55)	23	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK409 - 関係不明
411	E 6 c8	不定形	N - 13 ° - W	1.24 × 1.13	28	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	SK412 本跡
412	E 6 c8	不定形	N - 32 ° - W	1.26 × 0.70	42	緩斜	平坦	2	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK411
413	E 6 c8	円形	-	0.68 × 0.61	55	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	E	-
414	E 6 c8	楕円形	N - 46 ° - W	0.83 × 0.68	19	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
415	E 6 c8	楕円形	N - 22 ° - W	0.48 × 0.39	22	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
416	E 6 c8	[楕円形]	N - 32 ° - E	(0.83)×(0.60)	45	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・磨石	中期後葉	-	本跡 SK417・454
417	E 6 c8	[楕円形]	N - 14 ° - E	(1.07)× 0.98	60	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK416 本跡 SK453・454
418	E 6 b8	円形	-	(0.92)× 1.09	30	外傾	平坦	-	人為	縄文土器	中期後葉	-	SK453 本跡
419	E 5 h5	楕円形	N - 57 ° - E	1.67 × 1.33	35	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	SK430 本跡 SK409
420	E 5 h5	楕円形	N - 23 ° - E	1.84 × 1.65	35	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK432・433 本跡
421	E 6 j4	楕円形	N - 46 ° - E	0.85 × 0.72	43	直立	傾斜	-	自然	-	-	D	-
422	E 6 j4	[楕円形]	N - 35 ° - E	[1.20]× 0.68	50	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK423
423	E 6 j4	円形	-	1.15 × 1.10	20	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	SK496・514 本跡
424	E 6 i3	円形	-	0.89 × 0.85	27	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
425	E 6 i3	円形	-	0.38 × 0.37	48	直立	傾斜	-	自然	-	-	E	-
426	E 6 i2	楕円形	N - 13 ° - E	0.78 × 0.70	30	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK427
427	E 6 i3	楕円形	N - 42 ° - W	0.90 × 0.75	28	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	SK426 本跡
428	E 6 i8	円形	-	1.21 × 1.13	25	外傾 緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	-
430	E 5 g5	楕円形	N - 79 ° - E	1.84 × 1.24	39	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK467 本跡 SK408・409・419
431	E 6 h2	楕円形	N - 52 ° - W	1.38 × 1.16	17	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
432	E 5 h5	楕円形	N - 43 ° - W	1.15 × 0.98	23	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	本跡 SK420
433	E 5 h5	[楕円形]	N - 74 ° - W	(0.80)× 0.69	23	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SK420
434	E 6 f7	不定形	N - 34 ° - W	1.09 × 1.03	24	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	C	-
435	E 6 f7	楕円形	N - 37 ° - W	1.18 × 1.03	17	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
436	E 6 f8	楕円形	N - 60 ° - E	1.15 × 0.93	22	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
437	E 6 g8	円形	-	1.26 × 1.19	31	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・剥片	中期後葉	-	-
439	E 5 i6	[楕円形]	N - 37 ° - W	[1.46]×[1.25]	45	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK232 本跡 SD5
440	E 6 h8	円形	-	0.77 × 0.71	24	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SI38
441	E 6 g8	楕円形	N - 49 ° - W	1.36 × 1.21	53	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK442 本跡
442	E 6 f8	[楕円形]	N - 28 ° - W	2.36 ×(1.29)	41	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK441・443
443	E 6 f8	楕円形	N - 27 ° - W	1.72 × 1.46	35	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK442 本跡
445	E 6 g8	楕円形	N - 19 ° - W	0.66 × 0.40	20	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SI38 本跡
447	E 7 f1	不定形	N - 47 ° - E	0.84 ×(0.51)	-	-	-	-	-	-	-	D	-
448	E 6 f8	不定形	N - 53 ° - W	1.74 ×(1.16)	26	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SI36
450	E 6 e0	円形	-	0.57 × 0.55	254	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	E	-
451	E 6 d0	円形	-	0.56 × 0.56	22	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	-

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸	深さ (cm)								
452	E 5 h8	[楕円形]	N - 65 ° - E	[0.94]×[0.70]	45	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SD4
453	E 6 c8	不定形	N - 47 ° - E	(1.00)×(0.97)	65	緩斜	皿状	-	自然	-	-	C	SK417・454 本跡 SK418
454	E 6 c8	不定形	N - 25 ° - E	(1.07)×(0.80)	36	緩斜	平坦	-	自然	-	-	C	SK416・417 本跡 SK453
455	E 6 c7	楕円形	N - 27 ° - E	1.52 × 1.28	36	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK306・307
456	E 6 h9	円形	-	0.36 × 0.36	23	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
458	E 6 e4	楕円形	N - 32 ° - E	1.35 × 1.09	25	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SI41 - 関係不明
459	E 6 e5	不定形	-	1.80 ×(1.03)	45	緩斜	凹凸	2	自然	縄文土器	-	B	SI41 本跡 SI24
460	E 6 f9	[円形]	-	1.87 ×(1.72)	105	内傾	平坦	-	人為	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SI36
461	E 6 g9	不定形	N - 45 ° - E	1.51 ×(1.27)	20	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK469・470
462	E 5 h6	円形	-	1.31 × 1.31	45	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
463	E 5 h6	円形	-	0.86 × 0.81	43	直立	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	-
464	E 5 g6	[楕円形]	N - 65 ° - W	[1.09]×[1.13]	41	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK500 本跡 第1号墳
465	E 6 e5	不定形	N - 45 ° - W	1.15 ×(0.74)	24	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK529, SI24
466	E 5 g6	円形	-	0.46 × 0.41	37	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	-
467	E 5 g5	楕円形	N - 20 ° - E	2.38 × 1.96	26	外傾	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	-
468	E 5 h6	円形	-	0.46 × 0.46	43	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	SK499・513 本跡 SK430, 第1号墳
469	E 6 g9	不整楕円形	N - 25 ° - W	1.96 × 1.83	22	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器	-	B	SK461 本跡 SK470
470	E 6 g9	楕円形	N - 9 ° - W	2.75 × 2.06	30	緩斜	平坦	2	自然	縄文土器	-	B	SK461・469 本跡
471	E 6 g9	円形	-	0.358 × 0.56	16	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK472 本跡
472	E 6 g8	楕円形	N - 51 ° - E	0.86 × 0.61	25	外傾	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK471
473	E 5 g7	不定形	N - 87 ° - W	1.87 × 1.48	35	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	-
474	E 5 f9	[楕円形]	N - 45 ° - W	(0.81)× 0.81	24	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK475 本跡 SD5
475	E 5 f9	[楕円形]	N - 49 ° - W	(0.56)×(0.44)	20	緩斜	皿状	-	自然	-	-	D	本跡 SK475, SD5
476	E 5 g9	[円形]	-	(0.48)× 0.46	18	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SD5
480	E 5 g8	[楕円形]	N - 49 ° - E	(0.87)× 0.70	26	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SD3
481	E 5 g8	円形	-	0.52 × 0.49	35	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	-
482	E 5 g7	楕円形	N - 60 ° - E	0.86 × 0.77	60	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK500 本跡
483	E 6 f5	[楕円形]	N - 80 ° - W	[1.03]× 0.96	34	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	本跡 SK331
484	E 6 h9	[楕円形]	N - 85 ° - E	2.38 ×(0.68)	20	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK333, SI37
485	E 6 g6	[楕円形]	N - 35 ° - W	[1.61]× 1.31	80	緩斜	皿状	1	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK320
486	E 5 f5	楕円形	N - 41 ° - E	1.05 × 0.91	50	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	-
488	E 5 g8	[楕円形]	N - 45 ° - W	[1.11]×(0.93)	20	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SD3
489	E 5 f3	円形	-	1.20 × 1.13	13	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	-
490	E 6 g7	不整楕円形	N - 8 ° - W	1.77 × 1.42	33	緩斜	平坦	-	人為	縄文土器・磨石	中期後葉	-	SK491 本跡
491	E 6 g7	不定形	N - 8 ° - W	2.07 ×(1.60)	30	-	傾斜	-	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK491
492	E 6 c4	不定形	N - 20 ° - E	[0.68]× 0.62	21	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK493
493	E 6 c4	[楕円形]	N - 29 ° - E	1.04 ×(0.84)	42	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK492 本跡
494	E 6 h8	楕円形	N - 79 ° - E	1.91 × 1.53	56	-	傾斜	-	自然	縄文土器	-	B	-
495	E 7 h1	円形	-	1.09 × 1.08	14	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK496 本跡
496	E 7 h1	[楕円形]	N - 46 ° - E	[0.87]× 0.76	15	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK495・497
498	E 6 h7	不定形	N - 10 ° - E	(1.21)×(0.32)	22	外傾	皿状	-	自然	-	-	C	本跡 ST 5
499	E 5 g6	[楕円形]	N - 15 ° - E	0.73 ×[0.65]	55	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK467・513
500	E 5 g6	[楕円形]	N - 23 ° - W	[2.3]× 1.74	50	外傾	平坦	2	自然	縄文土器	-	B	本跡 SK464・482 第1号墳
501	E 6 f4	円形	-	0.83 × 0.67	25	緩斜	凹凸	1	自然	縄文土器	-	D	SI41 本跡
502	E 5 e3	楕円形	N - 52 ° - E	1.75 × 1.45	55	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK503 本跡 SK504・506
503	E 5 e3	不定形	N - 13 ° - E	(1.00)×(0.60)	45	-	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 SK172・502・506

番号	位置	平面形	長径方向 長軸方向	規模		壁面	底面	ピット	覆土	主な出土遺物	時期	分類	備考 重複関係 (古→新)
				長径×短径(m) 長軸×短軸(m)	深さ (cm)								
504	E 5 d3	不定形	N - 15° - W	1.70 x(0.85)	45	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	B	SK502・506 本跡 第1号墳
505	E 5 d3	[楕円形]	N - 12° - W	(1.32)x 1.20	53	外傾	平坦	-	自然	縄文土器・土器 片鏝	中期後葉	-	本跡 SK506
506	E 5 d3	楕円形	N - 29° - W	1.47 x 1.10	50	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	中期後葉	-	SK502・503・505 本跡 SK504
507	E 5 f8	[楕円形]	N - 53° - W	0.88 x(0.78)	32	緩斜	凹凸	-	自然	縄文土器	-	C	本跡 第1号墳, SD3
508	E 6 c5	楕円形	N - 45° - W	2.21 x 1.92	23	緩斜	平坦	1	自然	縄文土器・打製 石斧	中期後葉	-	本跡 SK519
509	E 6 c5	不定形	N - 48° - W	(0.81)x(0.54)	23	-	-	-	自然	縄文土器	-	D	本跡 SK519, SI24
510	E 6 d9	[楕円形]	N - 47° - E	(1.30)x(1.08)	24	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・敲石・磨 石・石皿・土器片鏝	中期後葉	-	本跡 SK511・516
512	E 6 d4	不定形	N - 43° - E	1.33 x(0.70)	22	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SI41 本跡 SI24
513	E 5 g5	[楕円形]	N - 84° - W	(1.48)x 1.16	56	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK499 本跡 SK467, 第1号墳
514	E 7 h1	楕円形	N - 27° - E	0.85 x 0.59	17	外傾	平坦	-	自然	-	-	D	本跡 SK497
515	E 6 c9	不定形	N - 20° - E	0.58 x 0.40	41	外傾	皿状	1	自然	縄文土器	-	D	本跡 ST 4
516	E 6 c9	不定形	N - 60° - E	(0.93)x(0.73)	50	外傾	平坦	2	自然	縄文土器	-	D	SK510 本跡 SK511, SI31
517	E 6 c5	[楕円形]	N - 79° - W	1.00 x(0.97)	34	緩斜	皿状	-	自然	縄文土器	-	C	SK519 本跡 SI24・28
518	E 6 c5	楕円形	N - 43° - E	0.91 x 0.85	30	外傾	平坦	-	自然	縄文土器	-	D	SK519 本跡
519	E 6 c5	[楕円形]	N - 30° - W	2.30 x(1.77)	32	外傾	平坦	-	自然	-	-	B	SK508・509・518 本跡 SK517, SI24・28
522	E 5 c2	不定形	N - 66° - E	(1.22)x 1.22	21	緩斜	平坦	-	自然	縄文土器	-	C	SK185 本跡 第1号墳
523	E 6 d3	楕円形	N - 29° - E	2.37 x 1.81	30	緩斜	平坦	-	自然	-	-	B	SK109 本跡 SK449
527	E 6 d8	不定形	N - 64° - W	1.34 x 0.56	15	外傾	平坦	-	自然	-	-	C	SK360 - 関係不明
529	E 6 e5	円形	-	0.48 x 0.45	24	緩斜	皿状	-	自然	-	-	D	SK465, SI41 本跡
530	D 5 d2	[円形]	-	(1.93)x 2.66	32	外傾	平坦	1	自然	縄文土器・剥片・ 土器片鏝	中期後葉	-	本跡 SD1
531	F 5 a5	円形	-	0.45 x 0.42	48	直立	皿状	-	自然	縄文土器	-	E	SK200 本跡
532	E 6 b4	[楕円形]	N - 2° - E	3.10 x(1.75)	32	外傾	平坦	4	自然	縄文土器・敲石・ 土器片鏝・鏝	中期後葉	-	本跡 SI11

(5) 斜面貝層

ア 調査区及び地区の設定(第146図)

標高17.5~23.9mの北西斜面部に位置する斜面貝層は、現地での保存が困難なことから全面的な発掘となった。表土は極めて薄く、調査前の地表には、すでに多量の貝殻が散布していたことから、人力による表土除去を行った。調査前と表土除去後の地形測量によって、斜面の凹凸や傾斜角、傾斜変換点などを把握し、また、貝層の中心部を予想して調査区と貝層断面の基本となる中央ベルトの設定を行った。地区の設定にあたっては、遺跡全体を網羅した広域グリッドとは異なる、斜面貝層を効果的に調査するために必要な斜面傾斜方向に合わせた任意グリッドを設定した。斜面部全体を網羅するように10m四方の大調査区(以下、基本グリッド)に分割し、この基本グリッドを各々5等分して、2m四方の中調査区(以下、単位グリッド)を設定した。この単位グリッドを各々16等分して、50cm四方の小調査区(以下、カット)を設定した。調査区の名称は、台地部の調査区と区別するために、貝層のローマ字表記での頭文字である「K」を付して、基本グリッドはアルファベットと算用数字を用い、斜面部高所から低所へA, B, C, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4とし、「KA1区」、「KB2区」のように呼称した。単位グリッドは、斜面部高所から低所へa, b, c, d, e, その直交方向の左から右へ1, 2, 3, 4, 5とし、名称は基本グリッドの名称を冠して「KA1 a1区」、「KB2 b2区」のように呼称した。単位グリッド内の50cm四方のカットについては、斜面部高所左上から低所右下へ、①~⑯までの番号を付け、「KA1(基本グリッド名)a1(単位グリッド名)①(カット名)区」、「KB2 b2④区」のように呼称した。

イ 調査方法（第147～149図）

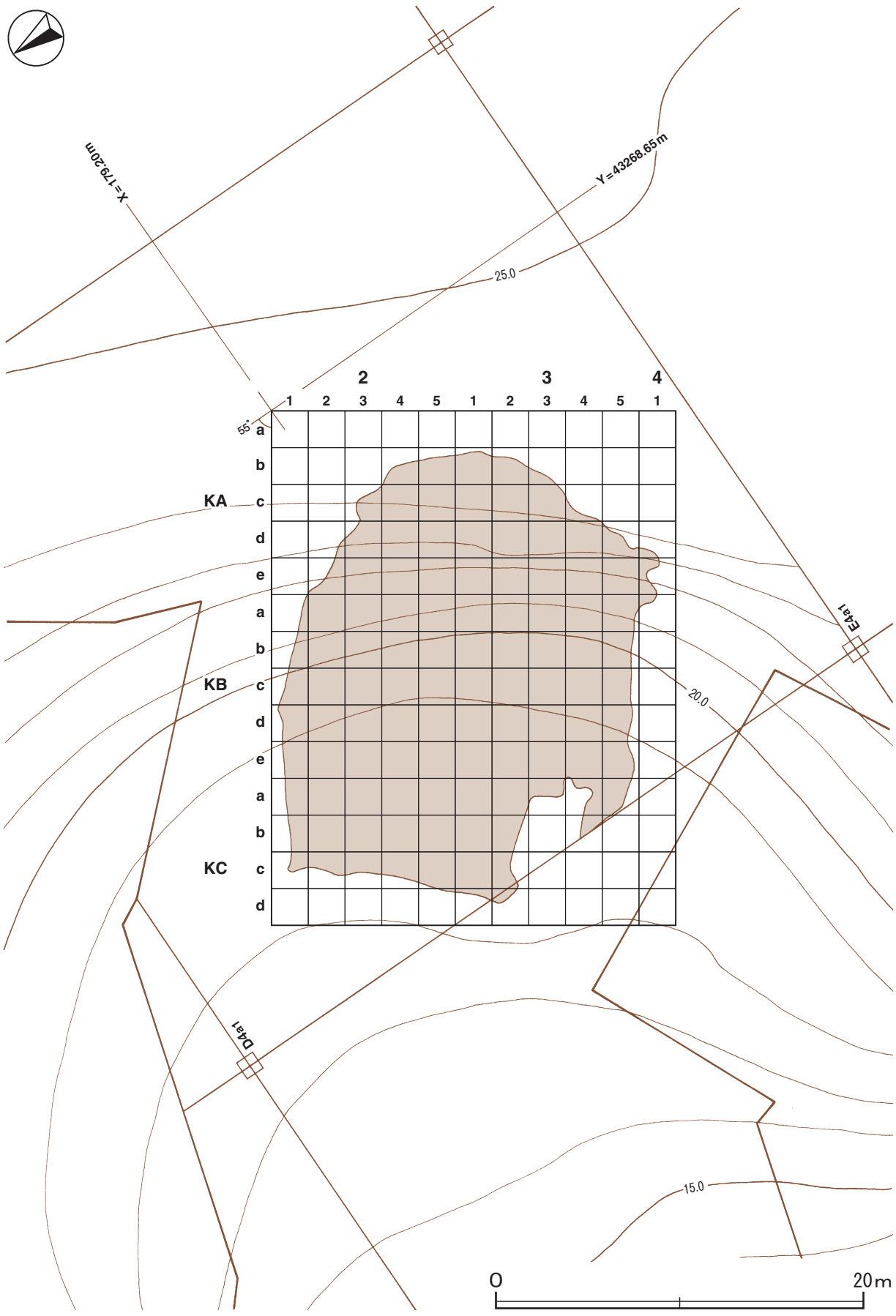
貝層の調査では、すべての貝をサンプルとして取り上げた。貝層の除去にあたっては、基本的に単位グリッドを市松模様に掘り込んでいくグリッド調査を採用し、順次、貝層断面の写真による記録と図化を行いながら、最終的に斜面貝層全体を通した縦10か所、横12か所の断面図を作成した。単位グリッドは、基本的に①～⑯までのカットを市松模様に、人工層位の5 cm単位（第1，第2…ステージ）毎に掘り込み、貝層の面的な広がりや層の変化を断面で確認した。ステージが変わる毎に貝層上面の精査と四隅の標高を計測し、併せて出土した遺物などの記録を行った。貝層断面を作成したカットの部分については、作業の効率化と迅速化を図るため、5 cm単位の人工層位ではなく、自然層位毎に貝層を除去した。また、除去した貝層については、それぞれの単位グリッド、カット、ステージ毎に、必要なデータを記入した荷札を付けて、すべてを取り上げた。自然層位毎に取り上げた貝層の土壌サンプルについては、基本的にすべてについて水洗選別を行った。方法としては、①取り上げた土壌サンプルの体積を計測する。②水を張った水槽に土壌を投入して攪拌し、極めて目の細かい茶漉しを使って、水面の浮遊物を採取する。③水洗選別の第1段階、5 mmメッシュのフルイにかける。④水洗選別の第2段階、3 mmメッシュのフルイにかける。⑤水洗選別の第3段階、1 mmメッシュのフルイにかける。以上の工程を経て、十分に乾燥させた上で、①人工遺物、②浮遊物、③5 mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨など、④3 mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨など、⑤1 mmメッシュを通過しなかった貝殻や骨などの5種類に分けて、それぞれビニール袋に収納した。なお、水洗選別を実施しなかった貝層の土壌サンプルは、土嚢袋に収納した状態で、すべて美浦村教育委員会に引き渡した。

ウ 貝層の広がりや堆積状況（第150・151図）

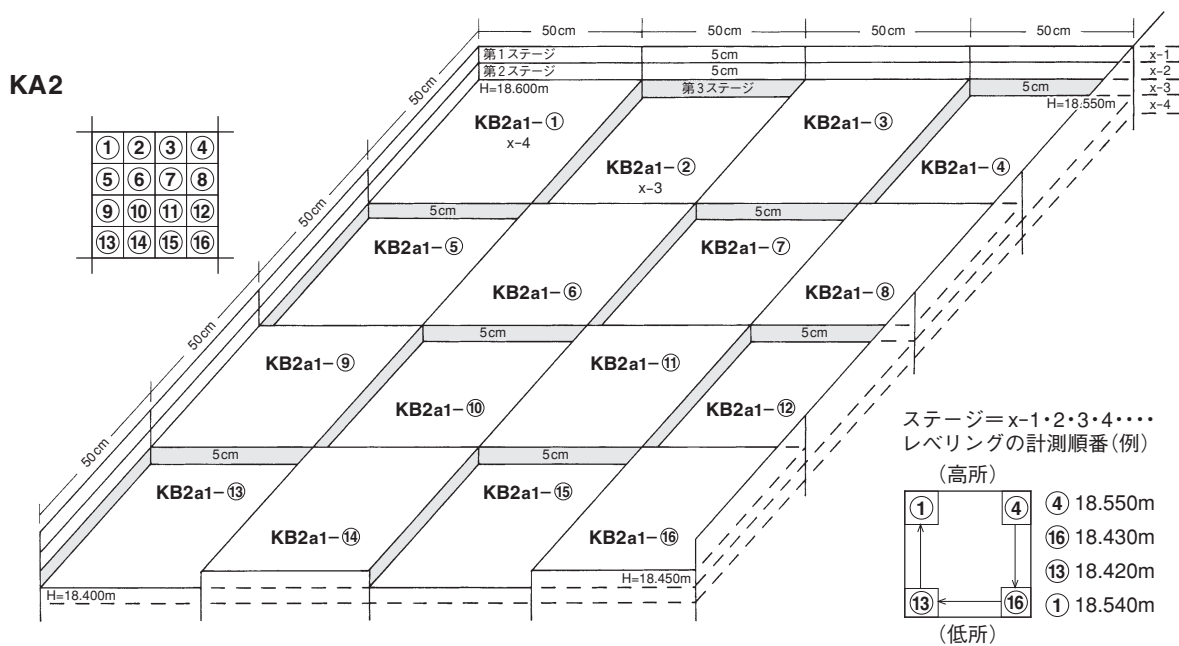
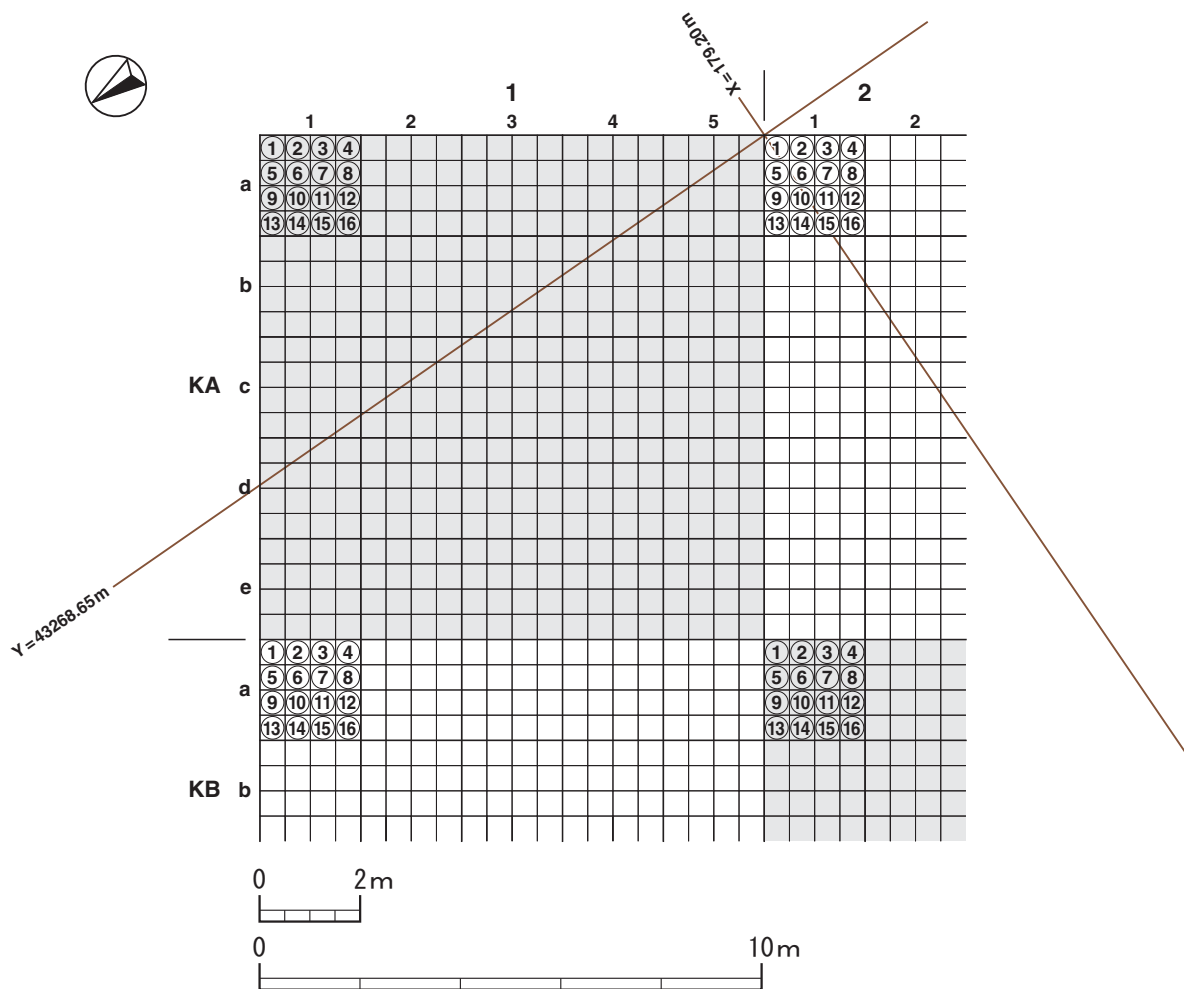
斜面貝層は、遺跡全体を網羅した調査区及び広域グリッドでは、調査区北西部のD4区西側に位置している。地形は北西方向に傾斜している標高17.5～23.9mの斜面部である。人力による表土除去で露出した貝層の範囲は長軸約24m、短軸約20mの不整楕円形で、斜面部中央の傾斜角は12～15度であった。調査にあたっては、斜面傾斜方向に合わせて28m×22mの調査区及び任意グリッドを設定した。広域グリッドの南北軸に対する任意グリッドの斜面傾斜方向は、N - 55° - Wである。調査の結果、貝層は小規模な谷の窪地を埋め尽くす様に厚く堆積しており、斜面部高所から低所へと多量の貝殻などを投棄していることが判明した。

すべての貝層を除去して露出した谷の窪地は、長軸28.9m、短軸21.2mの楕円形で、北西方向に開口している。標高は17.0～24.2mである。斜面部中央の傾斜角は10～17度で、高低差は約7.2mである。斜面の状況は、標高24.2mの台地平坦部から一旦約12～14度の傾斜で、急峻に落ち込み、標高20.8mのあたりから約10～12度の緩い傾斜に変わっている。さらに、標高18.4mのあたりから約14～17度の急な傾斜に移行している。谷筋は中央部のやや南側を通過して、緩やかなS字カーブを描いて北西方向に延びている。この谷の窪地の形成過程を解明するため、斜面部中央に5か所の試掘坑を設定して、基本土層の観察を行った。その結果、貝層の基底層となる層は、縄文時代早期後葉の鵜ヶ島台式土器や野島式土器、前期初頭の花積下層式土器を包含している黒色土で、その下に再堆積ローム層、ローム層、砂質粘土層の順で堆積していることが判明した。

以下、この谷の窪地に遺物包含層と斜面貝層が形成された過程を段階に分けて復元する。第1段階は、早期後葉の鵜ヶ島台式や野島式から前期初頭の花積下層式である。斜面部手前の台地縁辺部には、早期に位置づけられる炉穴2基が構築されていることから、谷の周囲を中心として、小規模な土地利用がなされ、不要となった土器片などを斜面部高所付近に投棄した状況がうかがえる。この段階では、谷の窪地が埋没していく速度は極めて緩やかであったと推測される。次の前期前葉になると、一旦、当遺跡から人々の痕跡は途絶えてしまう。貝殻などの投棄行為の第1の空白期間であり、当該期の関山式土器は、台地部を含めてもまったく出土

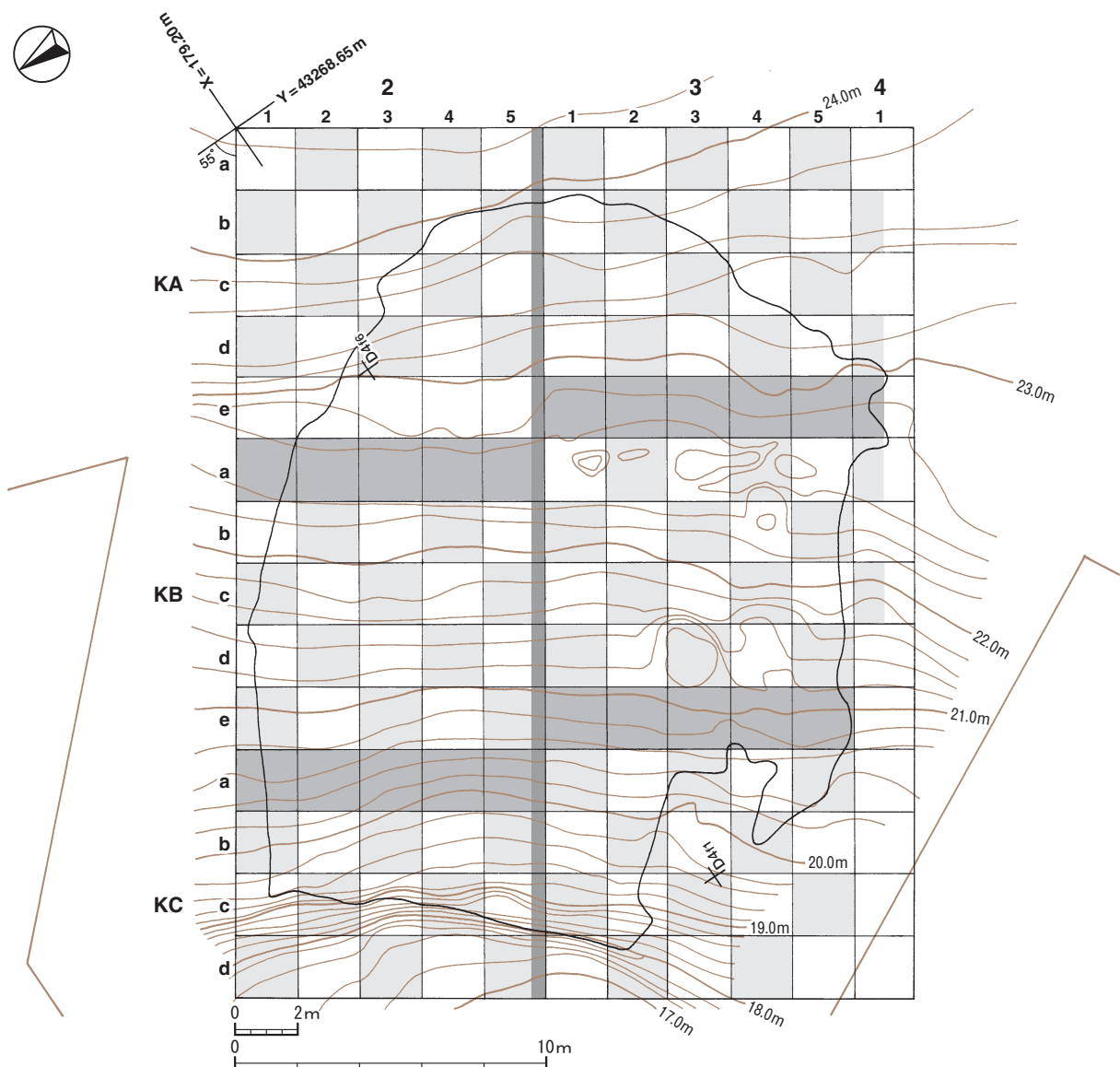


第146図 斜面貝層の調査区設定図



第147図 斜面貝層の掘り込み方法の概念図

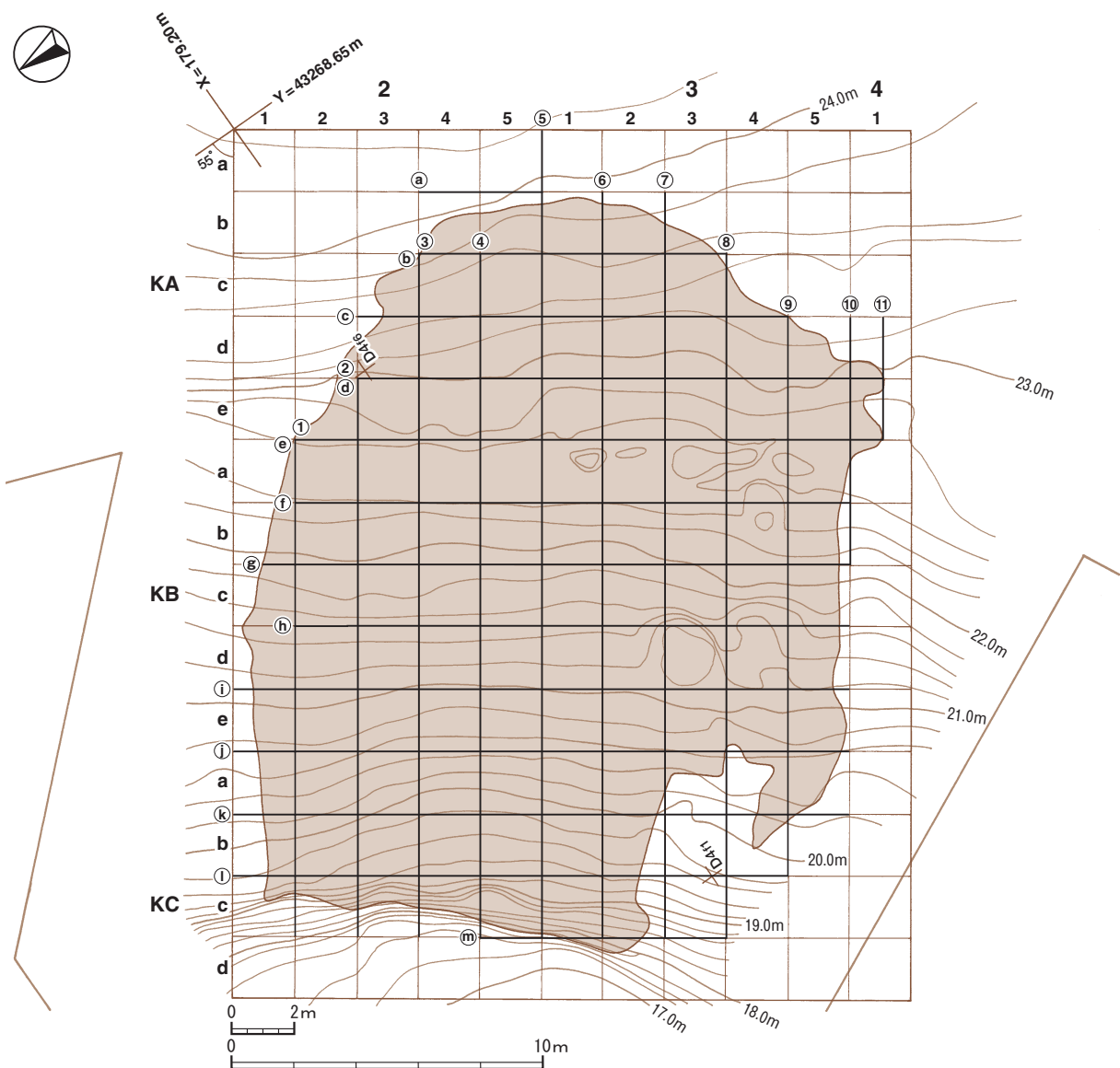
していない。そして、第2段階は、前期中葉の黒浜式や植房式期である。斜面部高所から斜面部中腹にかけて、土器片や貝殻などを多量に投棄した状況が確認できた。この段階に至って、谷の窪地は急速に埋没していったことになる。第3段階は、中期中葉の最終段階から中期後葉である。貝殻などの投棄行為の第2の空白期間である前期後葉から中期中葉を経て、前期中葉に形成された貝層を覆う状況で、焼土ブロック、焼土粒子、炭化材、炭化物、灰などを多量に含んだ暗褐色土が、5～20cmの層厚で斜面部高所から斜面部中腹にかけて堆積している。出土した土器は、いわゆる中峠式土器や加曾利E I（古）式土器で、完形または略完形の状態で出土している。この層の存在によって、前期中葉に形成された貝層と後述する中期後葉に形成された貝層を区別することができた。当貝層の重要な鍵層である。この段階で、斜面高所はほぼ埋没した状況となった。第4段階は、中期後葉の加曾利E II式期である。貝層は谷の窪地全体を覆う状況で堆積しており、特に斜面部中腹を中心に、多量のハマグリなどの貝殻などの投棄によって、純貝層からなるマウンド状もしくは土手状の高まりが形成された状況が確認できた。貝層の堆積方向などを検討した結果、この段階の貝殻などの投棄は、低所から高所に順次手前へと投棄した状況が判明した。貝層断面の複数か所で、ほぼ水平に堆積した貝層や、斜面傾斜とは



第148図 斜面貝層の中央ベルト及び横断ベルトの設定状況図

逆方向に堆積した貝層などが見受けられた。そこから、より低所に土砂などと共に貝層が押し流されたり、崩落を繰り返して、斜面部中腹の貝殻などを投棄した範囲よりも、一回り大きな2次堆積層が形成されている。層相は破碎貝を多量に含む混貝土層で、斜面部低所まで広がっている。この段階で谷の窪地の大半は埋没したことになるが、その速度は膨大な貝殻の量とは反対に、あまり多くの時間を要していないことが、出土した土器などから推測できる。第5段階は、中期後葉の加普利EⅢ・Ⅳ式期である。斜面部高所から中腹にかけて、厚く堆積した貝層が上方からの土砂などと共に下方に押し流されて、斜面部低所に2次的に堆積した状況が確認できた。これらの貝層は、極めて混土率と貝殻の破碎率が高いという特徴があり、その堆積方向は斜面傾斜方向にほぼ沿っている。この段階をもって、谷の窪地のほとんどが埋没したことになり、見かけ上は谷の窪地といった景観ではなく、緩やかに下るフラットな斜面となったことが判明した。

簡単に貝層の広がりや堆積状況をまとめると、谷の窪地は、自然営力による台地部からの土砂などの流入と、集落の造営に関連した土地利用や生活上の廃棄物などの投棄による埋没の相乗効果によって、早期後葉から中期後葉にかけて断続的に埋まっていった。中でも第2段階の前期中葉の貝層は、斜面部高所を中心として、斜



第149図 斜面貝層の土層・貝層断面図の位置



第150図 斜面貝層の確認状況図



第151図 斜面貝層の完掘状況図

面傾斜に沿った貝層が形成されており、層厚や広がりにはほぼ均一で、貝層の対応性も比較的分かりやすい傾向にあった。一方、第4段階の中期後葉(加普利EⅡ式期)の貝層は、斜面部高所から斜面部中腹を中心として、マウンド状もしくは土手状に貝殻などを集中的に投棄しているため、その凹凸が織りなす不規則な貝層の堆積と、土砂などの流れ込みや貝層の崩落、そして、2次的な堆積や掘り込みなどによって、極めて複雑な様相を呈している。層厚や広がりには不均一で、貝層の対応性は極めてわかりにくい傾向にあった。第5段階の中期後葉(加普利EⅢ・Ⅳ式期)の貝層は、斜面部低所を中心として、前時期に堆積した上方の貝層が土砂などと共に押し流されたことに起因している。その貝層からは、土器片や獣骨などの遺物が多く出土しており、また、遊離した人骨なども、多量の破砕貝に混じって出土している。貝殻などの投棄は基本的に停止していたと推測できる。また、斜面傾斜に沿った貝層の形成過程から、貝層の対応性は比較的分かりやすい傾向にあった。

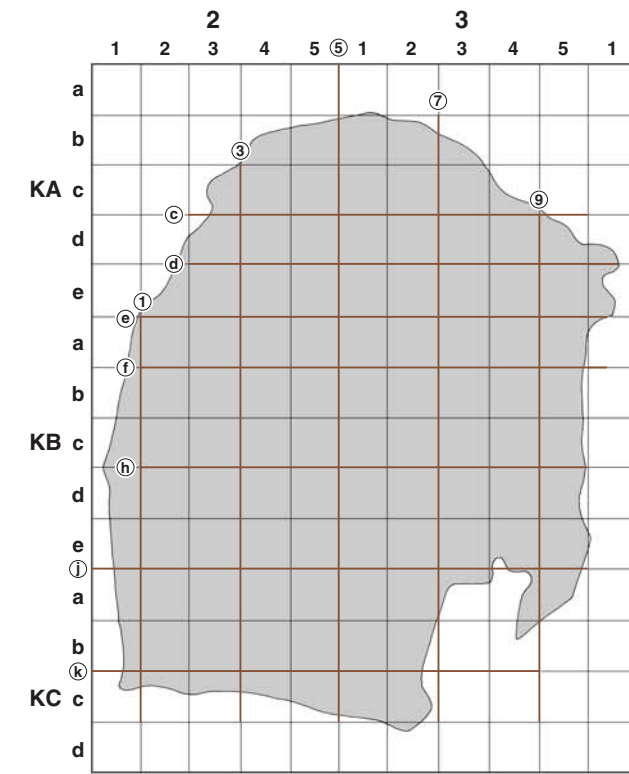
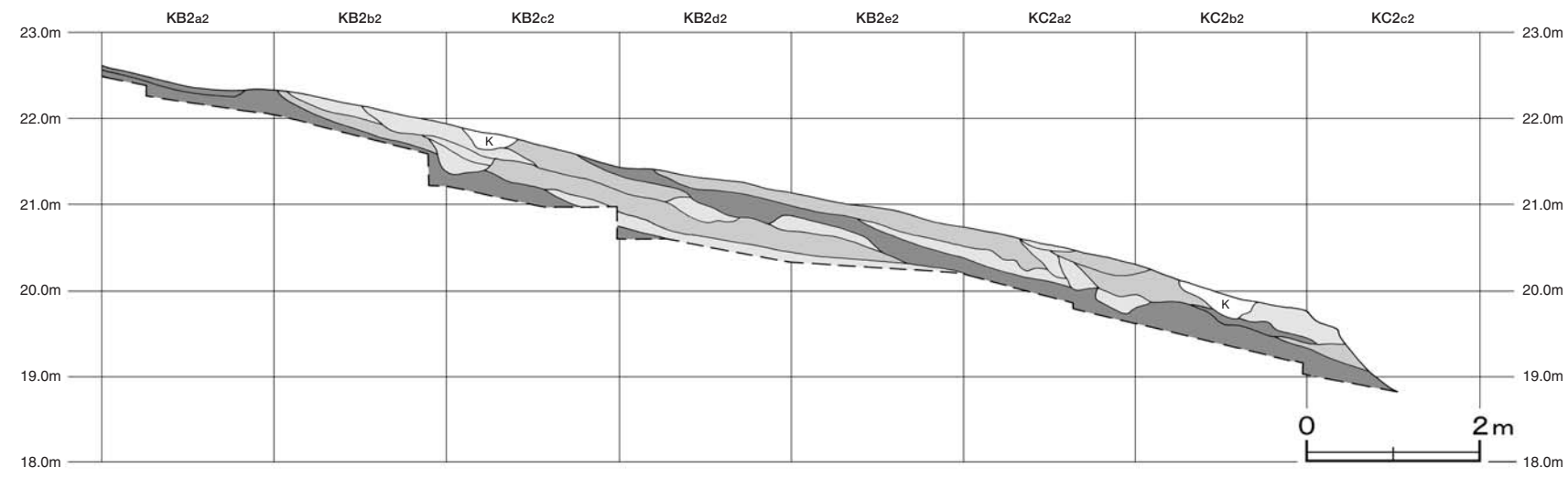
エ 貝層の解説(第152~155図)

以下では、斜面貝層の中心部に設定した中央ベルトの土層・貝層断面図⑤を中心にして、貝層形成過程について特徴的な断面を表している土層・貝層断面図c・e・jを抽出し、発掘時点の所見をもとに各土層・貝層の解説を記載する。解説にあたっては、層相の区分、主体となる土層、混土率、混貝率、貝の破砕率、貝種と大きさと含有率、合わせ貝の有無、その他の含有物、特記事項などについて列記した。また、解説中の「主体」、「中量」、「少量」、「微量」の数量的な目安については、基本的に「主体」が含有物の中で50%以上の場合、「中量」が含有物の中で30%以上50%未満の場合、「少量」が含有物の中で10%以上30%未満の場合、「微量」が含有物の中で1%以上10%未満の場合として区別して使用した。さらに、貝種と大きさと含有率、合わせ貝の有無における貝種の列記にあたっては、文章の前に記載している貝種が数的な優位にある。土層・貝層断面図⑤・c・e・jにおける層数は247層で、調査で作成したすべての土層・貝層断面図は、約1450層に及んでいる。その他の土層・貝層断面図については、基本的に4m間隔で抽出し、純貝層、混土貝層、混貝土層、土層の区別を表した。

土層・貝層解説 - 断面図5・c・e・j

1 暗褐色土	旧耕作土、ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量、粘性弱い、締まり強い	12 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率50%、2~4cm大のハマグリ主体、サルボウ・オキシジミ少量、ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し
2 混貝土層	暗褐色土主体、混貝率10%、破砕率90%、ハマグリ主体、サルボウ・シオフキ少量/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量	13 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率10%、破砕率40%、2~5cm大のハマグリ主体、3~5cm大のサルボウ少量、ウミナナ微量、合わせ貝無し
3 混貝土層	暗褐色土主体、混貝率20%、破砕率70%、2~5cm大のハマグリ主体、アサリ微量、合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	14 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率60%、2~4cm大のハマグリ主体、中形のシオフキ中量、サルボウ少量、小形マガキ微量、合わせ貝ほとんど無し
4 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率30%、2~4cm大のハマグリ主体、2cm大のアサリ少量、マガキ・ハイガイ・イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し	15 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率30%、破砕率70%、3~4cm大のハマグリ・シオフキ・サルボウの破砕貝主体、マガキ微量、合わせ貝無し
5 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率40%、破砕率50%、3~4cm大のハマグリ主体、4~6cm大のサルボウ中量、シオフキ・アサリ微量、サルボウの合わせ貝少量	16 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率20%、破砕率80%、ハマグリ・サルボウ・シオフキの破砕貝主体、カガミガイ・ウミナナ・マガキ微量、焼けた貝微量、合わせ貝無し
6 黒褐色土	ローム粒子・砂中量、白色物質微量、粘性・締まり弱い	17 混土貝層	混土率10%(黒褐色土)、破砕率20%、2~5cm大のハマグリ主体、3~5cm大のシオフキ中量、3~4cm大のオキシジミ少量、合わせ貝ほとんど無し
7 黒褐色土	ローム粒子・砂多量、粘性弱い、締まり極めて弱い	18 混土貝層	混土率20%(黒褐色土)、破砕率50%、2~5cm大のサルボウ主体、2~4cm大のシオフキ・オキシジミ少量、合わせ貝ほとんど無し
8 黒褐色土	ローム粒子中量、粘性・締まり強い	19 混土貝層	混土率40%(黒褐色土)、破砕率10%、2~5cm大のハマグリ主体、2~4cm大のサルボウ中量、2~4cm大のシオフキ少量、イボニシ微量、合わせ貝ほとんど無し
9 黒褐色土	ローム粒子少量、粘性・締まり強い		
10 混貝土層	黒褐色土主体、混貝率15%、破砕率60%、2~4cm大のハマグリ主体、3~4cm大のサルボウ・ウミナナ微量、合わせ貝ほとんど無し		
11 混土貝層	混土率30%(黒褐色土)、破砕率10%、2~5cm大のハマグリ主体、オキシジミ中量、サルボウ・シオフキ少量、カガミガイ・ウミナナ微量、ハマグリ合わせ貝微量		

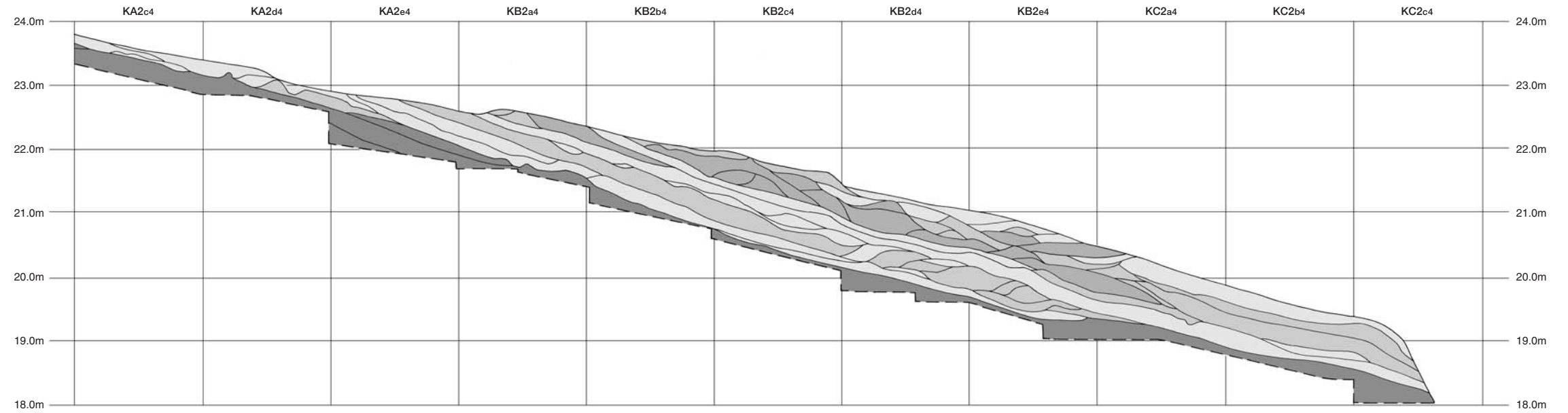
土層・貝層断面図①



土層・貝層断面図③

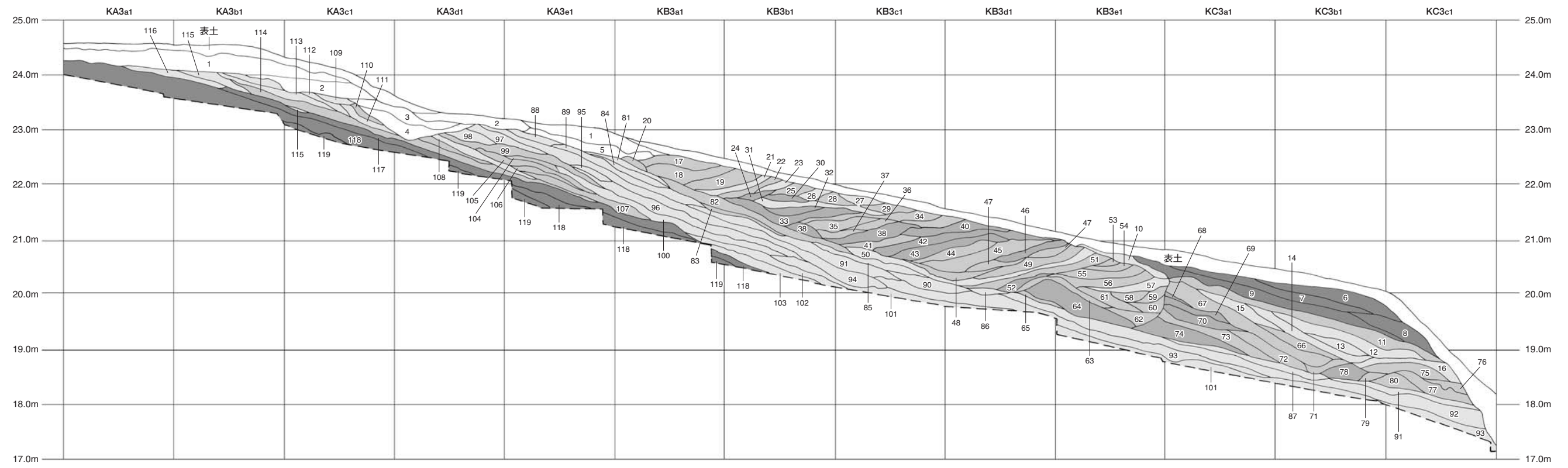
凡例

- 土
- 混貝土層
- 混土貝層
- 純貝層
- 表土・攪乱

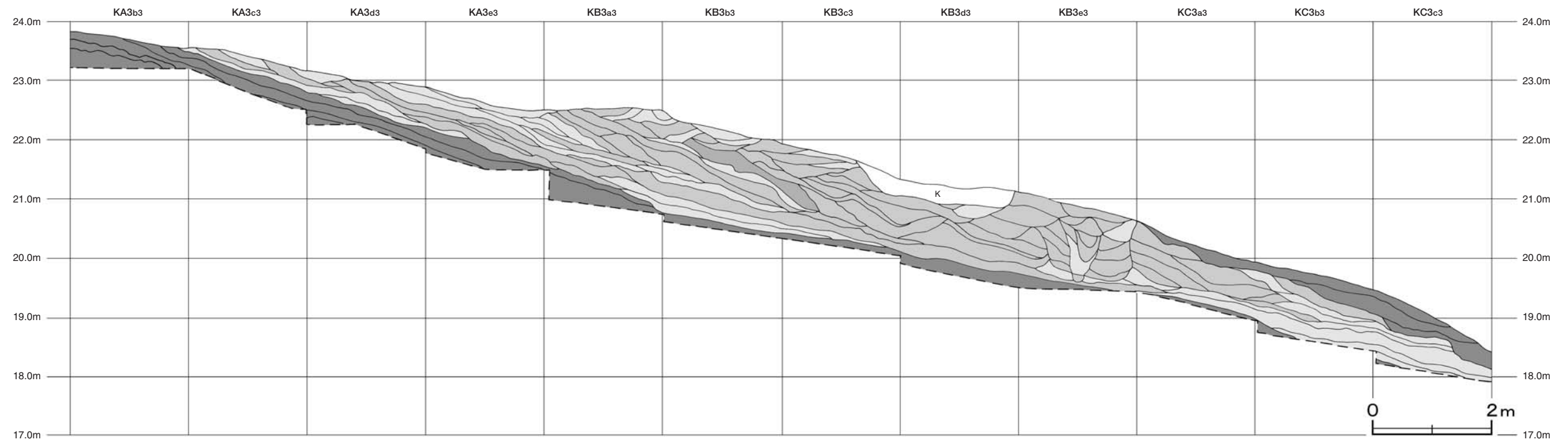


第152図 土層・貝層断面図(1)

土層・貝層断面図⑤

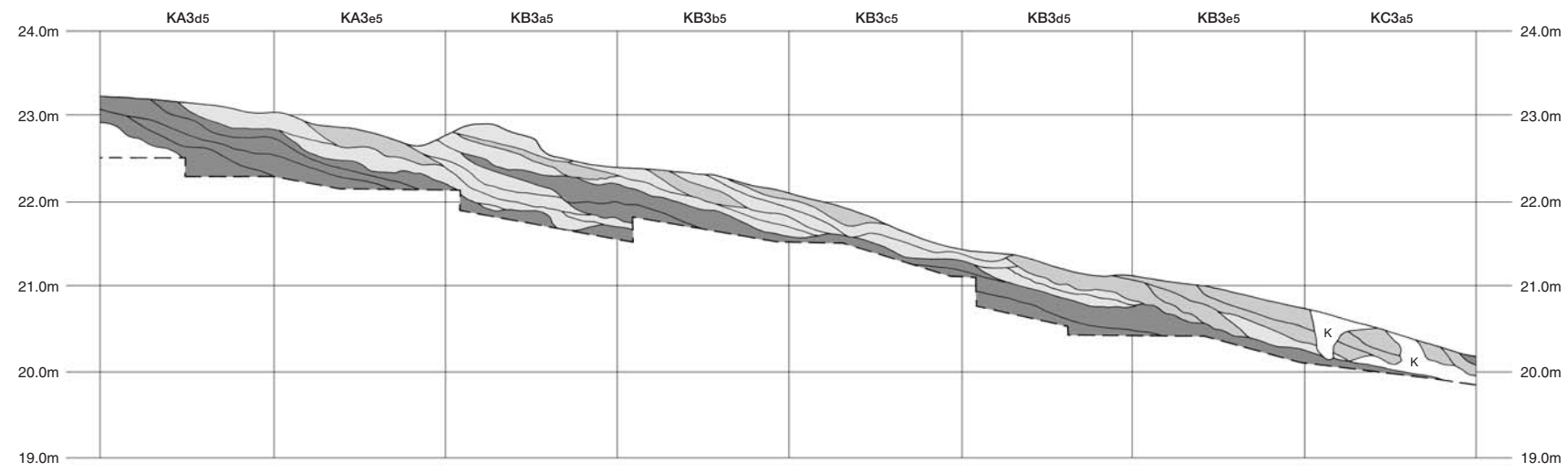


土層・貝層断面図⑦

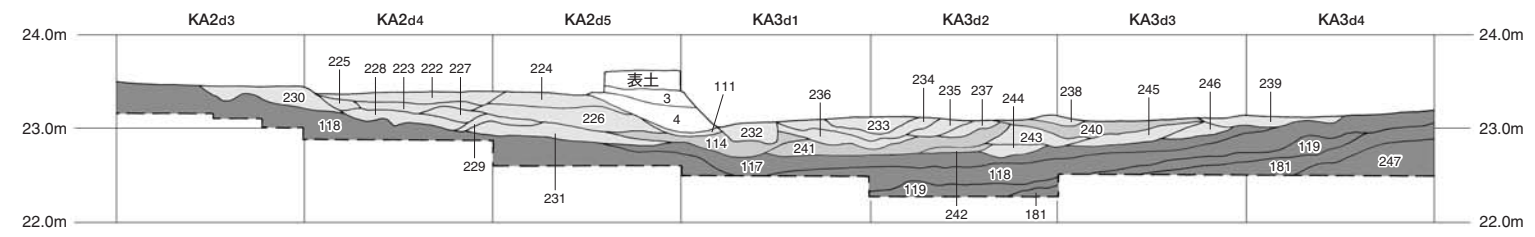


第153図 土層・貝層断面図(2)

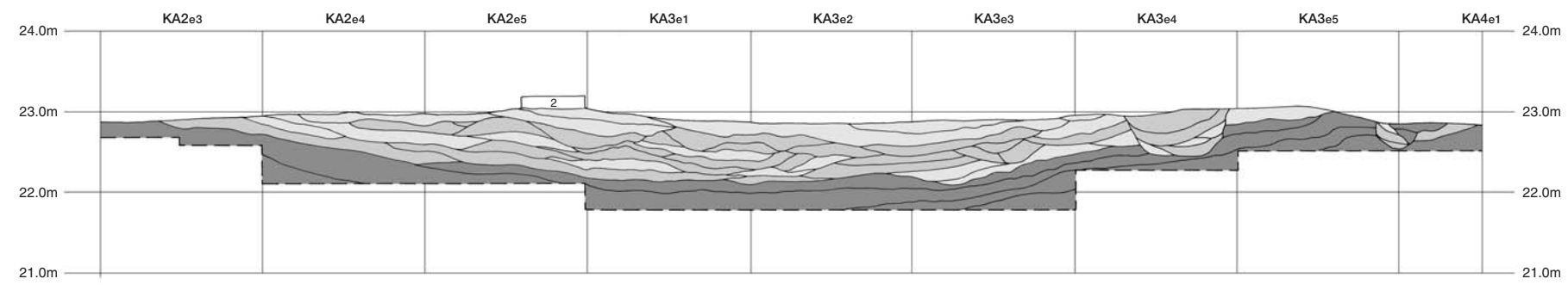
土層・貝層断面図㉑



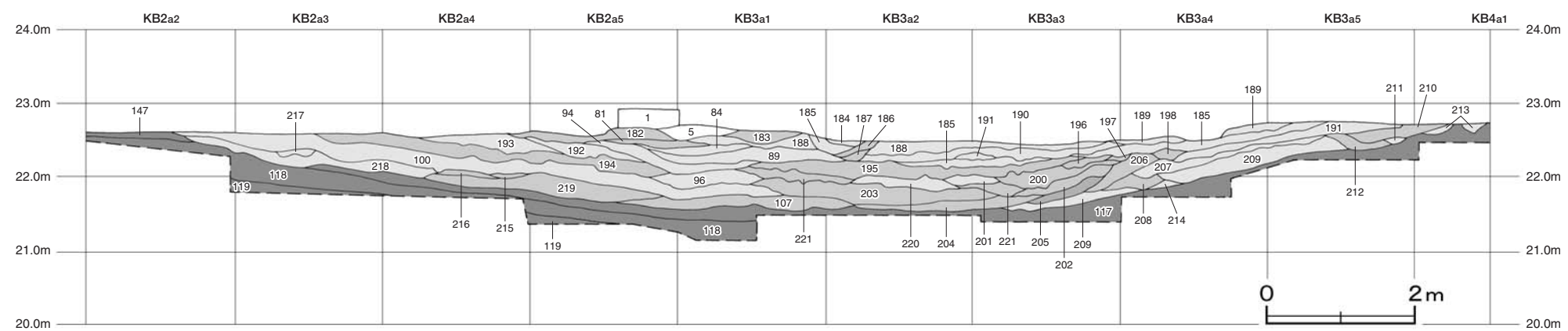
土層・貝層断面図㉒



土層・貝層断面図㉓

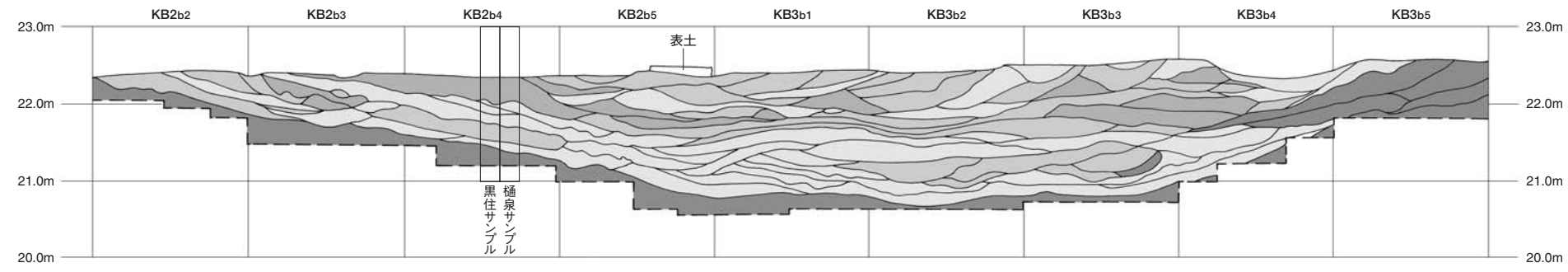


土層・貝層断面図㉔

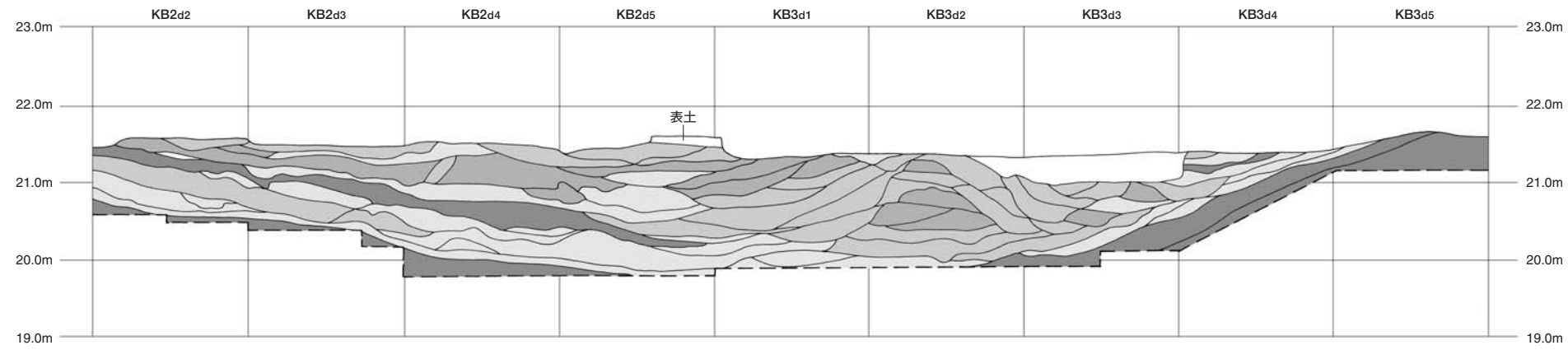


第154図 土層・貝層断面図(3)

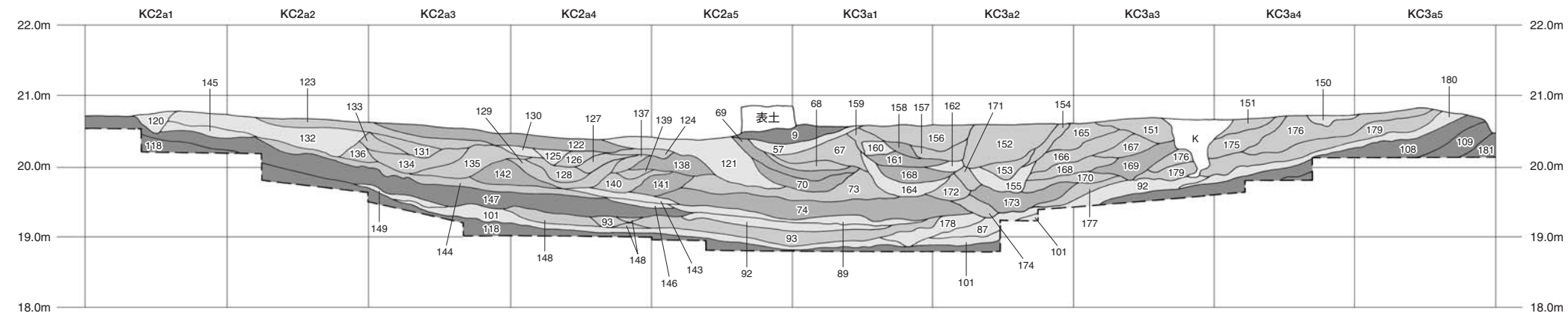
土層・貝層断面図f



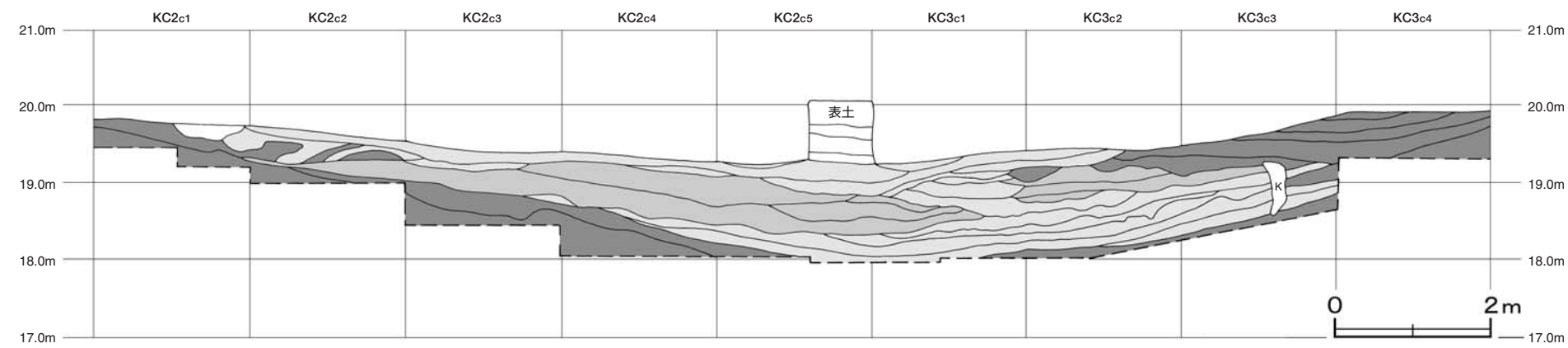
土層・貝層断面図h



土層・貝層断面図①



土層・貝層断面図②



第155図 土層・貝層断面図(4)

- 20 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率4%, 2~4cm大のハマグリ・3~5cm大のシオフキ主体, 4~6cm大のサルボウ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 21 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率20%, ハマグリ・サルボウ主体, シオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 22 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~6cm大のサルボウ主体, 2~7cm大のハマグリ中量, 2~4cm大のシオフキ少量, マガキ・ウミナ少量
- 23 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, ハマグリ主体, サルボウ少量, マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 24 純貝層 破砕率10%, ハマグリ主体, サルボウ・シオフキ中量, オキシジミ少量, マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 25 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~6cm大のハマグリ・サルボウ中量, 3~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, マガキ・ウミナ少量
- 26 混土貝層 暗褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率30%, 2~4cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ・オキシジミ少量, マガキ・ウミナ・イボニシ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 27 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率50%, 破砕率30%, 2~5cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のサルボウ中量, 2~5cm大のシオフキ少量, ナミマガシワ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 28 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率30%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~9cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 29 混土貝層 混土率5% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~5cm大のサルボウ・シオフキ少量, マガキ・アサリ・カガミガイ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 30 純貝層 破砕率10%, 2~7cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 31 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ・2~5cm大のサルボウ・3~4cm大のシオフキ主体, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 32 純貝層 破砕率10%, 2~7cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ・オキシジミ少量, ツメタガイ・マガキ・ウミナ・ナミマガシワ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 33 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率30%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~4cm大のサルボウ中量, 2~4cm大のシオフキ少量, ウミナ少量
- 34 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~7cm大のハマグリ主体, 2~4cm大のサルボウ中量, 2~4cm大のオキシジミ・シオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
- 35 混土貝層 混土率5% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 3~6cm大のシオフキ・オキシジミ・2~5cm大のサルボウ少量, アカニシ・マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 36 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ・3~4cm大のシオフキ少量, マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 37 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率30%, 2~7cm大のハマグリ主体, 2~5cm大のサルボウ少量, ウミナ・マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 38 純貝層 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ中量, 3~5cm大のシオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 39 純貝層 破砕率30%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ中量, 3~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, イボニシ・カガミガイ・マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
- 40 純貝層 破砕率30%, 2~4cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ中量, 2~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 41 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~5cm大のサルボウ中量, 2~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, ウミナ・イボニシ・マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 42 純貝層 破砕率30%, 2~6cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ中量, 3~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, イボニシ・ウミナ少量, 貝殻の堆積が密
- 43 純貝層 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 3~6cm大のサルボウ中量, 3~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, ツメタガイ・マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 44 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ主体, 3~6cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 45 混土貝層 混土率40% (黒褐色土), 破砕率10%, 3~5cm大のハマグリ主体, シオフキ中量, サルボウ・小形マガキ・オキシジミ・ウミナ少量, ハマグリ・マガキの合わせ貝少量
- 46 純貝層 破砕率30%, 3~5cm大のシオフキ主体, 2~5cm大のハマグリ・3~5cm大のサルボウ・カガミガイ少量, アカニシ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 47 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率60%, 2~5cm大のシオフキ主体, 2~5cm大のハマグリ・3~5cm大のサルボウ少量, ウミナ・マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し, 踏み潰されたような貝殻主体
- 48 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~5cm大のハマグリ・サルボウ主体, 3~4cm大のオキシジミ少量, マガキ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 49 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率60%, 2~5cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ中量, 2~5cm大のシオフキ少量, 合わせ貝ほとんど無し, 踏み潰されたような貝殻主体
- 50 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率40%, 3~5cm大のサルボウ主体, 2~5cm大のハマグリ中量, 2~4cm大のオキシジミ少量, ナミマガシワ・マガキ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 51 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率40%, 2~5cm大のハマグリ・シオフキ主体, 3~5cm大のサルボウ少量, 合わせ貝ほとんど無し, 踏み潰されたような貝殻主体
- 52 純貝層 破砕率20%, 2~6cm大のハマグリ・3~5cm大のシオフキ主体, 3~5cm大のサルボウ少量, カガミガイ・アカニシ・ナミマガシワ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 53 混土貝層 混土率7% (黒褐色土), 破砕率40%, 3~4cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のオキシジミ・シオフキ少量, サルボウ・ウミナ・ナミマガシワ少量, 合わせ貝無し
- 54 混土貝層 混土率40% (黒褐色土), 破砕率80%, 3~5cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のオキシジミ・シオフキ中量, 4cm大のオキシジミ・シオフキ少量, 小形マガキ・キザゴ・ウミナ少量, 合わせ貝無し
- 55 混土貝層 混土率40% (黒褐色土), 破砕率30%, 3~6cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のシオフキ中量, 4~5cm大のオキシジミ・ウミナ少量, ナミマガシワ・マガキ・サルボウ少量, ハマグリ・マガキの合わせ貝少量
- 56 混土貝層 混土率5% (黒褐色土), 破砕率5%, ほぼ純貝層, 3~4cm大のハマグリ主体, 4~5cm大のハマグリ・オキシジミ・3~4cm大のシオフキ中量, 5~6cm大のカガミガイ少量, マガキ・ナミマガシワ少量, ハマグリ・シオフキの合わせ貝少量
- 57 混土貝層 黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率30%, 2~5cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ・シオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 58 混土貝層 混土率5% (黒褐色土), 破砕率10%, 3~5cm大のハマグリ主体, 5~6cm大のサルボウ・4~5cm大のシオフキ中量, 5cm大のアサリ少量, 7~8cm大のハマグリ・ウミナ少量, ハマグリ・マガキの合わせ貝少量
- 59 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率15%, 2~5cm大のハマグリ・サルボウ主体, 2~4cm大のシオフキ・オキシジミ少量, カガミガイ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 60 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~7cm大のハマグリ主体, 2~6cm大のサルボウ中量, 3~5cm大のシオフキ少量, ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し
- 61 混土貝層 混土率7% (黒褐色土), 破砕率20%, 3~4cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のシオフキ中量, 3~5cm大のサルボウ少量, 3cm大のアサリ・6~7cm大のハマグリ・ウミナ少量, ハマグリ・シオフキの合わせ貝少量
- 62 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率30%, 3~4cm大のハマグリ・シオフキ主体, 3~4cm大のサルボウ中量, 4~5cm大のオキシジミ少量, 小形マガキ・ナミマガシワ少量, ハマグリ・シオフキの合わせ貝少量
- 63 混土貝層 混土率30% (黒褐色土), 破砕率90%, ハマグリ・シオフキ・オキシジミの破砕貝主体, 合わせ貝無し
- 64 純貝層 破砕率5%, 2~6cm大のハマグリ・3~4cm大のシオフキ主体, 3~6cm大のオキシジミ・サルボウ中量, 4~6cm大のカガミガイ少量, アカニシ少量, ハマグリ・シオフキ・オキシジミ・サルボウ・カガミガイの合わせ貝少量
- 65 混土貝層 混土率10% (黒褐色土), 破砕率40%, 3~5cm大のハマグリ主体, 4~6cm大のサルボウ中量, 3~4cm大のシオフキ少量, 3cm大のアサリ・カガミガイ少量, ハマグリ・サルボウの合わせ貝少量
- 66 混土貝層 混土率25% (黒褐色土), 破砕率5%, 3~7cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のシオフキ・オキシジミ・サルボウ中量, 3~6cm大のマガキ少量, ウミナ少量, ハマグリ・サルボウ・シオフキ・オキシジミの合わせ貝少量
- 67 混土貝層 混土率20% (黒褐色土), 破砕率30%, 3~5cm大のハマグリ主体, サルボウ・シオフキ・オキシジミ中量, ウミナ少量, アサリ・マガキ少量, ハマグリ・オキシジミ・サルボウの合わせ貝少量

68	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~6cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ中量, ウミナ少量, イボニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し	92	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率100%, ハマグリ・サルボウの破砕貝主体, 合わせ貝無し/焼土粒子・炭化粒子微量
69	純貝層	破砕率10%, 2~7cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ少量, アカガイ・ウミナ少量, 合わせ貝ほとんど無し	93	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率15%, 破砕率90%, ハマグリ・サルボウの破砕貝主体, 合わせ貝無し
70	純貝層	破砕率5%, 3~7cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のサルボウ中量, 2~4cm大のシオフキ少量, アサリ・ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し, ハマグリは5~7cm大が主体	94	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率80%, 2~3cm大のアサリの破砕貝主体, 2~4cm大のハマグリ少量, サルボウ・アカニシ微量, 合わせ貝無し
71	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率5%, 2~5cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ・オキシジミ中量, ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	95	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率90%, 2~4cm大のハマグリ破砕貝主体, 1~2cm大のアサリ中量, 合わせ貝無し
72	混土貝層	混土率3% (黒褐色土), 破砕率10%, 3~6cm大のハマグリ主体, 3~4cm大のオキシジミ・サルボウ少量, アカニシ・ウミナ・ナミマガシウ・カガミガイ微量, ハマグリ・オキシジミの合わせ貝少量	96	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率60%, 2~5cm大のハマグリ主体, 1~2cm大のアサリ中量, サルボウ・シオフキ少量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック微量
73	混土貝層	混土率10% (黒褐色土), 破砕率40%, 3~6cm大のハマグリ主体, ウミナ・オキシジミ中量, シオフキ・サルボウ少量, イボニシ・ナミマガシウ微量, ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量	97	混貝土層	暗褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率30%, 2~4cm大のハマグリ主体, 2~3cm大のアサリ中量, カガミガイ・ハイガイ・ツノガイ少量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック微量
74	純貝層	破砕率10%, 3~7cm大のハマグリ主体, 3~5cm大のサルボウ・シオフキ・2~4cm大のオキシジミ少量, イボニシ・ウミナ・カガミガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し, ハマグリは5~7cm大が主体, サルボウ・シオフキも比較的大きい	98	混貝土層	暗褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率80%, 3~4cm大のハマグリ・2~3cm大のアサリの破砕貝主体, アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し
75	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率80%, 2~4cm大のハマグリ・3cm大のオキシジミの破砕貝主体, ウミナ中量, サルボウ・シオフキ少量, マガキ・イボニシ微量, 合わせ貝無し	99	混土貝層	混土率30% (暗褐色土), 破砕率10%, 3~5cm大のハマグリ主体, 2~4cm大のアサリ中量, 2~3cm大のシオフキ・オキシジミ少量, マガキ・アカニシ微量, ハマグリ・アサリの合わせ貝微量
76	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率80%, 2~4cm大のハマグリ破砕貝主体, 3~5cm大のサルボウ・オキシジミ少量, ウミナ・ツメタガイ微量, オキシジミの合わせ貝微量	100	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率10%, ハイガイ主体, 合わせ貝ほとんど無し/焼土粒子微量
77	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率70%, 2~4cm大のハマグリ破砕貝主体, 3~5cm大のサルボウ・シオフキ少量, ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	101	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 貝種不明の破砕貝主体, 合わせ貝無し/ロームブロック・炭化物・白色物質微量
78	純貝層	破砕率5%, 3~7cm大のハマグリ主体, 2~5cm大のオキシジミ中量, 2~5cm大のシオフキ・3~4cm大のサルボウ少量, マガキ・ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	102	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率90%, ハマグリ破砕貝主体, 合わせ貝無し
79	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率15%, 破砕率60%, 2~5cm大のハマグリ・サルボウ・破砕貝主体, 合わせ貝無し/ローム粒子少量	103	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率3%, 破砕率90%, 貝種不明の破砕貝主体, 破砕貝の貝種・大きさ不明/ローム粒子少量/6層に類似
80	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率30%, 3~4cm大のオキシジミ・シオフキ主体, 3~4cm大のハマグリ・サルボウ少量, アサリ・ウミナ・カガミガイ微量, ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量	104	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~5cm大のハマグリ主体, 2~4cm大のアサリ中量, サルボウ・ハイガイ・アカニシ・シオフキ微量, ハマグリ・アサリの合わせ貝微量
81	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 3~4cm大のハマグリ主体, 4~6cm大のサルボウ中量, シオフキ・アサリ微量, サルボウの合わせ貝少量/102層と基本的に同じ	105	混土貝層	混土率25% (黒褐色土), 破砕率5%, 3~4cm大のハマグリ主体, 2~4cm大のアサリ中量, ハイガイ・シオフキ少量, マガキ微量, ハマグリ・アサリ・シオフキの合わせ貝微量
82	混土貝層	混土率5% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~5cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ主体, 小形マガキ・オキシジミ中量, ウミナ・アサリ微量, サルボウ・オキシジミ・シオフキ・ハマグリの合わせ貝少量	106	混土貝層	混土率5% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~3cm大のハマグリ・マテガイ主体, 4~5cm大のハマグリ・ハイガイ・シオフキ・ムラサキガイ・オキシジミ・カガミガイ・ウミナ・アカニシ微量, ハイガイの合わせ貝微量/灰多量
83	混土貝層	混土率10% (黒褐色土), 破砕率70%, ハマグリ・サルボウ・シオフキの焼けた破砕貝主体, 合わせ貝無し	107	混土貝層	混土率15% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~4cm大のハマグリ主体, 4~6cm大のハマグリ中量, 6~8cm大のハマグリ少量, ハマグリ・アサリの合わせ貝微量
84	混貝土層	暗褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率90%, ハマグリ・アサリ・オキシジミの破砕貝主体, アカニシ微量, 合わせ貝無し/ロームブロック多量, 焼土ブロック・炭化物中量, 炭化材微量	108	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率20%, 2~5cm大のハマグリ主体, カガミガイ・マテガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物微量
85	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率60%, サルボウ主体, ハマグリ中量, アサリ・オキシジミ少量, マガキ・カガミガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し	109	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率10%, 2~5cm大のハマグリ主体, 2~3cm大のハイガイ少量, ウミナ・マガキ微量, ハイガイの合わせ貝微量/灰中量
86	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率40%, 3~4cm大のオキシジミ主体, 2~5cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ少量, ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	110	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~5cm大のハマグリ主体, 3cm大のハイガイ少量, 2~3cm大のアサリ微量, 合わせ貝ほとんど無し
87	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率80%, 4~6cm大のハマグリ主体, サルボウ中量, シオフキ少量, ツメタガイ・ウミナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	111	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率50%, 破砕率10%, 3~6cm大のハマグリ主体, ハイガイ少量, アサリ・イボニシ・カガミガイ・マテガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し
88	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率7%, 破砕率100%, ハマグリ・シオフキの破砕貝主体, 合わせ貝無し/焼土ブロック中量, 炭化物少量	112	混貝土層	黒褐色土, 混貝率25%, 破砕率50%, 3cm大のハマグリ主体, ハイガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し
89	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率70%, 3~6cm大の焼けたハマグリ破砕貝主体, シオフキ・アカニシ微量, 合わせ貝無し/焼土ブロック中量, 炭化物少量	113	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率10%, 2~5cm大のハマグリ主体, ハイガイ・マガキ少量, アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し
90	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率60%, ハマグリ・サルボウの破砕貝主体, 合わせ貝無し/ローム粒子・焼土粒子少量	114	混土貝層	混土率45% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~3cm大のハマグリ主体, 4~6cm大のハマグリ・2~3cm大のハイガイ中量, 2~3cm大のオキシジミ少量, マテガイ微量, ハイガイの合わせ貝微量
91	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率90%, ハマグリ・アサリの破砕貝主体, 合わせ貝無し	115	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率10%, 2~3cm大のハマグリ主体, 合わせ貝無し/ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
			116	混貝土層	黒褐色土主体, 混貝率3%, 破砕率10%, ハマグリ主体, 合わせ貝無し/ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量
			117	黒褐色土	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量, 白色物質微量, 粘性・締まり弱い
			118	黒色土	ローム粒子・焼土粒子微量, 粘性・締まり普通
			119	黒褐色土	ローム粒子中量, ロームブロック少量, 粘性・締まり普通

120	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率30%，2～5cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ少量，ハマグリ合わせ貝微量，土坑状	145	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率60%，2～4cm大のハマグリ・サルボウの破砕貝主体，合わせ貝無し
121	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率70%，2～5cm大のハマグリ破砕貝主体，3～4cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，イボニシ・カガミガイ微量，合わせ貝ほとんど無し	146	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率30%，2～5cm大のハマグリ・サルボウ主体，合わせ貝ほとんど無し
122	純貝層	2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し，ハマグリは小形のもの，サルボウは大形のもが主体	147	黒褐色土	ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量，前期貝層と中期貝層の間層，粘性・締まり弱い
123	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率90%，2～3cm大のハマグリ・サルボウの破砕貝主体，オキシジミ・アカニシ・イボニシ微量，合わせ貝無し	148	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率70%，ハマグリ破砕貝主体，合わせ貝無し
124	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のシオフキ中量，2～4cm大のサルボウ少量，ウミナナ・カガミガイ微量，合わせ貝ほとんど無し	149	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率50%，ハマグリ破砕貝主体，合わせ貝無し
125	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率30%，2～7cm大のハマグリ主体，2～5cm大のシオフキ少量，合わせ貝ほとんど無し	150	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率5%，破砕率10%，2～6cm大のハマグリ主体，合わせ貝ほとんど無し
126	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率10%，2～3cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し	151	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率10%，2～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のサルボウ中量，3～5cm大のオキシジミ少量，ウミナナ・マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物微量
127	混土貝層	混土率10%（黒褐色土），破砕率20%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し	152	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率10%，2～7cm大のハマグリ主体，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し
128	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率20%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し	153	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率20%，2～6cm大のハマグリ主体，3～4cm大のサルボウ少量，マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し
129	混土貝層	混土率10%（黒褐色土），破砕率10%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，ウミナナ微量，ハマグリ合わせ貝微量/炭化物少量	154	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し
130	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，合わせ貝ほとんど無し	155	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率60%，2～6cm大のハマグリ破砕貝主体，3～5cm大のサルボウ少量，合わせ貝無し
131	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率20%，3～7cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，オキシジミ・ウミナナ・マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し	156	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ中量，3～5cm大のシオフキ少量，イボニシ・ウミナナ・アカガイ微量，合わせ貝ほとんど無し
132	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率10%，3～5cm大のハマグリ主体，3～4cm大のサルボウ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し	157	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，マガキ・ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し
133	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率30%，2～4cm大のハマグリ・サルボウ・シオフキ主体，カガミガイ少量，合わせ貝ほとんど無し	158	純貝層	破砕率20%，2～7cm大のハマグリ主体，2～6cm大のサルボウ・2～5cm大のシオフキ少量，マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し
134	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率20%，2～5cm大のオキシジミ・シオフキ主体，2～5cm大のハマグリ少量，サルボウ微量，合わせ貝ほとんど無し	159	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，3～4cm大のサルボウ・シオフキ少量，合わせ貝ほとんど無し
135	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率30%，2～5cm大のハマグリ主体，3～4cm大のサルボウ少量，オキシジミ・シオフキ・ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し	160	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率20%，破砕率20%，2～4cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・3～4cm大のオキシジミ少量，合わせ貝ほとんど無し
136	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率70%，2～6cm大のハマグリ破砕貝主体，2～5cm大のサルボウ少量，ウミナナ微量，合わせ貝無し	161	純貝層	破砕率20%，2～6cm大のハマグリ・3～5cm大のサルボウ・シオフキ主体，3～5cm大のオキシジミ少量，ウミナナ・マガキ・イボニシ・カガミガイ微量，合わせ貝ほとんど無し
137	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，合わせ貝ほとんど無し	162	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率45%，破砕率10%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ・3～4cm大のオキシジミ少量，ウミナナ・マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し
138	純貝層	破砕率20%，2～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のサルボウ・3～4cm大のシオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量	163	純貝層	破砕率20%，2～7cm大のハマグリ・2～6cm大のサルボウ主体，3～5cm大のシオフキ少量，ウミナナ・マガキ・カガミガイ微量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
139	混土貝層	混土率10%（黒褐色土），破砕率30%，2～7cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・シオフキ少量，合わせ貝ほとんど無し	164	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率20%，2～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のサルボウ中量，3～5cm大のオキシジミ・ウミナナ少量，合わせ貝ほとんど無し
140	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量	165	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率20%，3～6cm大のハマグリ主体，3～5cm大のオキシジミ・シオフキ中量，3～4cm大のサルボウ少量，ウミナナ微量，オキシジミの合わせ貝微量
141	純貝層	破砕率20%，2～5cm大のハマグリ主体，2～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量，イボニシ・マガキ・ウミナナ微量，ハマグリ合わせ貝微量	166	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率10%，3～7cm大のハマグリ主体，3～5cm大のオキシジミ・マガキ中量，サルボウ・ウミナナ少量，ハマグリの合わせ貝微量
142	純貝層	破砕率20%，2～5cm大のサルボウ主体，2～5cm大のハマグリ・2～4cm大のシオフキ少量，2～4cm大のオキシジミ微量，合わせ貝ほとんど無し	167	混土貝層	混土率10%（黒褐色土），破砕率10%，2～7cm大のハマグリ主体，3～5cm大のオキシジミ・シオフキ少量，マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し
143	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率20%，破砕率40%，3～5cm大のサルボウ・2～4cm大のシオフキ主体，2～5cm大のハマグリ少量，アカニシ微量，合わせ貝ほとんど無し	168	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率30%，3～5cm大のハマグリ主体，3～5cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ中量，ウミナナ少量，アサリ・マガキ微量，ハマグリ・サルボウ・オキシジミの合わせ貝微量
144	混土貝層	混土率40%（黒褐色土），破砕率30%，2～6cm大のサルボウ主体，2～7cm大のハマグリ少量，オキシジミ・アカニシ微量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量	169	純貝層	破砕率5%，2～7cm大のハマグリ主体，2～6cm大のサルボウ少量，3～5cm大のオキシジミ・ウミナナ・イボニシ微量，合わせ貝ほとんど無し
			170	混土貝層	混土率10%（黒褐色土），破砕率40%，3～6cm大のハマグリ主体，オキシジミ・ウミナナ中量，シオフキ・サルボウ少量，イボニシ・マガキ・ナミマガシワ微量，ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量

171	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のサルボウ・シオフキ少量, ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	197	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率30%, 2~5 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のハイガイ中量, 合わせ貝ほとんど無し
172	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6 cm大のハマグリ主体, 2~5 cm大のサルボウ・オキシジミ少量, イボニシ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	198	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率60%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~3 cm大のマガキ・ハイガイ・カガミガイ微量, 合わせ貝無し
173	純貝層	破砕率10%, 2~7 cm大のハマグリ主体, 2~5 cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, ウミナナ・イボニシ・アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し	199	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率80%, ハマグリ・アサリの破砕貝主体, マガキ・カガミガイ微量, 合わせ貝無し
174	混土貝層	混土率10% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~6 cm大のハマグリ主体, 3~5 cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, イボニシ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	200	混土貝層	混土率10% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~4 cm大のアサリ主体, 2~5 cm大のハマグリ中量, 3~4 cm大のサルボウ少量, オキシジミ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
175	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~7 cm大のハマグリ主体, 3~5 cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し, ハマグリは大形のもの主体	201	混土貝層	混土率15% (黒褐色土), 破砕率90%, ハマグリ主体, アサリ微量, 合わせ貝無し
176	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~3 cm大のハマグリ主体, 3~5 cm大のオキシジミ・シオフキ少量, サルボウ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	202	混土貝層	混土率15% (黒褐色土), 破砕率20%, 4~5 cm大のハマグリ主体, アサリ・カガミガイ少量, ハイガイ・7~8 cm大のチョウセンハマグリ微量, ハマグリ・アサリの合わせ貝微量
177	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率30%, 3~6 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のシオフキ中量, オキシジミ・サルボウ少量, カガミガイ・イボニシ微量, オキシジミの合わせ貝微量	203	混土貝層	混土率10% (黒褐色土), 破砕率5%, 3~5 cm大のアサリ主体, 3~5 cm大のハマグリ中量, ハイガイ・オキシジミ微量, アサリ・ハマグリ・オキシジミの合わせ貝微量
178	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率70%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のサルボウ少量, 合わせ貝無し/ローム粒子・炭化物少量	204	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 3~6 cm大のハマグリ主体, ハイガイ・アカニシ微量, ハマグリ主体の合わせ貝微量
179	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率60%, 2~5 cm大のハマグリ主体, ウミナナ微量, 合わせ貝無し	205	純貝層	破砕率20%, 2~5 cm大のハマグリ主体, 2~3 cm大のハイガイ・アサリ少量, シオフキ・アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
180	混土貝層	混土率50% (黒褐色土), 破砕率40%, 2~3 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のサルボウ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	206	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 3~6 cm大のハマグリ主体, ハイガイ中量, ウミナナ・アサリ・マガキ・カガミガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し
181	黒褐色土	ロームブロック少量, 粘性・締まり強い	207	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率50%, 破砕率60%, 2~5 cm大のハマグリ主体, ウミナナ・カガミガイ・アサリ・マガキ微量, 合わせ貝無し
182	混土貝層	混土率45% (黒褐色土), 破砕率70%, 4~6 cm大のサルボウ主体, オキシジミ・シオフキ・マガキ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し	208	混土貝層	混土率15% (黒褐色土), 破砕率20%, 3~6 cm大のハマグリ主体, イボキザゴ・ハイガイ・カガミガイ・ウミナナ・メテガイ・マガキ・シオフキ・アサリ微量, ハマグリ主体の合わせ貝微量
183	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~5 cm大のサルボウ主体, 2~4 cm大のハマグリ・3~4 cm大のシオフキ少量, 合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量	209	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率60%, 3~5 cm大のハマグリ主体, ハイガイ中量, カガミガイ・サルボウ・オキシジミ・アサリ・マガキ微量, ハマグリ・ハイガイの合わせ貝微量/魚骨少量
184	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率30%, 3~5 cm大のサルボウ主体, 2~4 cm大のシオフキ・ハマグリ少量, マガキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土ブロック少量	210	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率30%, 2~5 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のサルボウ少量, 合わせ貝ほとんど無し
185	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率90%, ハマグリ・アサリの破砕貝主体, カガミガイ微量, 合わせ貝無し	211	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率30%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のサルボウ少量, 合わせ貝ほとんど無し
186	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率40%, 2~6 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のシオフキ・サルボウ少量, マガキ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量	212	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率60%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のアサリ中量, アカニシ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量
187	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率20%, 2~5 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のサルボウ・オキシジミ・シオフキ少量, ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・炭化物少量	213	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率80%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のサルボウ少量, 合わせ貝無し
188	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率90%, ハマグリ・サルボウの破砕貝主体, 合わせ貝無し/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物少量	214	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率30%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のハイガイ・カガミガイ少量, 合わせ貝無し/ローム粒子少量
189	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率50%, 破砕率90%, ハマグリ・シオフキの破砕貝主体, 合わせ貝無し/焼土ブロック・炭化物・灰中量	215	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率5%, 4~5 cm大のハマグリ主体, 焼けたハマグリ少量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量
190	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率90%, ハマグリ・アサリの破砕貝主体, マガキ・アカニシ微量, 合わせ貝無し	216	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率20%, 3~5 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のシオフキ中量, 3~4 cm大のサルボウ少量, マガキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量
191	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率90%, 3~4 cm大のハマグリ主体, 焼けたハマグリ・アカニシ微量, 合わせ貝無し/ロームブロック・焼土ブロック・炭化物中量	217	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率5%, 破砕率50%, 4~5 cm大のハマグリ主体, サルボウ微量, 合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・炭化物少量, 焼土粒子微量
192	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率10%, 破砕率50%, 2~4 cm大のハマグリ主体, 3~4 cm大のサルボウ中量, マガキ・シオフキ微量, サルボウ・シオフキの合わせ貝少量/焼土ブロック・炭化物少量	218	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率40%, 破砕率20%, 2~5 cm大のハマグリ主体, オキシジミ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物少量
193	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率30%, 破砕率20%, 4~6 cm大のハマグリ主体, サルボウ・オキシジミ・シオフキ・マガキ・アカニシ微量, サルボウの合わせ貝微量	219	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率5%, 4~5 cm大のハマグリ主体, 7~8 cm大のチョウセンハマグリ・ハイガイ・マガキ・アカニシ・シオフキ微量, 合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物・灰少量
194	混土貝層	混土率15% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~4 cm大のアサリ主体, ハマグリ微量, 合わせ貝ほとんど無し	220	混土貝層	黒褐色土主体, 混貝率20%, 破砕率90%, ハマグリ・アサリの破砕貝主体, マガキ・アカニシ微量, 合わせ貝無し
195	混土貝層	混土率20% (黒褐色土), 破砕率10%, 2~4 cm大のアサリ主体, 3~5 cm大のハマグリ中量, ハイガイ少量, ウミナナ微量, アサリの合わせ貝少量	221	混土貝層	混土率30% (黒褐色土), 破砕率10%, 3~5 cm大のハマグリ・2~4 cm大のアサリ主体, ハイガイ微量, 合わせ貝ほとんど無し
196	混土貝層	混土率40% (黒褐色土), 破砕率40%, 2~5 cm大のハマグリ主体, 2~4 cm大のハイガイ中量, 5~8 cm大のチョウセンハマグリ・ウミナナ微量, 合わせ貝ほとんど無し			

222	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率20%，2～5 cm 大のハマグリ主体，3～4 cm大のハイガイ少量，3～4 cm大のアサリ・シオフキ微量，ハマグリの場合貝少量/焼土ブロック・灰少量	236	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率10%，3～4 cm 大のハマグリ主体，アサリ・シオフキ・カガミガイ・ハイガイ少量，合わせ貝ほとんど無し/炭化物少量
223	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率20%，破砕率20%，2～4 cm 大のハマグリ主体，ハイガイ・マガキ微量，合わせ貝ほとんど無し/ロームブロック・焼土ブロック少量	237	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率80%，ハマグリ の破砕貝主体，マテガイ少量，アサリ・シオフキ・ マガキ微量，合わせ貝無し
224	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率7%，破砕率20%，3～4 cm 大のハマグリ主体，マガキ・焼けたアサリ微量，合 わせ貝ほとんど無し/灰微量	238	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率50%，2～3 cm 大のハマグリ主体，2 cm大のアサリ中量，ハイガイ 少量，アカニシ・ウミナナ微量，合わせ貝ほとんど 無し
225	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率20%，破砕率70%，3～4 cm 大のハマグリ の破砕貝主体，合わせ貝無し/ローム ブロック・炭化物少量	239	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率90%，ハマグリ・ ハイガイの破砕貝主体，オキシジミ微量，合わせ貝 無し
226	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率10%，3～5 cm 大のハマグリ主体，アサリ微量，合わせ貝ほとんど 無し	240	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率40%，2～4 cm大の ハマグリ主体，2～3 cm大のアサリ中量，ハイガイ 少量，マガキ・カガミガイ・オキシジミ微量，合 わせ貝ほとんど無し
227	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率30%，3～4 cm 大のハマグリ主体，合わせ貝無し	241	混土貝層	混土率20%（黒褐色土），破砕率10%，3～4 cm大の ハマグリ主体，オキシジミ・ハイガイ少量，マガキ・ イボニシ・ウミナナ微量，ハマグリの場合貝微量
228	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率10%，2～6 cm 大のハマグリ主体，サルボウ・マガキ微量，合わせ 貝ほとんど無し/ローム粒子微量	242	混土貝層	混土率30%（黒褐色土），破砕率20%，3～4 cm大の ハマグリ・マテガイ主体，ハイガイ少量，アサリ・ マガキ・アカニシ微量，合わせ貝ほとんど無し，ハ マグリ・マテガイの層
229	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率30%，2～4 cm 大のハマグリ主体，ハイガイ・マテガイ・マガキ微 量，合わせ貝ほとんど無し/焼土ブロック・炭化物 少量	243	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率40%，破砕率20%，3 cm大の ハマグリ・1～3 cm大のハイガイ主体，マガキ・オ キシジミ少量，アカニシ・ツノガイ微量，合わせ貝 ほとんど無し
230	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率40%，2～4 cm 大のハマグリ主体，合わせ貝ほとんど無し/ローム ブロック・焼土ブロック・灰少量	244	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率80%，3～6 cm 大のハマグリ の破砕貝主体，ハイガイ中量，アカニ シ・マガキ・7～8 cm大のハマグリ少量，マテガイ 微量，合わせ貝無し/魚骨少量
231	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率15%，破砕率10%，3～5 cm 大のハマグリ主体，合わせ貝ほとんど無し/焼土ブ ロック・炭化物少量	245	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率90%，ハマグリ の破砕貝主体，オキシジミ・ハイガイの破砕貝微量 ，合わせ貝無し/焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒 子少量
232	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率10%，破砕率90%，ハマグリ の破砕貝主体，アサリ中量，合わせ貝無し	246	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率5%，破砕率90%，ハマグリ・ ハイガイの破砕貝主体，合わせ貝無し/焼土ブロッ ク・ローム粒子微量
233	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率70%，3～4 cm 大のハマグリ の破砕貝主体，アサリ中量，シオフキ 少量，カガミガイ・ウミナナ微量，合わせ貝無し	247	褐色土	ロームブロック中量，粘性強い，締まり普通
234	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率30%，破砕率80%，2～5 cm 大のハマグリ の破砕貝主体，オキシジミ・ハイガイ・ アサリ微量，合わせ貝無し			
235	混貝土層	黒褐色土主体，混貝率20%，破砕率40%，3～5 cm 大のハマグリ主体，ハイガイ中量，マテガイ少量 ，マガキ・ウミナナ・カガミガイ微量，ハイガイの合 わせ貝微量			

オ 遺物の出土状況（第156～172図）

斜面貝層からは，多量の人工遺物と自然遺物などが出土している。縄文土器片の総数は167,479点で，総重量は約3642kgである。主要な人工遺物の出土点数は石器・石製品877点，土器片錘・土器片円盤1580点，土製品26点，骨角歯牙製品178点，貝製品が17点である。また，自然遺物の人骨・動物遺存体・魚類遺存体などは159.2kgに達している。第156～172図は，主な人工遺物と自然遺物の出土状況について，種別毎の平面及び垂直分布図である。垂直分布については，単位グリッド内における遺物の出土位置から，より近い断面図に投影する必要から，1 m間隔に単位グリッドを分割して，出土地点の遺物投影による誤差を極力なくすように試みた。ただし，縦断面に比べて横断面では，傾斜による遺物投影の誤差が大きくなり，各層との対応関係や整合性にはばらつきが見られる。あくまでも出土層位の目安であり，単純に対比することはできない。

以下では，主な土器，石器・石製品，土器片錘・土器片円盤，土製品，骨角歯牙製品，貝製品について，その出土状況の概略を述べ，遺物の詳細を実測図及び観察表に掲載する。なお，動物遺存体の鑑定については金子浩昌氏から助言を，コラムサンプルによる貝類及び魚類については，樋泉岳二氏，黒住耐二氏の協力を得た。それらの詳細は下巻「付章」を参照されたい。

土器の大半は大形破片で，純貝層，混土貝層，混貝土層の順に出土量が多くなり，貝層形成直前ないし直後に投棄している傾向が看取できる。出土土器の多くは中期後葉の加曾利 E II 式期に属するもので，略完形や大形破片を中心にまとまって出土している。特に，KA 3 e3・4，KB 3 a4，KB 3 b4，KB 3 c4，KB 3 d3・4，KB 3 e3，KC 3 a1・2，KC 3 a3，KC 3 b1・2，KB 2 d2，KB 2 e3，KC 3 a2区付近には，当該期に属する多量の土器片が，幅約2～3 mの弧状に廃棄ブロックを形成して分布している。また，その内側には幅約0.5

～1mの土器片の分布が極端に少ない弧状の範囲を挟んで、径約10mの範囲で前期中葉の植房式期と中期後葉の加曽利EⅠ～Ⅱ式期に属する土器片が集中的に分布している。さらに、KB3 d4・5、KC3 a3～5、KC2 b1～5、KC3 b1～5、KC2 c3～5、KC3 c1～3区付近には、中期後葉の加曽利EⅡ～Ⅳ式期、主体は加曽利EⅢ式期に属する土器片が、広範囲に比較的散漫な状態で分布している。確認できた土器片同士の接合関係はあまり多くはない。主体となる土器片に周囲に点在した土器片が接合する程度の事例が大半で、広域にわたる接合関係はわずかである。

石器・石製品は、ほぼ貝層全面から出土しており、目立った集中傾向は看取できない。その多くが中期後葉の加曽利EⅡ～Ⅲ式期に属するものが主体である。中でも軽石製浮子のQ5、泥岩製垂飾りのQ208、磨製石斧のQ57・82・87・125・168・207は、いずれも前期中葉の植房式期相当層や貝層の基底部上面から出土しており、また、形態的な特徴からも前期に属すると考えられる。

土器片錘や土器片円盤の大半は、KB3 e2～5、KC3 a2～5、KC2 b1～5、KC3 b2～5、KC2 c2～5、KC3 c1～3区付近から出土している。特にKB3 e2～5、KC3 a2～5、KC2 b1～5区付近に集中して分布している。それらは、文様の特徴から中期後葉の加曽利EⅡ～Ⅲ式期に属するものが主体で、前述した土器片の時期別の分布傾向と共通している。また、耳栓の大半は、前述した加曽利EⅡ式期に属する多量の土器片が分布している幅約2～3mの廃棄帯の内側から出土している。

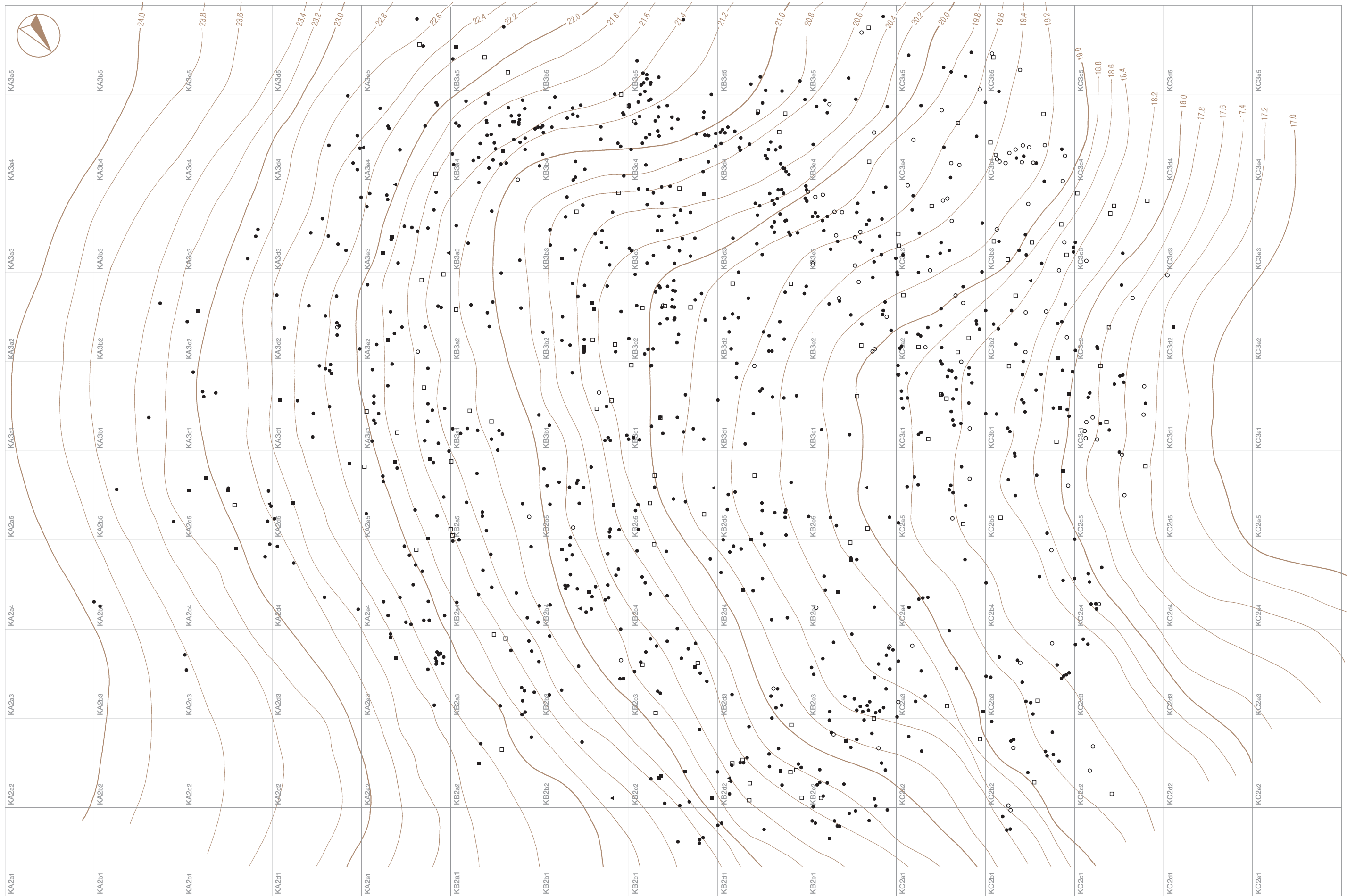
類例の少ないスプーン形土製品のDP53は、KB2 e2区の中期後葉の加曽利EⅡ式期相当層から出土している。また、土製垂飾りのDP903は、KC2 c5③区の第20ステージから出土しており、時期は中期後葉の加曽利EⅡ式期に属すると考えられる。大珠形土製品のDP162は、KC2 c4③区の第17ステージから出土しており、時期は中期後葉の加曽利EⅡ・Ⅲ式期に属すると考えられる。

骨角歯牙製品は、ほぼ貝層全面に広く散在する状況で出土している。鹿角製弓弭形角器のB1をはじめ、鹿角製逆棘付き刺突具やツキノワグマ・オオカミ・バンドウイルカ・アオザメなどの歯牙を加工した垂飾りなどは、斜面高所から中腹にかけての前期中葉の植房式期相当層から出土している。鋸歯状の線刻が施されたイノシシの肩甲骨のB151は、KB2 d3区の第23ステージ、中期後葉の加曽利EⅠ・Ⅱ式期相当層から出土している。斜面中腹から低所に広く分布している鹿角製刺突具の多くや、KC2 a5区の磨製刃器のB178などは、中期後葉の加曽利EⅡ・Ⅲ式期相当層から出土している。確認できた唯一の鹿角製釣り針のB70は、KB2 b2①②区の第5ステージ、中期後葉の加曽利EⅡ式期相当層から出土している。

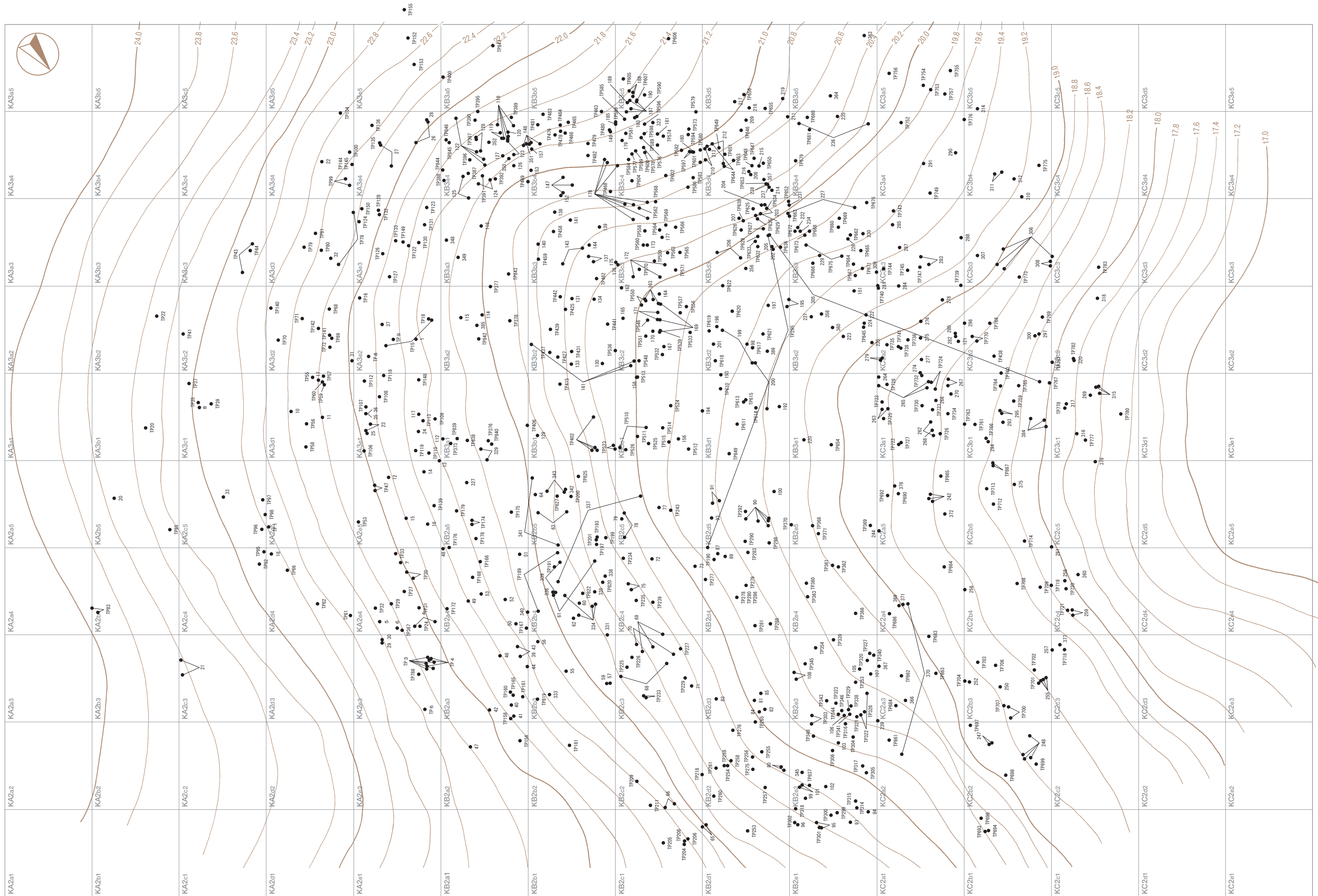
貝製品は、ほぼ貝層全面に散在する状況で、貝輪のS3、貝刃のS4・5は、KB3 e3・4区の中期後葉の加曽利EⅠ・Ⅱ式期相当層から、貝輪のS2・11・12は、前期中葉の植房式期相当層から出土している。タカラガイ科ホンダワラの加工品のS16は、中期後葉の加曽利EⅡ式期相当層から、化石と推測できる貝器のS6・10は、中期後葉の加曽利EⅡ・Ⅲ式期相当層から、貝製品素材のS13は、前期中葉の植房式期相当層から出土している。



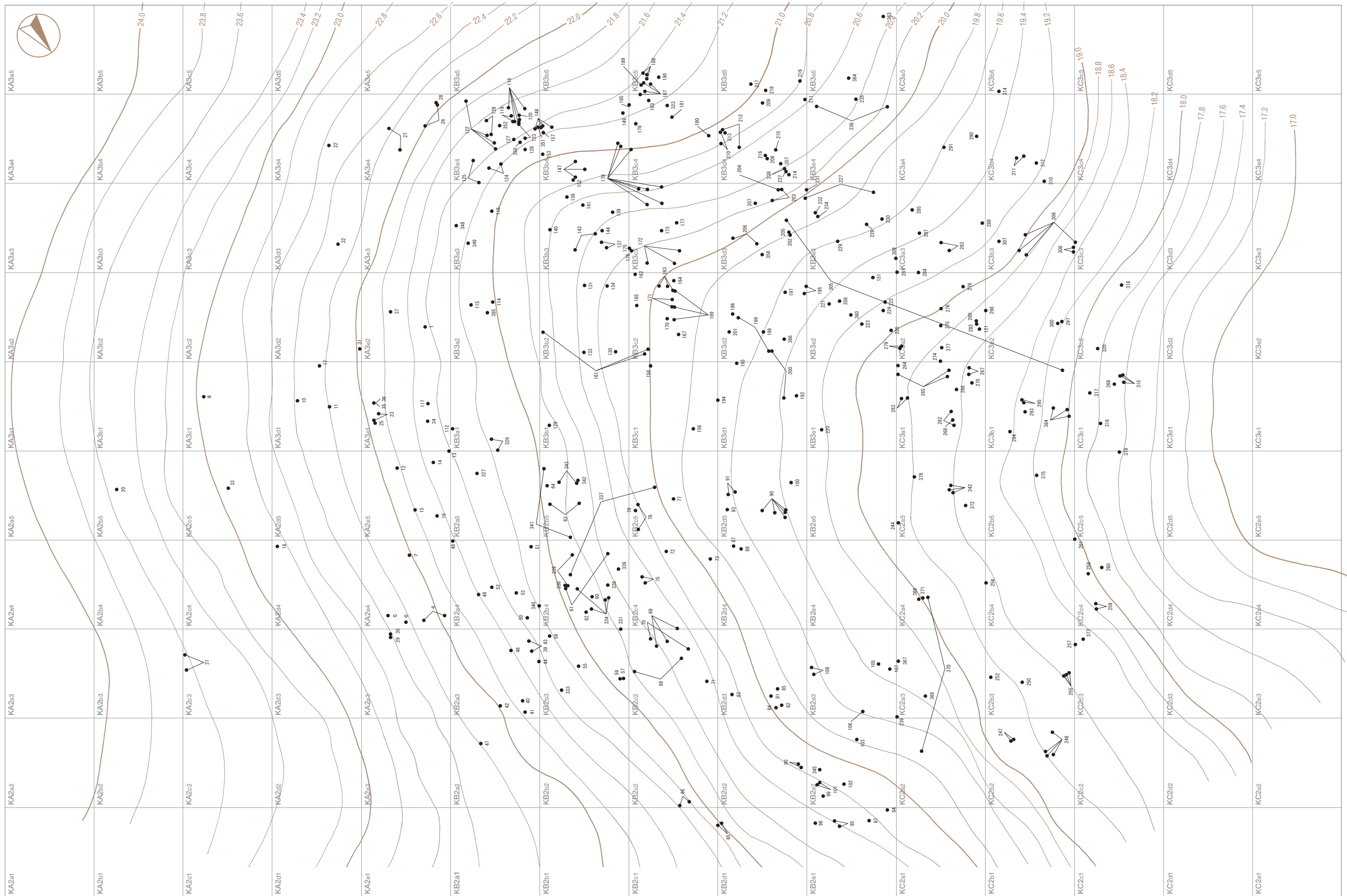
写真⑤ 斜面貝層の調査（遺物の出土状況 / 左 - 縄文土器 右 - 鹿角と磨石）



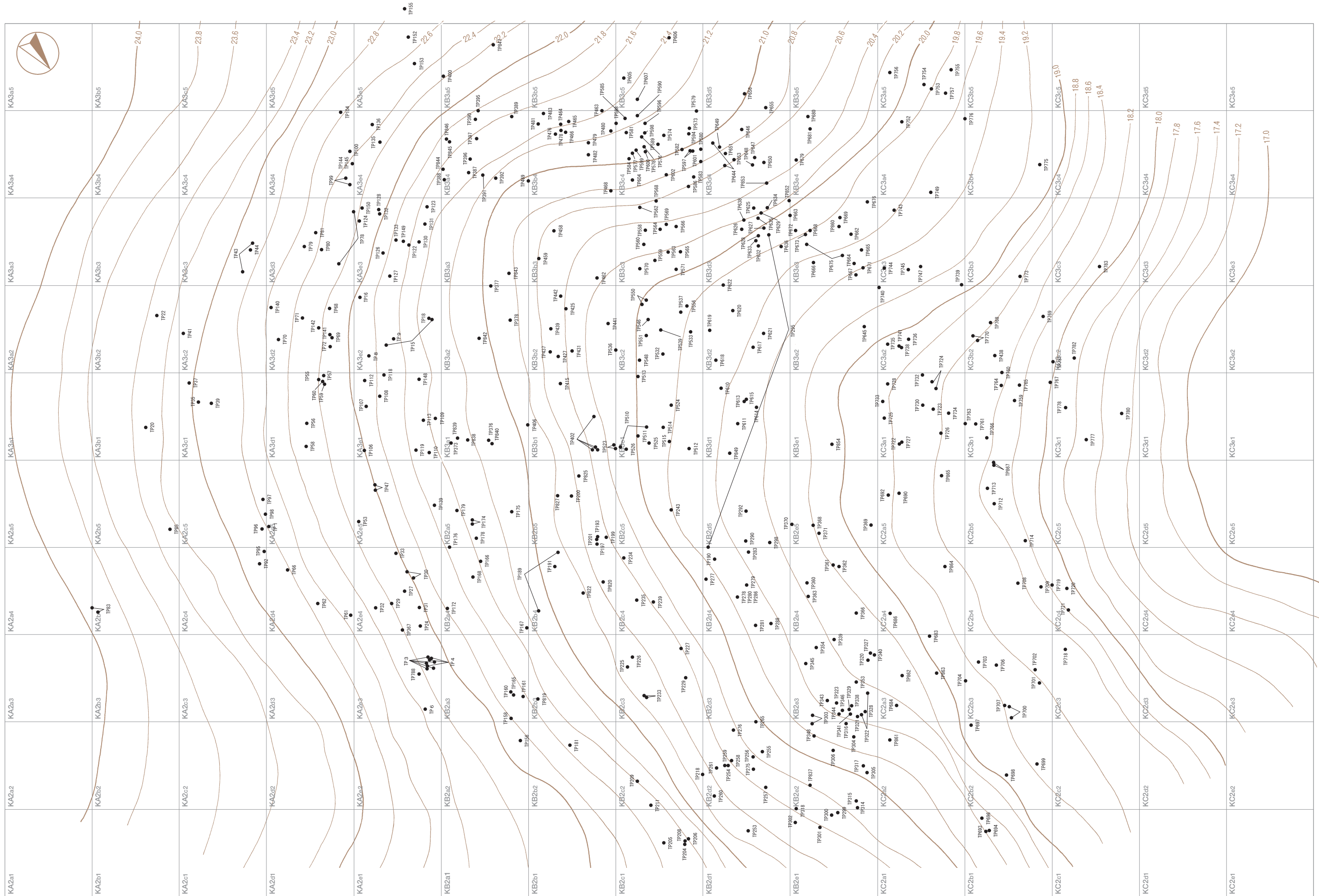
第156図 斜面貝層遺物出土状況図（土器・土製品・石器・石製品・骨角歯牙製品・貝製品）



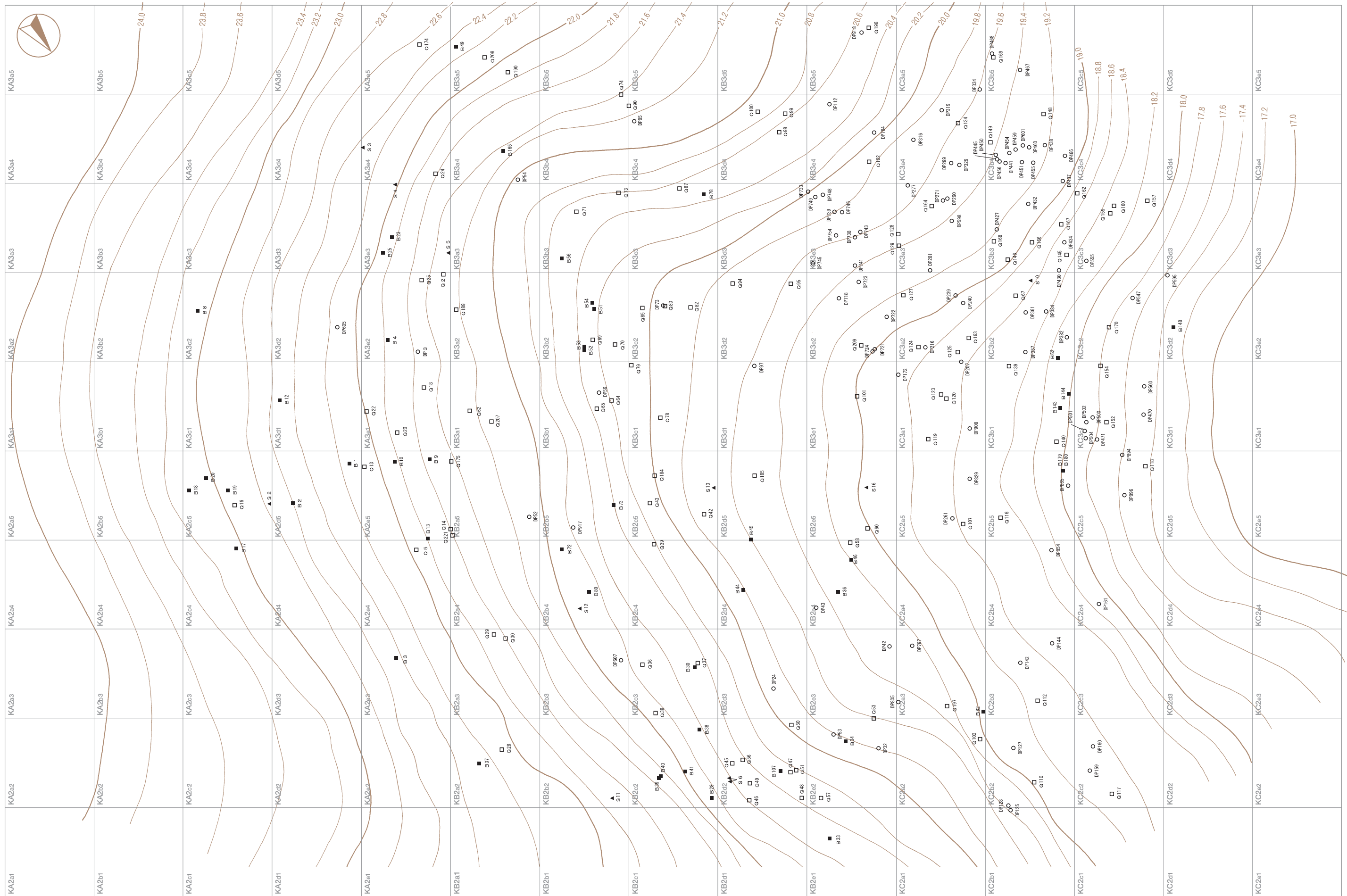
第157図 斜面貝層遺物出土状況図(土器)



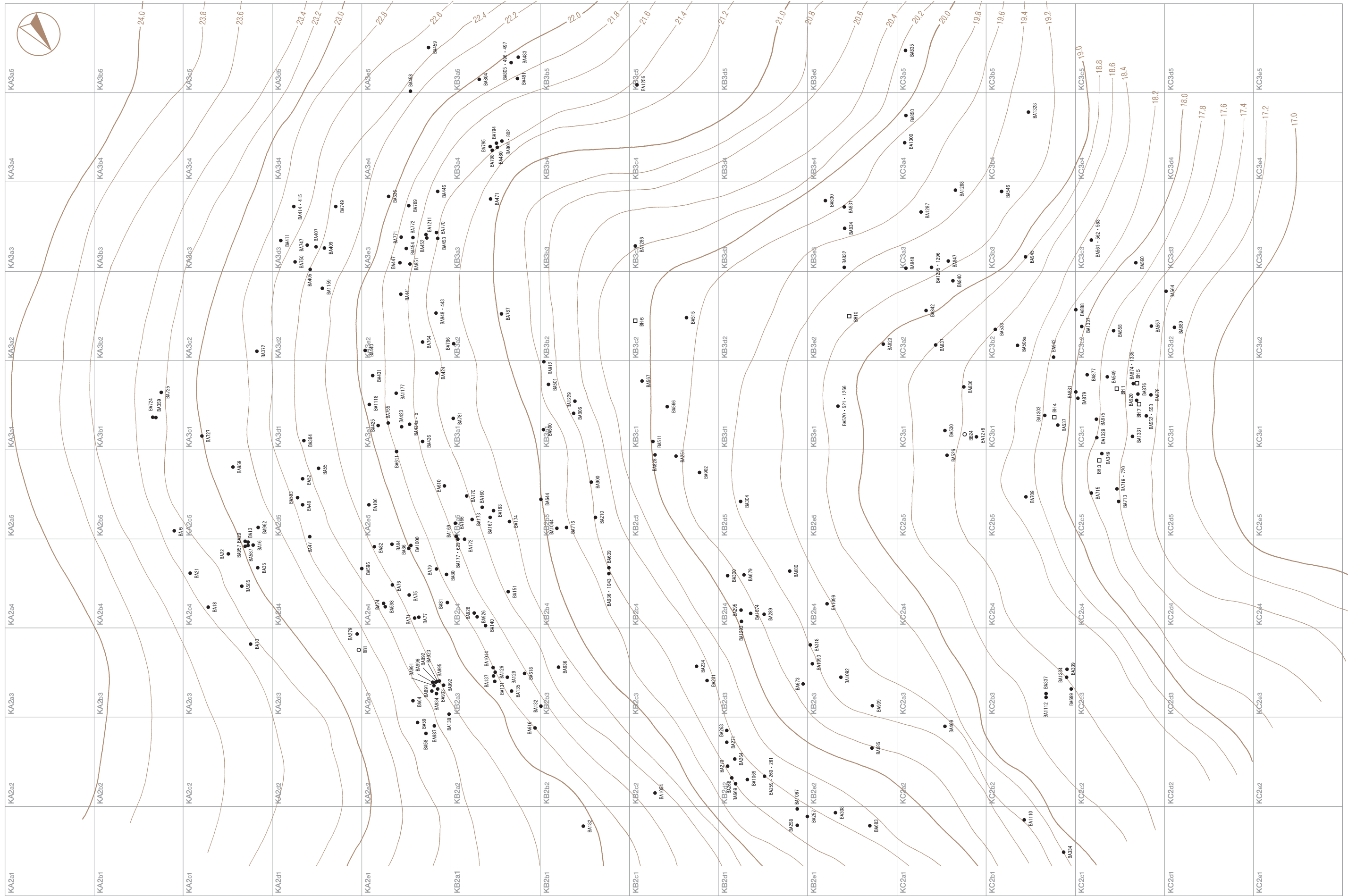
第158図 斜面貝層遺物出土状況図（実測土器）



第159図 斜面貝層遺物出土状況図（拓本土器）



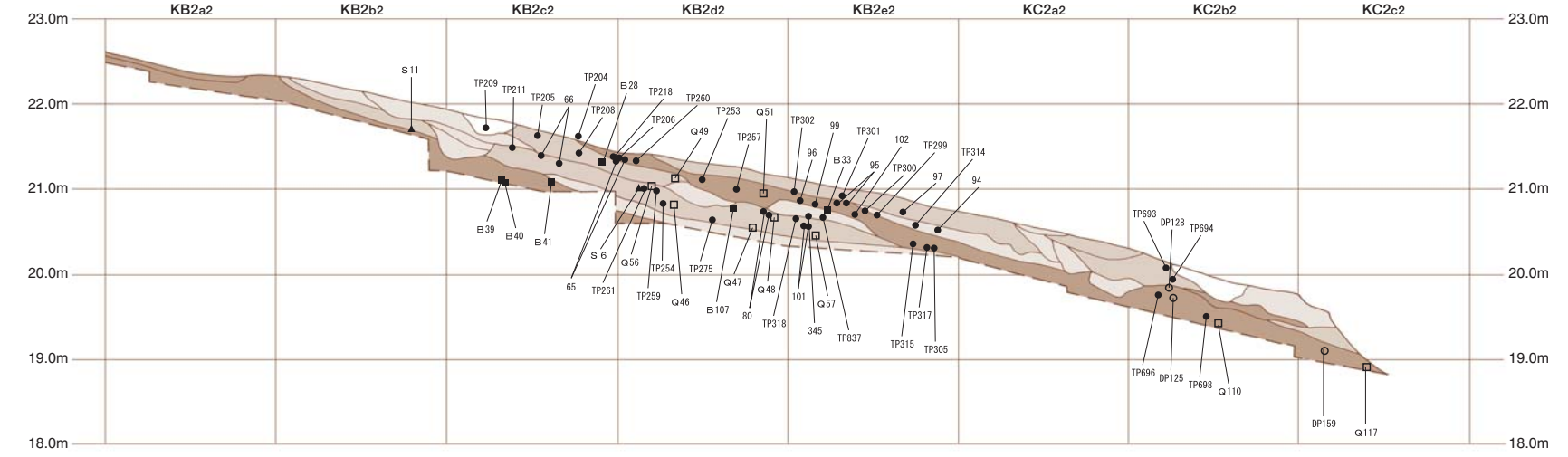
第160図 斜面貝層遺物出土状況図(土製品・石器・石製品・骨角歯牙製品・貝製品)



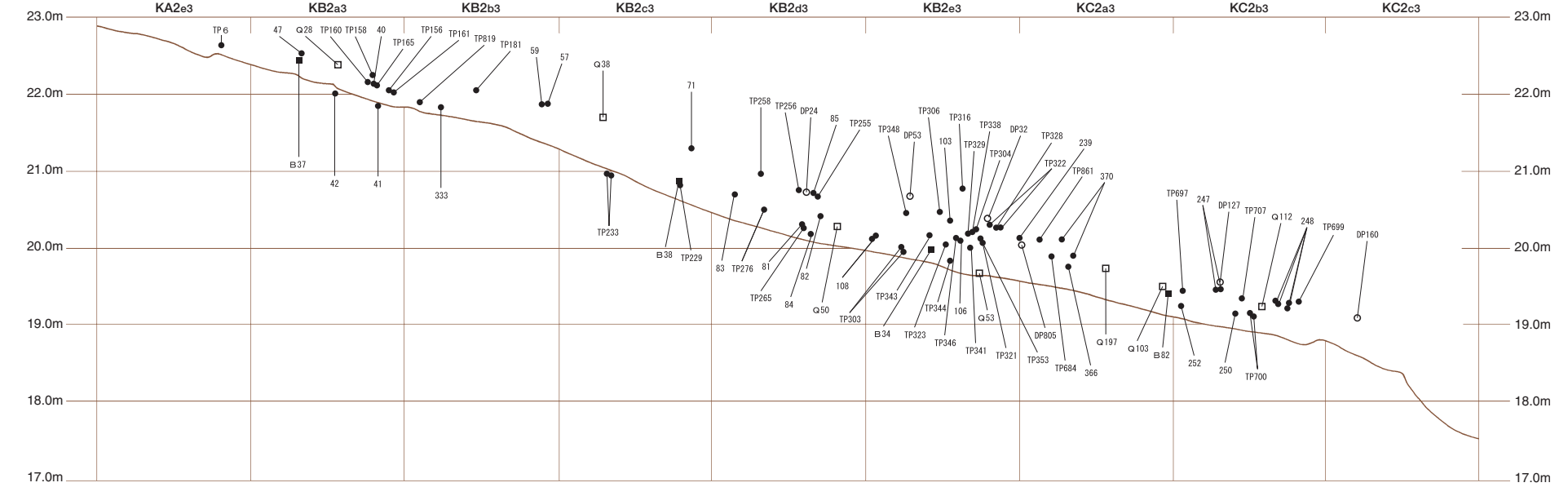
第161圖 斜面貝層遺物出土狀況圖（骨角齒牙）

- 凡例
- 土
 - 混貝土層
 - 混土貝層
 - 純貝層
 - 表土・攪乱

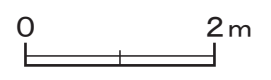
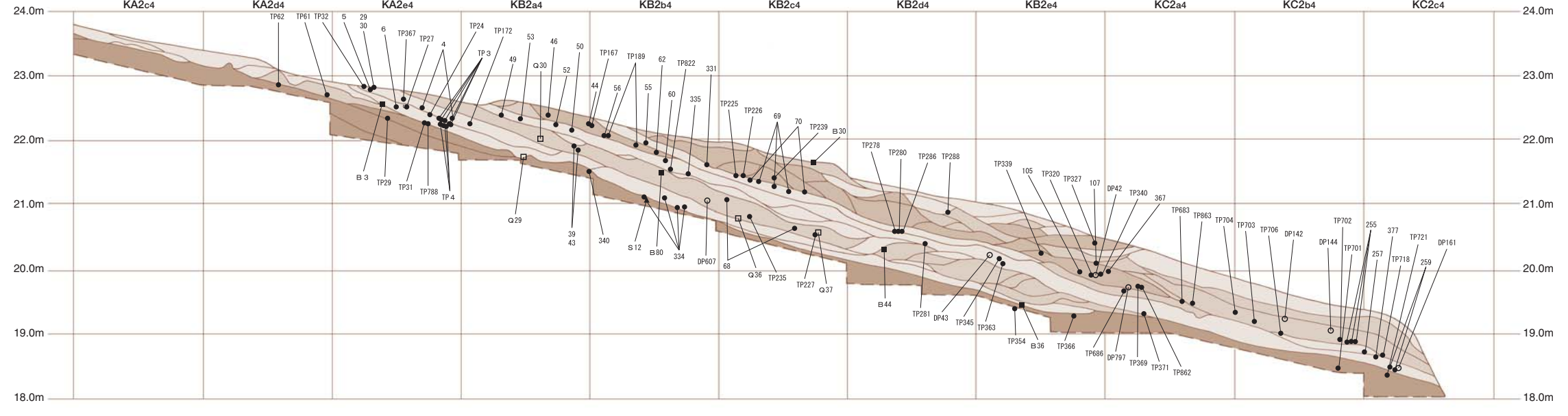
貝層・土層断面図①



貝層・土層断面図②

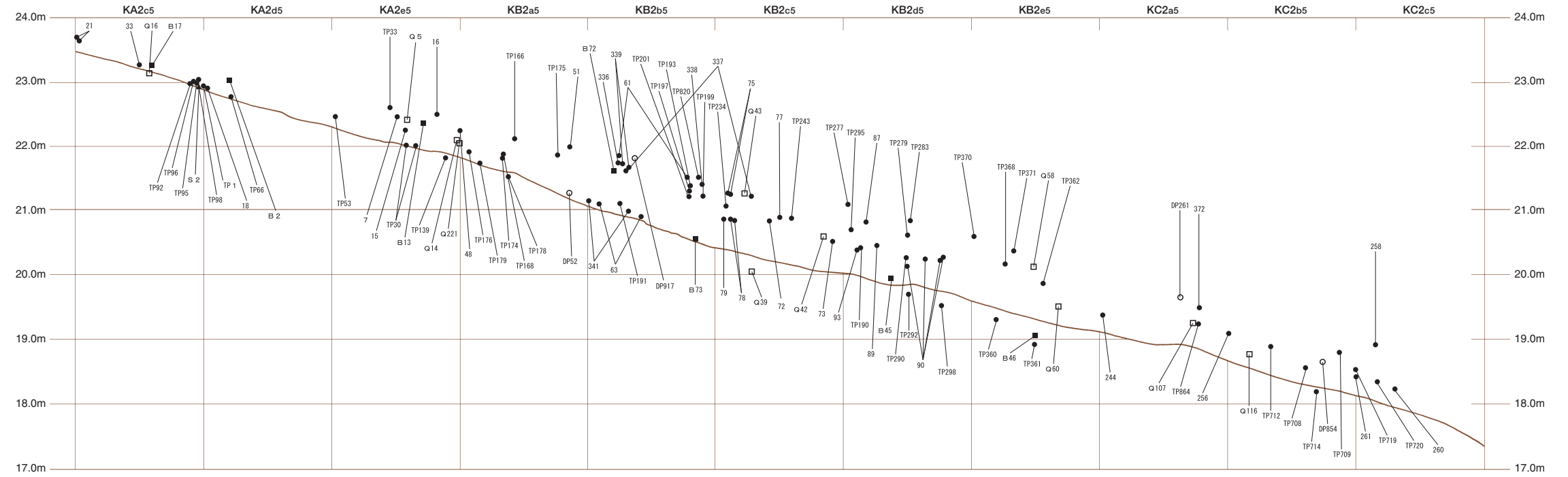


貝層・土層断面図③

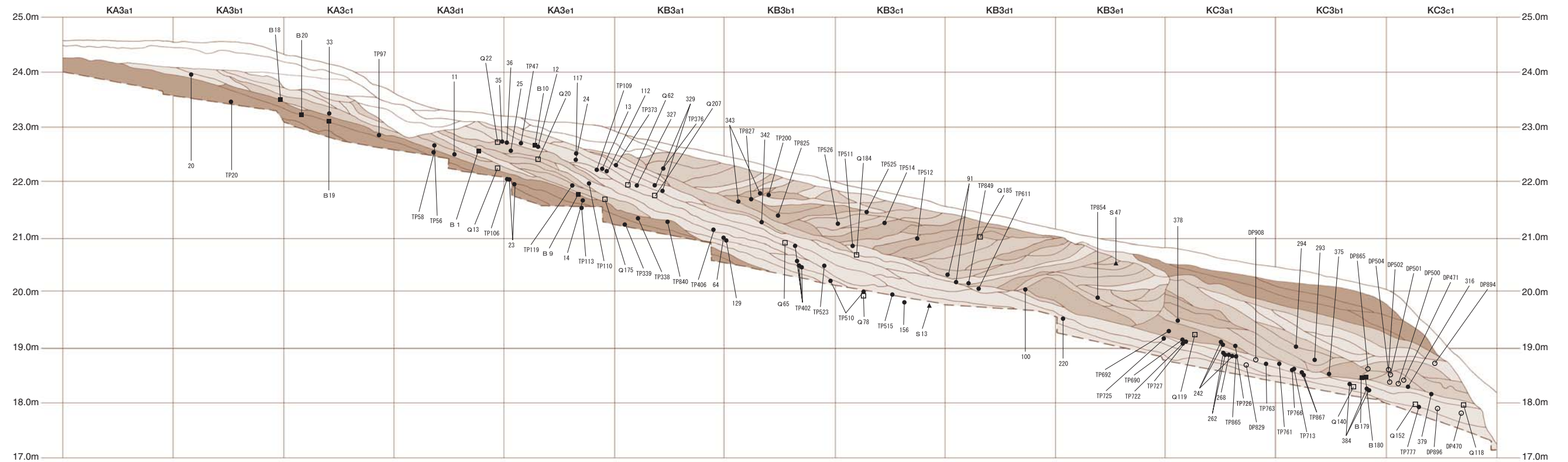


第162図 斜面貝層遺物出土状況図(1)

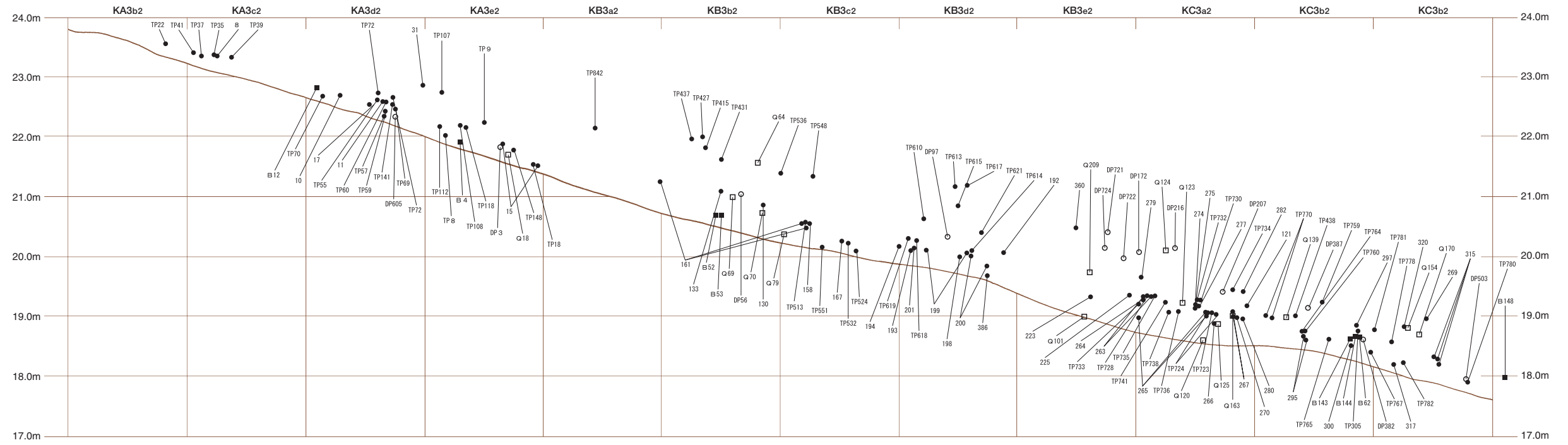
貝層・土層断面図④



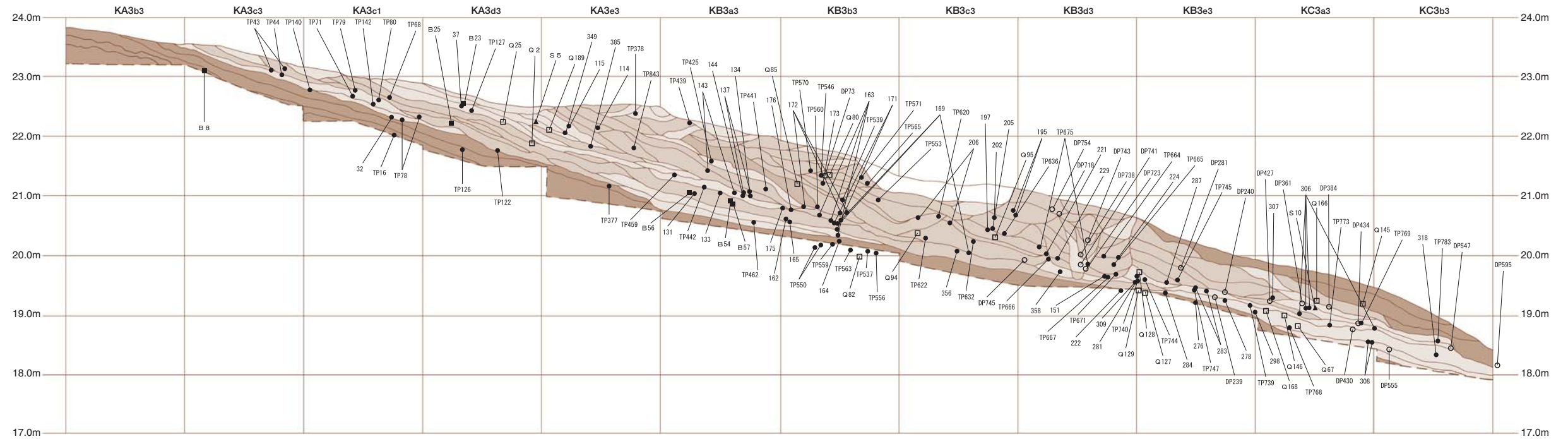
貝層・土層断面図⑤



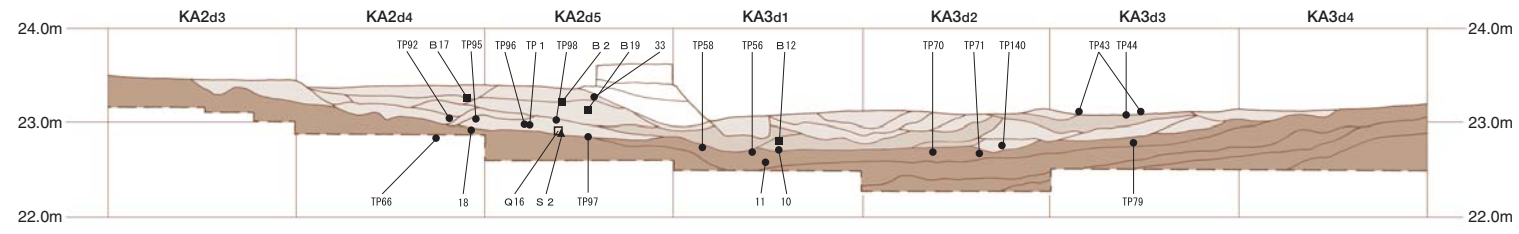
貝層・土層断面図⑥



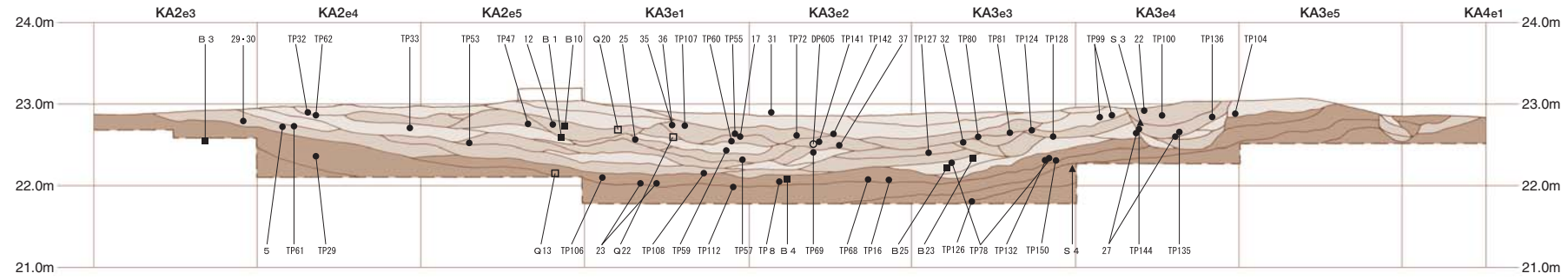
貝層・土層断面図⑦



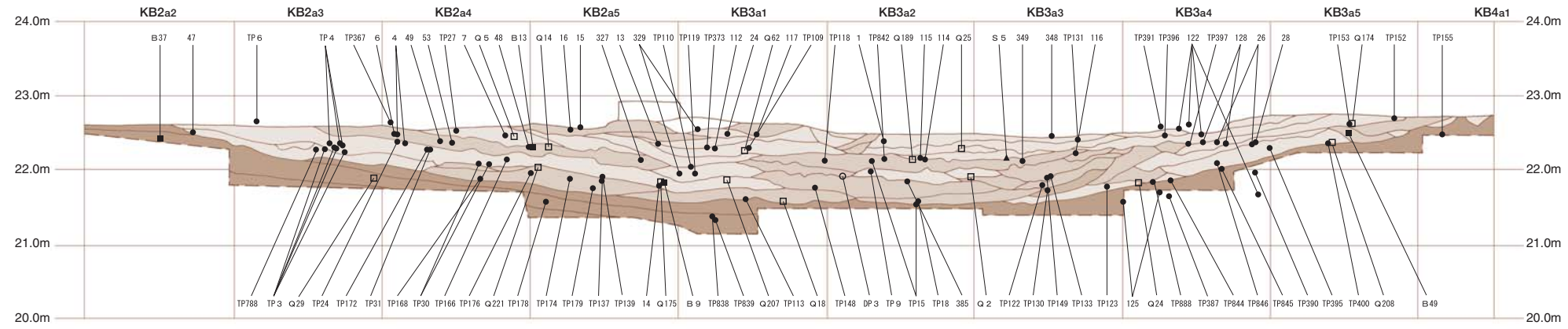
貝層・土層断面図㉔



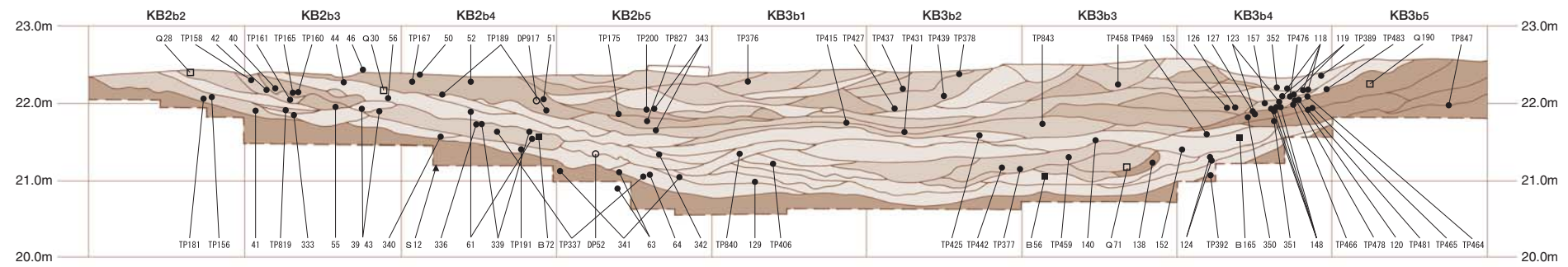
貝層・土層断面図㉕



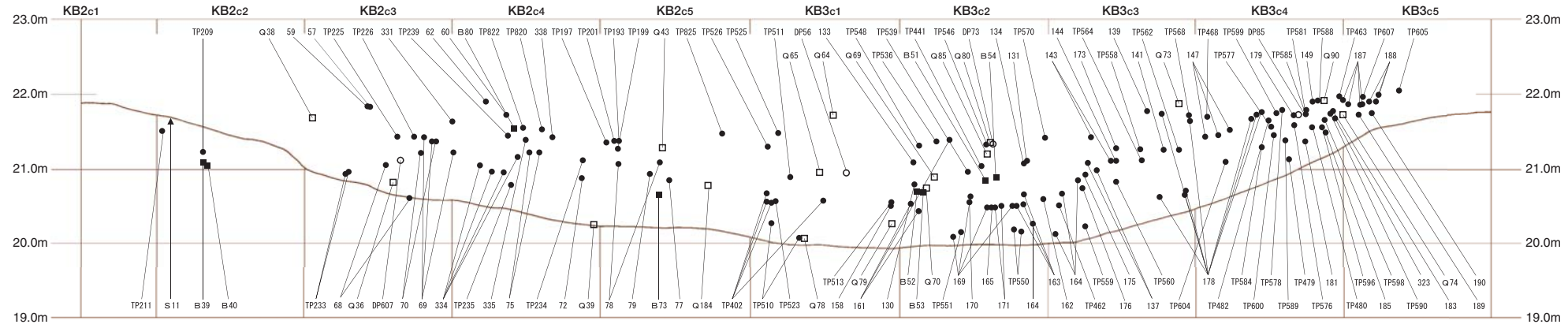
貝層・土層断面図㉖



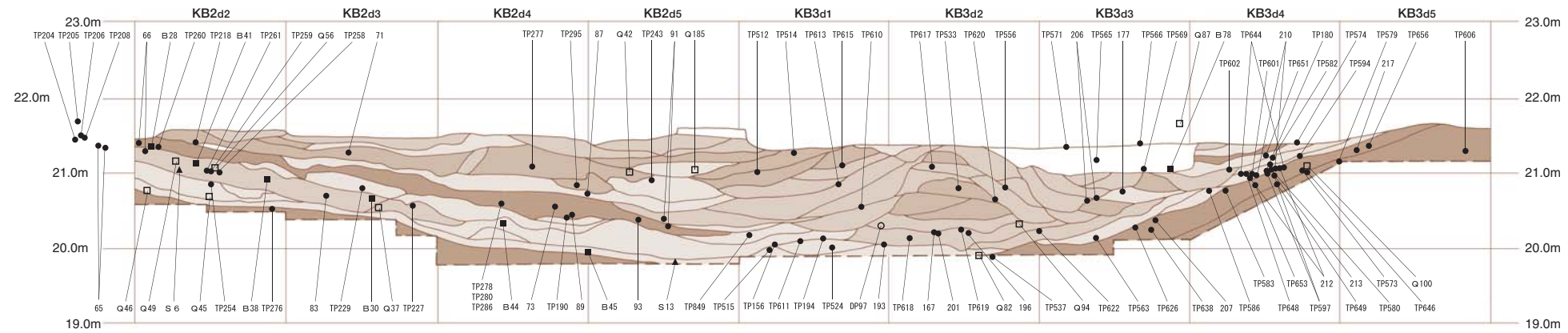
貝層・土層断面図㉗



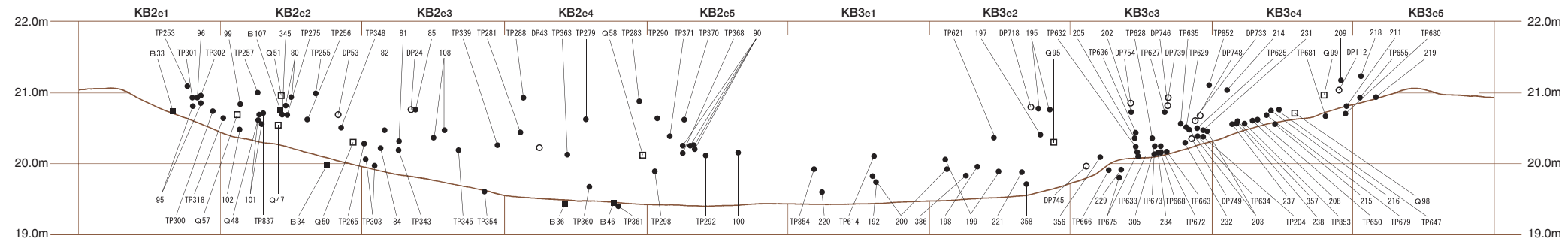
貝層・土層断面図㉔



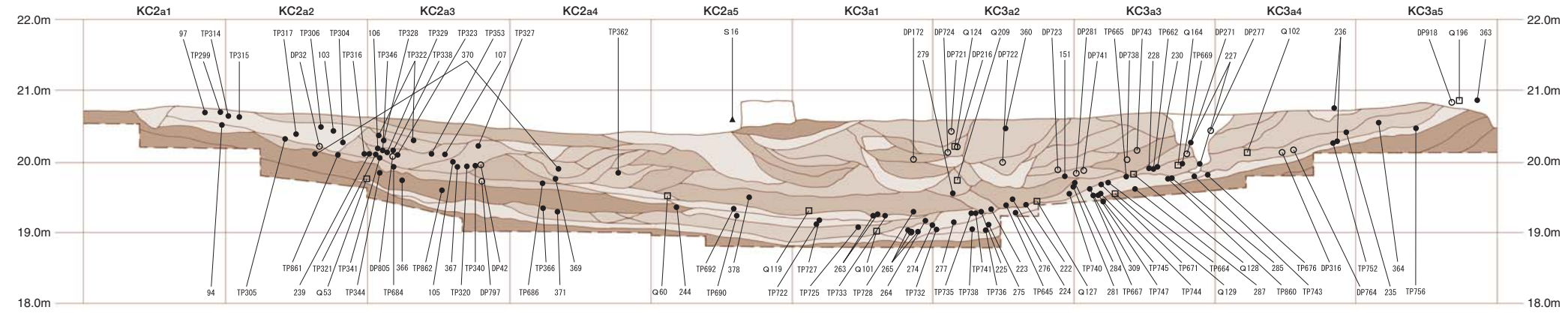
貝層・土層断面図㉕



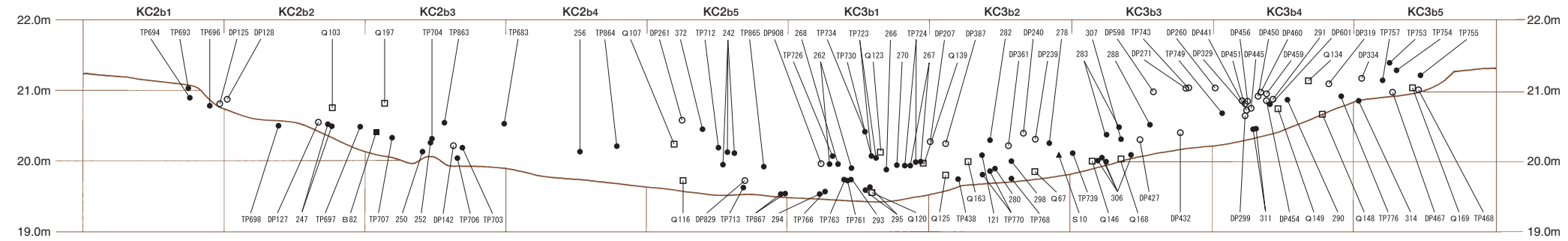
貝層・土層断面図㉖



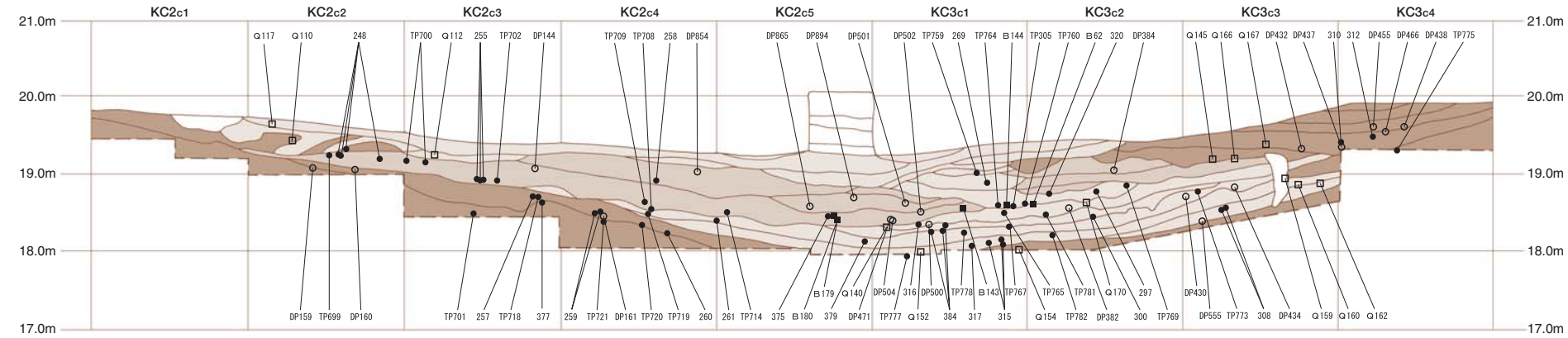
貝層・土層断面図①



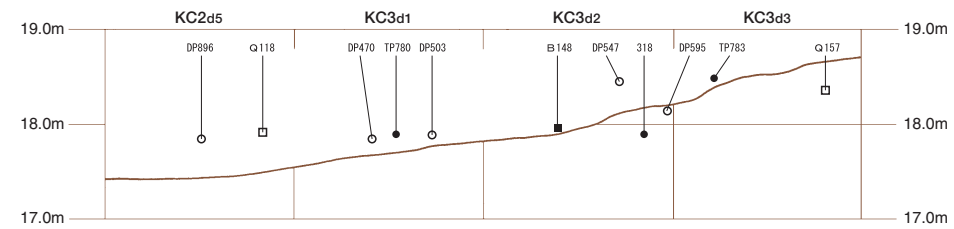
土層・貝層断面図②



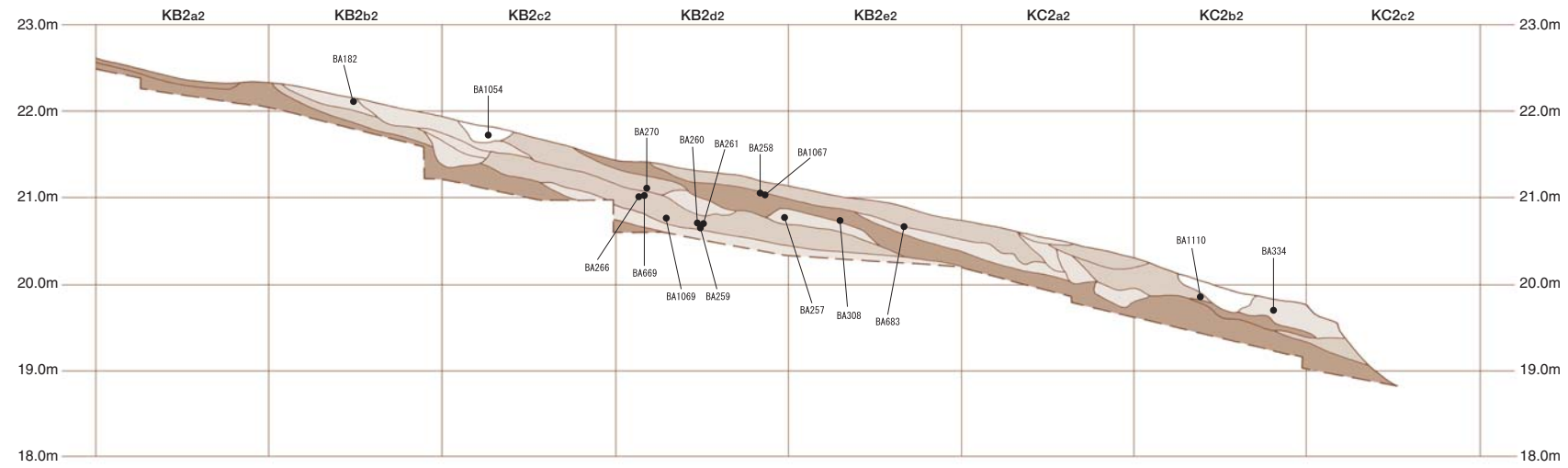
土層・貝層断面図③



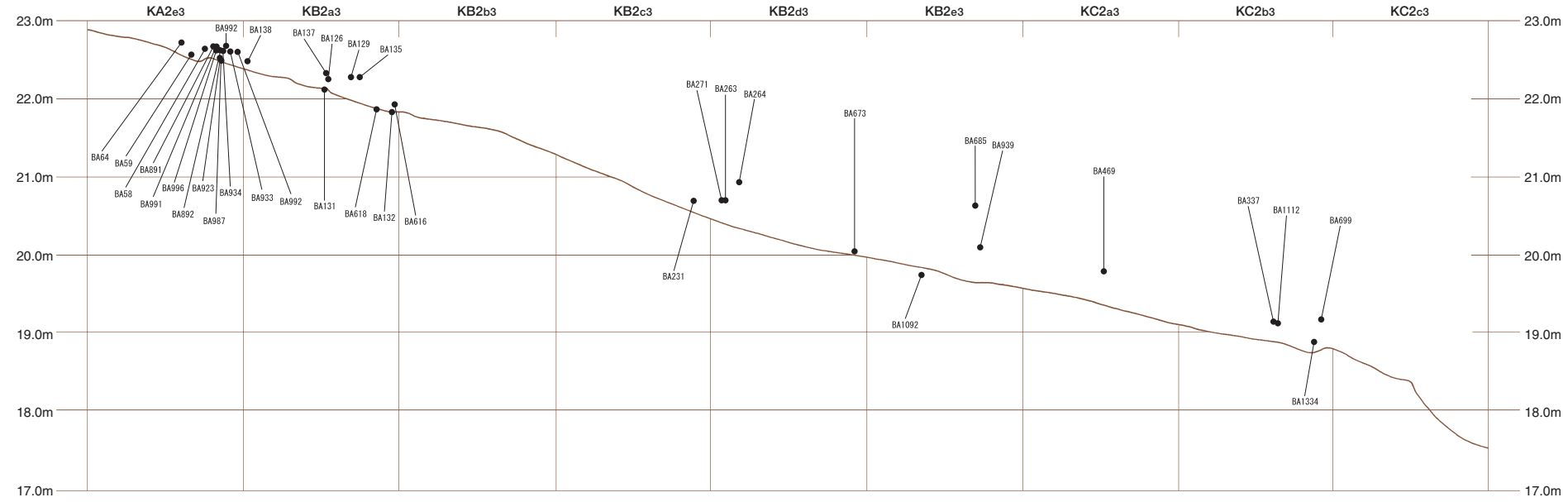
土層・貝層断面図④



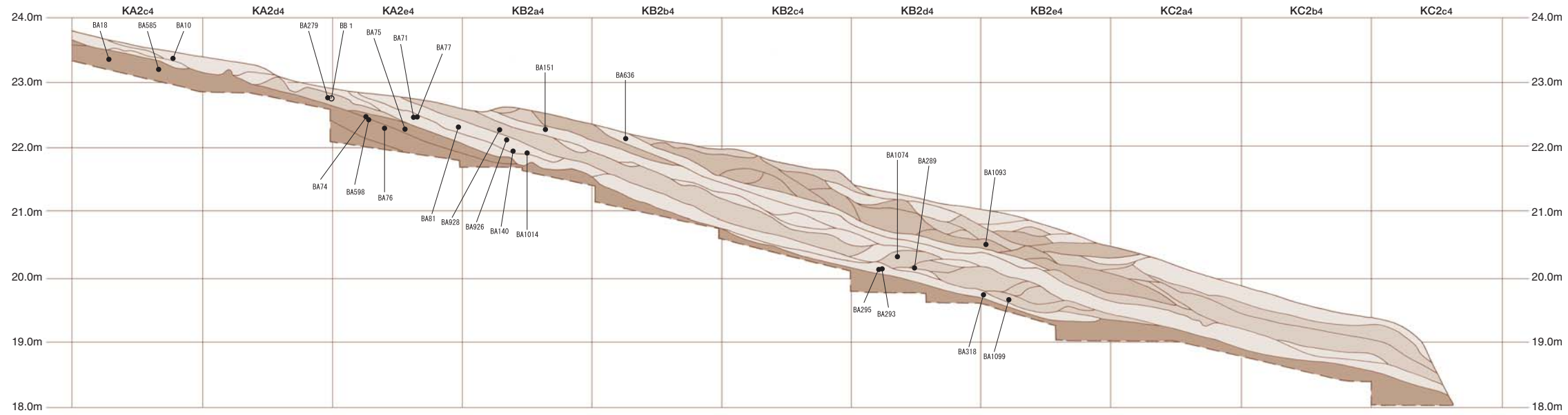
貝層・土層断面図①



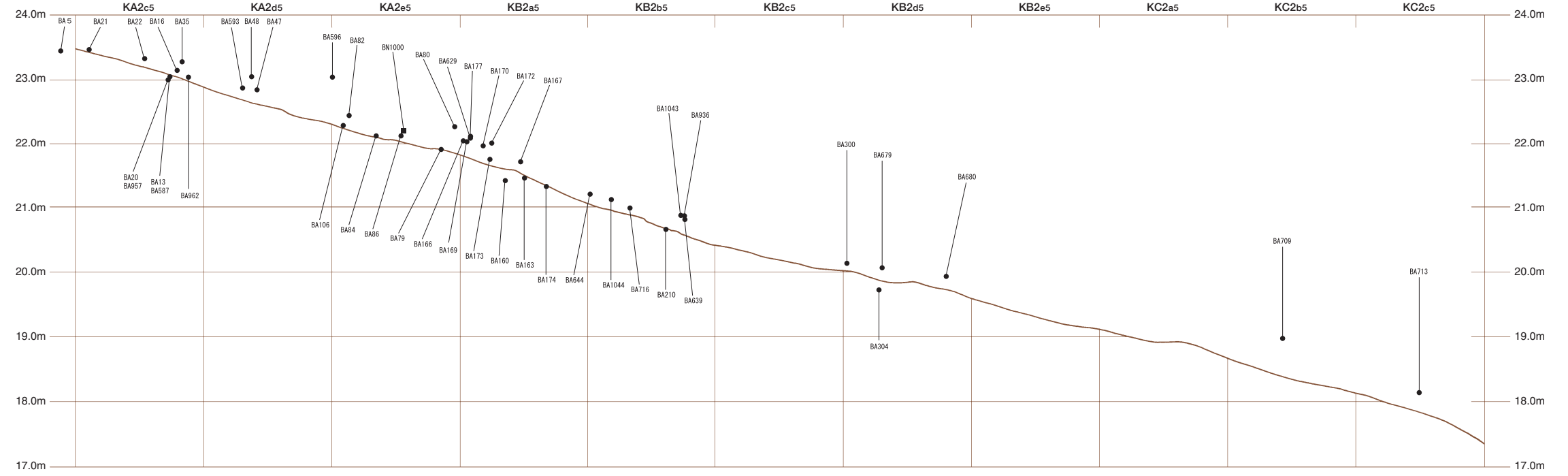
貝層・土層断面図②



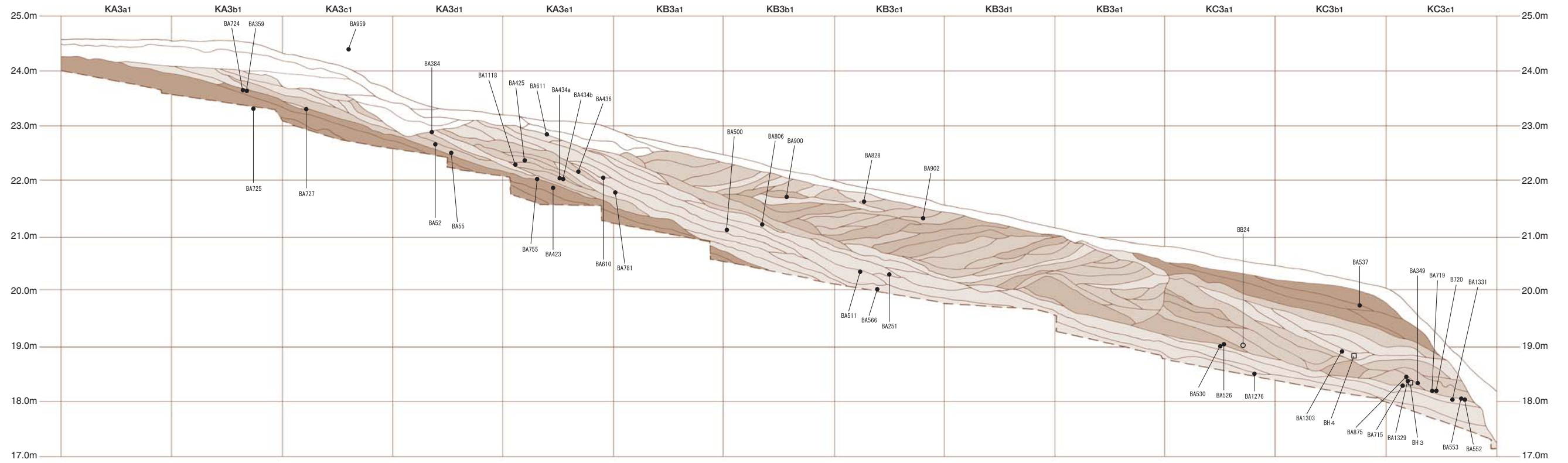
貝層・土層断面図③



貝層・土層断面図④

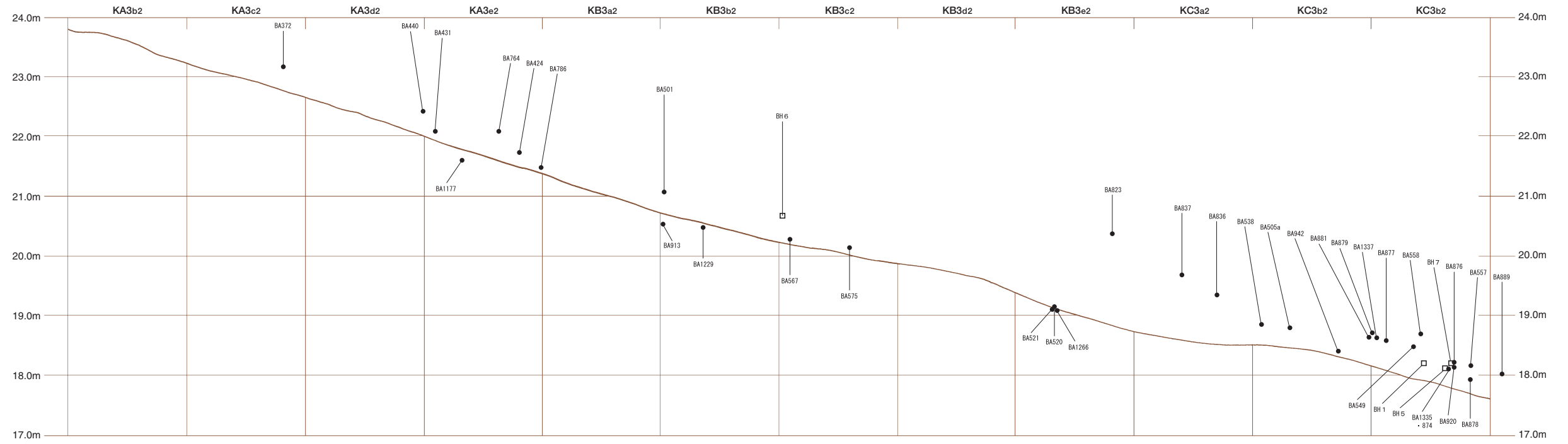


貝層・土層断面図⑤

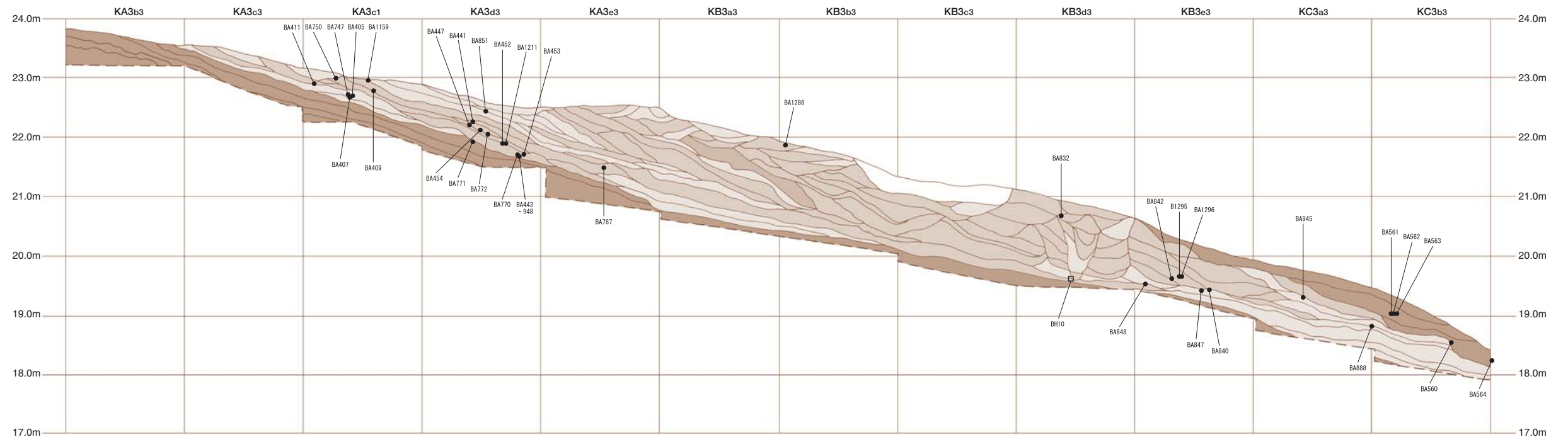


第170図 斜面貝層遺物出土状況図(9)

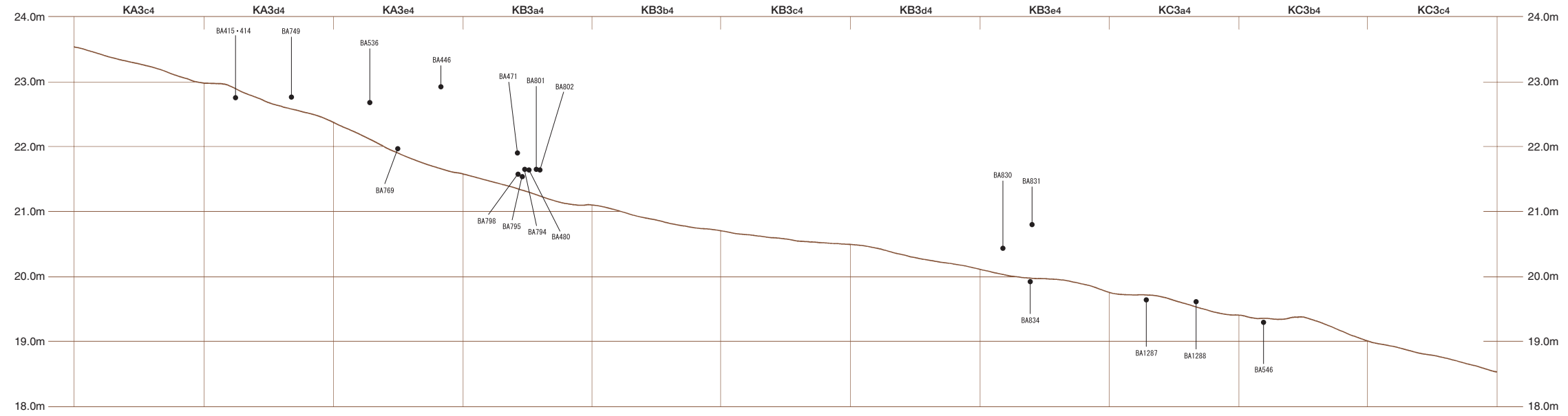
貝層・土層断面図⑥



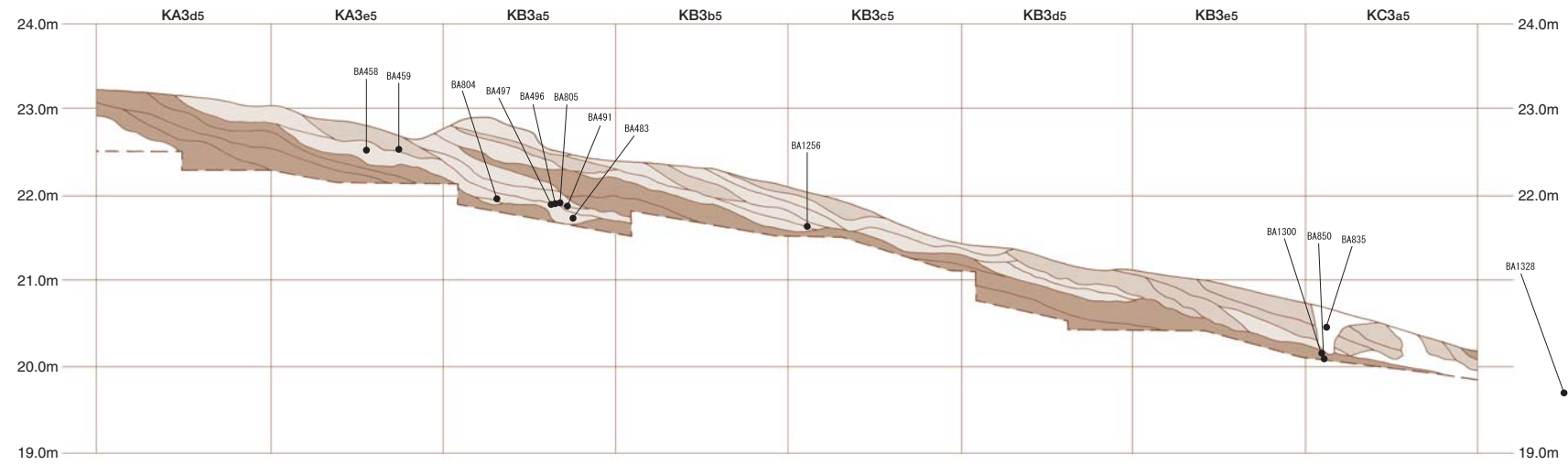
貝層・土層断面図⑦

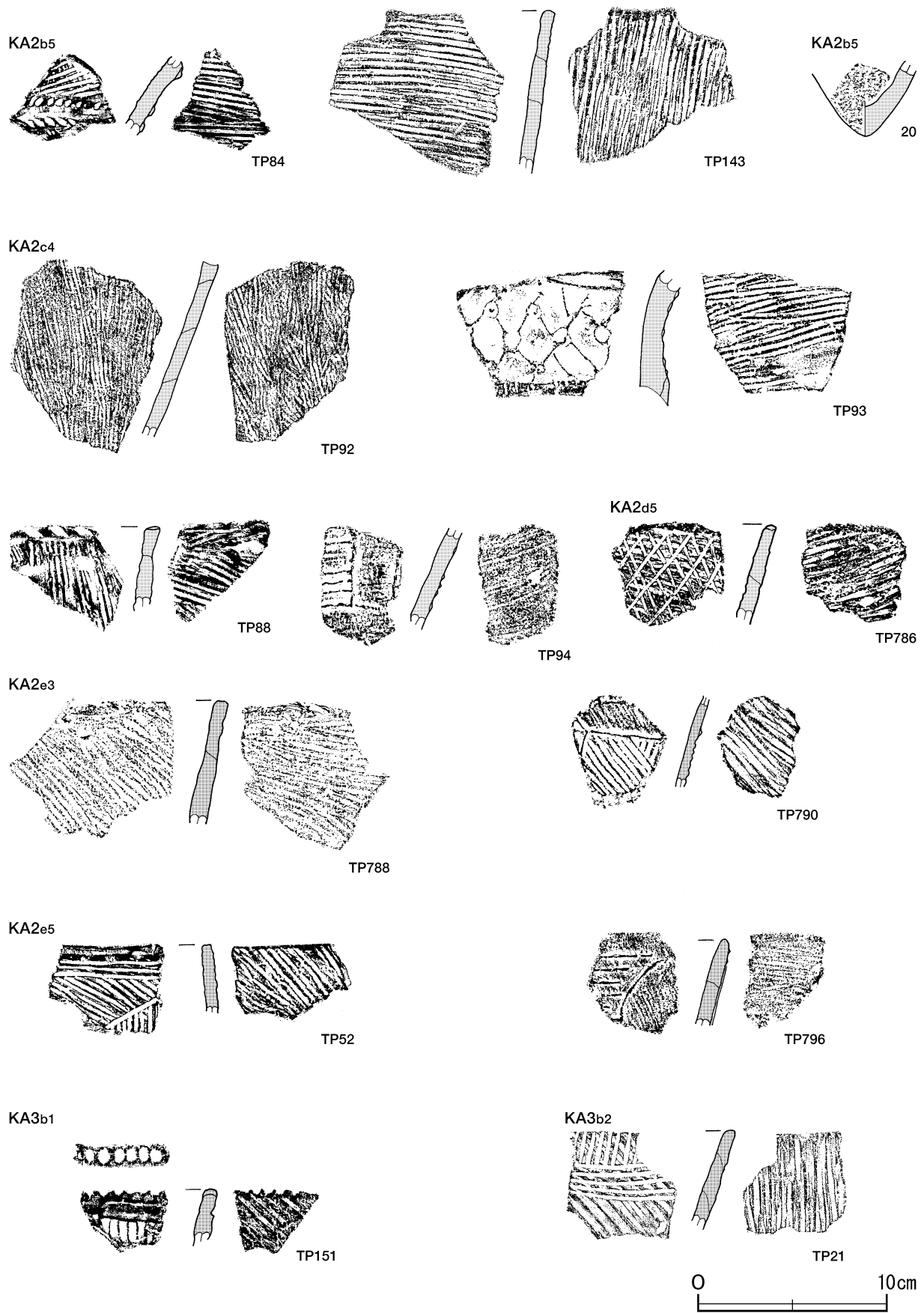


貝層・土層断面図⑧



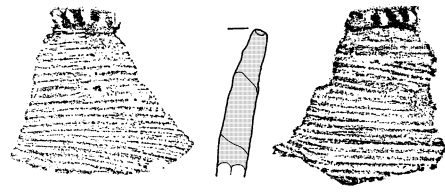
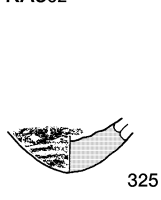
貝層・土層断面図⑨





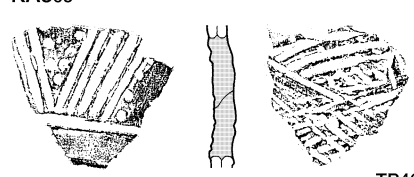
第173図 斜面貝層出土遺物実測図(1)

KA3c2



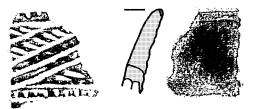
TP802

KA3c3



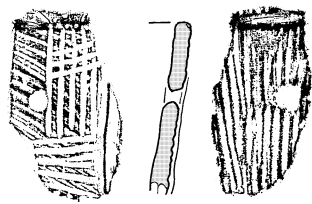
TP46

KA3d1

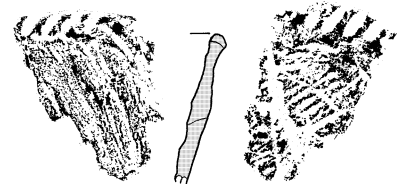


TP804

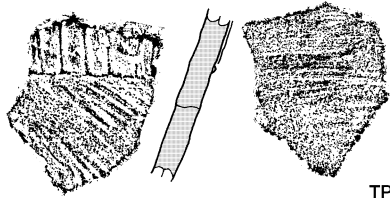
KA3d3



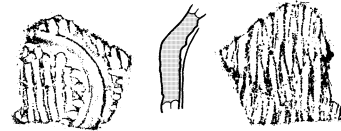
TP808



TP810

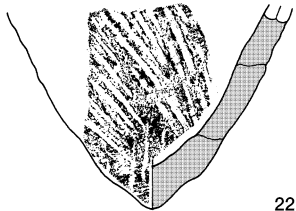


TP812

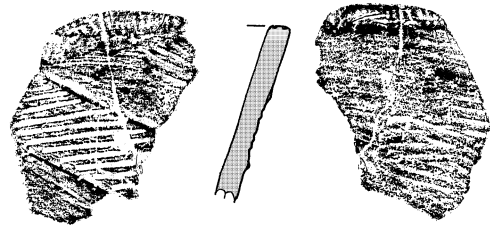


TP813

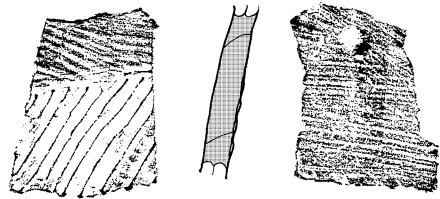
KA3d4



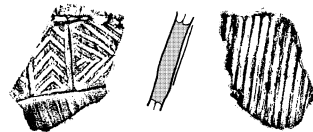
22



TP814



TP146



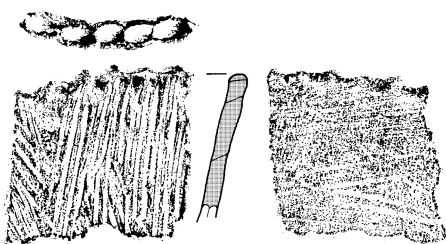
TP147

KA3e1



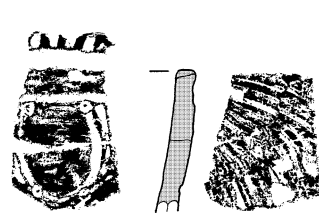
25

KA3e2



TP13

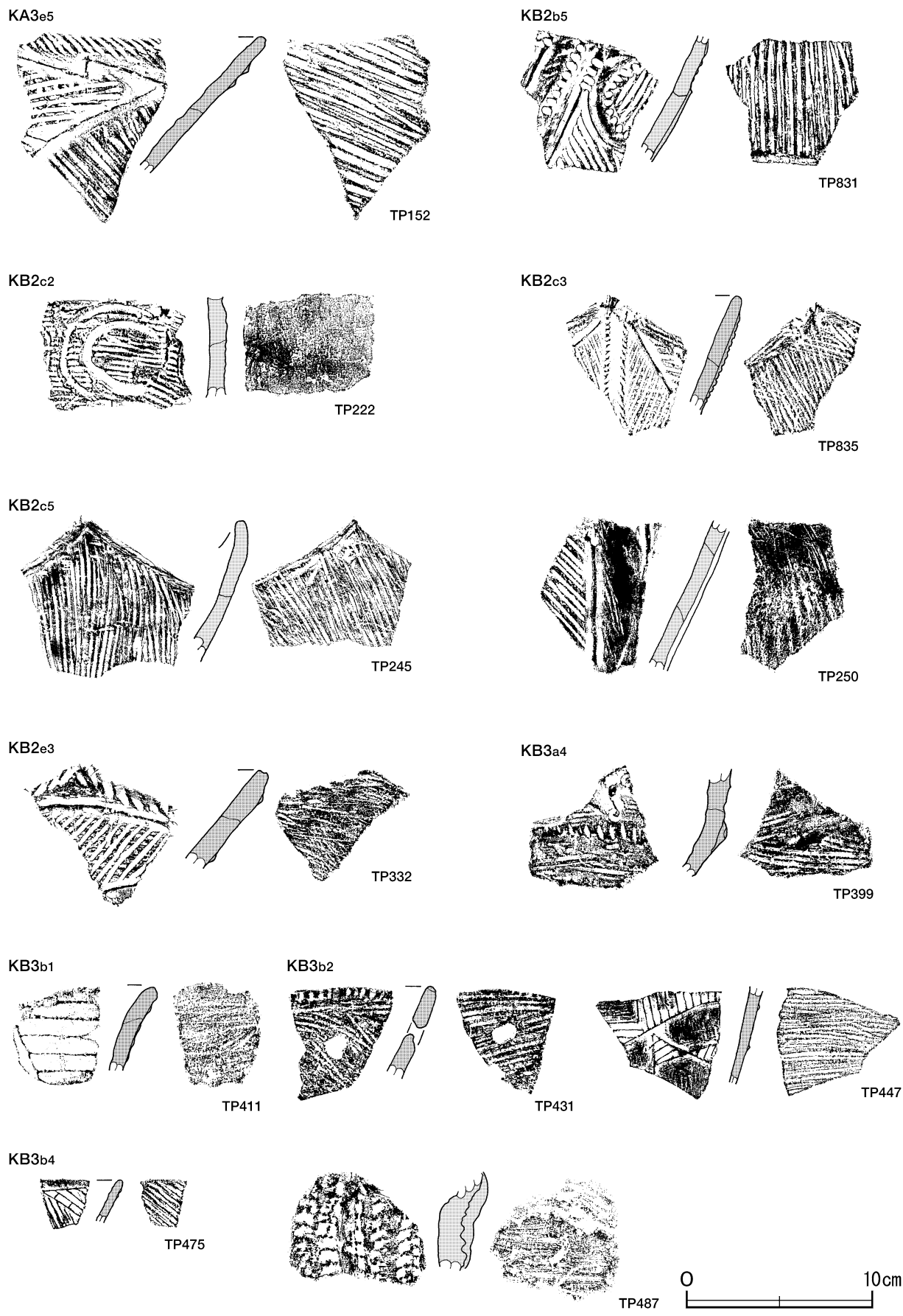
KA3e3



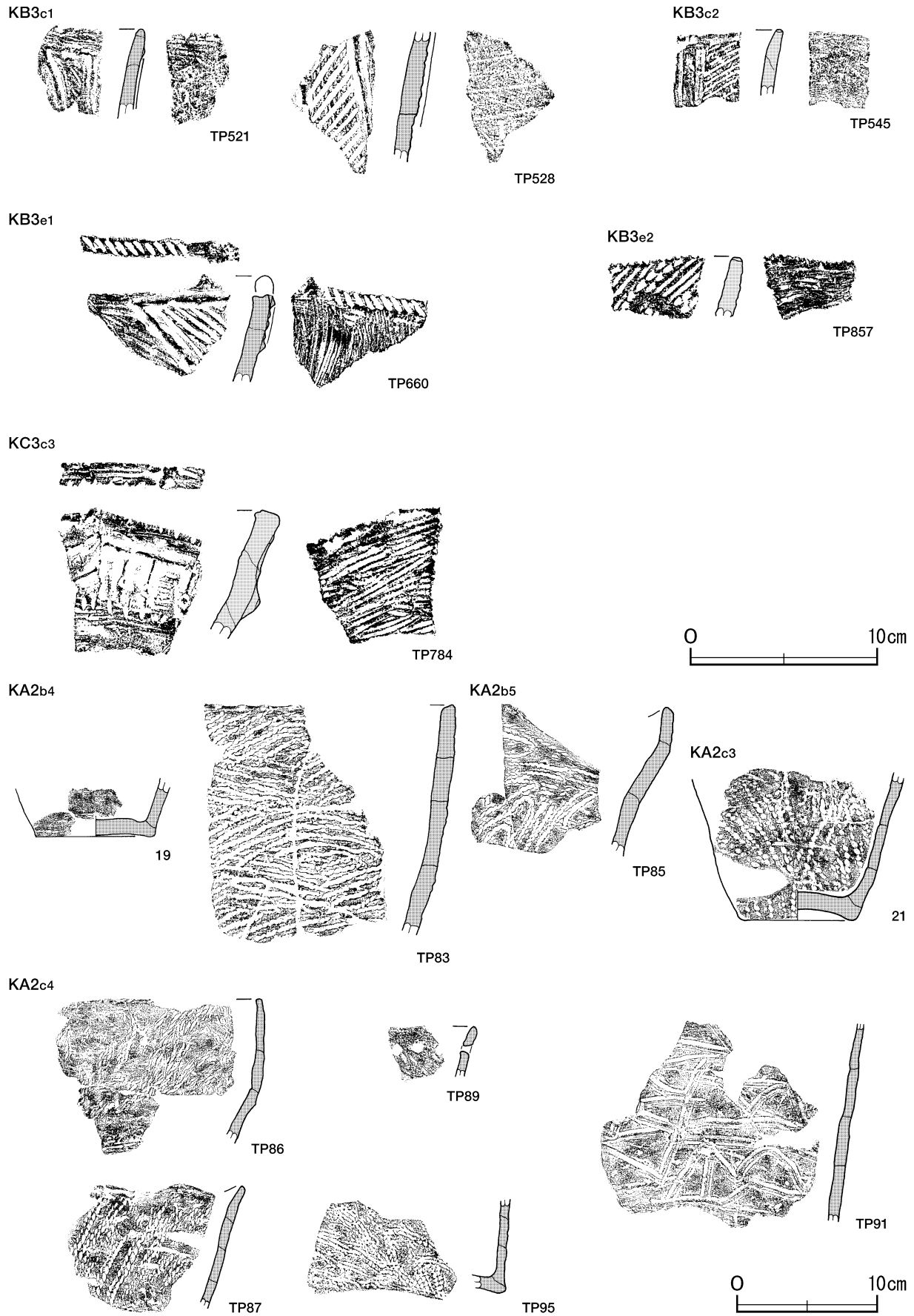
TP134



第174图 斜面具層出土遺物実測図(2)

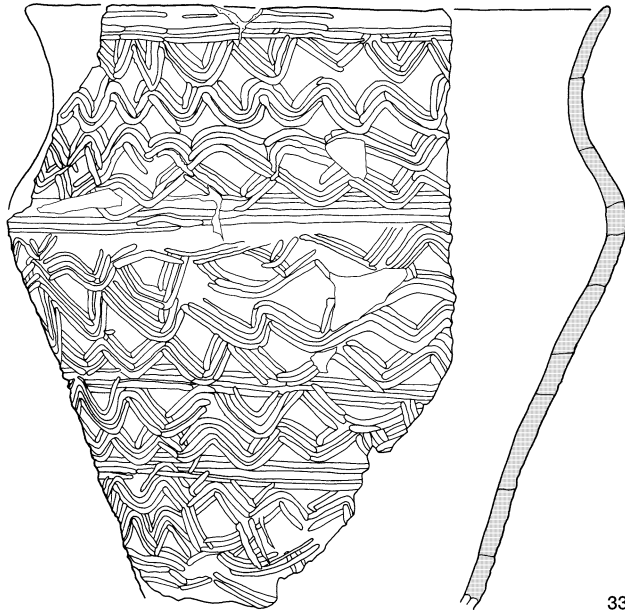


第175図 斜面貝層出土遺物実測図(3)

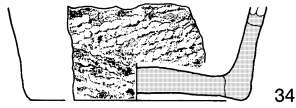


第176図 斜面貝層出土遺物実測図(4)

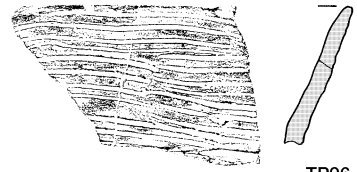
KA2c5



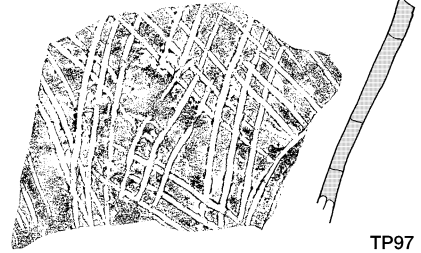
33



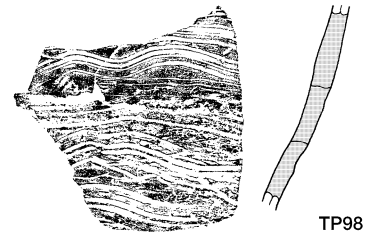
34



TP96



TP97

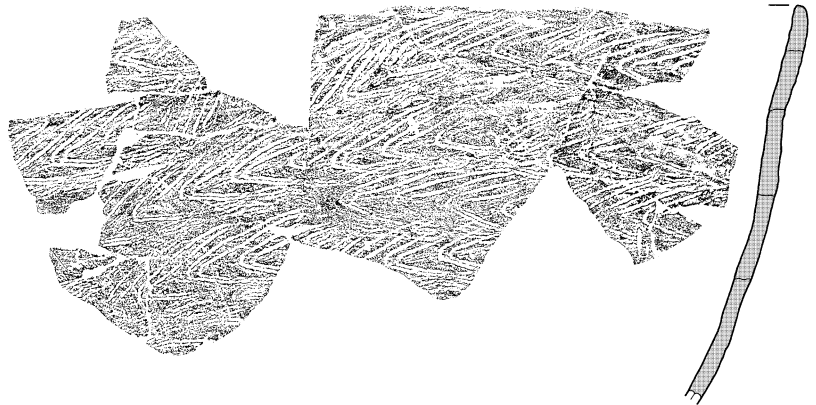


TP98

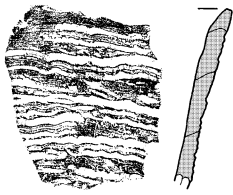
KA2d4



18



TP61



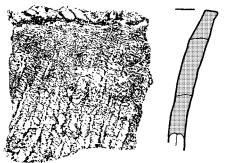
TP62



TP63



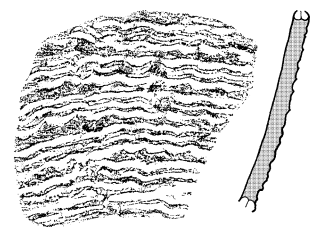
TP64



TP65



TP67



TP66

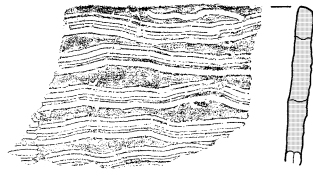


第177图 斜面貝層出土遺物実測图(5)

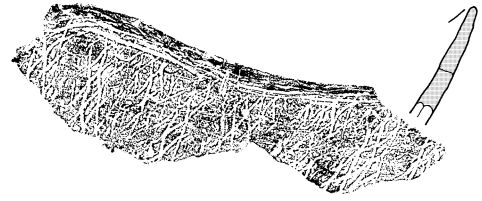
KA2d5



324

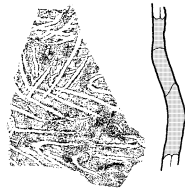


TP1

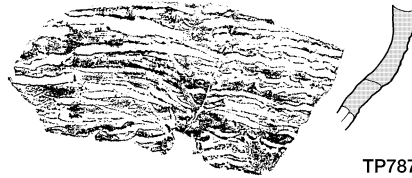


TP785

KA2e2



TP2

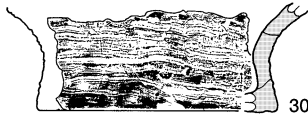


TP787

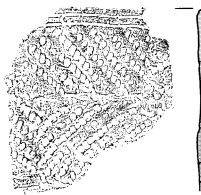


TP23

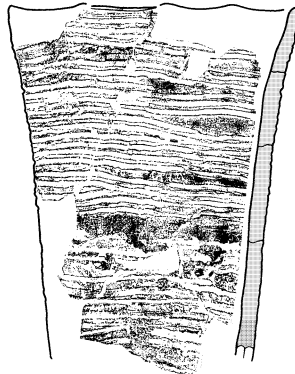
KA2e3



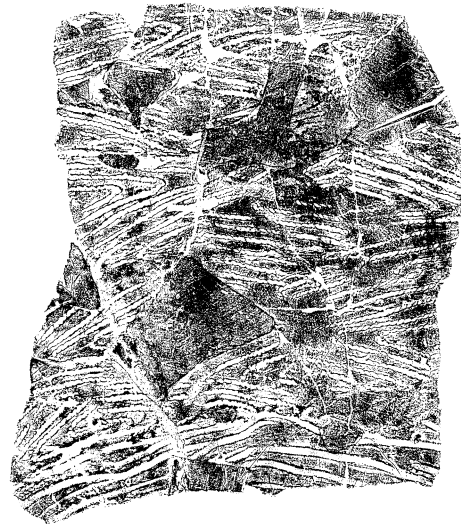
30



TP6



29



TP3

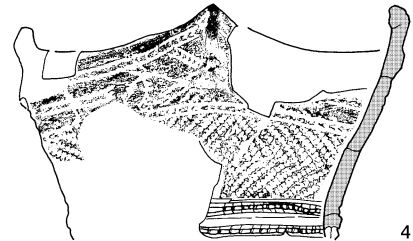


TP4

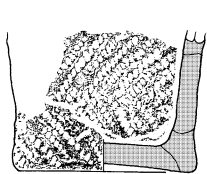


TP789

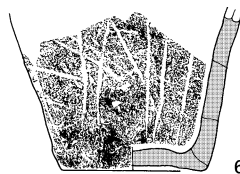
KA2e4



4



5



6



7



第178図 斜面貝層出土遺物実測図(6)

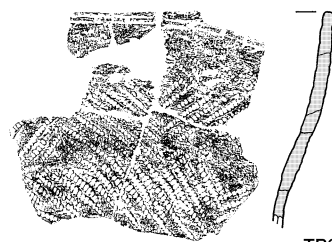
KA2e4



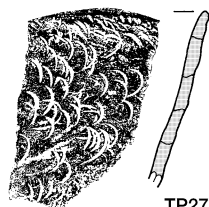
TP24



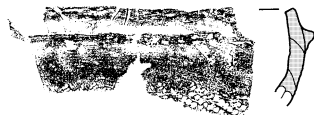
TP25



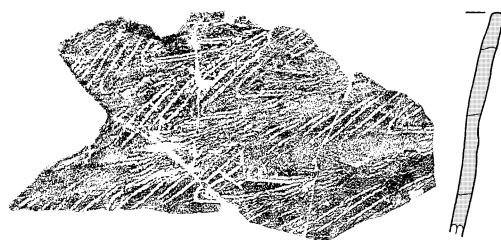
TP26



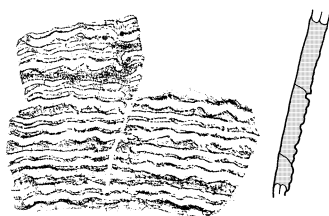
TP27



TP28



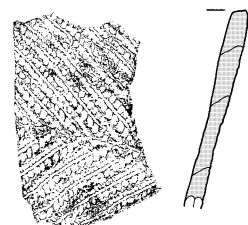
TP29



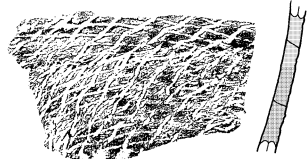
TP30



TP31



TP33

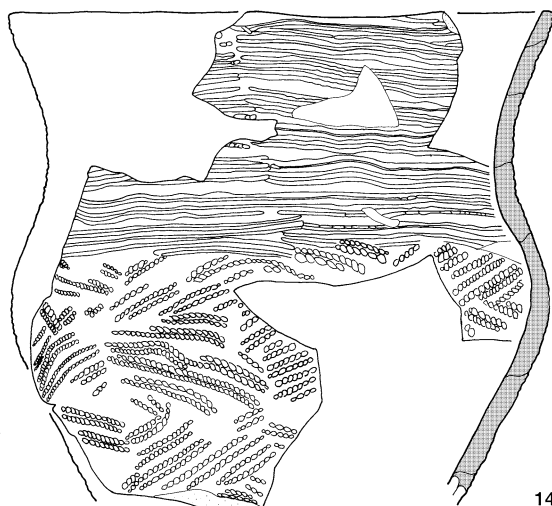


TP32

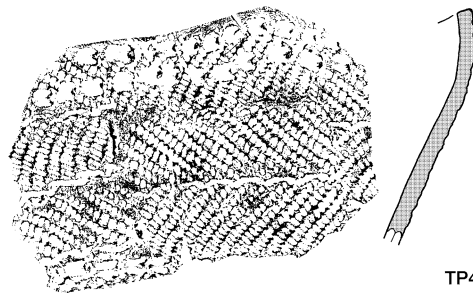


TP367

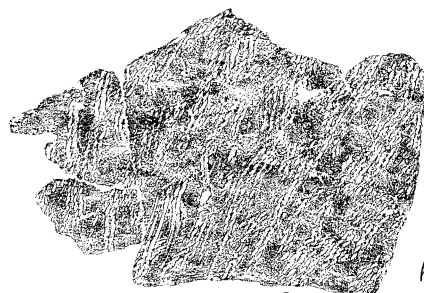
KA2e5



14



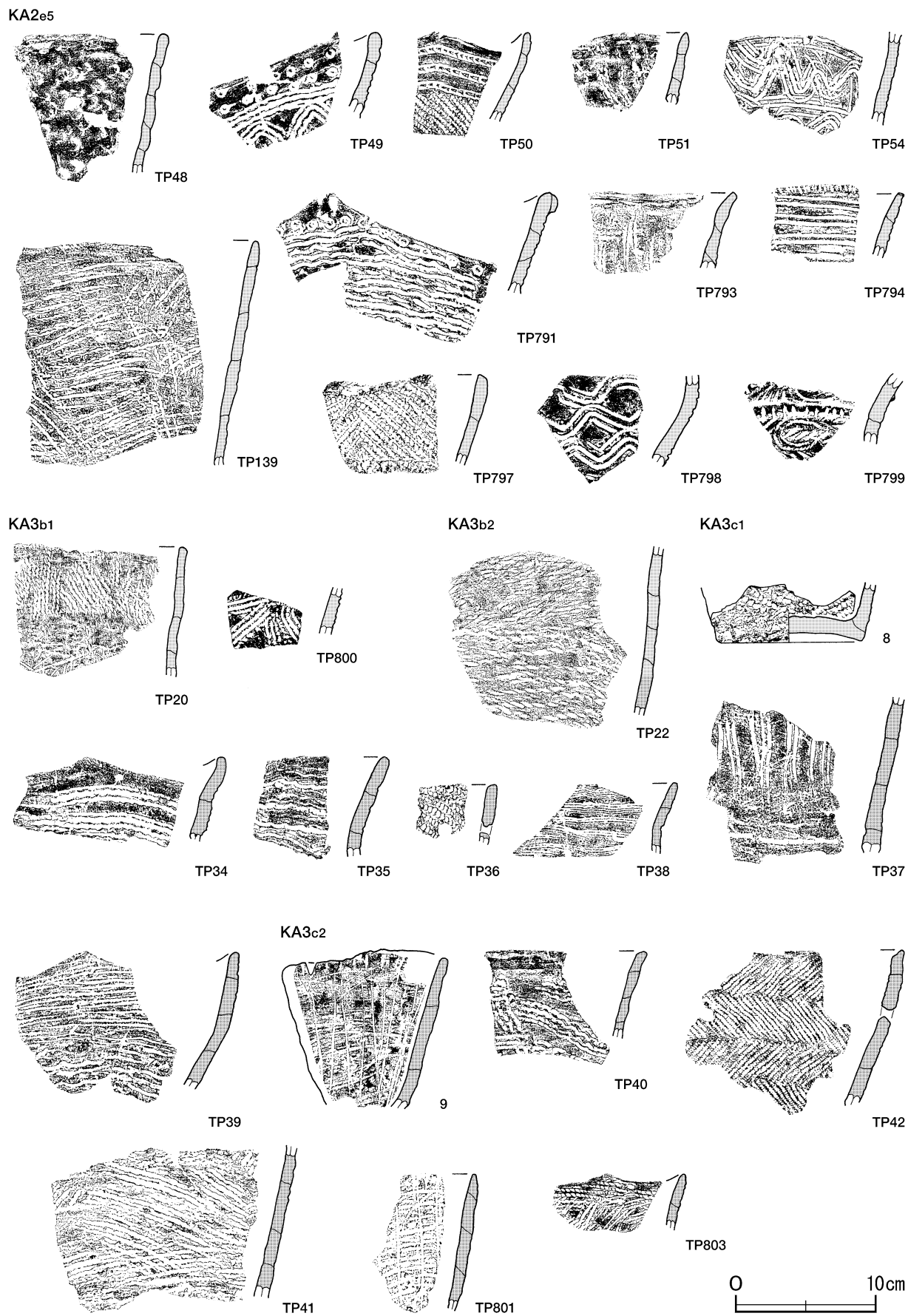
TP47



TP53

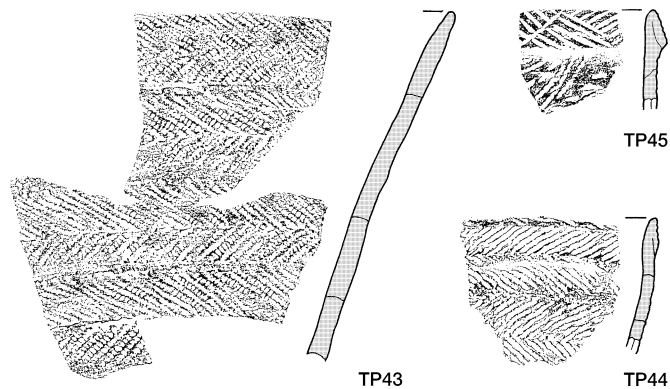


第179図 斜面貝層出土遺物実測図(7)

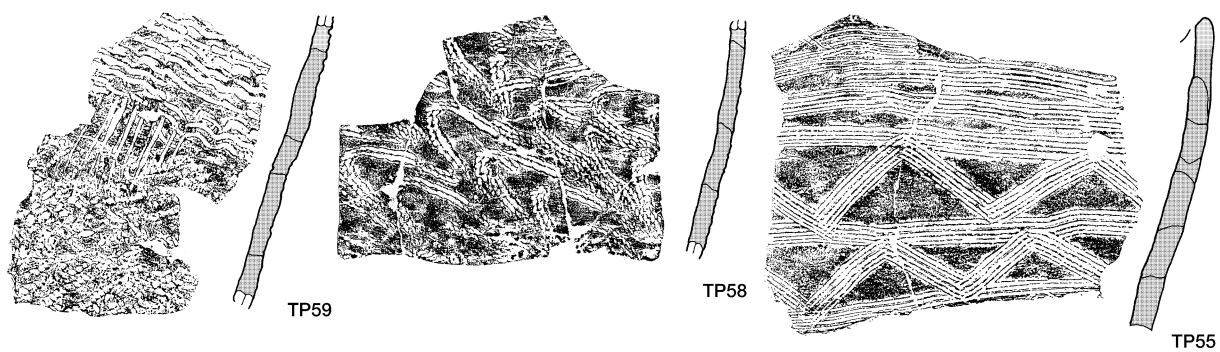
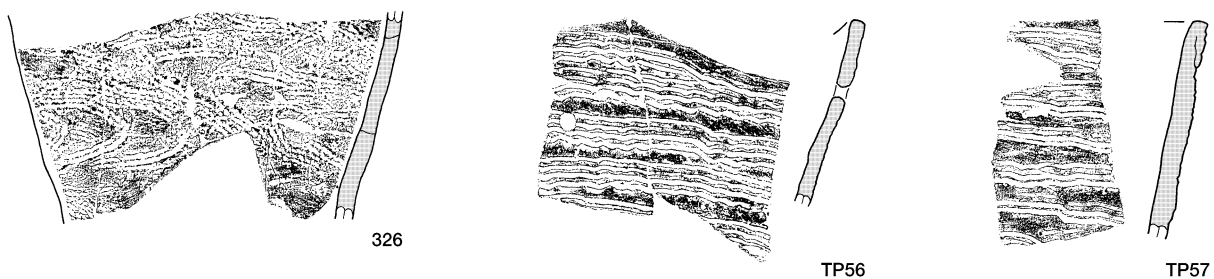
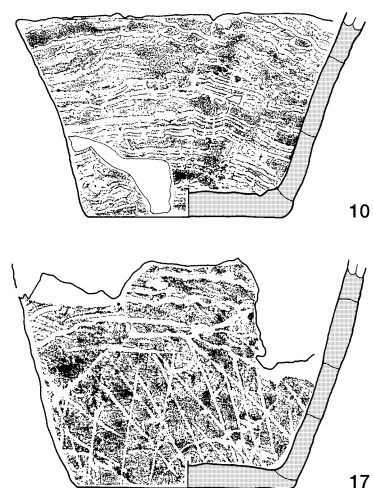


第180圖 斜面貝層出土遺物実測図(8)

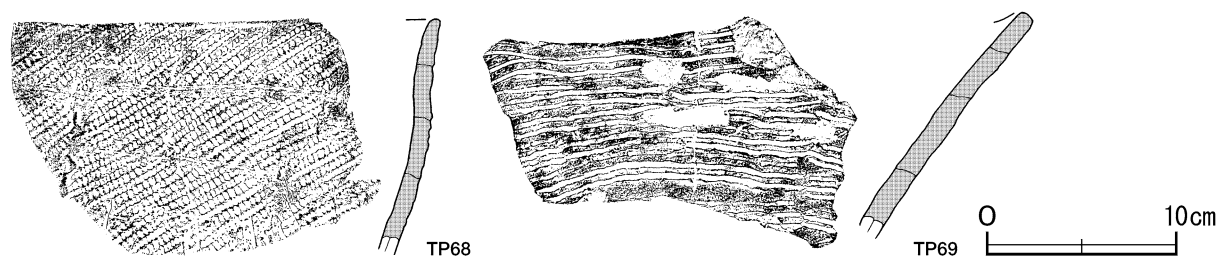
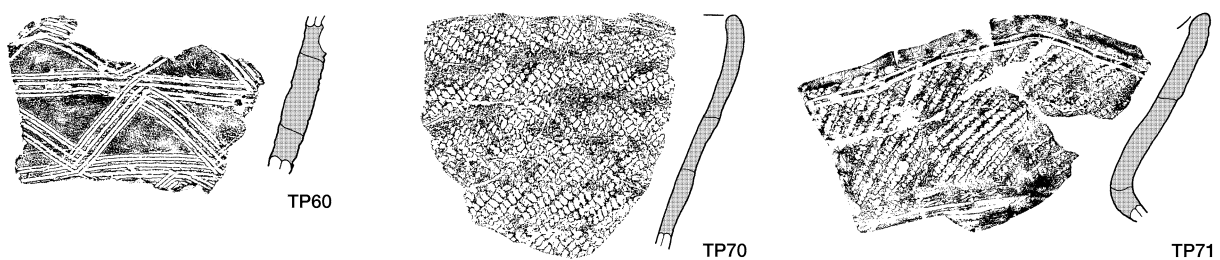
KA3c3



KA3d1

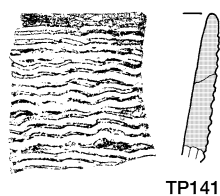


KA3d2

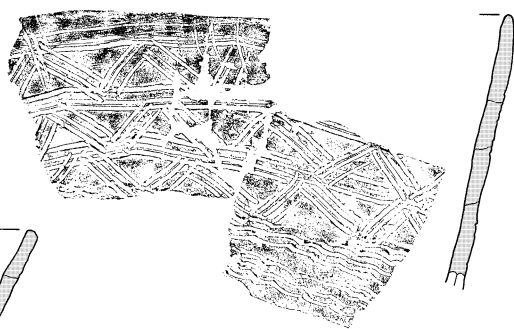


第181图 斜面貝層出土遺物実測図(9)

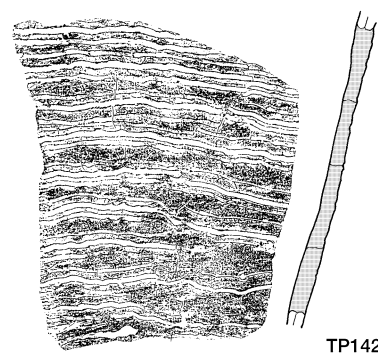
KA3d2



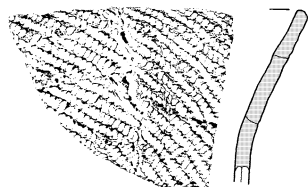
TP141



TP140

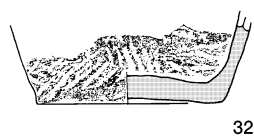


TP142



TP72

KA3d3



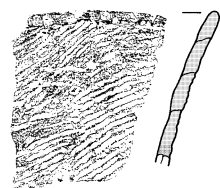
32



TP74



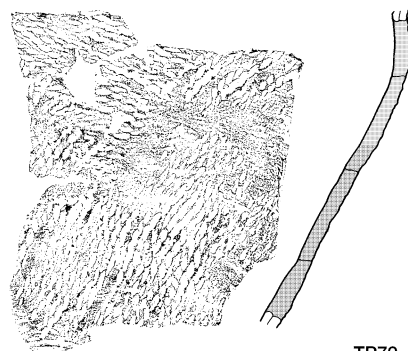
TP75



TP76



TP73



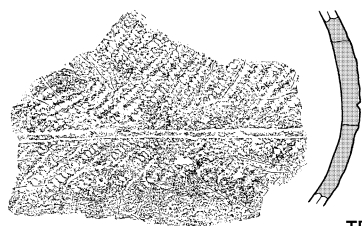
TP79



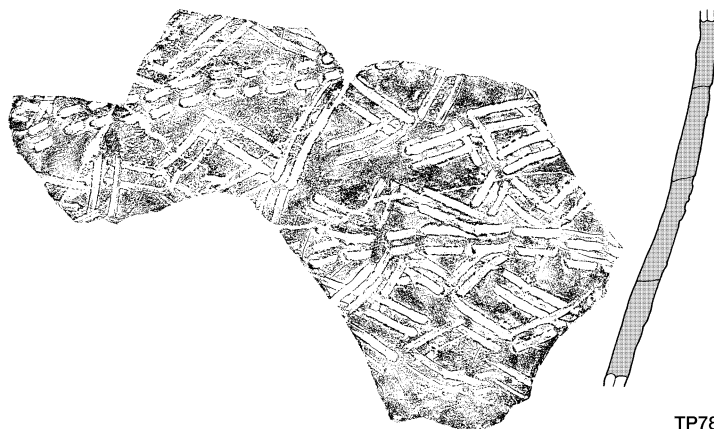
TP77



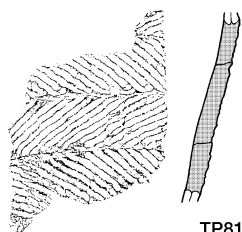
TP82



TP80



TP78

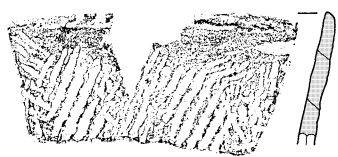


TP81



第182图 斜面貝層出土遺物実測図(10)

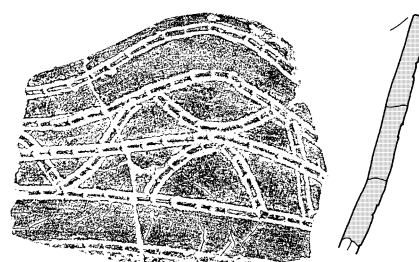
KA3d3



TP805



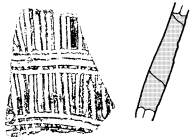
TP807



TP806

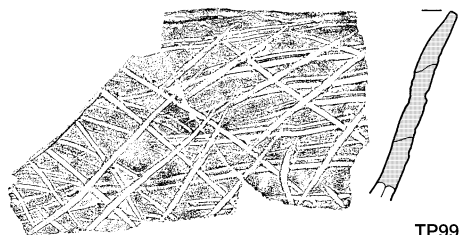


TP809



TP811

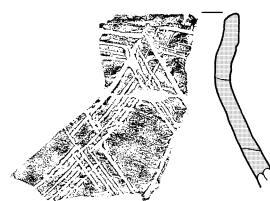
KA3d4



TP99



TP100



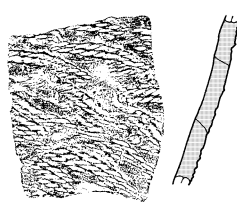
TP101



TP102



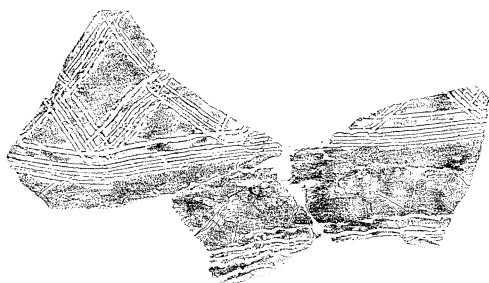
TP105



TP104



TP145

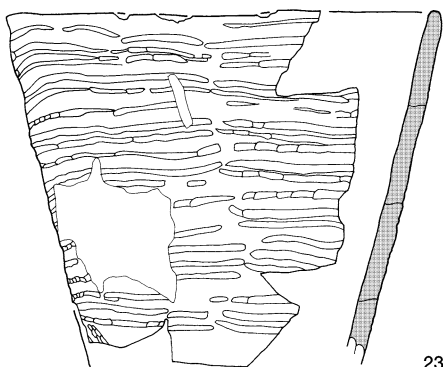


TP144

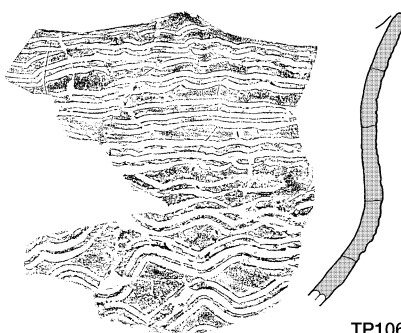


TP103

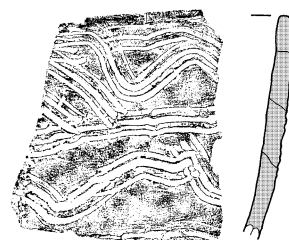
KA3e1



23



TP106

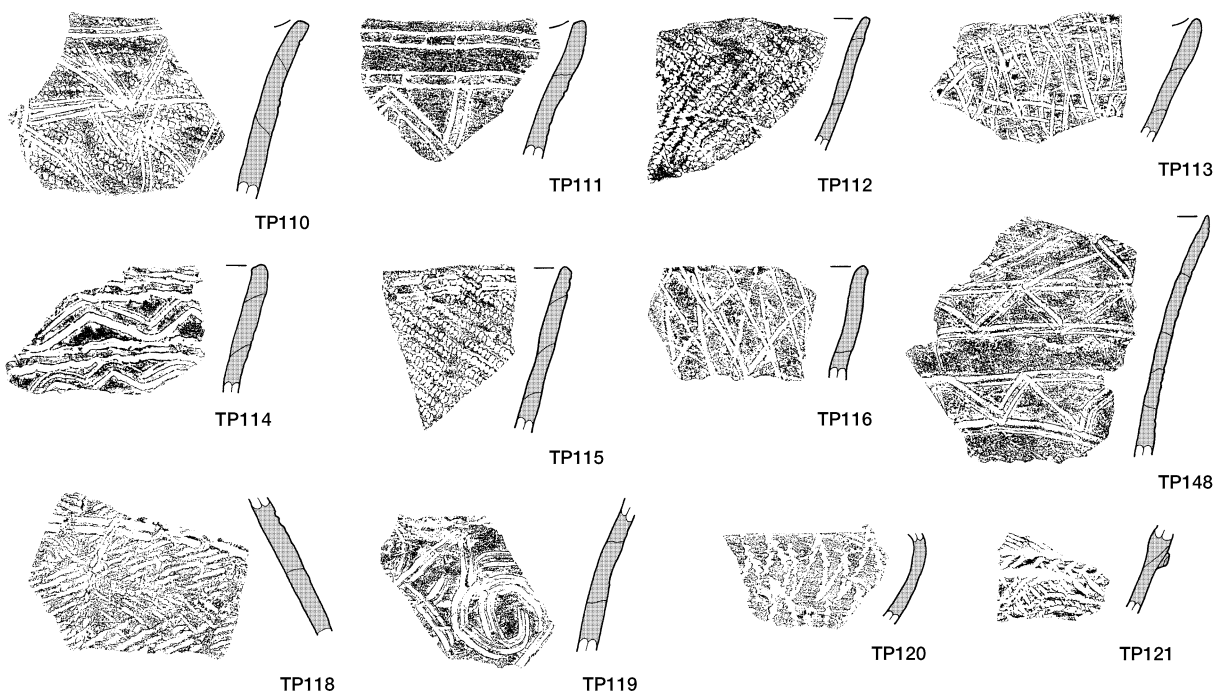


TP108

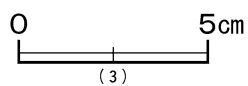
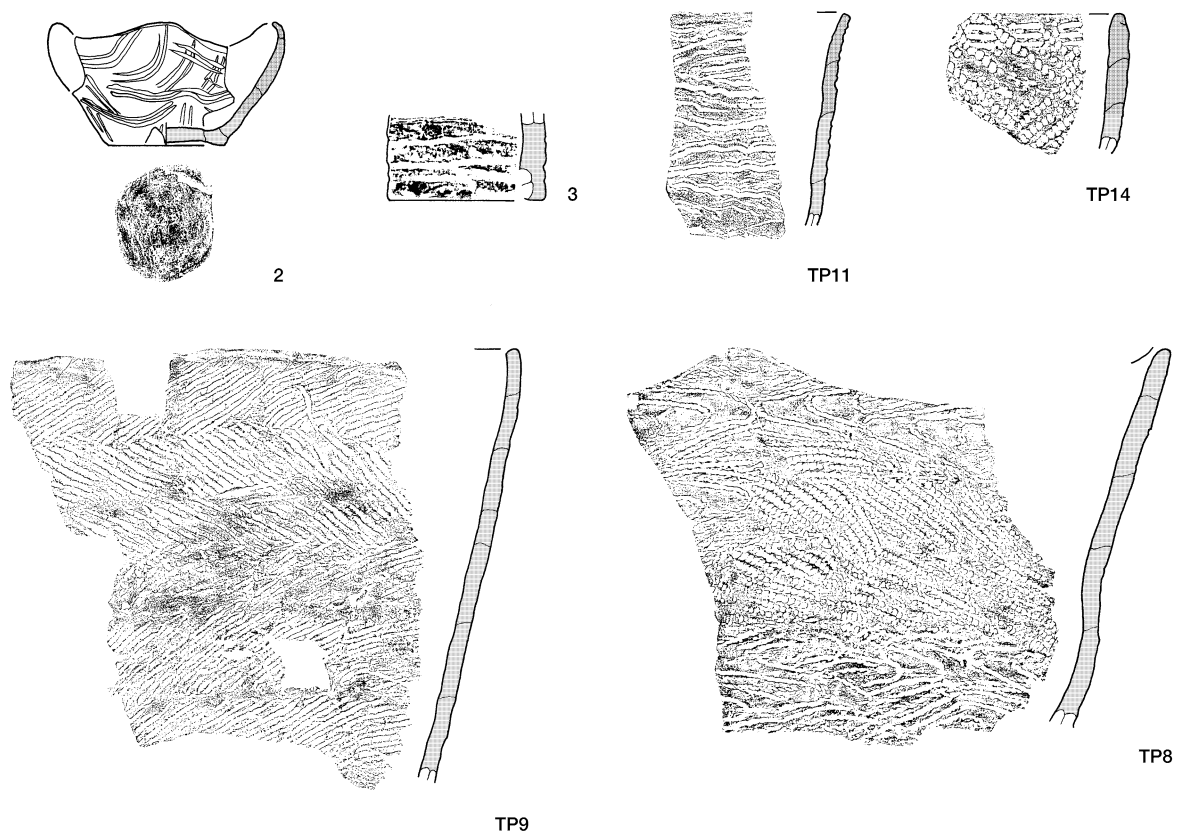


第183圖 斜面貝層出土遺物実測図(11)

KA3e1

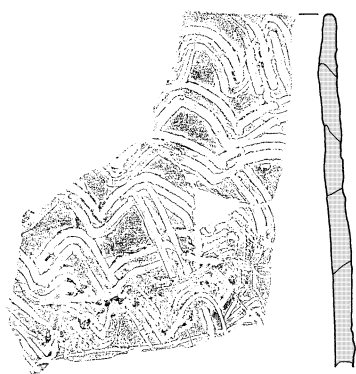


KA3e2



第184图 斜面貝層出土遺物実測図(12)

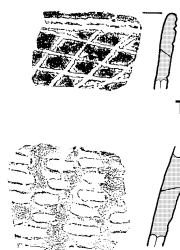
KA3e2



TP12



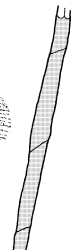
TP15



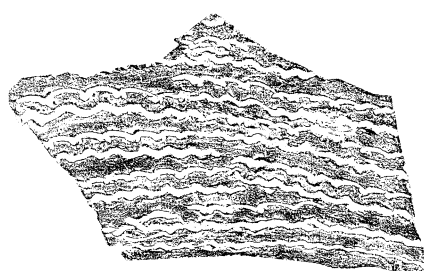
TP815



TP19



TP18

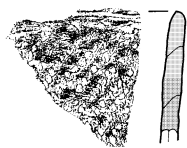


TP16

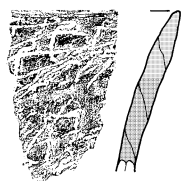
KA3e3



TP125



TP126



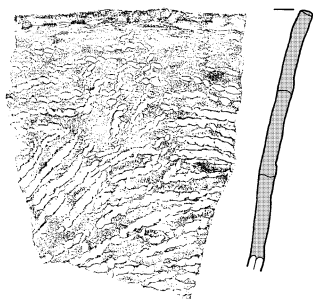
TP127



TP128



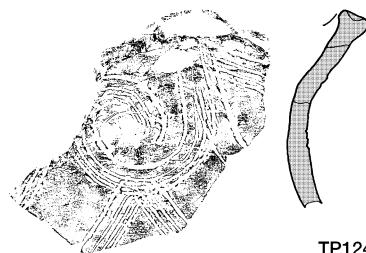
TP129



TP122



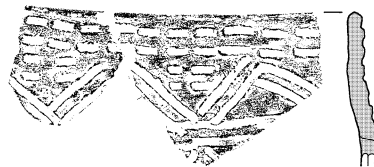
TP123



TP124



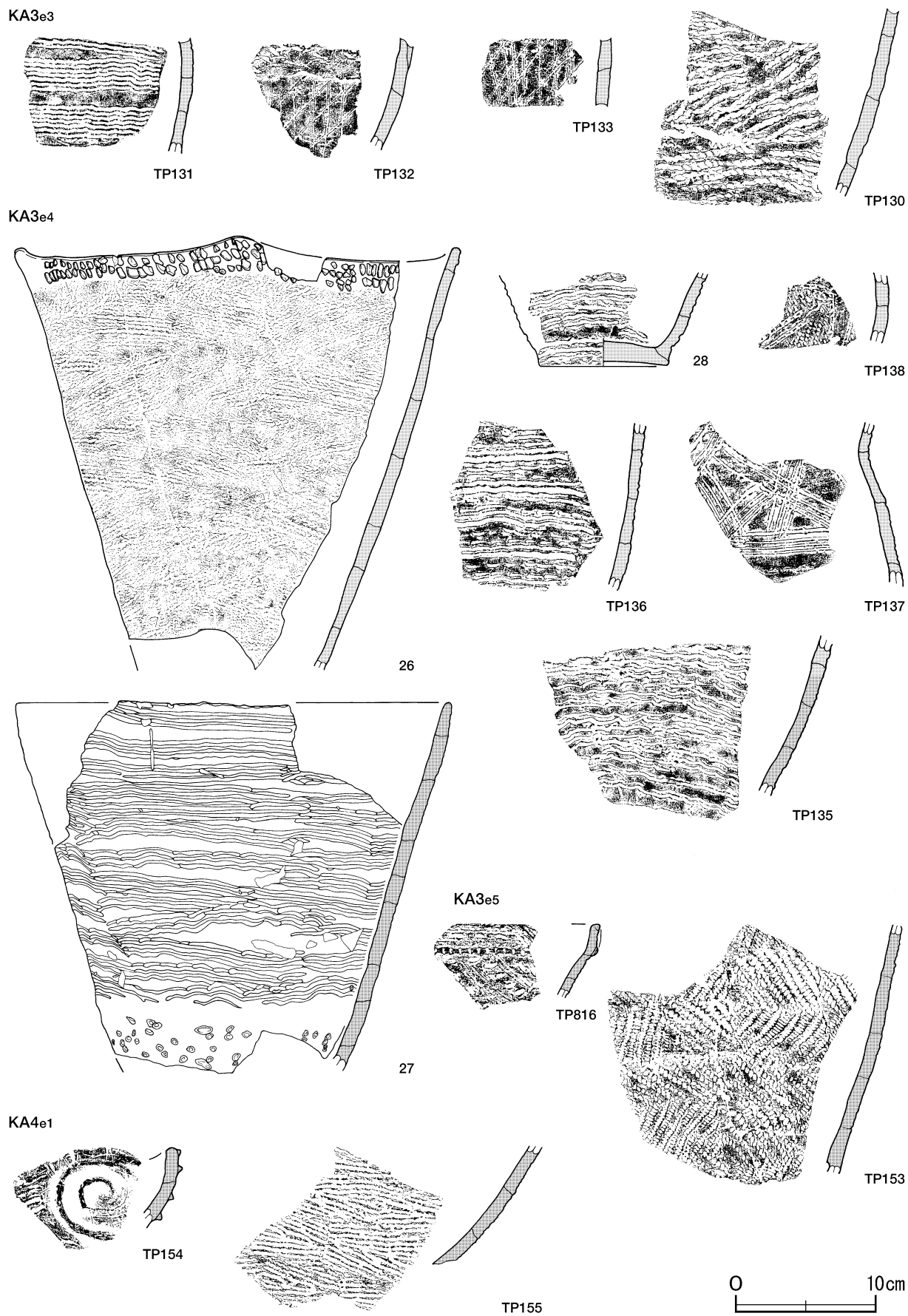
TP149



TP150



第185圖 斜面貝層出土遺物実測図(13)

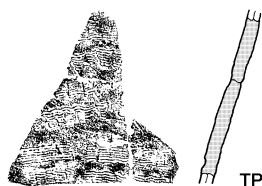


第186圖 斜面貝層出土遺物実測図(14)

KB2a2



47

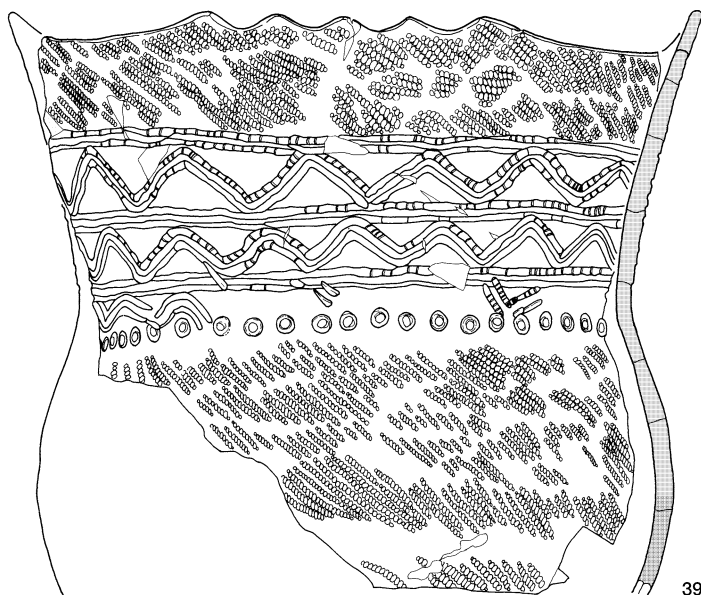


TP157

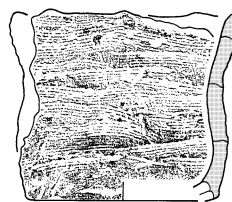


TP156

KB2a3



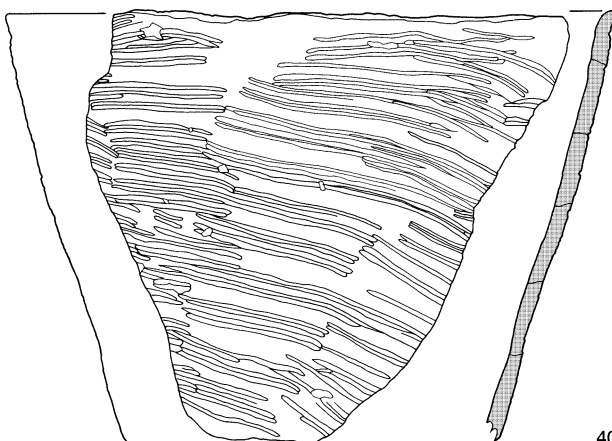
39



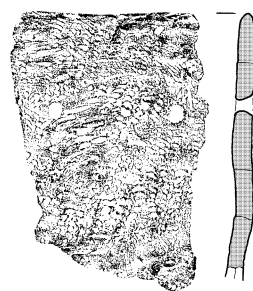
41



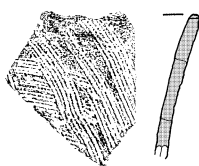
42



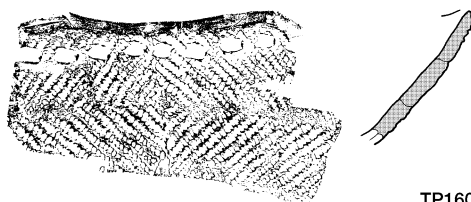
40



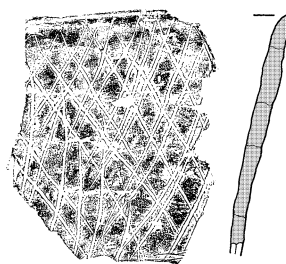
TP158



TP163



TP160

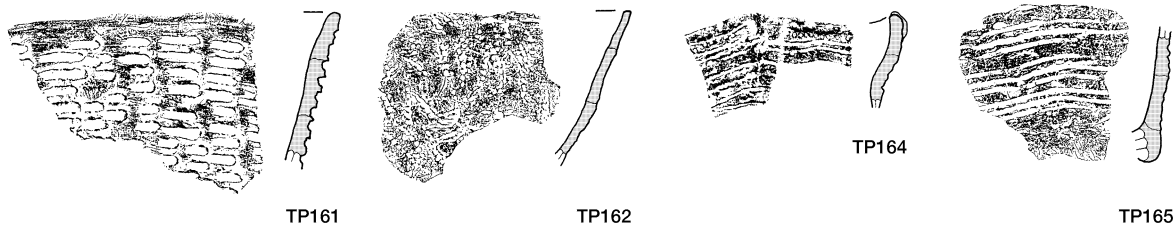


TP159

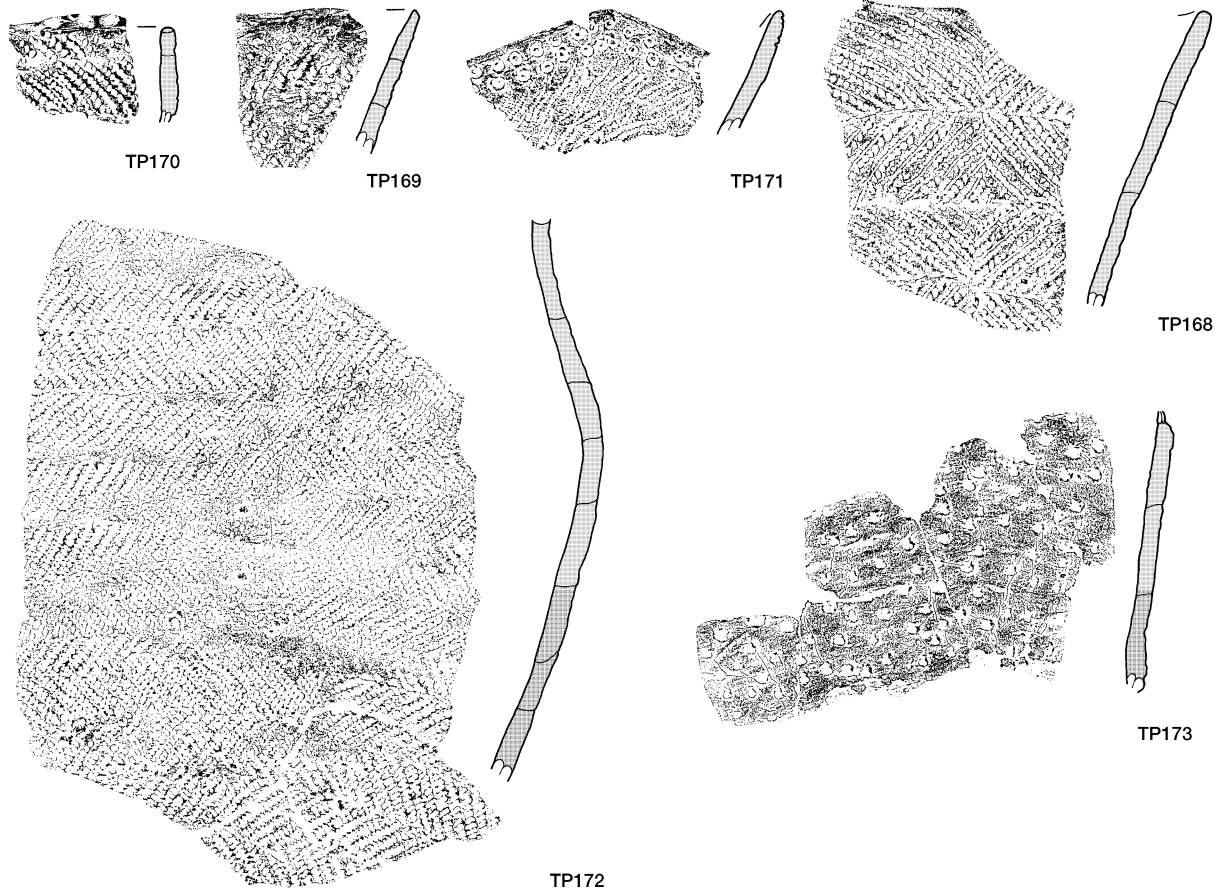


第187图 斜面貝層出土遺物実測図(15)

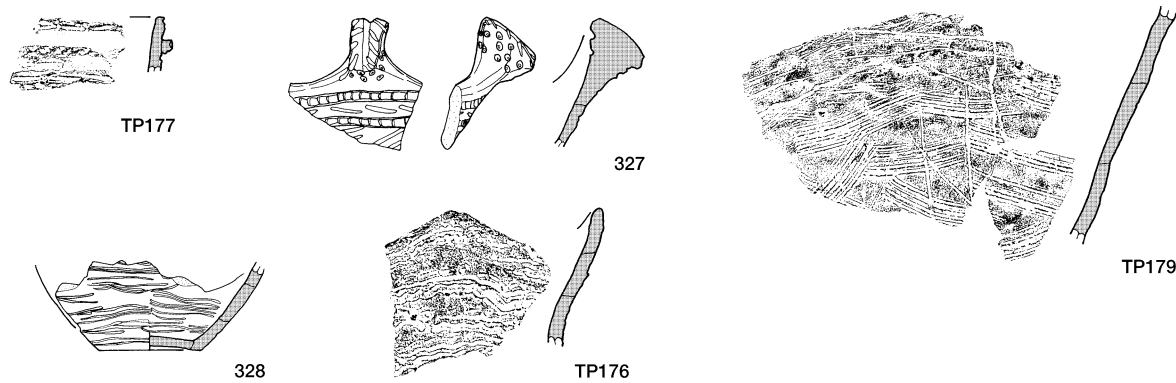
KB2a3



KB2a4



KB2a5

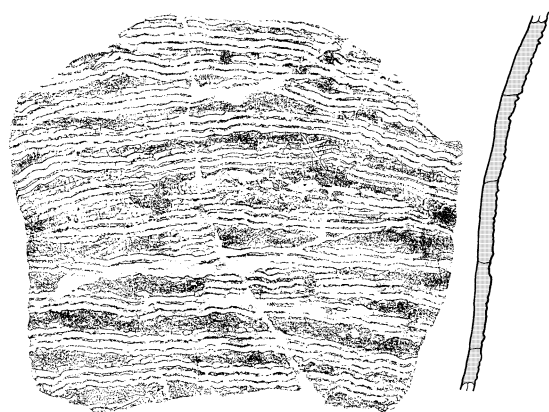


第188圖 斜面貝層出土遺物実測図(16)

KB2a5



TP174



TP178

KB2b1

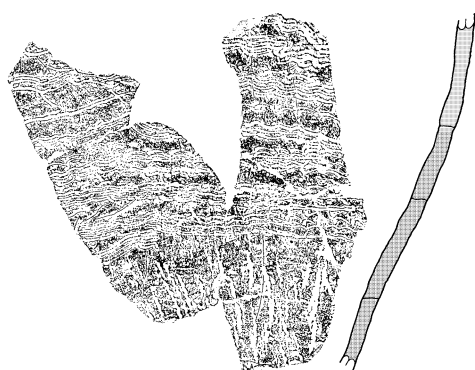


TP180

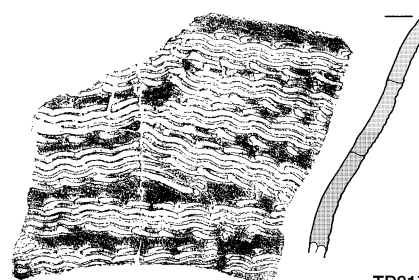
KB2b2



TP181

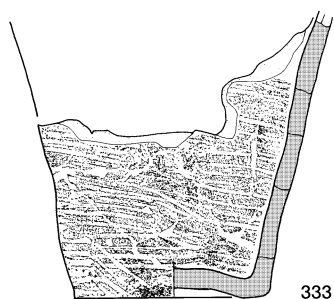


TP182



TP817

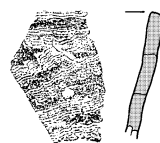
KB2b3



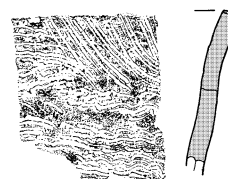
333



TP185



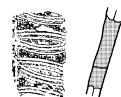
TP186



TP183



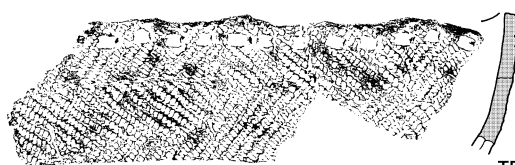
TP187



TP188



332



TP819

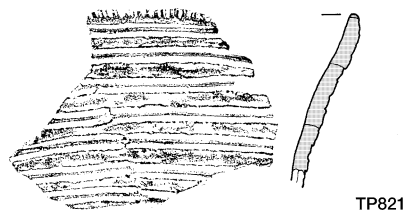


第189圖 斜面貝層出土遺物実測図(17)

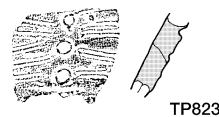
KB2b4



TP191



TP821



TP823



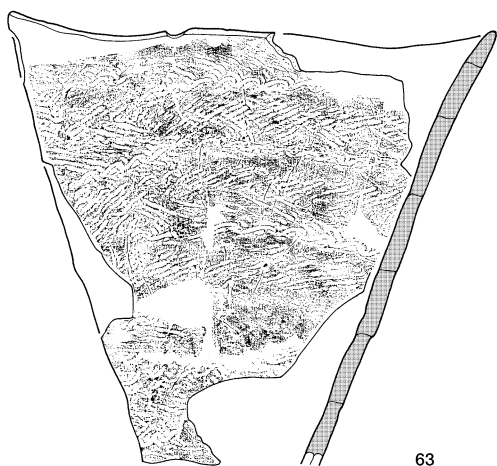
TP824



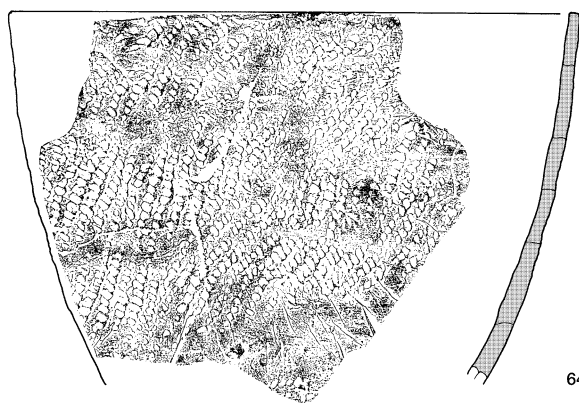
340

334

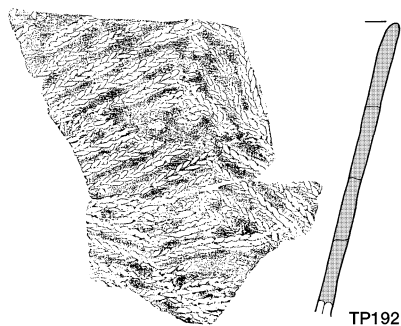
KB2b5



63



64



TP192



341

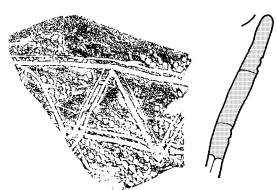


第190図 斜面貝層出土遺物実測図(18)

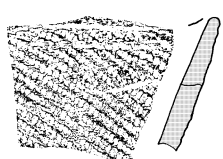
KB2b5



TP829



TP195



TP198



TP828



TP830



TP203



TP832

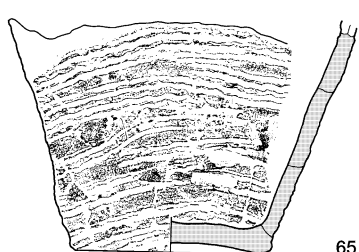


TP833

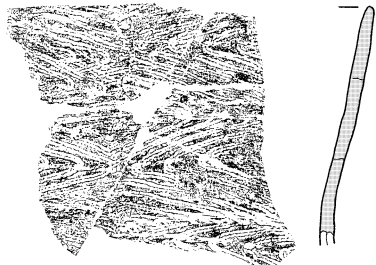


TP202

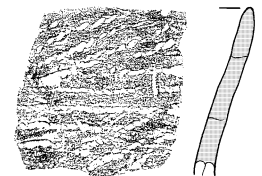
KB2c1



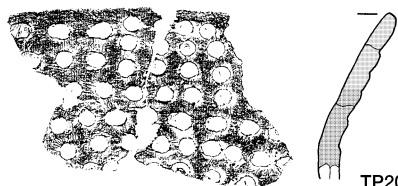
65



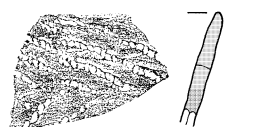
TP204



TP206



TP205

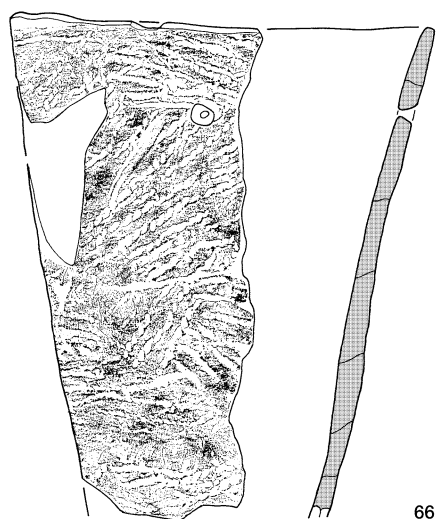


TP207

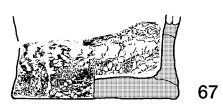


TP208

KB2c2



66



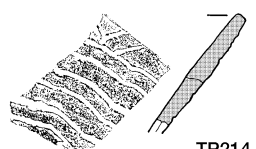
67



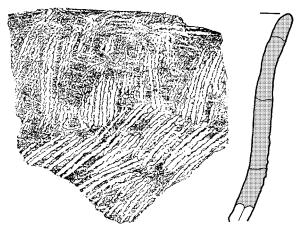
TP212



TP213



TP214

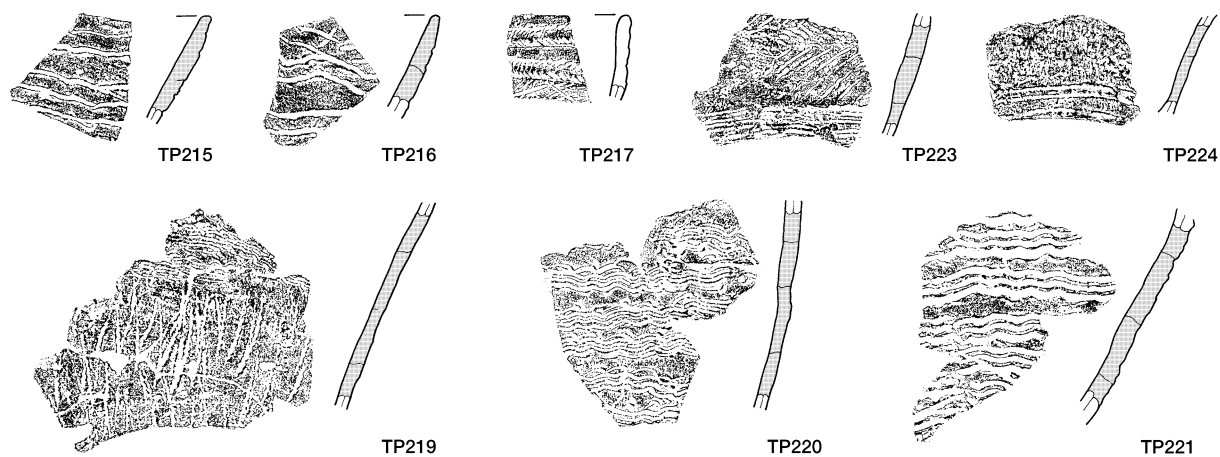


TP211

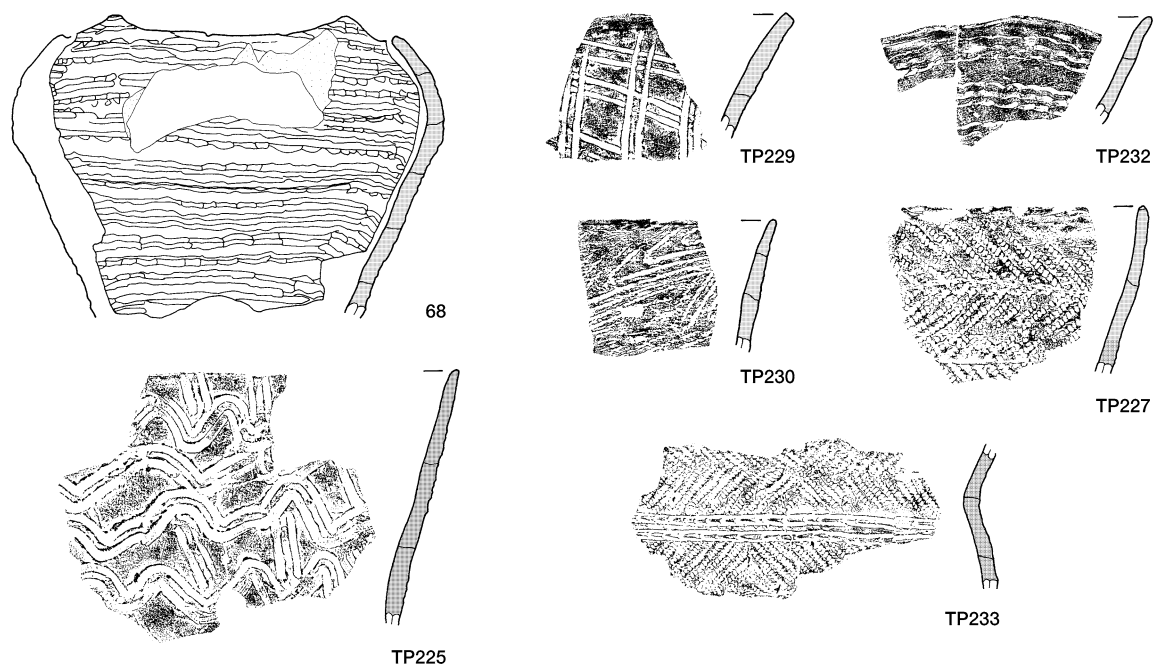


第191图 斜面貝層出土遺物実測図(19)

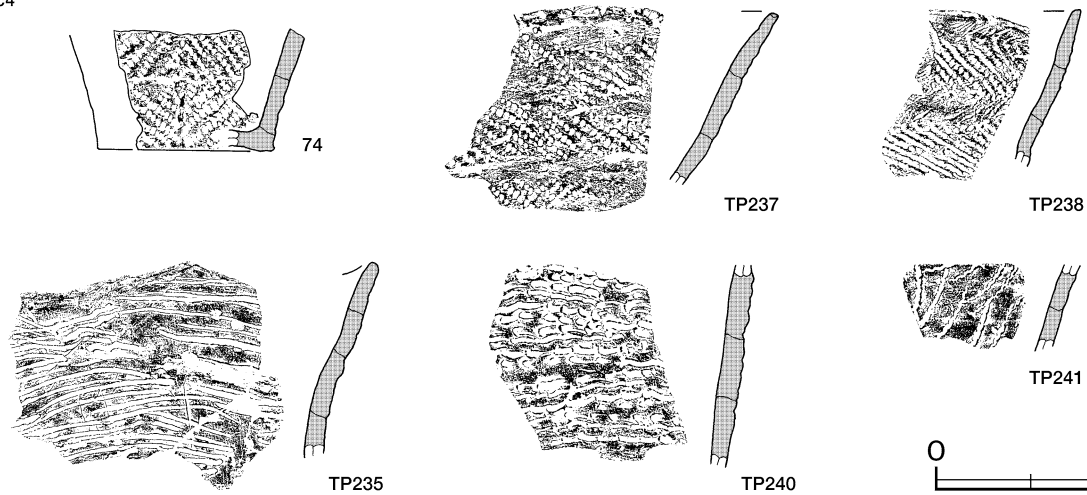
KB2c2



KB2c3

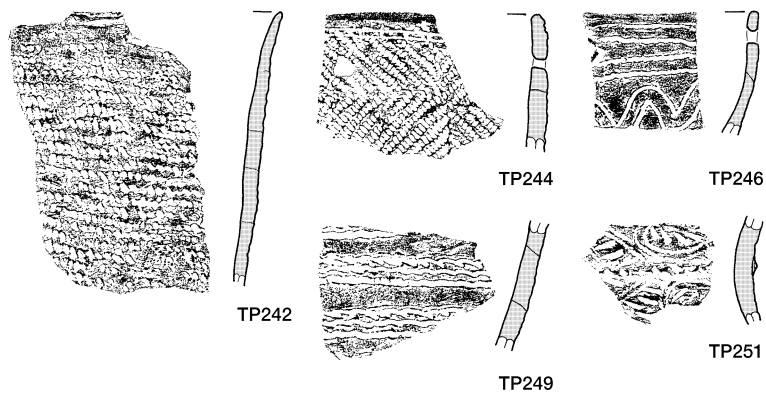


KB2c4

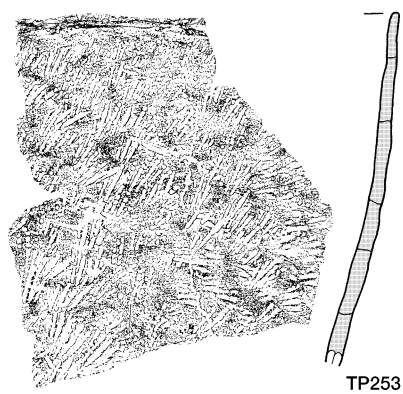


第192图 斜面貝層出土遺物実測図(20)

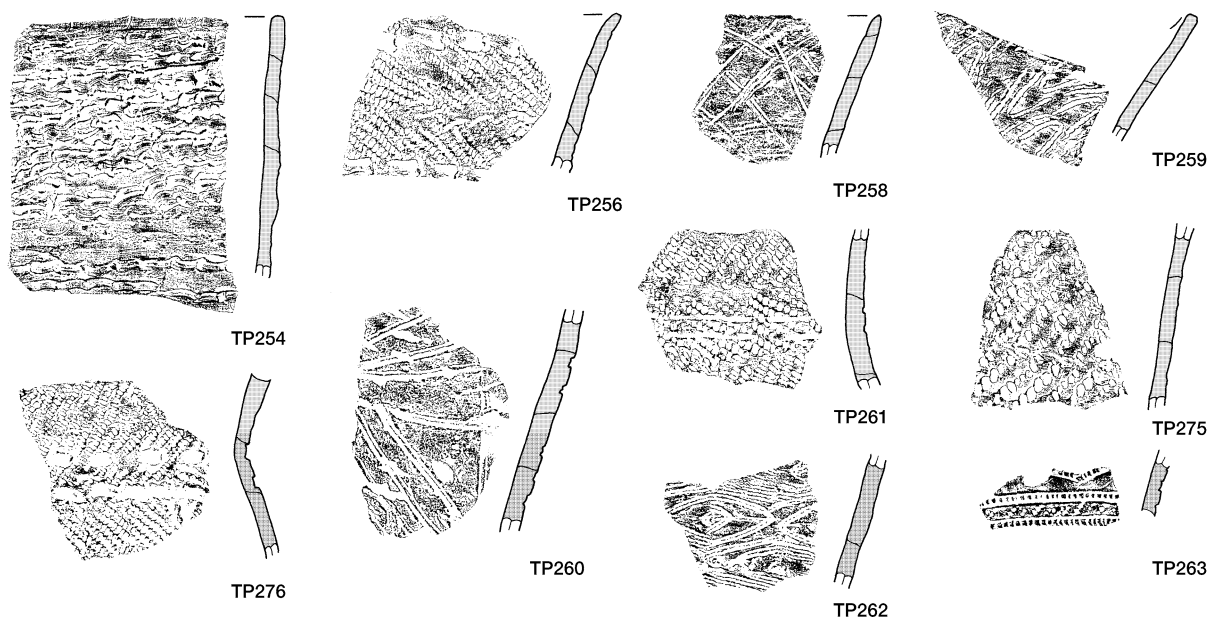
KB2c5



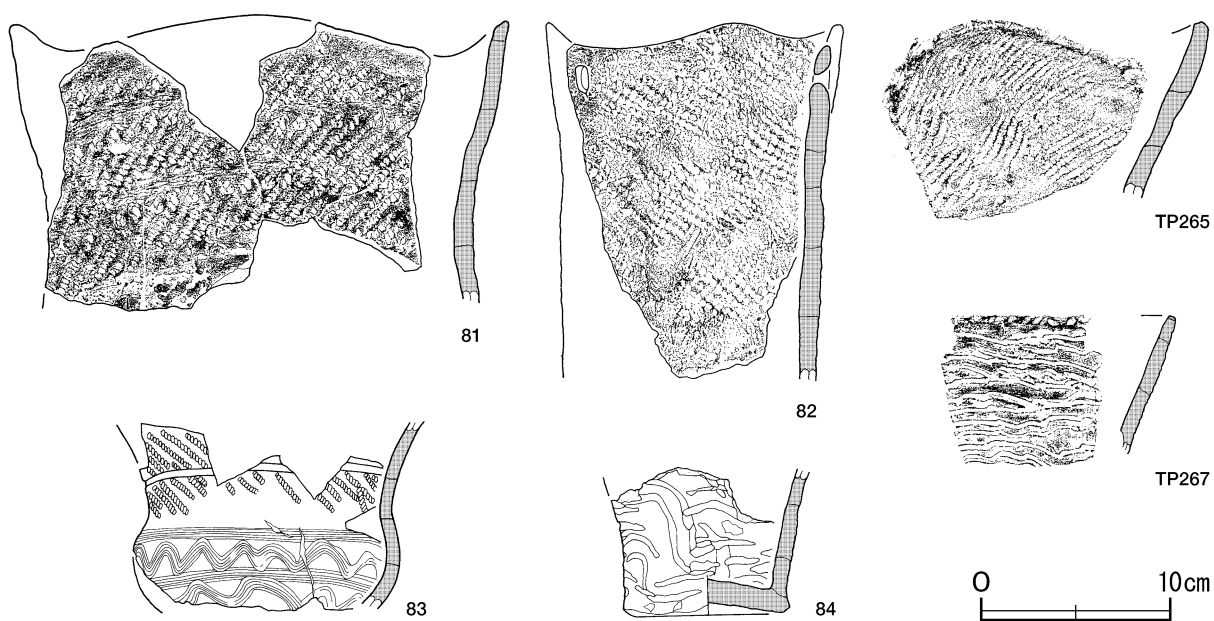
KB2d1



KB2d2



KB2d3

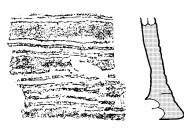


第193圖 斜面貝層出土遺物実測図(21)

KB2d3



TP270



TP273



TP274

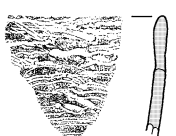


TP836

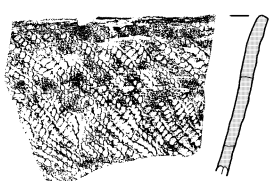
KB2d4



88



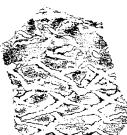
TP284



TP281



TP285

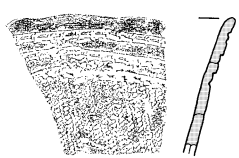


TP289



TP287

KB2d5



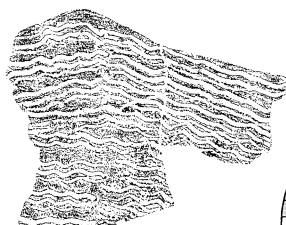
TP291



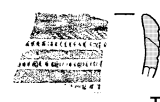
TP292



TP293



TP290

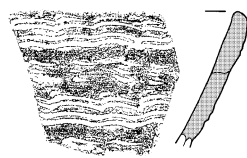


TP294

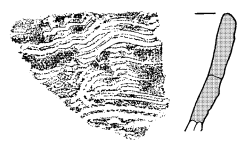


TP298

KB2e2



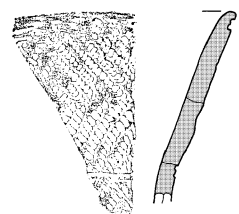
TP308



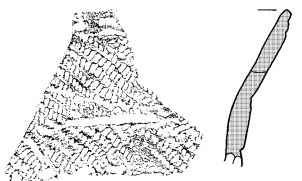
TP310



TP359



TP312



TP311



TP356



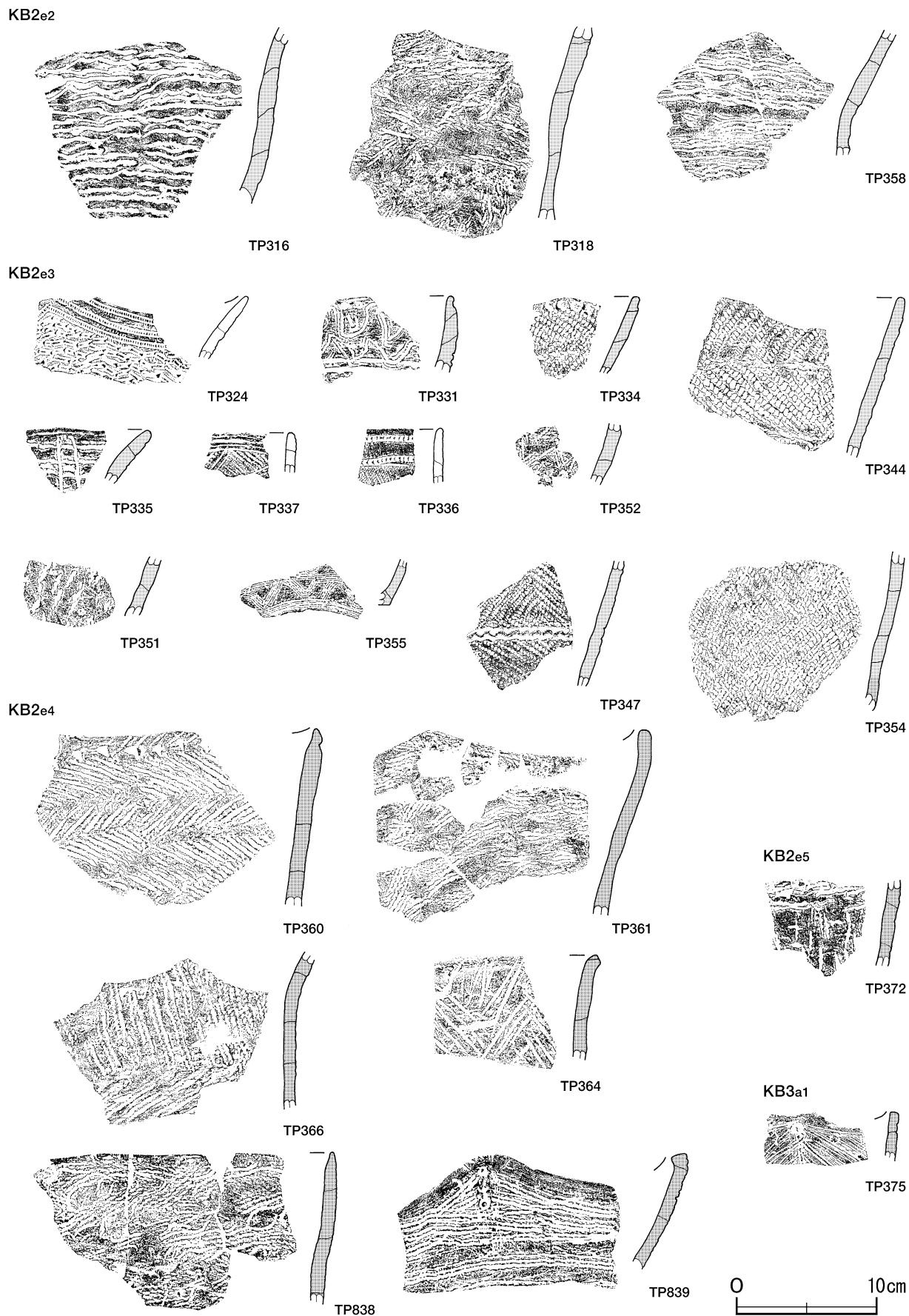
TP303



TP315

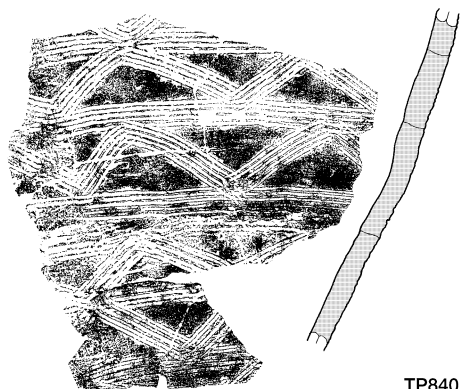


第194图 斜面貝層出土遺物実測図(22)



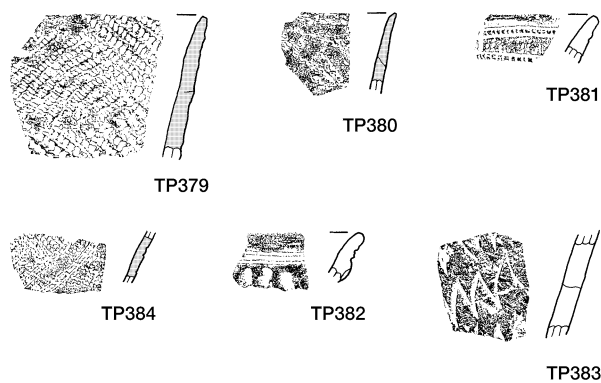
第195図 斜面貝層出土遺物実測図(23)

KB3a1



TP840

KB3a2



TP379

TP380

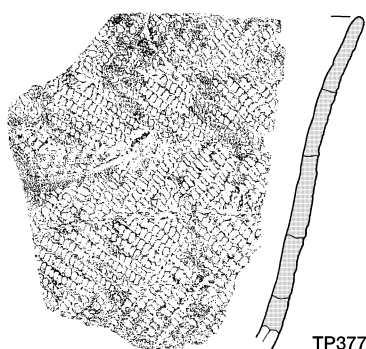
TP381

TP384

TP382

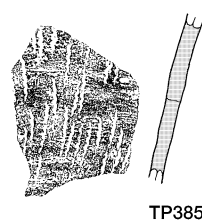
TP383

KB3a3



TP377

KB3a3

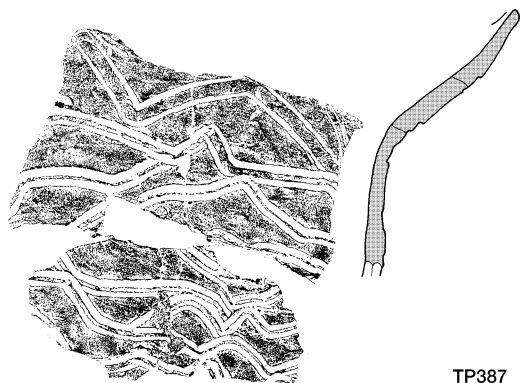


TP385

KB3a4



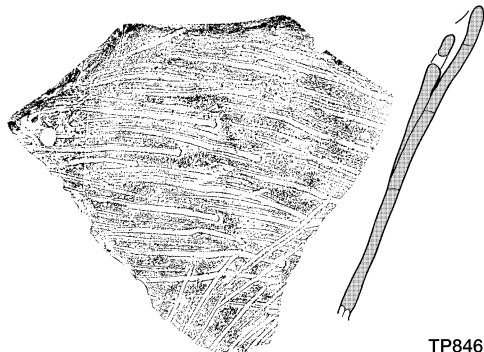
125



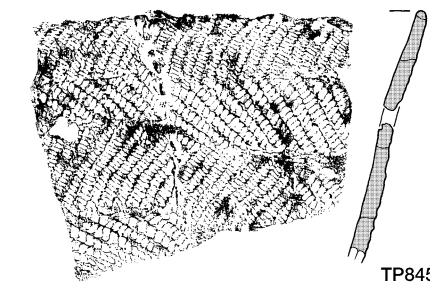
TP387



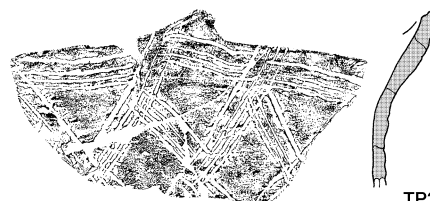
TP844



TP846



TP845

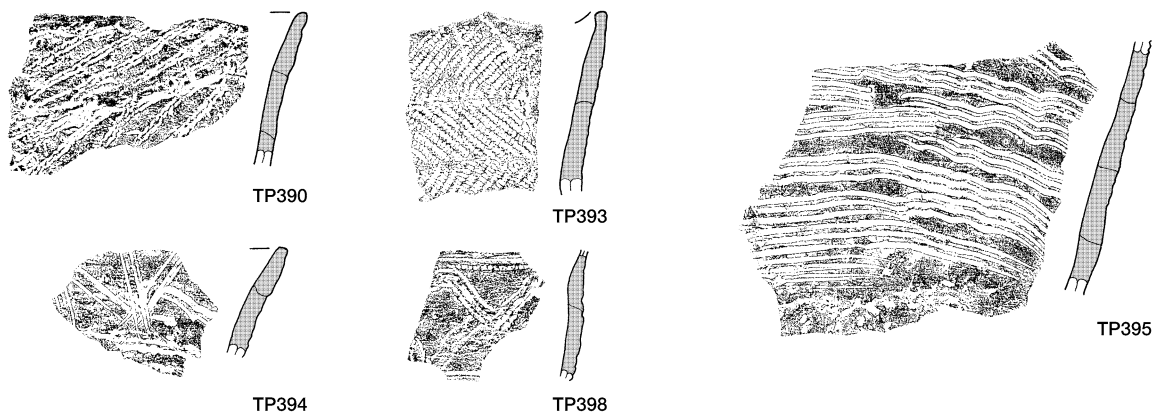


TP388

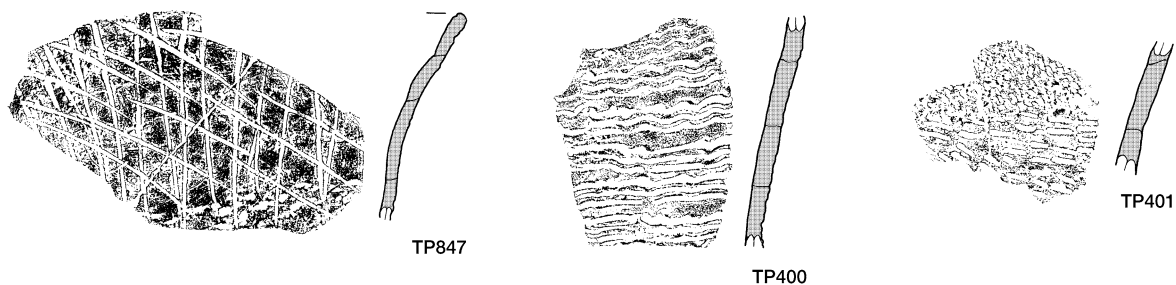


第196图 斜面貝層出土遺物実測図(24)

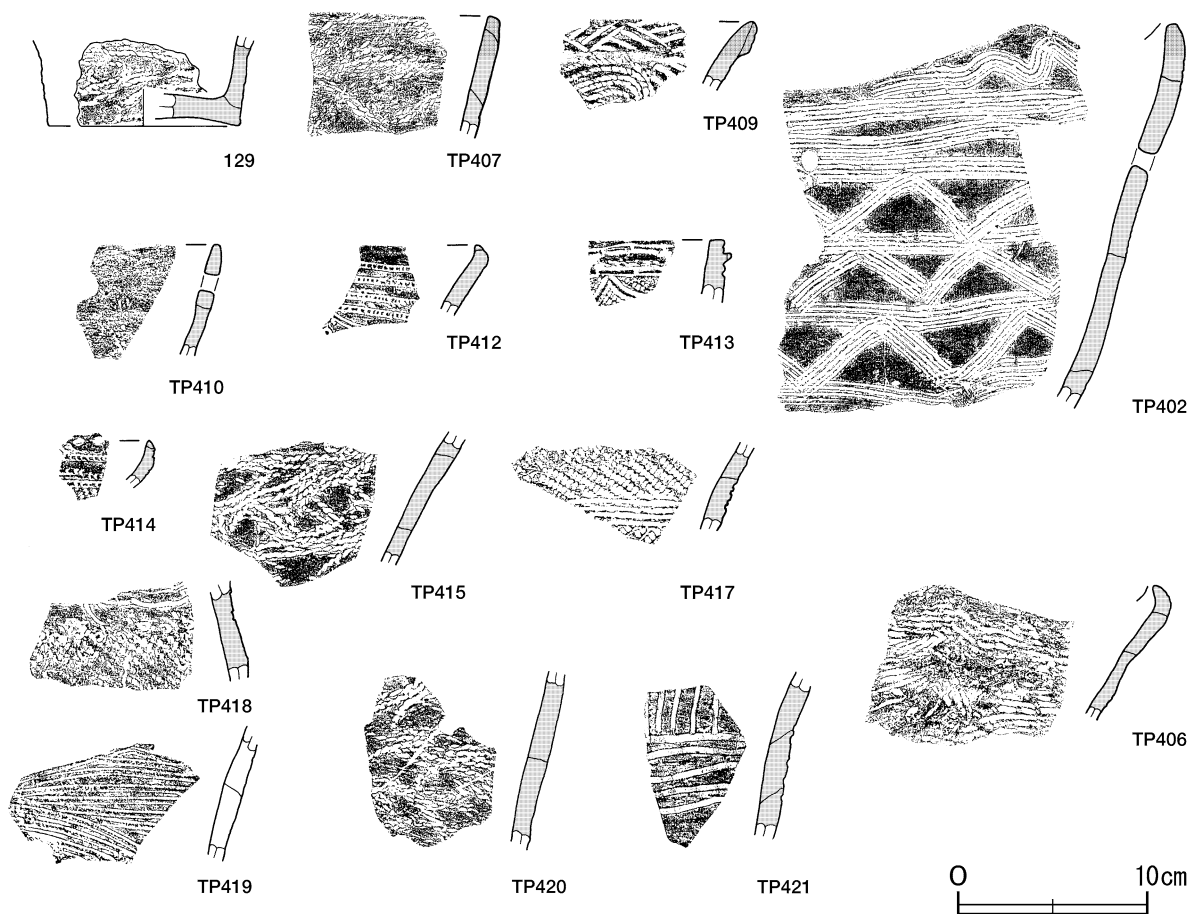
KB3a4



KB3a5

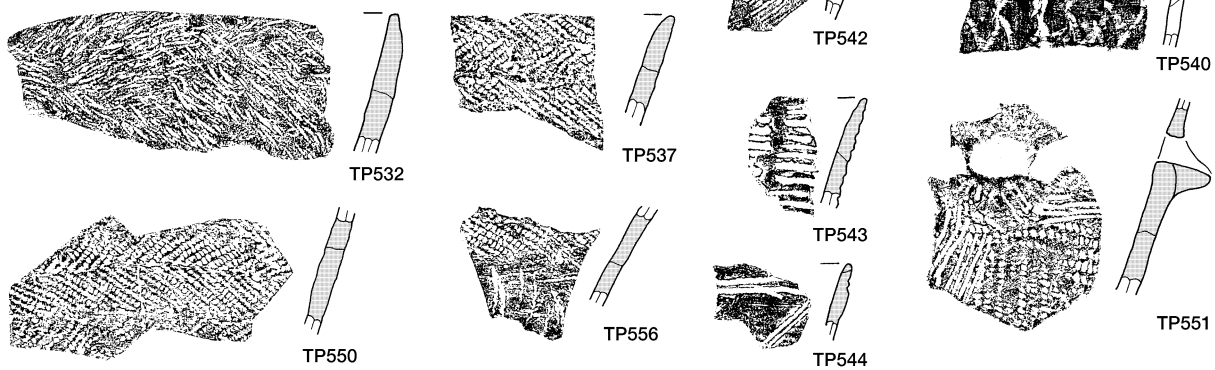
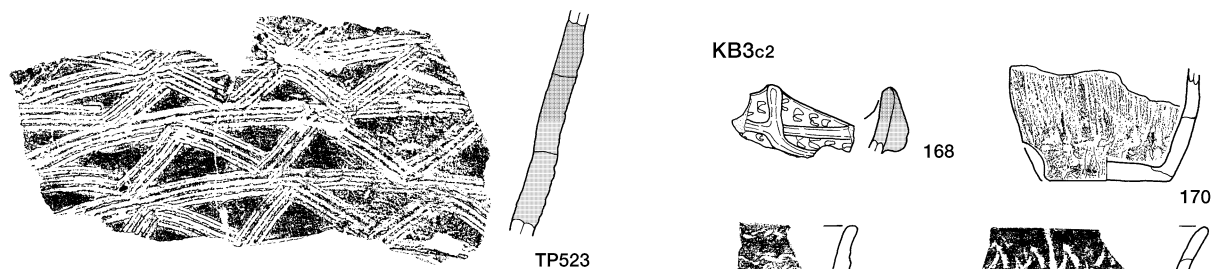
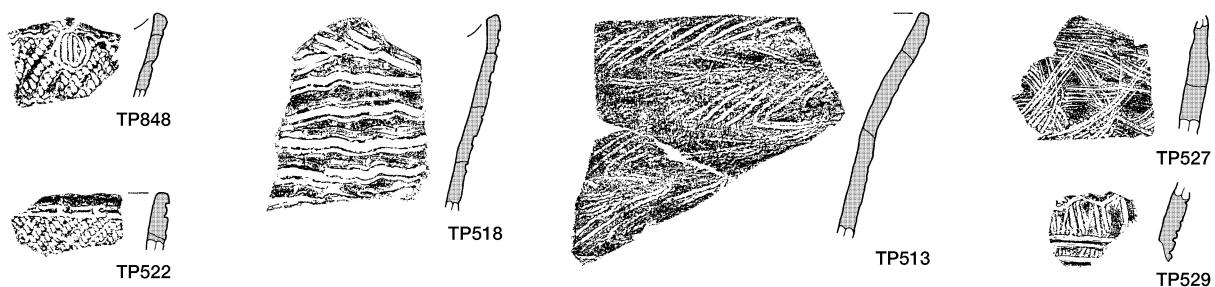
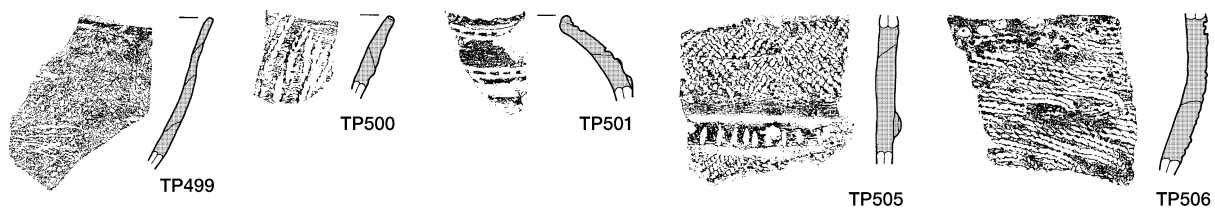


KB3b1

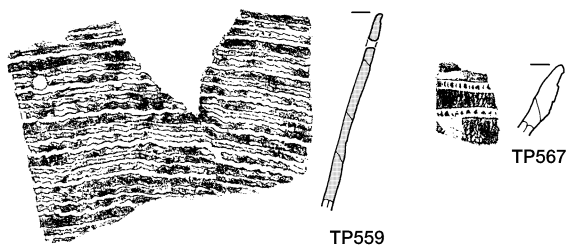


第197图 斜面貝層出土遺物実測図(25)

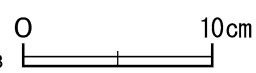
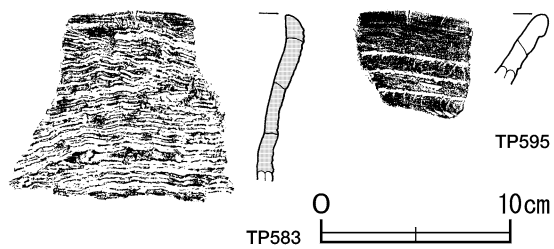
KB3b5



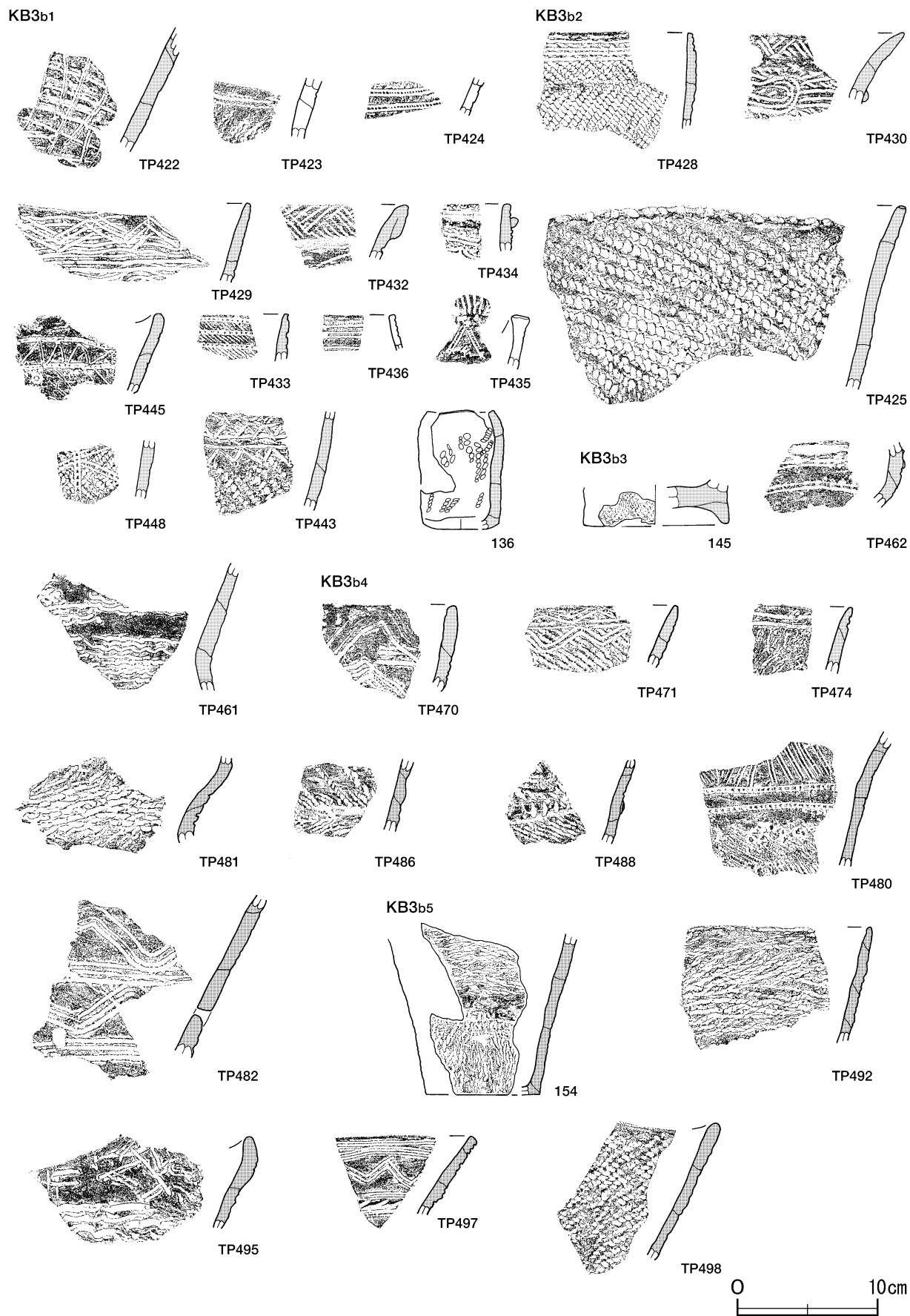
KB3c3



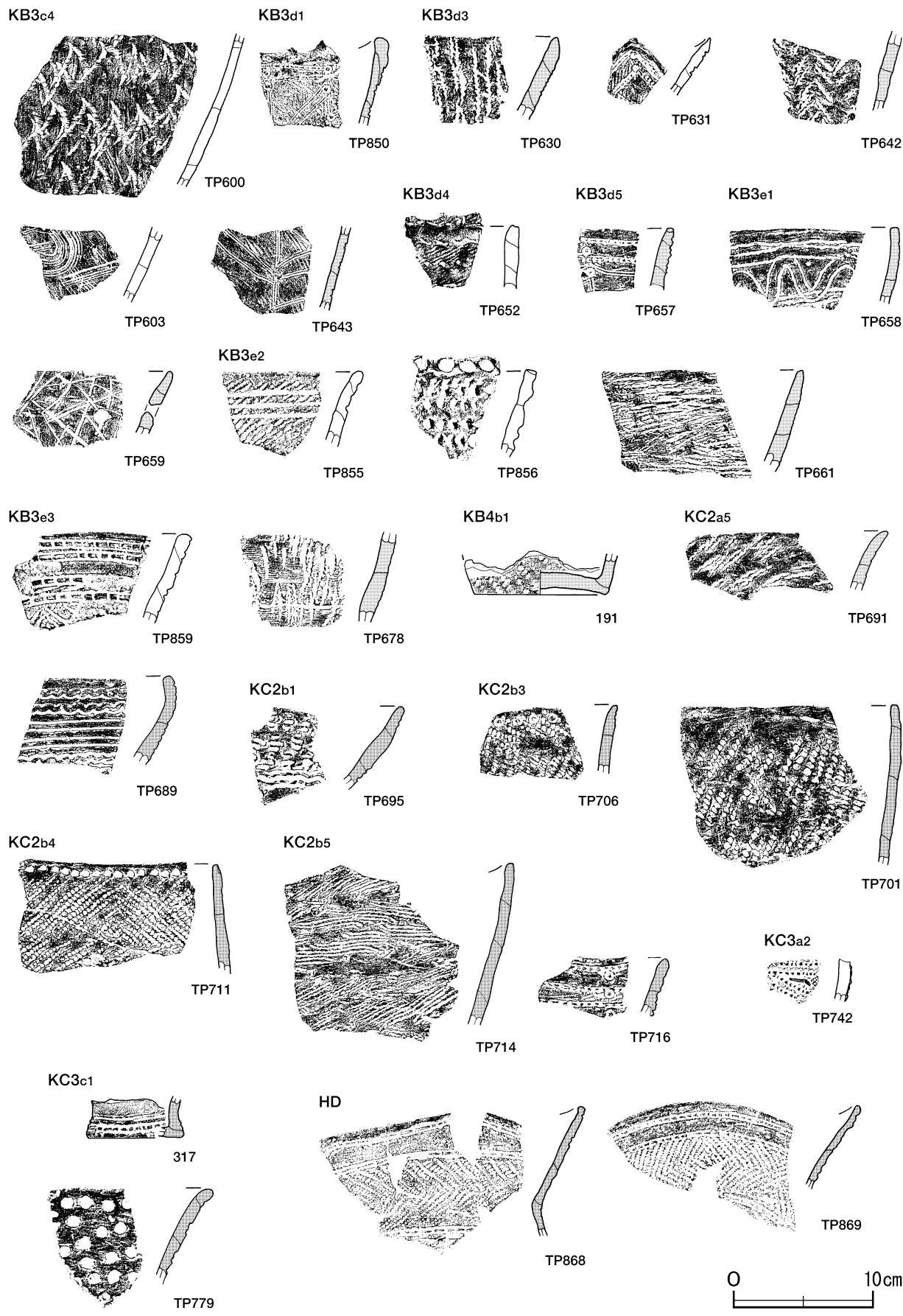
KB3c4



第198圖 斜面貝層出土遺物実測図(26)

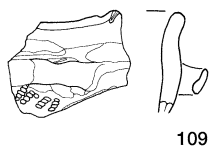


第199圖 斜面貝層出土遺物実測図(27)



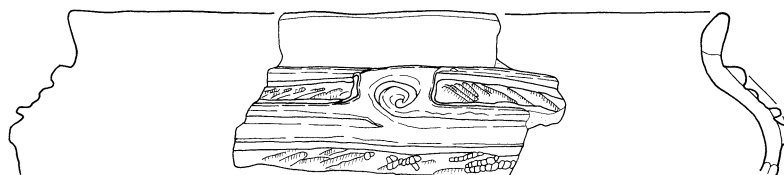
第200圖 斜面貝層出土遺物実測図(28)

KA2e4

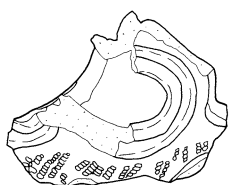


109

KA2e5



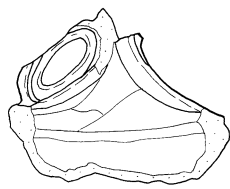
15



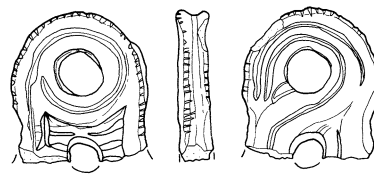
12



13



11

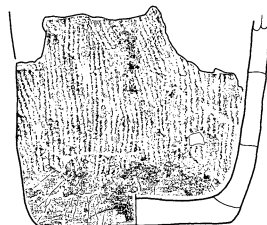


16

KA3d1

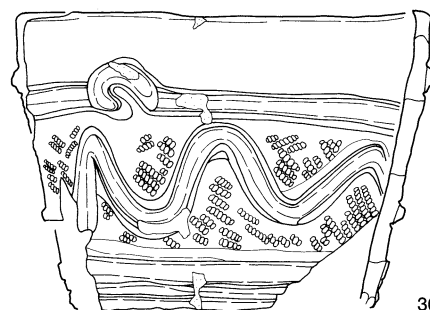


KA3d2



31

KA3e1



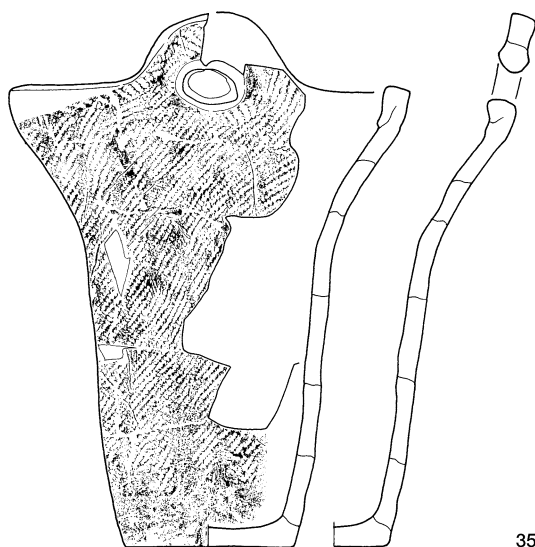
36



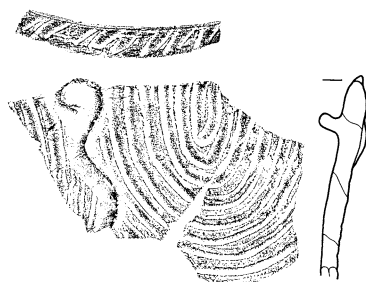
117



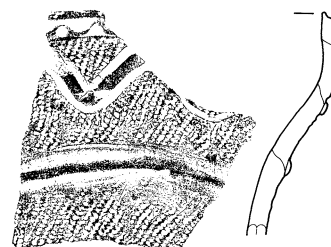
24



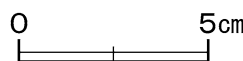
35



TP107



TP109



(117)



第201图 斜面貝層出土遺物実測図(29)

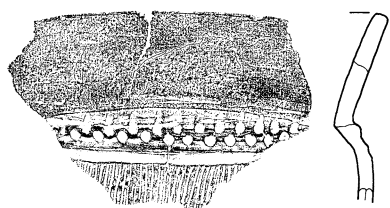
KA3e2



1



37



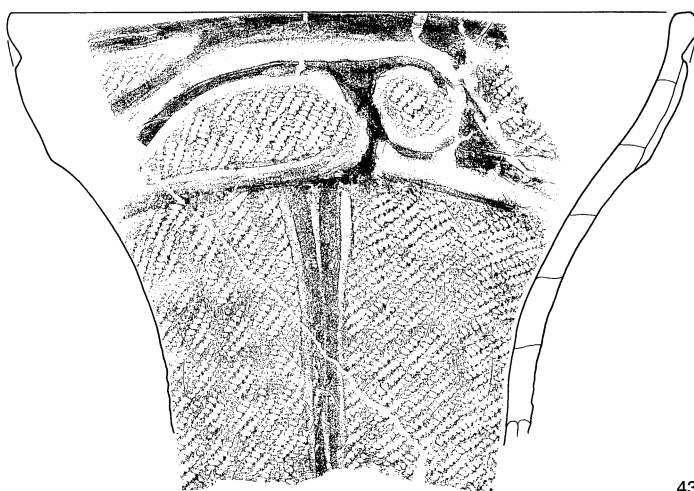
TP10

KA3e4



38

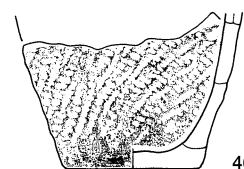
KB2a3



43



45

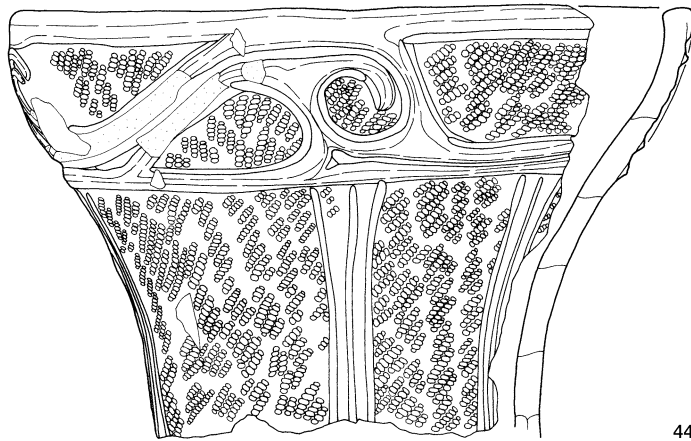


46



第202図 斜面貝層出土遺物実測図(30)

KB2a3

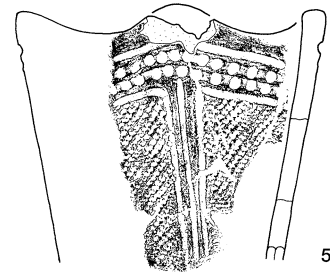


44

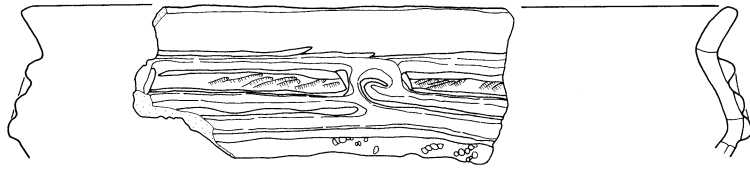
KB2a4



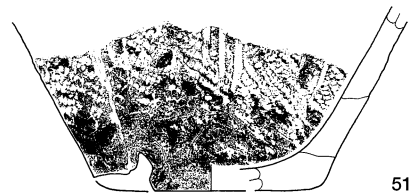
49



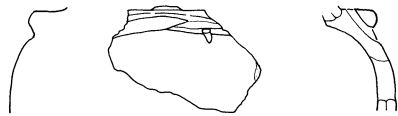
50



48



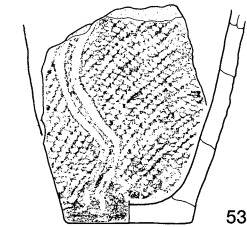
51



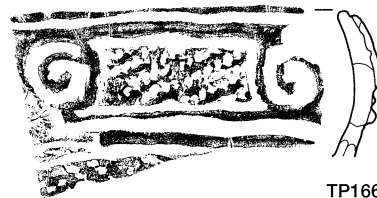
54



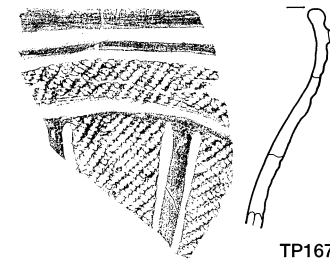
52



53

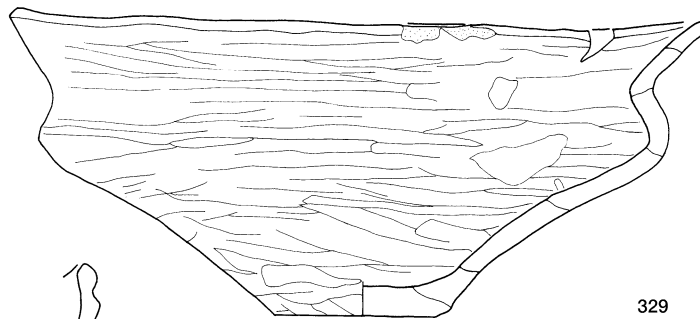


TP166



TP167

KB2a5



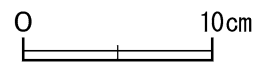
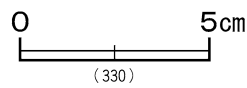
329



TP175

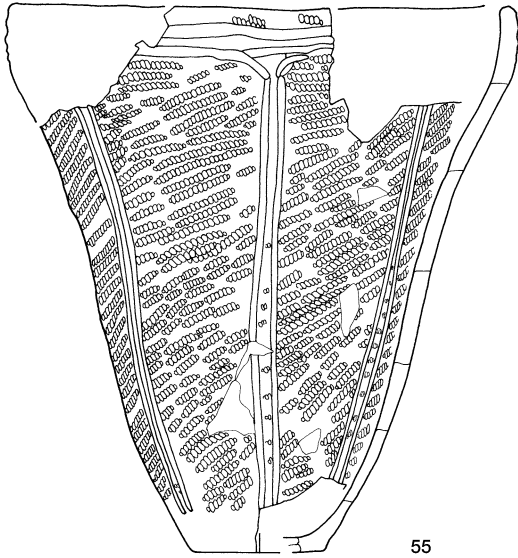


330

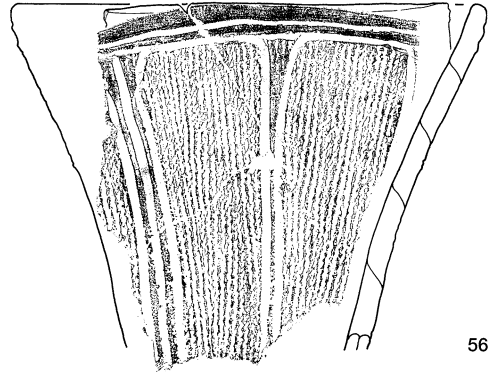


第203图 斜面貝層出土遺物実測図(31)

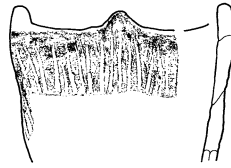
KB2b3



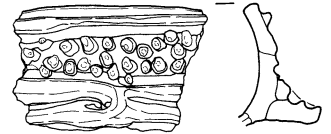
55



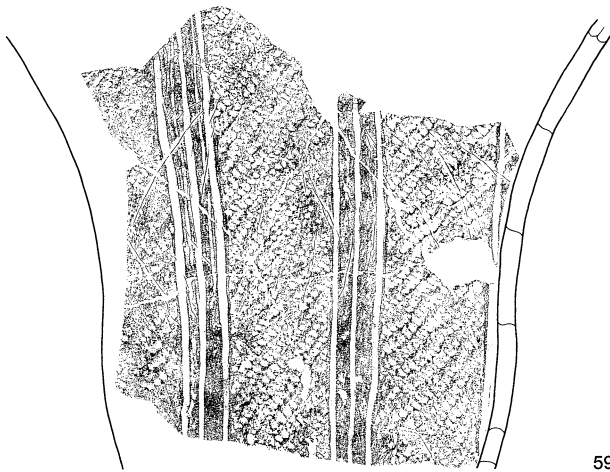
56



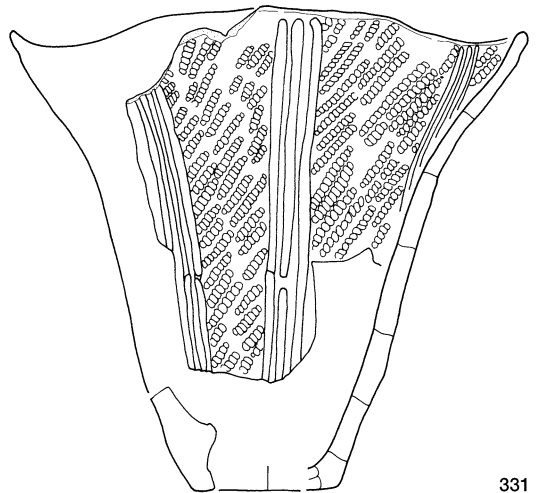
58



57

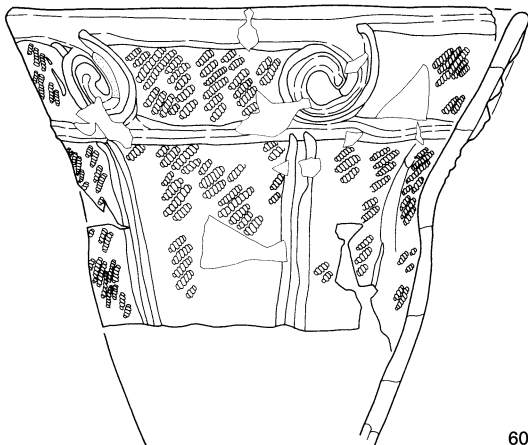


59

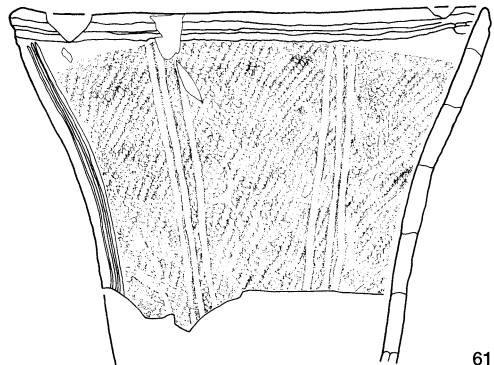


331

KB2b4



60

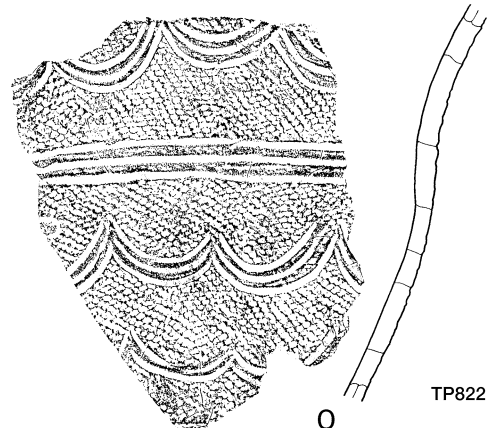
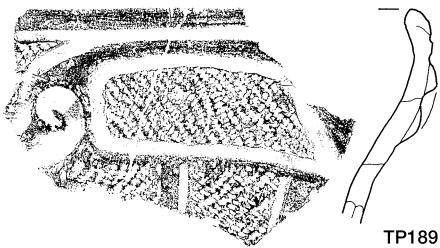
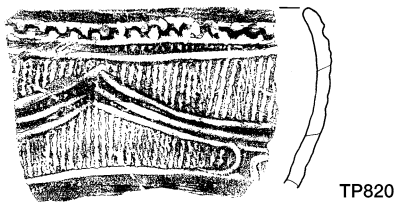
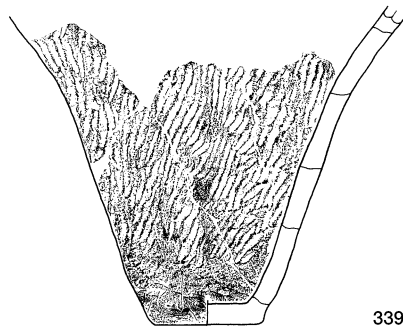
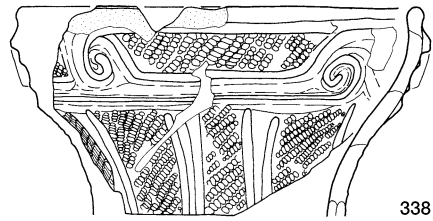
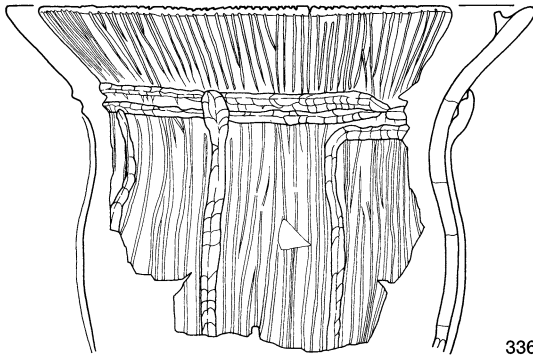
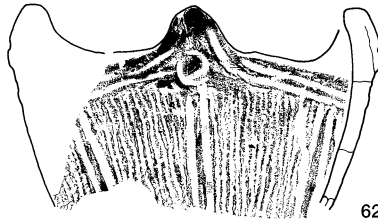
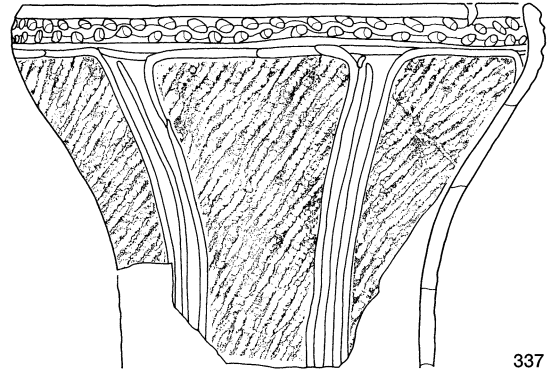
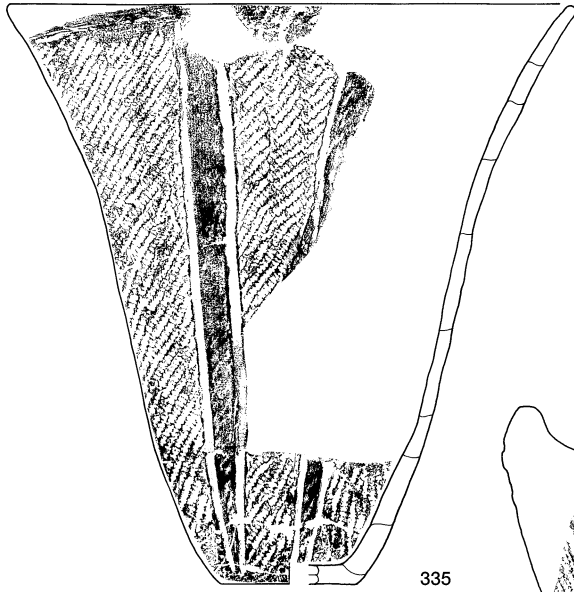


61



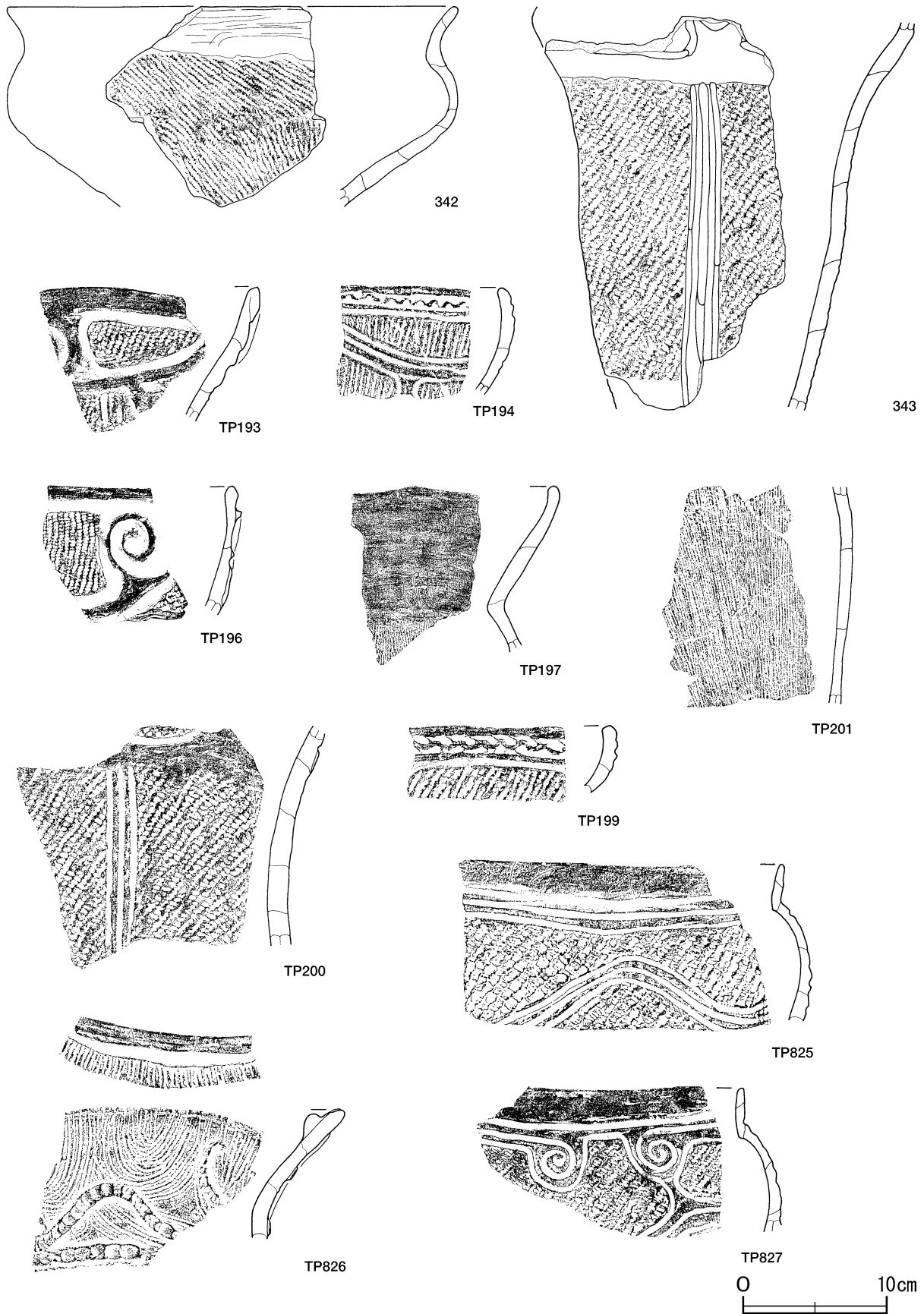
第204図 斜面貝層出土遺物実測図(32)

KB2b4



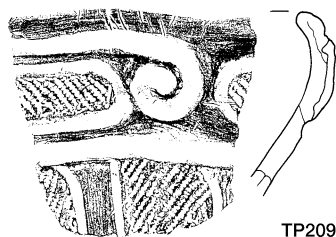
第205圖 斜面貝層出土遺物実測図(33)

KB2b5

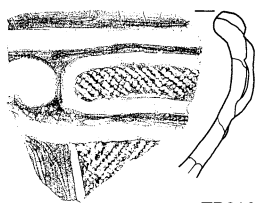


第206圖 斜面貝層出土遺物実測図(34)

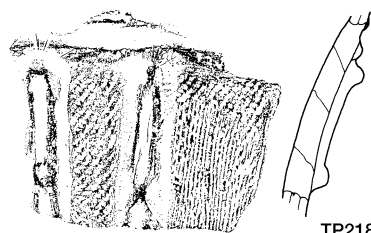
KB2c2



TP209

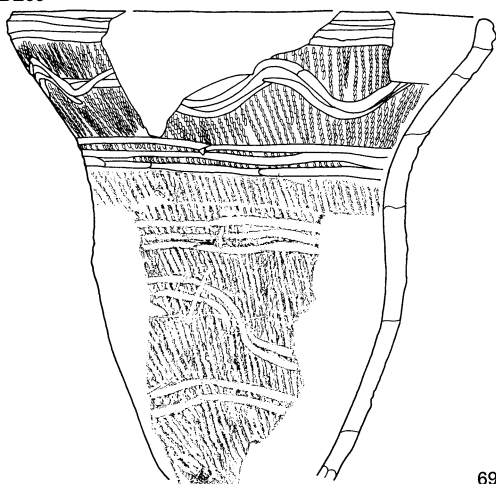


TP210

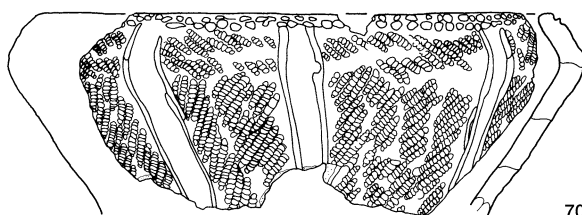


TP218

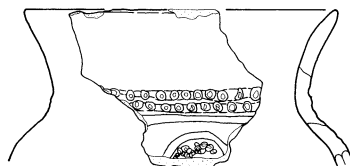
KB2c3



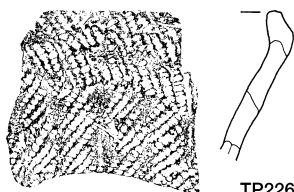
69



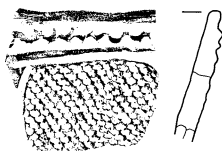
70



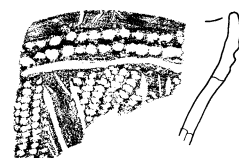
71



TP226

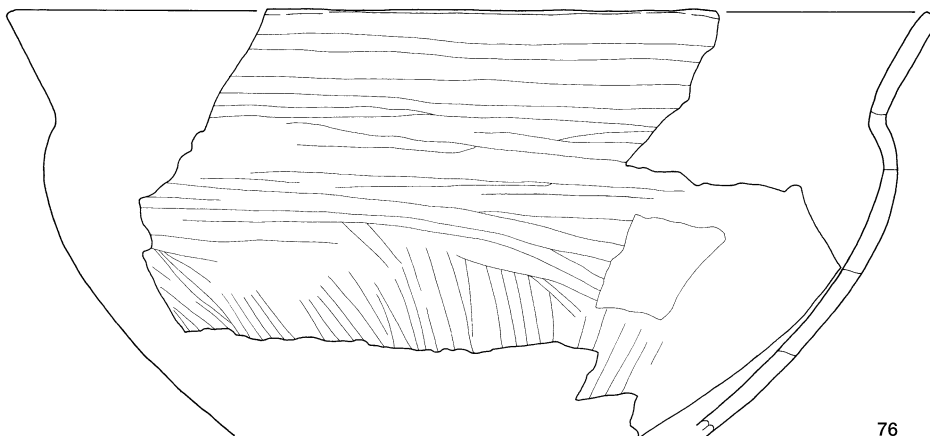


TP228



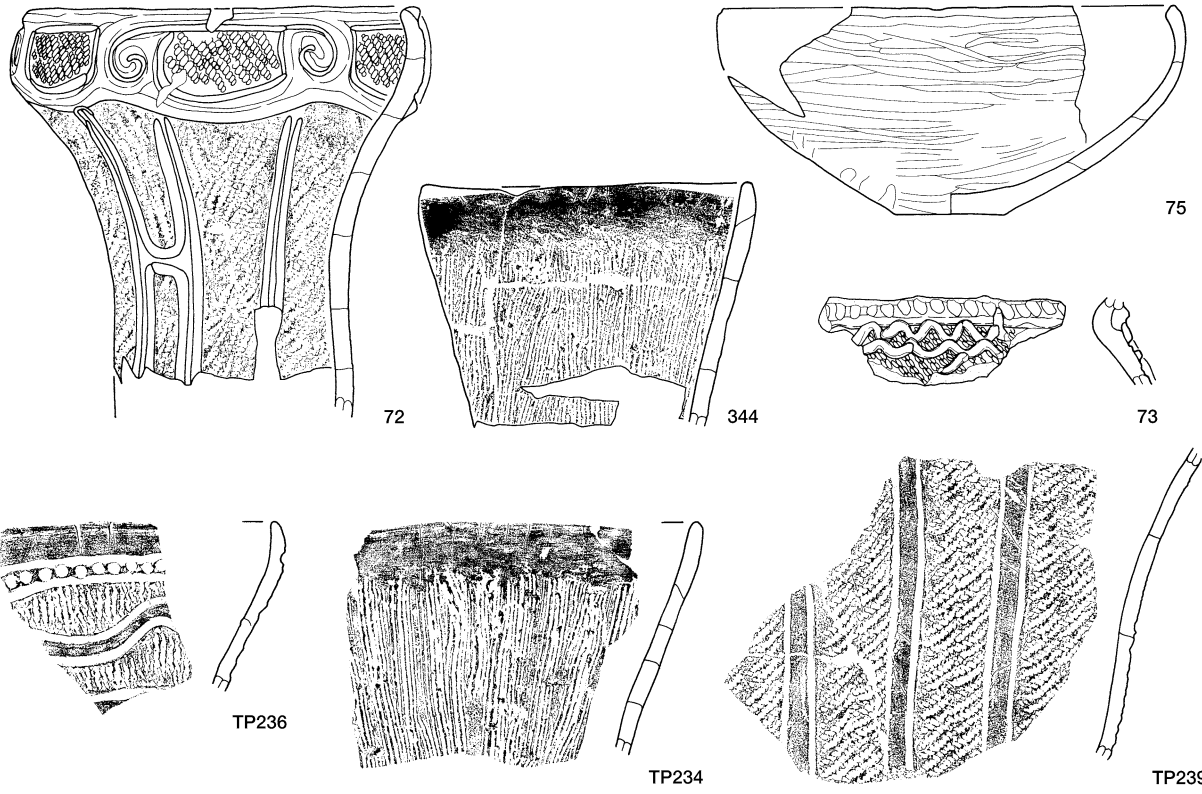
TP231

KB2c4

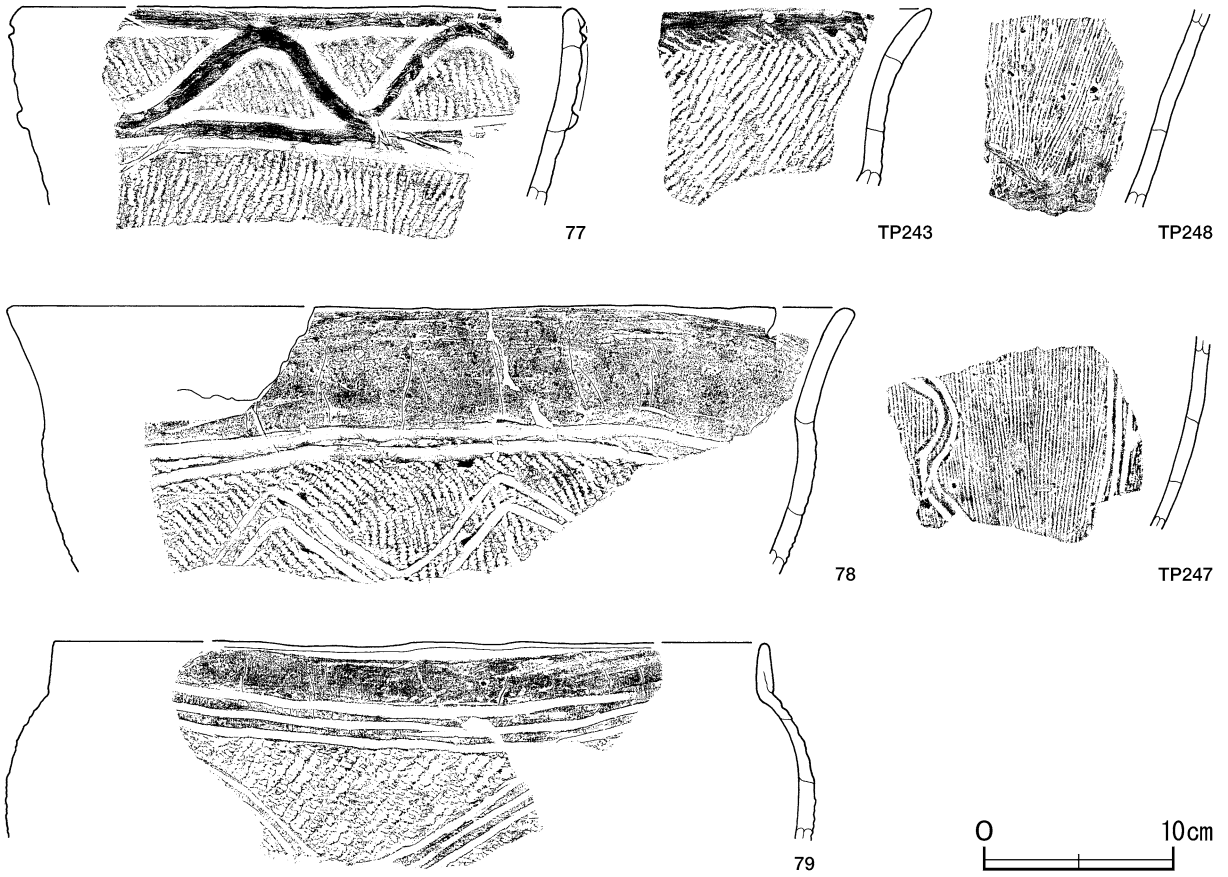


第207図 斜面貝層出土遺物実測図(35)

KB2c4

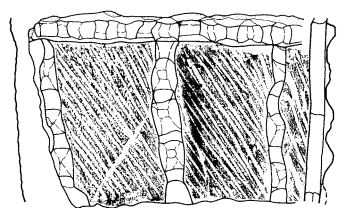


KB2c5



第208圖 斜面貝層出土遺物実測図(36)

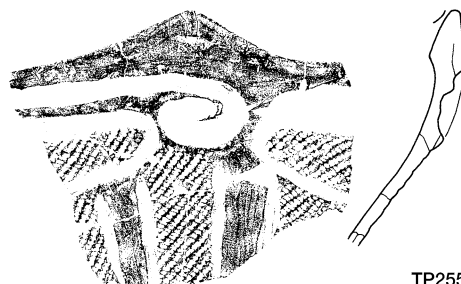
KB2d2



80



TP257

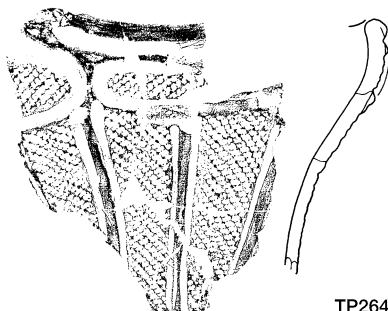


TP255

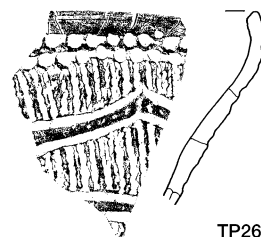
KB2d3



85



TP264



TP266



86



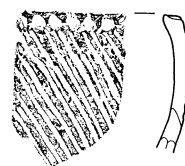
TP268



TP269

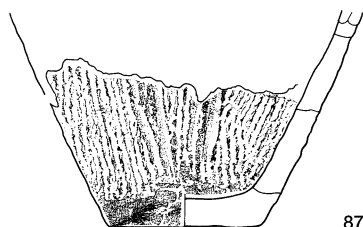


TP271

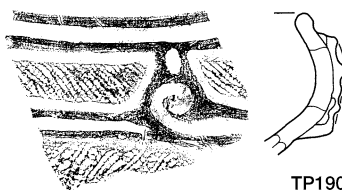


TP272

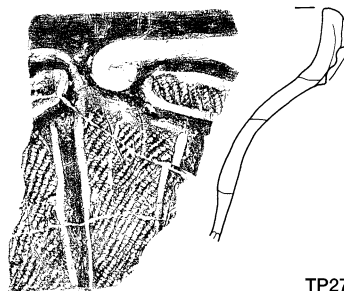
KB2d4



87



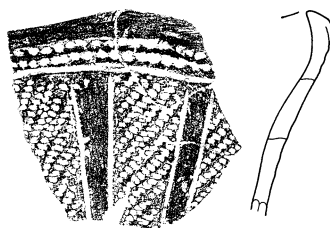
TP190



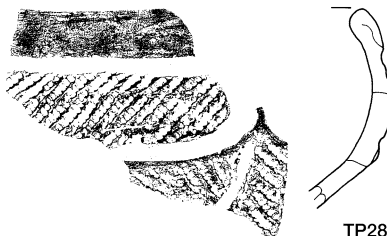
TP278



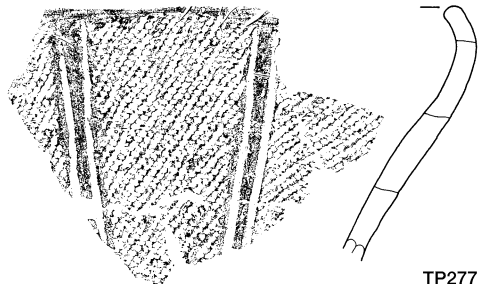
89



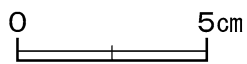
TP279



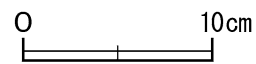
TP280



TP277

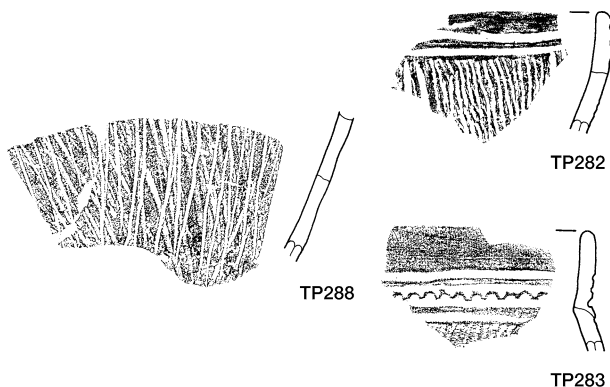
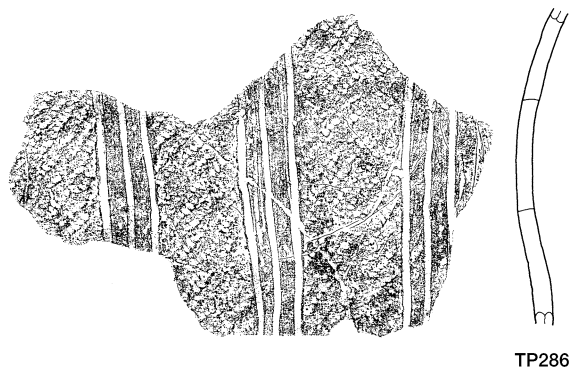


(86)

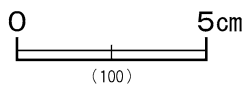
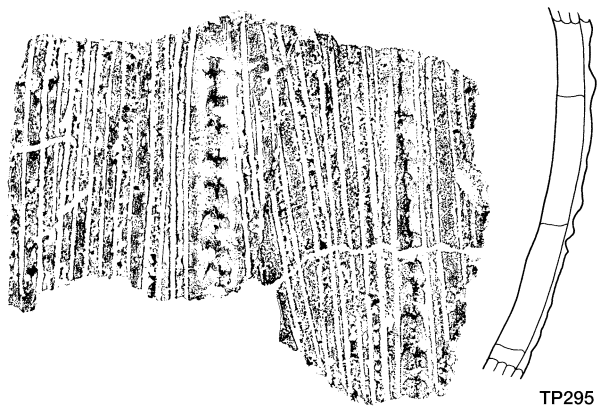
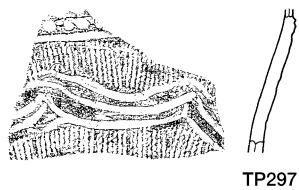
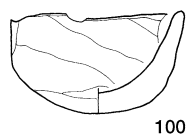
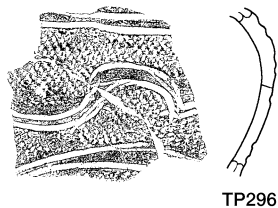
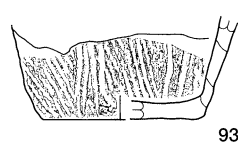
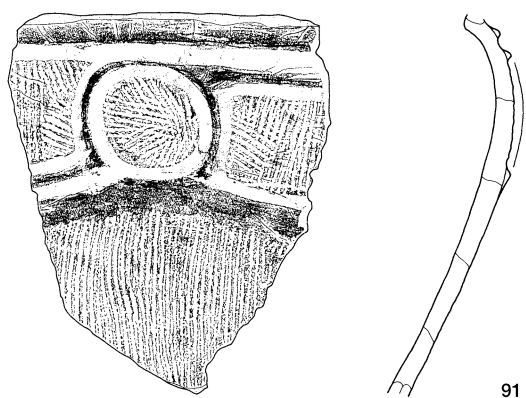
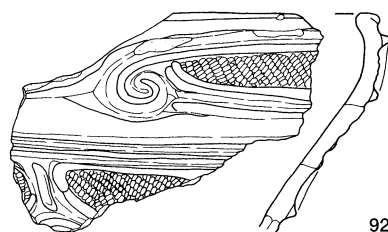
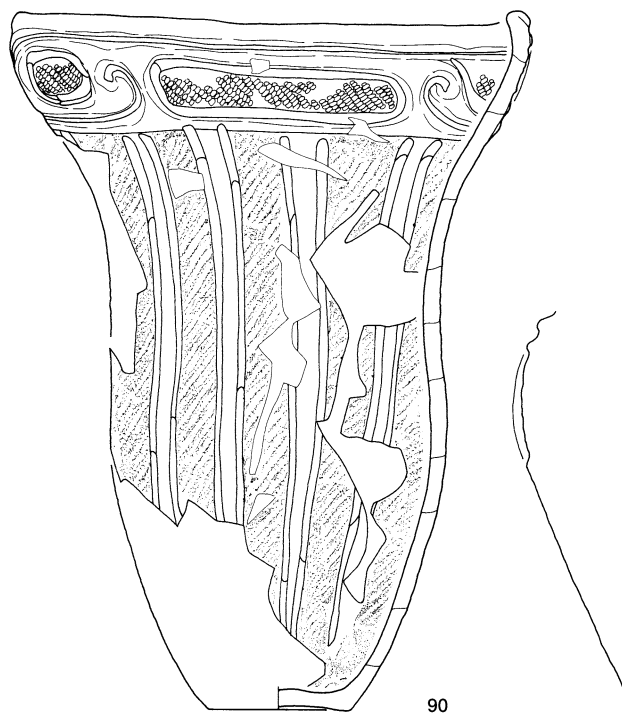


第209圖 斜面貝層出土遺物実測図(37)

KB2d4

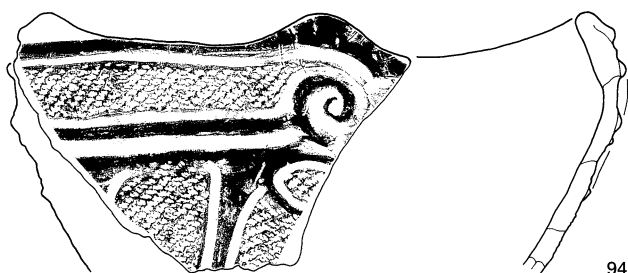


KB2d5

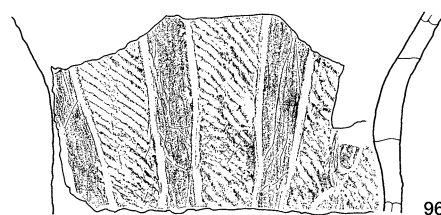


第210圖 斜面貝層出土遺物実測図(38)

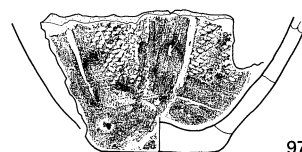
KB2e1



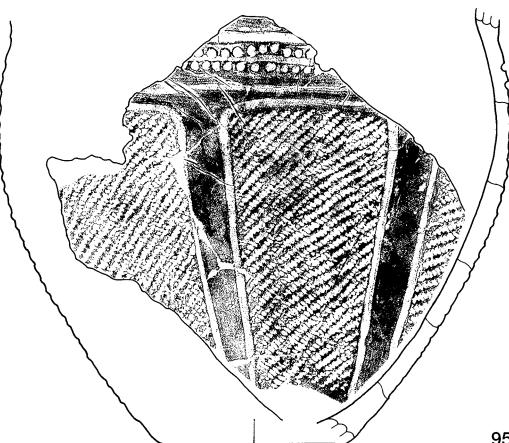
94



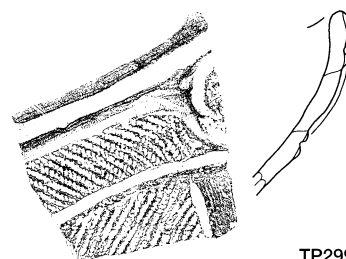
96



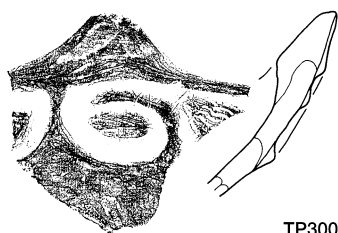
97



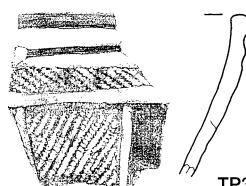
95



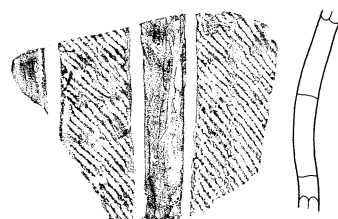
TP299



TP300

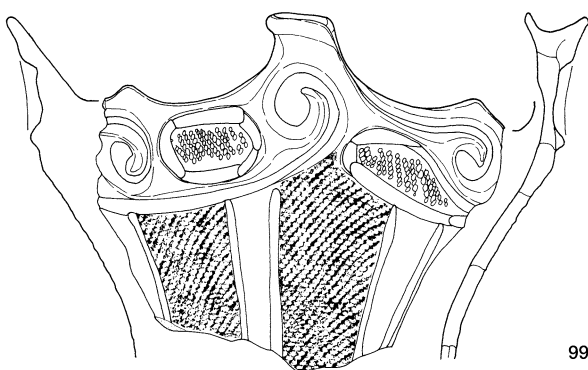


TP301

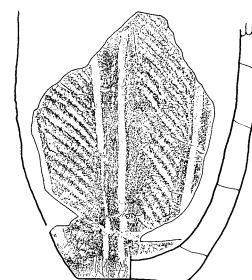


TP302

KB2e2



99

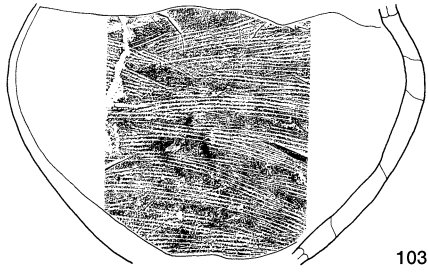


102

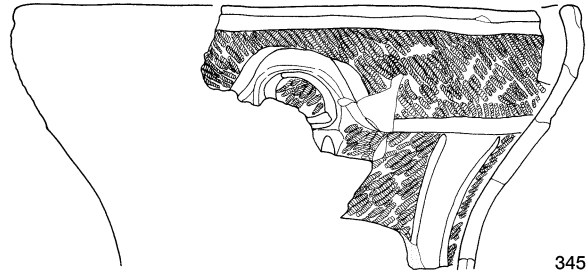


第211圖 斜面貝層出土遺物実測図(39)

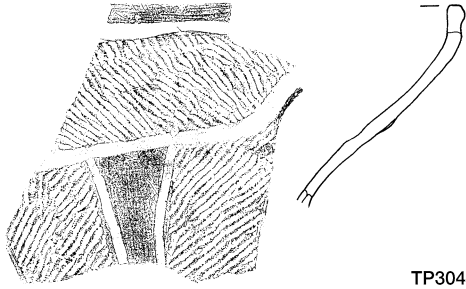
KB2e2



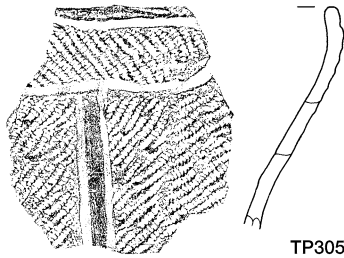
103



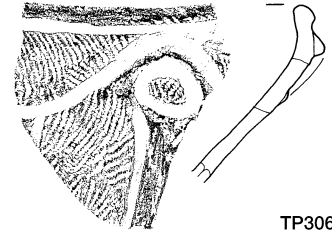
345



TP304



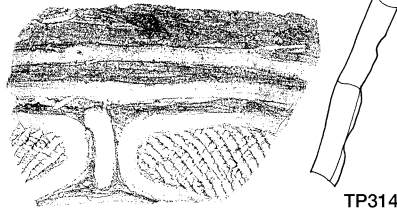
TP305



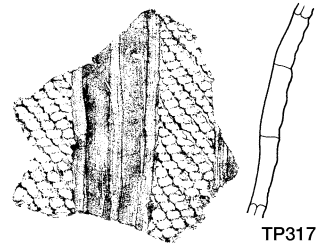
TP306



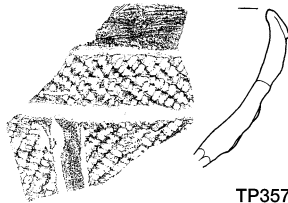
TP307



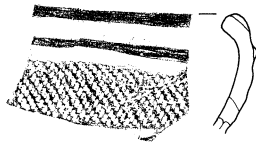
TP314



TP317



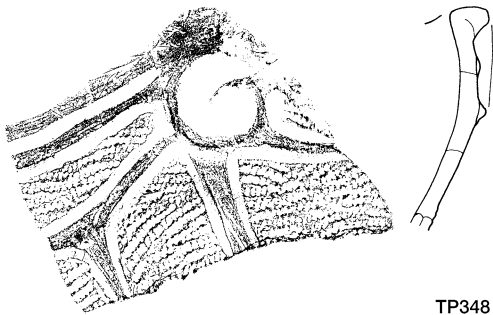
TP357



TP309



TP313

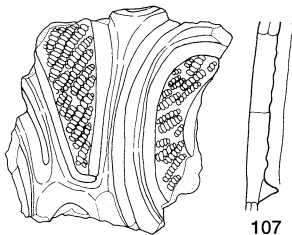


TP348

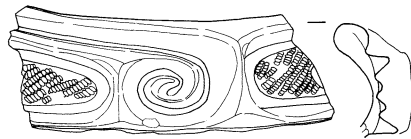


TP837

KB2e3



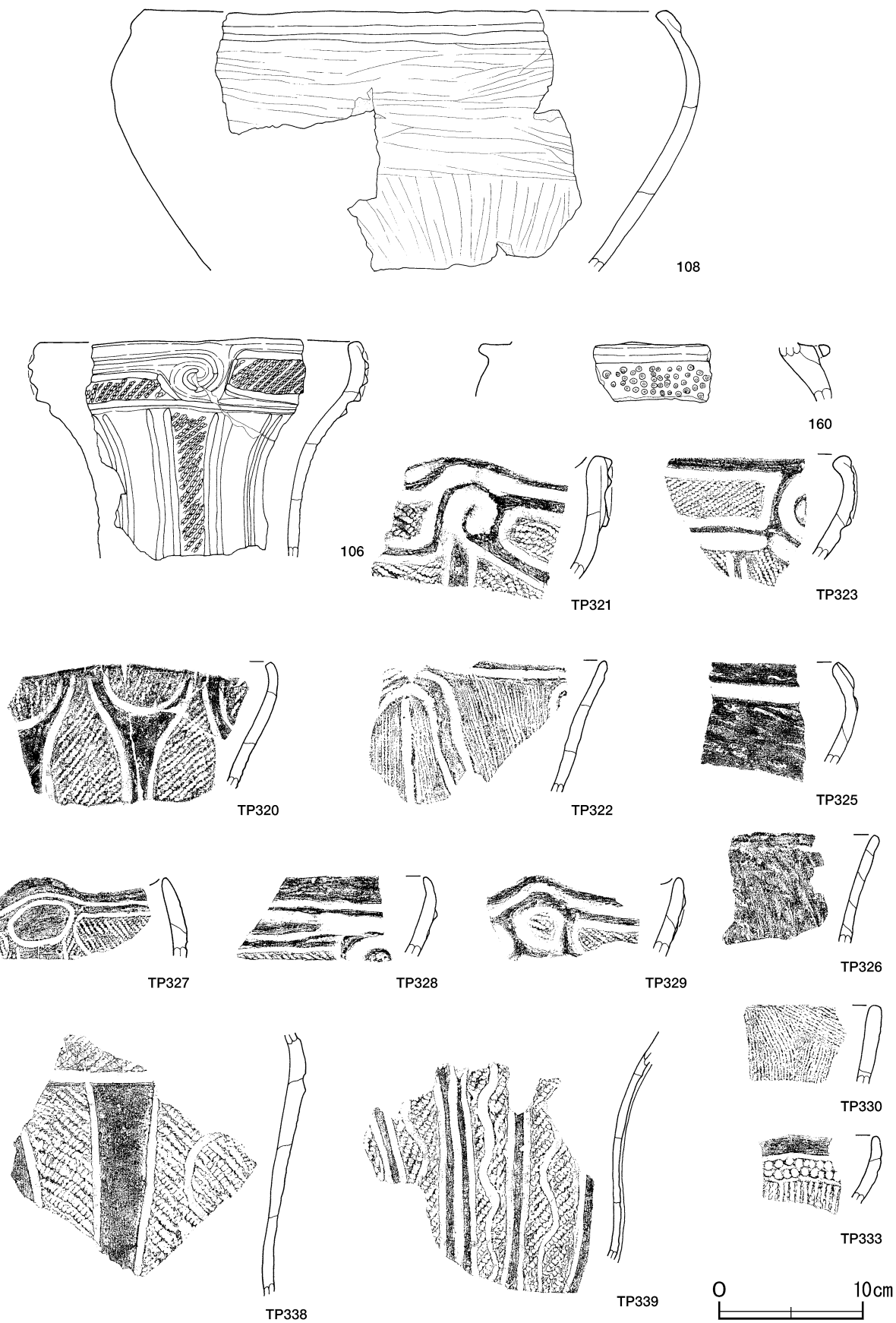
107



105

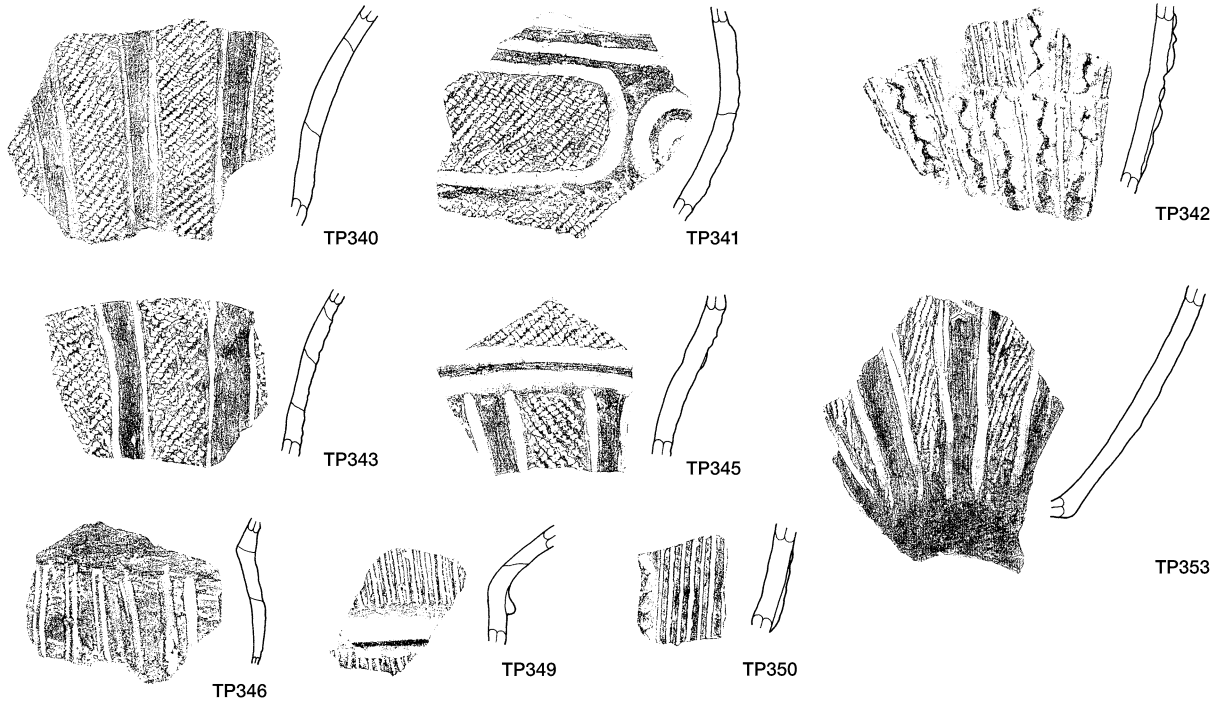


第212圖 斜面貝層出土遺物実測図(40)

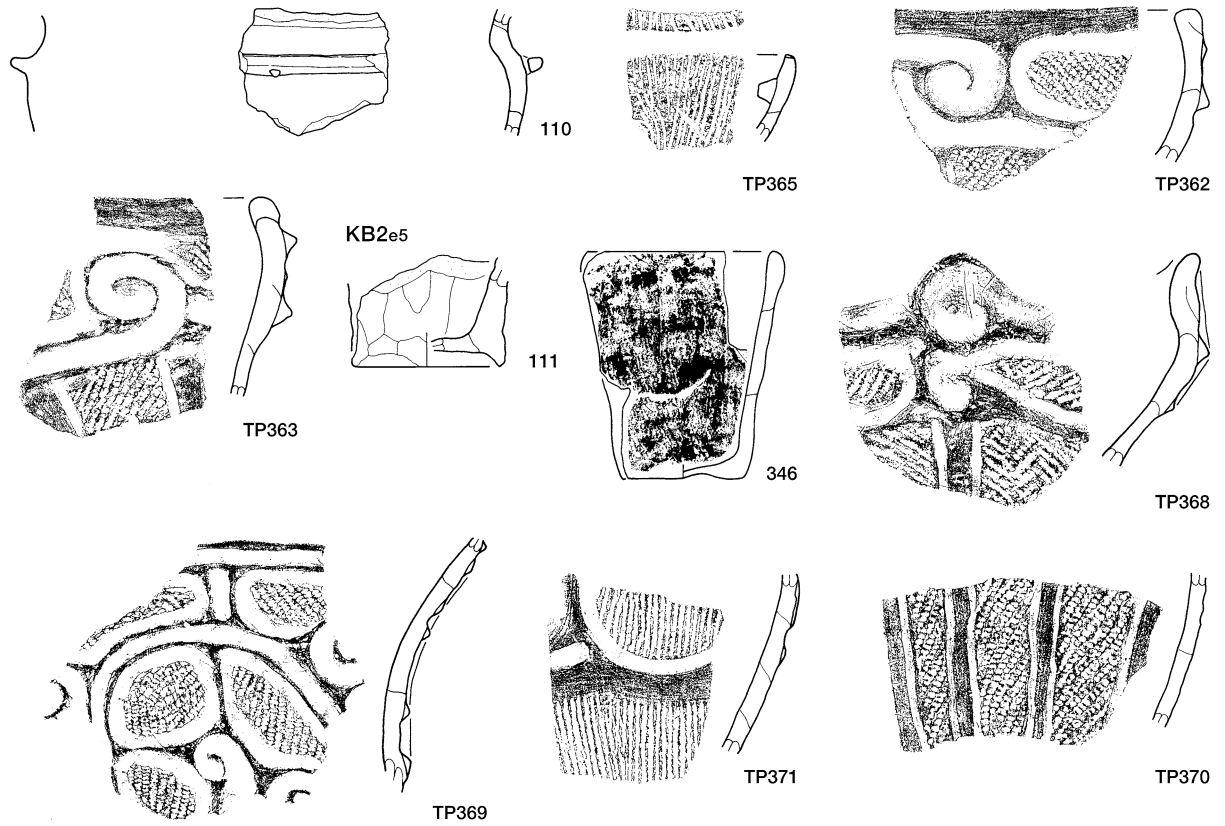


第213圖 斜面貝層出土遺物実測図(41)

KB2e3

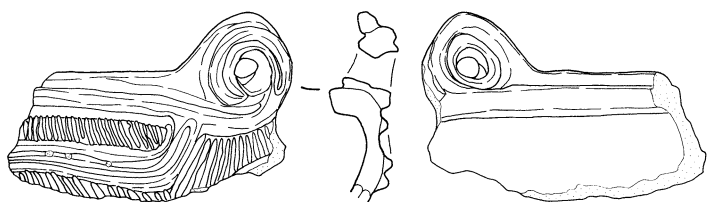


KB2e4

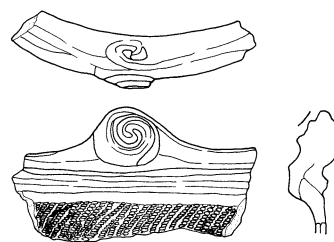


第214圖 斜面貝層出土遺物実測図(42)

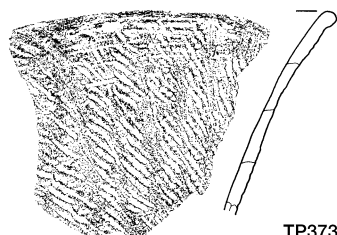
KB3a1



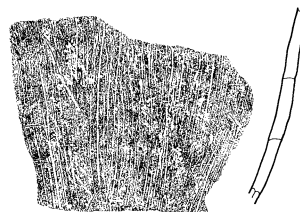
112



113

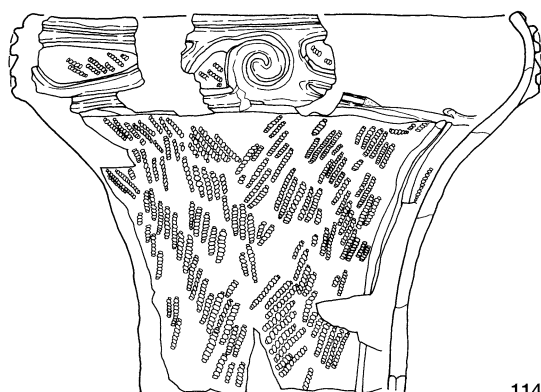


TP373



TP376

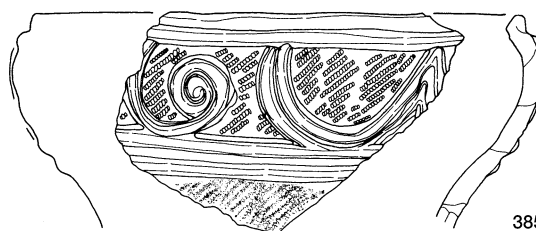
KB3a2



114



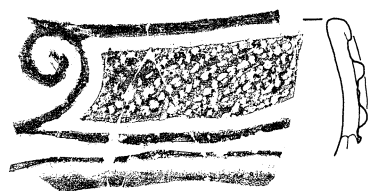
347



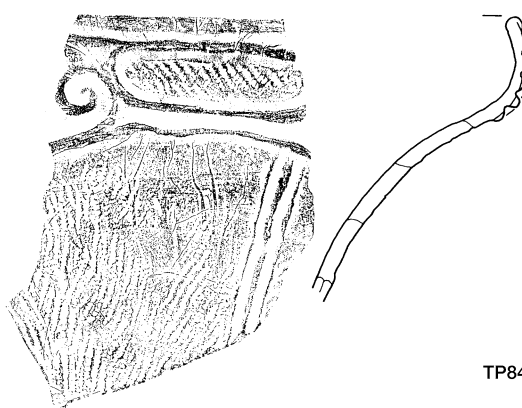
385



115



TP378

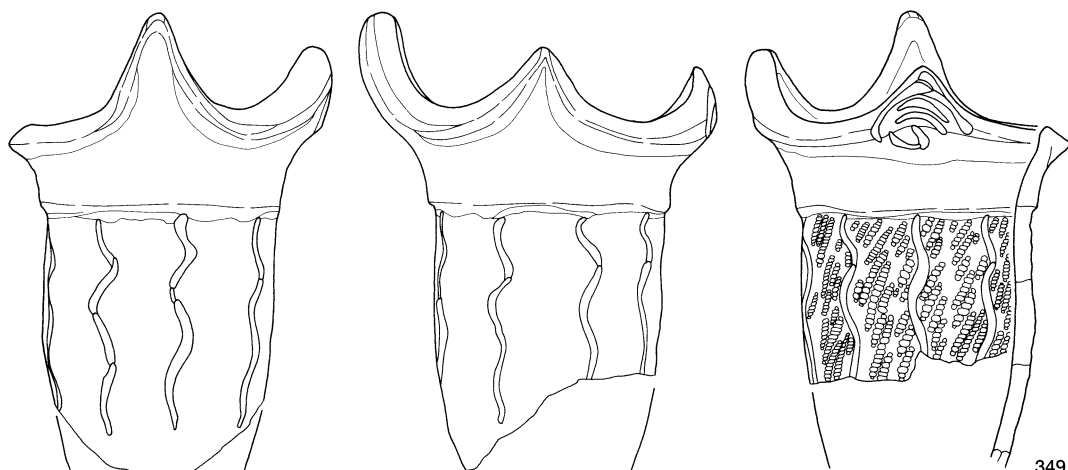


TP842

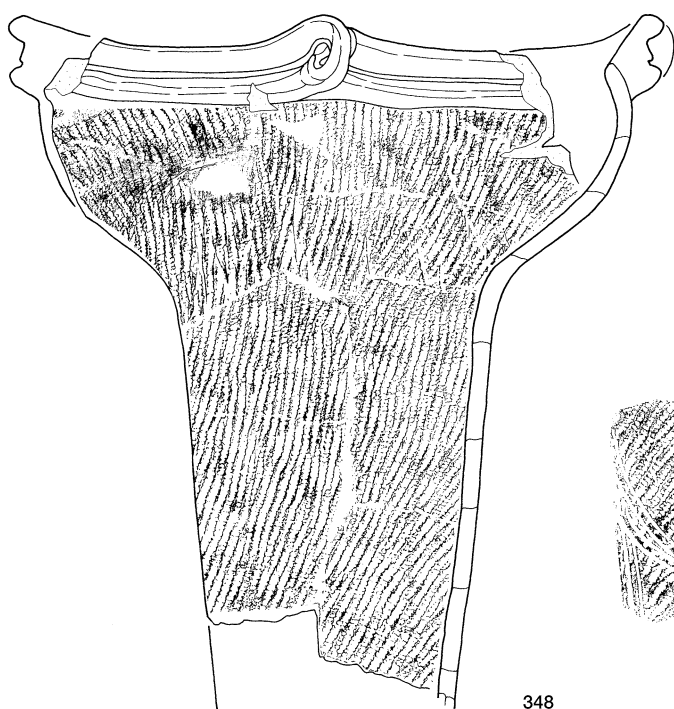


第215図 斜面貝層出土遺物実測図(43)

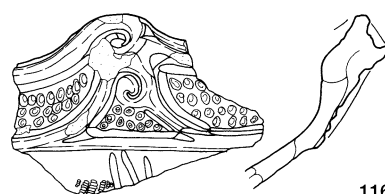
KB3a3



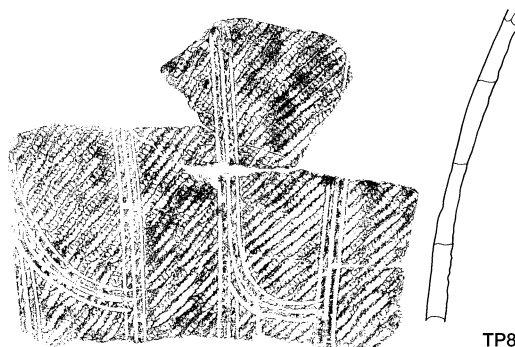
349



348

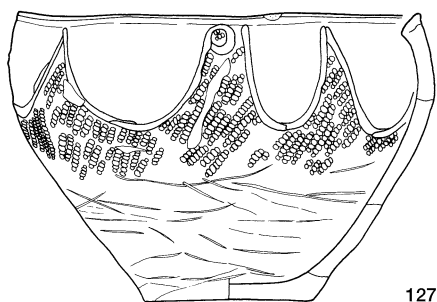


116

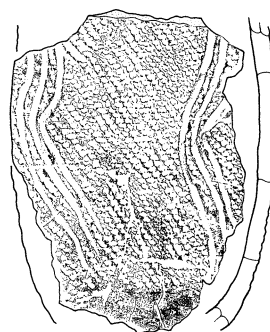


TP843

KB3a4



127

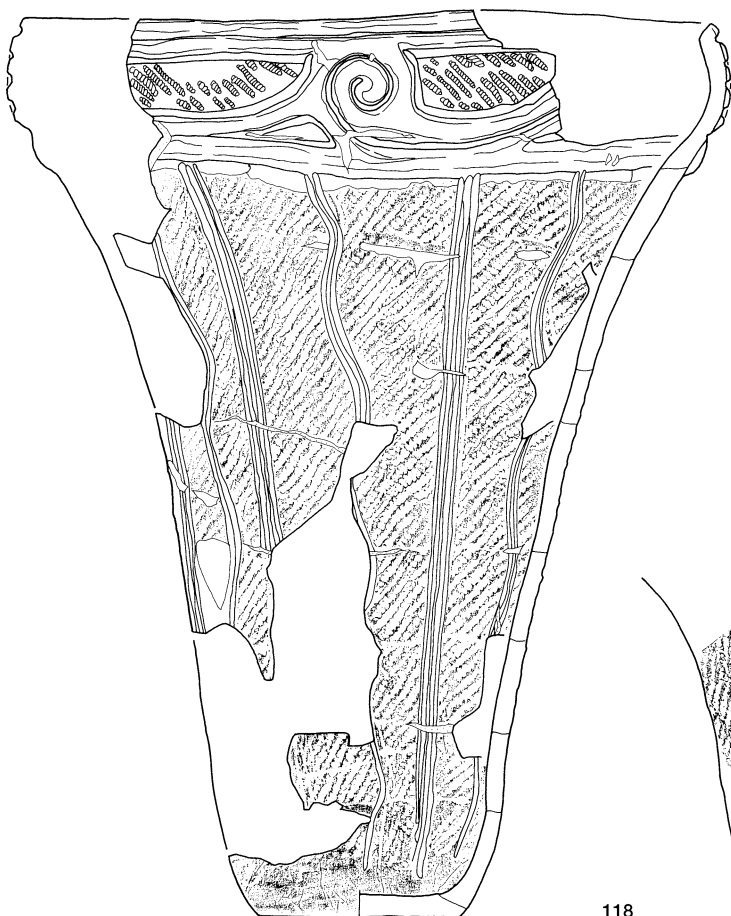


126

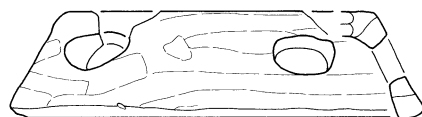


第216圖 斜面貝層出土遺物実測図(44)

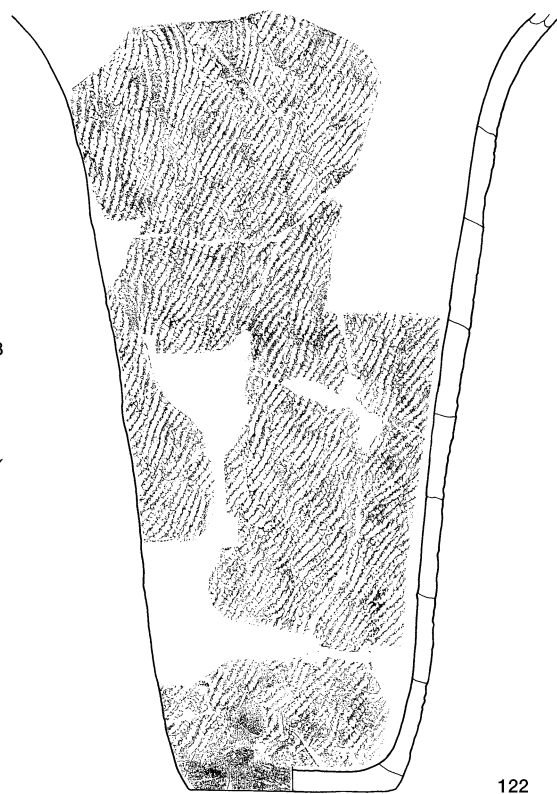
KB3a4



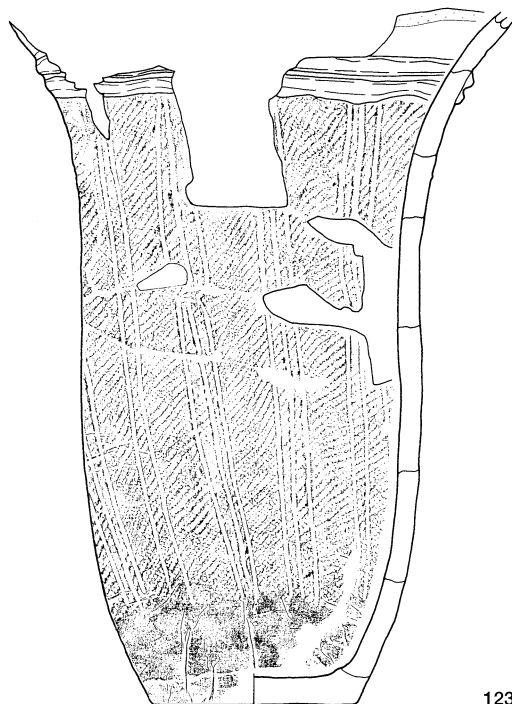
118



128



122

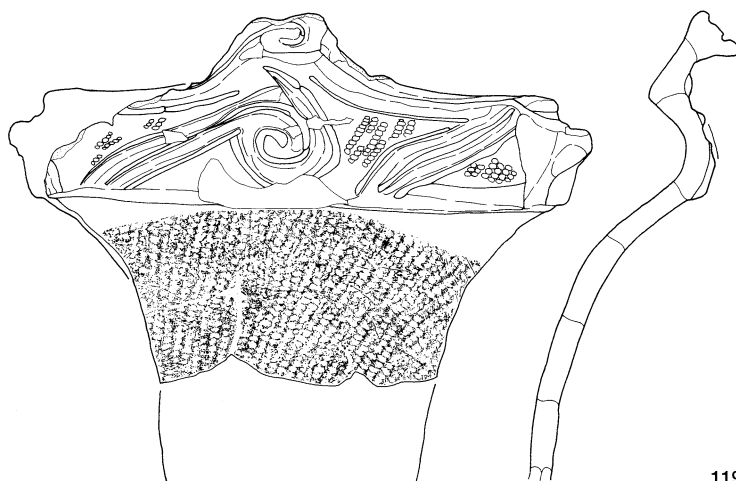


123

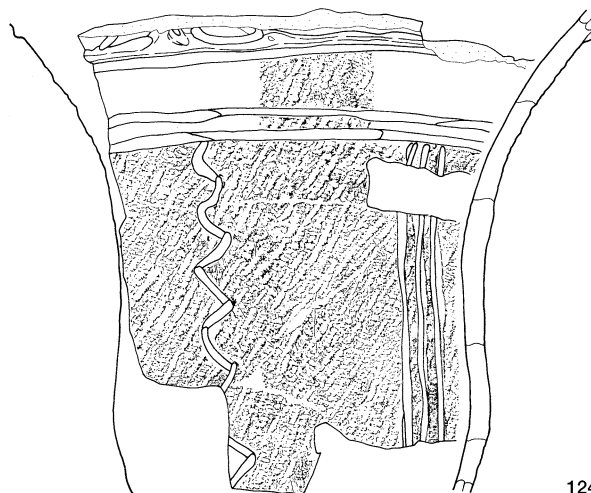


第217図 斜面貝層出土遺物実測図(45)

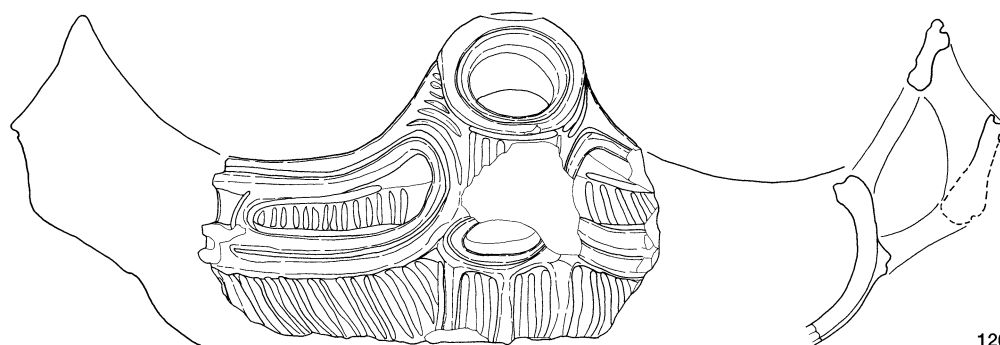
KB3a4



119



124

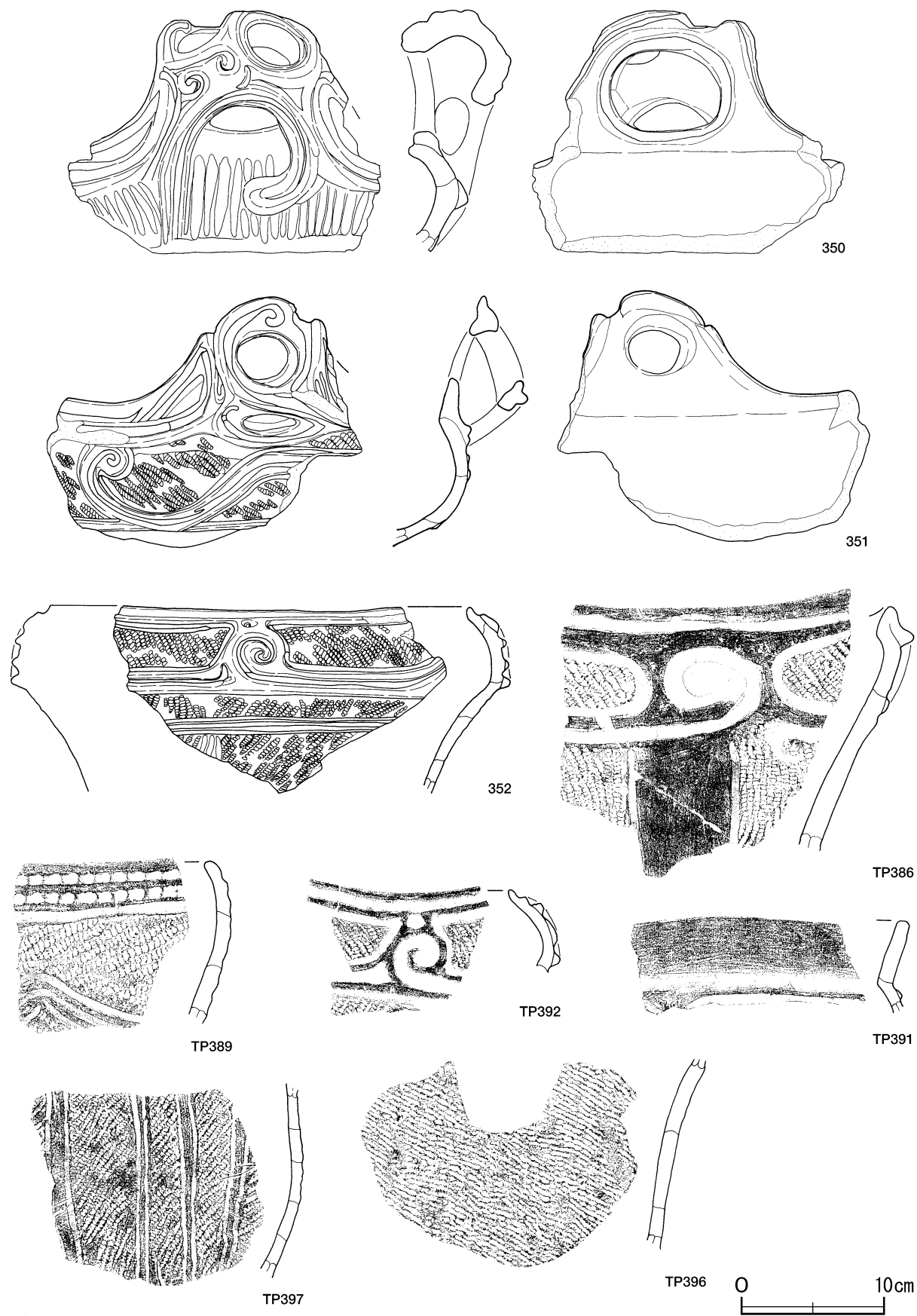


120



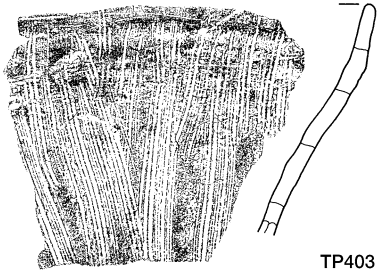
第218圖 斜面貝層出土遺物実測図(46)

KB3a4

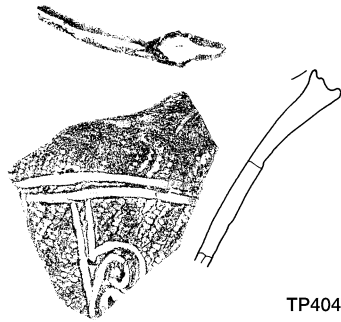


第219圖 斜面貝層出土遺物実測図(47)

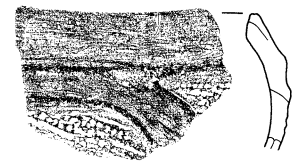
KB3b1



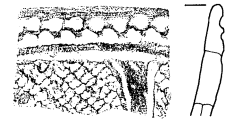
TP403



TP404



TP405

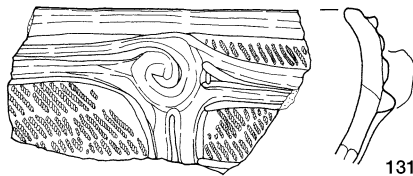


TP408

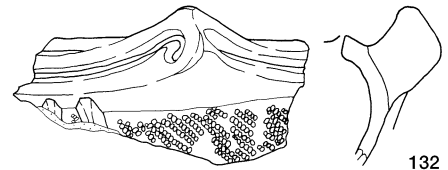
KB3b2



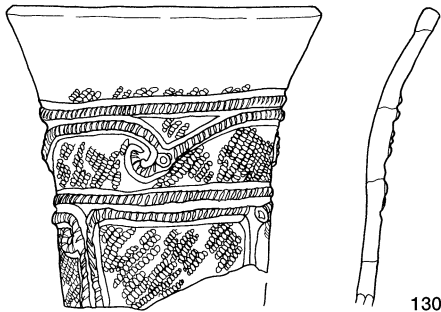
TP416



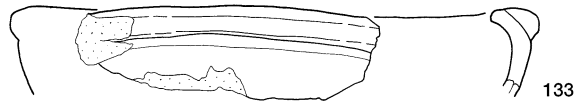
131



132



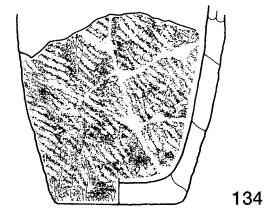
130



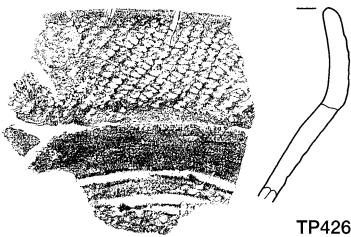
133



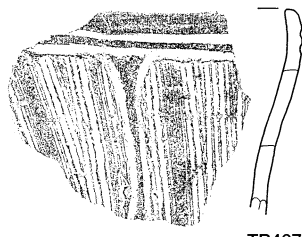
135



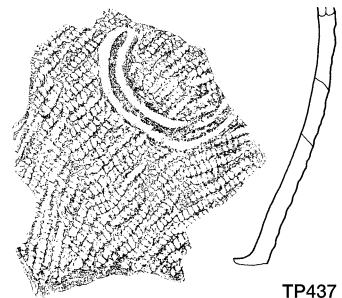
134



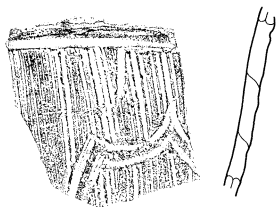
TP426



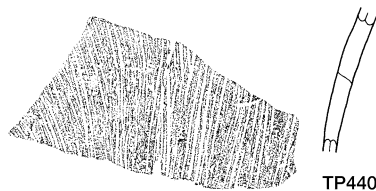
TP427



TP437



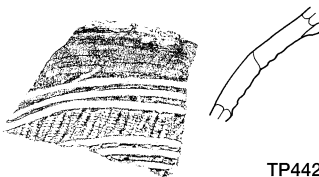
TP439



TP440



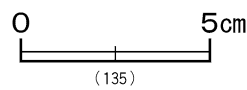
TP441



TP442



TP446

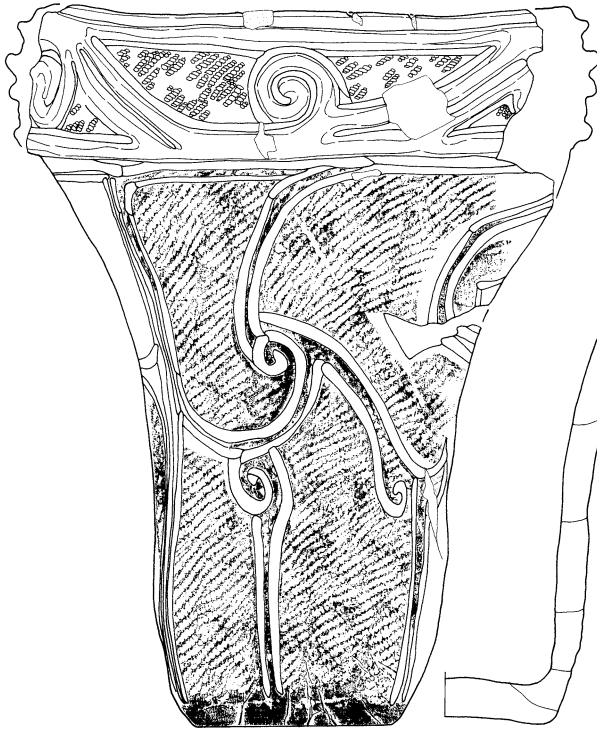


(135)

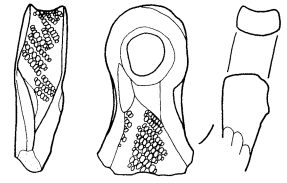


第220图 斜面貝層出土遺物実測図(48)

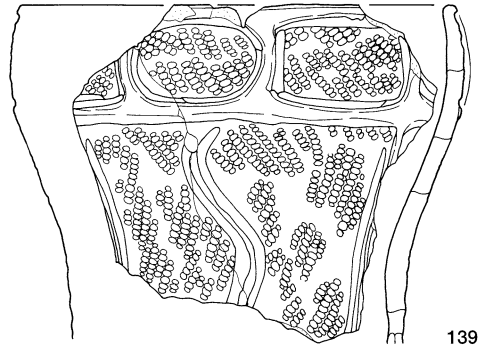
KB3b3



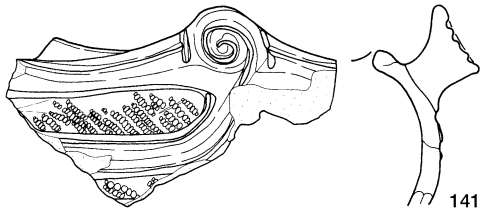
137



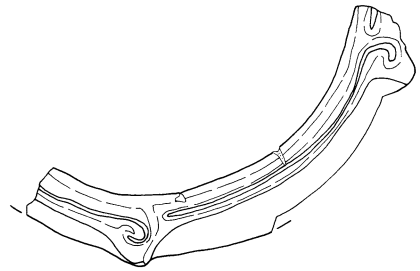
142



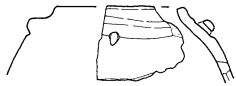
139



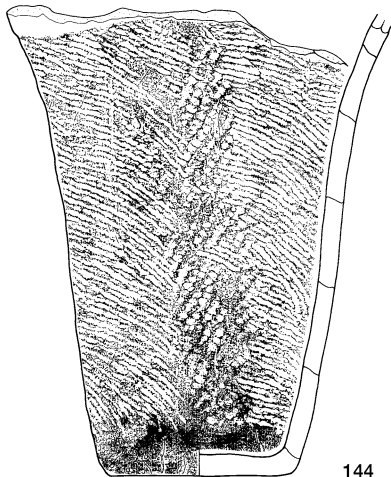
141



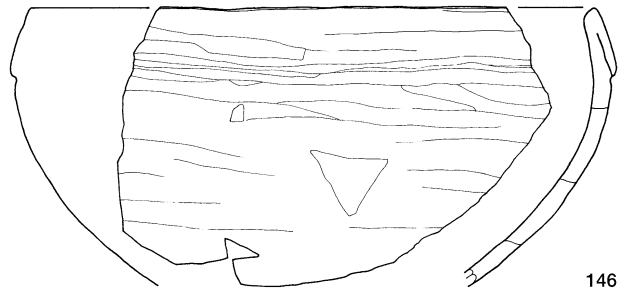
140



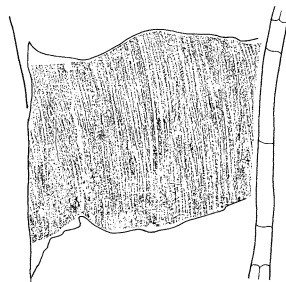
354



144



146

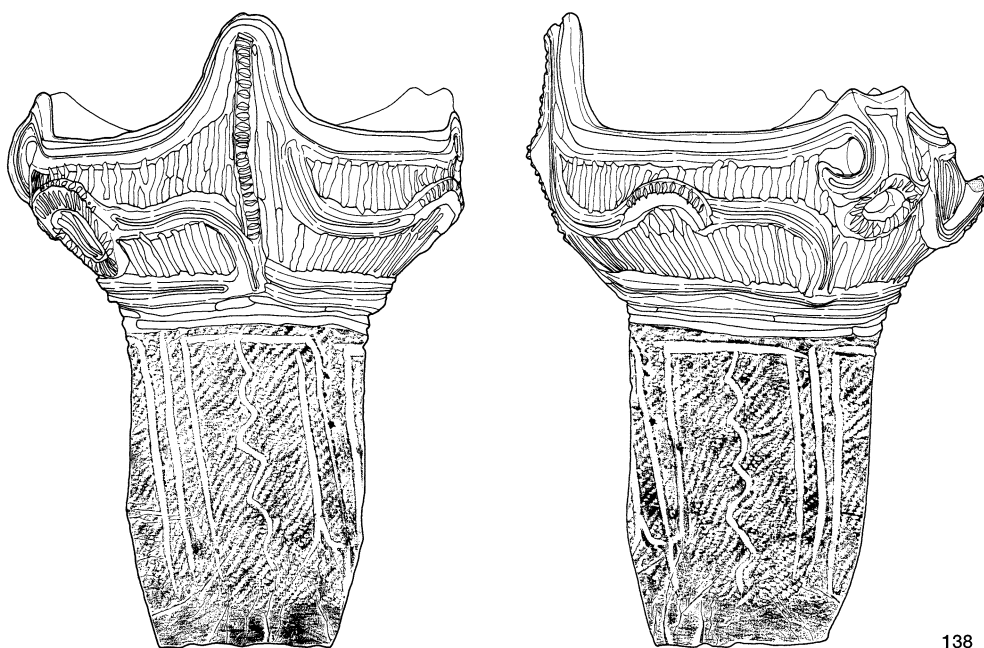
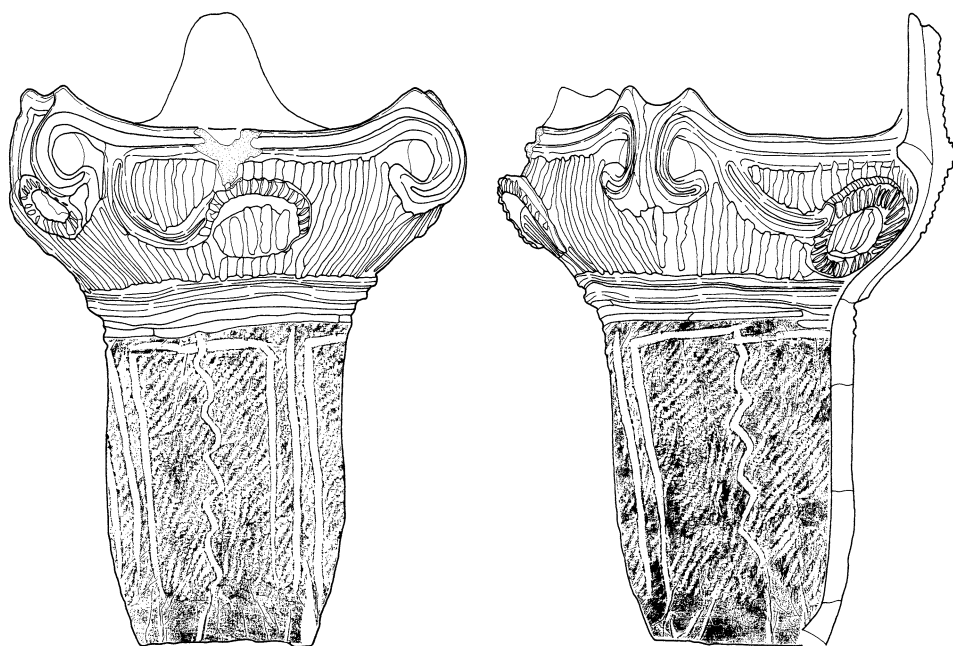


143

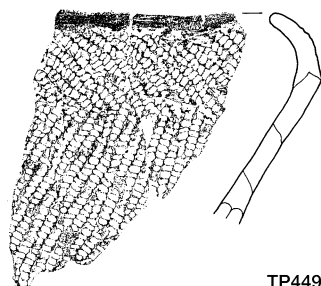


第221图 斜面貝層出土遺物実測図(49)

KB3b3



138



TP449



TP450

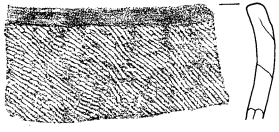


TP451

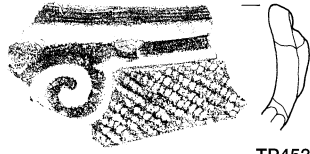


第222图 斜面貝層出土遺物実測図(50)

KB3b3



TP452



TP453



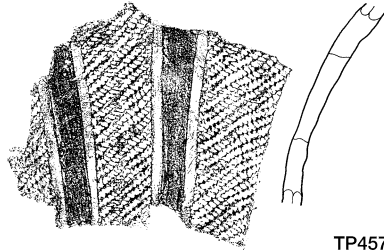
TP455



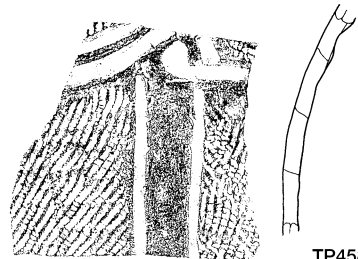
TP456



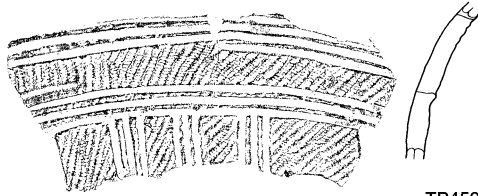
TP454



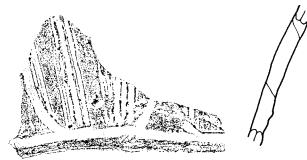
TP457



TP458

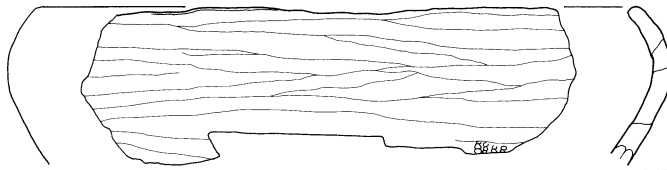


TP459

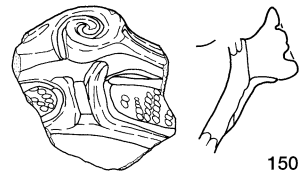


TP460

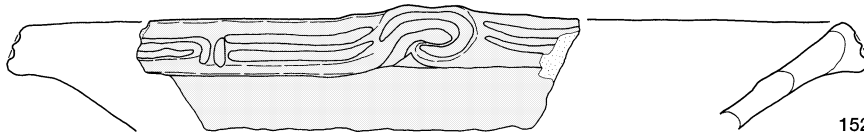
KB3b4



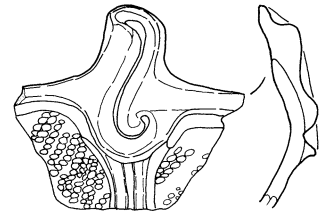
147



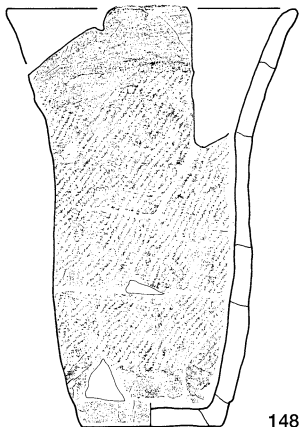
150



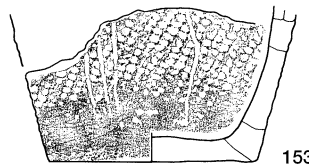
152



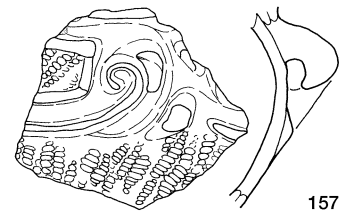
149



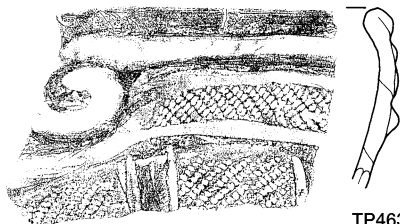
148



153



157

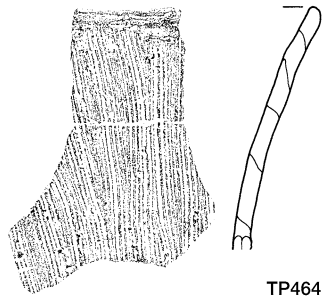


TP463

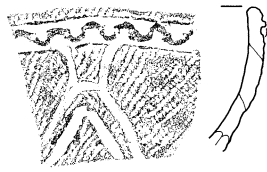


第223图 斜面貝層出土遺物実測図(51)

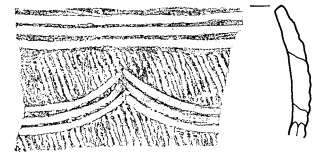
KB3b4



TP464



TP465



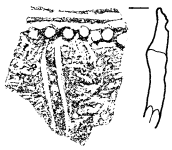
TP466



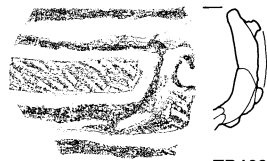
TP467



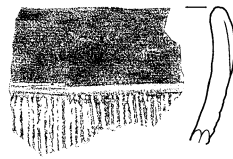
TP473



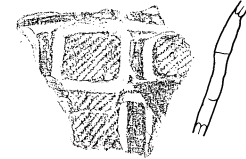
TP472



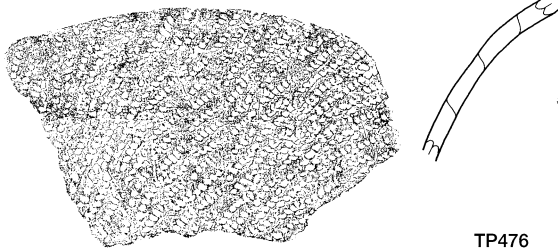
TP469



TP468



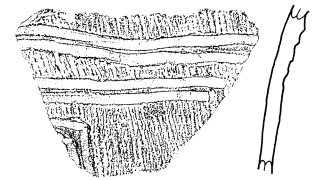
TP484



TP476



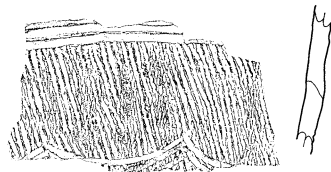
TP483



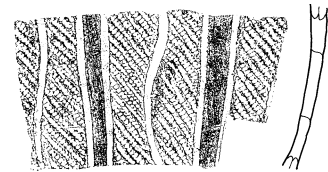
TP479



TP490

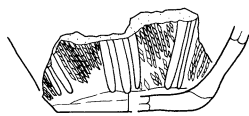


TP478

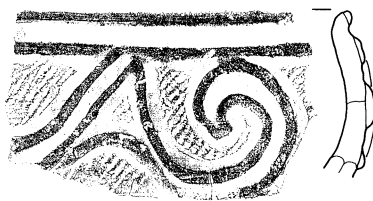


TP477

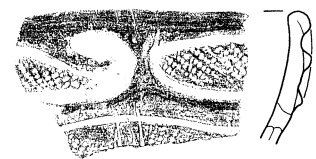
KB3b5



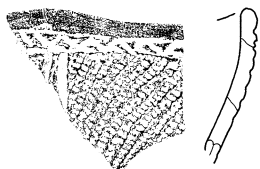
155



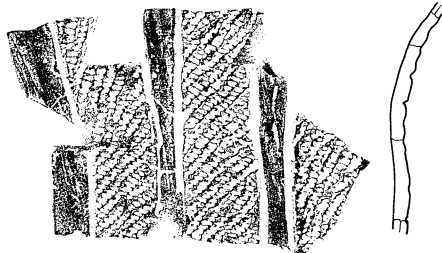
TP491



TP493



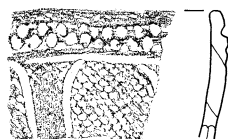
TP494



TP502



TP503

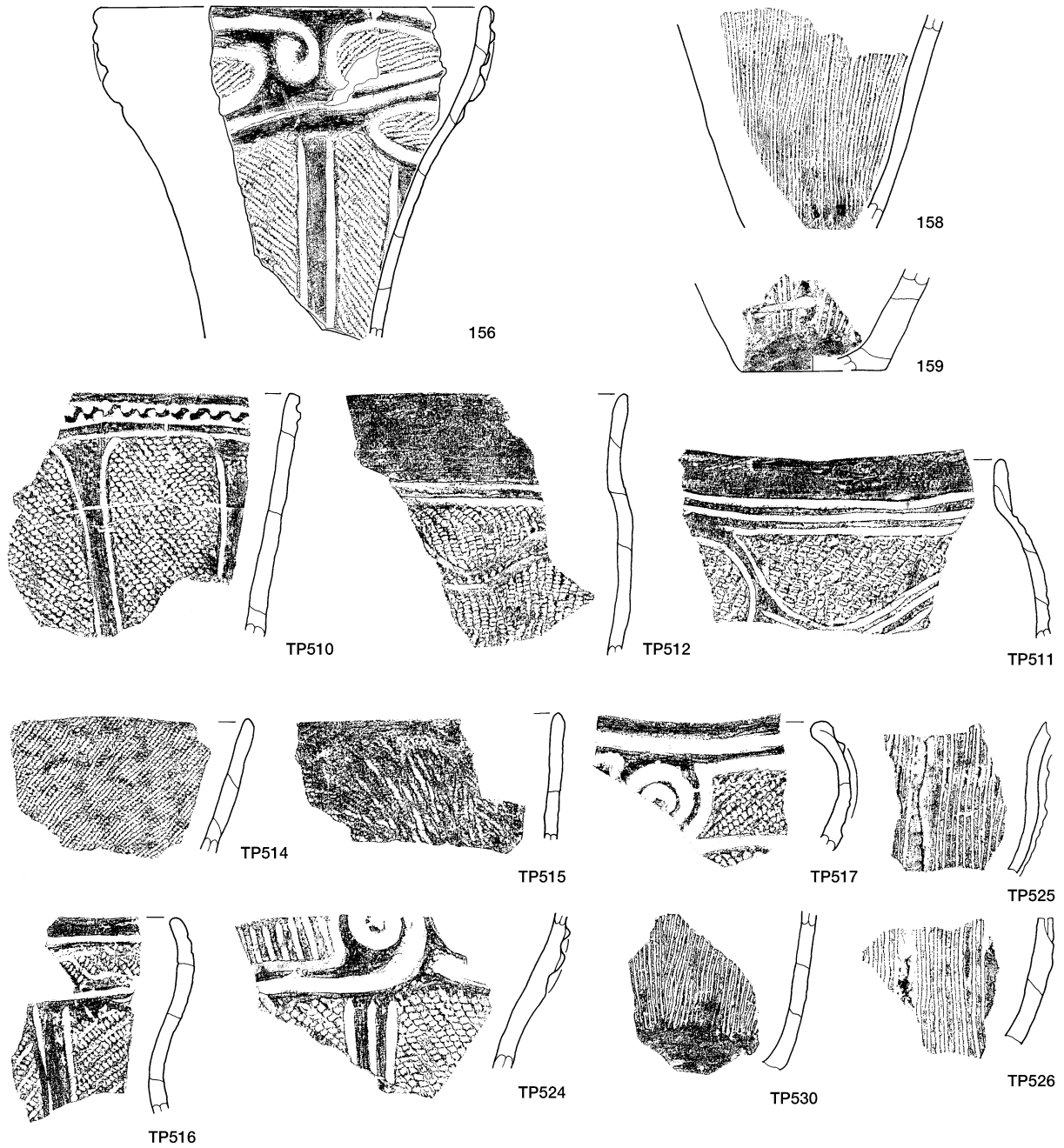


TP496

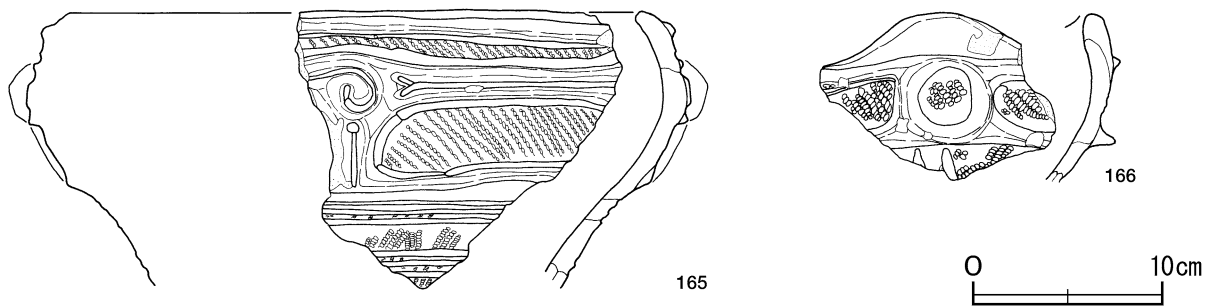


第224图 斜面貝層出土遺物実測図(52)

KB3c1

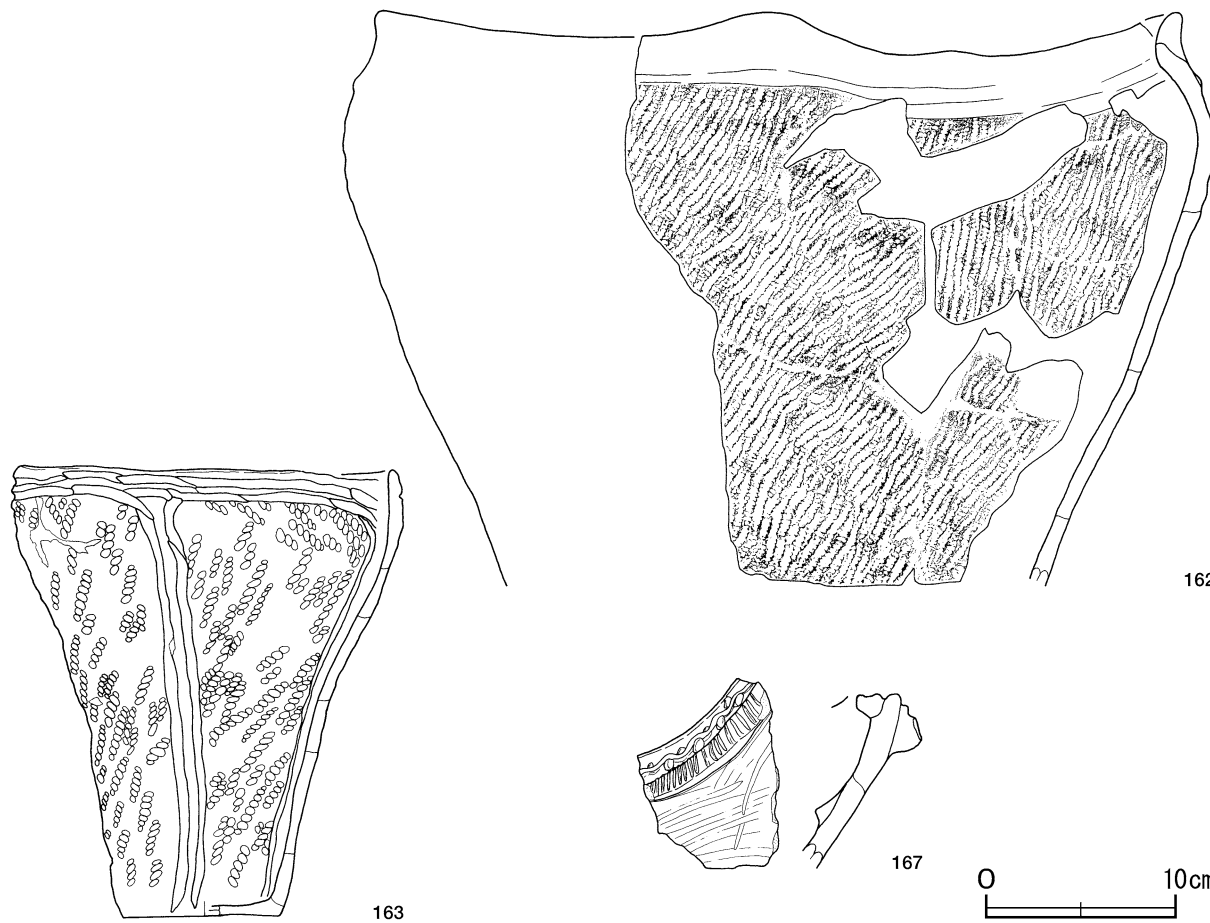
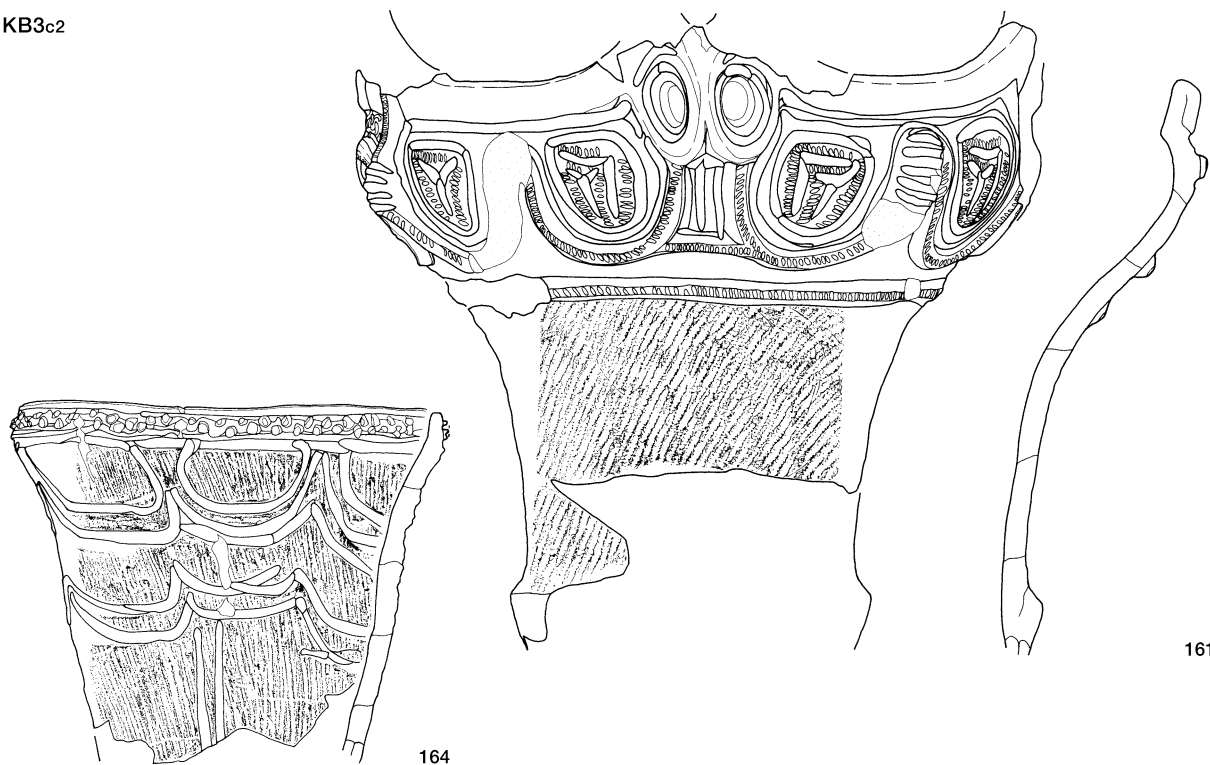


KB3c2



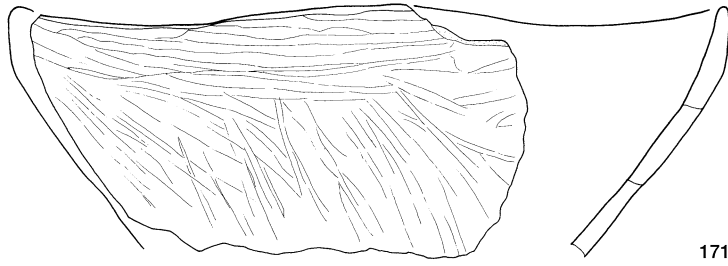
第225図 斜面貝層出土遺物実測図(53)

KB3c2

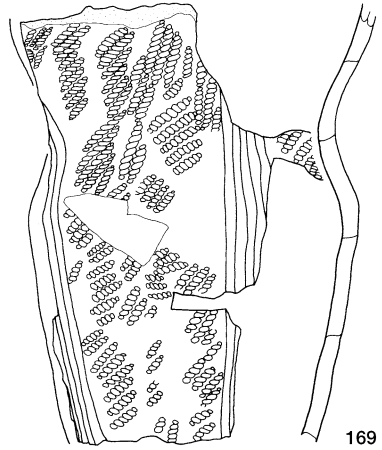


第226圖 斜面貝層出土遺物実測図(54)

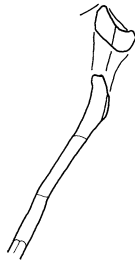
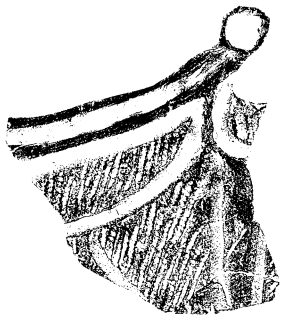
KB3c2



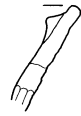
171



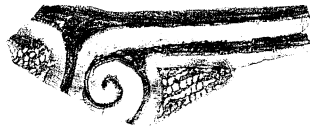
169



TP533



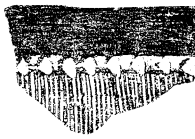
TP536



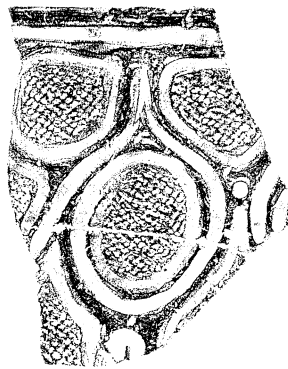
TP534



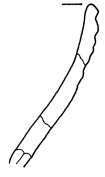
TP538



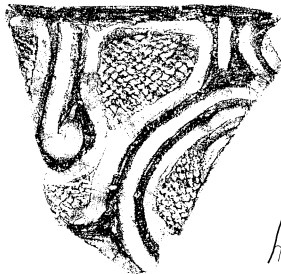
TP535



TP546



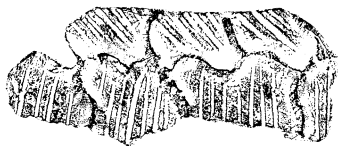
TP539



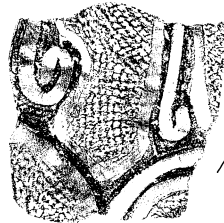
TP547



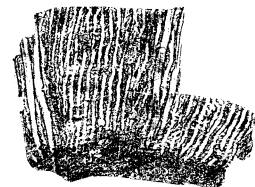
TP552



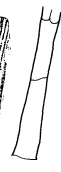
TP548



TP549



TP553



TP557



TP554

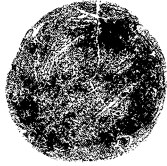
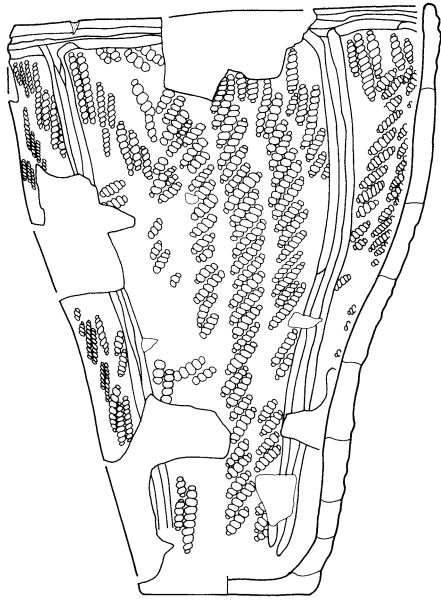


TP555

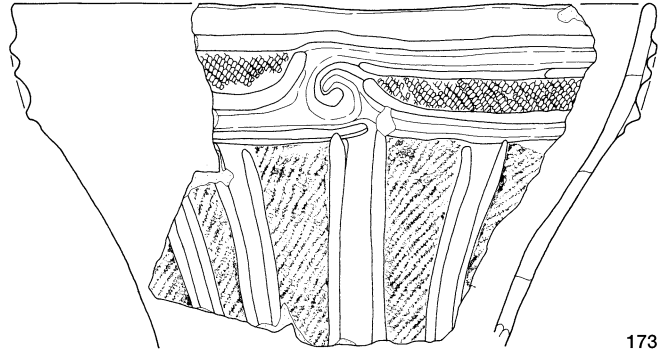


第227图 斜面貝層出土遺物実測图(55)

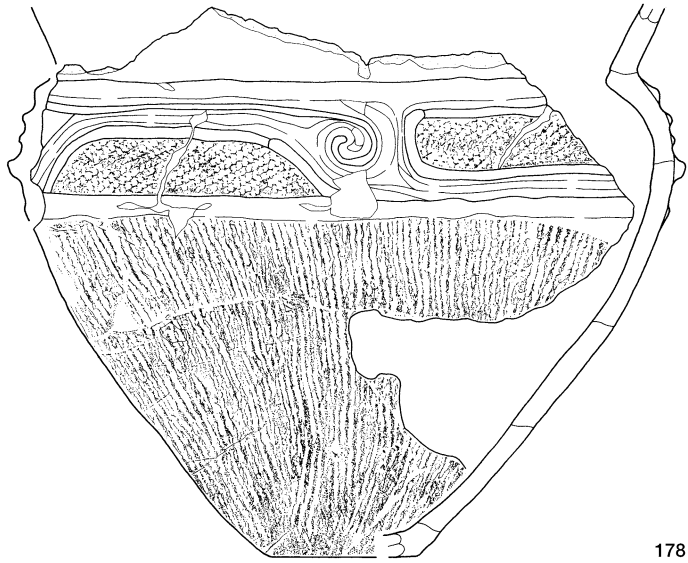
KB3c3



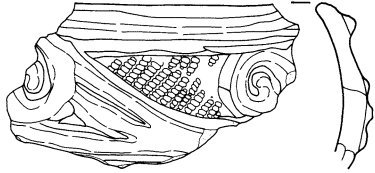
172



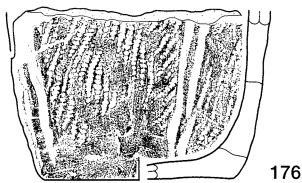
173



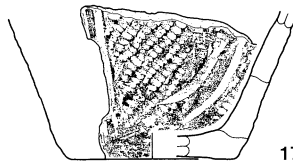
178



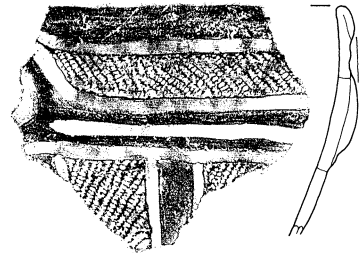
175



176



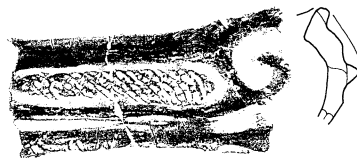
177



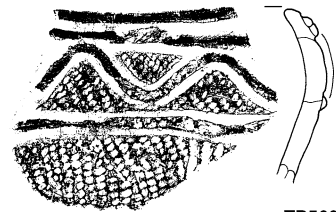
TP558



TP563



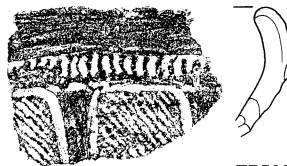
TP561



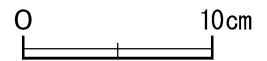
TP560



TP566



TP562

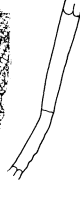
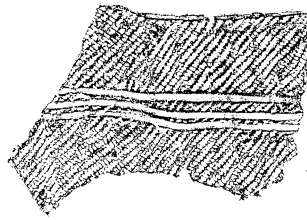


第228図 斜面貝層出土遺物実測図(56)

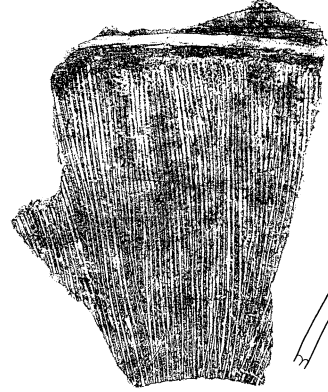
KB3c3



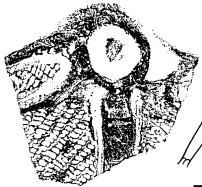
TP564



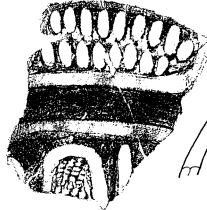
TP569



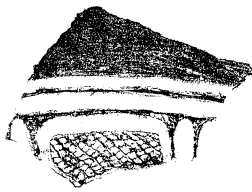
TP568



TP565

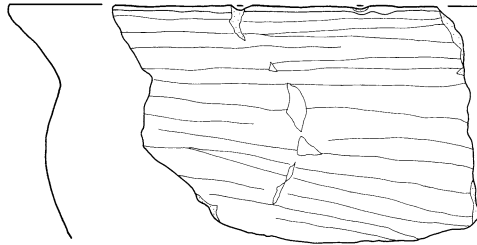


TP570

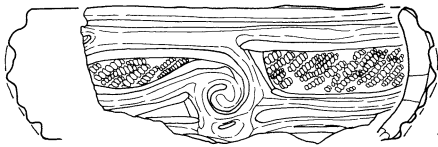


TP571

KB3c4



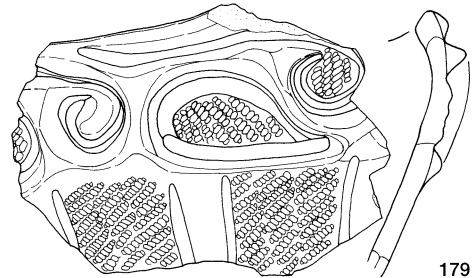
180



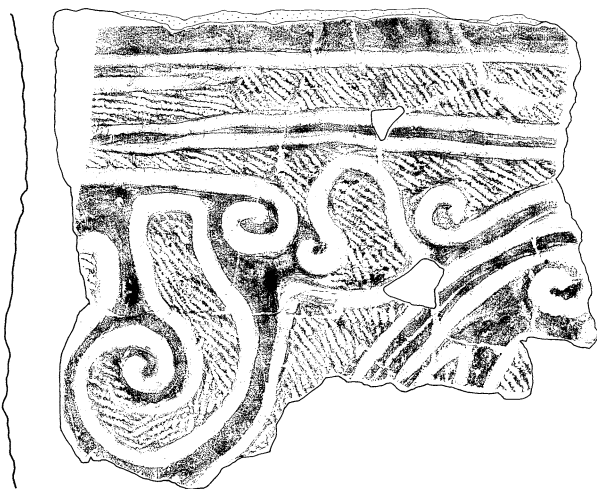
181



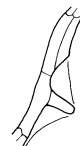
182



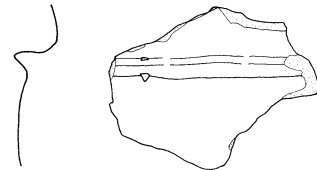
179



183



184

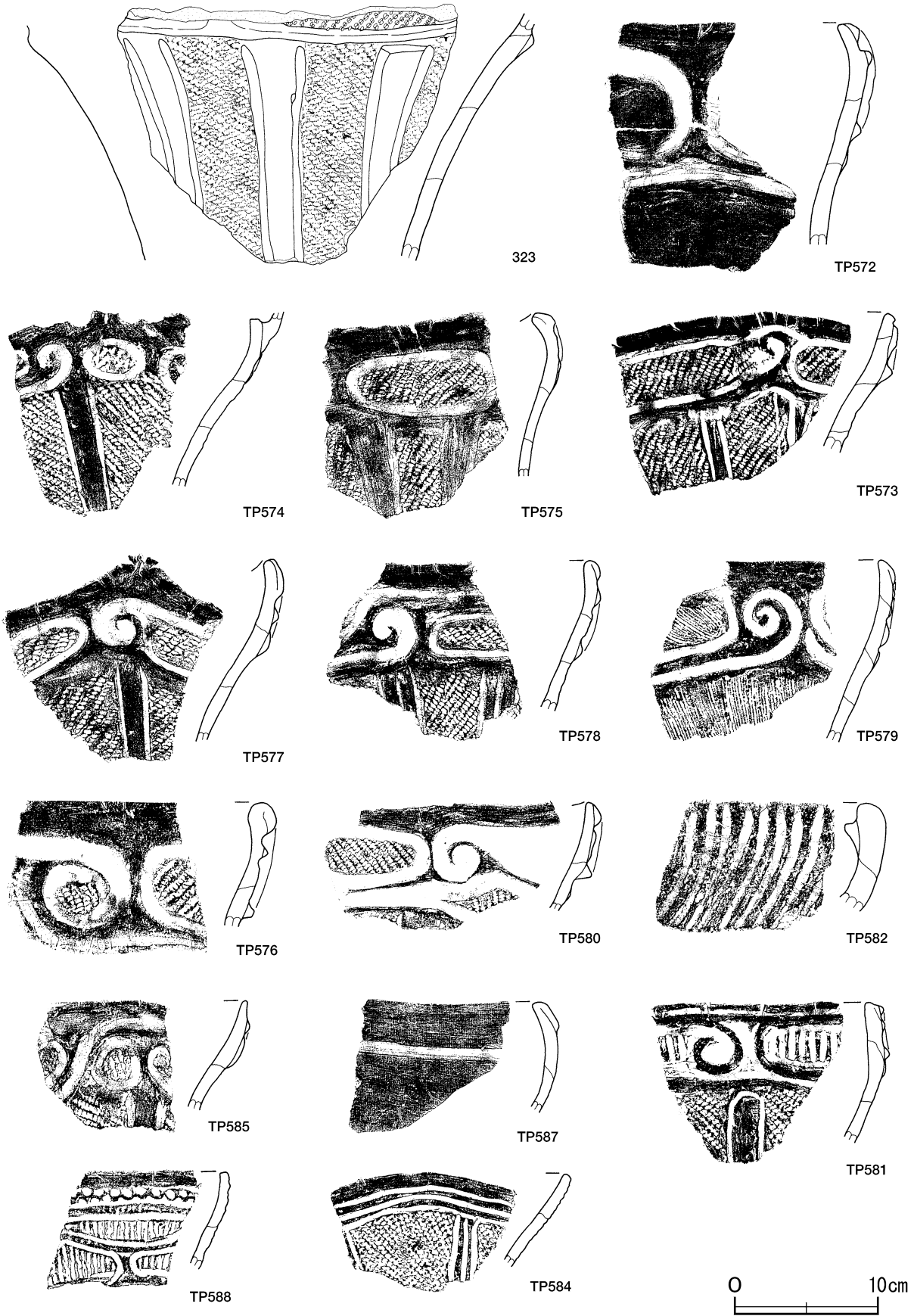


185



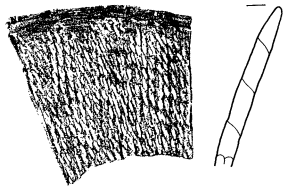
第229图 斜面貝層出土遺物実測図(57)

KB3c4

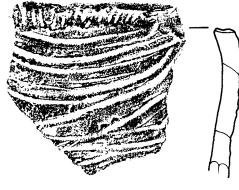


第230圖 斜面貝層出土遺物実測図(58)

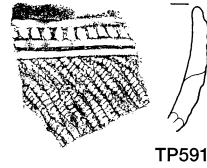
KB3c4



TP586



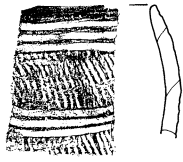
TP589



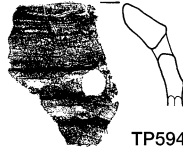
TP591



TP590



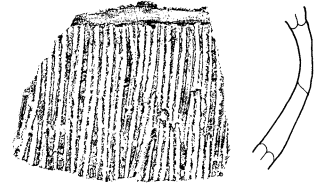
TP592



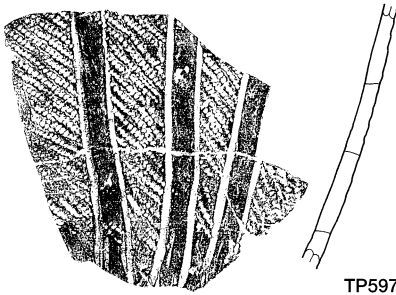
TP594



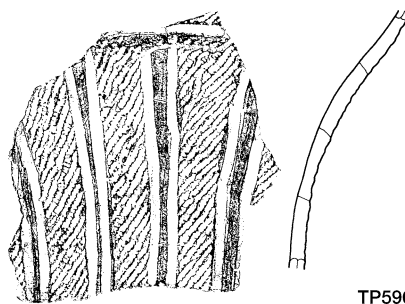
TP593



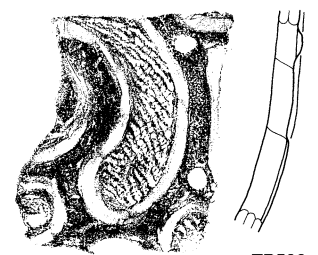
TP601



TP597



TP596



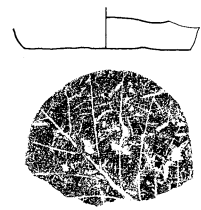
TP599



TP598

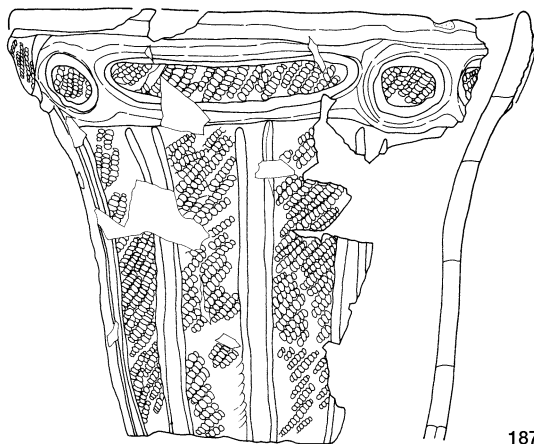


TP602

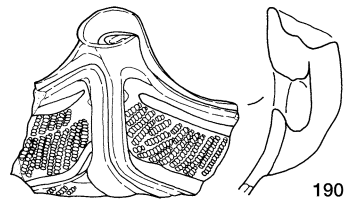


TP604

KB3c5



187

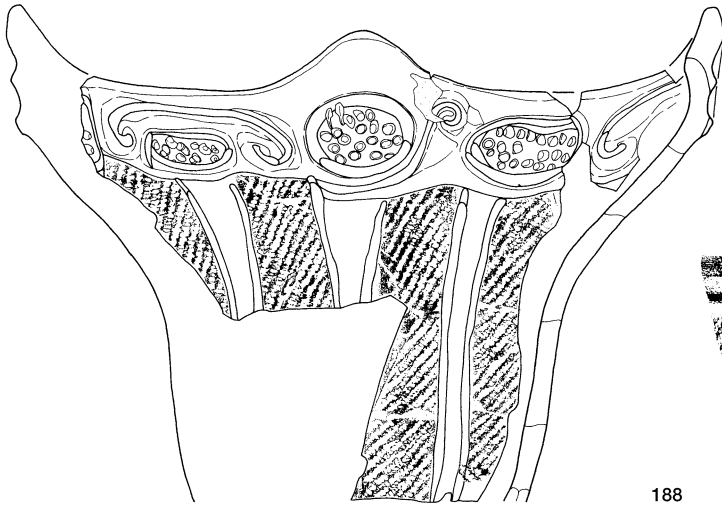


190

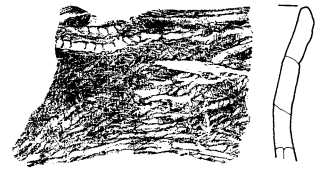


第231图 斜面貝層出土遺物実測図(59)

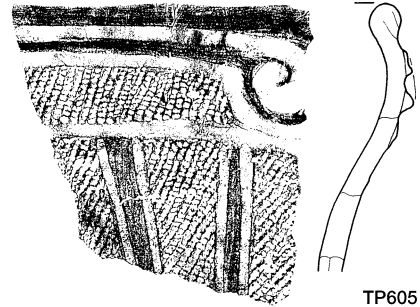
KB3c5



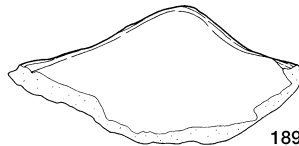
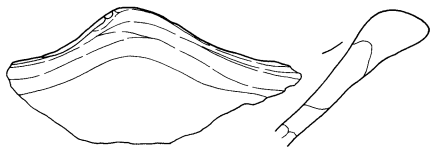
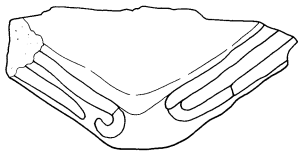
188



TP606



TP605

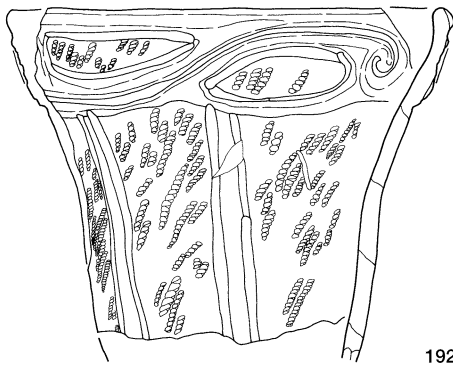


189

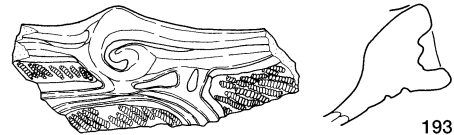


TP607

KB3d1



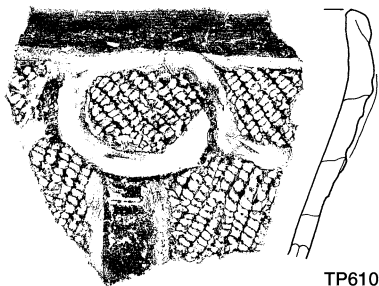
192



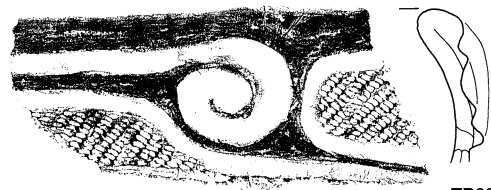
193



194



TP610

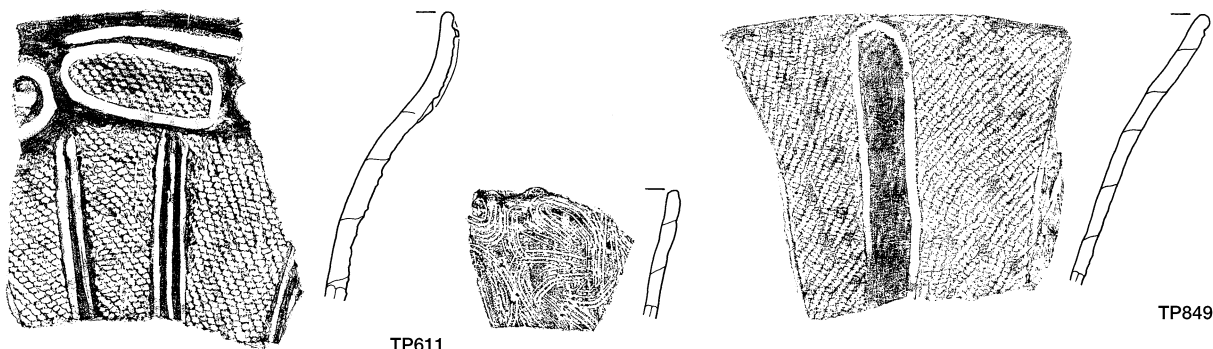


TP609



第232图 斜面貝層出土遺物実測図(60)

KB3d1



TP611

TP615

TP849

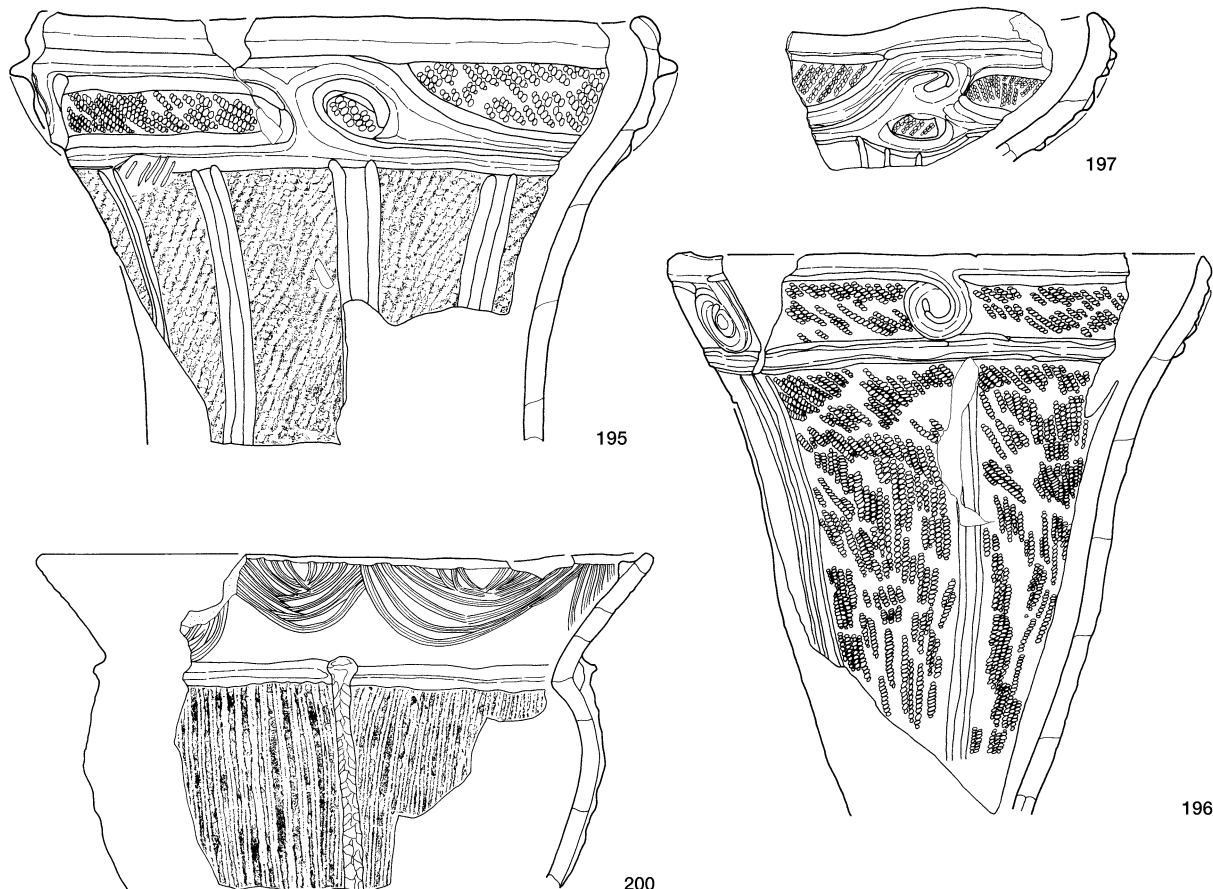


TP612

TP614

TP613

KB3d2



195

197

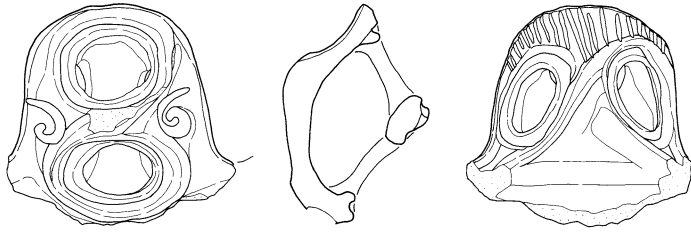
196

200



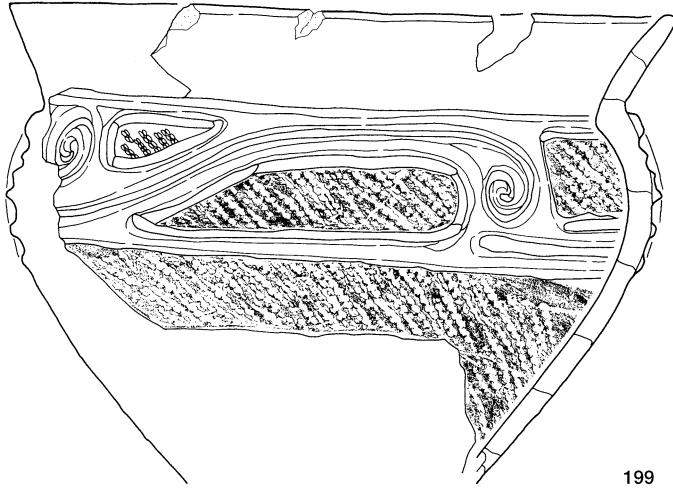
第233圖 斜面貝層出土遺物実測図(61)

KB3d2

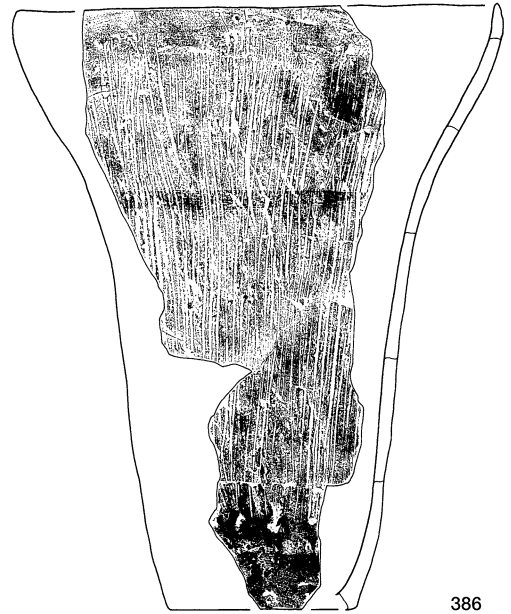


355

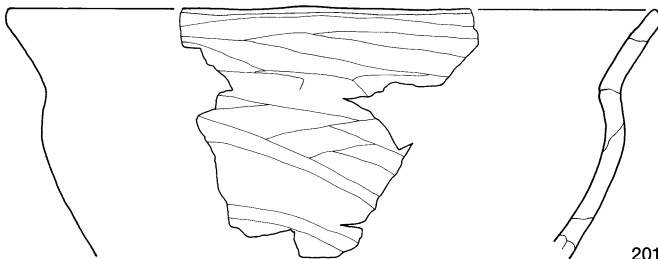
198



199



386



201



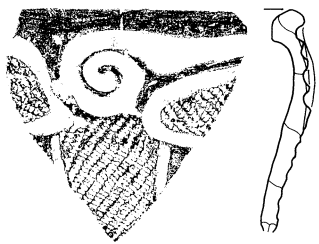
TP616



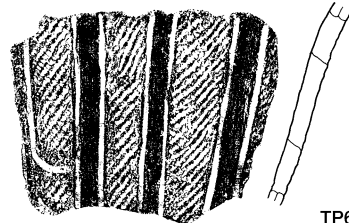
TP618



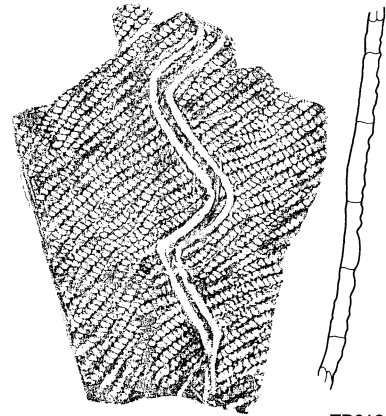
TP620



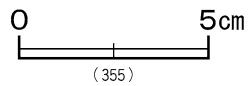
TP617



TP621



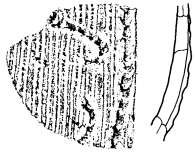
TP619



(355)

第234圖 斜面貝層出土遺物実測図(62)

KB3d2

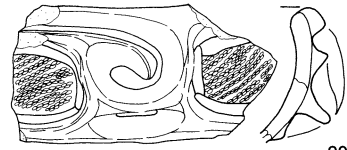


TP654

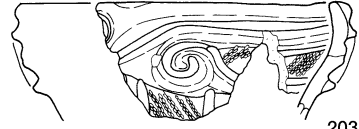


TP622

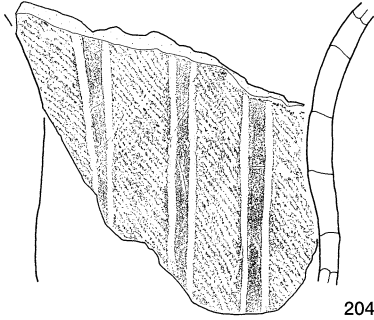
KB3d3



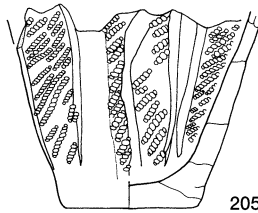
202



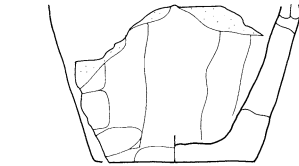
203



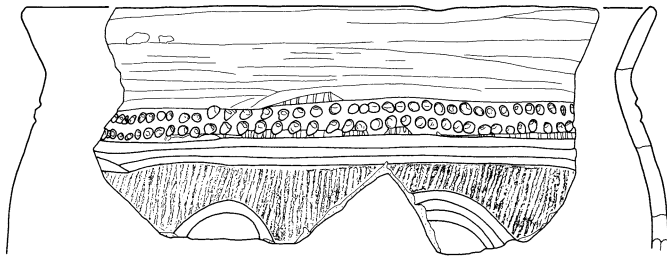
204



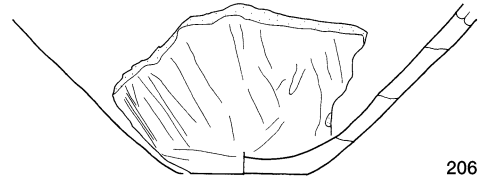
205



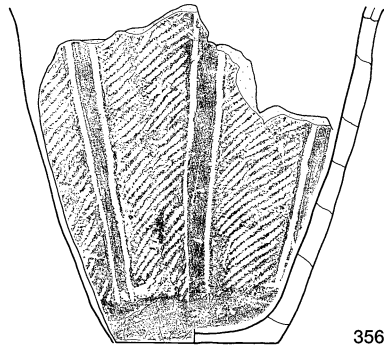
207



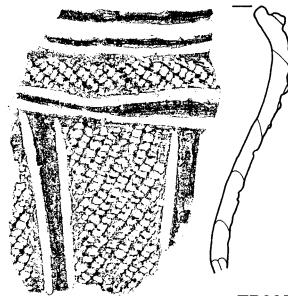
305



206



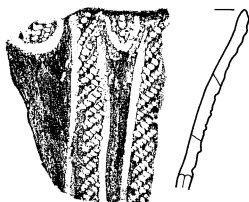
356



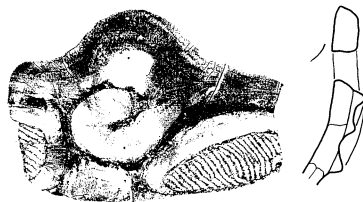
TP625



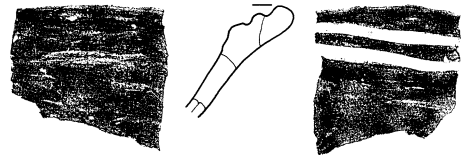
TP626



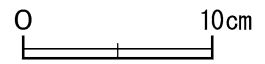
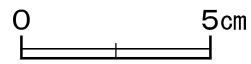
TP627



TP628



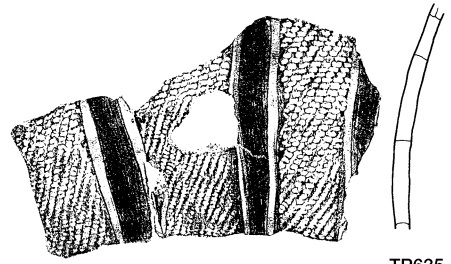
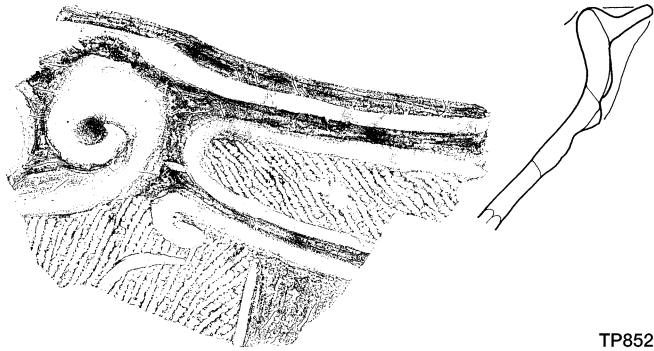
TP629



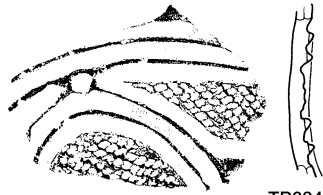
(207)

第235圖 斜面貝層出土遺物実測図(63)

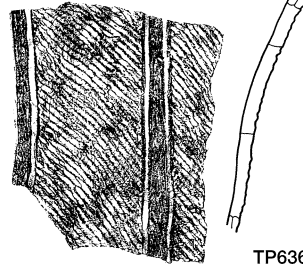
KB3d3



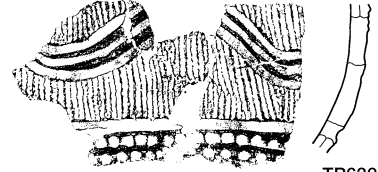
TP635



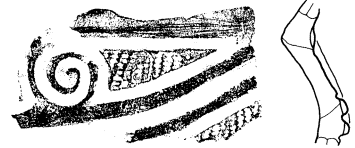
TP634



TP636



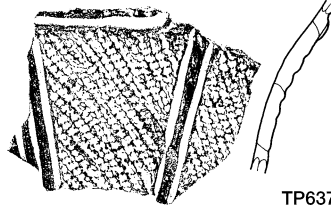
TP632



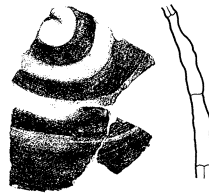
TP633



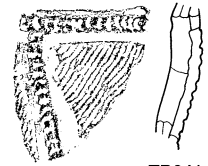
TP638



TP637

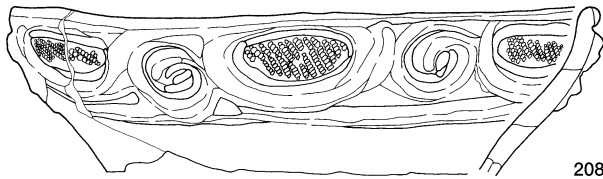


TP640

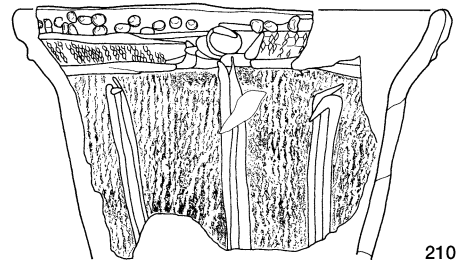


TP641

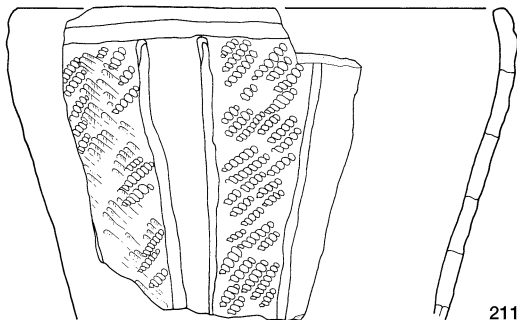
KB3d4



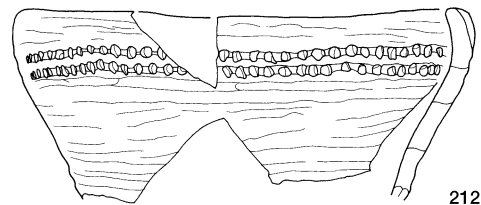
208



210



211

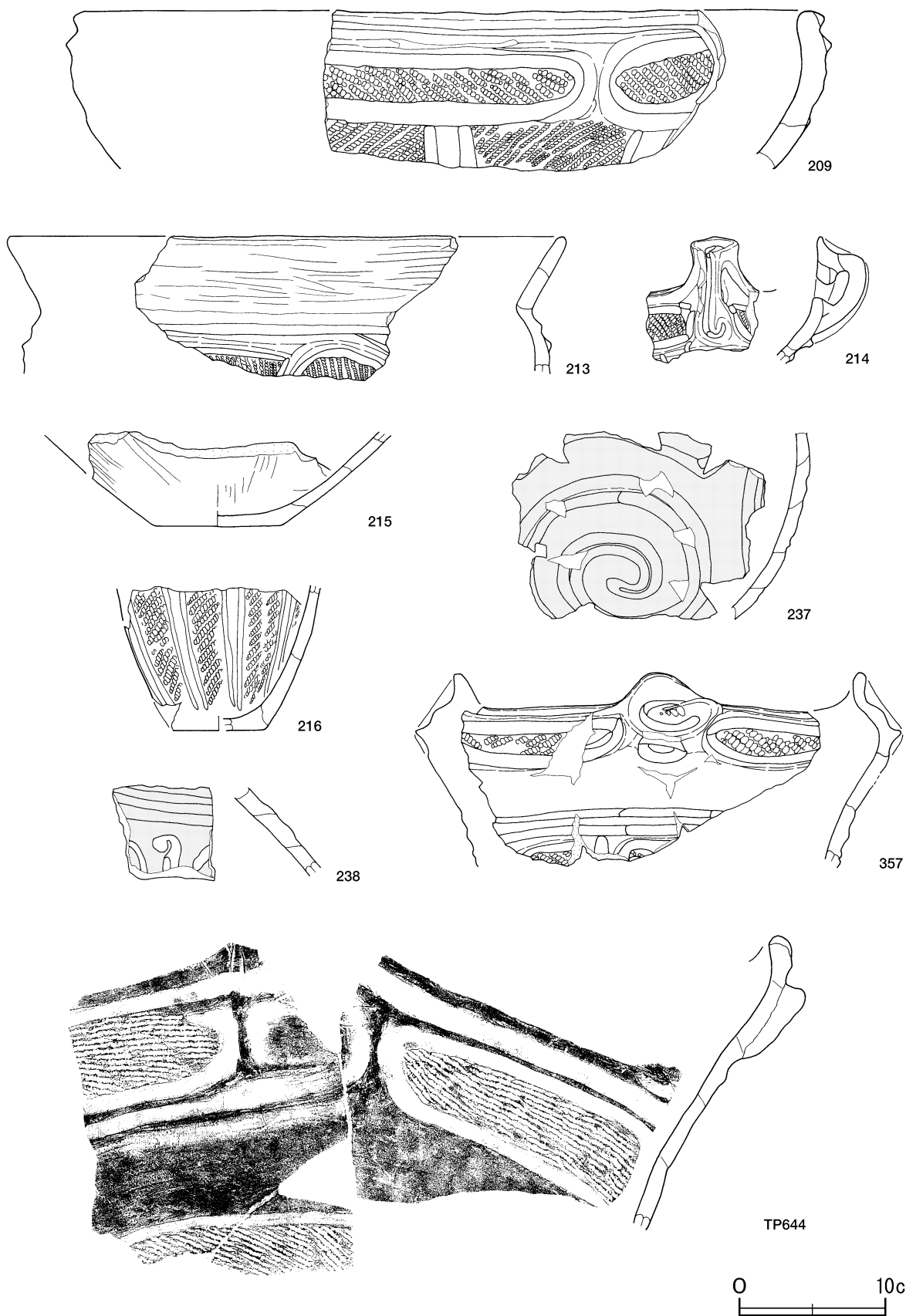


212



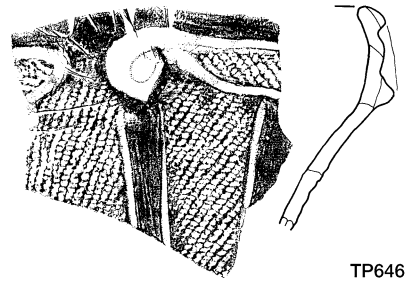
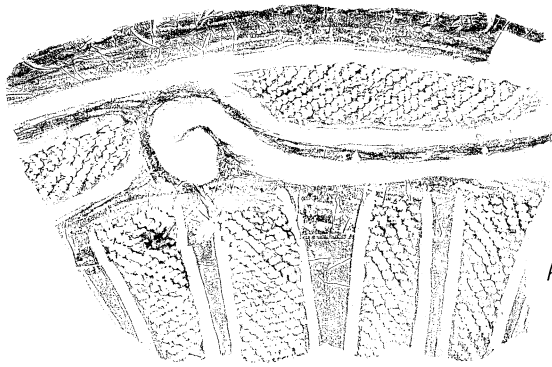
第236圖 斜面貝層出土遺物実測図(64)

KB3d4



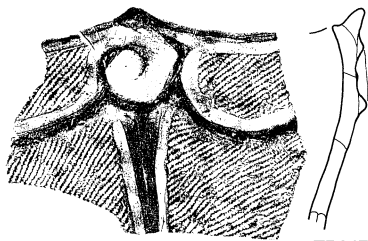
第237図 斜面貝層出土遺物実測図(65)

KB3d4



TP646

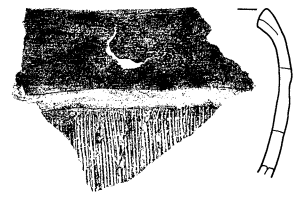
TP853



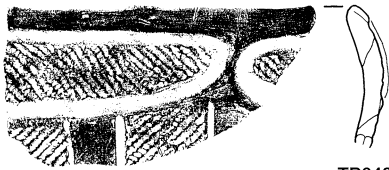
TP647



TP649



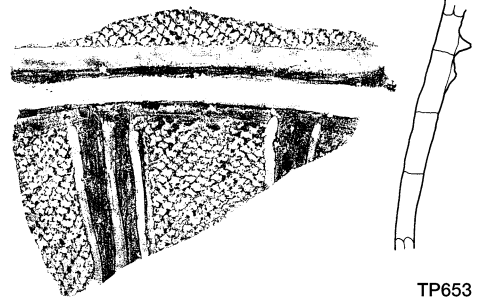
TP650



TP648

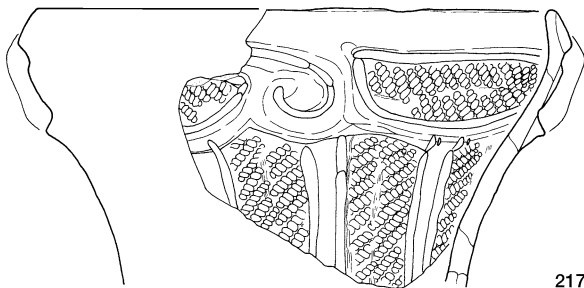


TP651

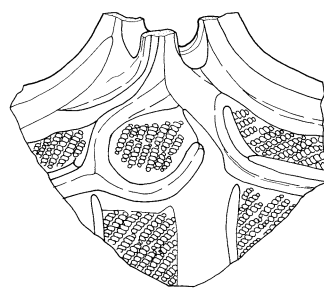


TP653

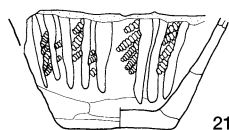
KB3d5



217



218

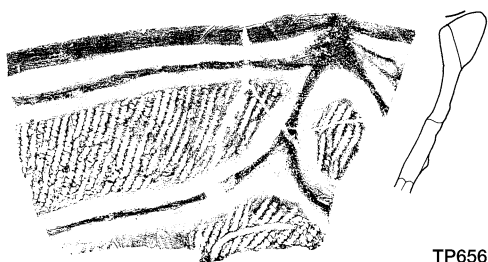


219

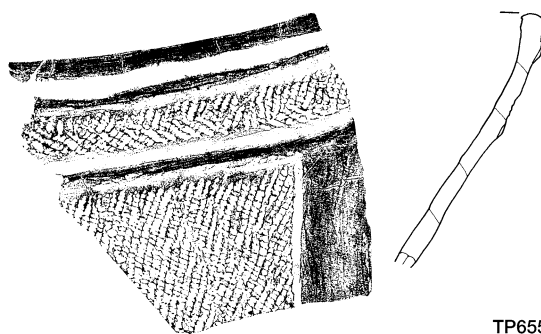


第238圖 斜面貝層出土遺物実測図(66)

KB3d5

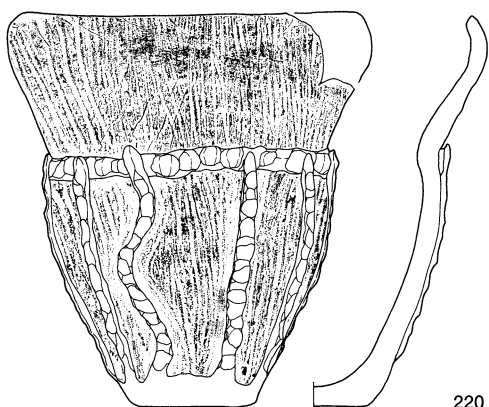


TP656

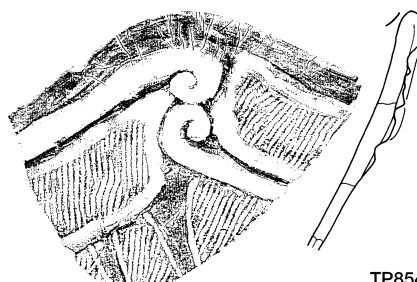


TP655

KB3e1

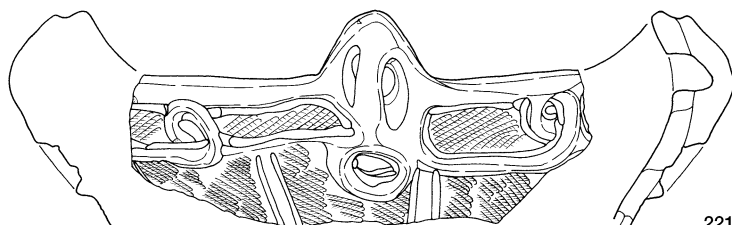


220

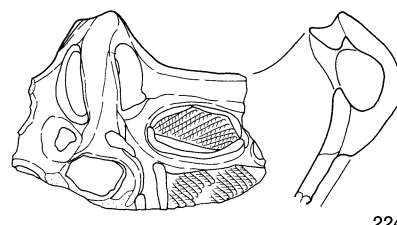


TP854

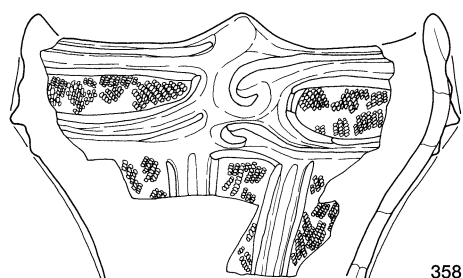
KB3e2



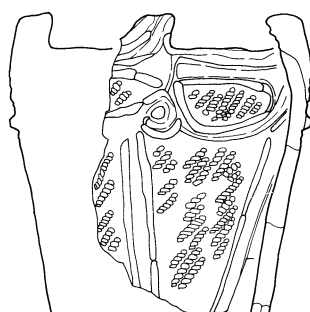
221



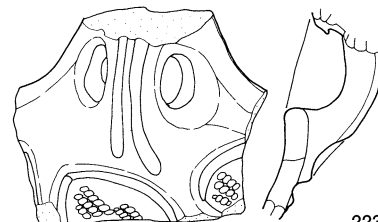
224



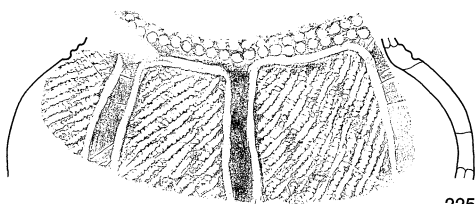
358



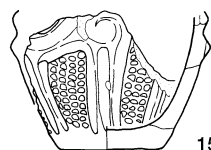
222



223



225

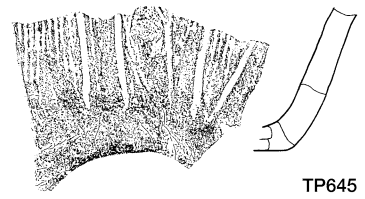
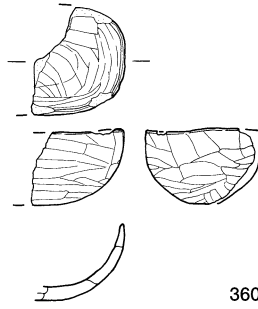


151

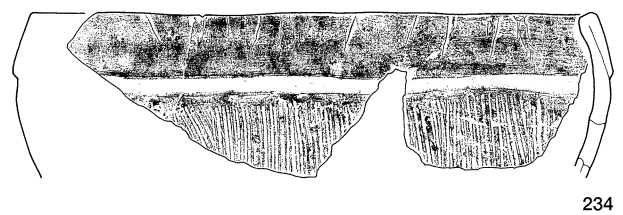
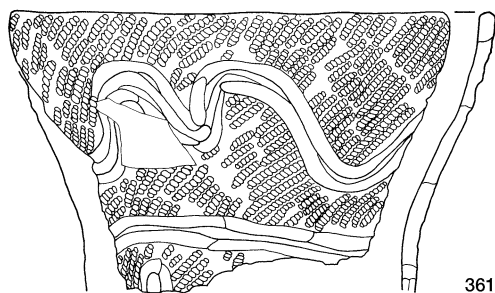
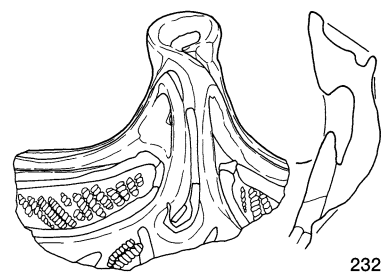
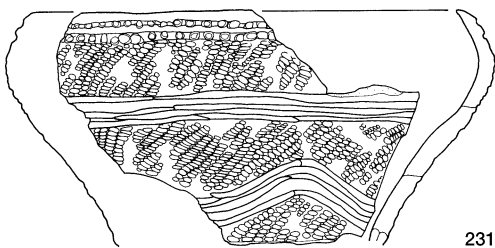
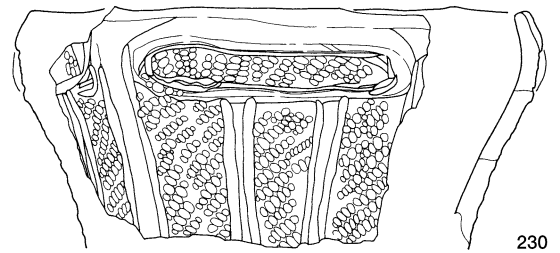
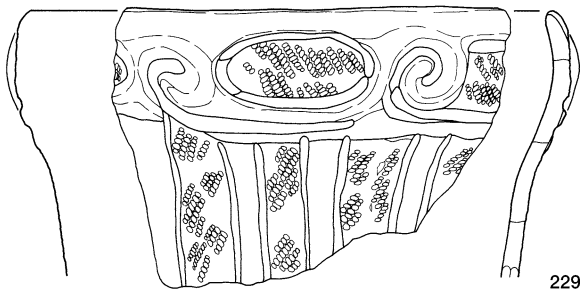
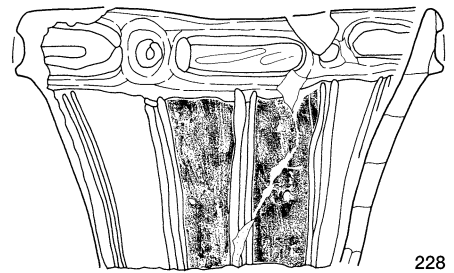
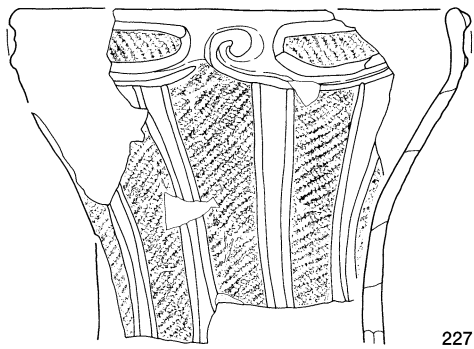


第239圖 斜面貝層出土遺物実測図(67)

KB3e2

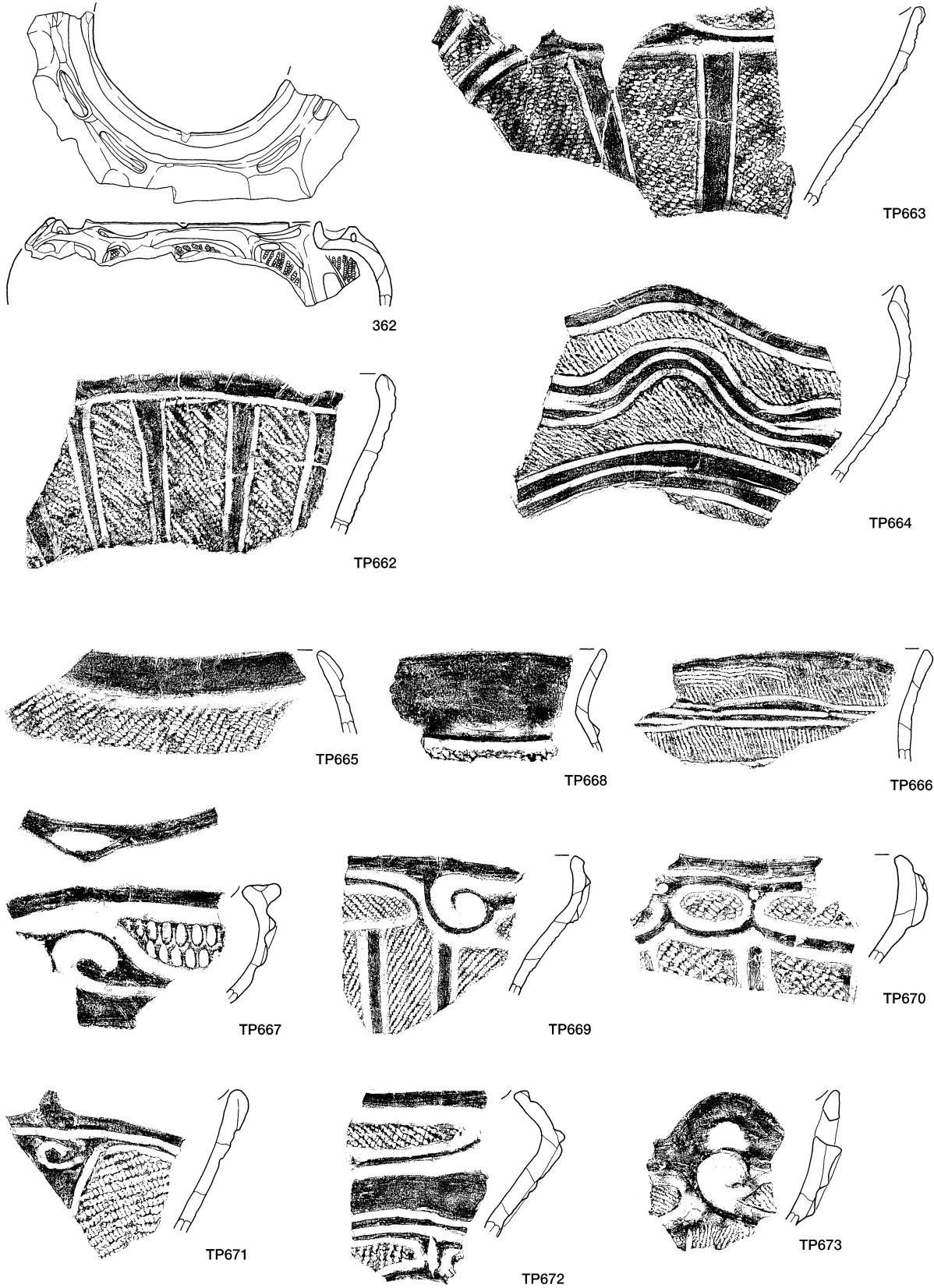


KB3e3



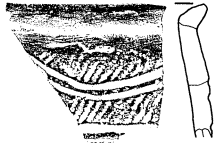
第240圖 斜面貝層出土遺物実測図(68)

KB3e3

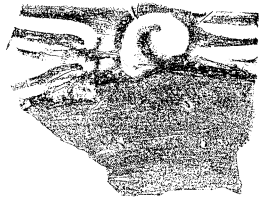


第241图 斜面貝層出土遺物実測図(69)

KB3e3



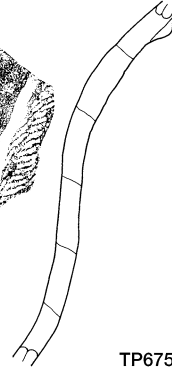
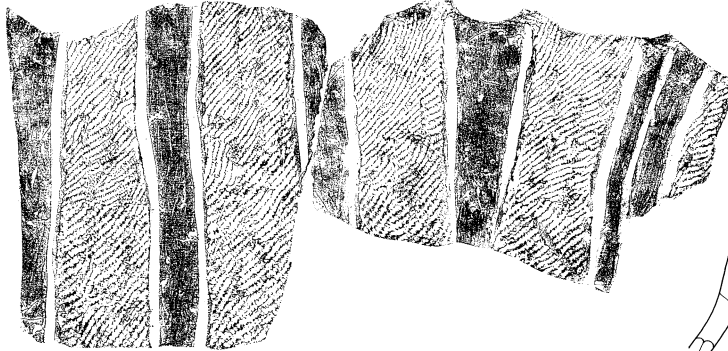
TP674



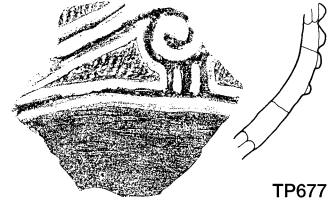
TP676



TP860

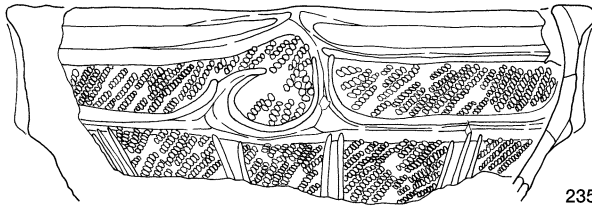


TP675

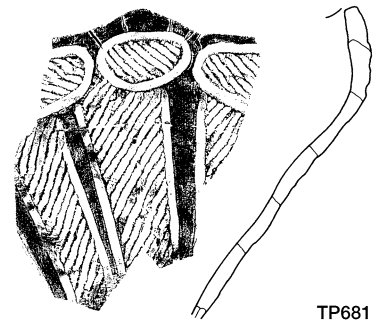


TP677

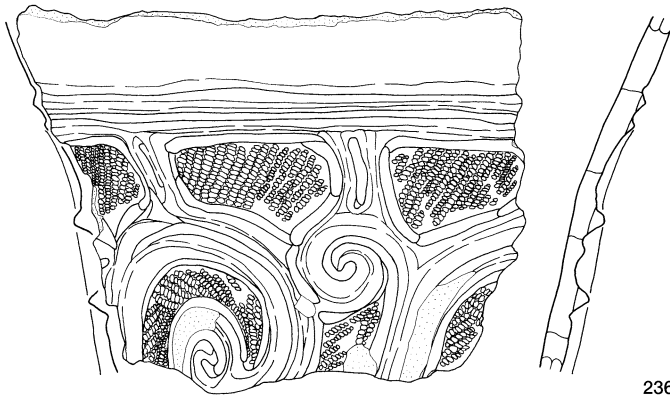
KB3e4



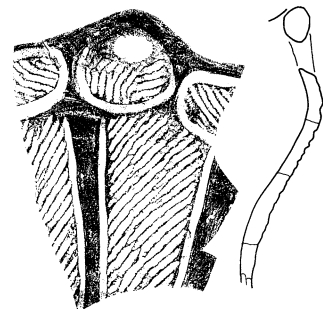
235



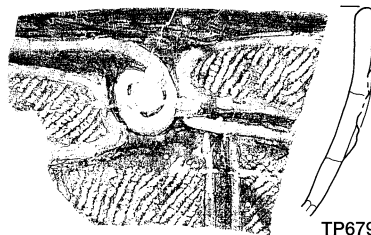
TP681



236



TP680

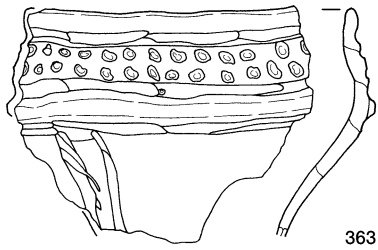


TP679

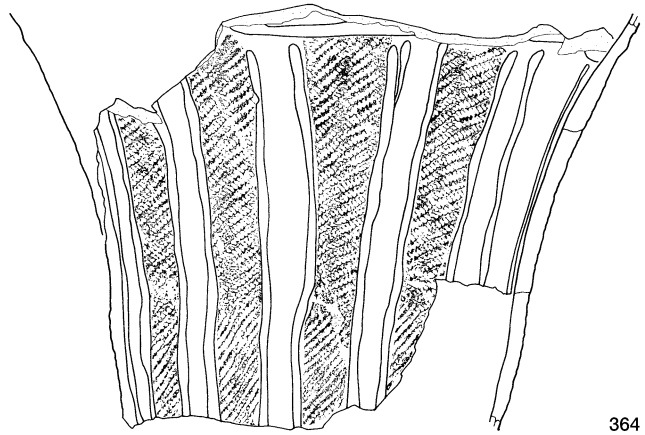


第242图 斜面貝層出土遺物実測図(70)

KB3e5

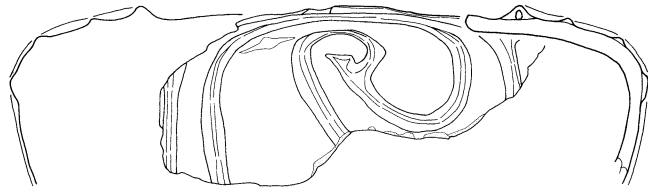
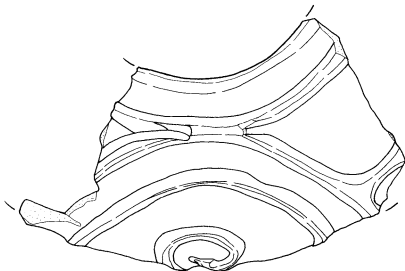


363

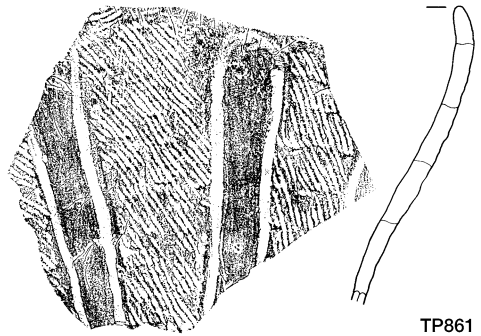


364

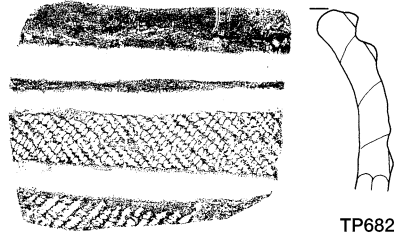
KC2a2



365

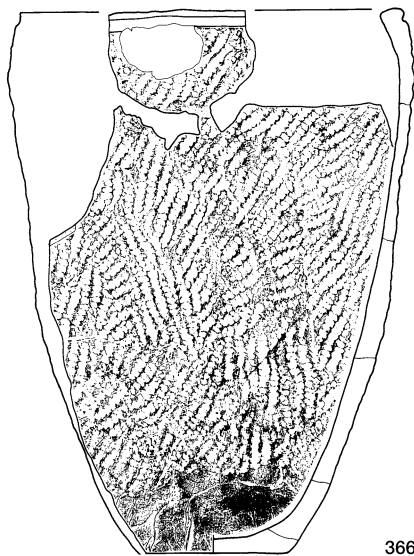


TP861

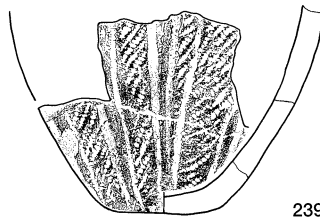


TP682

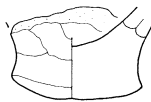
KC2a3



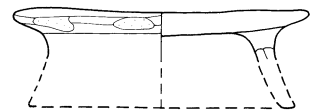
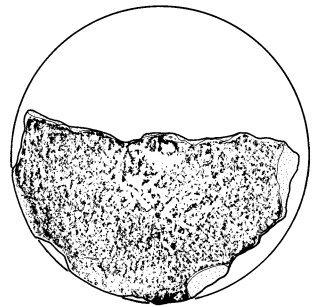
366



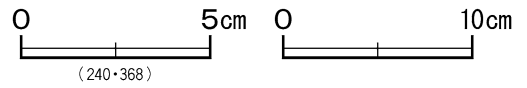
239



240

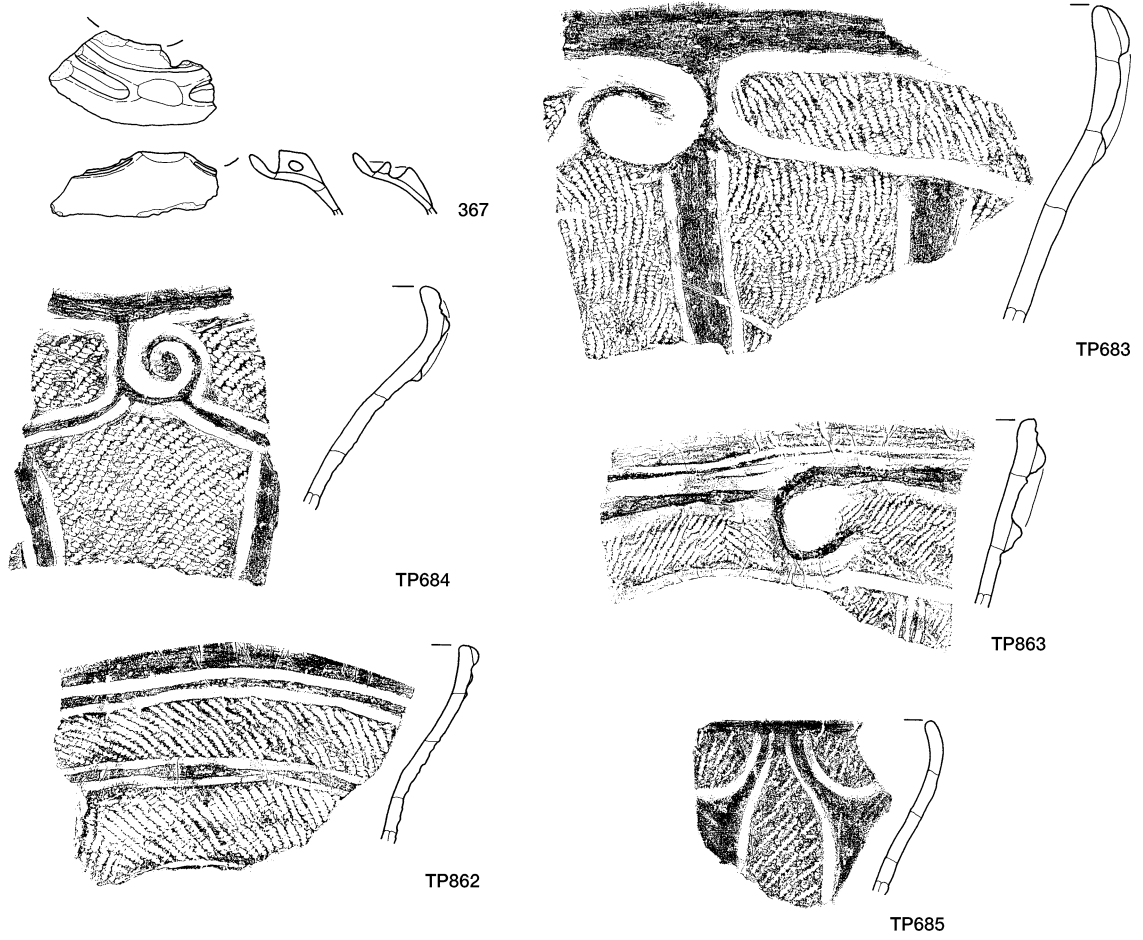


368

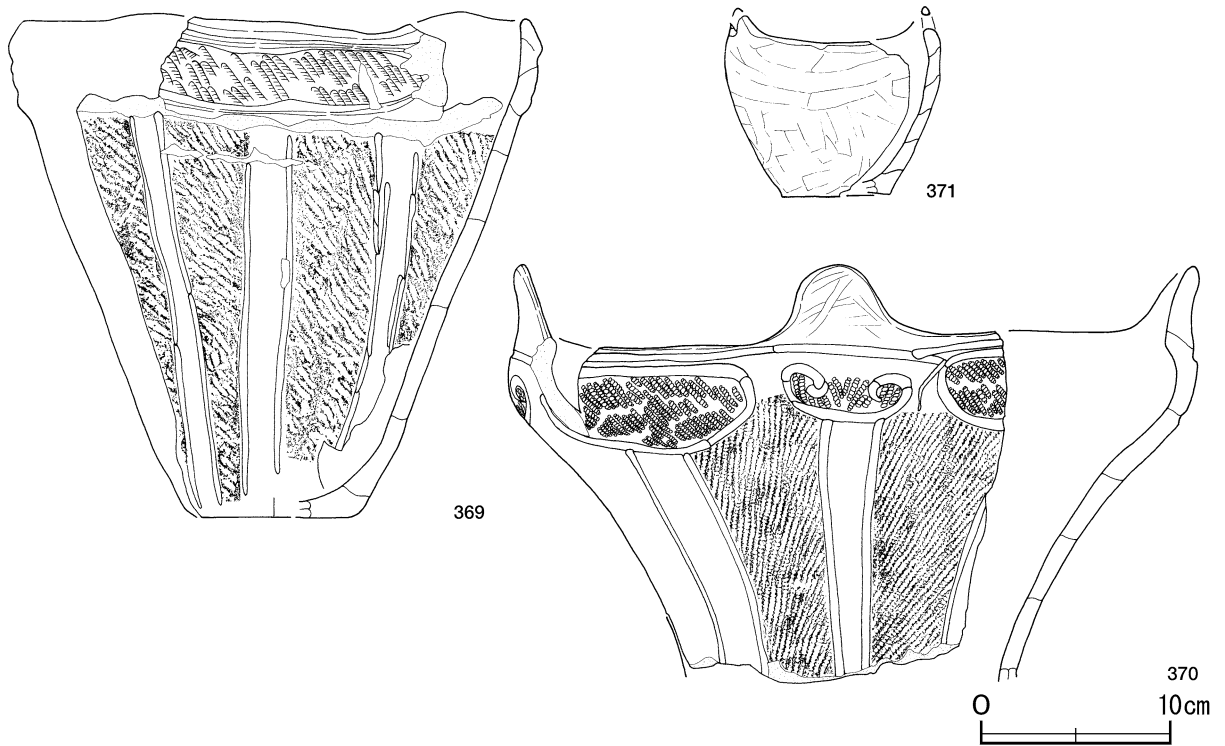


第243圖 斜面貝層出土遺物実測図(71)

KC2a3

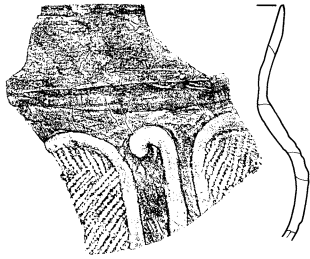


KC2a4

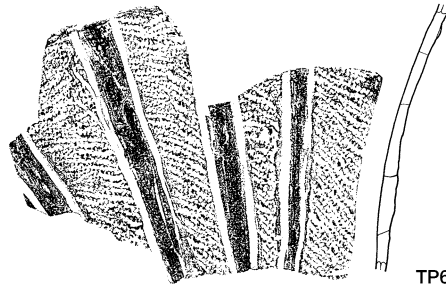


第244圖 斜面貝層出土遺物実測図(72)

KC2a4

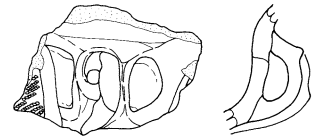
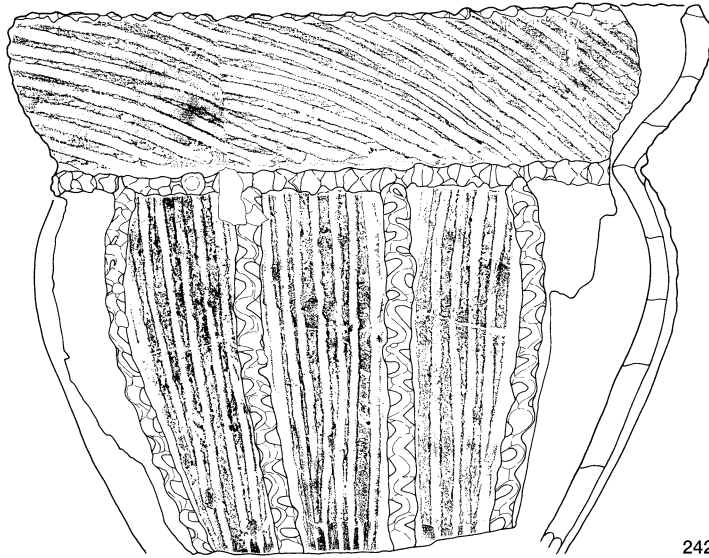


TP864

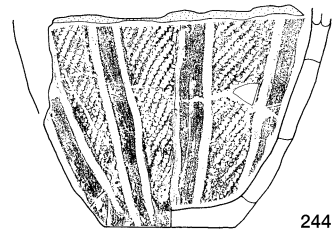


TP686

KC2a5

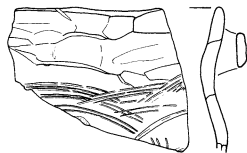


243



244

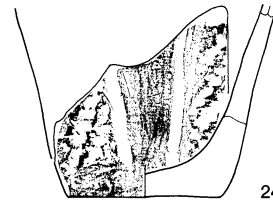
242



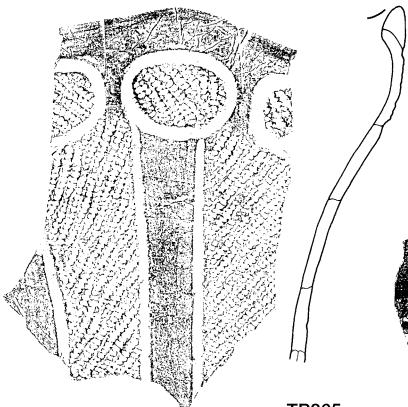
372



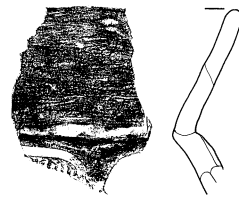
378



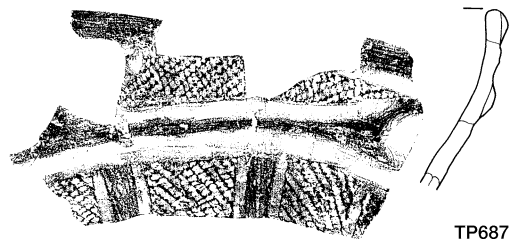
245



TP865



TP688



TP687

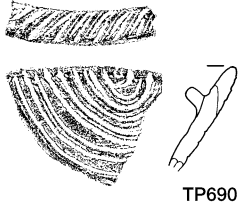


(245・378)

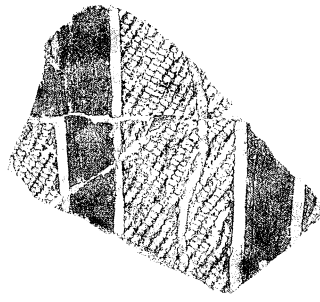


第245図 斜面貝層出土遺物実測図(73)

KC2a5

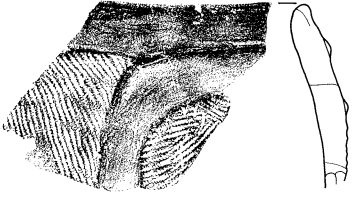


TP690

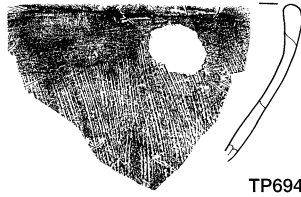


TP692

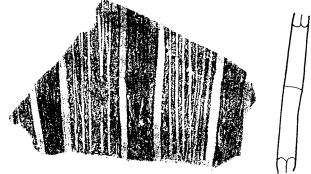
KC2b1



TP693

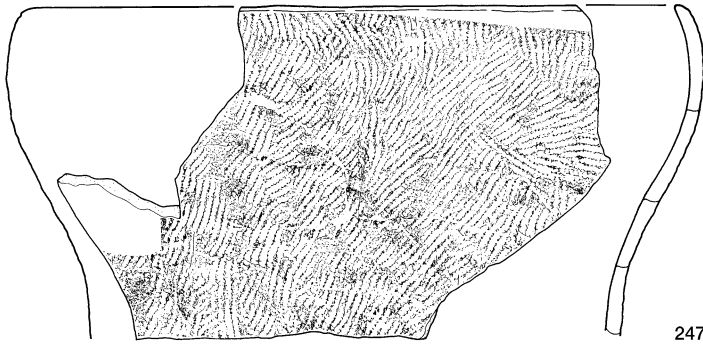


TP694



TP696

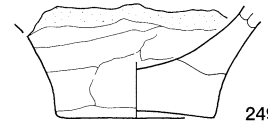
KC2b2



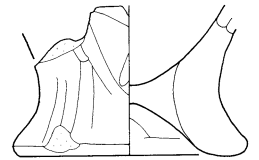
247



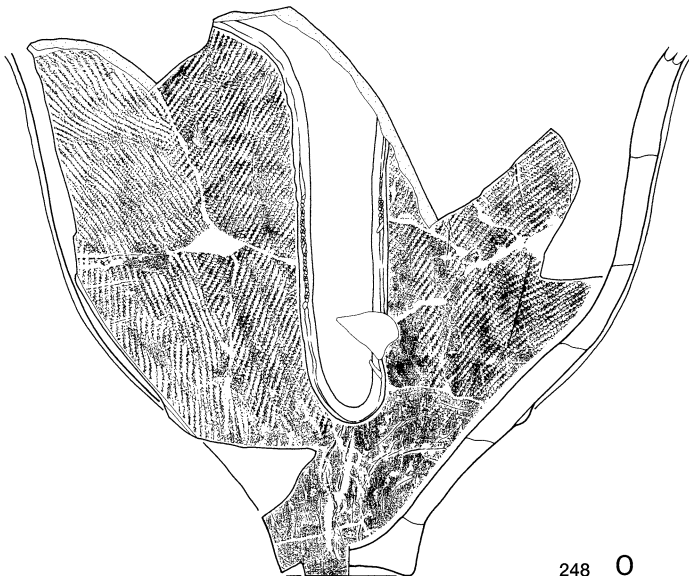
373



249



374



248



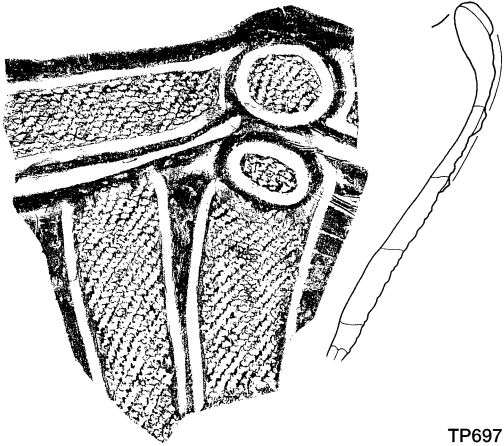
(249・374)



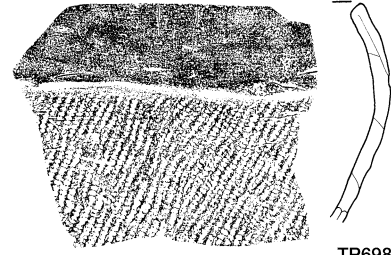
TP699

第246図 斜面貝層出土遺物実測図(74)

KC2b2

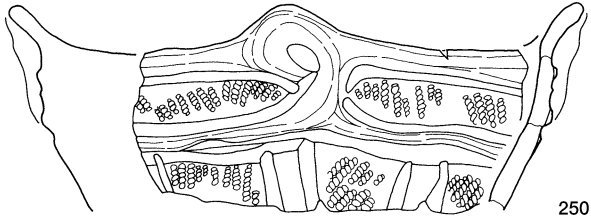


TP697

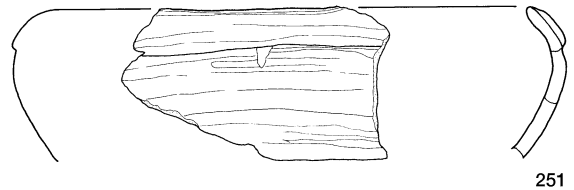


TP698

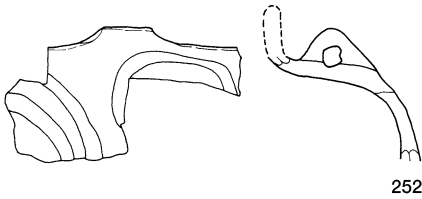
KC2b3



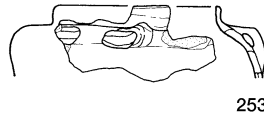
250



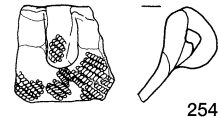
251



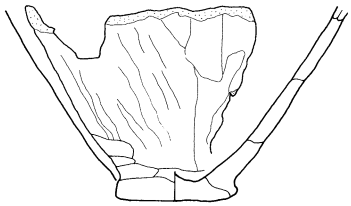
252



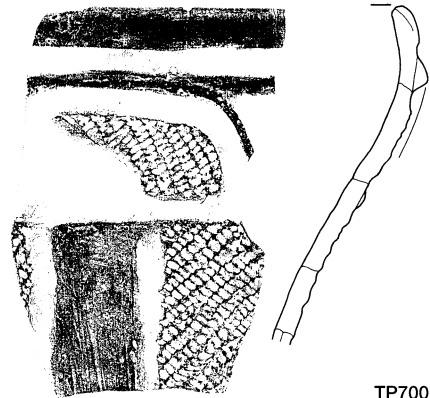
253



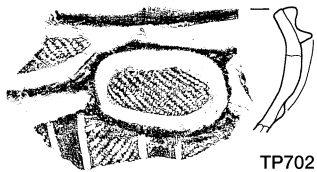
254



255



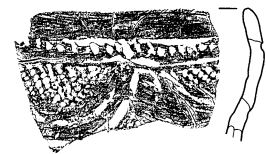
TP700



TP702



TP703

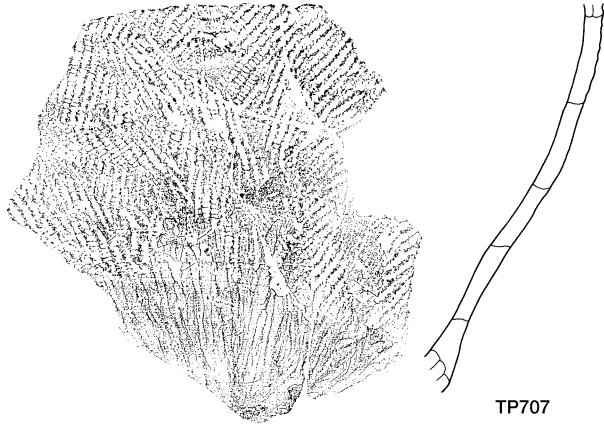


TP704



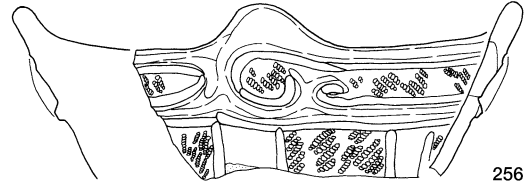
第247图 斜面貝層出土遺物実測図(75)

KC2b3

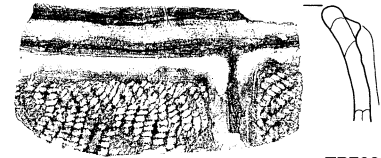


TP707

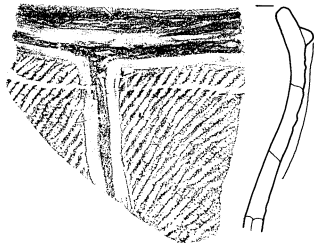
KC2b4



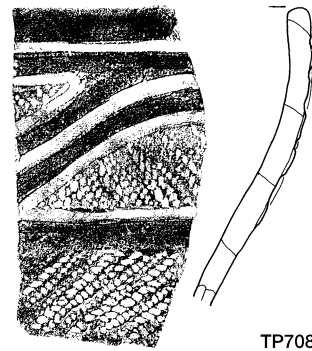
256



TP709

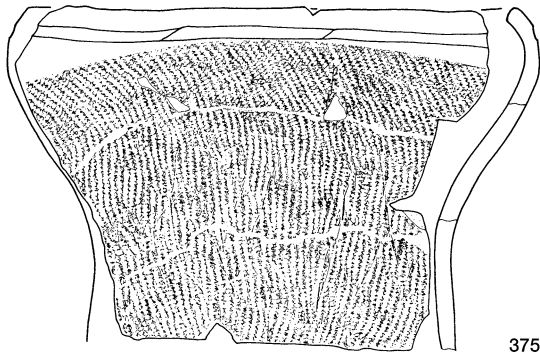


TP710

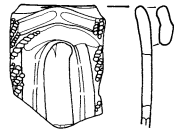


TP708

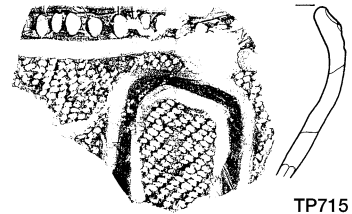
KC2b5



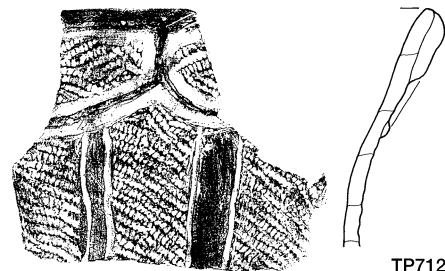
375



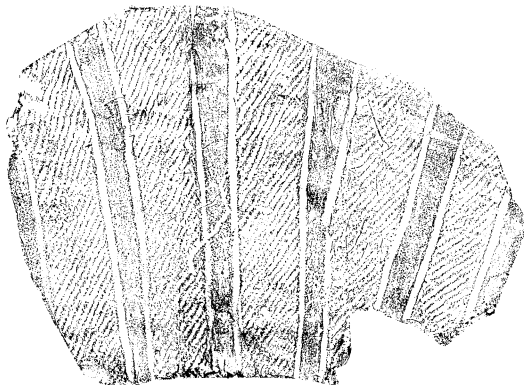
376



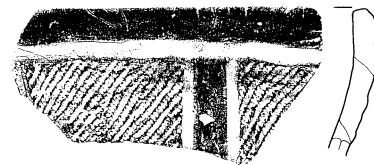
TP715



TP712



TP867



TP713



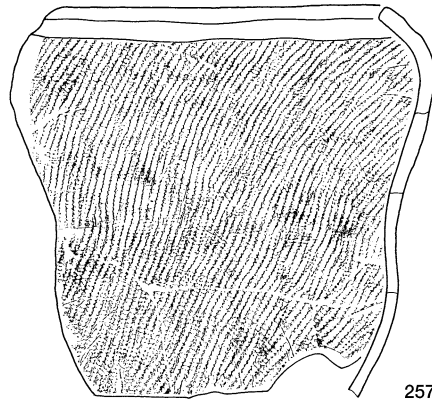
第248圖 斜面貝層出土遺物実測図(76)

KC2c2

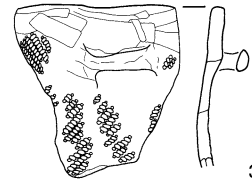


TP717

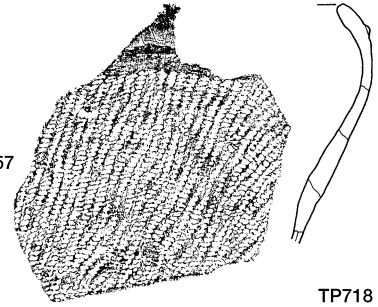
KC2c3



257

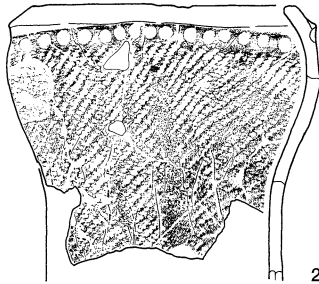


377

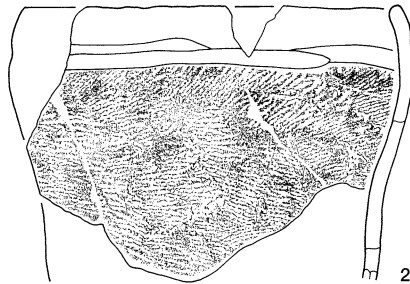


TP718

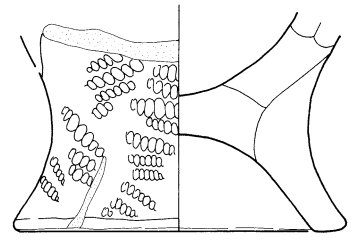
KC2c4



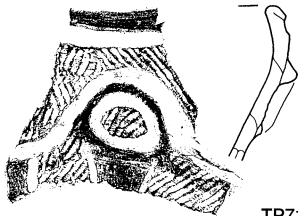
258



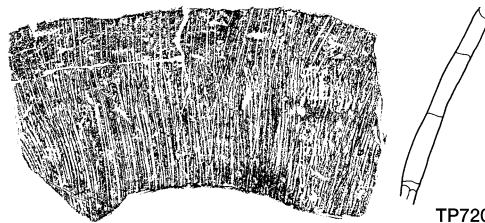
259



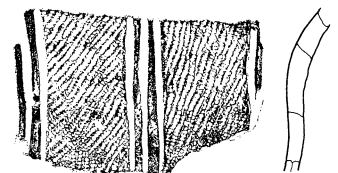
260



TP719

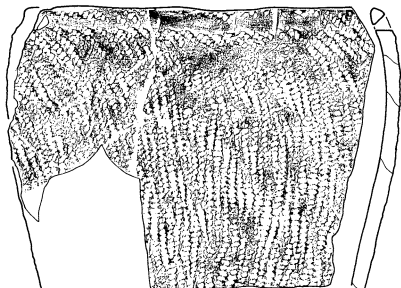


TP720

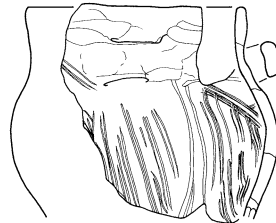


TP721

KC2c5



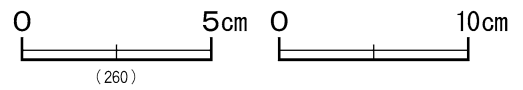
379



380



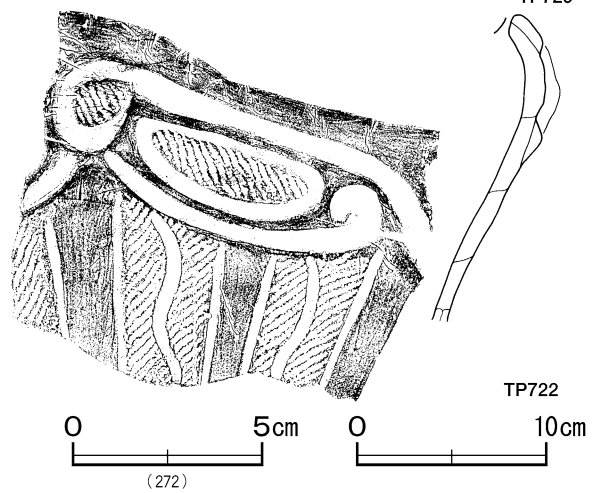
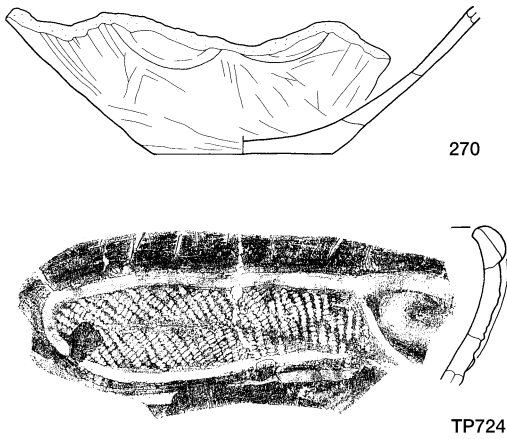
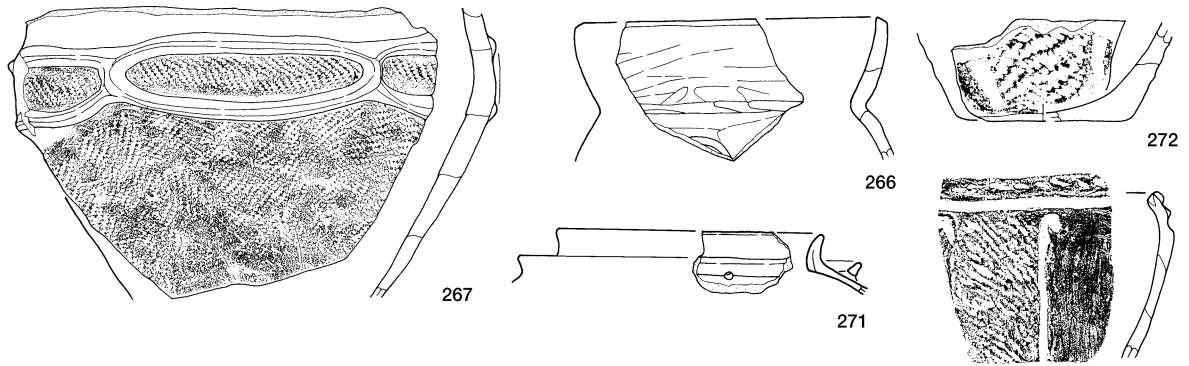
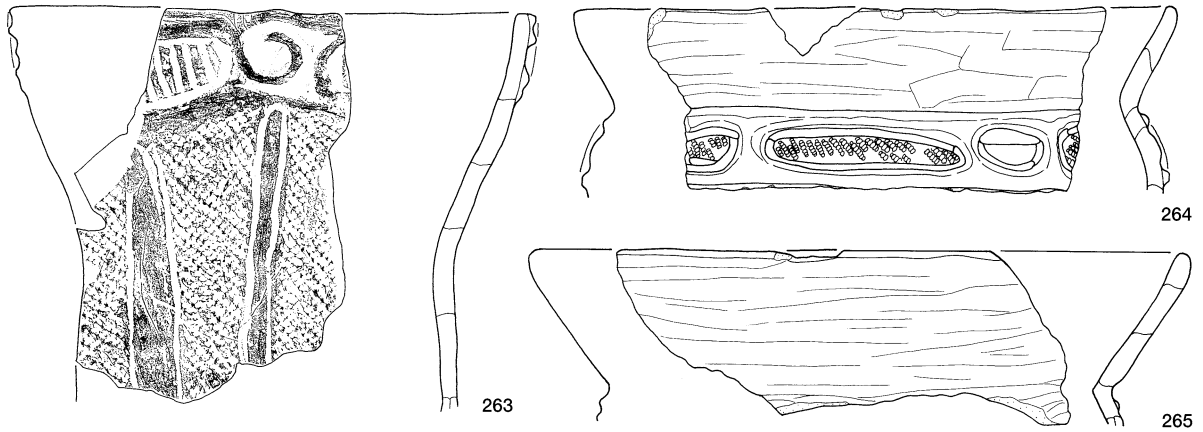
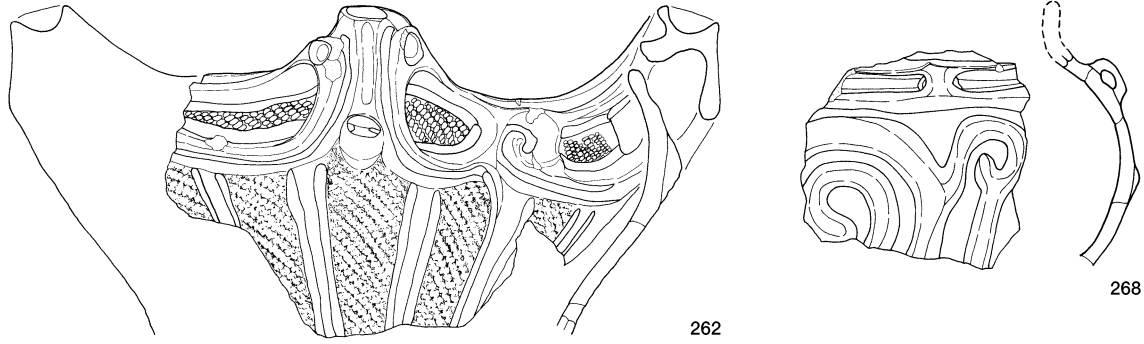
261



(260)

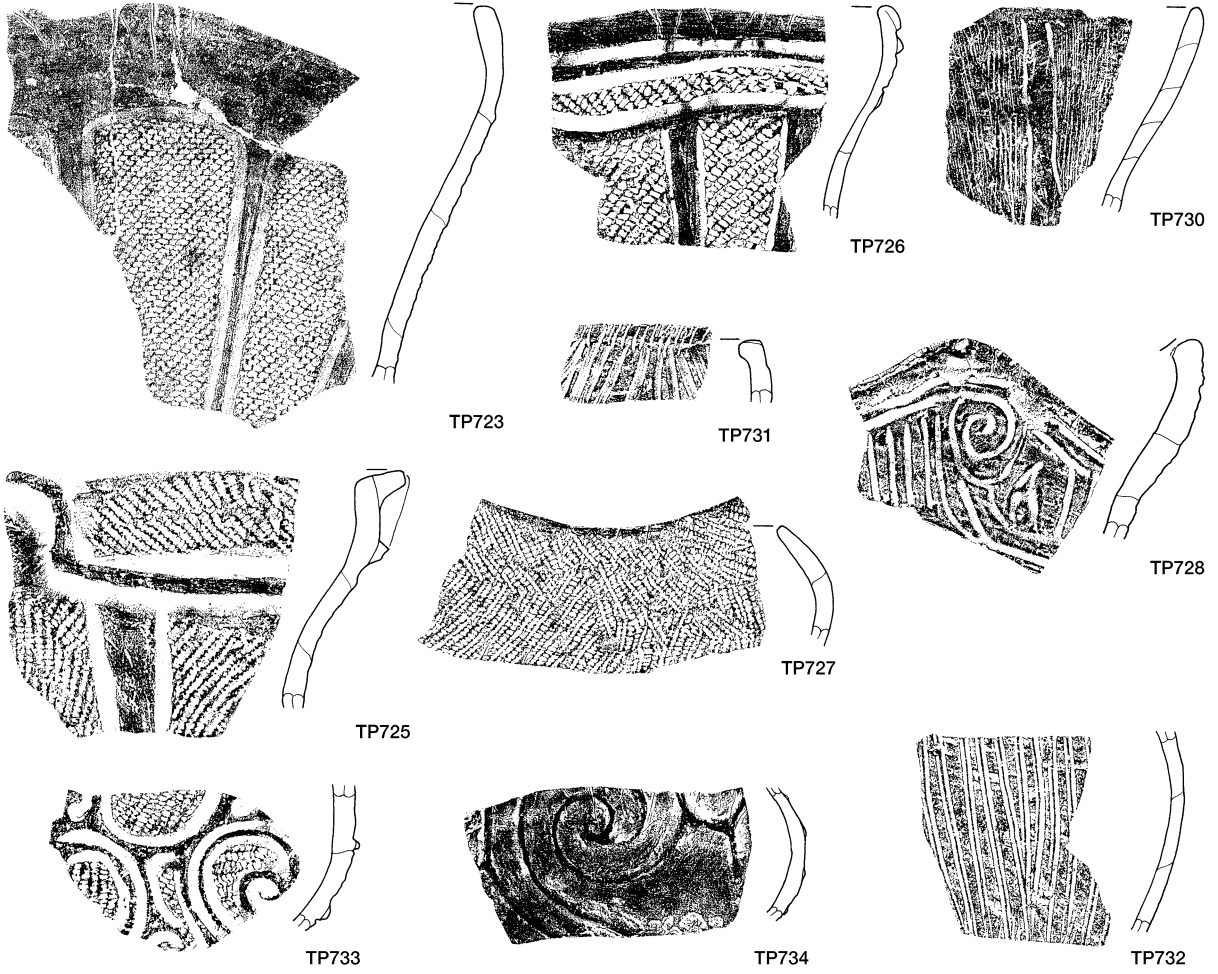
第249圖 斜面貝層出土遺物実測図(77)

KC3a1

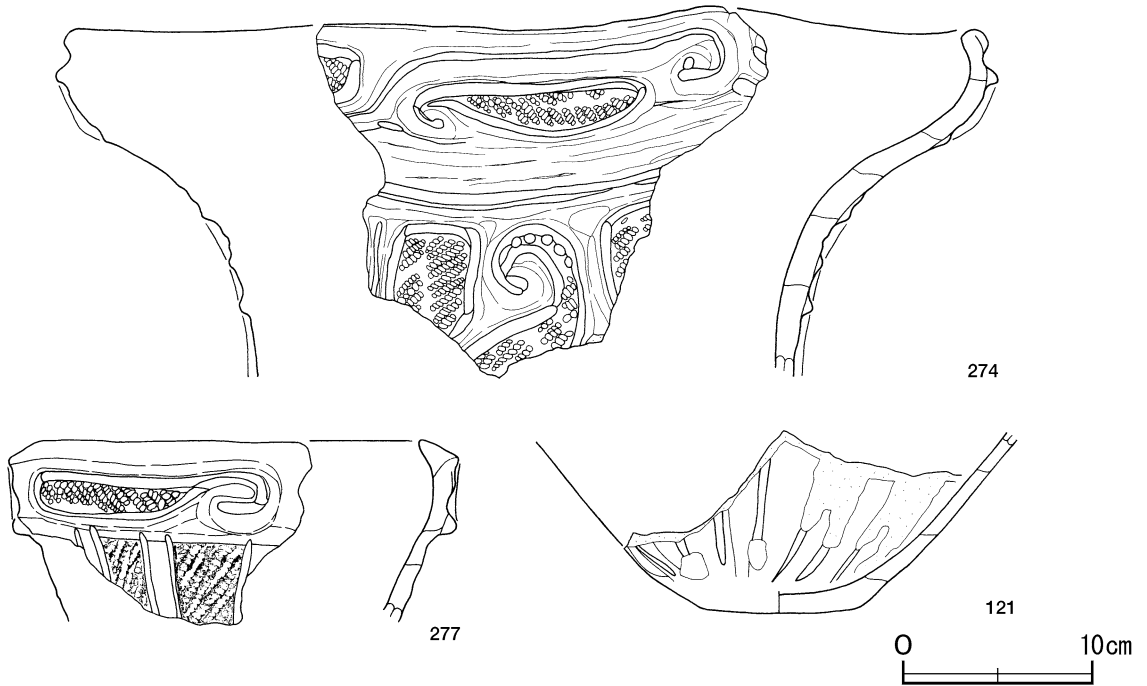


第250圖 斜面貝層出土遺物実測図(78)

KC3a1

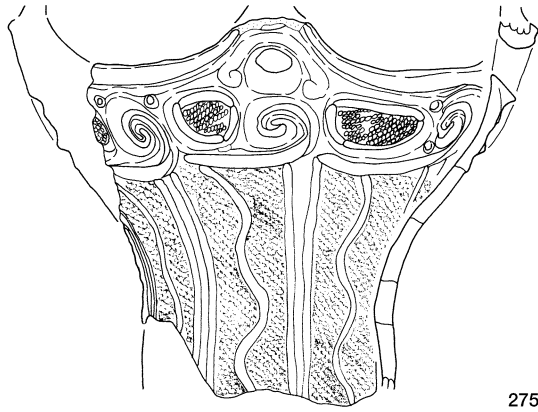


KC3a2

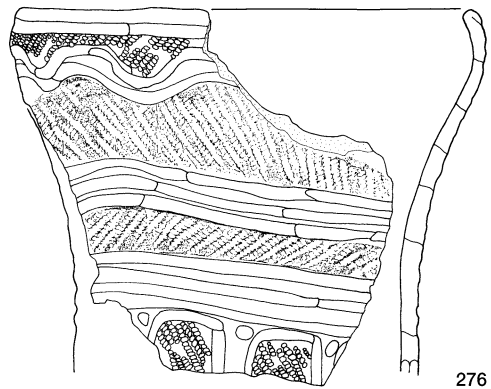


第251圖 斜面貝層出土遺物実測図(79)

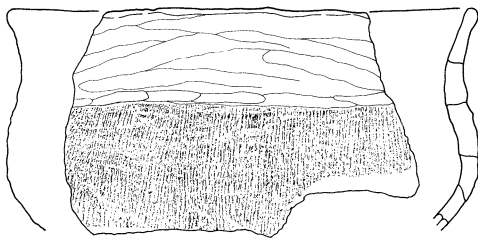
KC3a2



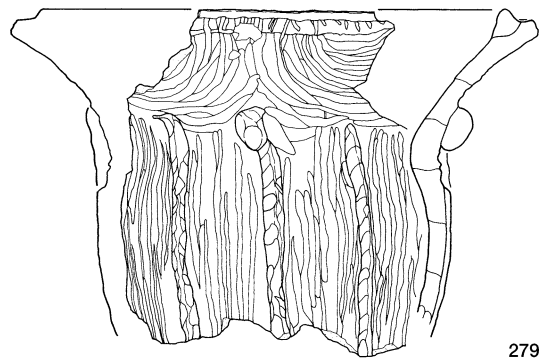
275



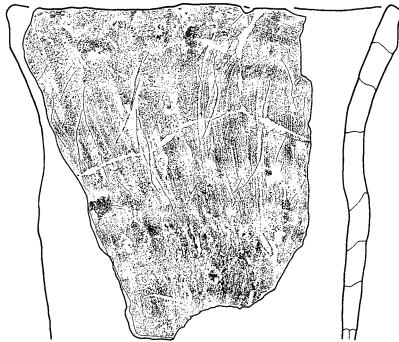
276



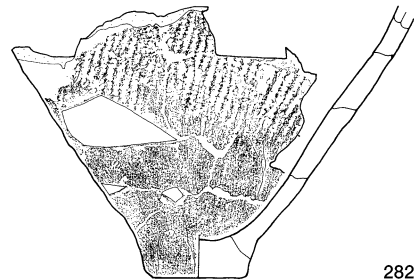
278



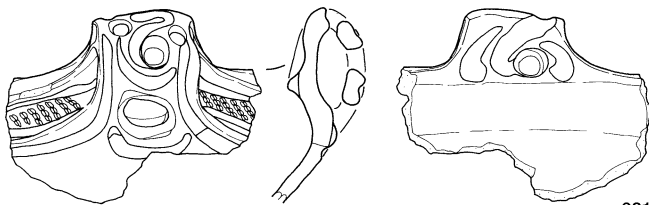
279



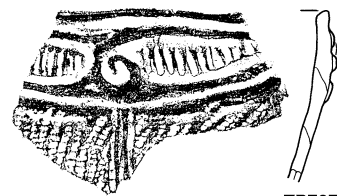
280



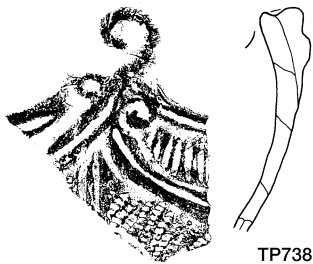
282



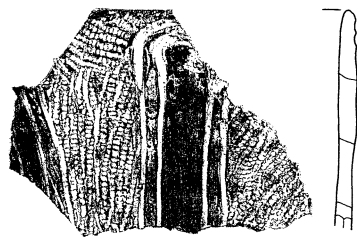
281



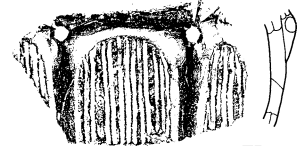
TP737



TP738



TP739

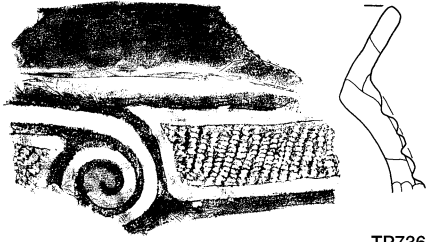


TP741

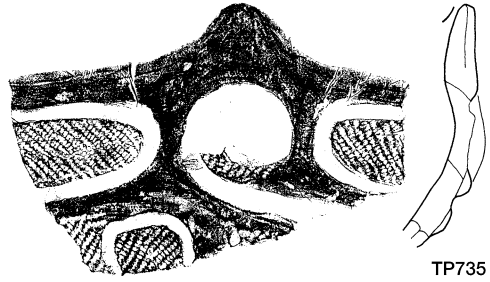


第252図 斜面貝層出土遺物実測図(80)

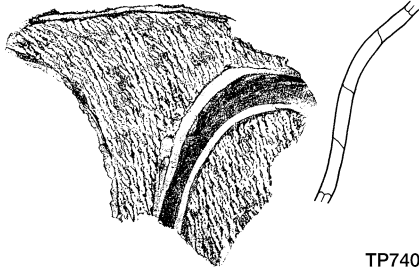
KC3a2



TP736

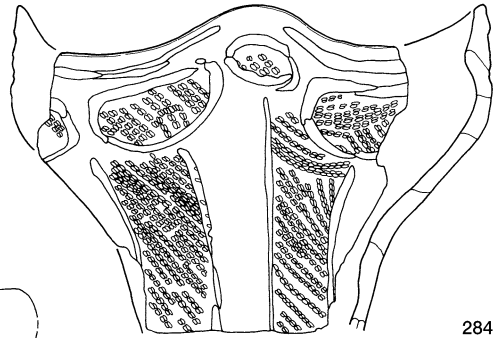


TP735

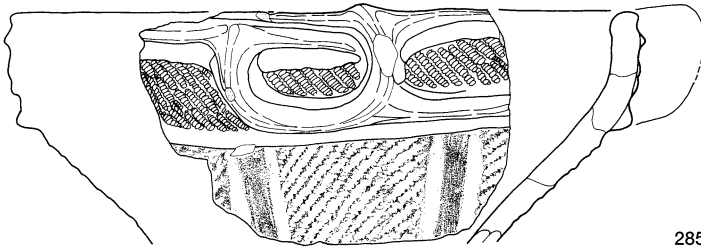


TP740

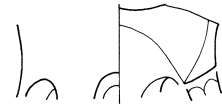
KC3a3



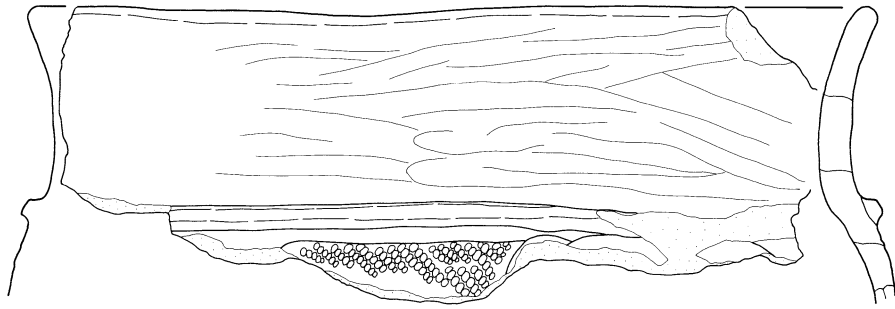
284



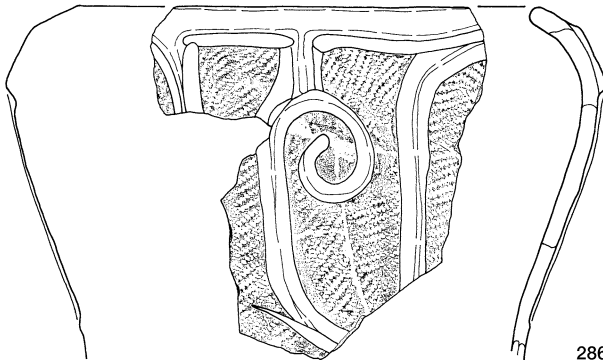
285



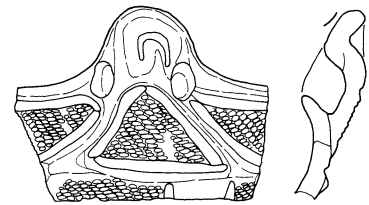
288



283



286



287

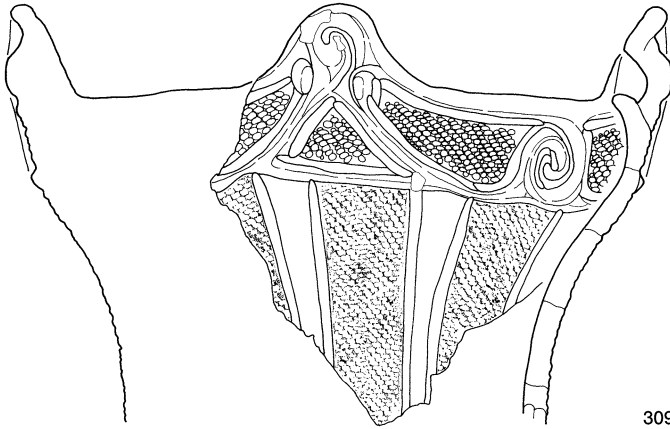


(288)

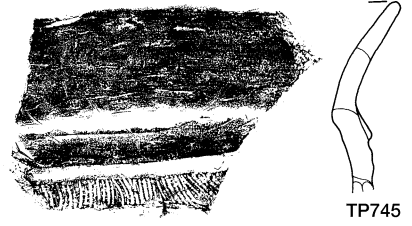


第253圖 斜面貝層出土遺物実測図(81)

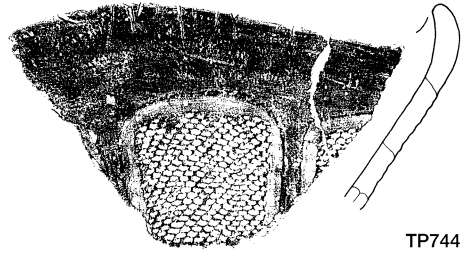
KC3a3



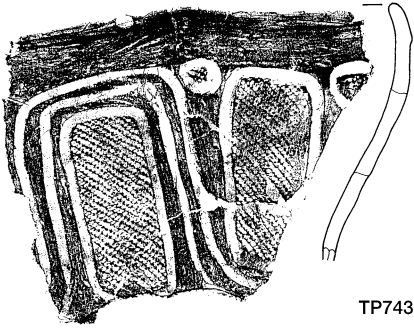
309



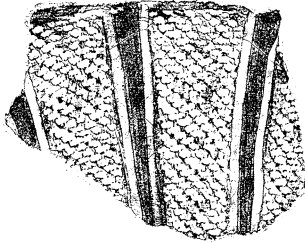
TP745



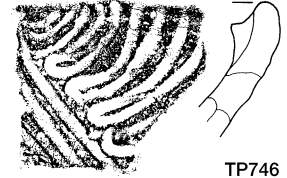
TP744



TP743

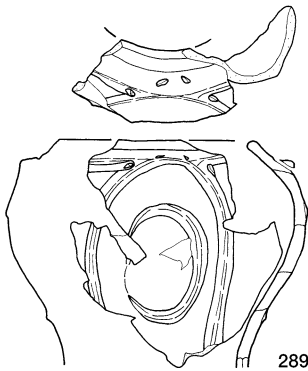


TP747

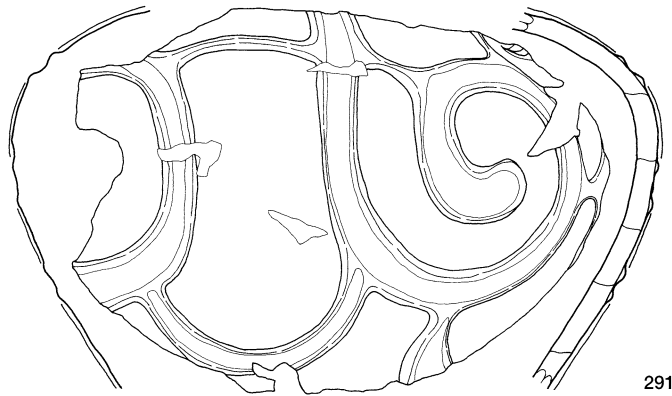


TP746

KC3a4



289



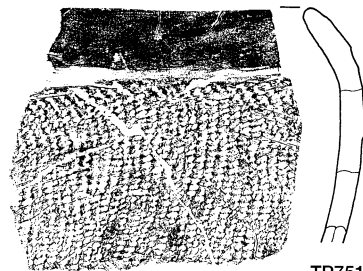
291



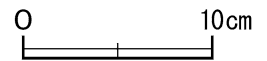
290



TP750

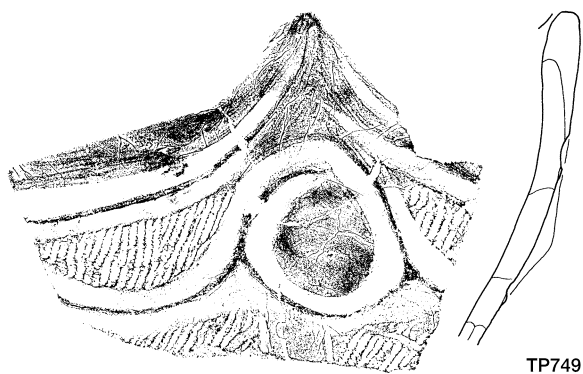


TP751

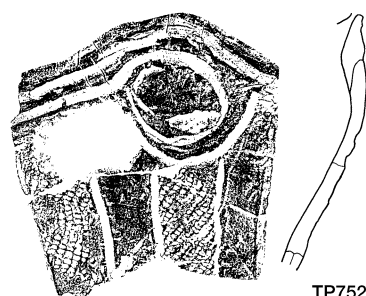


第254图 斜面貝層出土遺物実測図(82)

KC3a4

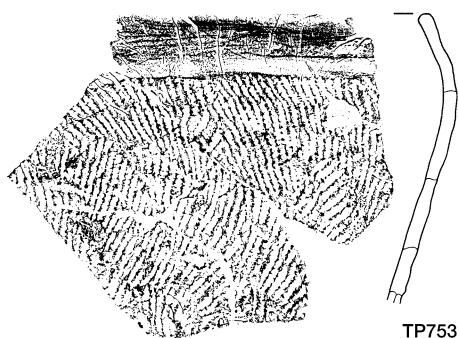


TP749

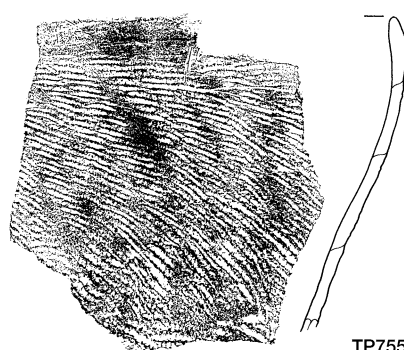


TP752

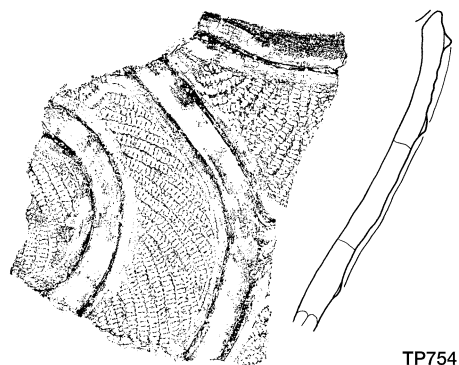
KC3a5



TP753



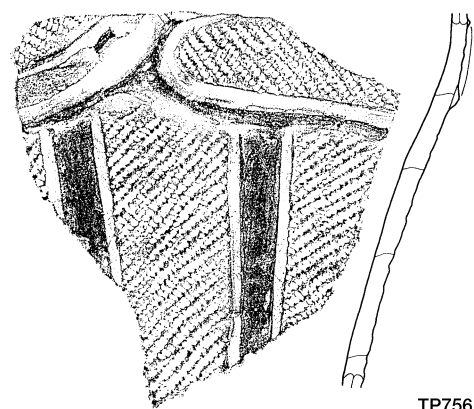
TP755



TP754

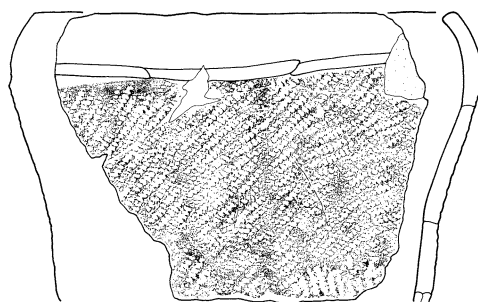


TP757



TP756

KC3b1

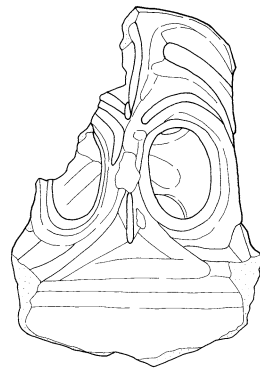
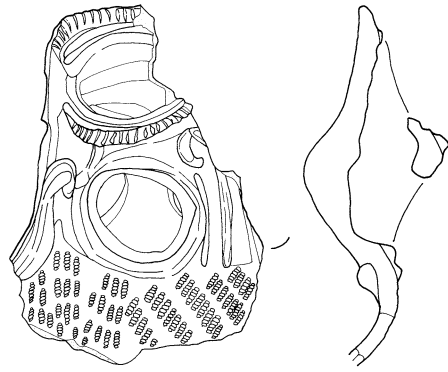


293

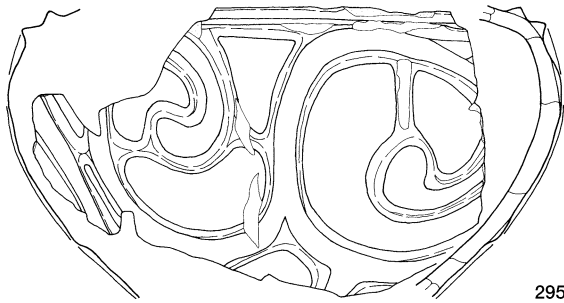


第255圖 斜面貝層出土遺物実測図(83)

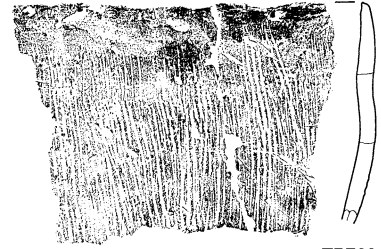
KC3b1



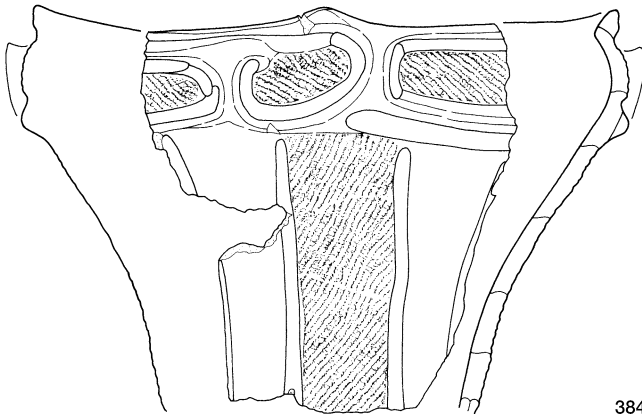
294



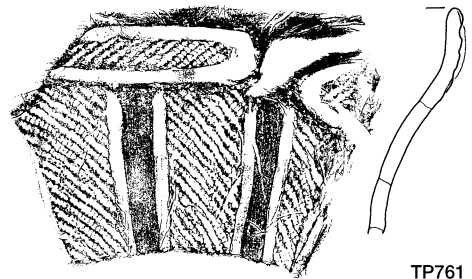
295



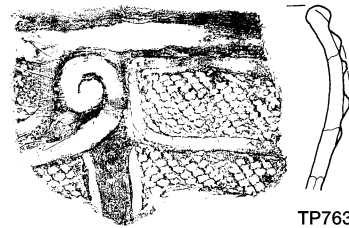
TP760



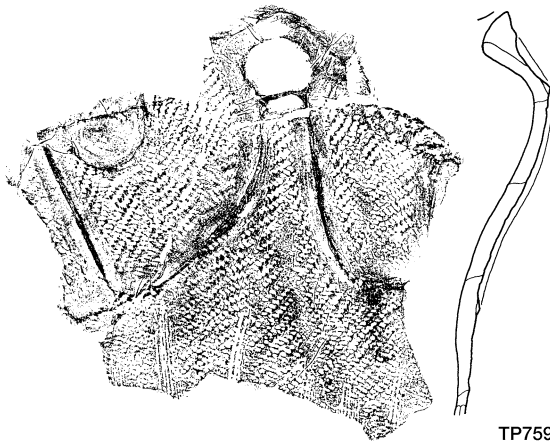
384



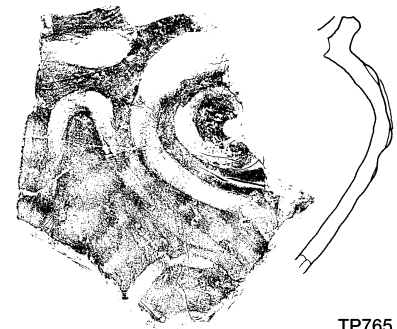
TP761



TP763



TP759

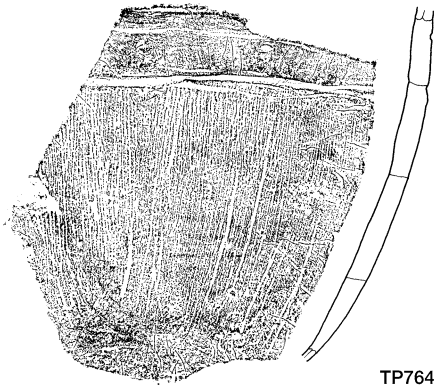


TP765

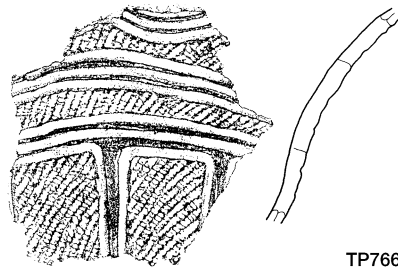


第256圖 斜面貝層出土遺物実測図(84)

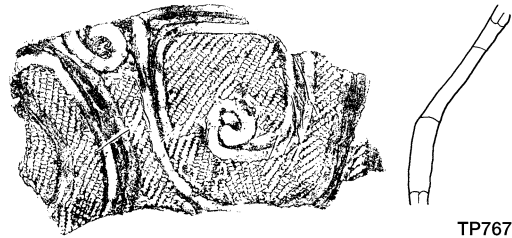
KC3b1



TP764

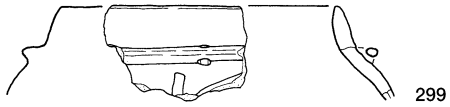


TP766

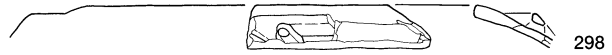


TP767

KC3b2



299



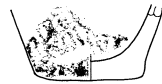
298



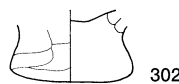
297



300



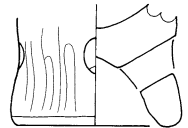
301



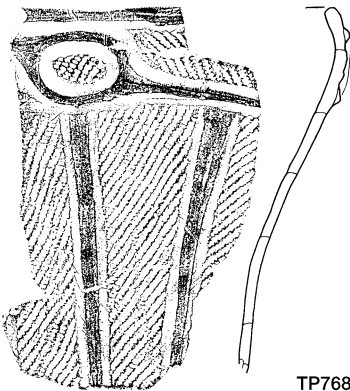
302



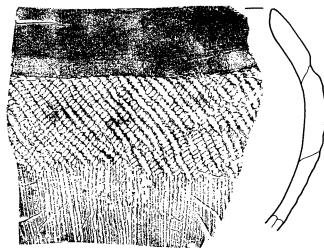
303



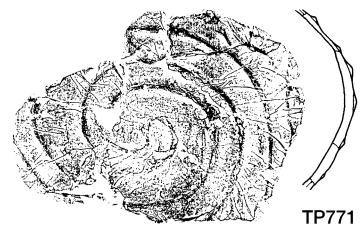
304



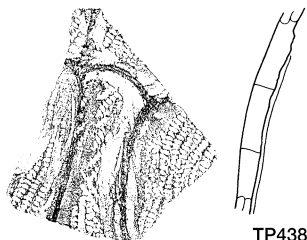
TP768



TP769



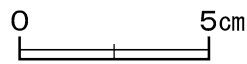
TP771



TP438



TP770

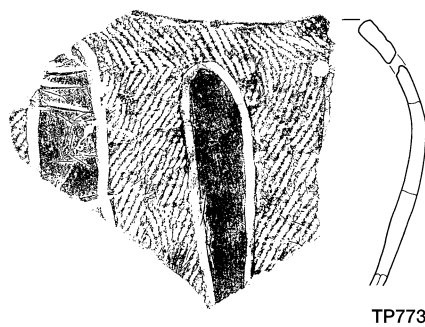
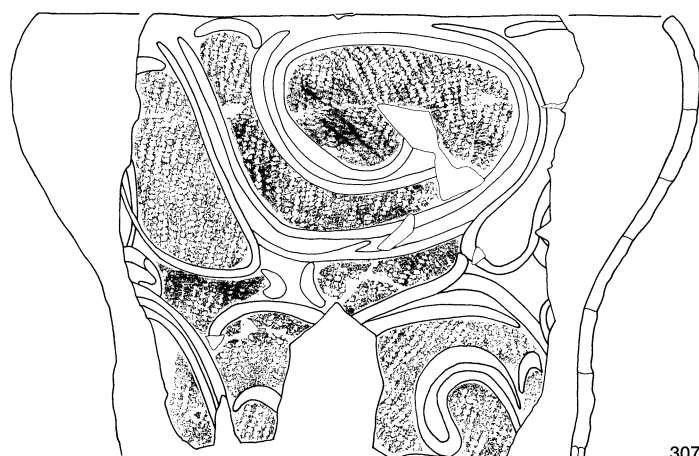
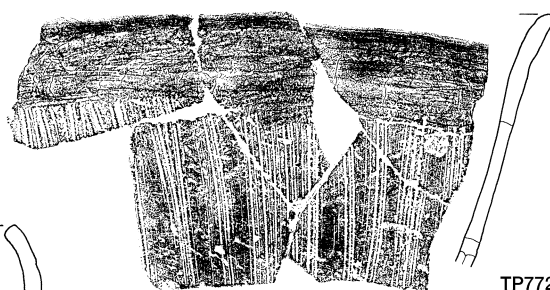
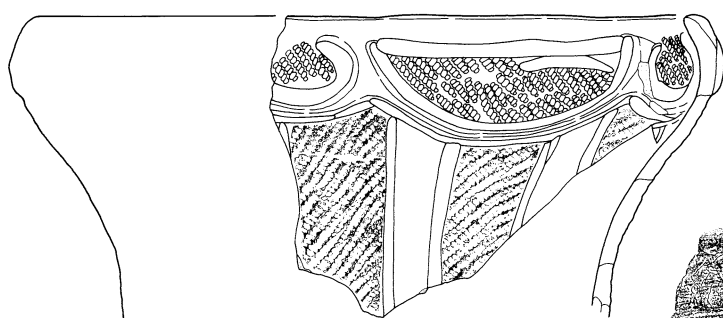
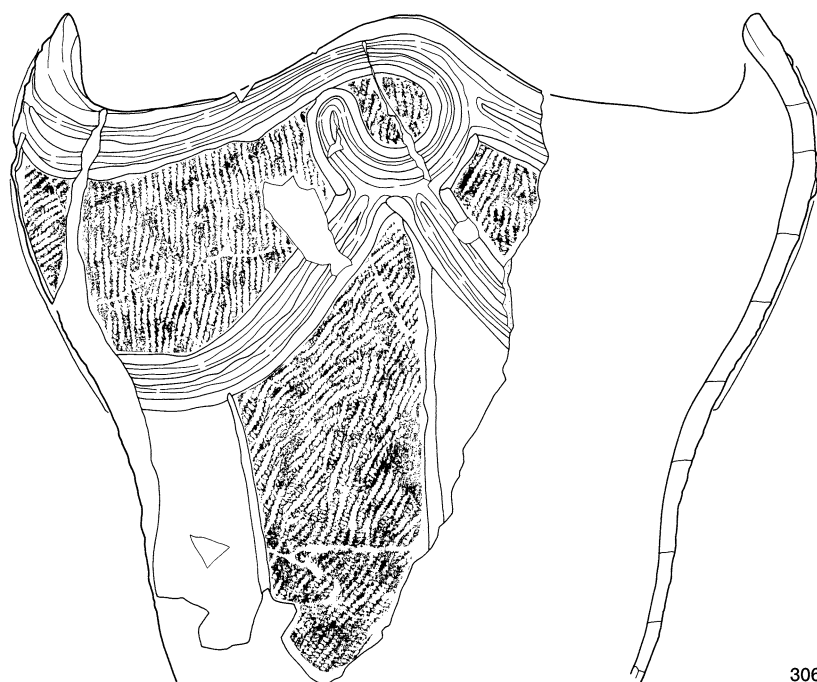


(301~304)



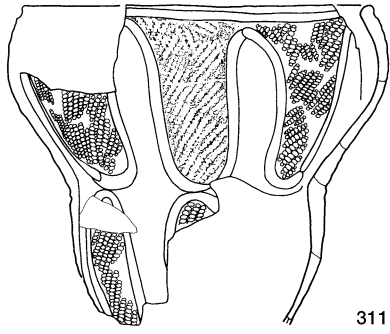
第257图 斜面貝層出土遺物実測図(85)

KC3b3

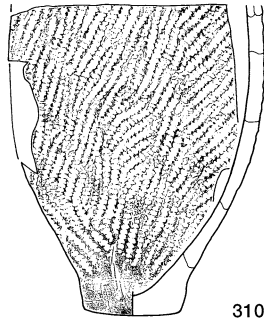


第258図 斜面貝層出土遺物実測図(86)

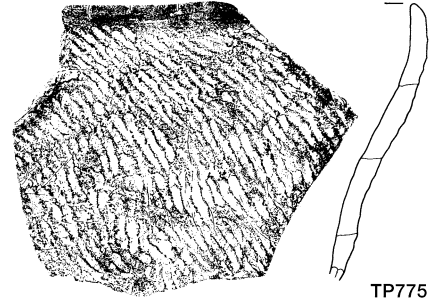
KC3b4



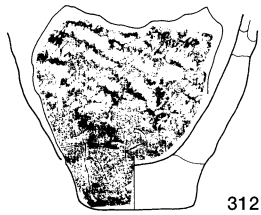
311



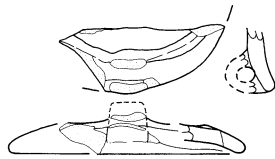
310



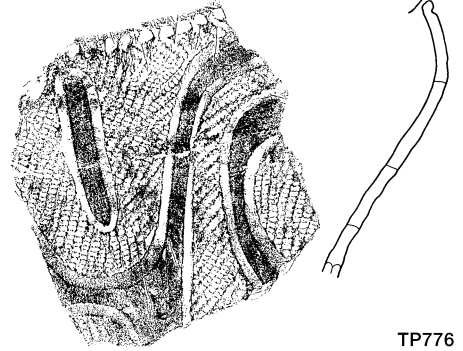
TP775



312

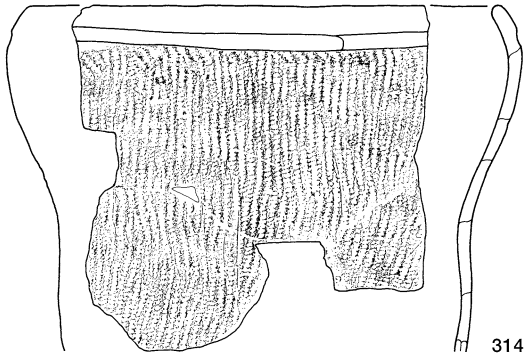


313

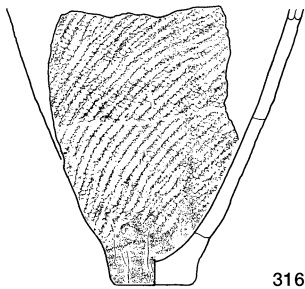


TP776

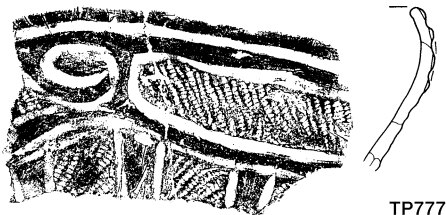
KC3b5



314

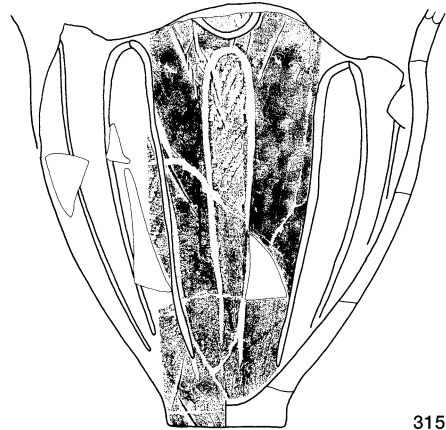


316

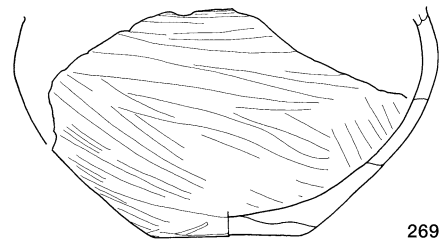


TP777

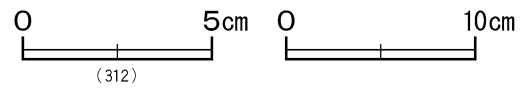
KC3c1



315



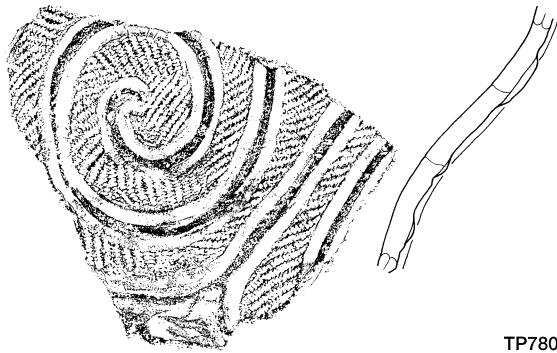
269



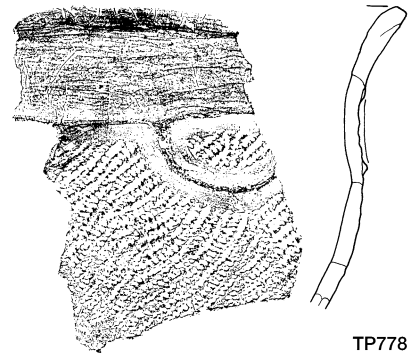
(312)

第259图 斜面貝層出土遺物実測図(87)

KC3c1

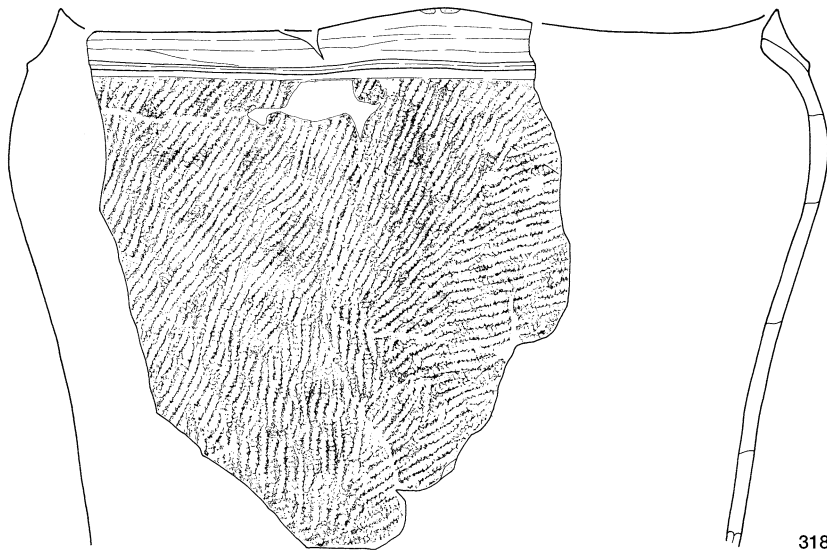


TP780

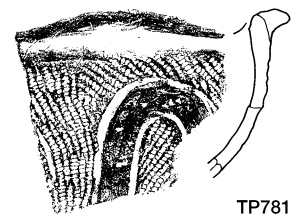


TP778

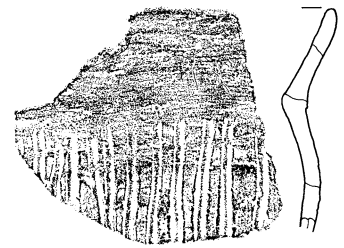
KC3c2



318



TP781



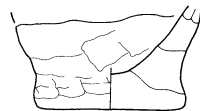
TP782



319



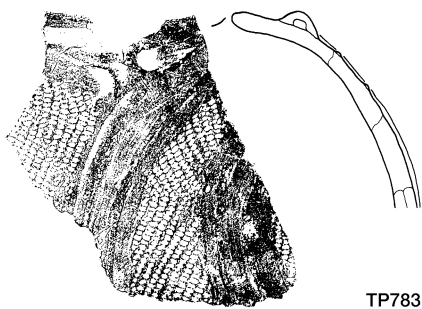
321



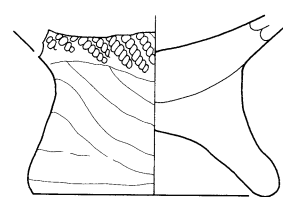
320

KC3c3

HD



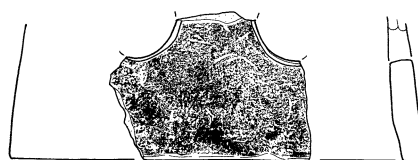
TP783



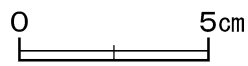
381



382



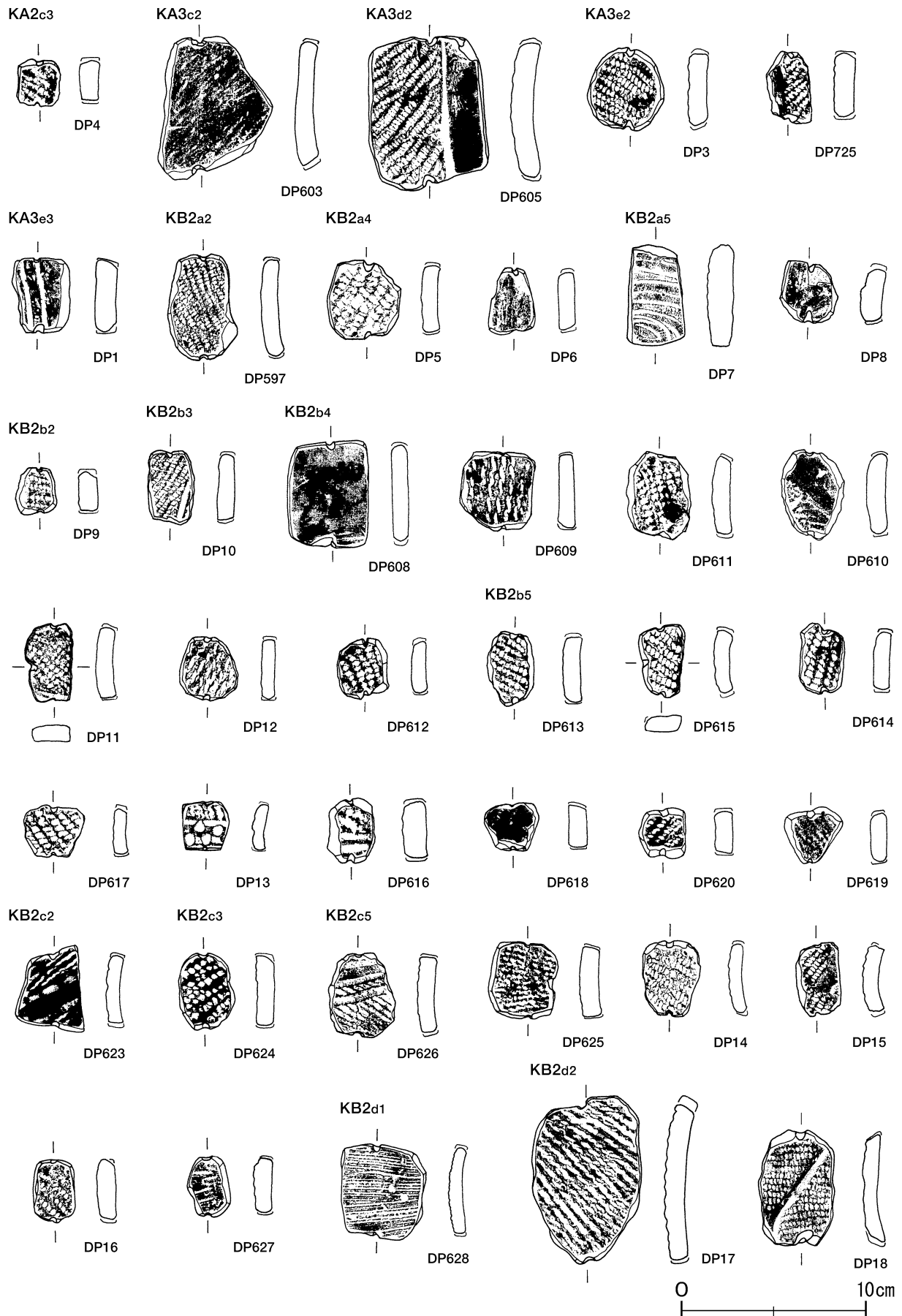
383



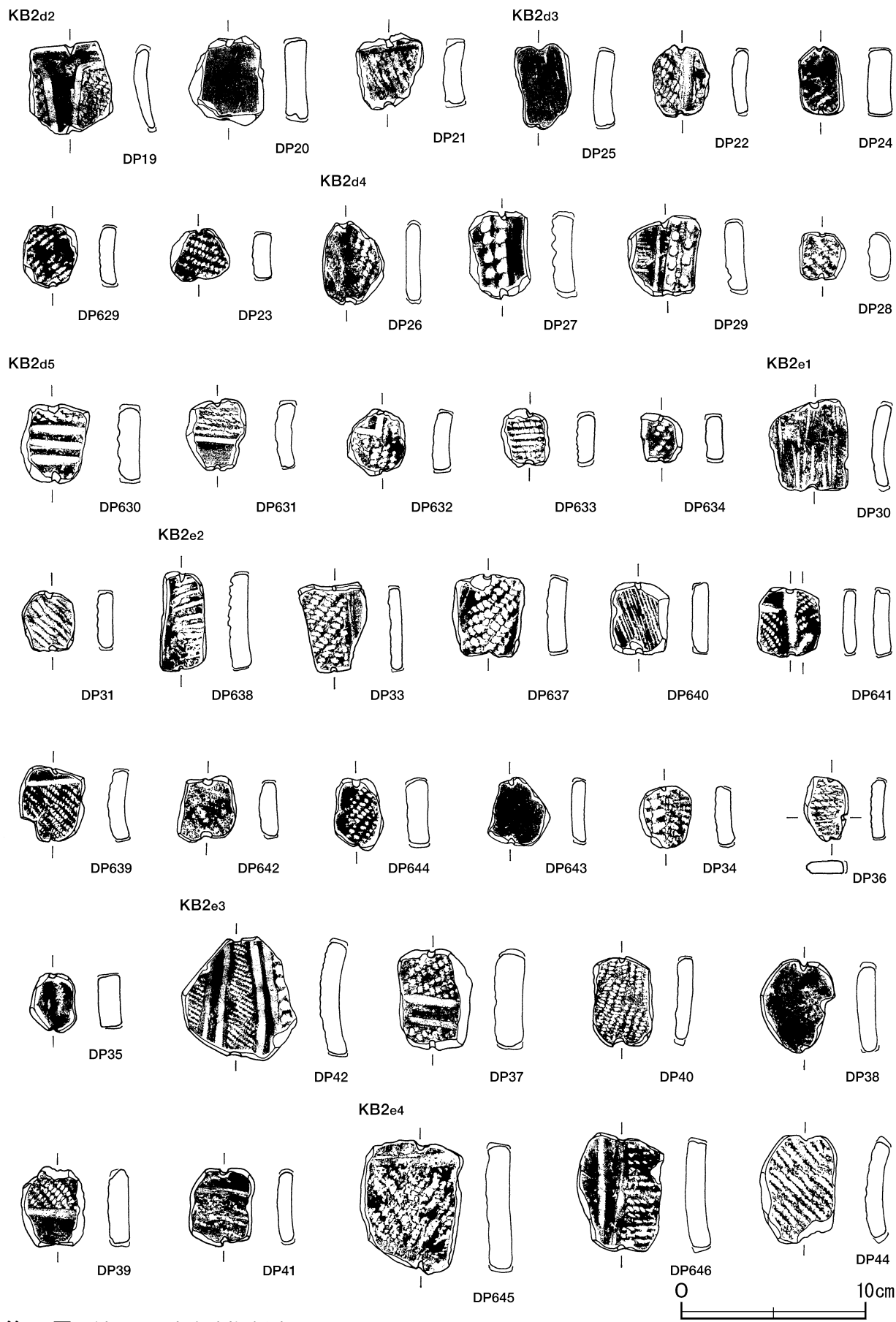
(320・321・381)



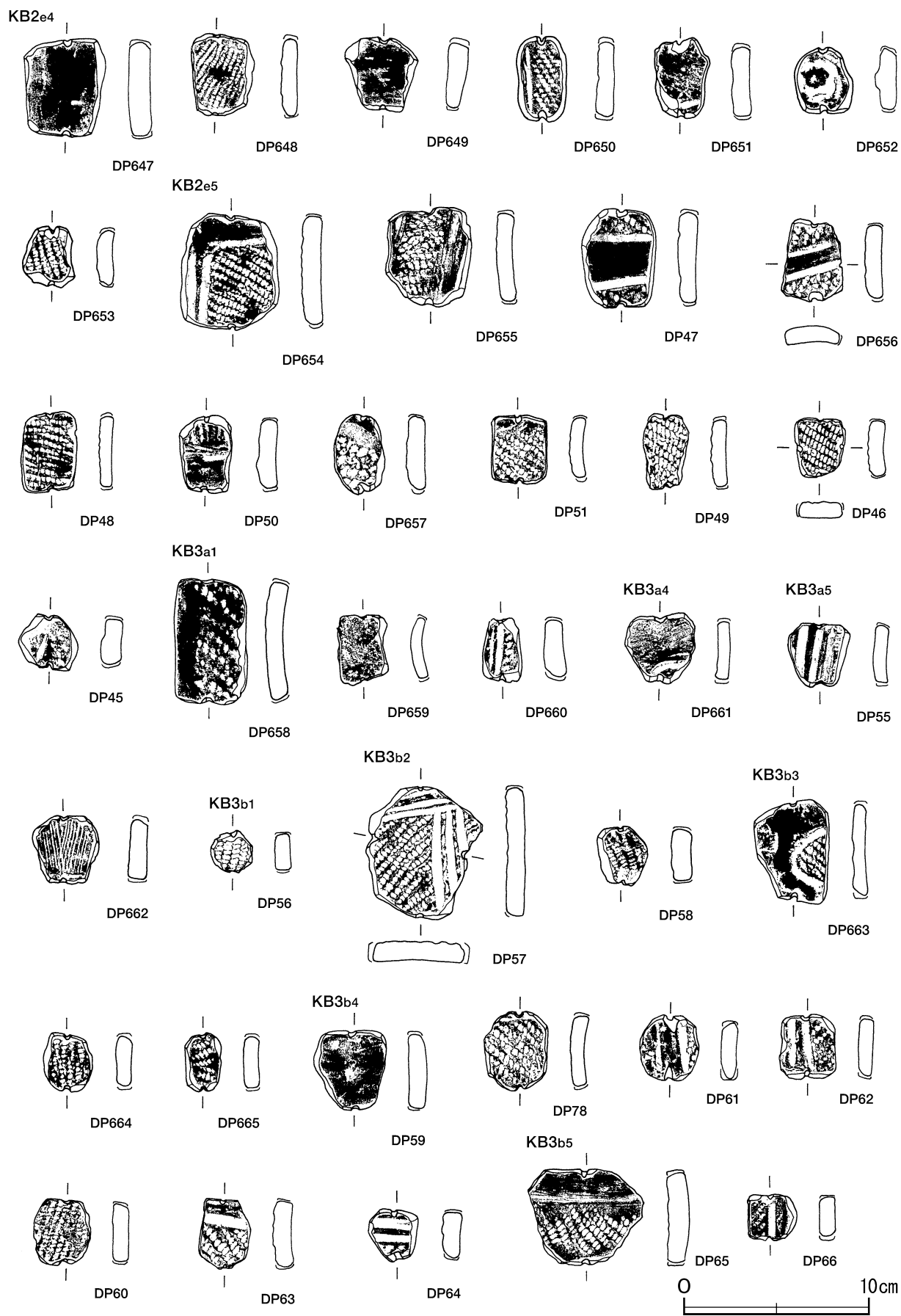
第260图 斜面貝層出土遺物実測図(88)



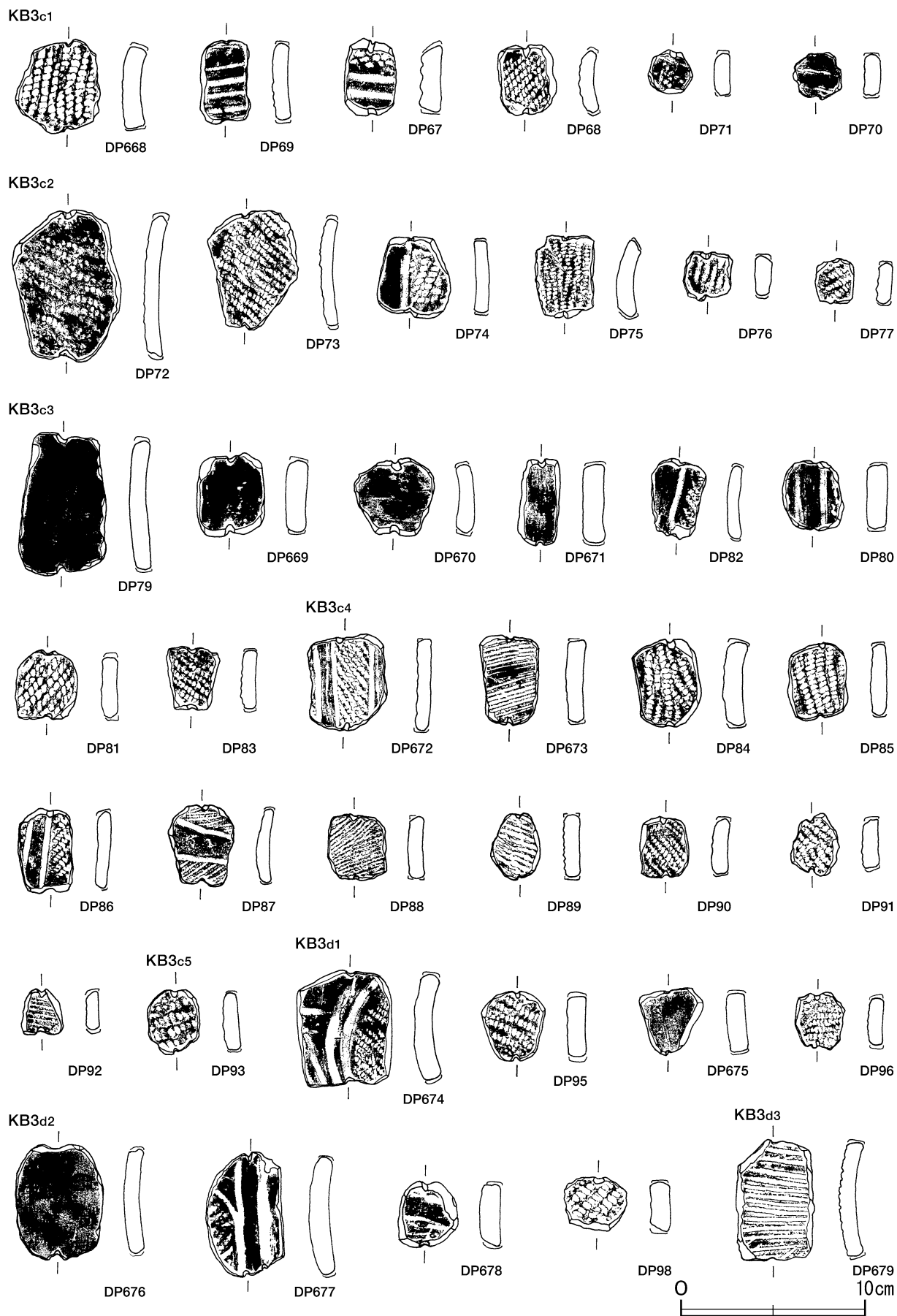
第261图 斜面貝層出土遺物実測図(89)



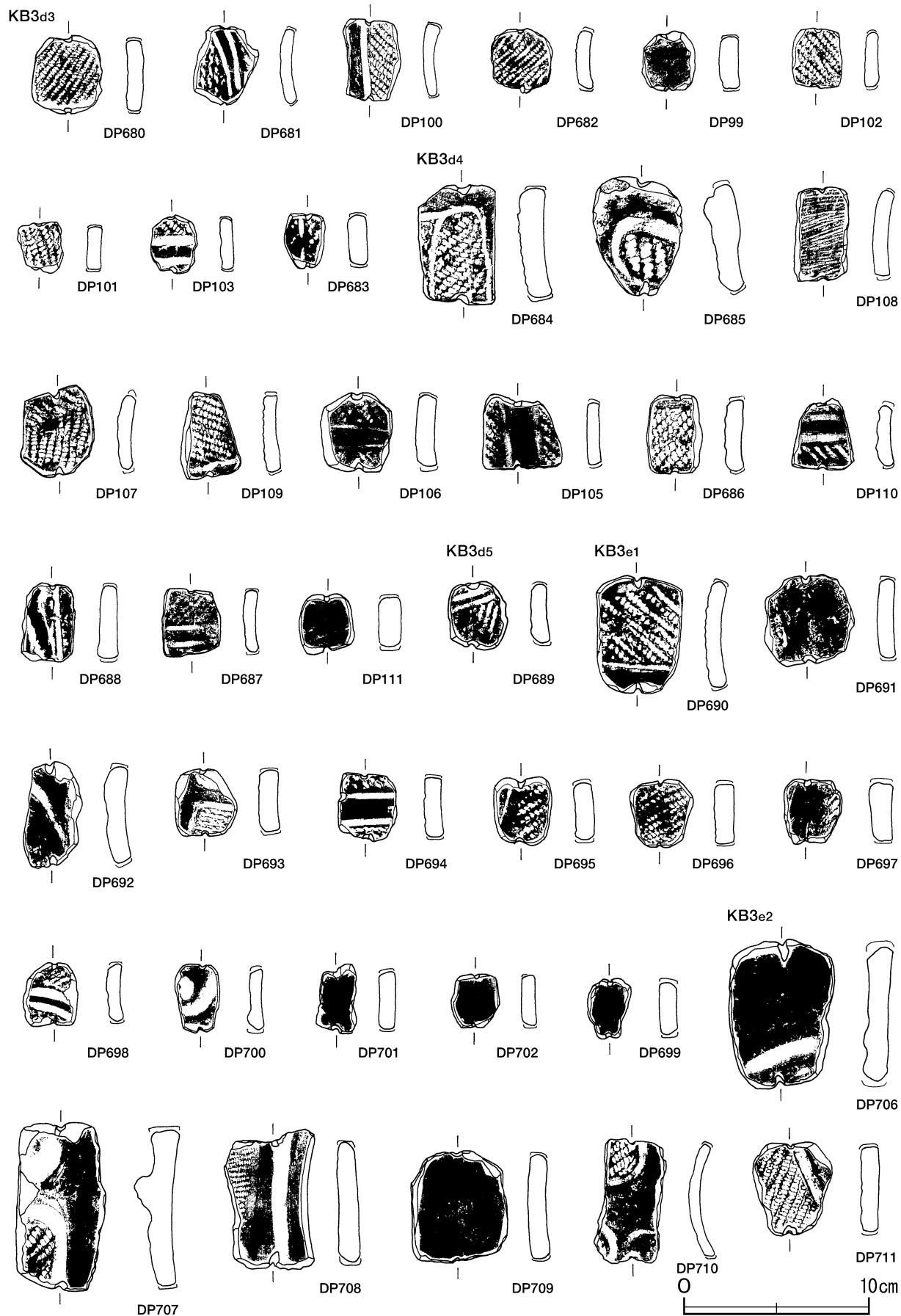
第262図 斜面貝層出土遺物実測図(90)



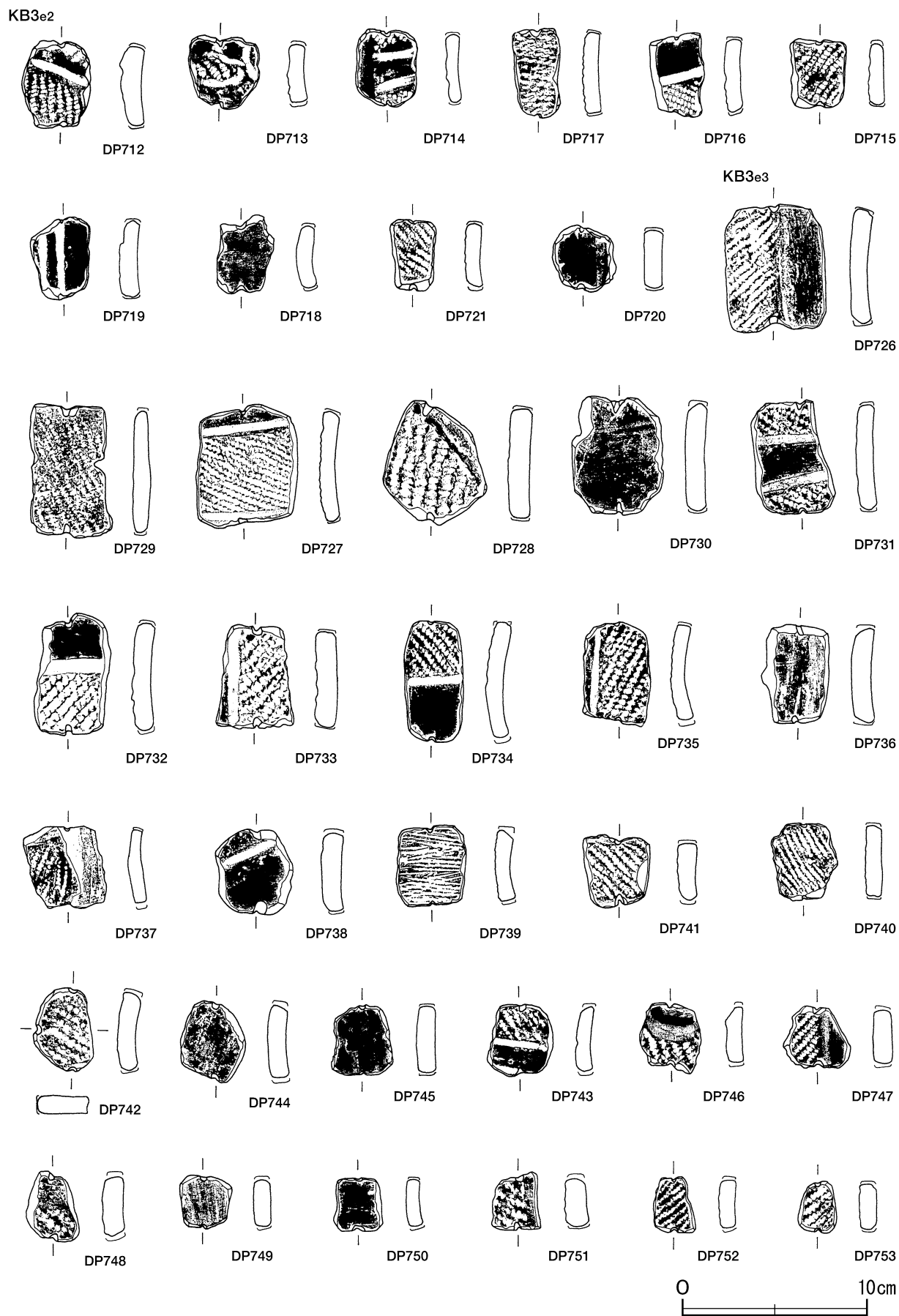
第263圖 斜面貝層出土遺物実測図(91)



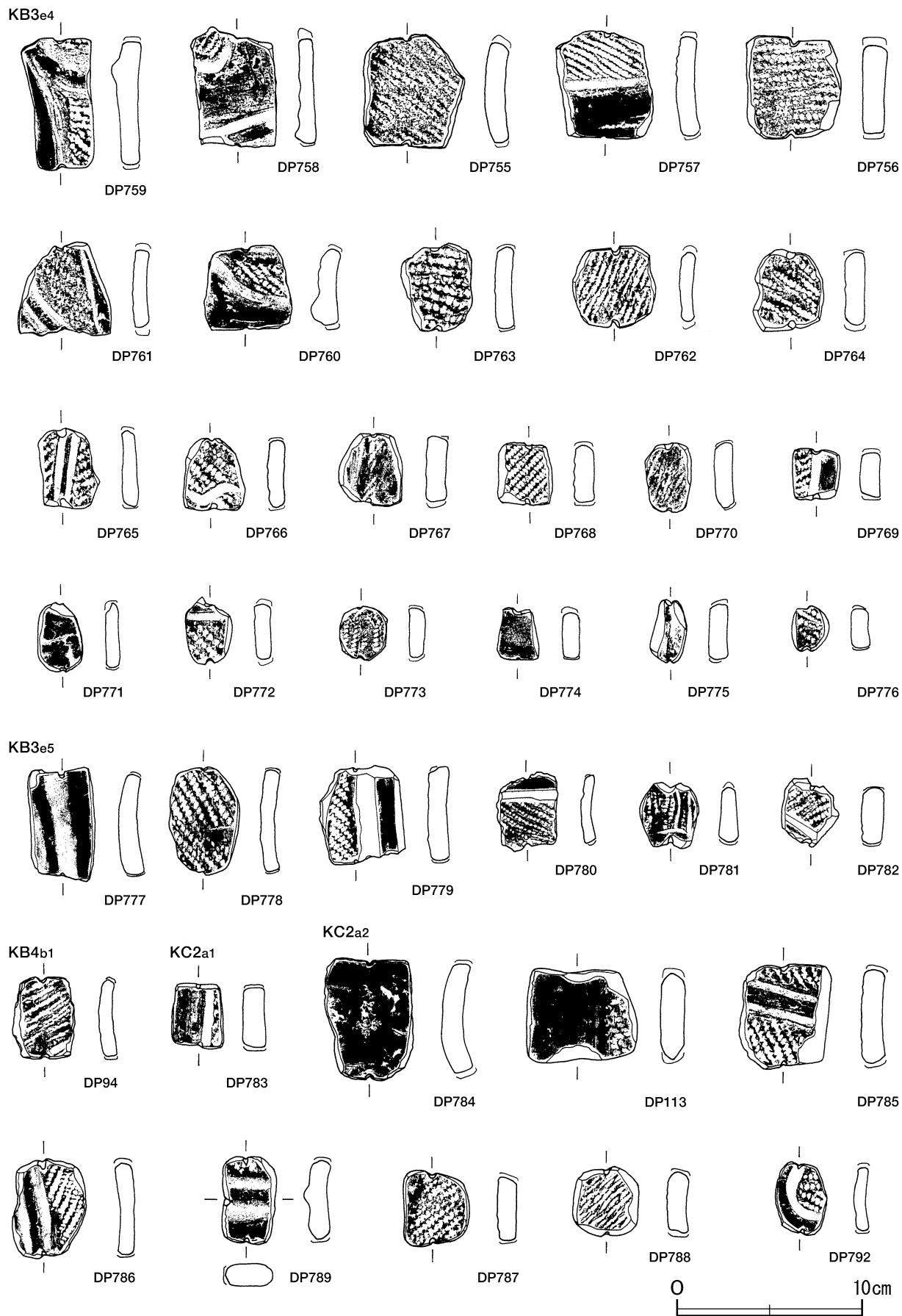
第264图 斜面貝層出土遺物実測図(92)



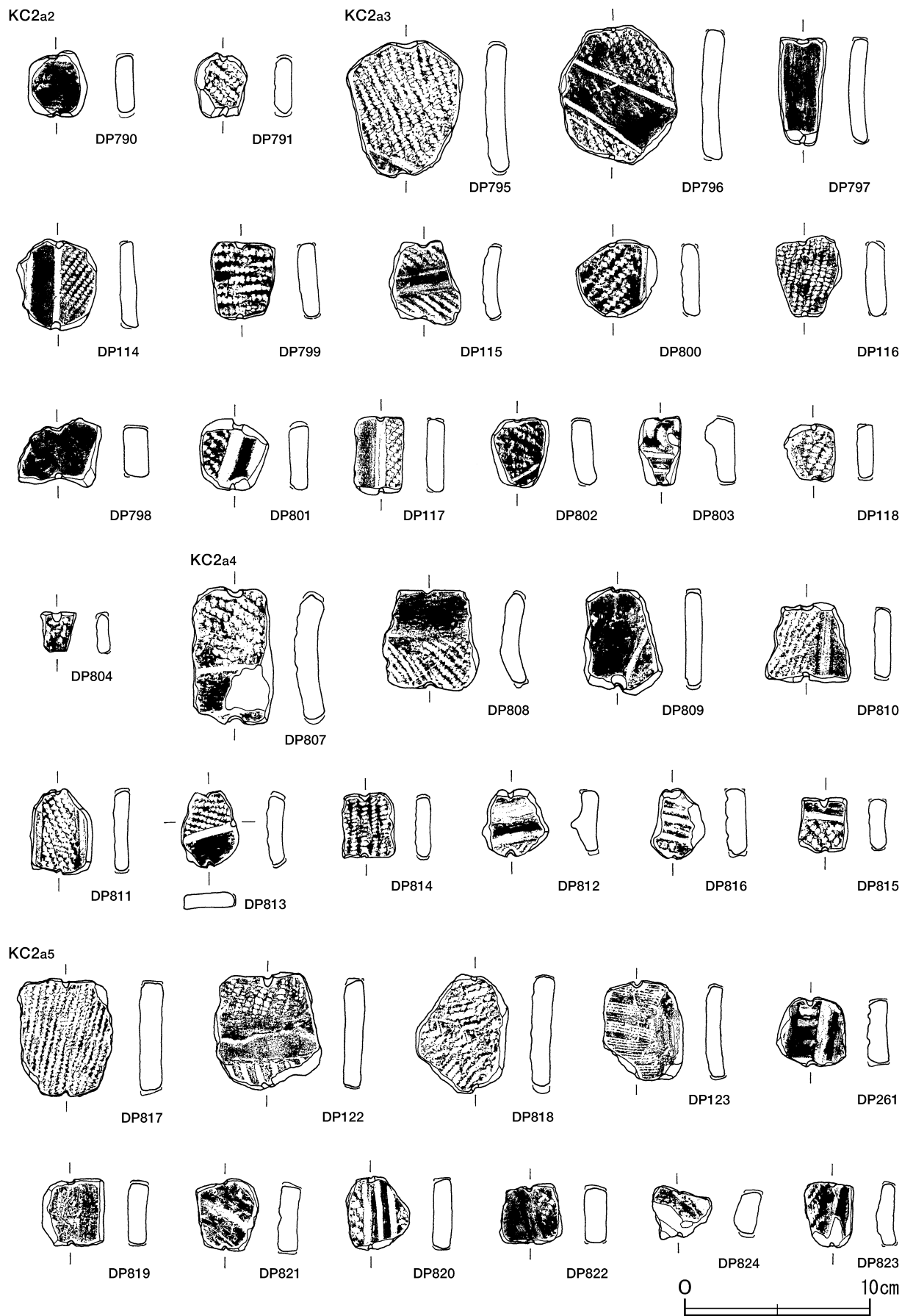
第265圖 斜面貝層出土遺物実測図(93)



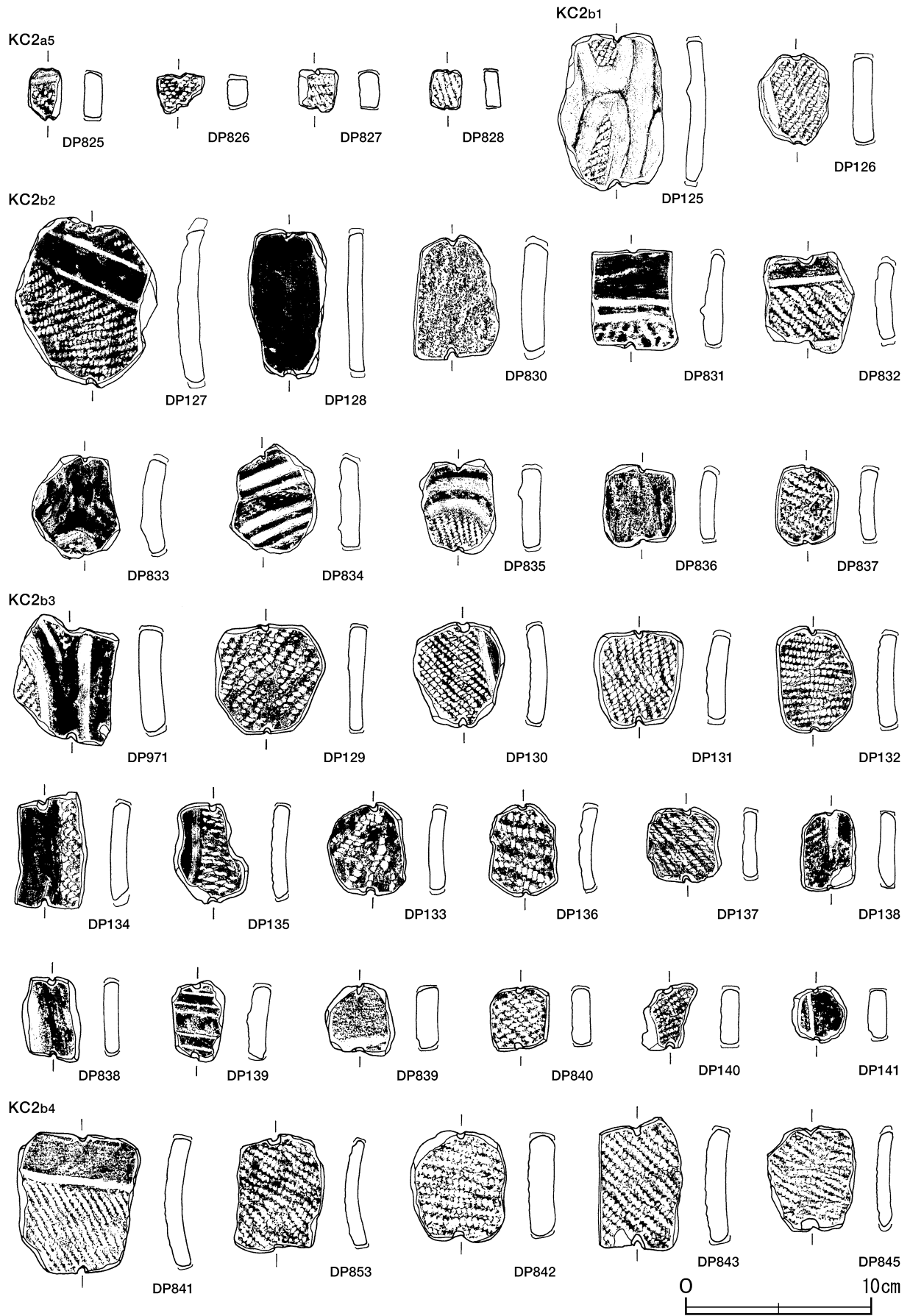
第266図 斜面貝層出土遺物実測図(94)



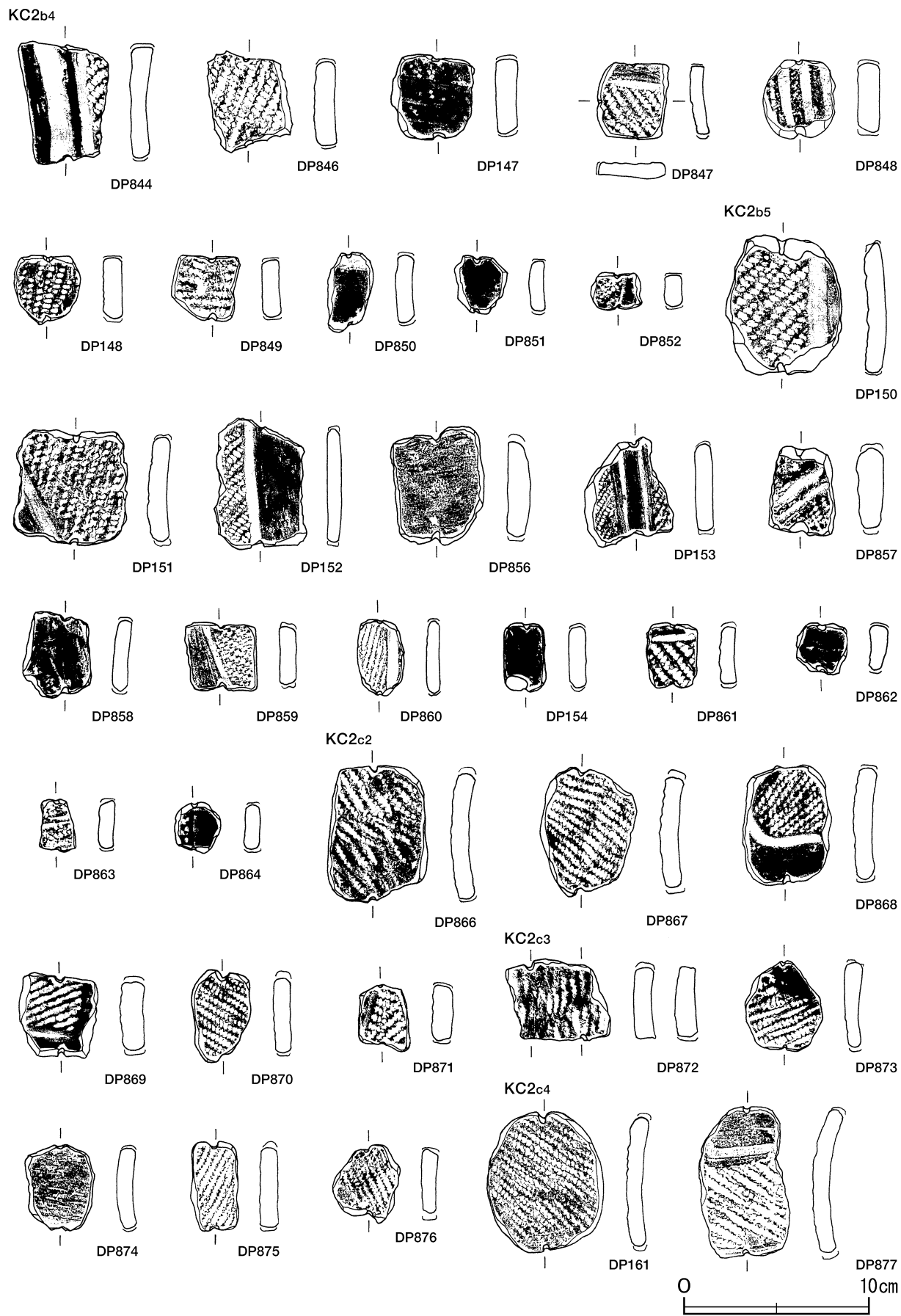
第267图 斜面貝層出土遺物実測図(95)



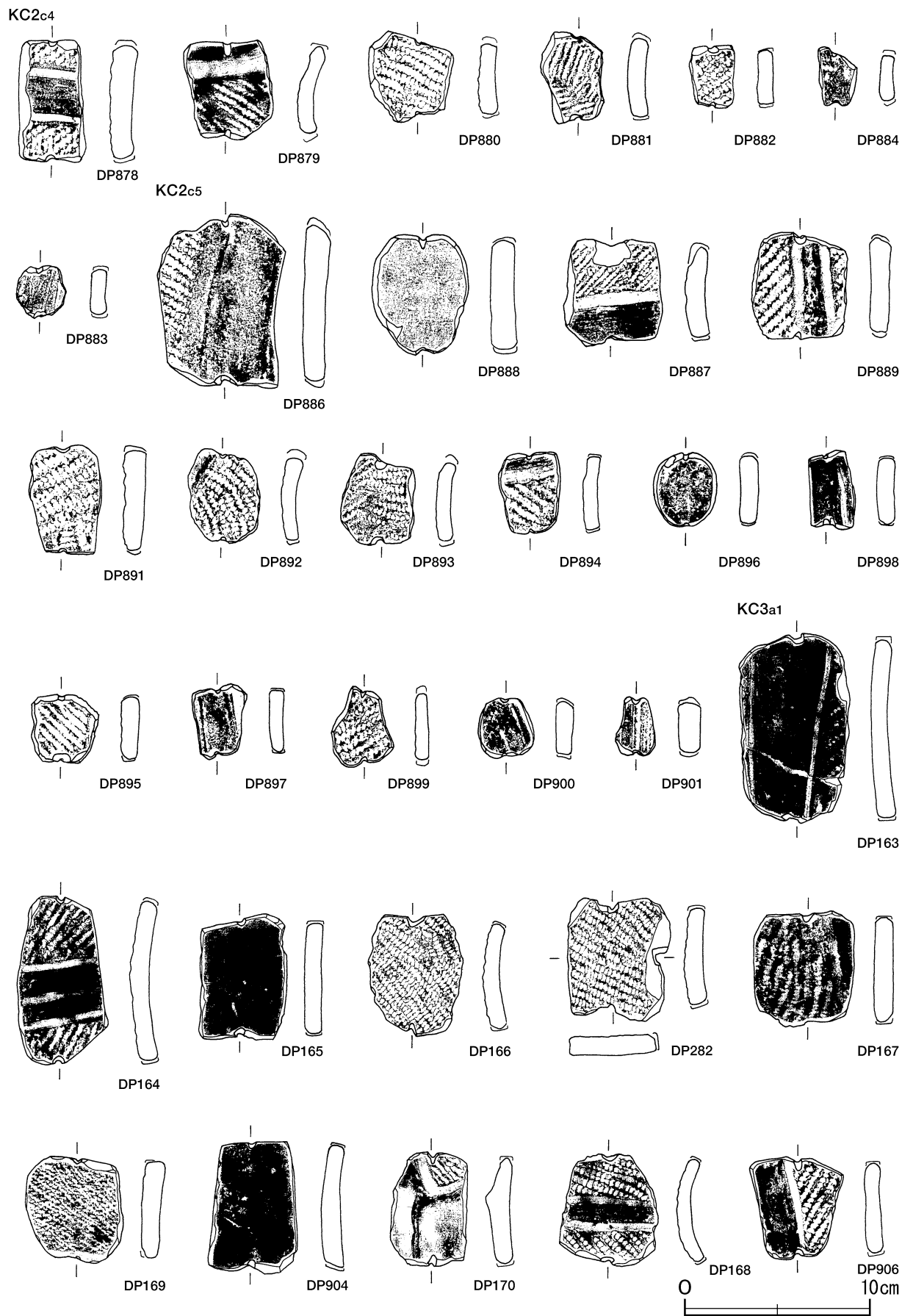
第268圖 斜面貝層出土遺物実測図(96)



第269圖 斜面貝層出土遺物実測図(97)

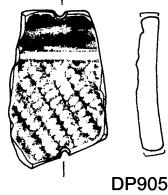


第270圖 斜面貝層出土遺物実測図(98)

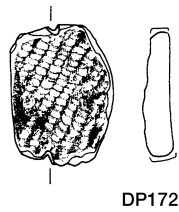


第271图 斜面貝層出土遺物実測図(99)

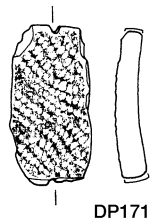
KC3a1



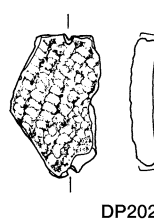
DP905



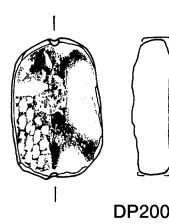
DP172



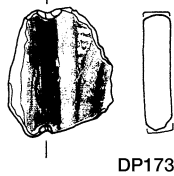
DP171



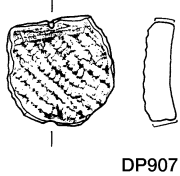
DP202



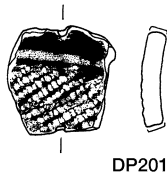
DP200



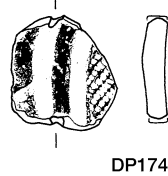
DP173



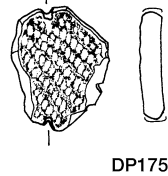
DP907



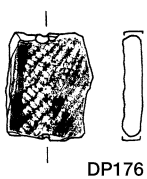
DP201



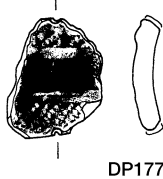
DP174



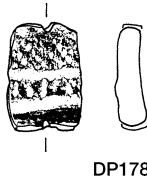
DP175



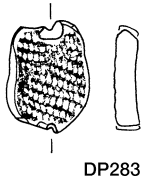
DP176



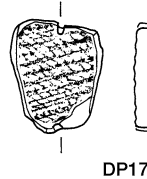
DP177



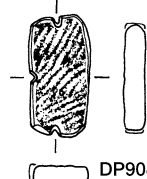
DP178



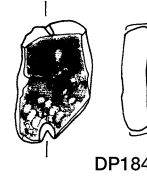
DP283



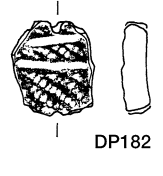
DP179



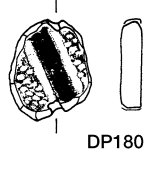
DP908



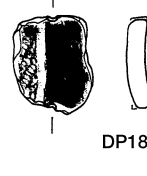
DP184



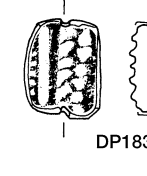
DP182



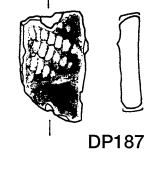
DP180



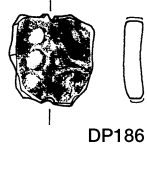
DP181



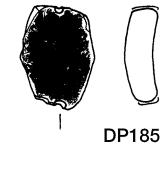
DP183



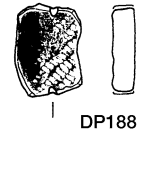
DP187



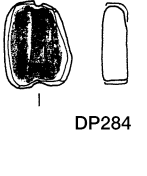
DP186



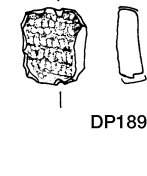
DP185



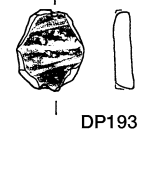
DP188



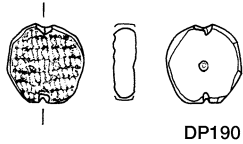
DP284



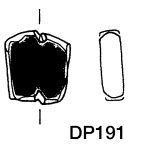
DP189



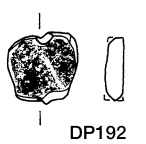
DP193



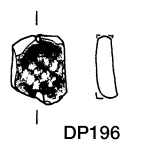
DP190



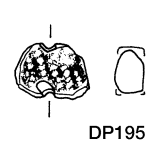
DP191



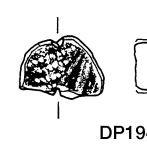
DP192



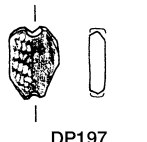
DP196



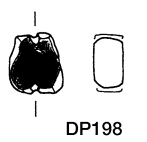
DP195



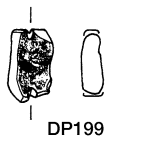
DP194



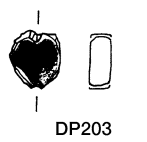
DP197



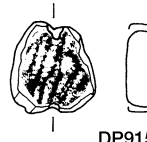
DP198



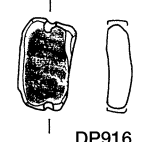
DP199



DP203

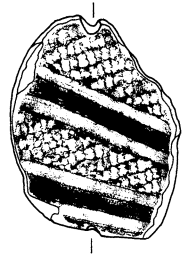


DP915

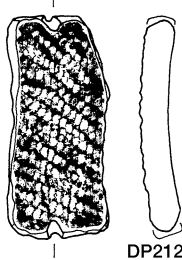


DP916

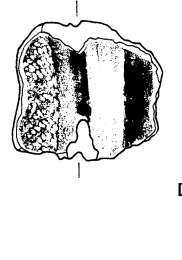
KC3a2



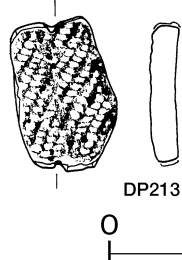
DP210



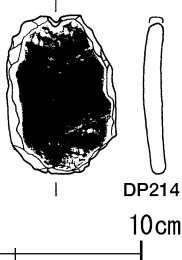
DP212



DP211



DP213

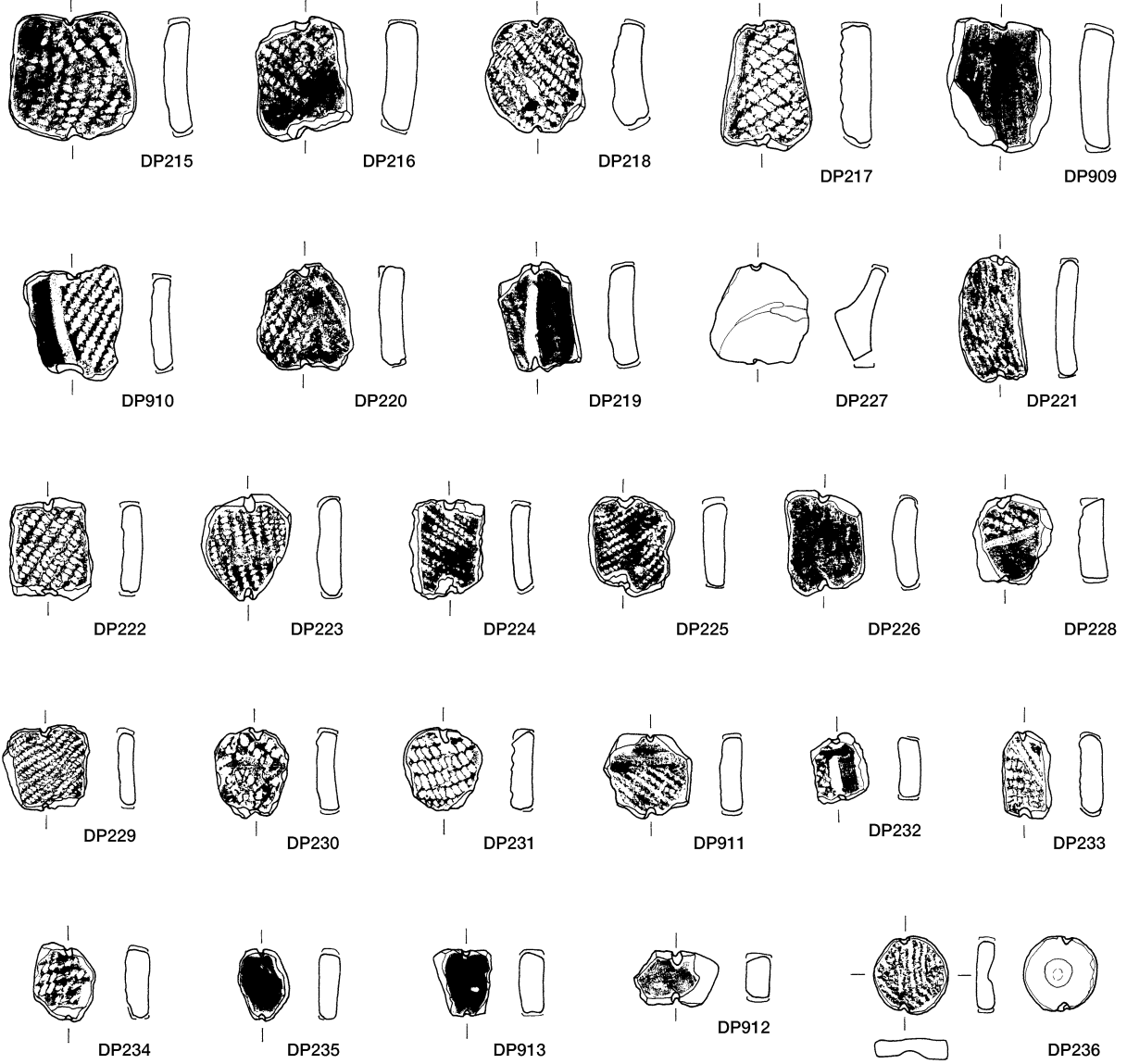


DP214

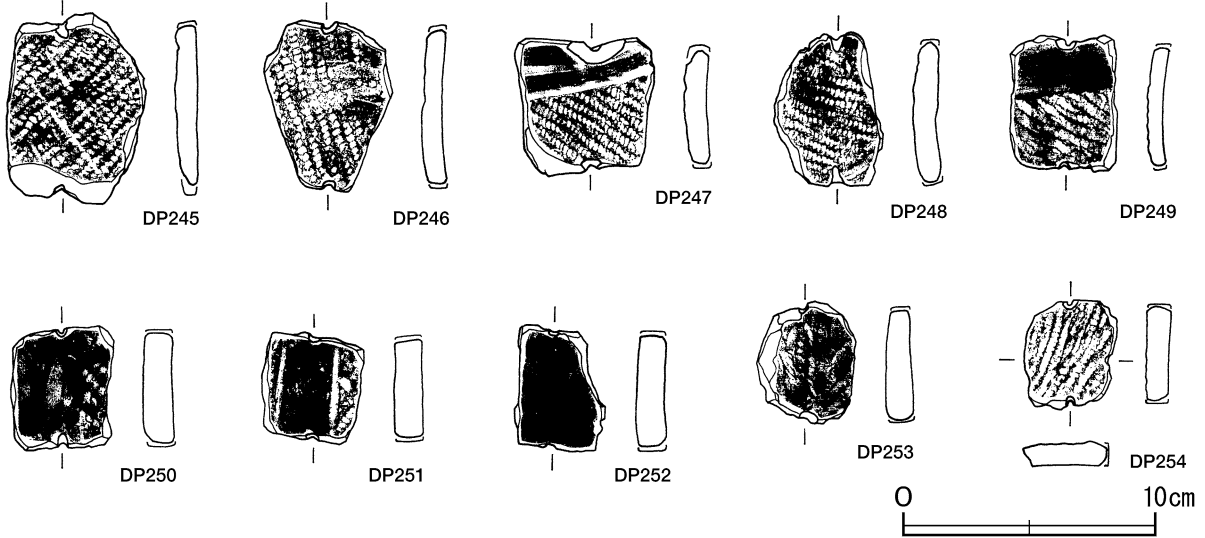


第272図 斜面貝層出土遺物実測図(100)

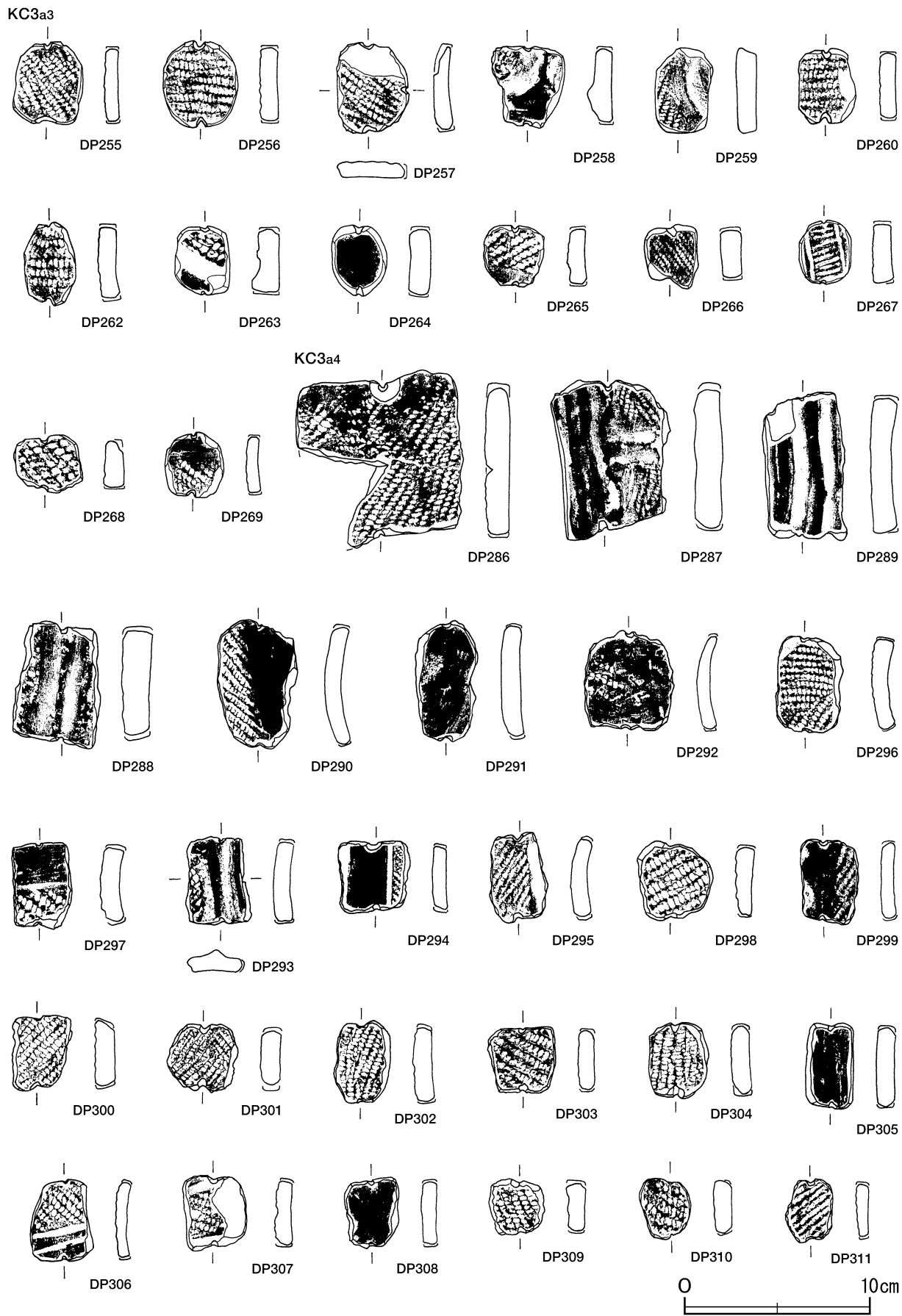
KC3a2



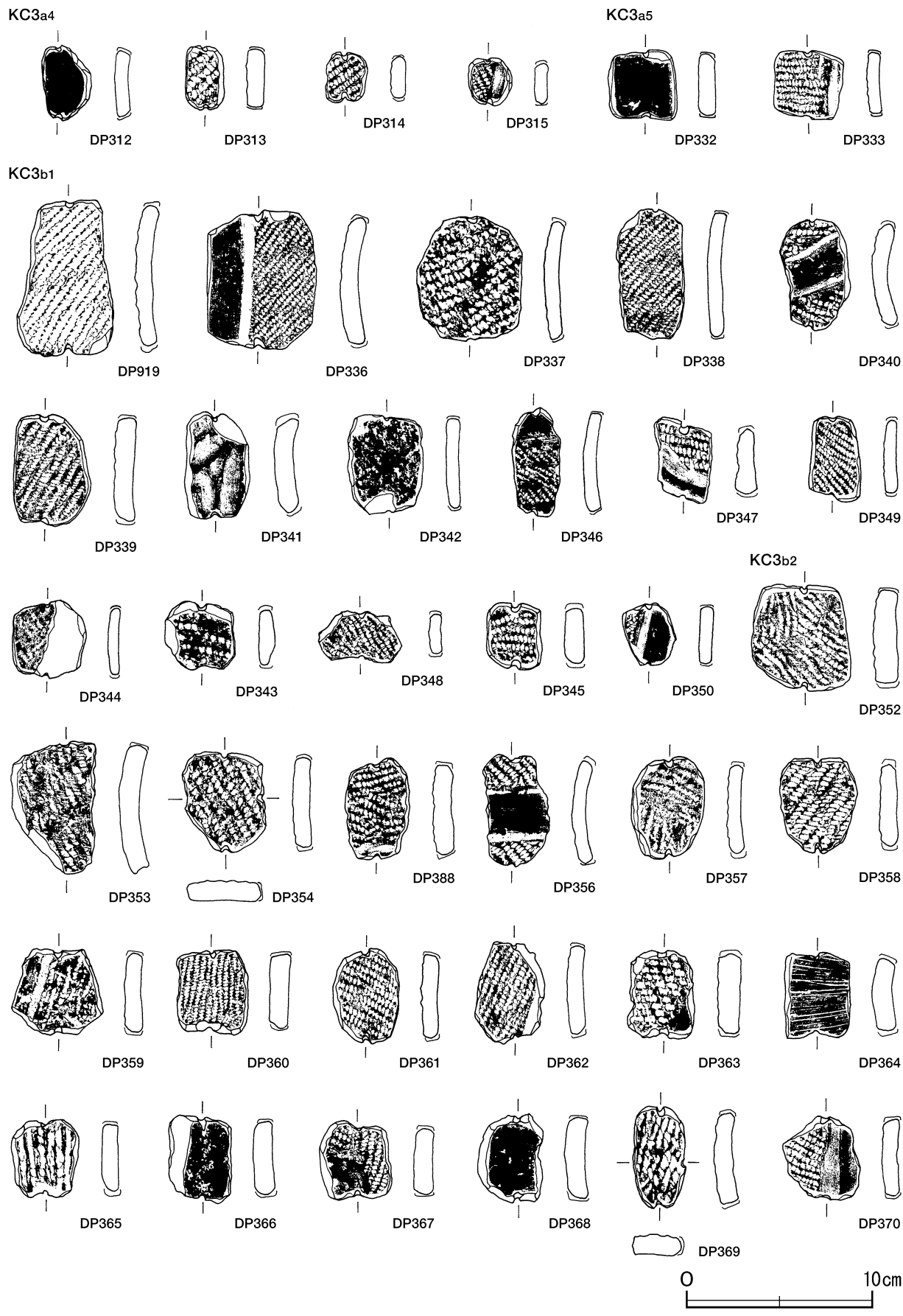
KC3a3



第273図 斜面貝層出土遺物実測図(101)

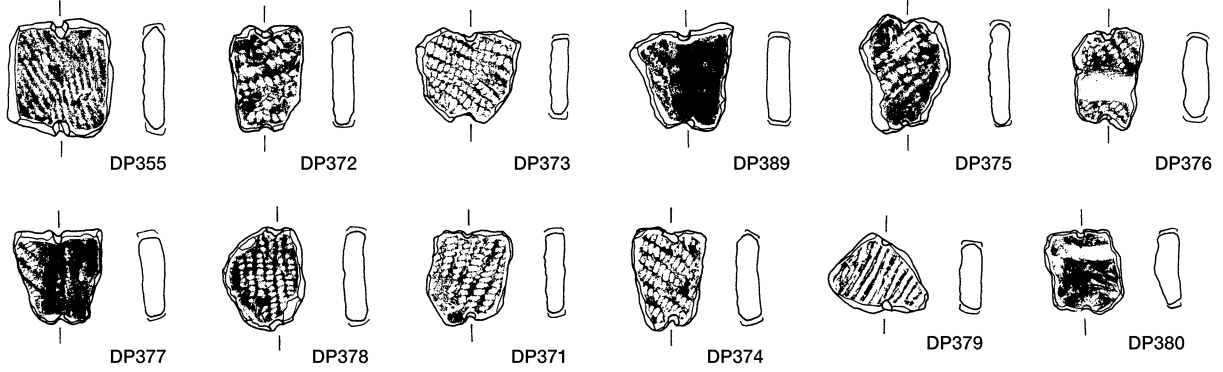


第274图 斜面貝層出土遺物実測図(102)

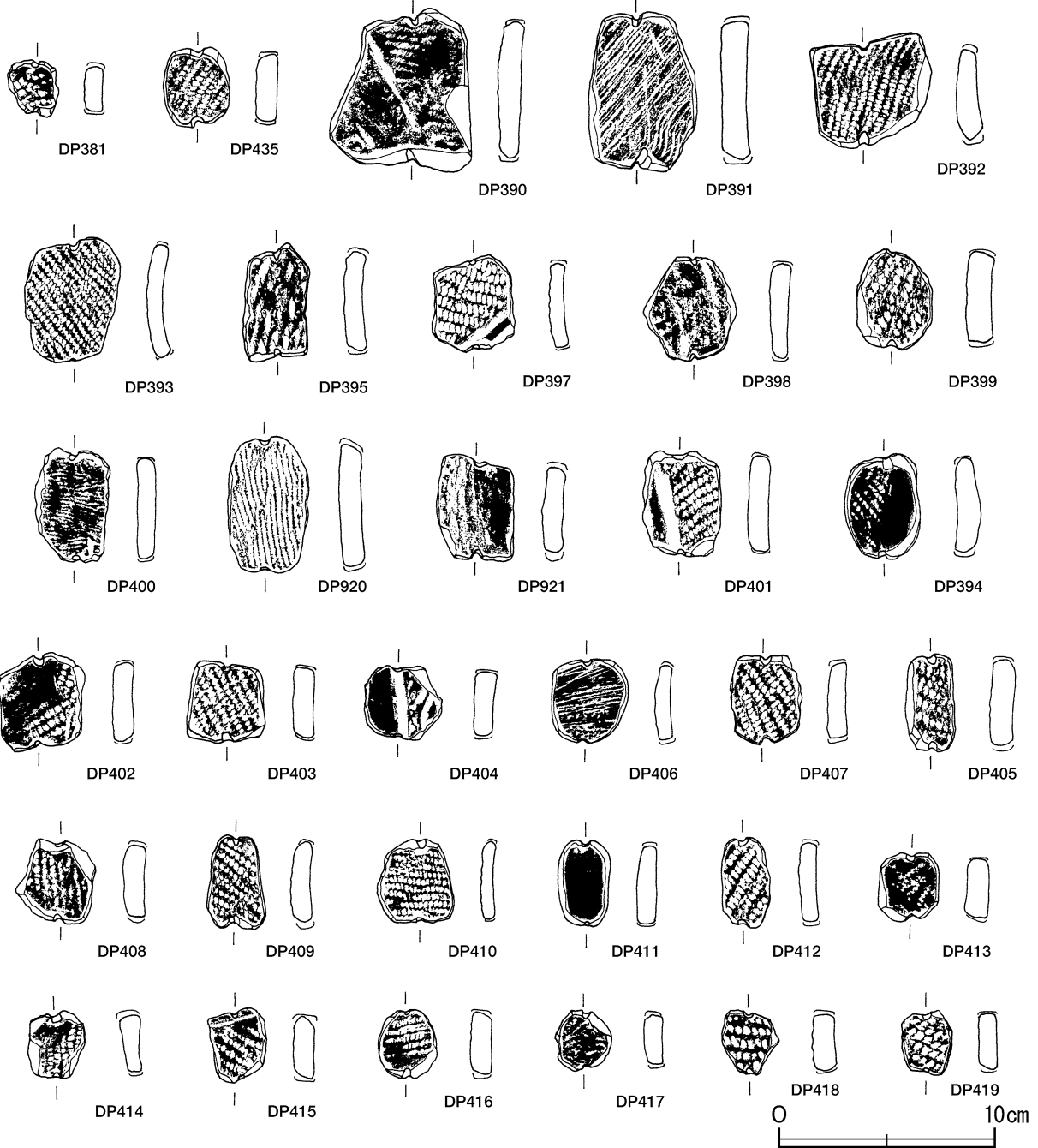


第275図 斜面貝層出土遺物実測図(103)

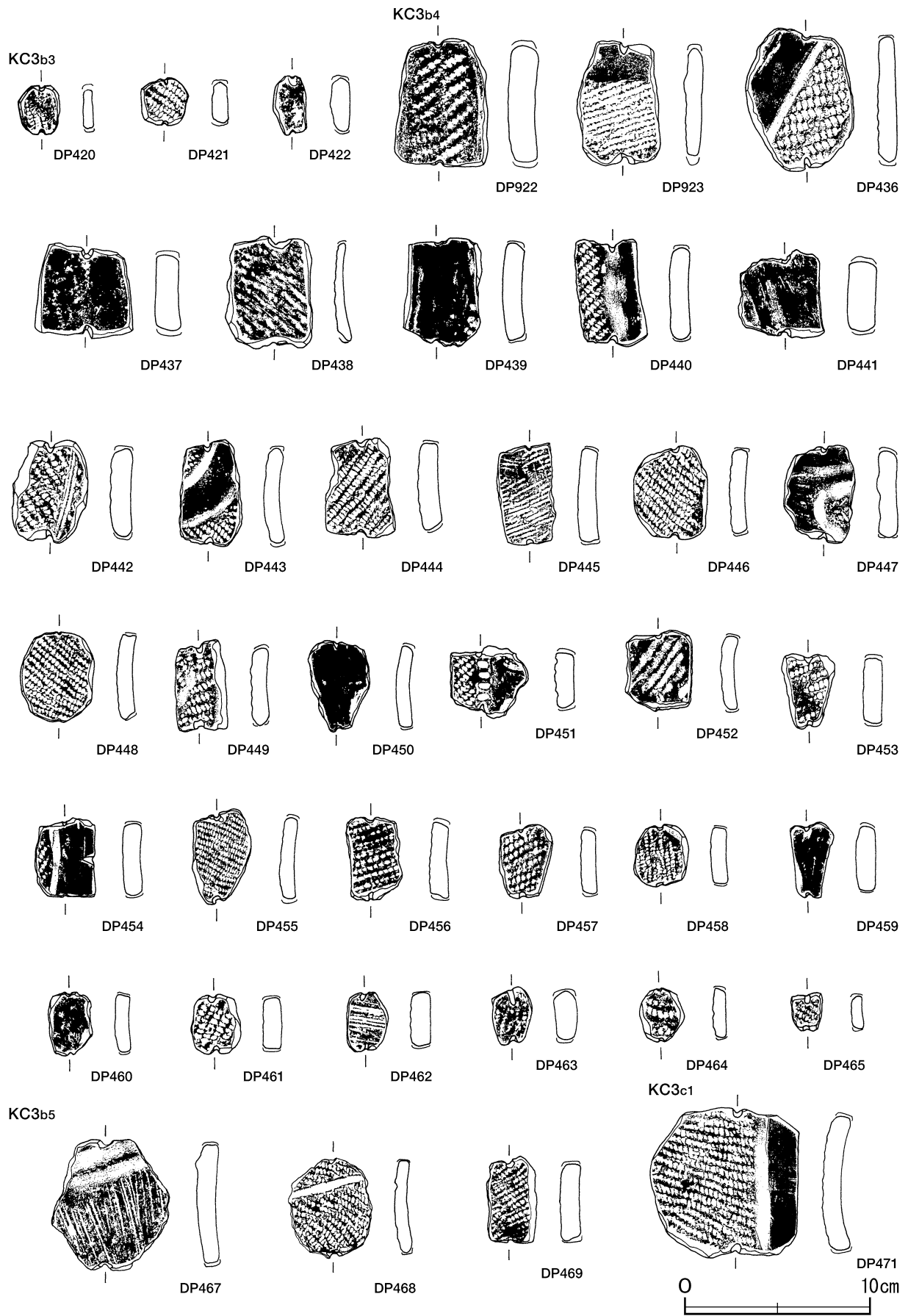
KC3b2



KC3b3

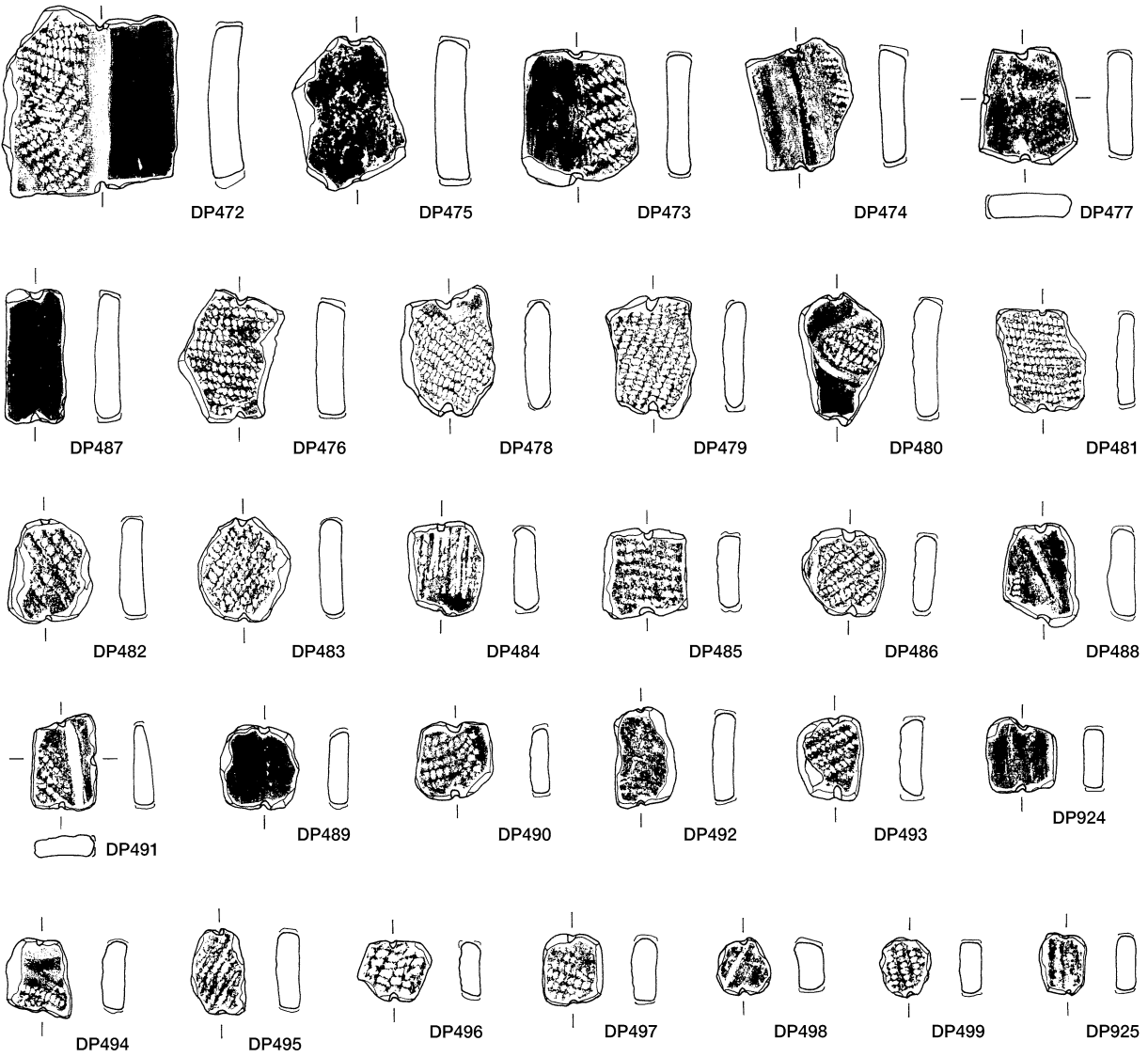


第276图 斜面貝層出土遺物実測図(104)

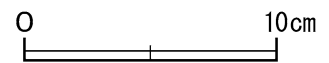
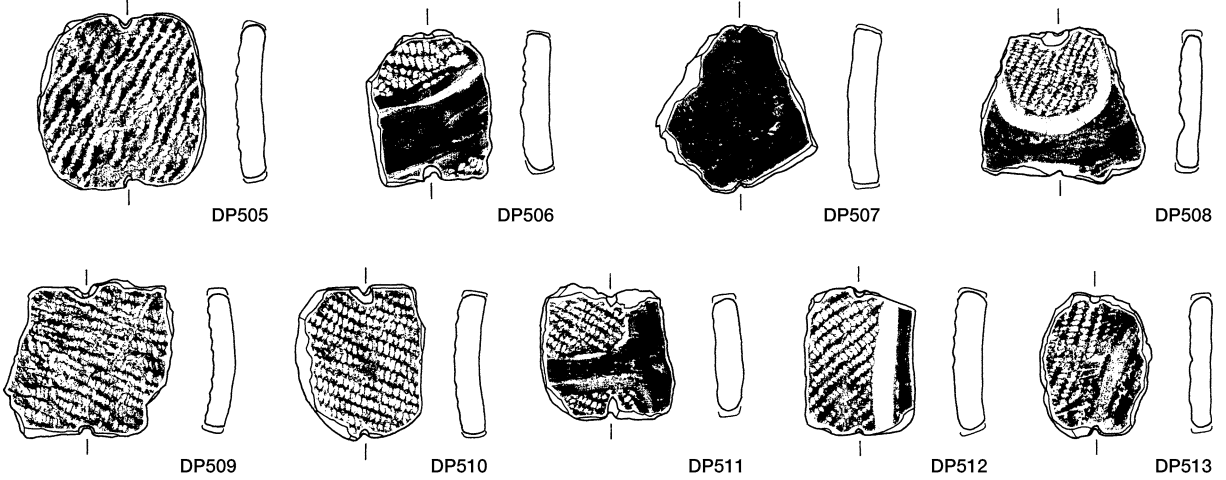


第277圖 斜面貝層出土遺物実測図(105)

KC3c1

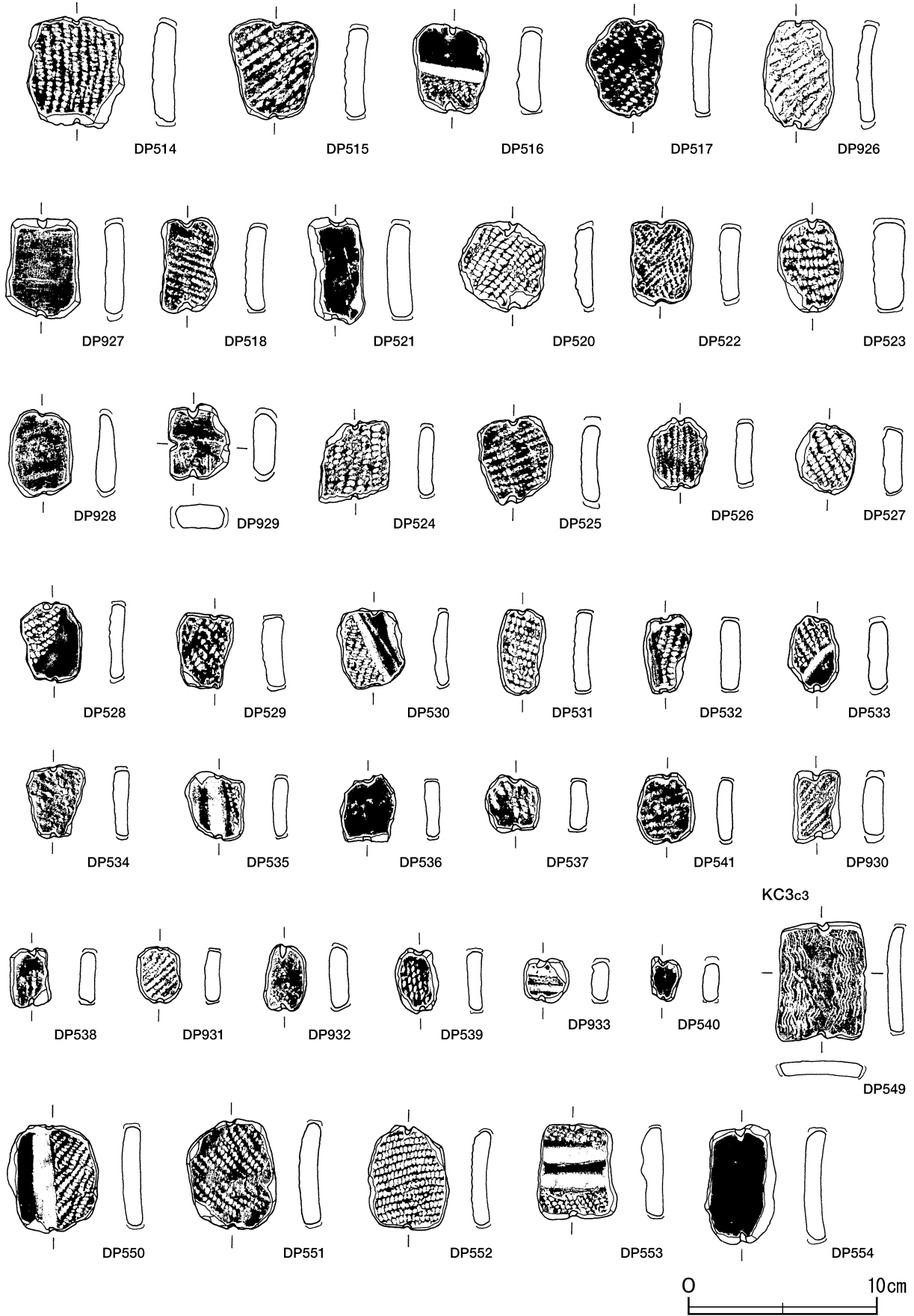


KC3c2



第278図 斜面貝層出土遺物実測図(106)

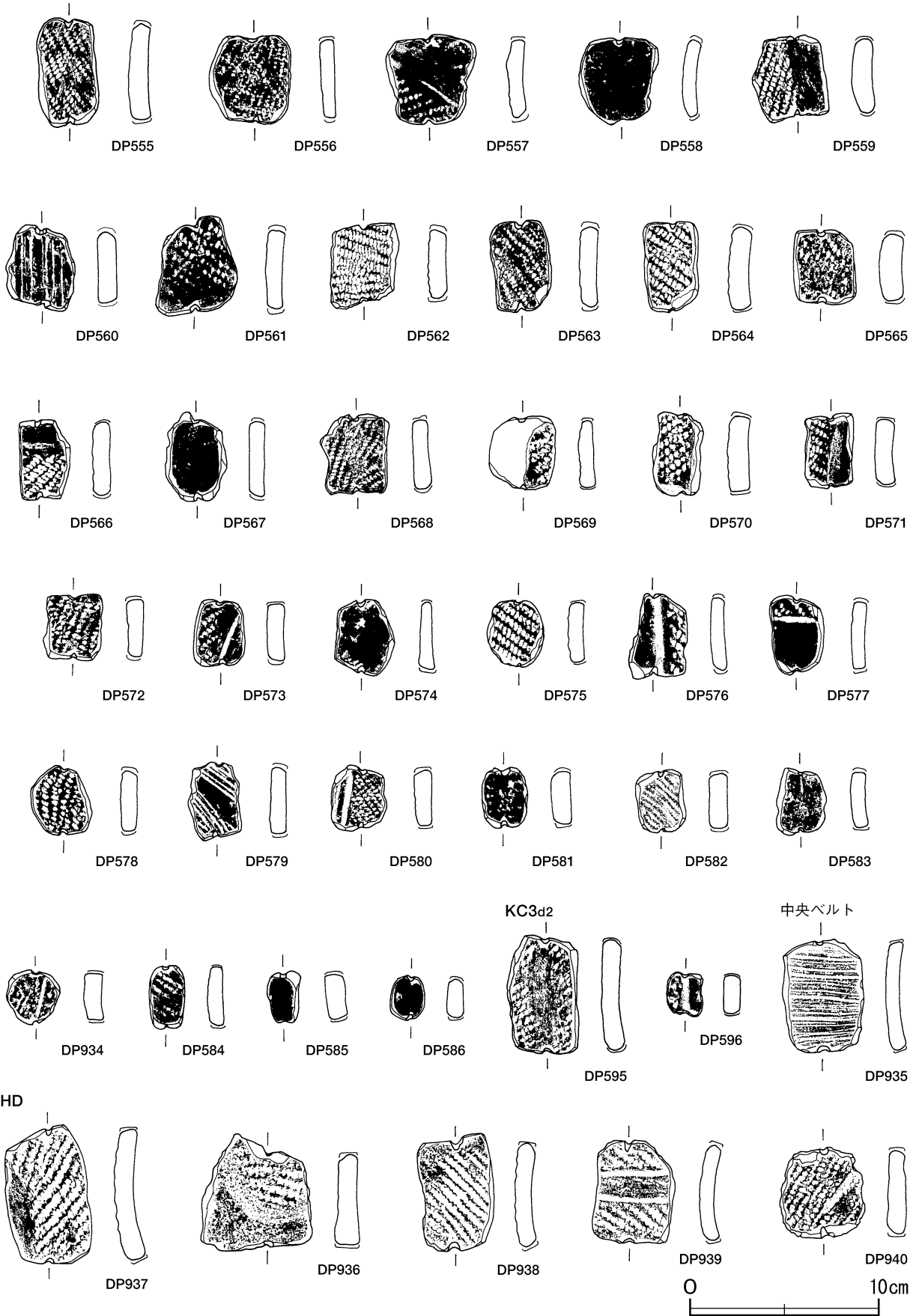
KC3c2



KC3c3

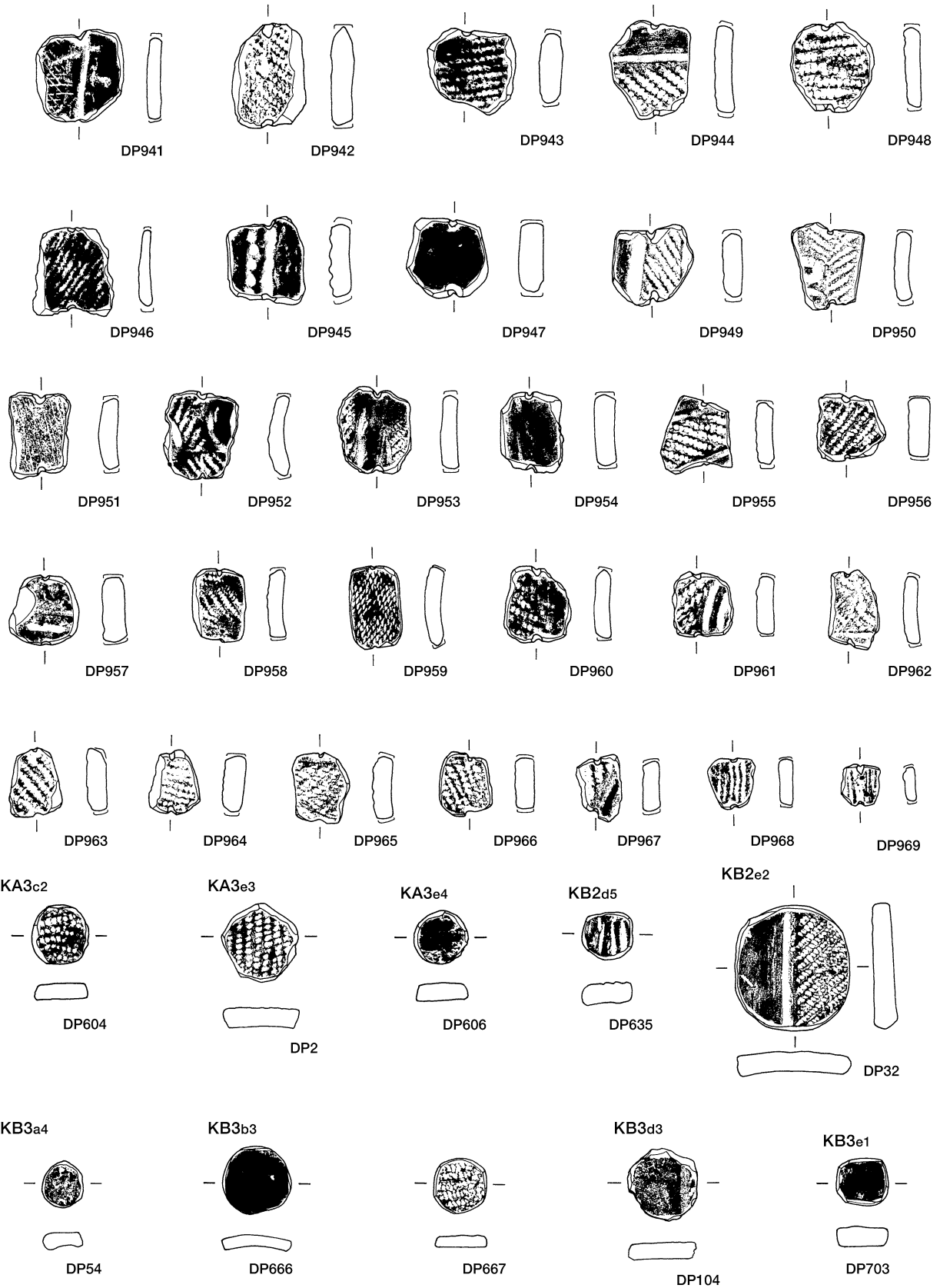
第279图 斜面貝層出土遺物実測図(107)

KC3c3

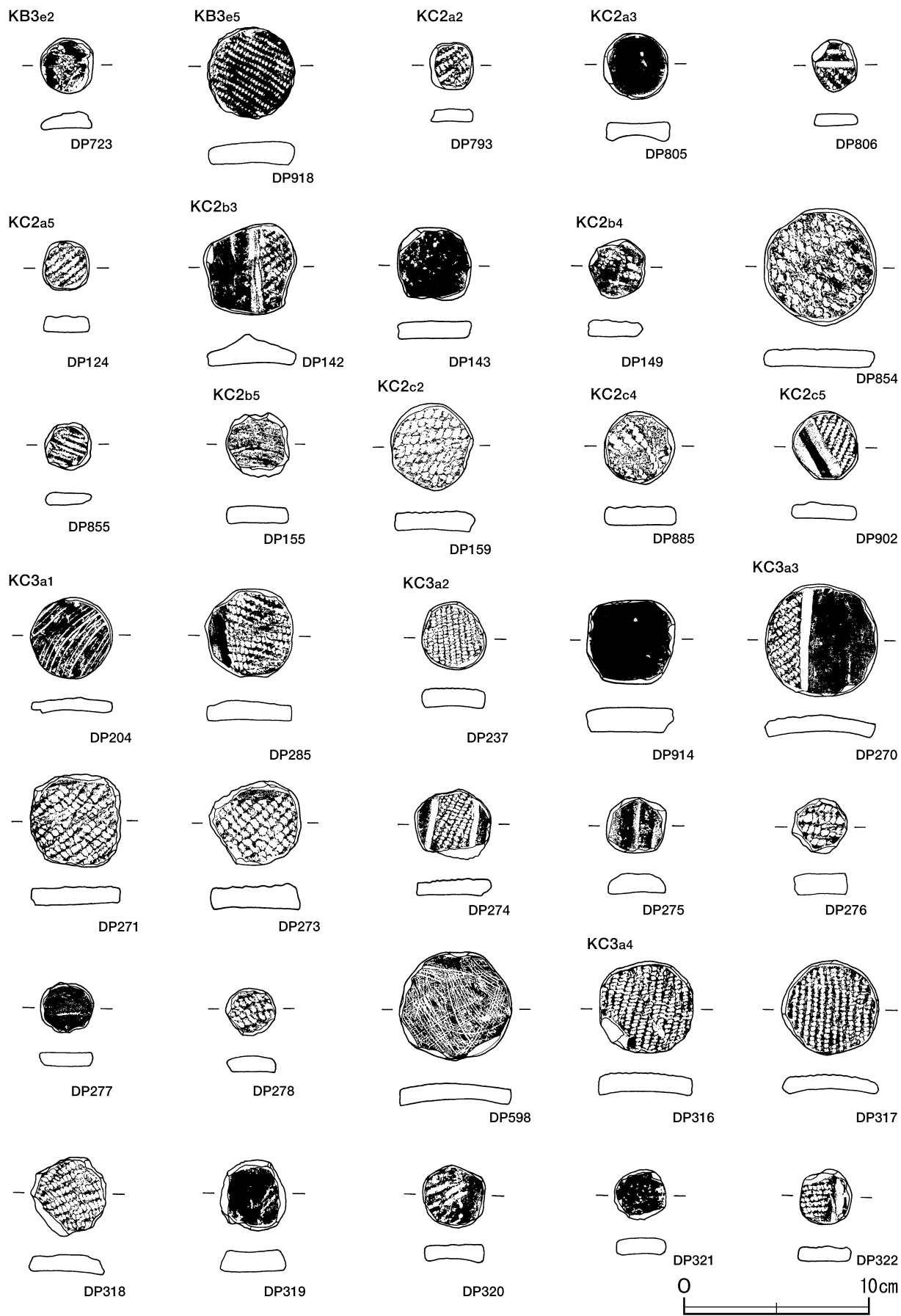


第280図 斜面貝層出土遺物実測図(108)

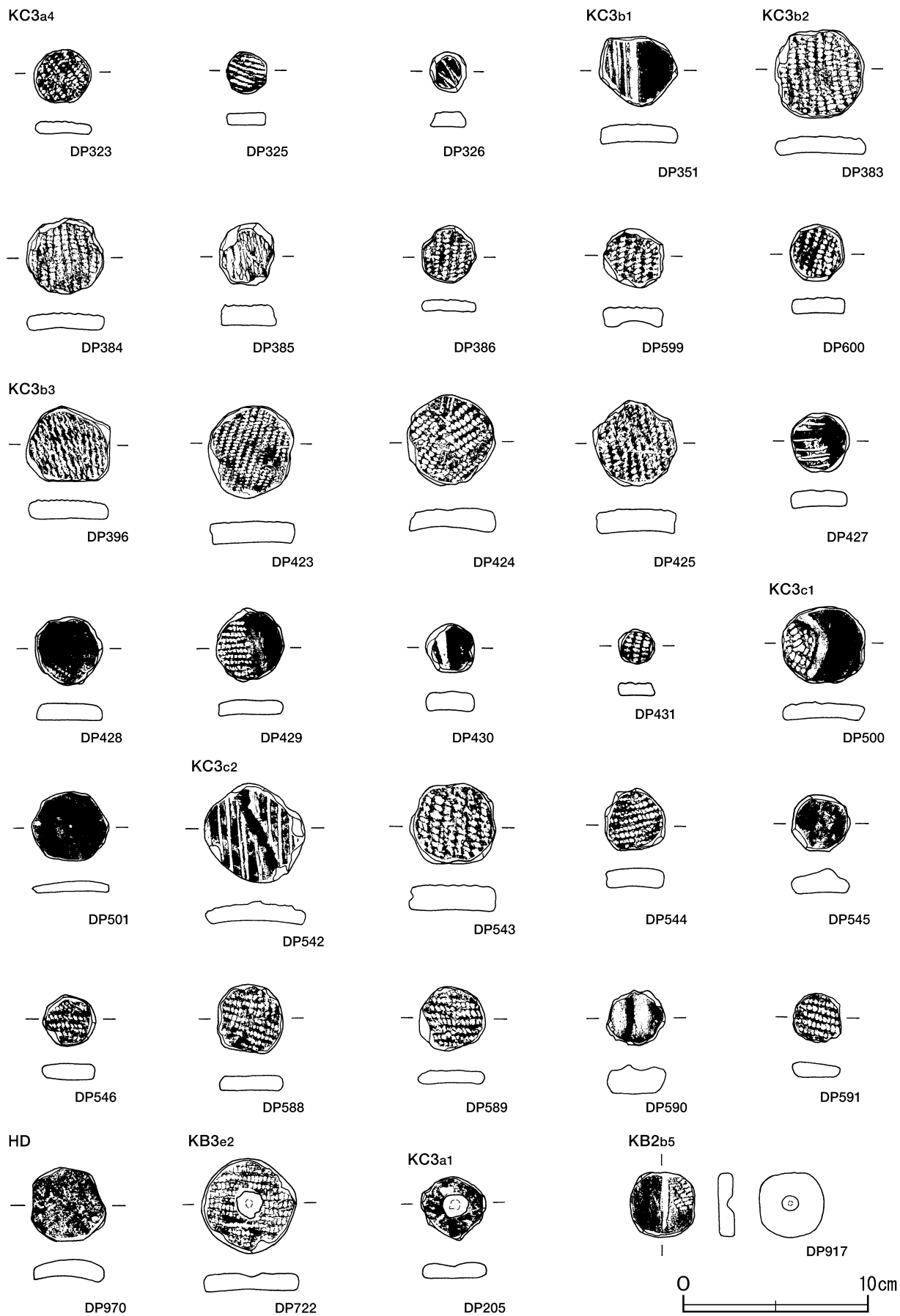
HD



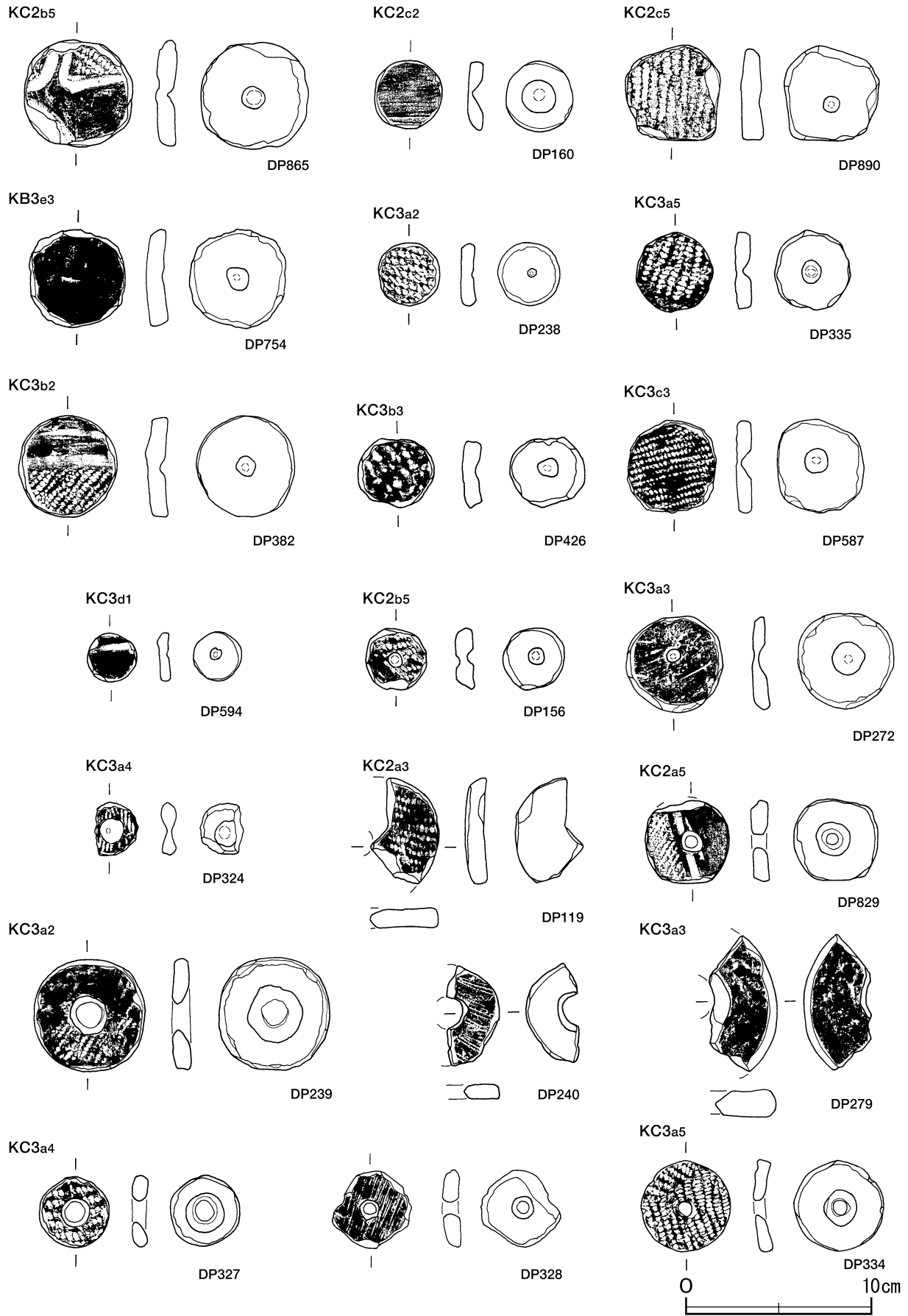
第281圖 斜面貝層出土遺物実測図(109)



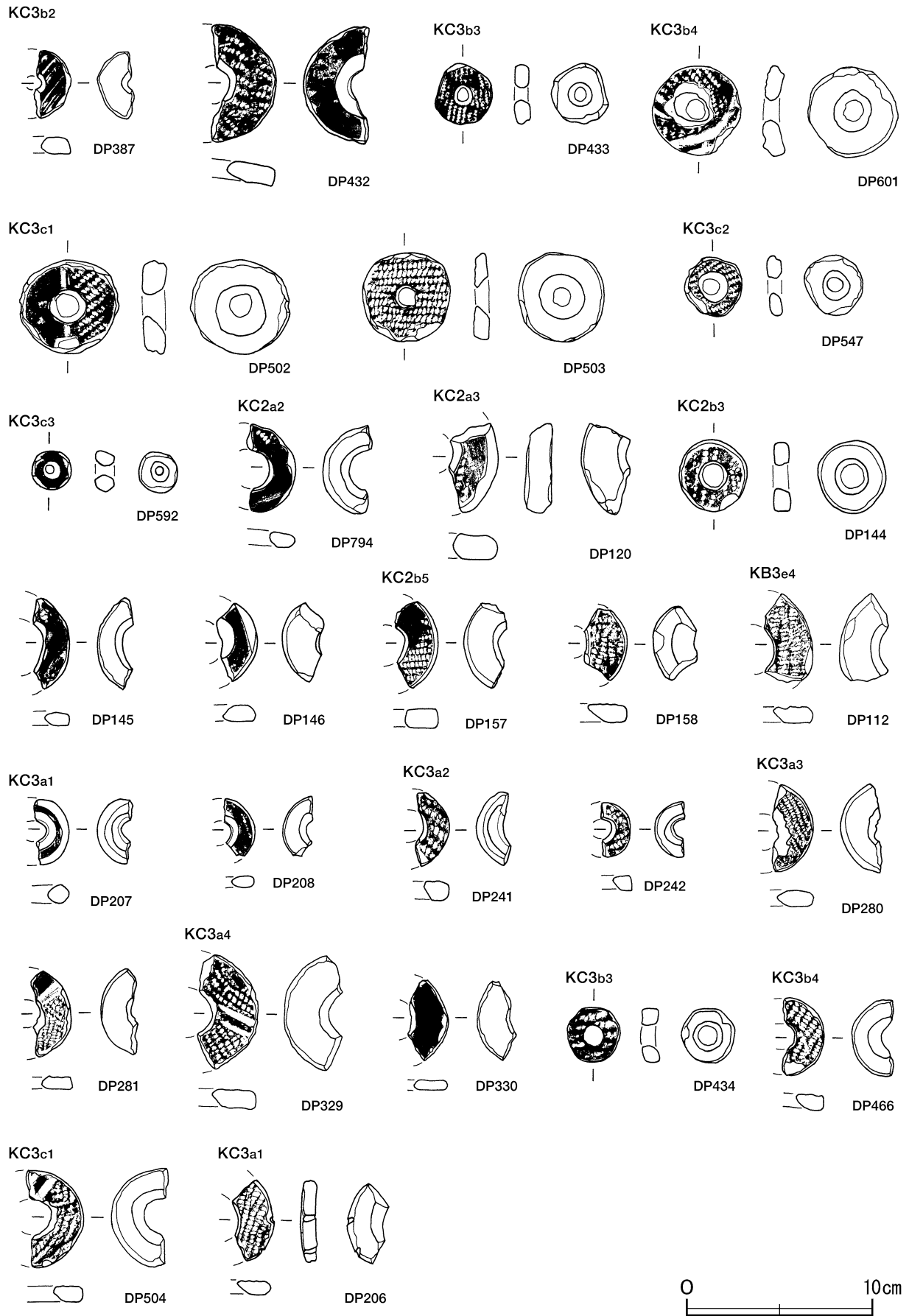
第282図 斜面貝層出土遺物実測図(110)



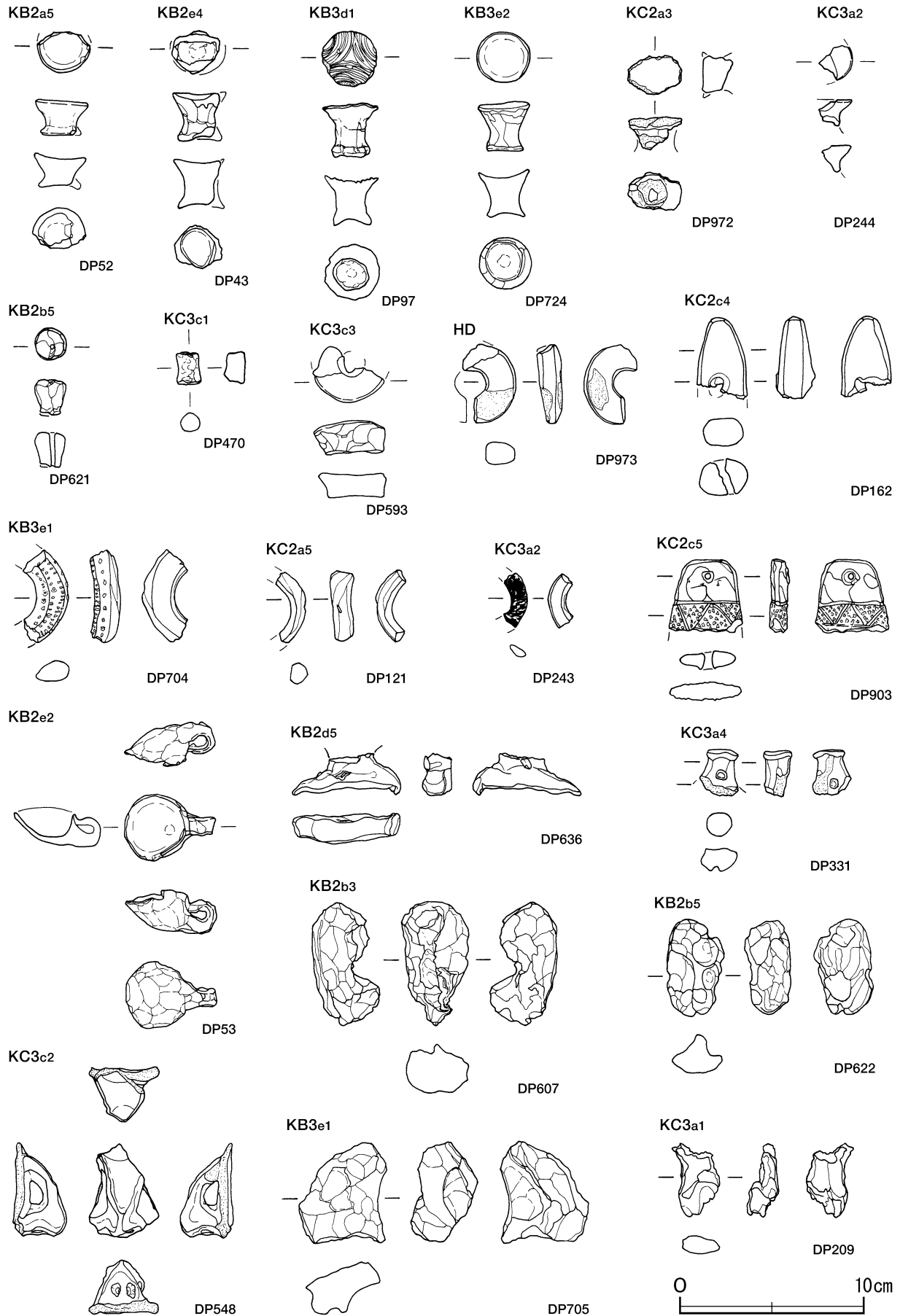
第283図 斜面貝層出土遺物実測図(111)



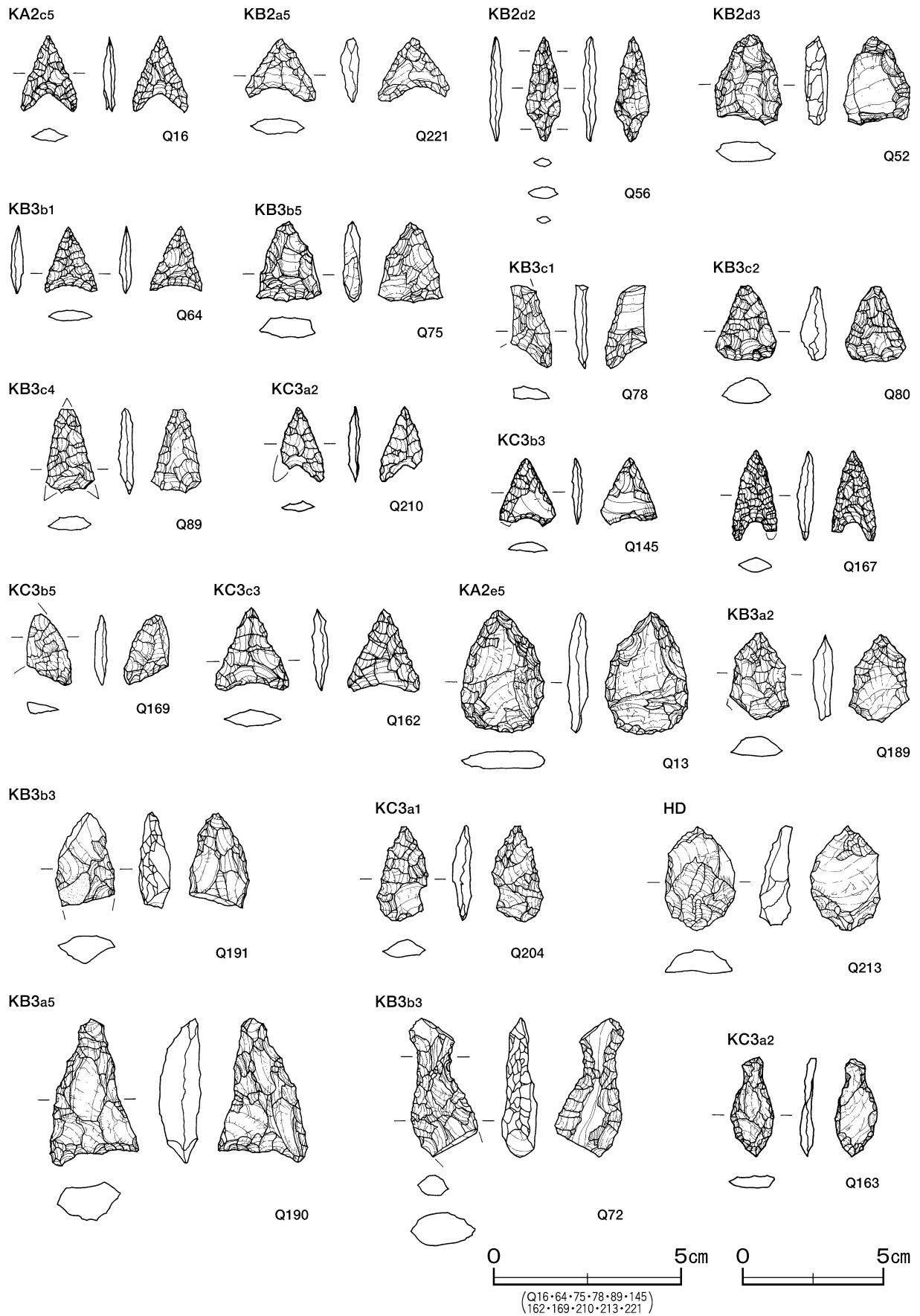
第284図 斜面貝層出土遺物実測図(112)



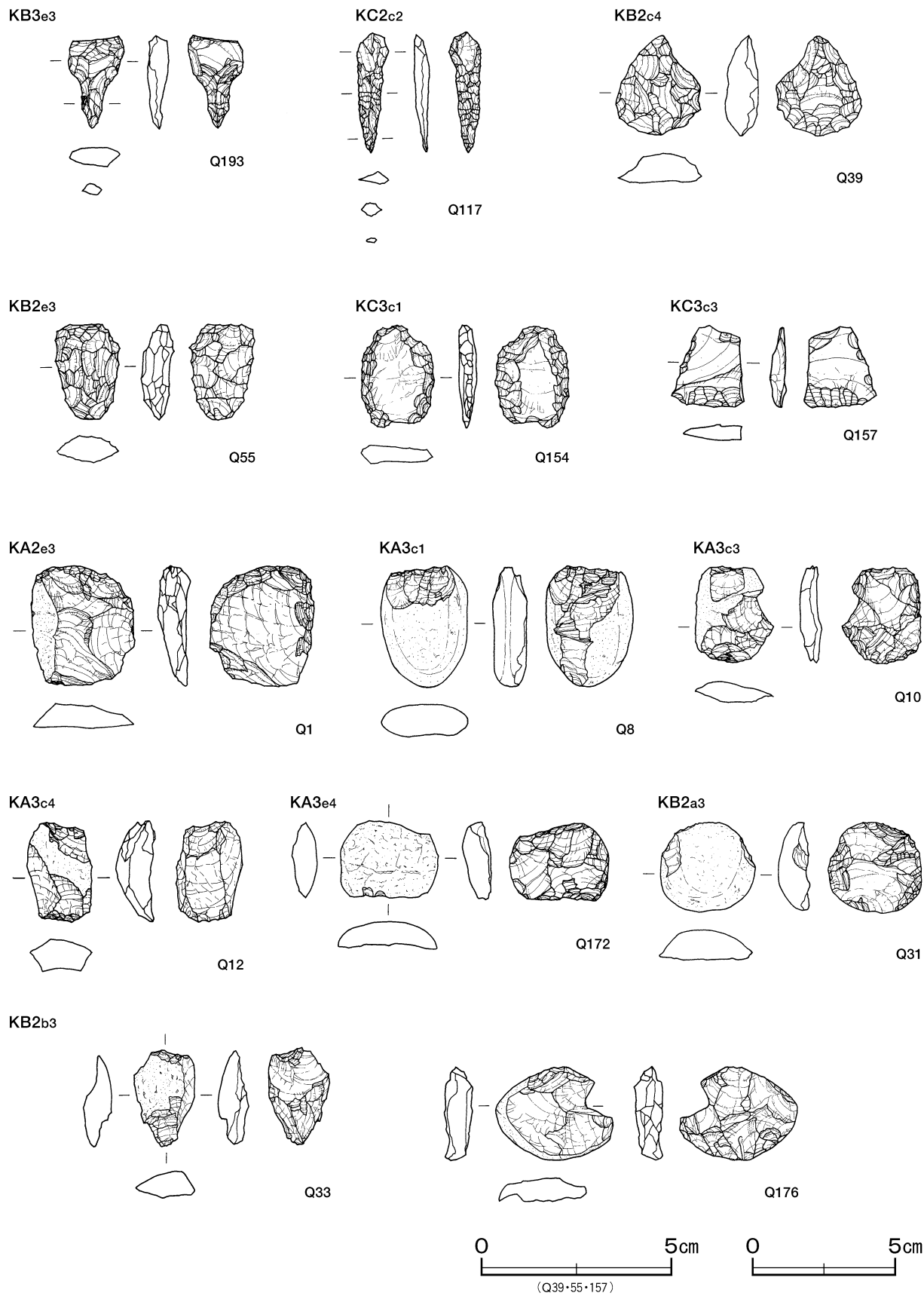
第285圖 斜面貝層出土遺物実測図(113)



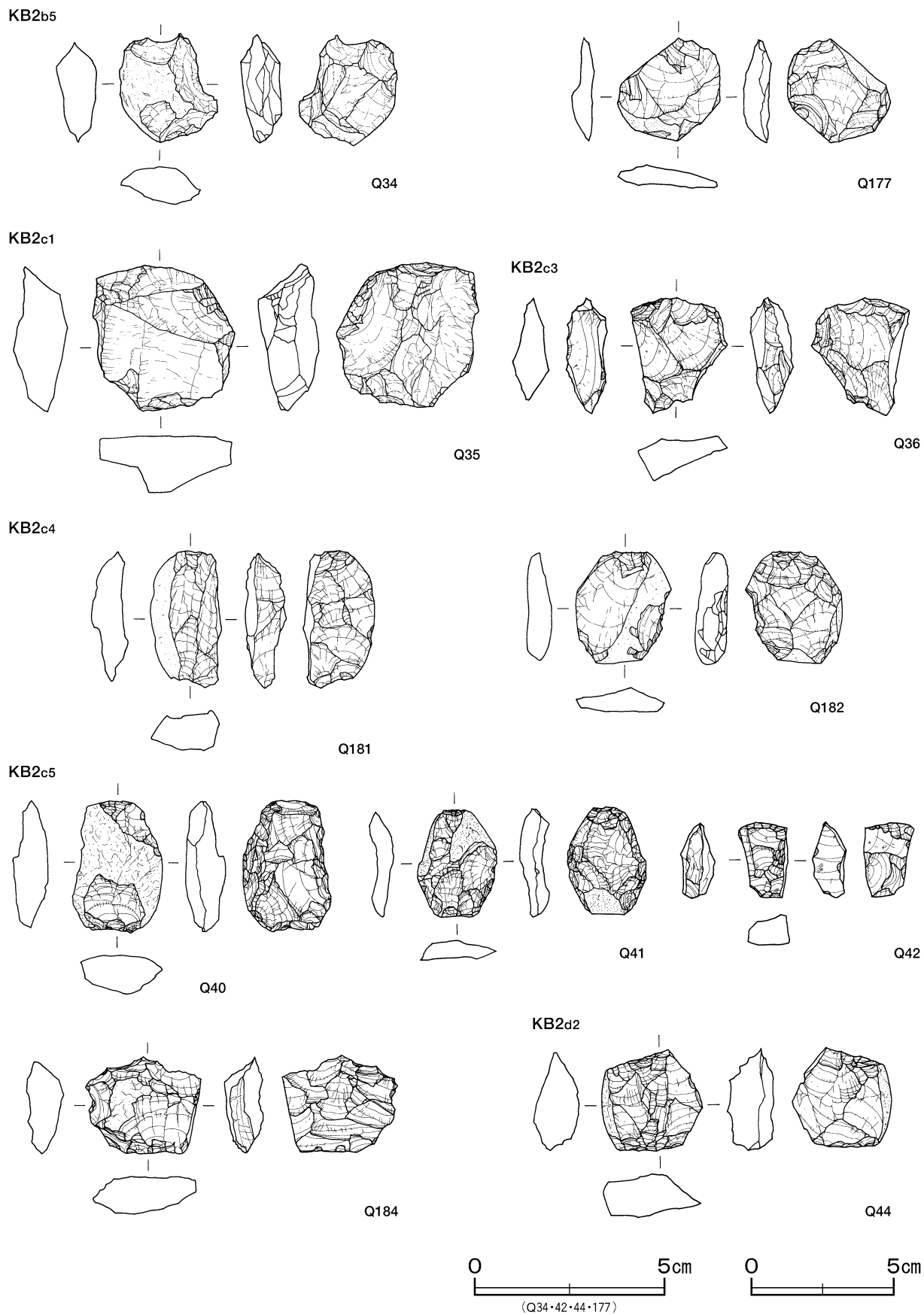
第286圖 斜面貝層出土遺物実測図(114)



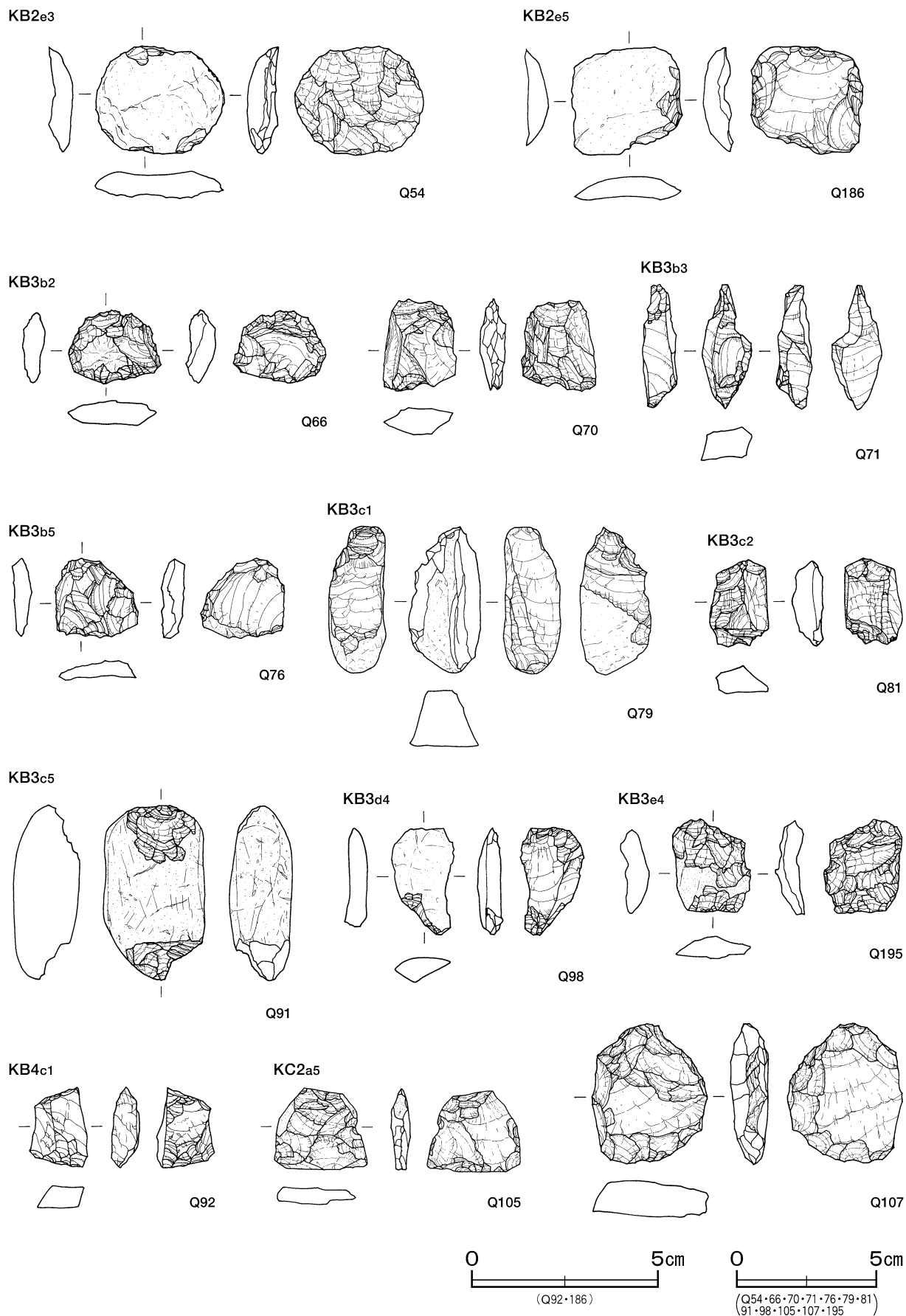
第287圖 斜面貝層出土遺物実測図(115)



第288図 斜面貝層出土遺物実測図(116)

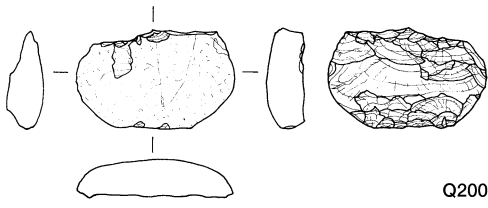


第289圖 斜面貝層出土遺物実測図(117)



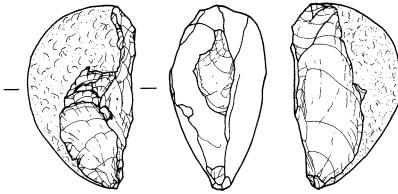
第290圖 斜面貝層出土遺物実測図(118)

KC2a5

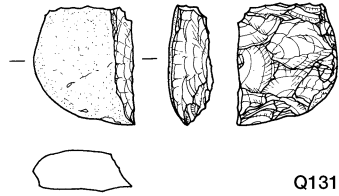


Q200

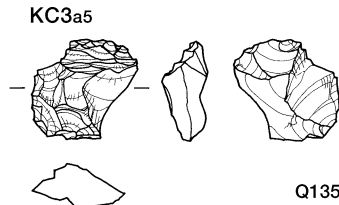
KC3a4



Q130

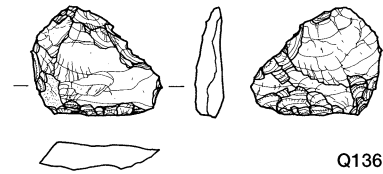


Q131



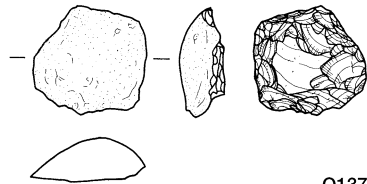
KC3a5

Q135

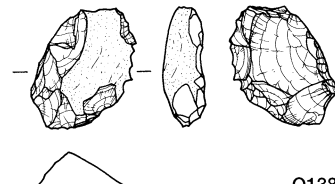


Q136

KC3b1

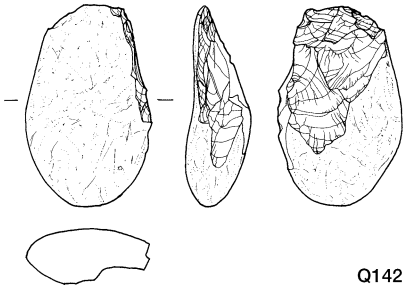


Q137

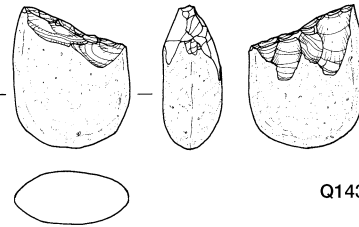


Q138

KC3b2

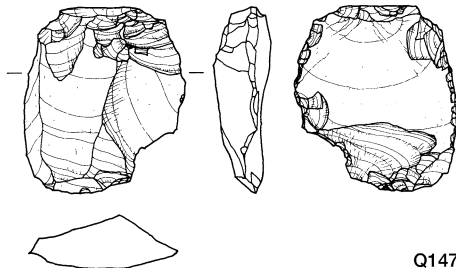


Q142

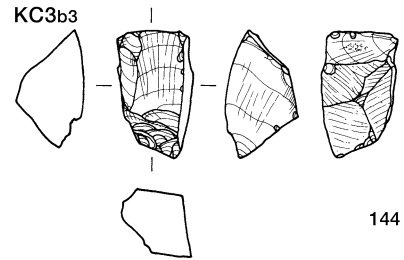


Q143

KC3b4

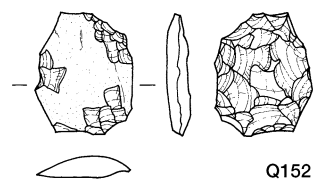


Q147



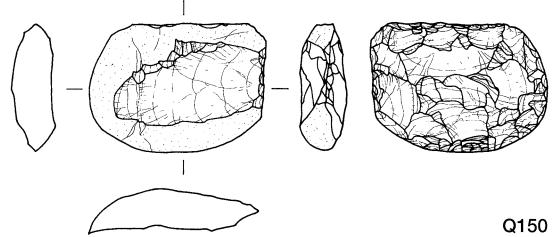
KC3b3

144



Q152

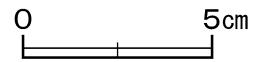
KC3c1



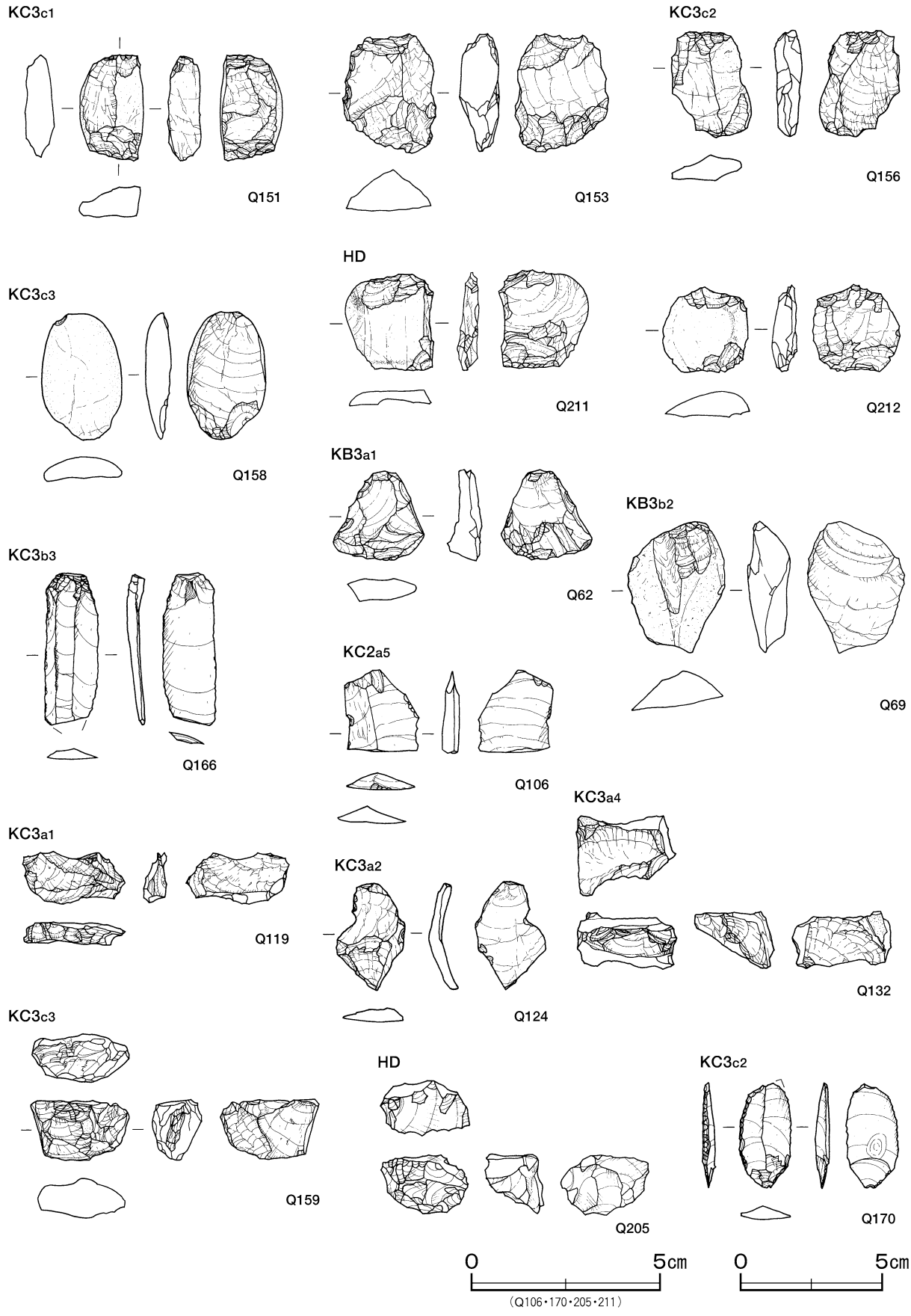
Q150



(Q135-144-152)

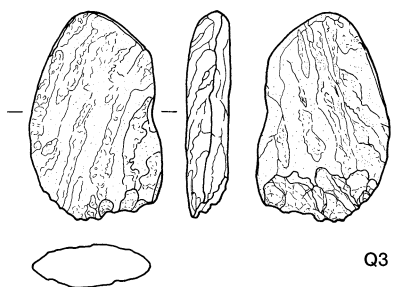


第291圖 斜面貝層出土遺物実測図(119)



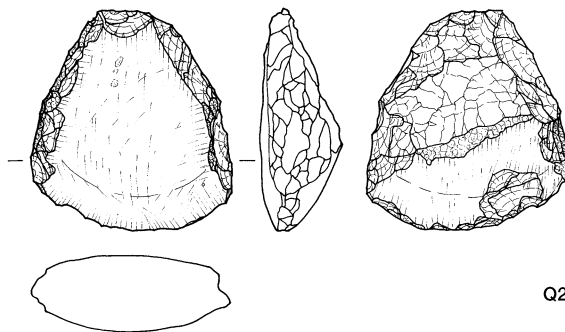
第292図 斜面貝層出土遺物実測図(120)

KA3b2



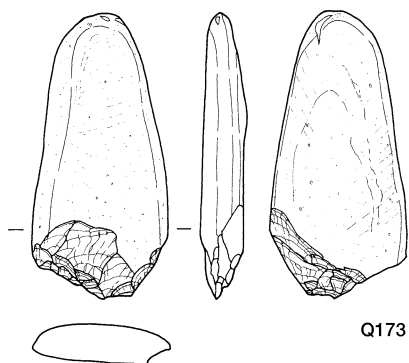
Q3

KA3e2



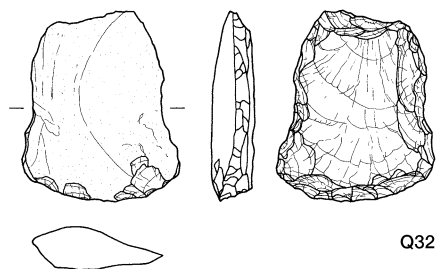
Q2

KA3e4



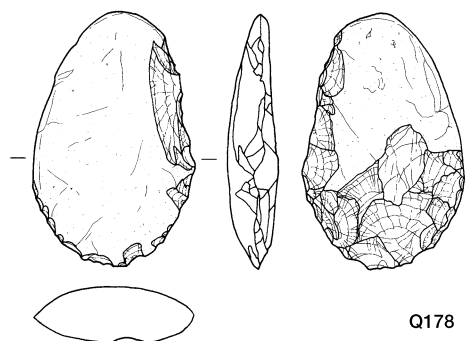
Q173

KB2a4



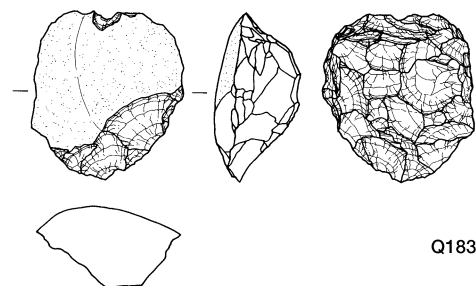
Q32

KB2b5



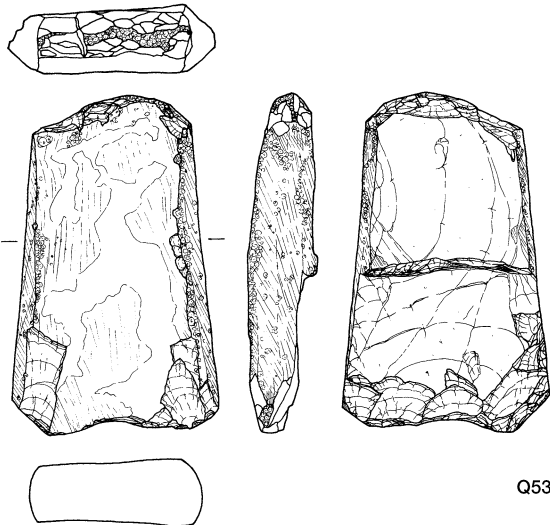
Q178

KB2c5



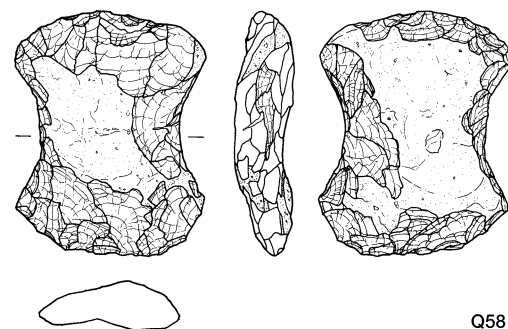
Q183

KB2e2

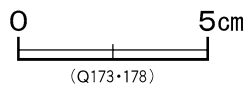


Q53

KB2e4



Q58

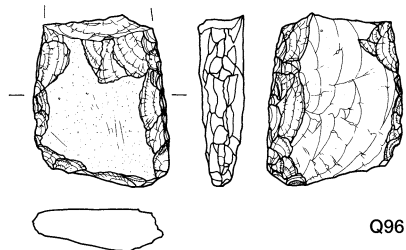


(Q173・178)



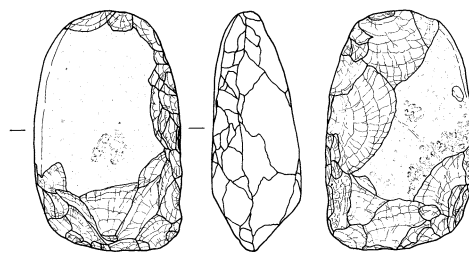
第293図 斜面貝層出土遺物実測図(121)

KB3d2



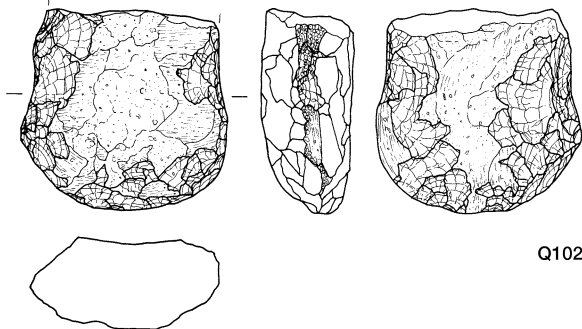
Q96

KB3e2



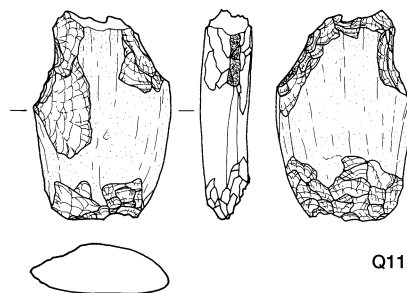
Q209

KB3e4



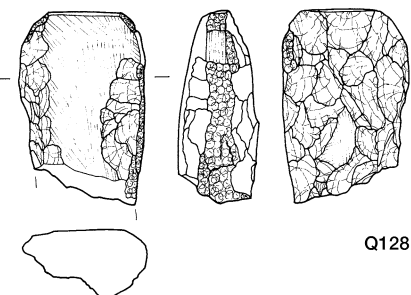
Q102

KC2b3



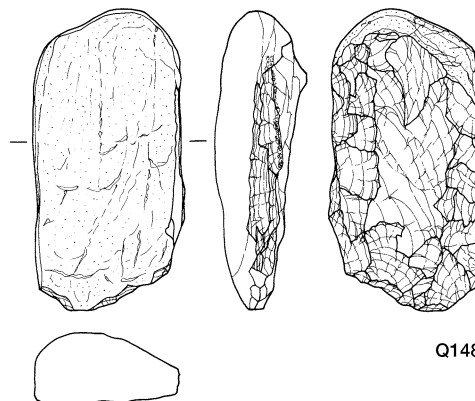
Q111

KC3a3



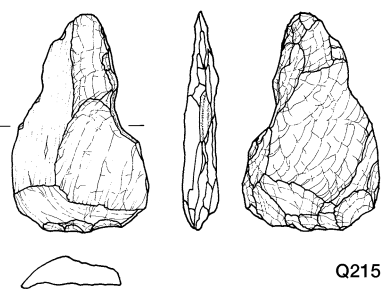
Q128

KC3b4

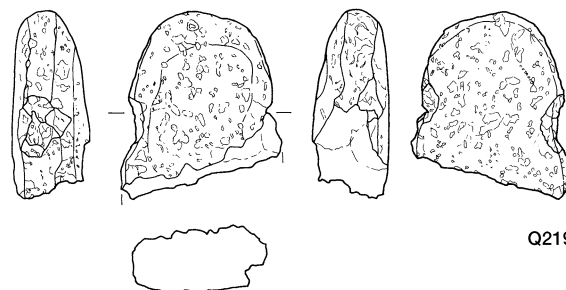


Q148

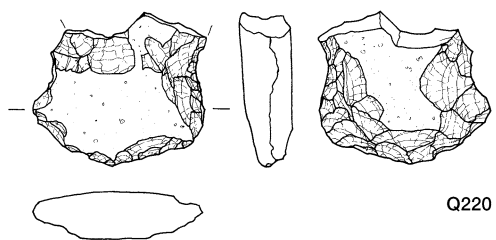
HD



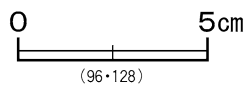
Q215



Q219



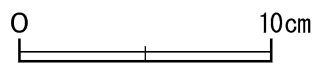
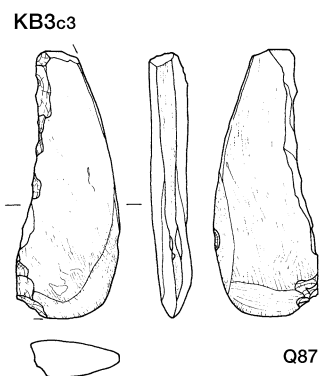
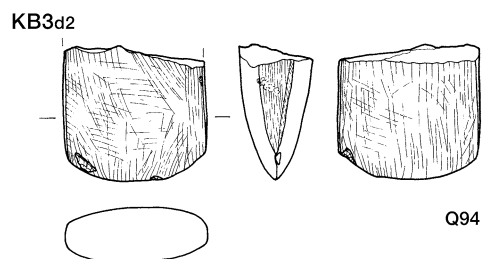
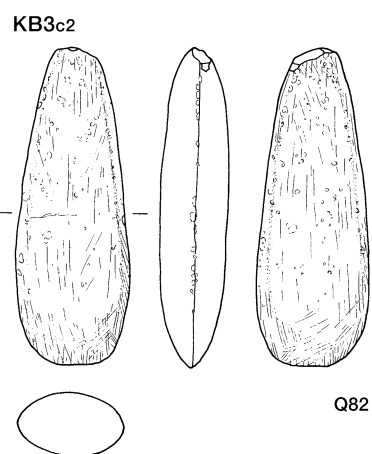
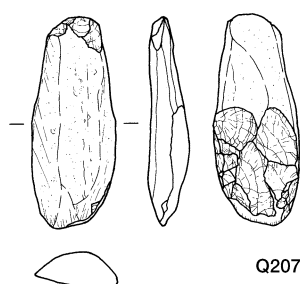
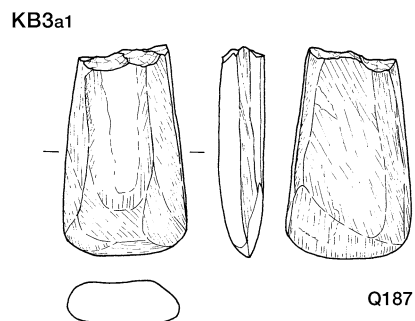
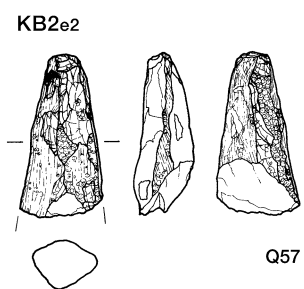
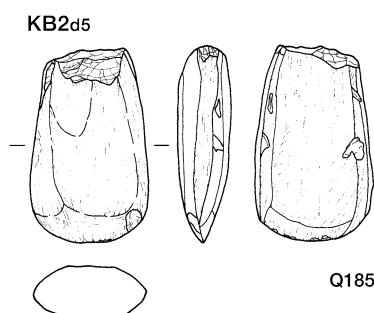
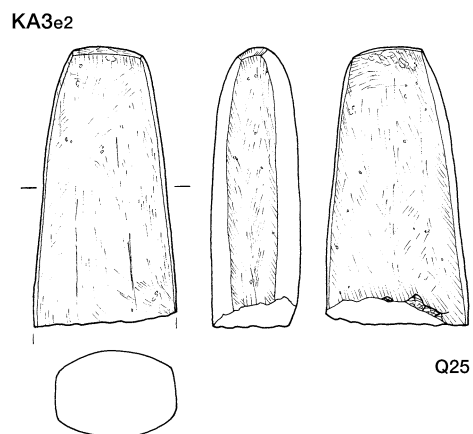
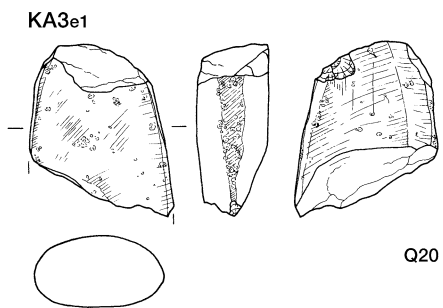
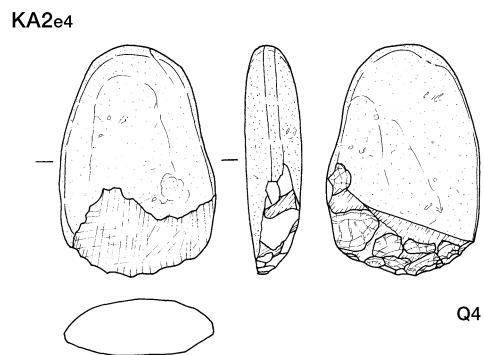
Q220



(96・128)

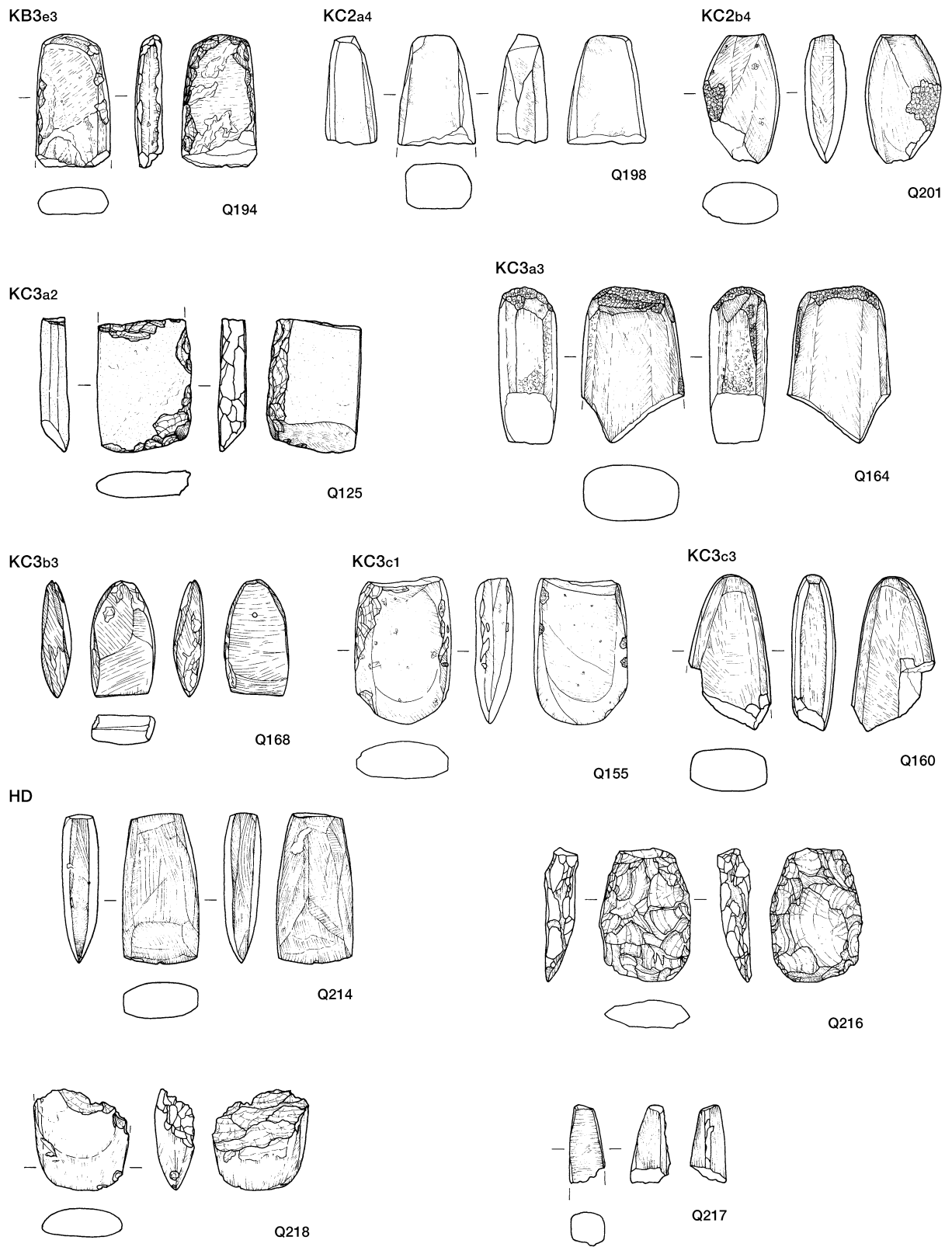


第294図 斜面貝層出土遺物実測図(122)



(Q4·87·185·187)

第295圖 斜面貝層出土遺物実測図(123)

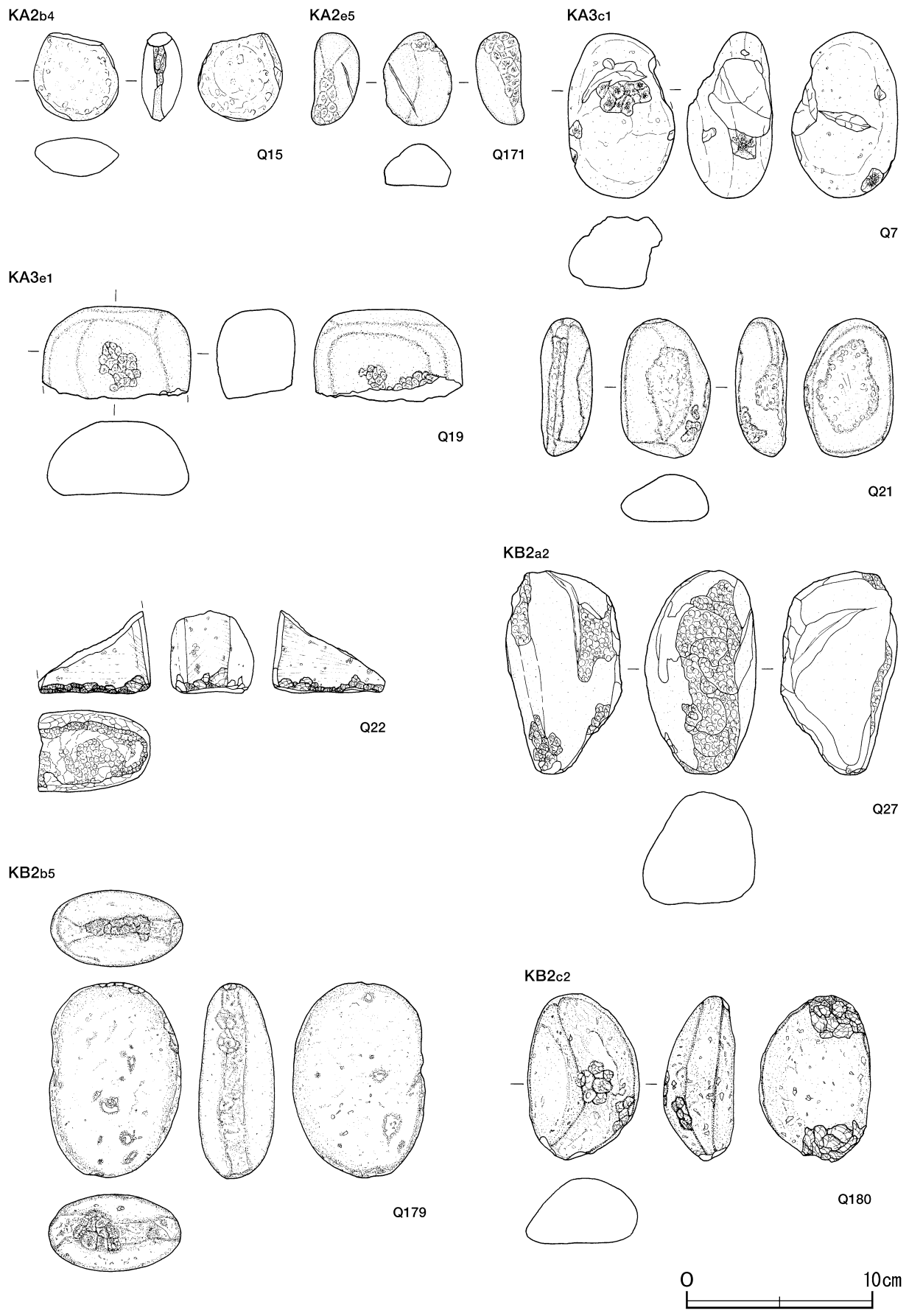


0 5cm
(Q198・217)

0 5cm
(Q125・155・168・214・216)

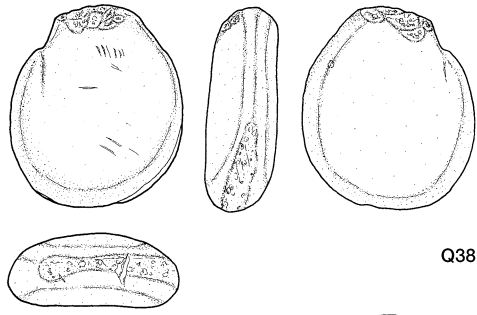
0 10cm
(Q160・164・194・201・218)

第296図 斜面貝層出土遺物実測図(124)

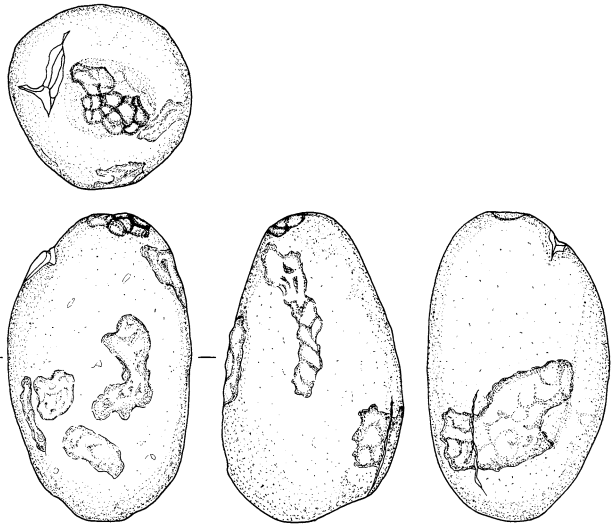


第297図 斜面貝層出土遺物実測図(125)

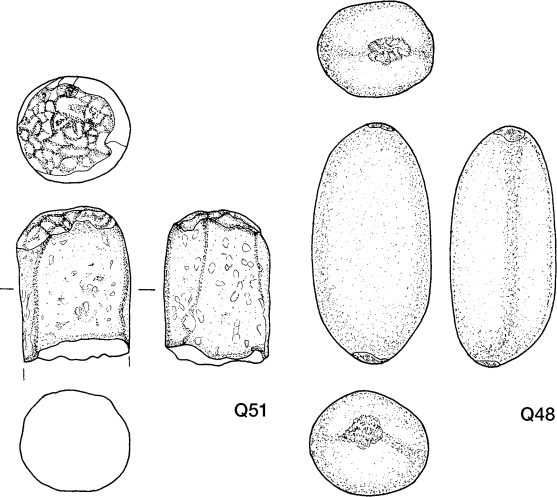
KB2c3



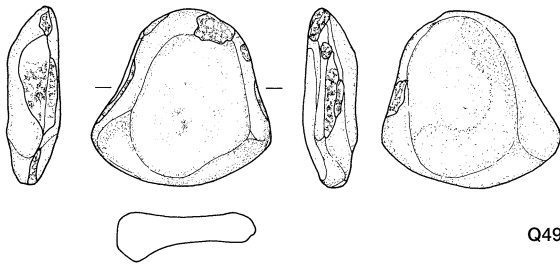
KB2d2



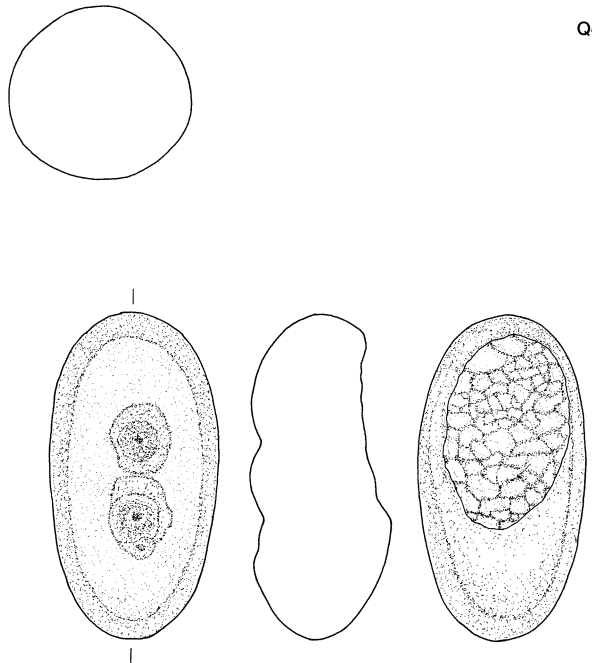
Q38



Q47

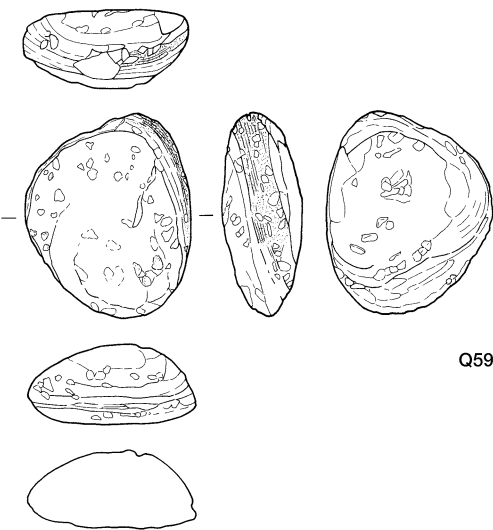


Q49



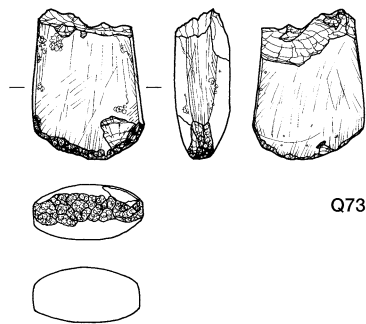
Q50

KB2e5



Q59

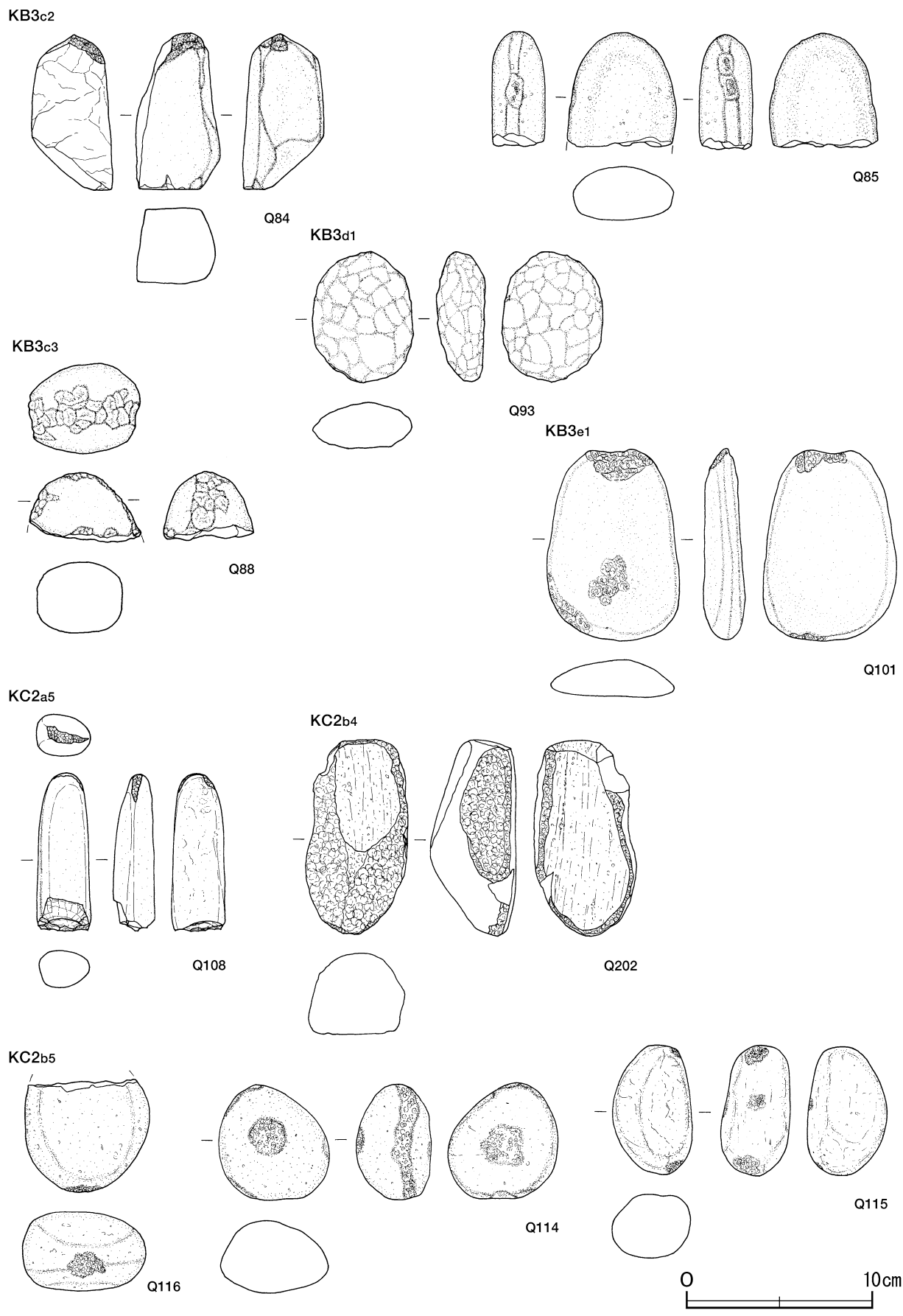
KB3b3



Q73

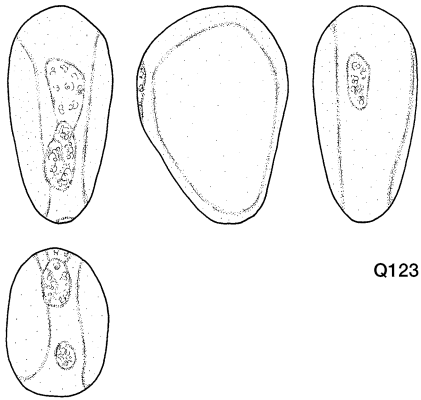


第298図 斜面貝層出土遺物実測図(126)

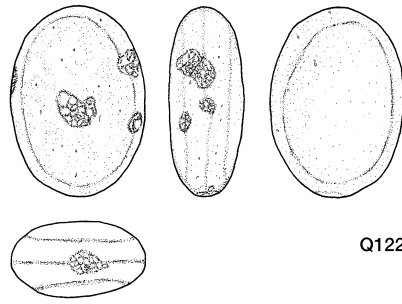


第299図 斜面貝層出土遺物実測図(127)

KC3a1

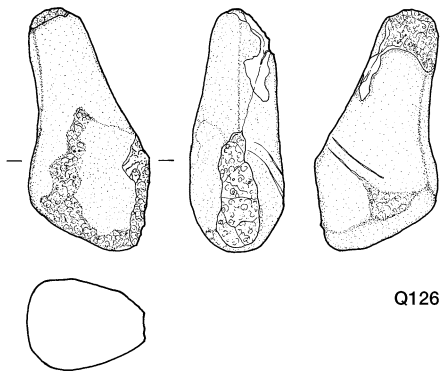


Q123

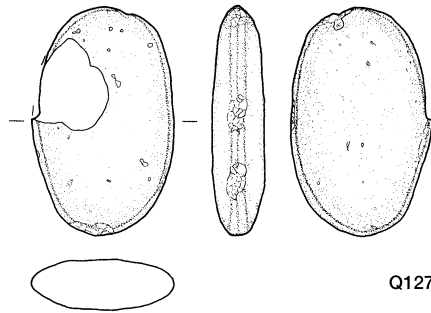


Q122

KC3a2

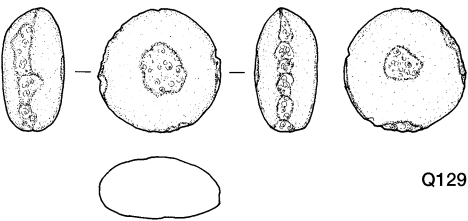


Q126



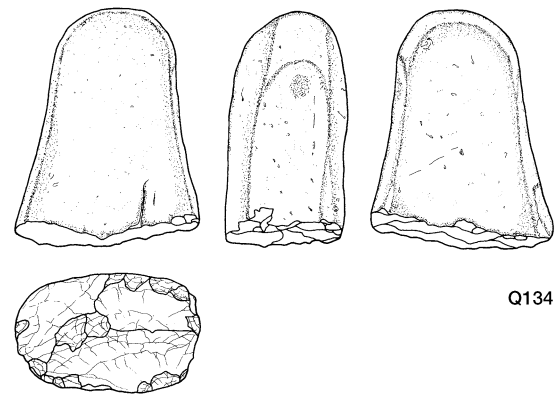
Q127

KC3a3



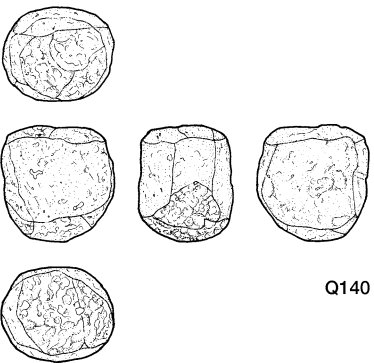
Q129

KC3a4

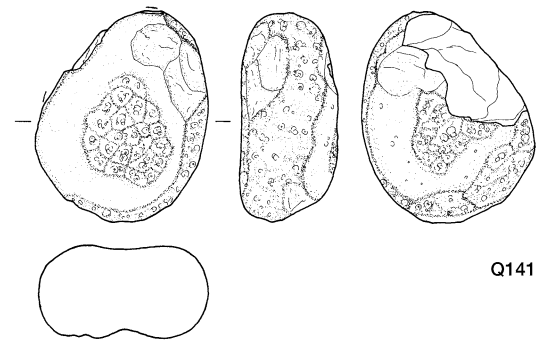


Q134

KC3b1



Q140

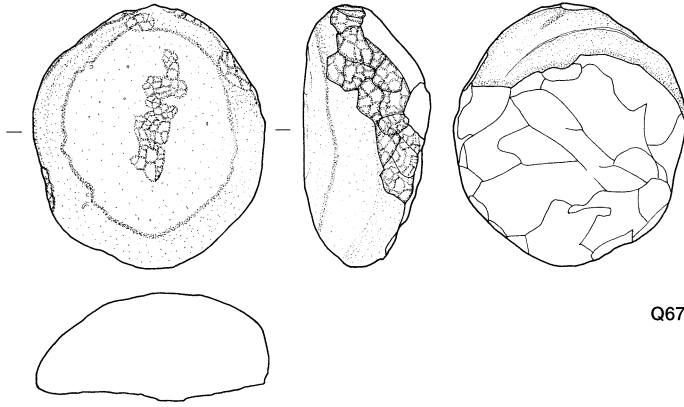


Q141

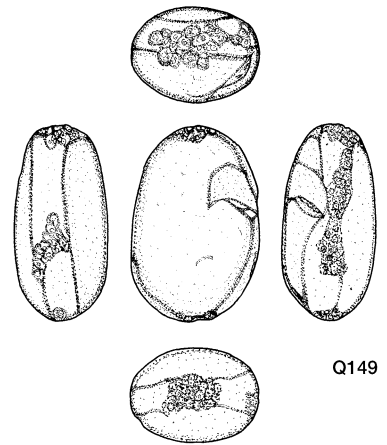


第300圖 斜面貝層出土遺物実測図(128)

KC3b2



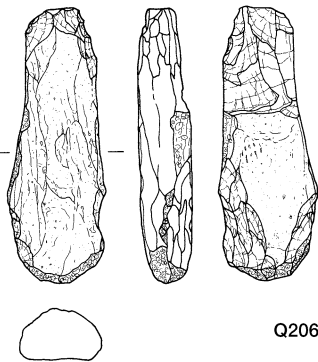
KC3b4



Q67

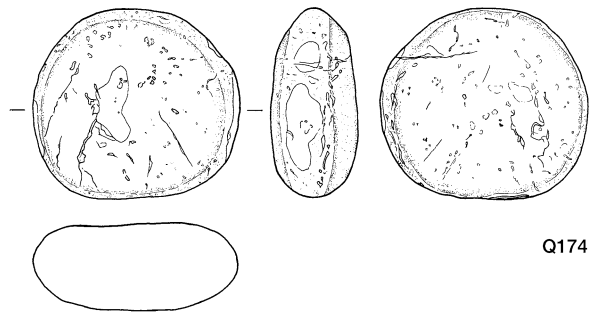
Q149

HD



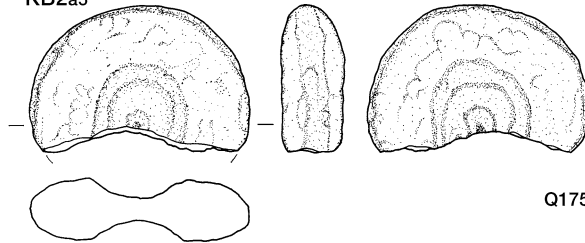
Q206

KA3e5



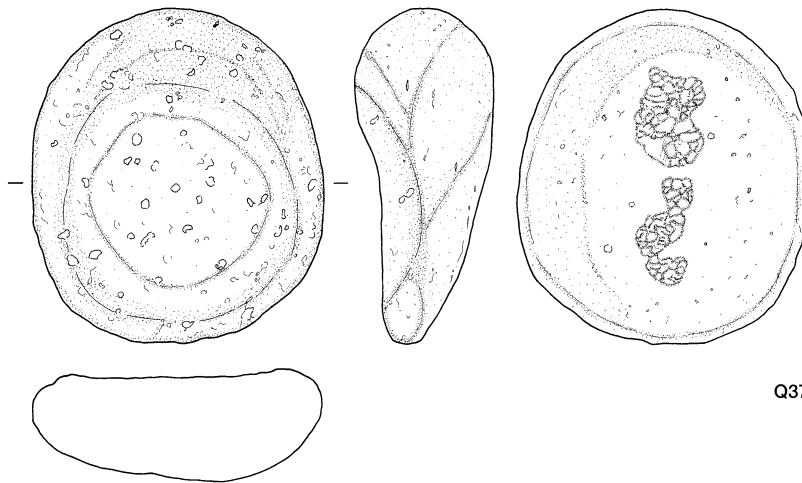
Q174

KB2a5



Q175

KB2c3

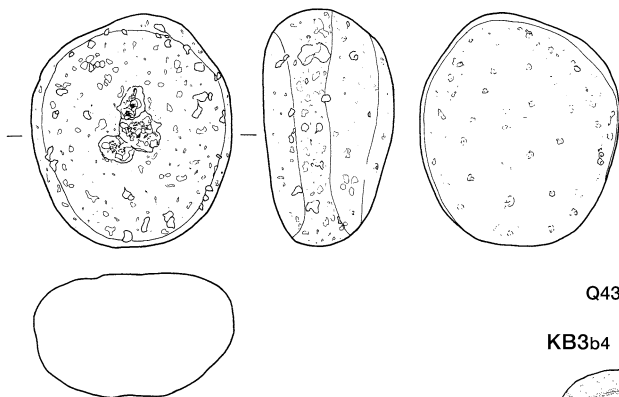


Q37

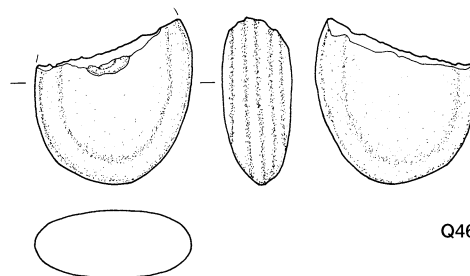


第301図 斜面貝層出土遺物実測図(129)

KB2c5

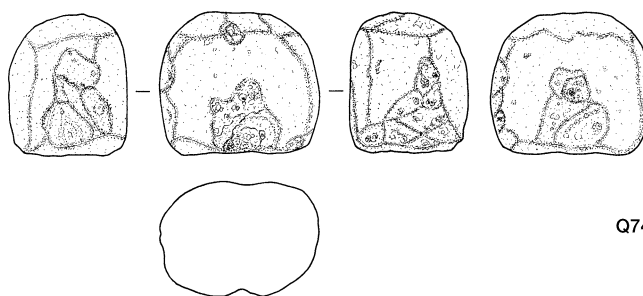


KB2d2

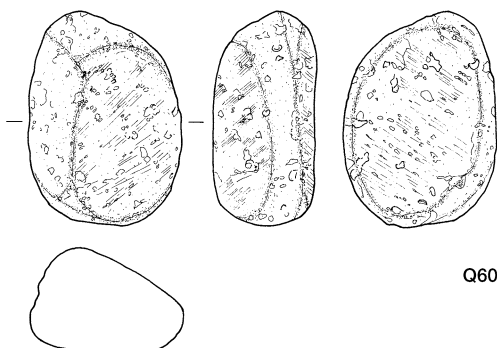


Q43

KB3b4

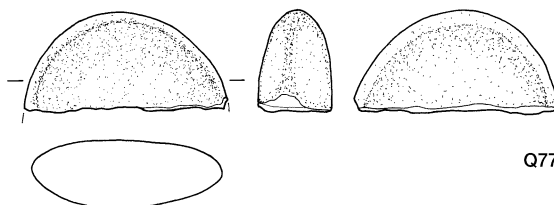


KB2e5



Q60

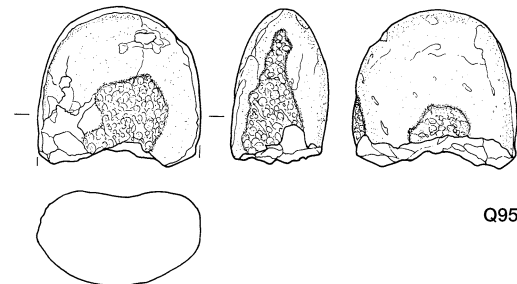
KB3b5



Q74

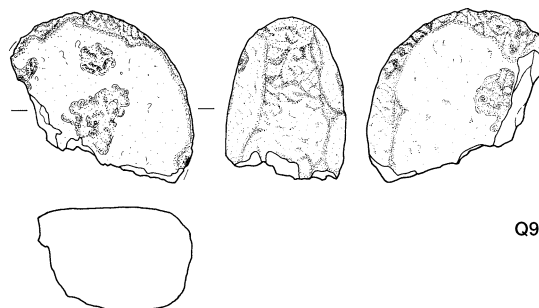
Q77

KB3d2



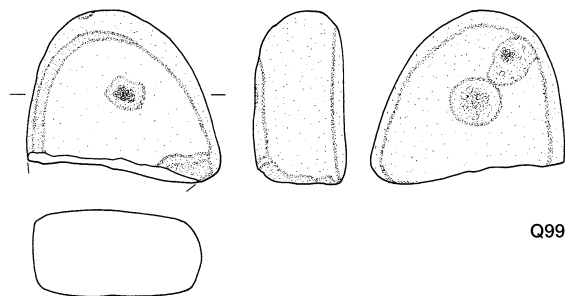
Q95

KB3d3



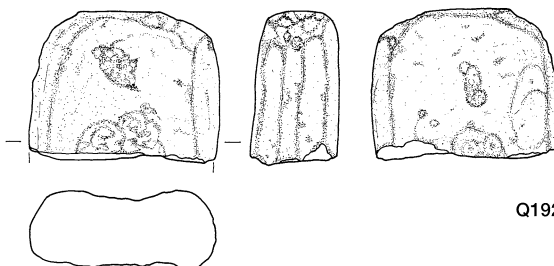
Q97

KB3d4



Q99

KB3d5

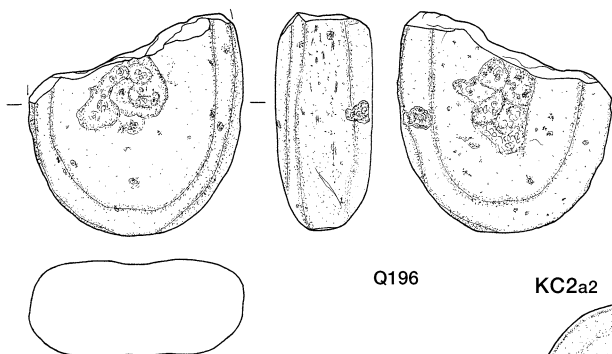


Q192



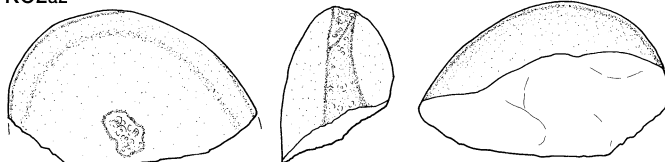
第302図 斜面貝層出土遺物実測図(130)

KB3e5

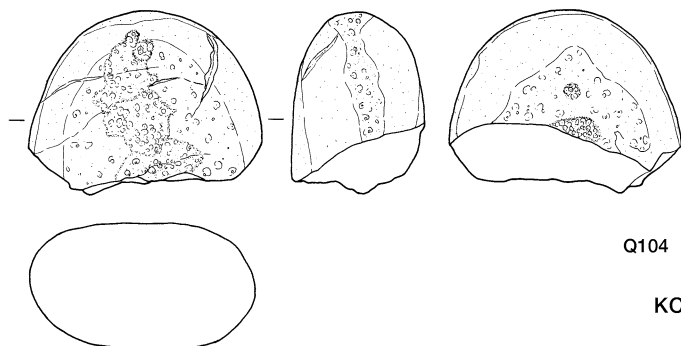


Q196

KC2a2

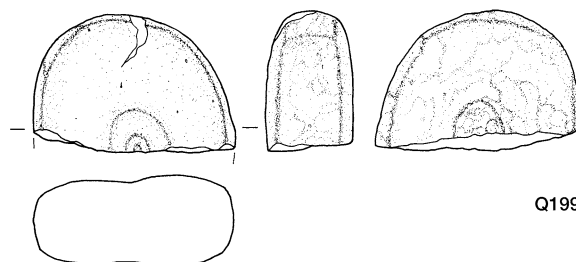


Q103



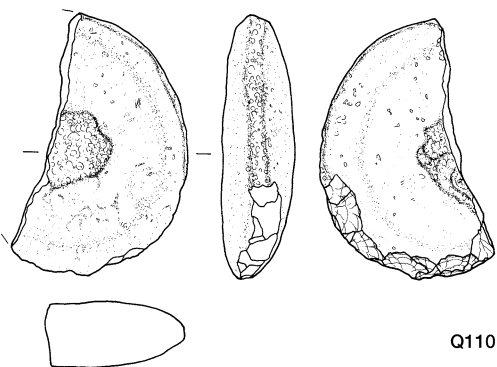
Q104

KC2a4



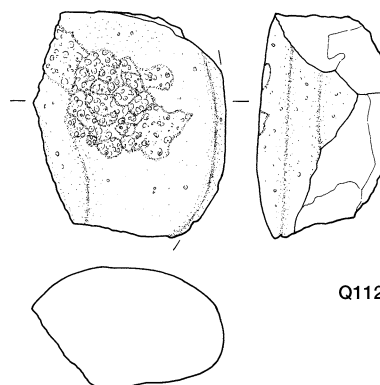
Q199

KC2b2



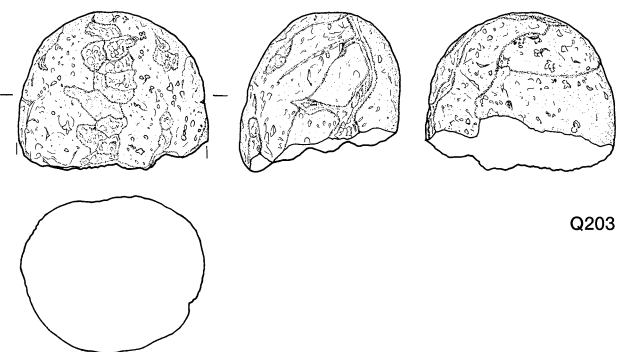
Q110

KC2b3



Q112

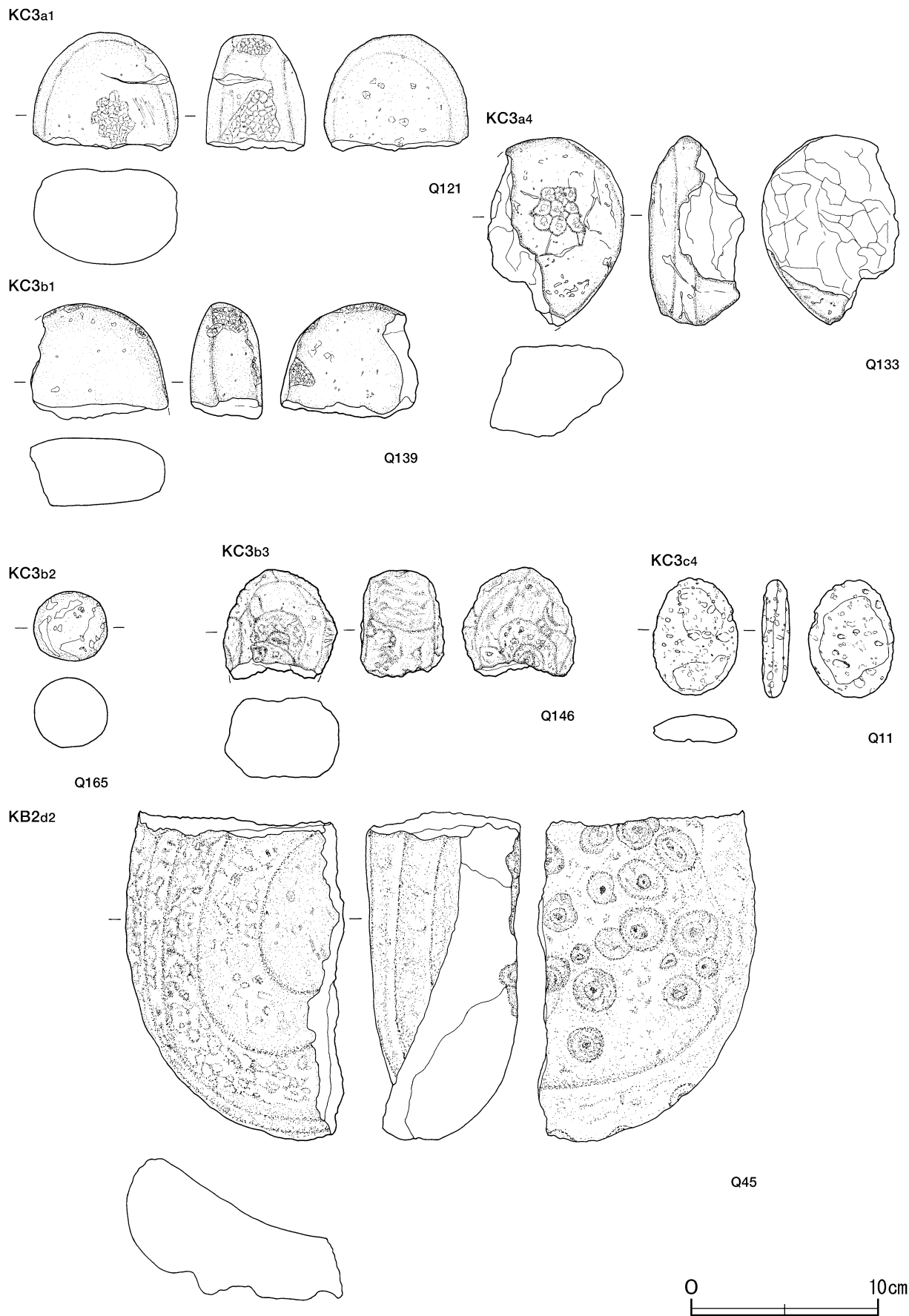
KC2c5



Q203

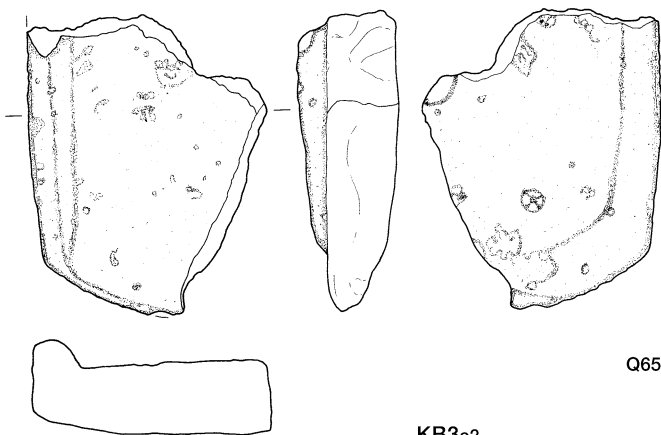


第303圖 斜面貝層出土遺物実測図(131)



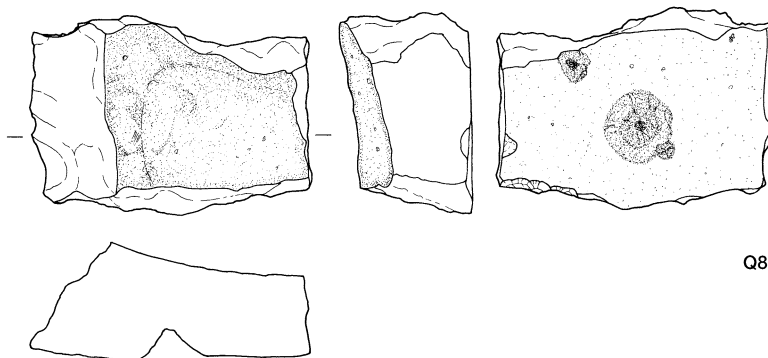
第304図 斜面貝層出土遺物実測図(132)

KB3b1



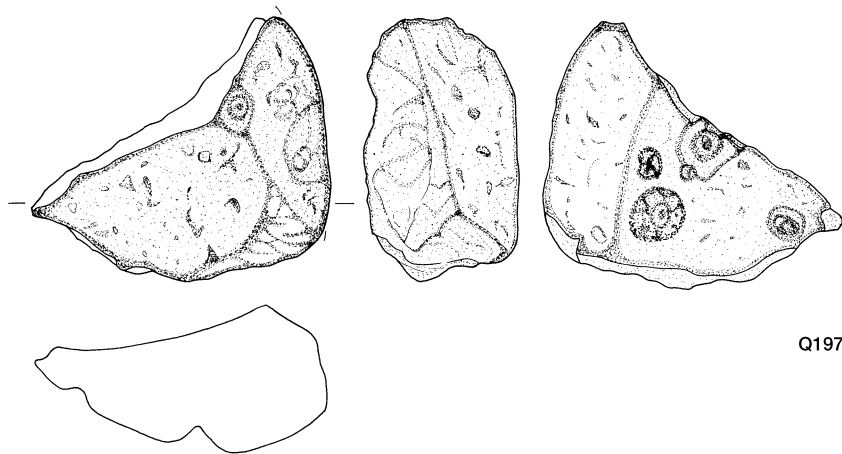
Q65

KB3c2



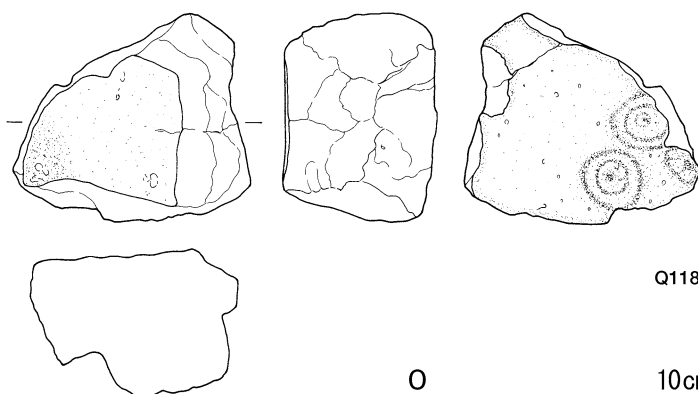
Q83

KC2a3



Q197

KC2c5

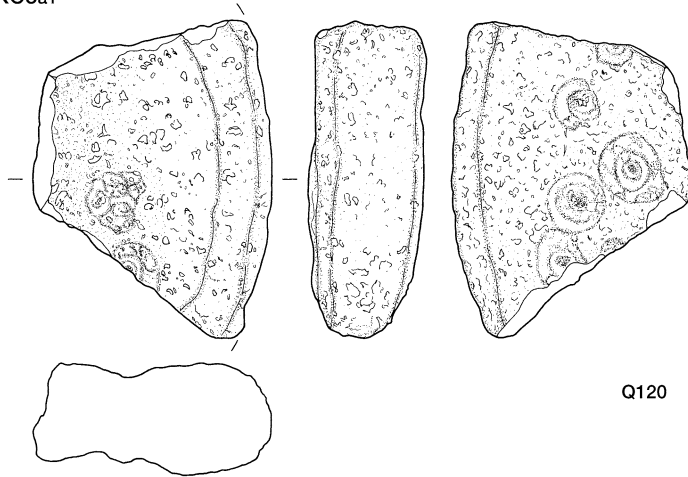


Q118

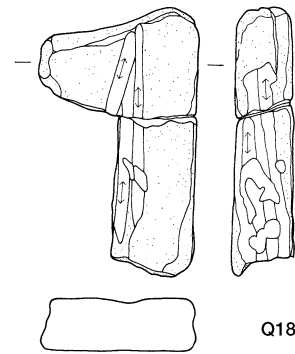


第305図 斜面貝層出土遺物実測図(133)

KC3a1



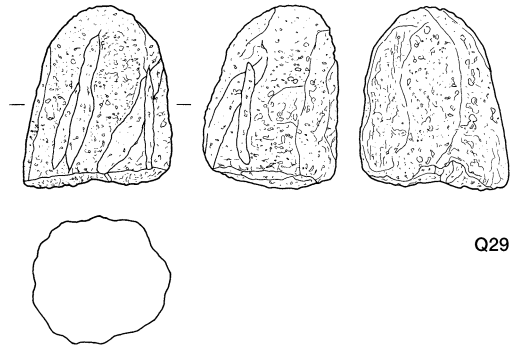
KA3e1



Q18

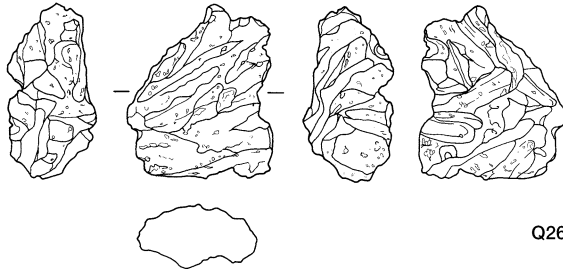
Q120

KB2a3



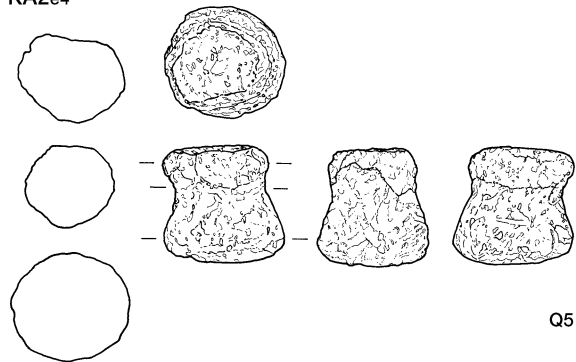
Q29

KA3e5



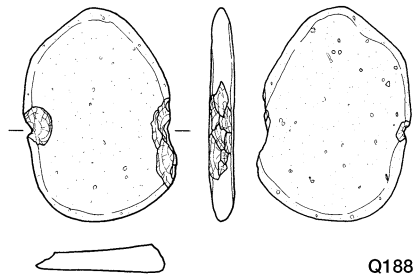
Q26

KA2e4



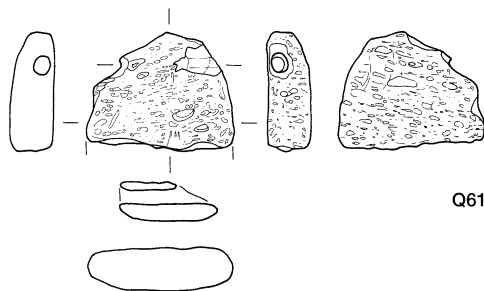
Q5

KB3a1



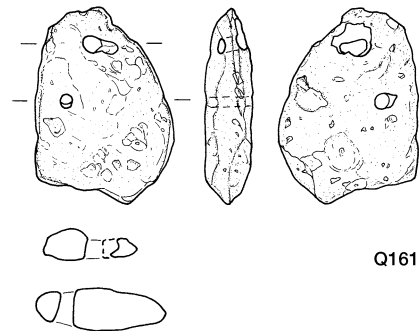
Q188

KB2e5

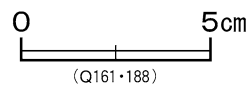


Q61

KC3c3



Q161

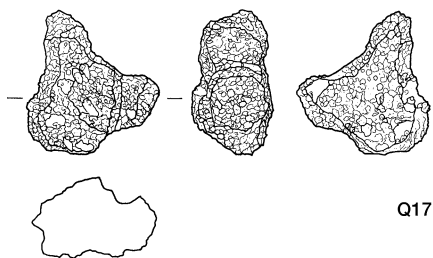


(Q161・188)



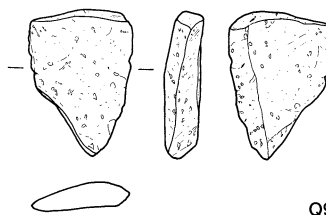
第306図 斜面貝層出土遺物実測図(134)

KA3d4



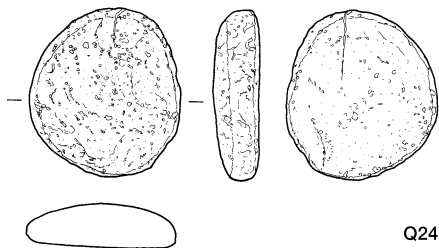
Q17

KA3c2



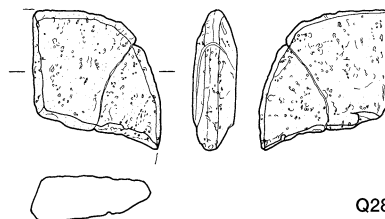
Q9

KA3e4



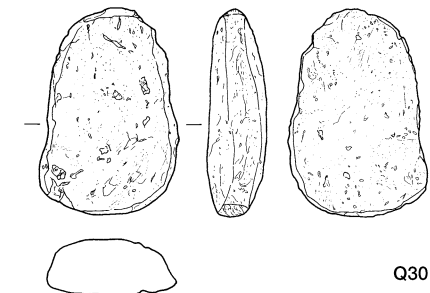
Q24

KB2a2



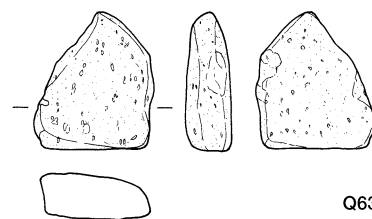
Q28

KB2a3



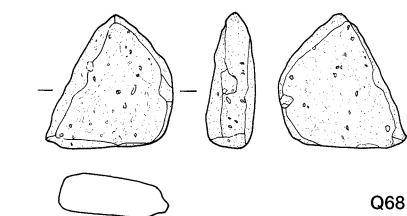
Q30

KB3a1



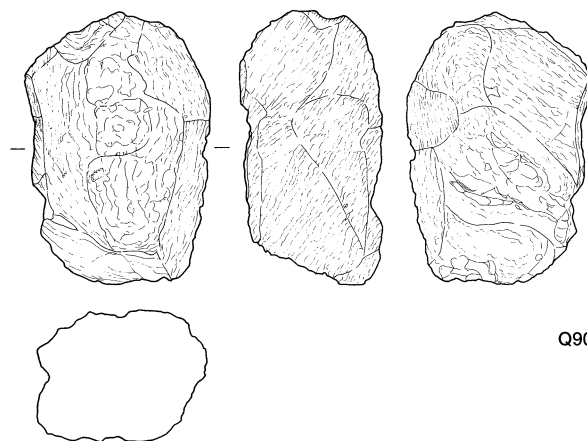
Q63

KB3b2



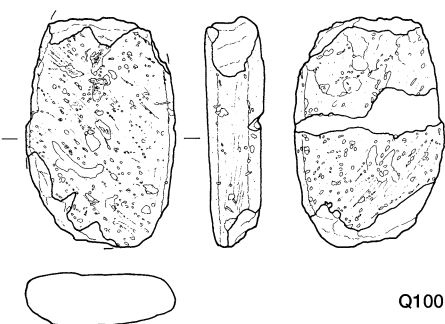
Q68

KB3c4



Q90

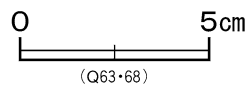
KB3d4



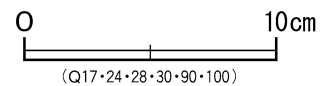
Q100



(Q9)



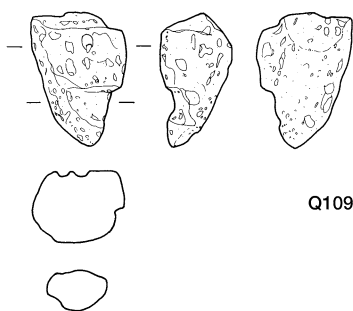
(Q63・68)



(Q17・24・28・30・90・100)

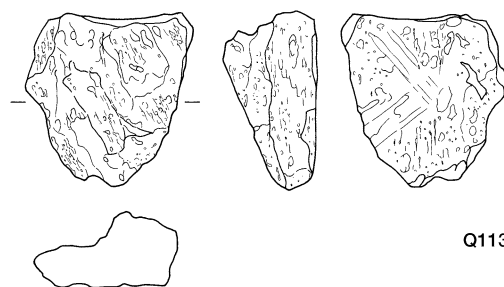
第307図 斜面貝層出土遺物実測図(135)

KC2a5



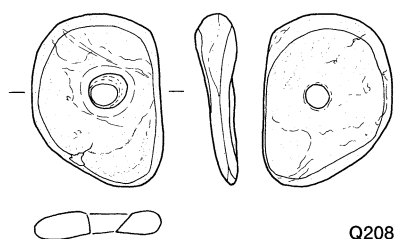
Q109

KC2b4



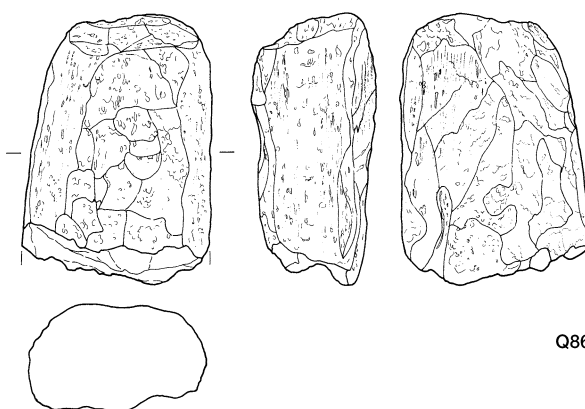
Q113

KB3a5



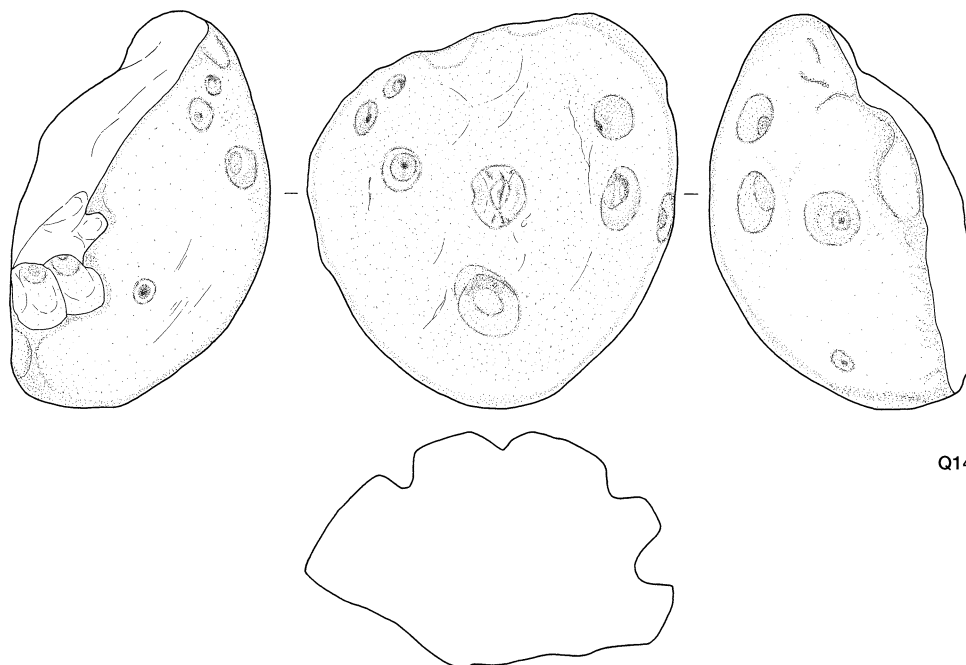
Q208

KB3c2



Q86

KA2e5



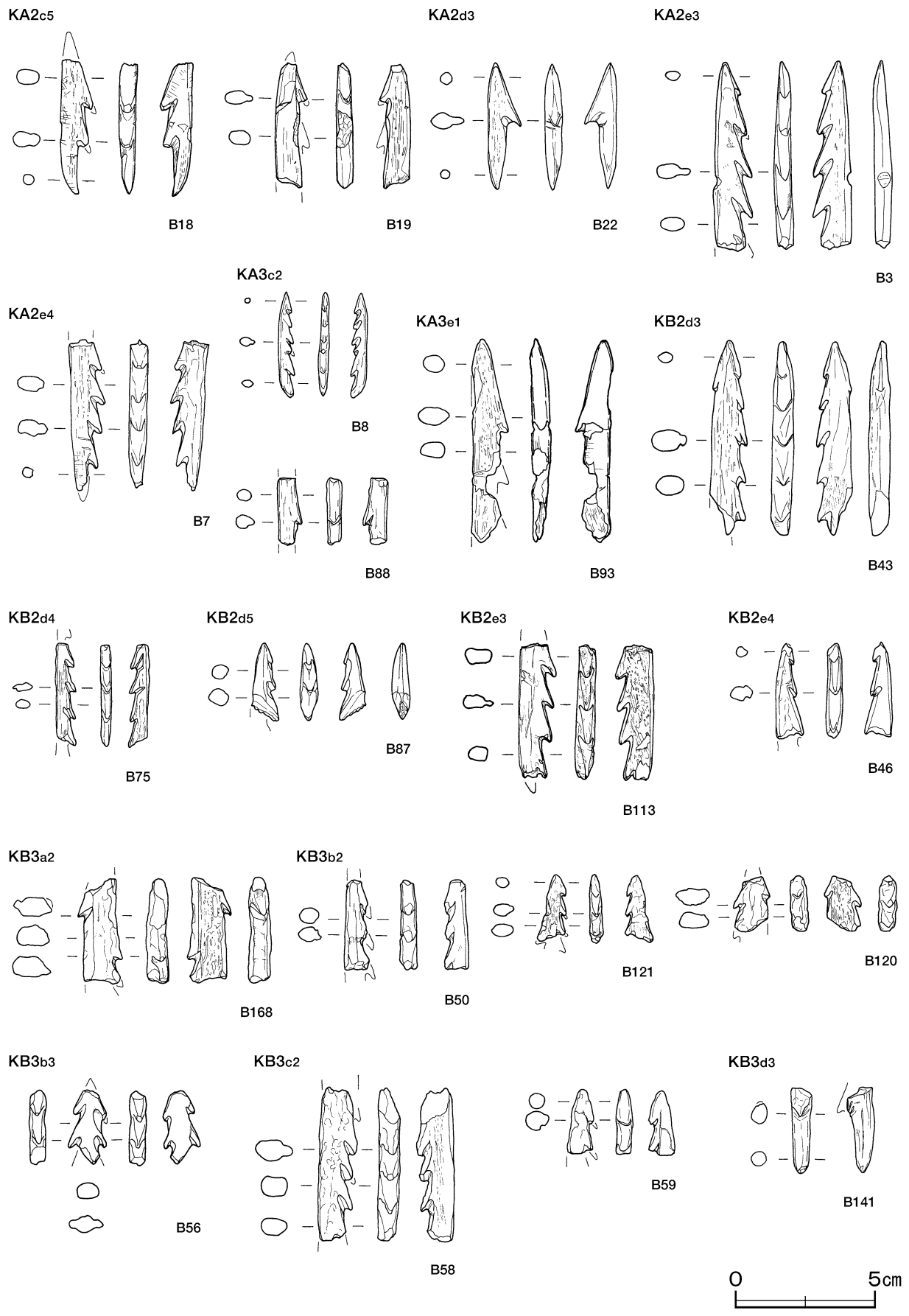
Q14



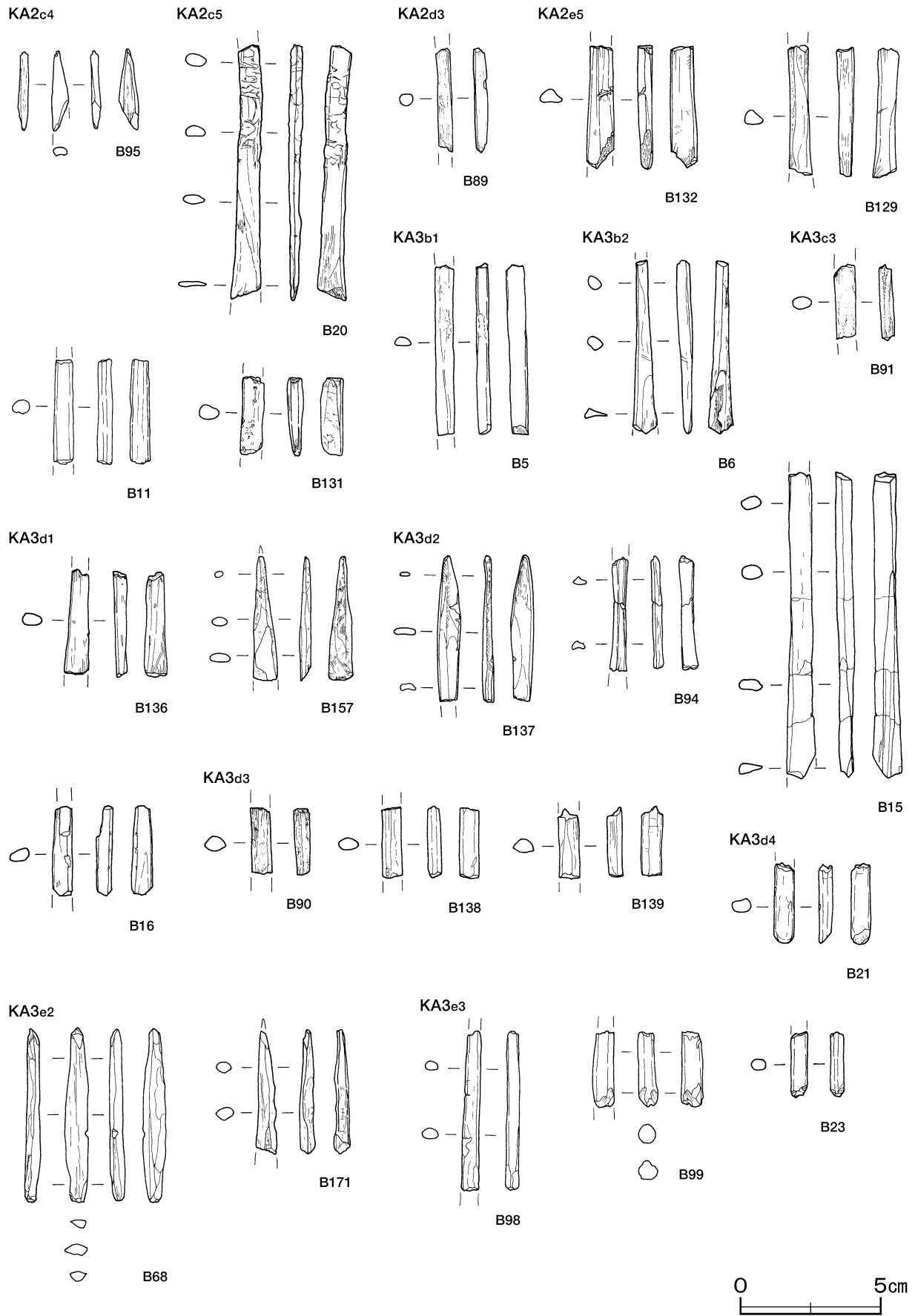
(Q109・113・208)



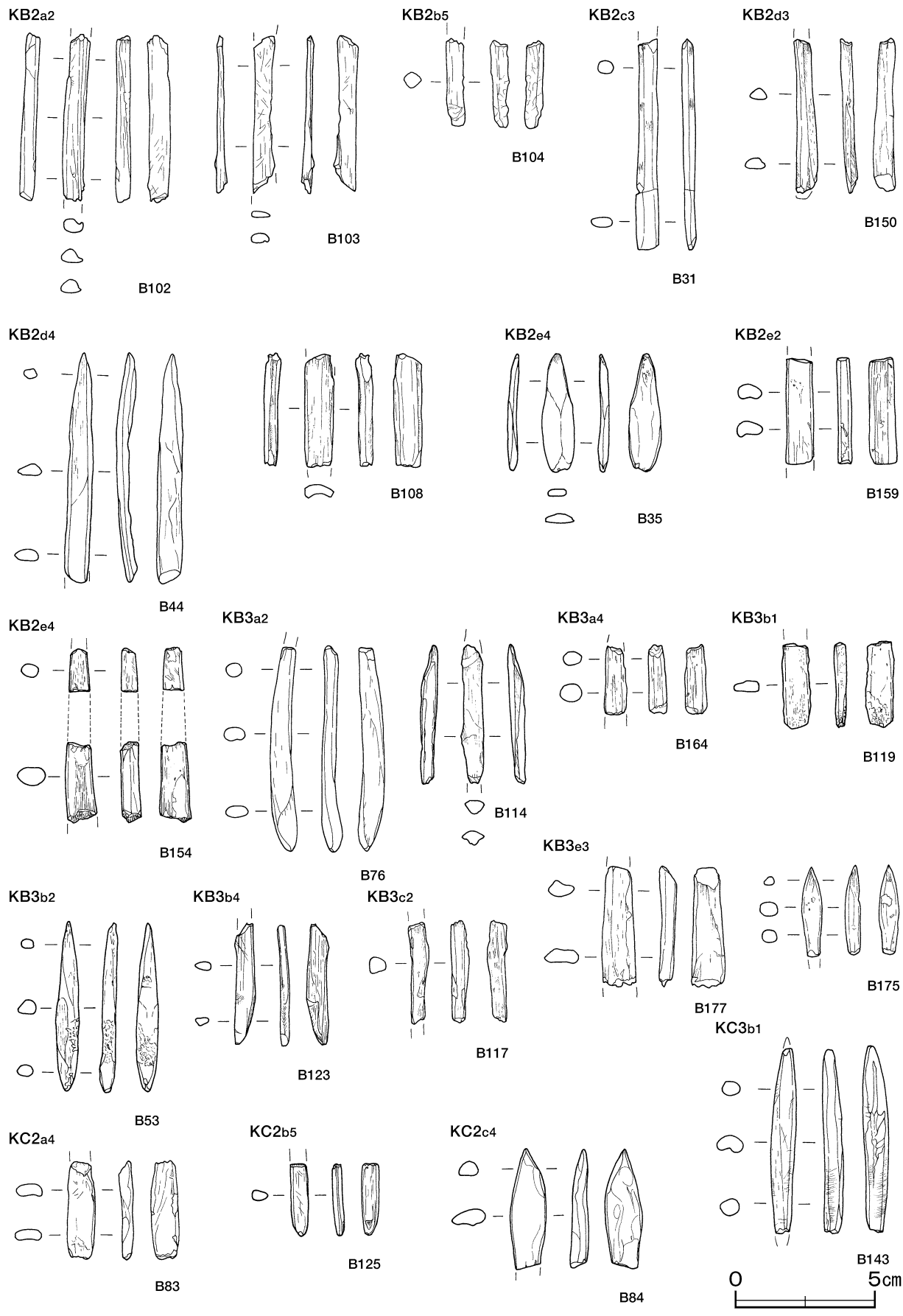
第308図 斜面貝層出土遺物実測図(136)



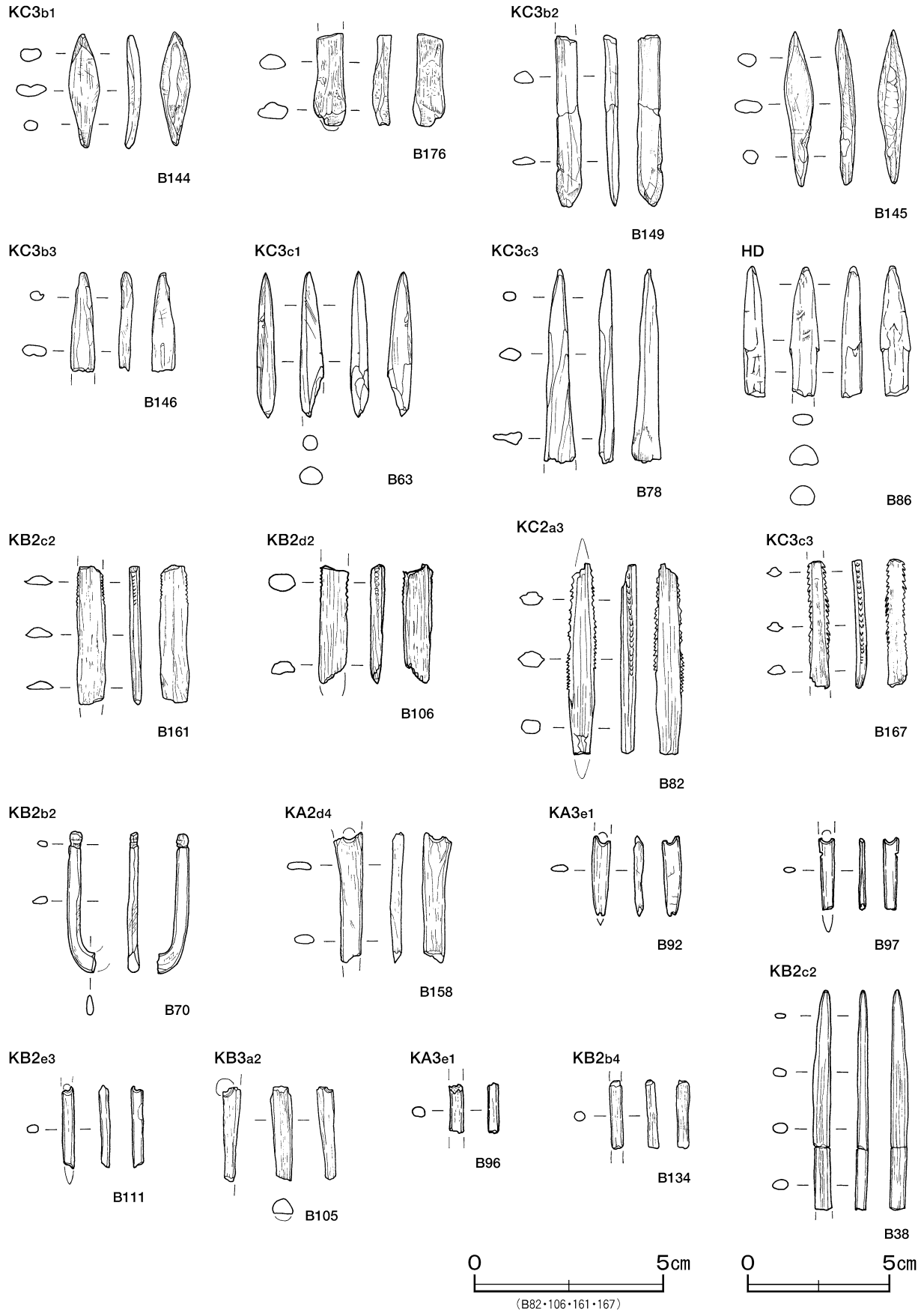
第309圖 斜面貝層出土遺物実測図(137)



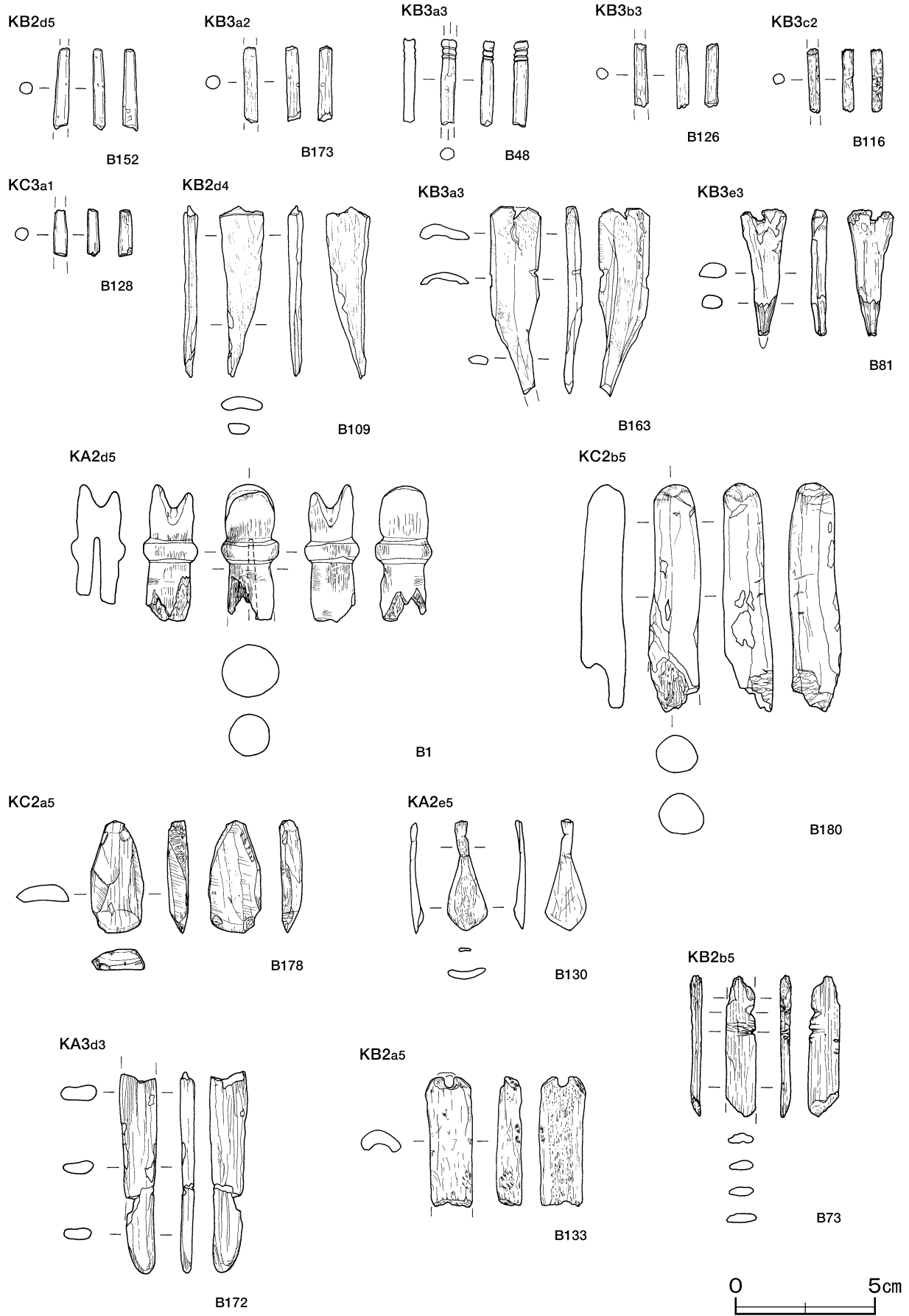
第310圖 斜面貝層出土遺物実測図(138)



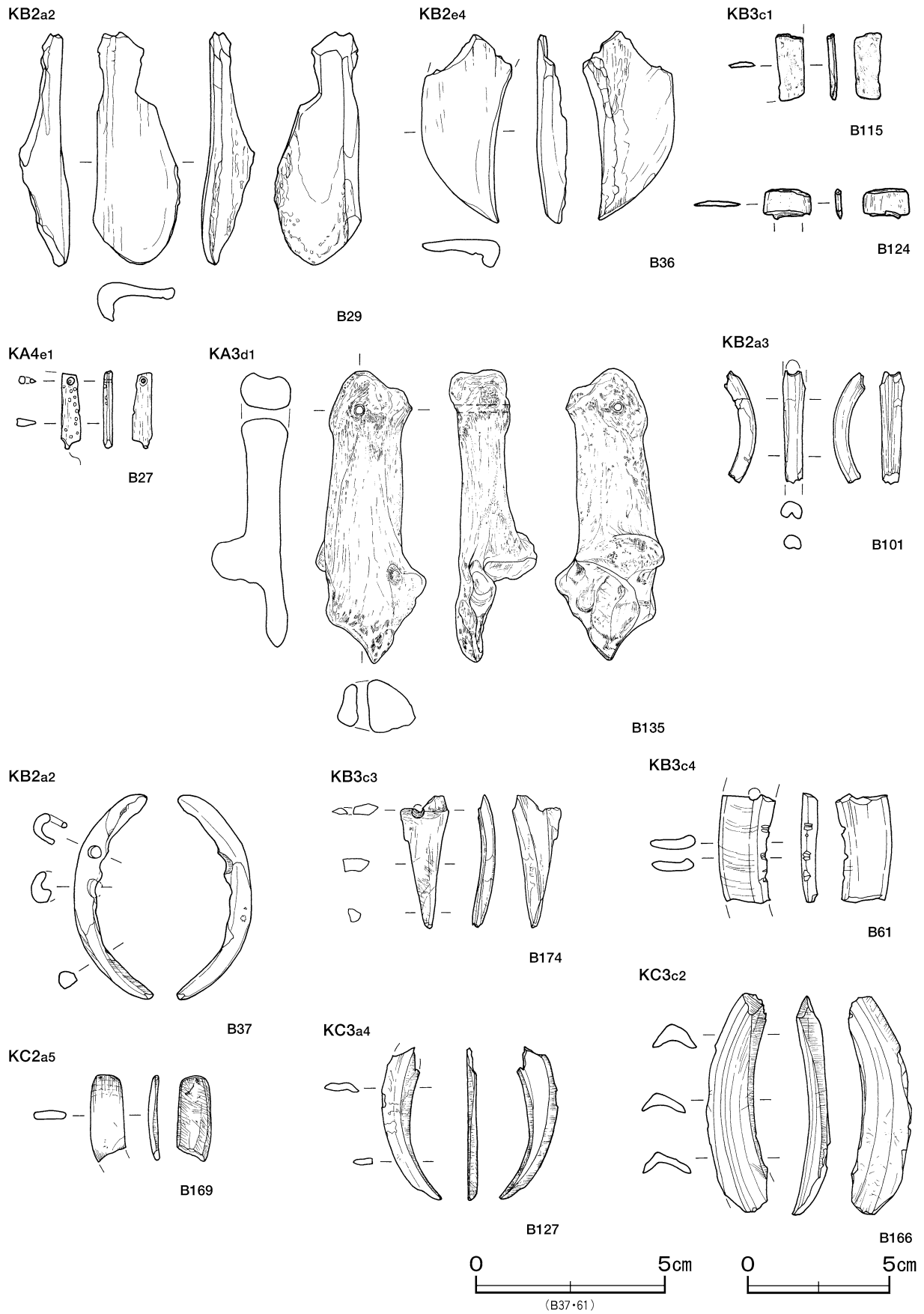
第311圖 斜面貝層出土遺物実測図(139)



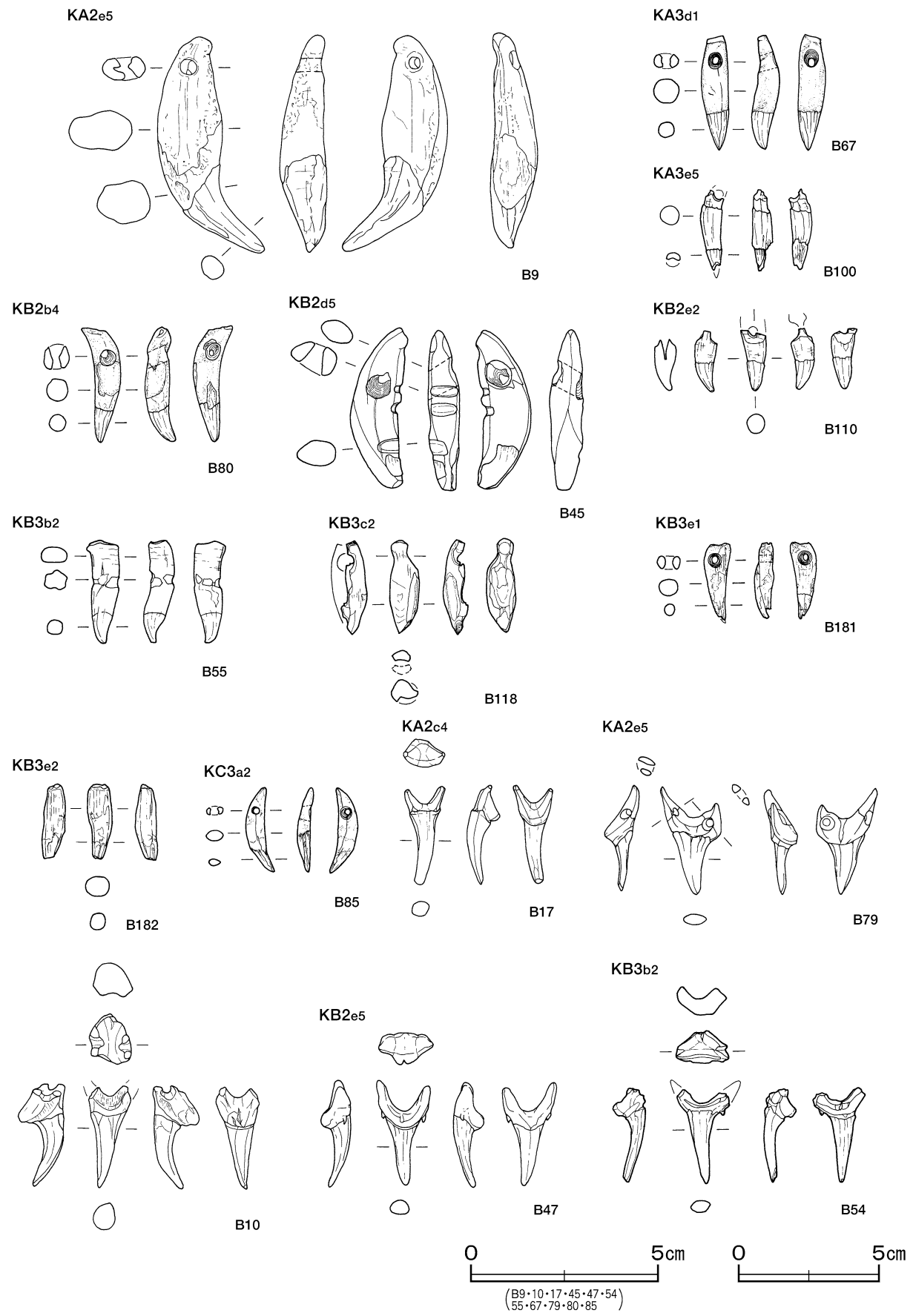
第312図 斜面貝層出土遺物実測図(140)



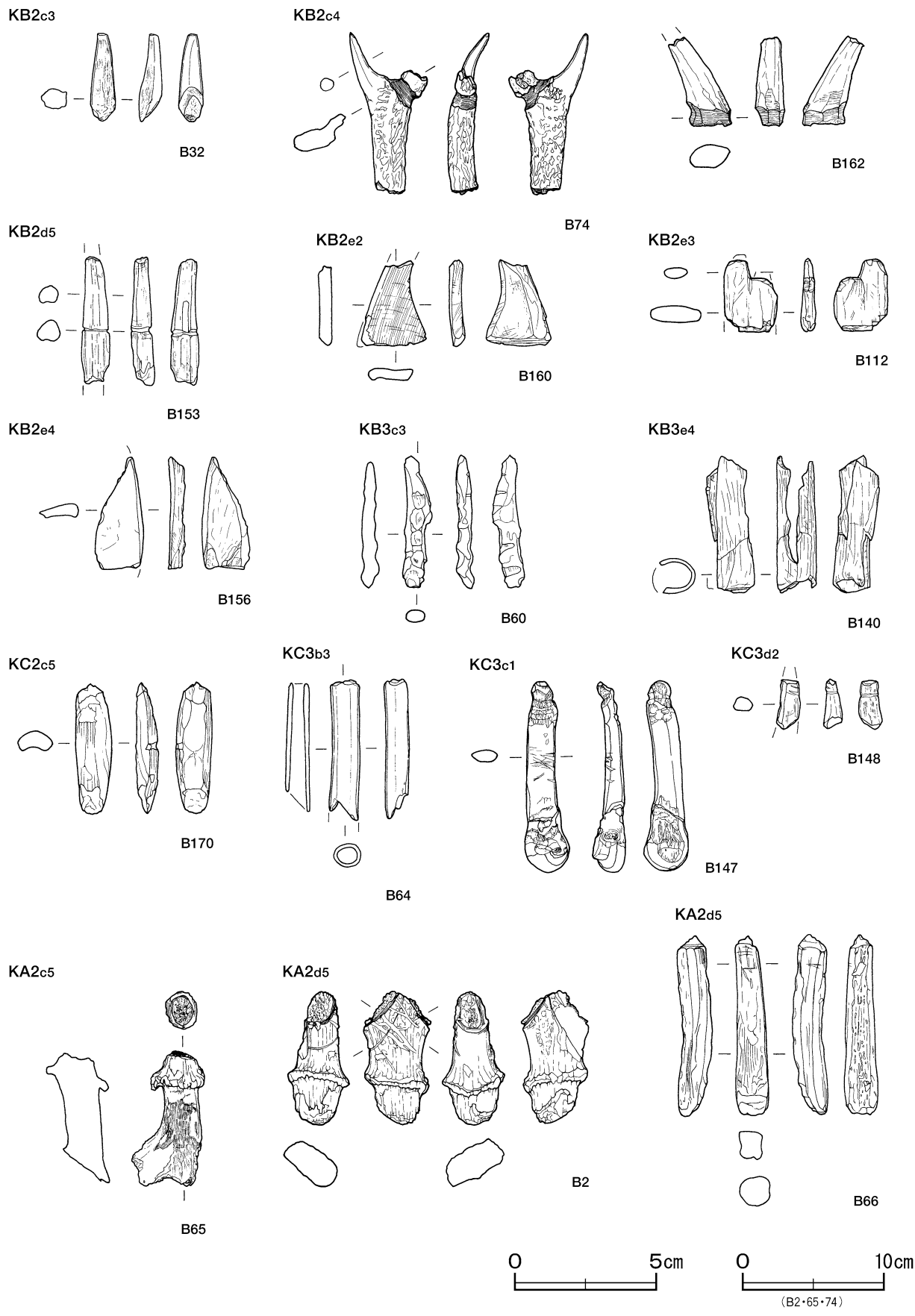
第313圖 斜面貝層出土遺物実測図(141)



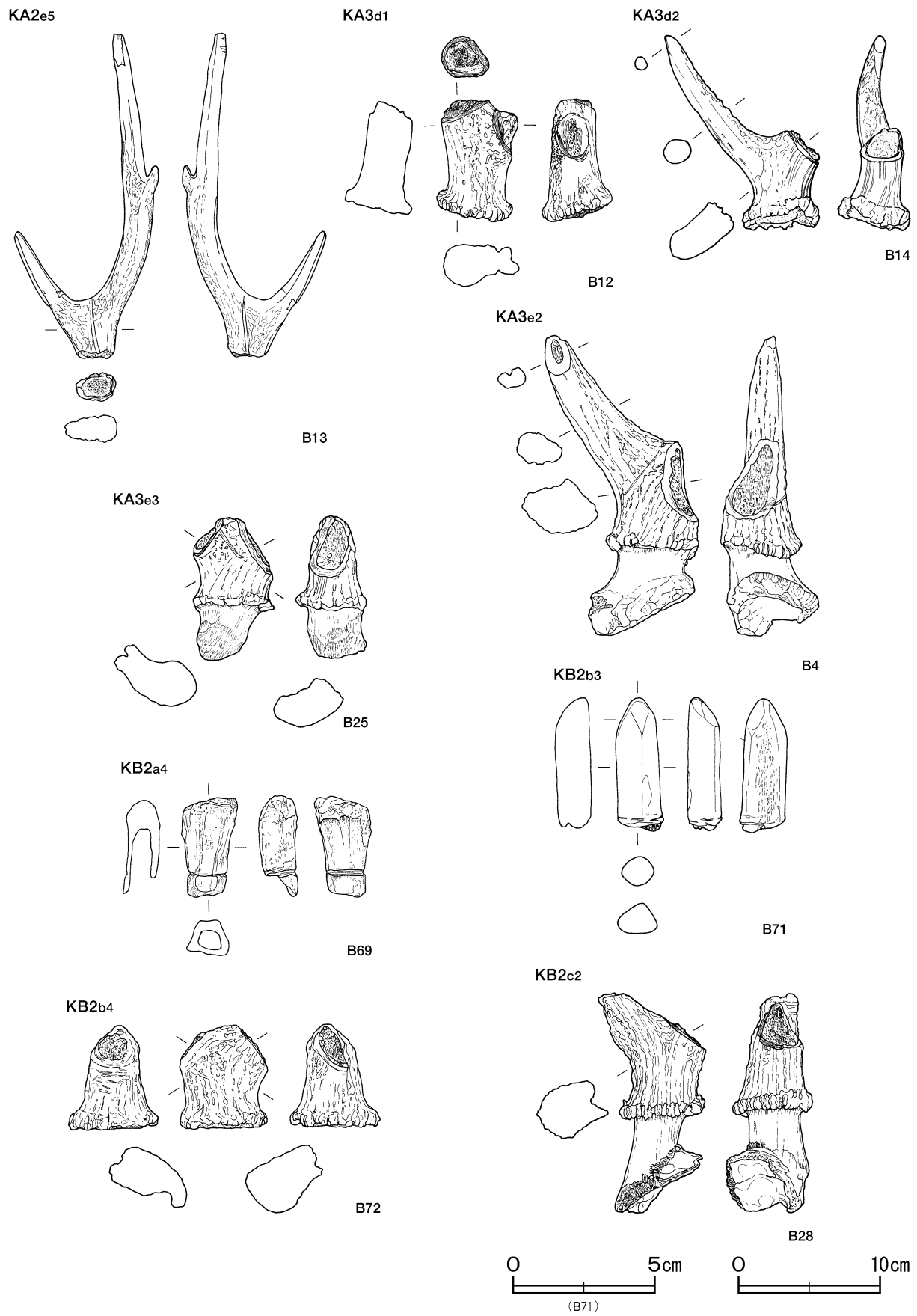
第314図 斜面貝層出土遺物実測図(142)



第315图 斜面貝層出土遺物実測図(143)

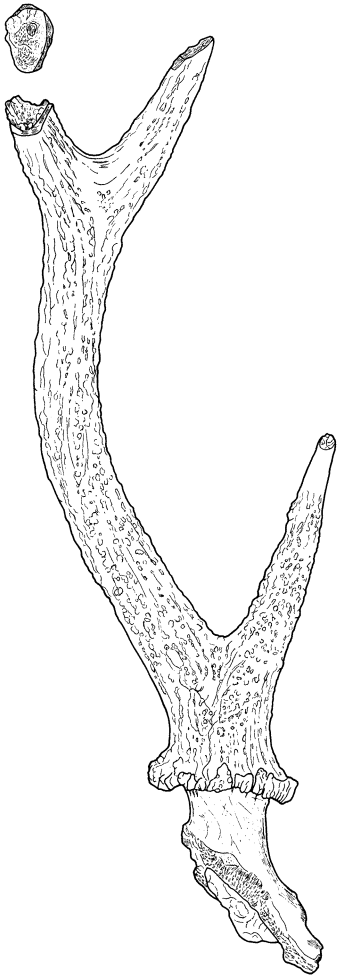


第316図 斜面貝層出土遺物実測図(144)

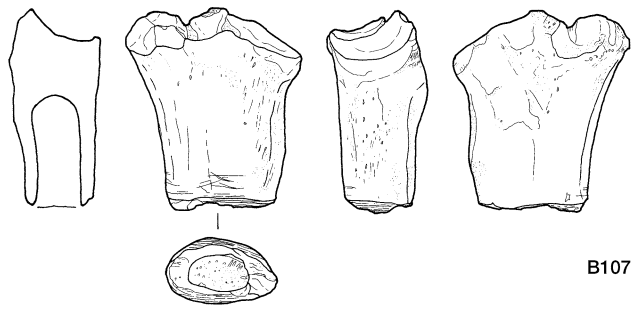


第317图 斜面貝層出土遺物実測図(145)

KB2c3

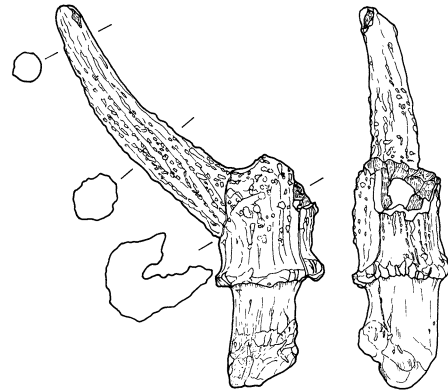


KB2d2



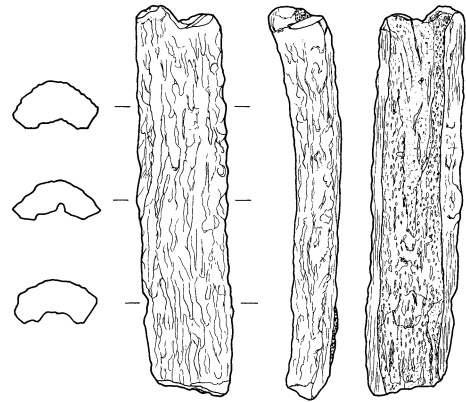
B107

KB2e1



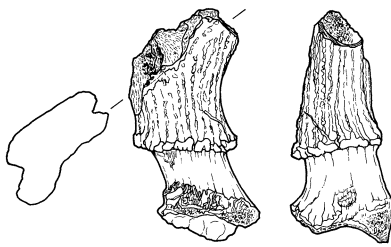
B33

KB2e4



B155

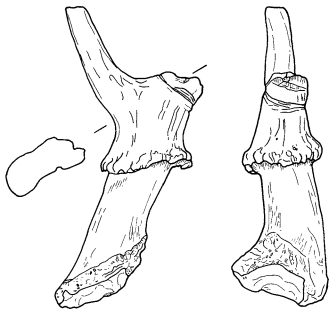
KB2e2



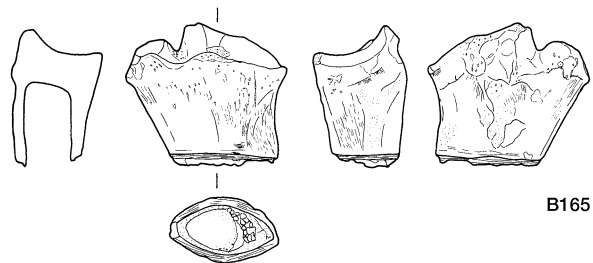
B30

B34

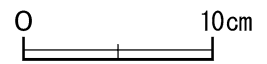
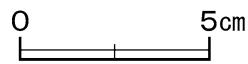
KB3a4



B77



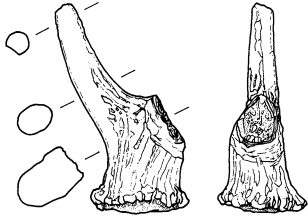
B165



(B30・33・34・77)

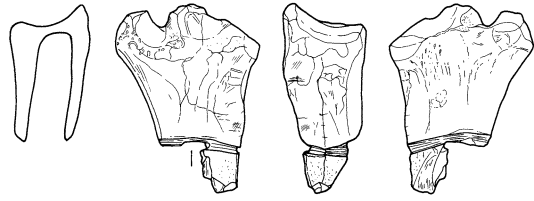
第318圖 斜面貝層出土遺物実測図(146)

KB3a5



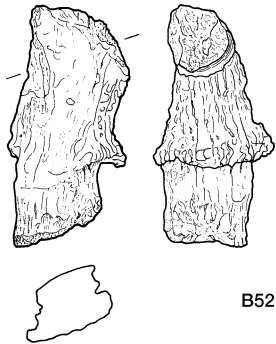
B49

KB3b2

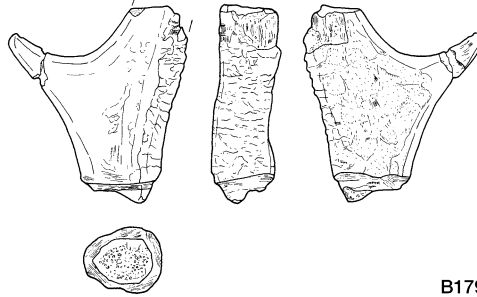


B122

KC2b5

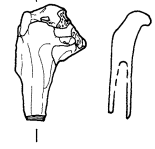


B52



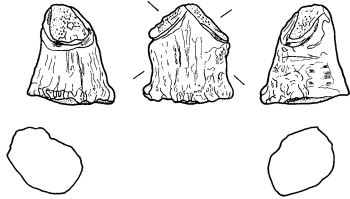
B179

KC3b1



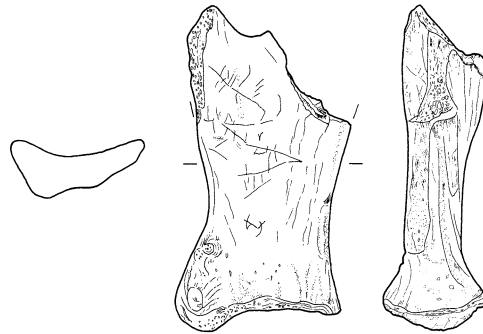
B142

KC3b2



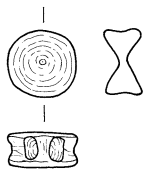
B62

KB2d3

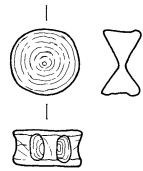


B151

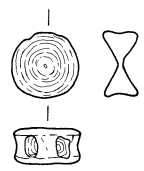
KB2c2



B39

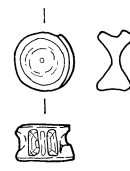


B40

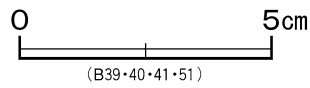


B41

KB3b2



B51



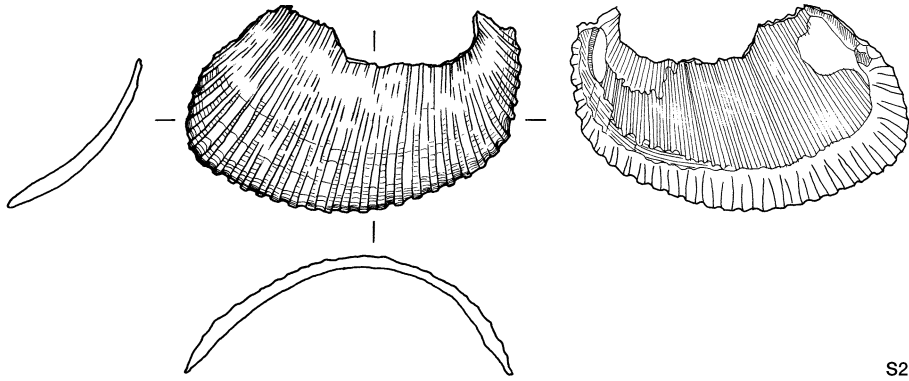
(B39·40·41·51)



(B49·52·62)

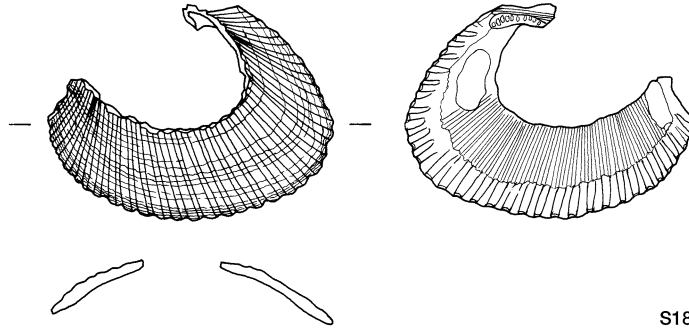
第319圖 斜面貝層出土遺物実測図(147)

KA2c5



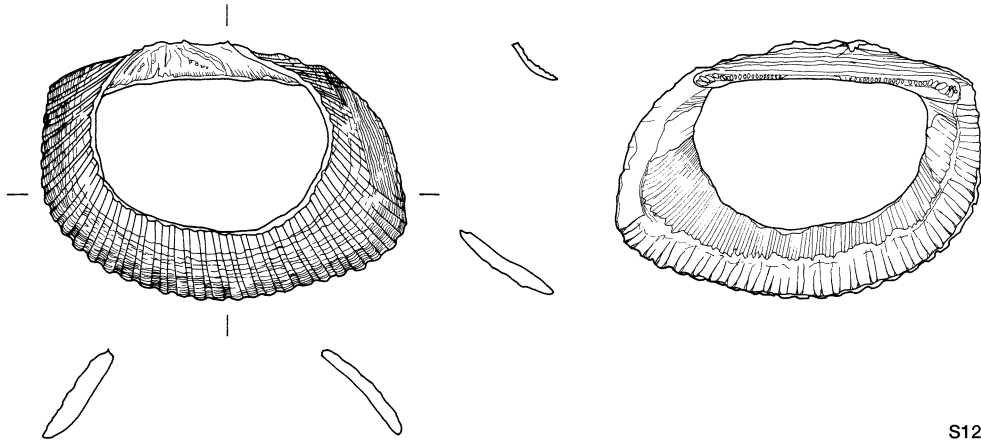
S2

KA3e4



S18

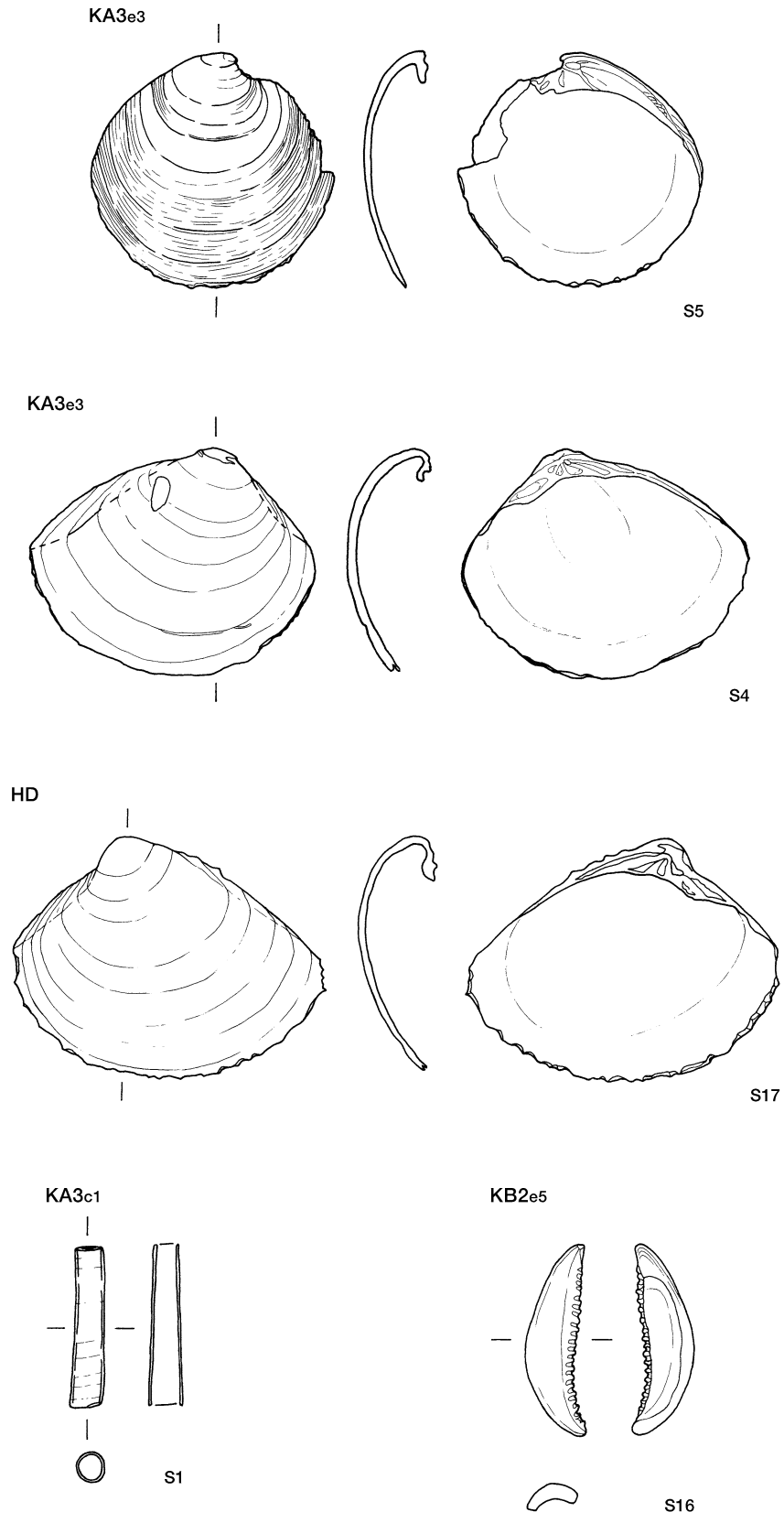
KB2b4



S12

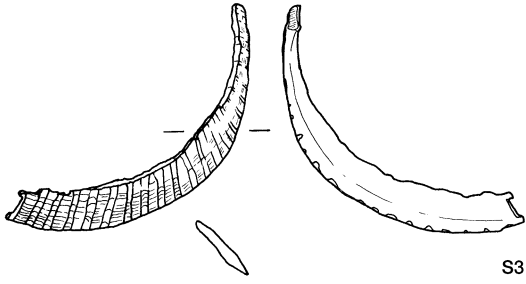


第320圖 斜面貝層出土遺物実測図(148)



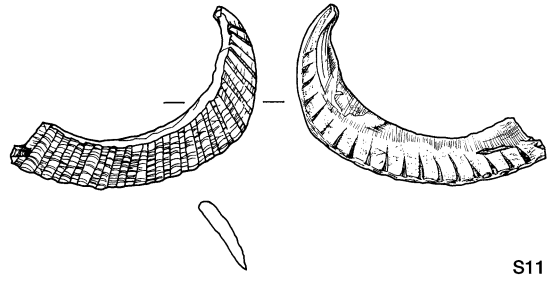
第321圖 斜面貝層出土遺物実測図(149)

KA3d4



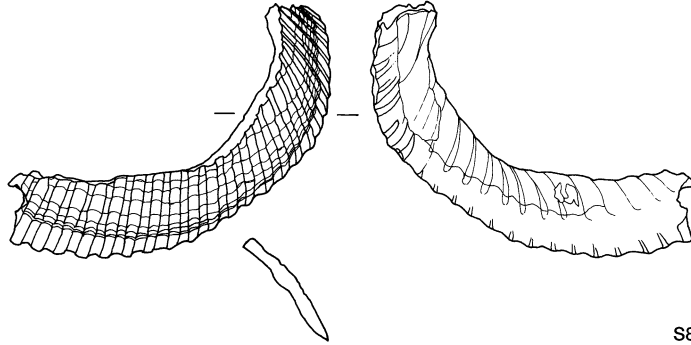
S3

KB2b2



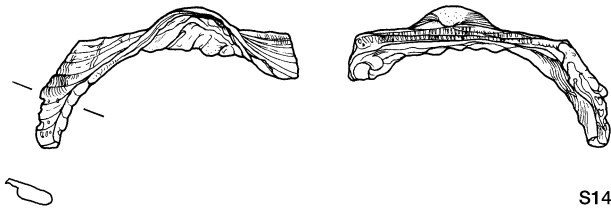
S11

KB3b5



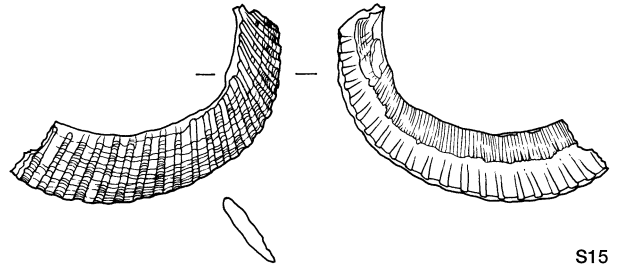
S8

KC2a2



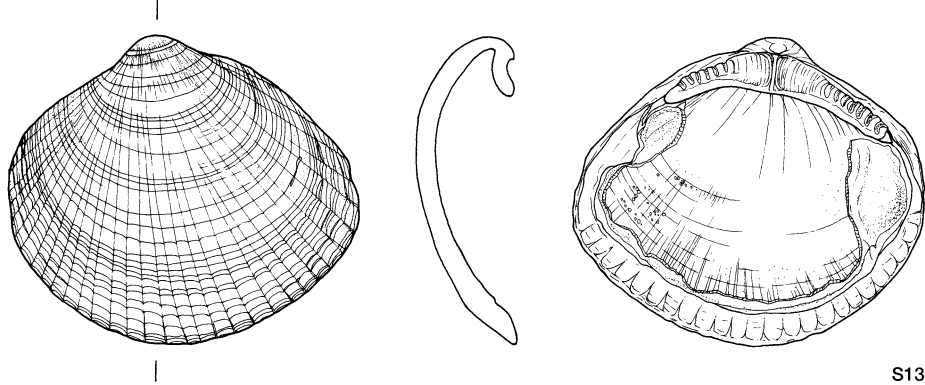
S14

KC2c5

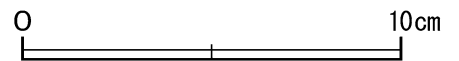


S15

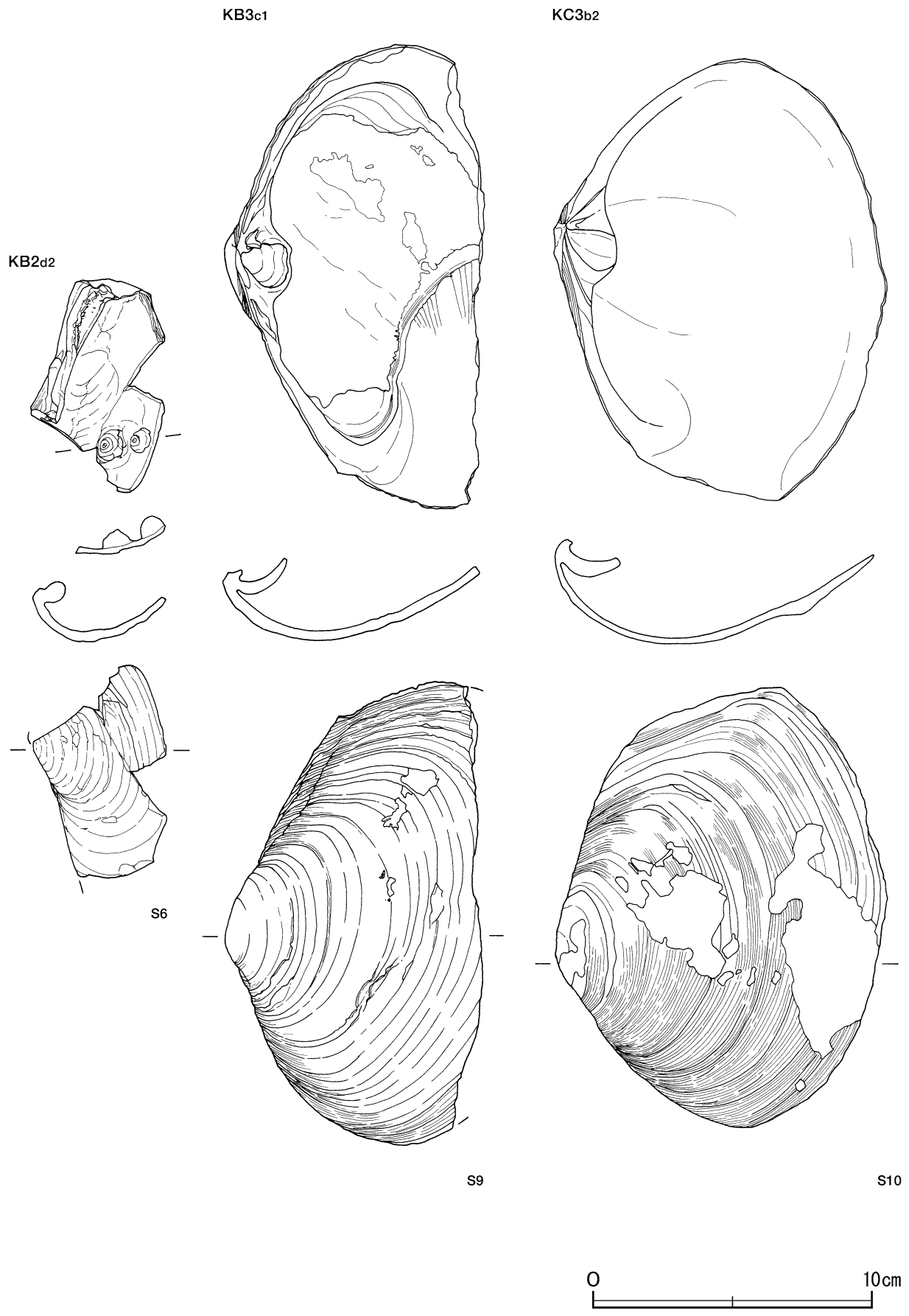
KB2c5



S13



第322圖 斜面貝層出土遺物実測図(150)



第323図 斜面貝層出土遺物実測図(151)

貝層出土遺物観察表 (第173~323図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	[18.7]	31.0	[8.9]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	隆帯と沈線で区画・横S字状のモチーフを形成。頸部無文帯。以下に隆帯と縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KA 3 e2 ¹⁰	70% PL41
2	縄文土器	浅鉢	[11.8]	6.5	6.0	長石・石英・繊維	にぶい赤褐色	普通	2本単位の櫛歯文を曲線状に施文	KA 3 e2 ¹⁰ x 15, ¹³ x 15	50% PL44
3	縄文土器	小形土器	-	(2.4)	[4.0]	雲母・繊維	灰褐色	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位施文	KA 3 e2 ⁶ x 12	10%
4	縄文土器	深鉢	[19.9]	(12.5)	-	長石・石英・繊維	にぶい赤褐色	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす。地文は2段RL・LR単節縄文を羽状構成に施文	KA 2 e4 ¹³	10%
5	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	9.2	長石・石英・繊維	にぶい褐色	普通	2段RL・LR単節縄文を羽状構成に施文	KA 2 e4 ⁵	10%
6	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	7.8	長石・石英・繊維	にぶい橙	普通	多方向の沈線文を施文	KA 2 e4 ⁹	10%
7	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	9.8	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	付加糸縄文を施文	KA 2 e4 ¹²	10%
8	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	[10.8]	長石・繊維	橙	普通	単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 c1 ³	10%
9	縄文土器	深鉢	11.8	(11.3)	-	長石・石英・繊維	灰褐色	普通	口唇部刻み目。沈線文を格子状に施文	KA 3 c2 ² x 1・2	40% PL51
10	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	10.6	長石・石英・繊維	明赤褐色	普通	2~4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d1 ⁷	20%
11	縄文土器	有孔罎付土器	[12.8]	(5.6)	-	長石・雲母・赤色粒子	灰黄褐色	普通	口縁部無文。孔を有する罎を巡らす。沈線文を弧状のモチーフを描出	KA 3 d1 ¹¹	5%
12	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・雲母	灰褐色	普通	隆帯で眼鏡状把手を描出	KA 2 e5 ⁸	5%
13	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを描出。円窓を有する突起	KA 2 e5 ¹⁶	5%
14	縄文土器	深鉢	[28.7]	(26.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文。擦糸文を羽状構成に施文	KA 2 e5 ¹⁶	15%
15	縄文土器	深鉢	[34.6]	(8.7)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部無文。隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成。1段L無節縄文を施文	KA 2 e5 ¹⁰	5%
16	縄文土器	深鉢	-	(18.9)	7.6	長石・雲母	明赤褐色	普通	沈線を伴う隆帯を垂下。地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KA 2 e5 ¹⁴	60% PL51
17	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	11.5	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文。以下に沈線文を斜め格子状に施文	KA 3 d1 ¹²	20%
18	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	9.4	長石・石英・繊維	明赤褐色	普通	2本単位の櫛歯文を横位施文	KA 2 d4 ⁴	5%
19	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	8.5	長石・石英・繊維	赤褐色	普通	擦糸文を施文	KA 2 b4 ¹⁰	5%
20	縄文土器	尖底土器	-	(4.0)	-	長石・雲母・繊維	黄灰	普通	尖底。外面条痕文	KA 2 b5 ³	5%
21	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	7.9	長石・石英・繊維	橙	普通	擦糸文を施文	KA 2 c3 ³	10%
22	縄文土器	尖底土器	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	外・内面条痕文	KA 3 d4 ¹⁰	10%
23	縄文土器	深鉢	[23.0]	(18.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐色	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KA 3 e1 ²	20% PL44
24	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	[8.3]	長石	橙	普通	2・3本単位の沈線文を垂下。地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KA 3 e1 ¹⁴	5%
25	縄文土器	尖底土器	-	(3.1)	-	長石・石英・繊維	にぶい橙	普通	外・内面条痕文	KA 3 e1 ²	5%
26	縄文土器	深鉢	[31.2]	(31.2)	-	長石・雲母・繊維	にぶい橙	普通	半截竹管状工具による刺突文を巡らす。以下に擦糸文を羽状構成に施文	KA 3 e4 ¹⁵ ・ ¹⁶	40% PL44
27	縄文土器	深鉢	[30.8]	(26.8)	-	雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	3本単位の櫛歯文を直状・微波状に横位・重層施文。以下に刺突文を縦に施文	KA 3 e4 ⁶ ・ ⁷ ・ ¹³	30% PL44
28	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	9.0	雲母・繊維	橙	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 e4 ¹⁶	10%
29	縄文土器	深鉢	[15.3]	(18.7)	-	長石・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KA 2 e3 ⁸	30%
30	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	[12.6]	長石・石英・繊維	にぶい褐色	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KA 2 e3 ⁸	5%
31	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	10.2	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	縦位の擦糸文を施文	KA 3 d2 ¹³	20%
32	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	9.6	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	1段のR無節縄文を施文	KA 3 d3 ¹⁰	10%
33	縄文土器	深鉢	[31.0]	(32.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐色	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 2 c5	30%
34	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	[11.4]	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	擦糸文を施文	KA 2 c5 ¹¹ ・ ¹⁵ 327層	5%
35	縄文土器	深鉢	21.2	28.5	8.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文。突起と円窓を有する	KA 3 e1 ³	70% PL41
36	縄文土器	深鉢	[21.3]	(15.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	沈線を伴う隆帯を直状・波状に巡らす。地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KA 3 e1 ³	20% PL51
37	縄文土器	深鉢	19.5	29.5	[9.3]	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	口縁部無文。隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線文を垂下。2段RL単節縄文を施文	KA 3 e2 ⁷	90% PL41
38	縄文土器	有孔罎付土器	[22.8]	(1.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	孔を有する罎を巡らす	KA 3 e4 ¹ x 1	5%
39	縄文土器	深鉢	[36.4]	(31.1)	-	長石・雲母・繊維	にぶい褐色	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位2段に施文。以下に円形刺突文を巡らす。2段RL単節縄文を施文	KB 2 a3 ¹⁵ ・ ¹⁶	30% PL44
40	縄文土器	深鉢	[32.4]	(22.9)	-	雲母・赤色粒子・繊維	にぶい褐色	普通	2~4本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 a3 ¹³	10%
41	縄文土器	深鉢	[11.6]	9.9	[10.0]	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐色	普通	5本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 a3 ¹³	30% PL51
42	縄文土器	深鉢	-	(12.9)	-	長石・雲母・繊維	橙	普通	擦糸文を施文	KB 2 a3 ⁹	10%
43	縄文土器	深鉢	[36.2]	(23.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成。沈線を伴う磨り消し帯を垂下。2段RL単節縄文を施文	KB 2 a3 ¹⁵ ・ ¹⁶	30%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
44	縄文土器	深鉢	[35.8]	(23.0)	-	長石・赤色粒子	灰黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 a3 ¹⁵	20% PL52
45	縄文土器	深鉢	[14.0]	(4.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	無文	KB 2 a3 ⁸ x 2	5%
46	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	7.2	長石・石英	橙	普通	付加条縄文を施文	KB 2 a3 ¹²	5%
47	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を横位施文	KB 2 a2 ⁷	20%
48	縄文土器	深鉢	[36.8]	(8.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成	KB 2 a4 ⁴	10%
49	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 a4 ⁶	10%
50	縄文土器	深鉢	[16.4]	(13.2)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	棒状工具による円形刺突文を巡らす 磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 a4 ¹³	10%
51	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	[12.0]	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	3本単位の沈線を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 a4 ¹⁶	20%
52	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	[8.6]	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は燃糸文を施文	KB 2 a4 ¹⁰	10%
53	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	[6.8]	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 a4 ⁶	10%
54	縄文土器	有孔罎付土器	-	(5.6)	-	長石・雲母	明赤褐	普通	孔を有する罎を巡らす 無文	KB 2 a4 ⁶ x 7	10%
55	縄文土器	深鉢	[26.5]	29.2	[6.8]	長石・雲母	にぶい橙	普通	2本単位の沈線を縦・横位に巡らす 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b3 ⁷	80%
56	縄文土器	深鉢	[24.4]	(18.5)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	2・3本単位の沈線を縦・横位に巡らす 地文は燃糸文を施文	KB 2 b3 ⁴	20%
57	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線を巡らす 区画内に棒状工具による刺突文を施文	KB 2 b3 ¹⁴	5%
58	縄文土器	小形深鉢	[10.9]	(8.3)	-	長石・石英	褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 2 b3 ¹² 461層	15%
59	縄文土器	深鉢	-	(24.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b3 ¹⁴	40%
60	縄文土器	深鉢	[27.1]	(23.6)	-	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 b4 ¹⁰	65%
61	縄文土器	深鉢	24.7	(18.9)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	2・3本単位の沈線を縦・横位に巡らす 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b4 ⁶ ・ ¹⁶	50%
62	縄文土器	深鉢	[17.8]	(10.6)	-	長石・雲母	褐灰	普通	2本単位の沈線を縦・横位に巡らす 地文は燃糸文を施文	KB 2 b4 ⁹	10%
63	縄文土器	深鉢	25.5	(24.2)	-	長石・石英・繊維	にぶい赤褐	普通	S字状結節文・1段L無節縄文を施文	KB 2 b5 ² ・ ⁶	35% PL44
64	縄文土器	深鉢	[30.2]	(19.7)	-	長石・石英・繊維	褐	普通	2段L R単節縄文を施文	KB 2 b5 ³	10%
65	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	[10.8]	長石・繊維	明赤褐	普通	2～4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c1 ¹⁶ 他	20%
66	縄文土器	深鉢	[21.9]	(27.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	燃糸文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.5～0.8cm	KB 2 c2 ⁹	20% PL45
67	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	8.8	長石・石英・繊維	にぶい褐	普通	竹管状工具による刺突文を巡らす	KB 2 c2 ¹⁶ 452層	10%
68	縄文土器	深鉢	[17.8]	(16.0)	-	長石・石英・繊維	黒褐	普通	2～4本単位の結節を加えた櫛歯文を微波状に横位施文	KB 2 c3 ³ ・ ¹¹	20% PL51
69	縄文土器	深鉢	24.7	(24.6)	-	長石・石英	灰褐	普通	2・3本単位の沈線を直状・波状に巡らす 地文は燃糸文を施文	KB 2 c3 ⁸ 他	50% PL45
70	縄文土器	深鉢	[27.0]	(10.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	棒状工具による刺突文を巡らす 以下に2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 c3 ⁸ ・ ¹²	40%
71	縄文土器	深鉢	[16.5]	(8.2)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 以下に竹管状工具による円形刺突文を巡らす	KB 2 c3 ¹⁴	10%
72	縄文土器	深鉢	20.4	(21.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 c4 ⁸	75%
73	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	押捺を加えた隆帯を巡らす 蛇行する細い隆帯を貼付 地文は3段L R L複節縄文を施文	KB 2 c4 ¹⁶	5%
74	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	[9.2]	長石・繊維	にぶい褐	普通	2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 c4 ² ③ x 22	10%
75	縄文土器	浅鉢	[24.0]	11.0	6.0	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 ナデ	KB 2 c4 ³	75%
76	縄文土器	浅鉢	[48.2]	(22.7)	-	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	無文 ナデ	KB 2 c4 ¹⁴ x 22	25%
77	縄文土器	深鉢	[29.2]	(10.5)	-	石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線を直状・波状に巡らす 地文は2段L R単節縄文を施文	KB 2 c5 ¹⁰	10%
78	縄文土器	浅鉢	[40.3]	(14.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文 以下に2本単位の沈線を直状・鋸歯状に巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 c5 ¹ ・ ²	20%
79	縄文土器	浅鉢	[37.8]	(10.5)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	口縁部無文 以下に3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を直状・波状に巡らす 1段L無節縄文を施文	KB 2 c5 ²	15%
80	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・雲母	明赤褐	普通	押捺を加えた隆帯を縦・横位に巡らす 地文は櫛歯状工具による条線文を施文	KB 2 d2 ¹⁴	10%
81	縄文土器	深鉢	[26.2]	(14.9)	-	長石・雲母・繊維	黒褐	普通	2段L R単節縄文を施文	KB 2 d3 ⁹	20%
82	縄文土器	深鉢	[15.8]	(18.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2段R L単節縄文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.7～1.0cm	KB 2 d3 ⁹	20%
83	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・雲母・繊維	にぶい橙	普通	沈線を巡らす 以下に細い櫛歯文を直状・波状に横位施文	KB 2 d3 ²	10%
84	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	[8.8]	長石・雲母・繊維	明赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を曲線的に施文	KB 2 d3 ⁹	10%
85	縄文土器	浅鉢	[17.4]	(6.0)	-	長石	にぶい黄橙	普通	沈線を巡らす 無文 外面赤彩	KB 2 d3 ¹⁰	10%
86	縄文土器	手捏土器	[2.8]	(2.3)	-	長石・雲母	橙	普通	外・内面指頭ナデ	KB 2 d3 ¹⁶ 606層	20%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
87	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	8.0	長石・石英	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は捺糸文を施文	KB 2 d4④	20%
88	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	10.8	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 d4⑮ x 28	10%
89	縄文土器	浅鉢	-	(5.3)	10.1	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 丁寧なナデ	KB 2 d4④	5%
90	縄文土器	深鉢	26.6	37.0	7.6	長石・石英・礫	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 d5⑩・⑭	70% PL42
91	縄文土器	深鉢	-	(20.2)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 地文は櫛歯状工具による条線文を施文	KB 2 d5③	20%
92	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は横位の2段R L単節縄文を施文	KB 2 d5 一括	10%
93	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	8.4	長石・石英・雲母	橙	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は捺糸文を施文	KB 2 d5②	10%
94	縄文土器	深鉢	29.0	13.9	-	長石・赤色粒子・繊維	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1⑯	5%
95	縄文土器	深鉢	-	(23.0)	10.0	長石・石英・雲母	黒褐	普通	棒状工具による刺突文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1⑧	20%
96	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1④	5%
97	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	6.2	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1⑫	20%
99	縄文土器	深鉢	30.5	18.5	-	長石・雲母・礫	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KB 2 e2①	10%
100	縄文土器	小形土器	4.4	2.7	-	長石・石英	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KB 2 d5⑪	90%
102	縄文土器	深鉢	-	(14.2)	6.0	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2⑤	15%
103	縄文土器	浅鉢	-	(13.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	4本単位の櫛歯状工具による条線文を横位施文	KB 2 e2⑫	40%
105	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3⑮	10%
106	縄文土器	深鉢	22.4	15.0	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e3⑨	20%
107	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3⑮	5%
108	縄文土器	浅鉢	36.6	18.3	-	長石・石英	灰黄褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB 2 e3⑯ x 1	20%
109	縄文土器	特殊土器	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 橋状把手	KB 2 e4⑫	5%
110	縄文土器	有孔罎付土器	-	(6.6)	-	長石・雲母	黄橙	普通	孔を有する罎を巡らす 無文	KB 2 e4② x 17	10%
111	縄文土器	小形土器	-	(2.9)	4.0	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	外・内面指頭ナデ	KB 2 e5⑥ x 22	30%
112	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	隆帯で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に櫛歯状工具による条線文を施文	KB 3 a1①	5%
113	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	隆帯で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 a1⑮	5%
114	縄文土器	深鉢	25.6	20.3	-	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 a2⑦	20%
115	縄文土器	赤色土器	-	(4.1)	-	長石・石英	灰褐	普通	無文 外面赤彩	KB 3 a2⑦	5%
116	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に竹管状工具による円形刺突文を施文	KB 3 a3⑦	5%
117	縄文土器	小形土器	5.0	2.2	-	長石・雲母	明赤褐	普通	外・内面指頭ナデ	KA 3 e1⑪	40%
118	縄文土器	深鉢	36.5	48.0	10.6	長石・石英・雲母	褐灰	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3本単位の沈線文を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4⑪・⑫・⑮・⑯	60% PL42
119	縄文土器	深鉢	-	(25.2)	-	長石・石英・小礫	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2 L R単節縄文を施文	KB 3 a4⑪・⑫	20%
120	縄文土器	深鉢	45.3	17.4	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で眼鏡状把手・区画を形成 区画内に沈線文を施文	KB 3 a4⑯	5% PL52
121	縄文土器	浅鉢	-	(9.6)	8.0	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	2本単位の沈線文を垂下	KC 3 a2⑭	10%
122	縄文土器	深鉢	-	(41.4)	10.1	長石・雲母	にぶい橙	普通	2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4④⑥⑦	50%
123	縄文土器	深鉢	-	[36.8]	10.7	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	2本の隆帯を巡らす 以下に2・3本単位の沈線文を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4⑭・⑮	60%
124	縄文土器	深鉢	-	(25.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で区画を形成 2・3本単位の沈線文を垂下 地文は付加状縄文を施文	KB 3 a4⑤・⑨	25% PL52
125	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・雲母・繊維	黄橙	普通	木目状捺糸文を施文	KB 3 a4⑤	15%
126	縄文土器	深鉢	-	(16.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	3本単位の蛇行する沈線文を垂下 地文は2段L R単節縄文を施文	KB 3 a4⑭	15%
127	縄文土器	鉢	21.2	15.4	8.7	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	U字状の沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 地文は2段L R単節縄文を施文	KB 3 a4⑭	90% PL45
128	縄文土器	器台	16.2	5.6	20.5	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ていねいなナデ 円窓を有する	KB 3 a4⑦	25%
129	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	10.0	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	捺糸文を施文	KB 3 b1②	10%
130	縄文土器	深鉢	16.0	16.0	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口縁部無文 刻みを加えた隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 2段R L単節縄文を施文	KB 3 b2⑬	50% PL45
131	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 b2⑫	5%
132	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成 地文は2段L R単節縄文を施文	KB 3 b2 一括	5%
133	縄文土器	深鉢	27.8	4.7	-	雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯を巡らす 無文	KB 3 b2⑨	5%
134	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	6.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	縦位回転の2段L R単節縄文を施文	KB 3 b2⑯	10%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
135	縄文土器	深鉢	-	(2.8)	[5.5]	長石・雲母	にぶい橙	普通	鋸歯状の沈線文を垂下	KB 3 b2③×17	5%
136	縄文土器	小形土器	[4.7]	8.4	[5.4]	長石・雲母・繊維	にぶい褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KB 3 b2⑥×14・17	50%
137	縄文土器	深鉢	[27.3]	(38.2)	10.2	長石・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線文で曲線的なモチーフを垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑩・⑭	65% PL43
138	縄文土器	深鉢	21.0	(33.7)	-	長石・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で渦巻状・横S字状のモチーフを形成 沈線文を充填・垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑧	90% PL43
139	縄文土器	深鉢	[22.8]	(17.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 2本単位の沈線文を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑯	20%
140	縄文土器	深鉢	[22.6]	(6.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に1段R無節縄文を施文	KB 3 b3②	10%
141	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・赤色粒子	黄橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑫	10%
142	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	環状の突起 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑩×3	10%
143	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	-	長石・石英	橙	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b3⑤・⑩	15%
144	縄文土器	深鉢	-	(24.8)	[9.6]	長石	にぶい褐	普通	縦回転の1段L無節縄文・2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3⑩	20%
145	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	[10.0]	長石・石英・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KB 3 b3⑥×25	10%
146	縄文土器	浅鉢	[29.9]	(14.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KB 3 b3⑫×3	20%
147	縄文土器	浅鉢	[31.5]	(8.4)	-	長石・石英	灰褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB 3 b4⑤	10%
148	縄文土器	深鉢	[15.5]	22.1	7.5	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部無文 以下に縦回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b4③他	80%
149	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・雲母	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線で区画・S字状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 b4⑯	10%
150	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KB 3 b4④42層	10%
151	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	5.5	長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で区画を形成 区画内に刺突文を充填	KB 3 e2⑯	10%
152	縄文土器	浅鉢	[43.0]	(6.8)	-	長石・雲母・赤色粒子・礫	にぶい赤褐	普通	口唇部に2本単位の沈線を巡らす 外面赤彩	KB 3 b4⑤	10%
153	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	11.0	石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	1～3本単位の沈線文を垂下 地文は2段L R単節縄文を施文	KB 3 b4②	5%
154	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	[8.2]	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	捺糸文を縦・横位施文	KB 3 b5⑯×10	5%
155	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	[7.6]	長石・雲母	にぶい褐	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は捺糸文を施文	KB 3 b5①×7	5%
156	縄文土器	深鉢	[23.6]	(20.2)	-	長石・石英・赤色粒子	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 2本単位の沈線を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 c1⑬	10%
157	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 b4⑮	5%
158	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 c1⑧	10%
159	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	[8.8]	長石・雲母・赤色粒子	赤褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 c1⑪×21	5%
160	縄文土器	有孔鐳付土器	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	浅黄橙	普通	孔を有する鐳を巡らす 以下に竹管状工具による円形刺突文を施文	KB 2 e3⑥×11	5%
161	縄文土器	深鉢	-	(33.5)	-	石英・雲母	にぶい褐	普通	刻みを加えた隆帯と沈線で楕円形区画・眼鏡状把手を形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c2①・⑤他	60% PL45
162	縄文土器	深鉢	[42.2]	(30.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 微隆帯を巡らす 地文は多方向の2段L R単節縄文を施文	KB 3 c2④	30%
163	縄文土器	深鉢	[19.7]	23.7	(8.3)	長石・雲母	にぶい黄褐	普通	2本単位の沈線文を縦・横位に巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c2⑧・⑫	50% PL52
164	縄文土器	深鉢	[22.1]	(19.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	交互刺突による連続コの字状文を巡らす 2・3本単位の沈線文を連弧状に施文 櫛歯状工具による条線文	KB 3 c2⑫	30%
165	縄文土器	深鉢	[30.0]	(14.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に捺糸文を施文	KB 3 c2③	5%
166	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 c2⑪×3	5%
167	縄文土器	浅鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	交互刺突による連続コの字状文・刻みを有する隆帯を巡らす 以下無文	KB 3 c2⑩	5%
168	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・繊維	橙	普通	隆帯・半截竹管状工具による刺突文を施文	KB 3 c2⑪×28	5%
169	縄文土器	深鉢	-	(23.5)	-	長石	橙	普通	3本単位の沈線文を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c2⑩・⑪・⑫他	30%
170	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	7.0	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	細かい櫛歯文を縦位施文	KB 3 c2⑥	20%
171	縄文土器	浅鉢	[37.4]	(13.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB 3 c2⑪	20%
172	縄文土器	深鉢	21.9	31.3	9.1	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線文を縦・横位に巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c3①・⑨	60%
173	縄文土器	深鉢	[33.6]	(18.3)	-	長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 c3⑦	15%
175	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段L R単節縄文を施文	KB 3 c3②	10%
176	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	[10.0]	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c3①	10%
177	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	[8.6]	長石・石英・赤色粒子	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 c3⑫	10%
178	縄文土器	深鉢	-	(29.4)	8.0	長石・石英	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に3段L R L複節縄文を施文 捺糸文を施文	KB 3 c3④・⑧他	40% PL46

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
179	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	-	長石	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB3 c4③	5%
180	縄文土器	浅鉢	[39.6]	(12.5)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB3 c4⑮	5%
181	縄文土器	深鉢	-	[19.8]	(7.0)	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段LR単節縄文を施文	KB3 c4⑧	5%
182	縄文土器	深鉢	[17.7]	(4.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 有孔鐳付土器カ	KB3 c4⑭x7他	5%
183	縄文土器	深鉢	-	(25.4)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 以下に渦巻状のモチーフを描出 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 c4④	30%
184	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は3段複節縄文を施文	KB3 c4④x8	5%
185	縄文土器	有孔鐳付土器	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	孔を有する鐳を巡らす 無文	KB3 c4④	10%
187	縄文土器	深鉢	[27.2]	(22.8)	-	長石・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 c5①	40%
188	縄文土器	深鉢	[36.8]	(26.4)	-	雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯 2段RL単節縄文を施文	KB3 c5①・②	20%
189	縄文土器	浅鉢	-	(7.3)	-	長石・石英	褐	普通	口唇部に2本の沈線文を巡らす 無文	KB3 c5①	5%
190	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段LR単節縄文を施文	KB3 c5⑤	5%
191	縄文土器	深鉢	-	(3.0)	[9.4]	長石・雲母・石英・繊維	にぶい赤褐	普通	2段RL単節縄文を施文	KB4 b1②	10%
192	縄文土器	深鉢	[22.6]	(18.6)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯 2段RL単節縄文を施文	KB3 d1⑮	25%
193	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	石英・雲母・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段LR単節縄文を施文	KB3 d1④	10%
194	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	10.3	長石・雲母	明赤褐	普通	2段RL単節縄文を施文	KB3 d1③	15%
195	縄文土器	深鉢	[31.7]	(23.1)	-	長石・雲母	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB3 d2⑯	25% PL52
196	縄文土器	深鉢	[27.1]	(30.1)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB3 d2②	40%
197	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に3段LR複節縄文を施文	KB3 d2⑯	10%
198	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で眼鏡状把手を形成	KB3 d2⑩	5%
199	縄文土器	浅鉢	[35.2]	(25.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 3段LR複節縄文を施文	KB3 d2⑥・⑪	30%
200	縄文土器	深鉢	[31.7]	(18.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	沈線文を重畳的に施文 押捺を加えた隆帯を巡らす 地文は糸線文を垂下 口縁部内面に突帯を巡らす	KB3 d2⑪他	20% PL52
201	縄文土器	浅鉢	[34.0]	(13.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB3 d2②	10%
202	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石	黒褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に3段LR複節縄文を施文	KB3 d3⑭	5%
203	縄文土器	深鉢	[16.6]	(6.2)	-	長石・石英	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は3段LR複節縄文を施文	KB3 d3⑫	20%
204	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	長石・石英・雲母	オリーブ褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d3⑫	15%
205	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	7.0	長石・石英	にぶい橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d3⑭	25%
206	縄文土器	浅鉢	-	(9.0)	[6.8]	長石・石英・雲母	黒褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB3 d3②・⑥	15%
207	縄文土器	小形土器	-	(4.2)	3.8	長石・石英	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KB3 d3⑧	25%
208	縄文土器	深鉢	30.5	(8.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段LR単節縄文を施文	KB3 d4⑩	30%
209	縄文土器	深鉢	[49.0]	(11.0)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d4⑧	10%
210	縄文土器	深鉢	[22.4]	(13.2)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	円形刺突文と沈線文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は捺糸文を施文	KB3 d4②・③	20%
211	縄文土器	深鉢	[25.4]	(16.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d4⑯	20%
212	縄文土器	深鉢	[22.6]	(10.3)	-	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	円形刺突文を加えた沈線文を巡らす 以下無文	KB3 d4②・③	10%
213	縄文土器	深鉢	[38.0]	(9.4)	-	長石	橙	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画を形成	KB3 d4③	10%
214	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KB3 d4⑬	5%
215	縄文土器	浅鉢	-	(6.3)	8.2	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	無文 外・内面ナデ	KB3 d4⑩	10%
216	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	[6.4]	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d4⑩	10%
217	縄文土器	深鉢	[27.3]	(14.8)	-	長石・石英	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB3 d5⑤	10%
218	縄文土器	深鉢	-	(14.5)	-	長石・雲母	灰黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d5⑨	10%
219	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	6.0	長石・石英	橙	普通	2・3本単位の沈線文を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 d5⑬	10%
220	縄文土器	深鉢	[17.4]	21.0	6.0	長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	押捺を加えた隆帯を縦・横位に巡らす 地文は櫛歯状工具による捺糸文を施文	KB3 e1①	70% PL46
221	縄文土器	深鉢	[31.0]	(11.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 1段L無節縄文を施文	KB3 e2⑦	5%
222	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB3 e2⑮	20%
223	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成	KB3 e2⑩	5%
224	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	雲母	にぶい黄橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に1段L無節縄文を施文	KB3 e2⑮	5%
225	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	円形刺突文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 e2⑭	20%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
227	縄文土器	深鉢	[23.4]	(17.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e3④・⑩	30%
228	縄文土器	深鉢	[21.6]	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KB 3 e3⑩	20%
229	縄文土器	深鉢	[27.6]	(14.1)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e3⑥	10%
230	縄文土器	深鉢	[26.2]	(12.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e3⑮	10%
231	縄文土器	深鉢	[22.3]	(12.4)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	円形刺突文を加えた沈線文・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 地文は2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e3④	10%
232	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e3④	10%
234	縄文土器	深鉢	[30.0]	(8.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口縁部無文 以下に沈線文を巡らす 地文は櫛歯状工具による糸線文を垂下	KB 3 e3③	10%
235	縄文土器	深鉢	[31.0]	(10.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e4⑫	10%
236	縄文土器	深鉢	-	(19.0)	-	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段 R L単節縄文を施文	KB 3 e4④・⑩	20%
237	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成 外面赤彩	KB 3 d4	10%
238	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	紫黒	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成 沈線文を施文 外面赤彩	KB 3 d4⑨	5%
239	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	5.6	長石・石英	にぶい橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 a3⑨	10%
240	縄文土器	小形土器	-	(2.5)	3.4	長石・石英	にぶい褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC 2 a3⑨445層	10%
242	縄文土器	深鉢	[34.5]	(29.3)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	口唇部刻み目 押捺を加えた隆帯を縦・横位に巡らす 地文は太い糸線文を施文	KC 2 a5⑩	30% PL46
243	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・赤色粒子	橙	普通	隆帯と沈線で区画・橋状把手を形成	KC 2 a5②×9	5%
244	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	6.8	長石・石英	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 a5①	10%
245	縄文土器	小形土器	-	(5.1)	4.0	長石・石英	明赤褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は3段 R L R複節縄文を施文	KC 2 a5⑮×21	10%
247	縄文土器	深鉢	[34.0]	(17.8)	-	長石・石英・雲母・礫	にぶい赤褐	普通	多方向の2段 R L単節縄文を施文	KC 2 b2⑧	15%
248	縄文土器	深鉢	-	(30.1)	6.6	長石・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	微隆帯による区画を形成 微隆帯間を磨り消す 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 b2⑪・⑮・⑯	30%
249	縄文土器	小形土器	-	(5.0)	4.1	長石・石英	褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC 2 b2⑦×7	20%
250	縄文土器	深鉢	[29.8]	(11.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線による楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KC 2 b3⑥	5%
251	縄文土器	浅鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	隆帯を巡らす 無文 外・内面ナデ	KC 2 b3⑦×14	5%
252	縄文土器	瓢箪形土器	-	(7.2)	-	長石・石英・赤色粒子	黄橙	普通	隆帯で橋状把手 沈線で楕円形区画を形成	KC 2 b3②	5%
253	縄文土器	瓢箪形土器	[8.6]	(3.8)	-	長石・石英	黒褐	普通	隆帯で橋状把手を形成	KC 2 b3③×11	5%
254	縄文土器	特殊土器	-	(5.0)	-	長石・石英	にぶい褐	普通	隆帯で橋状把手を形成 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 b3③×9	5%
255	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	6.4	長石・石英	明赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC 2 b3⑭	10%
256	縄文土器	深鉢	[26.0]	(9.3)	-	長石・石英	灰黄褐	普通	隆帯と沈線による楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KC 2 b4③	10%
257	縄文土器	深鉢	17.2	(20.6)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	沈線文を巡らす 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 c3④	80% PL46
258	縄文土器	深鉢	13.5	(14.6)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	微隆帯と棒状工具による円形刺突文を巡らす 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 c4③	20%
259	縄文土器	深鉢	[20.0]	(14.5)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	沈線文を巡らす 地文は1段 L無節縄文を施文	KC 2 c4⑤・⑥	40%
260	縄文土器	台付鉢	-	(5.8)	(8.8)	長石・赤色粒子	橙	普通	地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 2 c4⑦	10%
261	縄文土器	瓢箪形土器	-	(6.5)	-	長石・石英	灰褐	普通	微隆帯による渦巻状のモチーフを形成	KC 2 c5①	10%
262	縄文土器	深鉢	[32.0]	(17.6)	-	石英	にぶい黄橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KC 3 a1⑩	20%
263	縄文土器	深鉢	[27.0]	(21.1)	-	長石	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段 R L R複節縄文を施文	KC 3 a1③	20%
264	縄文土器	深鉢	[31.2]	(10.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に2段 R L単節縄文を施文	KC 3 a1⑧	10%
265	縄文土器	深鉢	[34.0]	(9.3)	-	長石	にぶい橙	普通	口縁部無文 隆帯で区画を形成	KC 3 a1⑫	10%
266	縄文土器	深鉢	[15.6]	(7.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 沈線で区画を形成	KC 3 a1⑪	10%
267	縄文土器	深鉢	-	(15.4)	-	長石	にぶい褐	普通	隆帯で楕円形区画を形成 地文は2段 R L単節縄文を施文	KC 3 a1⑯	20%
268	縄文土器	瓢箪形土器	-	(11.5)	-	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成	KC 3 a1⑩	20%
269	縄文土器	浅鉢	-	(11.9)	(8.8)	長石・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC 3 c1⑦	20%
270	縄文土器	浅鉢	-	(7.8)	9.4	長石・雲母	褐灰	普通	微隆帯で区画を形成 無文	KC 3 a1⑮	15%
271	縄文土器	有孔鐏付土器	[14.0]	(3.1)	-	長石・雲母	赤黒	普通	孔を有する鐏を巡らす 無文	KC 3 a1⑯×17	5%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
272	縄文土器	小形土器	-	(2.7)	4.6	長石・石英	灰褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 a1⑦x18	10%
274	縄文土器	深鉢	47.0	(19.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内は2段R L単節縄文を施文	KC3 a2⑨	20%
275	縄文土器	深鉢	-	(19.8)	-	石英・雲母	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a2⑩	30%
276	縄文土器	深鉢	24.1	(19.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	沈線を巡らす 2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を縦・横位に施文 2段R L単節縄文を施文	KC3 a2⑪	30%
277	縄文土器	深鉢	20.4	(9.6)	-	長石・石英・赤色粒子	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a2⑨	10%
278	縄文土器	浅鉢	24.4	(11.7)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 以下に櫛歯状工具による条線文を垂下	KC3 a2⑫	10%
279	縄文土器	深鉢	24.4	(17.3)	-	長石・石英	にぶい黄	普通	口唇部刻み目 押捺を加えた隆帯を縦・横位に巡らす 沈線を口縁部は重弧状 胴部は垂下	KC3 a2①	20%
280	縄文土器	深鉢	20.1	(17.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	無文 指頭による縦位の粗いナデ	KC3 a2⑬	10%
281	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・橋状把手を形成 区画内に3段R L R複節縄文を施文	KC3 a2④	10%
282	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	4.8	長石・石英・赤色粒子	赤褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KC3 a2⑭	20%
283	縄文土器	深鉢	44.0	(15.9)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部無文 隆帯で区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KC3 a3⑨・⑩	10%
284	縄文土器	深鉢	24.8	(17.3)	-	長石・石英	赤褐	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は3段R L R複節縄文を施文	KC3 a3⑤	10%
285	縄文土器	深鉢	31.8	(12.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a3③	10%
286	縄文土器	深鉢	24.6	(18.6)	-	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	微隆帯で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 a3④x3	10%
287	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で三角形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a3⑥	10%
288	縄文土器	台付鉢	-	(2.6)	-	長石・石英	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KC3 a3⑮	10%
289	縄文土器	有孔罽付土器	10.2	(11.9)	-	長石・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	微隆帯で楕円形区画を形成 2方向の穿孔を有する	KC3 a4⑮x10, 272層	10%
290	縄文土器	瓢箪形土器	16.6	(2.3)	-	長石・石英	褐灰	普通	隆帯で橋状把手を形成	KC3 a4⑬	5%
291	縄文土器	瓢箪形土器	-	(20.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	微隆帯で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KC3 a4⑩	10%
293	縄文土器	深鉢	22.4	(15.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b1⑥	10%
294	縄文土器	深鉢	-	(19.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で眼鏡状・窓枠状把手を形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b1⑤	10%
295	縄文土器	瓢箪形土器	-	(15.4)	-	長石・石英	灰褐	普通	微隆帯で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KC3 b1⑦	10%
297	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	(5.6)	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KC3 b2⑭	10%
298	縄文土器	有孔罽付土器	20.6	(2.3)	-	長石・石英	灰褐	普通	隆帯で橋状把手を形成	KC3 b2③	5%
299	縄文土器	有孔罽付土器	14.6	(5.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	孔を有する罽を巡らす 以下に沈線文を施文	KC3 b2⑯x13	5%
300	縄文土器	有孔罽付土器	-	(4.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	孔を有する罽を巡らす	KC3 b2⑭	5%
301	縄文土器	小形土器	-	(1.9)	2.9	長石・雲母	にぶい褐	普通	単節縄文を施文	KC3 b2⑨x4	10%
302	縄文土器	小形土器	-	(1.9)	3.2	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC3 b2⑮x5	10%
303	縄文土器	小形土器	3.8	1.9	-	長石・雲母・針状鉱物	にぶい赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC3 b2⑰x5	10%
304	縄文土器	台付鉢	-	(3.2)	4.2	長石・石英	にぶい褐	普通	外・内面ナデ 台部に円窓を有する	KC3 b2 一括	10%
305	縄文土器	深鉢	33.0	(13.2)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部無文 円形刺突文・沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 地文は櫛歯状工具による条線文を施文	KB3 d3⑮他	20%
306	縄文土器	深鉢	36.5	(35.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	微隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 b3⑮他	70%
307	縄文土器	深鉢	33.6	(23.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b3②	20%
308	縄文土器	深鉢	34.8	(16.2)	-	長石・石英	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 b3⑬	15%
309	縄文土器	深鉢	34.0	(22.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で三角形区画・渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a3①	10%
310	縄文土器	深鉢	-	(16.5)	5.0	長石・石英・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KC3 b4⑨	20%
311	縄文土器	深鉢	18.2	(16.9)	-	長石・雲母	橙	普通	沈線を巡らす H字状の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b4⑥	20%
312	縄文土器	小形土器	-	(5.2)	3.1	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	1段L無節縄文を施文	KC3 b4⑨	10%
313	縄文土器	蓋	12.0	(2.0)	-	長石・石英	灰褐	普通	周縁に隆帯を巡らす 橋状把手を形成 外・内面ナデ	KC3 b4⑦x8	10%
314	縄文土器	深鉢	24.8	(18.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b5①	10%
315	縄文土器	深鉢	-	(22.4)	6.2	長石・石英・雲母	橙	普通	H字状の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 c1⑫	40% PL46
316	縄文土器	深鉢	-	(14.7)	4.2	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KC3 c1⑥	15%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徵ほか	出土位置	備考
317	縄文土器	深鉢	-	(3.0)	6.8	長石・石英・繊維	黒褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす	KC 3 c1③	10%
318	縄文土器	深鉢	[38.0]	(28.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	微隆帯と沈線を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 3 c2⑫	10%
319	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	隆帯で区画・橋状把手を形成 注口部を有する	KC 3 c2④275層	5%
320	縄文土器	小形土器	-	(2.8)	4.0	長石・石英	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KC 3 c2⑤	10%
321	縄文土器	小形土器	-	(1.6)	3.0	長石・石英	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KC 3 c2⑮x4	5%
323	縄文土器	深鉢	-	(17.5)	-	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	隆帯で区画を形成 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は3段R L複節縄文を施文	KB 3 c4⑧	20%
324	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・繊維	黒褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位施文 以下に捺糸文を施文	KA 2 d5⑩98層	10%
325	縄文土器	尖底土器	-	(2.2)	-	長石・繊維	にぶい橙	普通	外・内面捺糸文	KA 3 c2⑧122層	5%
326	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・繊維	にぶい褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA 3 d1⑤x7	10%
327	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・赤色粒子・繊維	にぶい橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 円形刺突文・短い沈線文を施文	KB 2 a5⑦	5%
328	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	[5.4]	長石・雲母・繊維	黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KB 2 a5④110・114層	30%
329	縄文土器	浅鉢	37.0	16.2	8.5	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 外・内面ナデ	KB 2 a5⑫他	90% PL45
330	縄文土器	小形土器	[7.4]	(3.9)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	1段L無節縄文を施文	KB 2 a5⑮143層	50%
331	縄文土器	深鉢	[27.2]	25.8	[8.6]	長石・石英	灰黄褐	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b3⑩	40%
332	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・繊維	明赤褐	普通	無文 丁寧なナデ	KB 2 b3③x8	5%
333	縄文土器	深鉢	-	(15.1)	10.4	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	3・4本の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 b3⑥	10%
334	縄文土器	深鉢	35.3	42.2	10.8	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	3本単位の直状の櫛歯文で縦位区画 3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 以下に木目状捺糸文を施文	KB 2 b4⑥・⑨・⑬	80% PL41
335	縄文土器	深鉢	[30.0]	31.0	[7.2]	長石・赤色粒子	褐灰	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b4⑭	40%
336	縄文土器	深鉢	[28.0]	(18.3)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部刻み目 押捺を加えた隆帯を縦・横位に巡らす 地文は櫛歯状工具による捺糸文を施文 口縁部内面に突帯	KB 2 b4⑥	15%
337	縄文土器	深鉢	27.1	(19.2)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	交互衝突による連続コの字状文を巡らす 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 b4⑦他	40%
338	縄文土器	深鉢	[21.0]	(11.0)	-	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 b4⑮	10%
339	縄文土器	深鉢	-	(17.0)	6.0	長石・赤色粒子	橙	普通	地文は縦位回転の1段L無節縄文を施文	KB 2 b4⑥・⑦	30%
340	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	7.6	長石・雲母・繊維	橙	普通	肋のある貝殻の腹縁文を施文	KB 2 b4②	10%
341	縄文土器	深鉢	[34.0]	(14.7)	-	長石・石英・繊維	にぶい橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 b5④・⑤	10%
342	縄文土器	浅鉢	[31.4]	(14.0)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部無文 以下に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b5⑦	10%
343	縄文土器	深鉢	-	(27.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	頸部無文 以下に3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 b5③・⑦	30%
344	縄文土器	深鉢	17.4	(12.9)	-	長石・石英	褐灰	普通	口縁部無文 以下に櫛歯状工具による捺糸文を垂下	KB 2 c4⑧463・465層	30%
345	縄文土器	深鉢	[28.7]	(14.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	沈線で区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2②	15%
346	縄文土器	小形土器	[5.0]	6.0	[3.2]	長石	橙	普通	無文	KB 2 e5 一括	40%
347	縄文土器	深鉢	17.4	(5.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯を巡らす 以下無文	KB 3 a2⑮x13, ⑯234層	10%
348	縄文土器	深鉢	[33.3]	(37.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯で渦巻状のモチーフを形成 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 a3②	65% PL42
349	縄文土器	深鉢	17.2	(24.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線で渦巻状のモチーフを形成 頸部無文 以下に蛇行する沈線文を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 a3②	65% PL42
350	縄文土器	深鉢	-	(17.2)	-	長石・石英・雲母・小礫	暗褐	普通	隆帯と沈線で眼鏡状把手・区画を形成 区画内に沈線文を施文	KB 3 a4⑭	10%
351	縄文土器	深鉢	-	(17.6)	-	長石・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	隆帯と沈線で眼鏡状把手・区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4⑮	5%
352	縄文土器	深鉢	[29.6]	(13.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線文を縦・横位に巡らす 2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4⑩	20%
354	縄文土器	有孔鐳付土器	[6.8]	(4.0)	-	長石・石英	灰褐	普通	孔を有する鐳を巡らす 無文	KB 3 b3⑤x10	5%
355	縄文土器	小形土器	[2.9]	1.3	2.5	長石・雲母	にぶい橙	普通	無文 外・内面ナデ	KB 3 d2③x2	70%
356	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	[8.8]	長石・石英	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 d3⑨	20%
357	縄文土器	深鉢	[27.4]	(13.4)	-	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 d4⑬	10%
358	縄文土器	深鉢	[21.1]	(14.1)	-	長石・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 e2⑦	5%
359	縄文土器	有孔鐳付土器	-	(4.2)	-	長石・雲母	橙	普通	孔を有する鐳を巡らす 無文	KB 3 e2⑨1043層	5%
360	縄文土器	小形土器	-	4.1	-	長石・赤色粒子	にぶい赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KB 3 e2⑩	50%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
361	縄文土器	深鉢	[25.8]	(14.9)	-	長石・雲母	灰黄褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 地文は2段R単節縄文を施文	KB3 e3⑧x13・ 14・15層	15%
362	縄文土器	瓢箪形土器	[15.6]	(5.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・橋状把手を形成	KB3 e3⑩x24	10%
363	縄文土器	深鉢	[17.4]	(12.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に円形刺突文を充填	KB3 e5⑩	20%
364	縄文土器	深鉢	-	(22.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB3 e5⑤	20%
365	縄文土器	瓢箪形土器	[14.5]	(9.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成	KC2 a2⑥x8	10%
366	縄文土器	深鉢	[20.4]	28.8	[8.8]	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	沈線を巡らす 地文は多方向の2段R L単節 縄文を施文	KC2 a3⑤	40%
367	縄文土器	瓢箪形土器	-	(3.5)	-	長石・雲母・繊維	黒	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフ・橋状把手を形成	KC2 a3③	10%
368	縄文土器	器台	7.8	(1.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	外・内面ナデ	KC2 a3⑦x11	40%
369	縄文土器	深鉢	[26.6]	26.5	[8.2]	長石・石英	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り 消し帯を垂下 地文は1段L無節縄文を施文	KC2 a4⑥	30%
370	縄文土器	深鉢	[35.6]	(22.3)	-	長石・石英	灰褐	普通	沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節 縄文を施文	KC2 a4⑥他	20%
371	縄文土器	小形土器	[9.9]	(10.0)	[5.7]	長石・石英・雲母	橙	普通	無文 外・内面ナデ 波頂部に円窓	KC2 a4⑩	40%
372	縄文土器	特殊土器	[15.0]	(7.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部無文 橋状把手 以下に櫛歯状工具による 条線文を施文	KC2 a5⑭	5%
373	縄文土器	台付鉢	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	地文は2段R L単節縄文を施文	KC2 b2⑥x11	5%
374	縄文土器	台付鉢	-	(4.0)	[5.8]	長石・石英	赤褐	普通	無文 外・内面ナデ	KC2 b2⑧411層	5%
375	縄文土器	深鉢	[25.8]	(18.1)	-	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	沈線文を巡らす 地文は2段R L単節縄文を 施文	KC2 b5⑩	20%
376	縄文土器	特殊土器	[8.3]	(6.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯で橋状把手を形成 微隆帯を垂下 微隆帯 間を磨り消す 地文は2段L R単節縄文を施文	KC2 b5⑭x14	10%
377	縄文土器	特殊土器	[10.4]	(9.1)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	隆帯で橋状把手を形成 地文は2段L R単節 縄文を施文	KC2 c3④	10%
378	縄文土器	小形土器	[2.4]	(1.9)	2.2	石英	にぶい橙	普通	無文 外・内面ナデ	KC2 a5③	90%
379	縄文土器	深鉢	[17.9]	(15.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	沈線文を巡らす 地文は2段R L単節縄文を 施文 2方向からの穿孔 孔径0.3~0.7cm	KC2 c5⑫	15%
380	縄文土器	特殊土器	[11.6]	(11.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部無文 橋状把手 以下に櫛歯状工具による 条線文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.3~0.7cm	KC2 c5⑧298層	15%
381	縄文土器	台付鉢	-	(4.8)	6.4	長石・石英	浅黄橙	普通	2段R L単節縄文を施文 台部無文 外・内 面ナデ	貝層表土	10%
382	縄文土器	蓋	[11.2]	1.7	-	長石・雲母	にぶい黄褐	普通	周縁に隆帯を巡らす 橋状把手を形成 外・ 内面ナデ	貝層表土	30%
383	縄文土器	器台	-	(7.8)	[21.8]	長石	にぶい褐	普通	外・内面ナデ 円窓を有する	貝層表土	10%
384	縄文土器	深鉢	[30.6]	(21.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り 消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC3 b1⑭	15%
385	縄文土器	深鉢	[26.0]	(11.3)	-	長石・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は2段L R単節縄文を施文	KB3 a2⑦	10%
386	縄文土器	深鉢	[25.4]	32.3	[9.6]	長石・石英	褐灰	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB3 d2⑬	30%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP1	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	2本2組による4本単位の櫛歯文を間隔をあけて 横位施文	KA2 d5	
TP2	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒	普通	木目状捺糸文を施文	KA2 d5 x5	
TP3	縄文土器	深鉢	-	(25.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	木目状捺糸文・棒状工具による沈線文を横位 施文	KA2 e3	
TP4	縄文土器	深鉢	-	(13.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA2 e3	
TP6	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文 2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KA2 e3	
TP8	縄文土器	深鉢	-	(20.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	木目状捺糸文・2段R L単節縄文を施文	KA3 e2	
TP9	縄文土器	深鉢	-	(23.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	1段L・R無節縄文を羽状構成に施文	KA3 e2 他	
TP10	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部無文 括れ部に交互刺突による連続コ の字状文を施す 地文は縦位の捺糸文を施文	KA3 e2 x4	
TP11	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KA3 e2 x15	
TP12	縄文土器	深鉢	-	(18.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2本単位の櫛歯文を鋸歯状に横位・重層施文	KA3 e2 x16 x15	
TP13	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒	普通	口唇部押捺 外・内面条痕文	KA3 e2 x15	
TP14	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の平行沈線文を断続的に横位施文 2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KA3 e2 x18	
TP15	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	斜め格子状の沈線文 2本単位の櫛歯文を密 に横位施文	KA3 e2 KA3 e2	
TP16	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	2本単位の櫛歯文をコンパス文状に横位施文	KA3 e2	
TP18	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	6本単位の密な櫛歯文を微波状に横位施文	KA3 e2	
TP19	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	平行沈線文を断続的に横位施文	KA3 e2 x21	
TP20	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	縦・横位の沈線文を施文 外・内面条痕文	KA3 b1	
TP21	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	捺糸文を施文	KA3 b2 x2	
TP22	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KA3 b2	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP23	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	細い隆帯上に刻み目 細かい斜行沈線文を施文	KA 2 e2	x2
TP24	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	3本単位の平行沈線文を施文 ボタン状の貼付文	KA 2 e4	
TP25	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	3本単位の櫛歯文を鋸歯状に横位・重層施文 波頂部にボタン状の貼付文	KA 2 e4	x4・5
TP26	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐色	普通	半截竹管状工具による平行沈線文 2段 R・L・R 単節縄文を羽状構成に施文	KA 2 e4	x8
TP27	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	三日月状の爪形文を施文	KA 2 e4	
TP28	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	口縁部下位に鐙状の隆帯を巡らす 地文は2段 R・L 単節縄文を施文	KA 2 e4	x5
TP29	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	木目状燃糸文を施文	KA 2 e4	
TP30	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐色	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 2 e4	
TP31	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	木目状燃糸文施文 指頭による粗いナデ	KA 2 e4	
TP32	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	石英・雲母・繊維	にぶい橙褐色	普通	単軸絡糸体第4類・網目状燃糸文を施文	KA 2 e4	
TP33	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	石英・雲母・繊維	にぶい褐色	普通	付加糸縄文を羽状構成に施文	KA 2 e4	
TP34	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 c1	x6
TP35	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	1・2本単位の櫛歯文を微波状・コンパス文状に横位・重層施文	KA 3 c1	
TP36	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	2段 R・L 単節縄文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.3~0.7cm	KA 3 c1	x3
TP37	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	3本単位の櫛歯文を縦位に間隔をあけて施文	KA 3 c1	
TP38	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	5本単位の密な櫛歯文を横位施文	KA 3 c1	x10
TP39	縄文土器	浅鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を直状・コンパス文状に横位・重層施文	KA 3 c1	
TP40	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2本2組の4本単位の櫛歯文を微波状に縦・横・斜位施文	KA 3 c2	118層
TP41	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	燃糸文を施文	KA 3 c2	
TP42	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	2段 L・R・R 単節縄文を羽状構成に施文 2方向からの穿孔 孔径0.9~1.0cm	KA 3 c2	123層
TP43	縄文土器	深鉢	-	(18.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐色	普通	2段 R・L・L・R 単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 c3	
TP44	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	雲母・繊維	褐色	普通	1段 L・R 無節縄文を羽状構成に施文	KA 3 c3	
TP45	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	縄文側面圧痕文・細かい斜行沈線文を施文	KA 3 c3	x3
TP46	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	石英・雲母・繊維	にぶい橙褐色	普通	縦・横位の沈線文と円形刺突文を施文 内面条痕文	KA 3 c3	x3
TP47	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	半截竹管状工具による2段の刺突文 2段 L・R・R 単節縄文を羽状構成に施文 S字状結節文	KA 2 e5	
TP48	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	三日月状の爪形文を施文	KA 2 e5	x8
TP49	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	竹管状工具による2段の刺突文 3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位施文	KA 2 e5	334層
TP50	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	石英・雲母・繊維	黒褐色	普通	半截竹管状工具による3段の結節沈線文を巡らす 2段 R・L 単節縄文を施文	KA 2 e5	x13
TP51	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	肋のある貝殻の腹縁文を横位・重層施文	KA 2 e5	x13
TP52	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	幾何学的に沈線文を施文 内面条痕文	KA 2 e5	x9
TP53	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	石英・雲母・繊維	明褐色	普通	燃糸文を施文	KA 2 e5	
TP54	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 2 e5	x12
TP55	縄文土器	深鉢	-	(16.6)	-	石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 2方向からの穿孔 孔径0.5~1.5cm	KA 3 d1	
TP56	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 2方向からの穿孔 孔径0.6~1.1cm	KA 3 d1	
TP57	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d1	
TP58	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	石英・雲母・繊維	褐色	普通	木目状燃糸文を施文	KA 3 d1	
TP59	縄文土器	深鉢	-	(15.4)	-	石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 以下に縦位の櫛歯文・燃糸文を施文	KA 3 d1	
TP60	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	石英・雲母・繊維	橙褐色	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 d1	
TP61	縄文土器	深鉢	-	(21.0)	-	石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	木目状燃糸文を施文	KA 2 d4	
TP62	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	石英・雲母・繊維	灰褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 2 d4	
TP63	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 2 d4	320・327層
TP64	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	暗褐色	普通	4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文	KA 2 d4	325層
TP65	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	口唇部押捺 1段 R 無節縄文を縦位に施文	KA 2 d4	327層
TP66	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐色	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 2 d4	
TP67	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐色	普通	3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文	KA 2 d4	339層
TP68	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2段 L・R 単節縄文を施文	KA 3 d2	PL51
TP69	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KA 3 d2	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP70	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 d2	
TP71	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	2段R L単節縄文を施文	KA 3 d2	
TP72	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文 2段L R単節縄文を施文	KA 3 d2	
TP73	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 d3 x7	
TP74	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	石英・雲母・繊維	黒	普通	捺糸文を施文	KA 3 d3 x7	
TP75	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	捺糸文を施文	KA 3 d3 x6・x7	
TP76	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	1段R無節縄文を縦位施文	KA 3 d3 x5	
TP77	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 d3 x7	
TP78	縄文土器	深鉢	-	(20.0)	-	石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	2本単位の櫛歯文を断続的に直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 d3	PL51
TP79	縄文土器	深鉢	-	(17.1)	-	石英・雲母・繊維	橙	普通	捺糸文を施文	KA 3 d3	
TP80	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	半截竹管状工具による平行沈線文 2段L R単節縄文を施文	KA 3 d3	
TP81	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	1段L・R無節縄文を羽状構成に施文	KA 3 d3	
TP82	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・繊維	にぶい褐	普通	斜め格子状の沈線文を施文	KA 3 d3 x7	
TP83	縄文土器	深鉢	-	(16.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA 2 b4	
TP84	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	細い隆帯上に刻み目 沈線文を施文 内面条痕文	KA 2 b4 x4	
TP85	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA 2 b5	
TP86	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・繊維	明赤褐	普通	捺糸文を施文	KA 2 c4 x3	
TP87	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	捺糸文を施文	KA 2 c4 x3	
TP88	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・繊維	黒褐	普通	口唇部押捺 外・内面条痕文	KA 2 c4 x5	
TP89	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	無文 2方向からの穿孔3か所 孔径0.3~0.6cm	KA 2 c4 x4	
TP91	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 2 c4 x3・4他	
TP92	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	外・内面条痕文	KA 2 c4	
TP93	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文・竹管状工具による円形刺突文を施文 内面条痕文	KA 2 c4 x4	
TP94	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	細隆起線文を施文 内面条痕文	KA 2 c4 x6	
TP95	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	捺糸文を施文	KA 2 c4	
TP96	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KA 2 c5	
TP97	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	斜め格子状の沈線文を施文	KA 2 c5	
TP98	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3・4本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文	KA 2 c5	
TP99	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を直状に施文後、斜め格子状の沈線文を施文	KA 3 d4	
TP100	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA 3 d4	
TP101	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・雲母・繊維	にぶい褐	普通	4本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 d4 x4	
TP102	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	石英・雲母・繊維	灰褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 d4 x8	
TP103	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・雲母・繊維	明赤褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d4 x2・4, x2	
TP104	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	捺糸文を施文	KA 3 d4	
TP105	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	細い隆帯上に刻み目 細かい斜行沈線文・縄文側面圧痕を施文	KA 3 d4 x3	
TP106	縄文土器	深鉢	-	(15.5)	-	石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状・大波状に横位・重層施文	KA 3 e1	
TP107	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	石英・雲母	にぶい黄褐	普通	半截竹管状工具による重弧線文を施文 蛇行する隆帯を垂下 口縁部内面に突帯を巡らす	KA 3 e1	
TP108	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 e1	
TP109	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	石英・雲母	黒褐	普通	隆帯で横位区画 交互衝突による連続口の字状文 沈線に沿った隆帯で波状のモチーフを描出	KA 3 e1	
TP110	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・雲母・繊維	明赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 地文は2段R L単節縄文を施文	KA 3 e1	
TP111	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	半截竹管状工具による結節を断続的に加えた平行沈線文を直状・鋸歯状に施文	KA 3 e1 x12	
TP112	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 e1	
TP113	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を縦横に施文	KA 3 e1	
TP114	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 e1 x14	
TP115	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の平行沈線文を断続的に横位施文 2段R L単節縄文を施文	KA 3 e1 x4	
TP116	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	斜め格子状の沈線文を施文	KA 3 e1 x15	
TP118	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の平行沈線文を断続的に横位施文 1段L・R無節縄文を羽状構成に施文	KA 3 e1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP119	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の櫛歯文で円形のモチーフを描出	KA 3 e1	
TP120	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	肋のある貝殻の腹縁による波状文を横位・重層施文	KA 3 e1 x11	
TP121	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	細い隆帯上に刻み目 細かい斜行沈線文・縄文側面圧痕を施文	KA 3 e1 x6	
TP122	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 e3	
TP123	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	木目状捺糸文を羽状構成に施文	KA 3 e3	
TP124	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	4本単位の櫛歯文で鋸歯状・渦巻状のモチーフを描出	KA 3 e3	PL51
TP125	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	細かい斜行沈線文・縄文側面圧痕を施文	KA 3 e3 x4	
TP126	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	2段LR単節縄文を施文	KA 3 e3	
TP127	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 e3	
TP128	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	1・2本単位の櫛歯文を斜め格子状に施文 2方向からの穿孔 孔径0.4-1.3cm	KA 3 e3	
TP129	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	肋のある貝殻の腹縁による縦方向の連続刺突文を横位・重層施文	KA 3 e3 x9	
TP130	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 e3	
TP131	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	7本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 e3	
TP132	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	網目状捺糸文 斜め格子状の沈線文を施文	KA 3 e3	
TP133	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	斜め格子状の沈線文を施文	KA 3 e3	
TP134	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	口唇部刻み目 沈線文・竹管状工具による円形刺突文を施文 内面条痕文	KA 3 e3 x2	
TP135	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・雲母・繊維	灰褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 e4	
TP136	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・繊維	褐灰	普通	2本単位の櫛歯文と2本単位の断続する櫛歯文を交互に横位・重層施文	KA 3 e4	
TP137	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・繊維	灰黄褐	普通	4本単位の櫛歯文を直状・X字状に施文	KA 3 e4 172層	
TP138	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・雲母・繊維	にぶい褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を縦・横・斜位に施文 地文は2段LR単節縄文を施文	KA 3 e4 x1	
TP139	縄文土器	深鉢	-	(15.9)	-	長石・石英・繊維	褐	普通	捺糸文を施文	KA 2 e5	
TP140	縄文土器	深鉢	-	(14.5)	-	長石・石英・繊維	にぶい褐	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 以下に3本単位の櫛歯文を微波状に施文	KA 3 d2	
TP141	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・繊維	橙	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d2	
TP142	縄文土器	深鉢	-	(16.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d2	
TP143	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	外・内面条痕文	KA 2 b4 x3	
TP144	縄文土器	深鉢	-	(15.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	4本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KA 3 d4	
TP145	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	太い1本の櫛歯文と細い3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA 3 d4	
TP146	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	斜位の細隆起線文 外・内面条痕文	KA 3 d4 x11	
TP147	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	細隆起線文で区画 区画内に矢羽根状の沈線文を施文 外・内面条痕文	KA 3 d4 x11	
TP148	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 e1	
TP149	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	口唇部押捺 捺糸文を施文	KA 3 e3	
TP150	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	2本単位の断続する櫛歯文を鋸歯状に横位・重層施文	KA 3 e3	PL51
TP151	縄文土器	深鉢	-	(3.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	口唇部押捺 細隆起線文を施文 内面条痕文	KA 3 b1 x6	
TP152	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	口唇部刻み目 細隆起線文で区画 区画内に沈線文を施文 外・内面条痕文	KA 3 e5	
TP153	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2段RL・LR単節縄文を羽状構成に施文	KA 3 e5	
TP154	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	細い隆帯で渦巻状のモチーフを描出 3本単位の櫛歯文を施文	KA 4 e1 x5	
TP155	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	木目状捺糸文を施文	KA 4 e1	
TP156	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	5~7本単位の櫛歯文・単軸絡条体第5類・網目状捺糸文を施文	KB 2 a2	
TP157	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	細い6本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 a2 349層	
TP158	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	捺糸文を施文 2方向からの穿孔2か所 孔径0.5-1.1cm	KB 2 a3	
TP159	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	暗赤褐	普通	斜め格子状の沈線文を施文	KB 2 a3 x5・6	PL51
TP160	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰赤	普通	竹管状工具による刺突列 2段RL・LR単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 a3	
TP161	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	断続する櫛歯文を横位・重層施文	KB 2 a3	
TP162	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	捺糸文を施文	KB 2 a3 x11	
TP163	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	6本単位の櫛歯文を横・斜位に施文	KB 2 a3 x12	
TP164	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	波頂部にボタン状の貼付文 2本単位の櫛歯文を横位・重層施文	KB 2 a3 x5	
TP165	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	3本単位の櫛歯文を横位・重層施文	KB 2 a3	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP166	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	隆帯と沈線で方形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段LR単節縄文を施文	KB2 a4	
TP167	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	隆帯と沈線で横位区画 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段LR単節縄文を縦位施文	KB2 a4	
TP168	縄文土器	深鉢	-	(15.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	付加条縄文を羽状構成に施文	KB2 a4	PL51
TP169	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	2段LR単節縄文を施文	KB2 a4 x10	
TP170	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・繊維	橙	普通	口唇部押捺 2段LR単節縄文を施文	KB2 a4 x12	
TP171	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・繊維	黒褐色	普通	竹管状工具による2段の刺突列 2段LR単節縄文を施文	KB2 a4 x12他	
TP172	縄文土器	深鉢	-	(29.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2段LR・RL単節縄文を羽状構成に施文	KB2 a4	PL51
TP173	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	竹管状工具による刺突文を施文	KB2 a4 x20, x13他	
TP174	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線を巡らす 2段LR・RL単節縄文を羽状構成に施文	KB2 a5	
TP175	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	沈線を巡らす 以下に縦位の条線文を密に施文	KB2 a5	
TP176	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB2 a5	
TP177	縄文土器	深鉢	-	(2.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	口縁部に隆帯を巡らす 隆帯上に縄文 半截竹管状工具による断続する平行沈線を横位施文	KB2 a5 x13	
TP178	縄文土器	深鉢	-	(20.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐色	普通	6～8本単位の櫛歯文を横・斜位に施文	KB2 a5	
TP179	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	4単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB2 a5	
TP180	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	木目状燃系文を施文	KB2 b1 426層	
TP181	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	口縁部に隆帯を巡らす 以下に2～5本単位の櫛歯文を微波状・曲線状に施文	KB2 b2	
TP182	縄文土器	深鉢	-	(18.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	3～5本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 以下に燃系文を施文	KB2 b2 x3, x3	
TP183	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	5本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB2 b3 348層	
TP185	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐色	普通	細い6本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB2 b3 939層	
TP186	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	細い6本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB2 b3 351層	
TP187	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	半截竹管状工具による円形刺突文を縦位施文 地文は2段LR単節縄文を施文	KB2 b3 351層	
TP188	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐色	普通	半截竹管状工具による肋骨文を施文	KB2 b3 939層	
TP189	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB2 b4	
TP190	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB2 d4	
TP191	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	斜位回転の反燃の縄LLカ	KB2 b4	
TP192	縄文土器	深鉢	-	(15.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	燃系文を羽状構成に施文	KB2 b5 x33	
TP193	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB2 b5	
TP194	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	交互刺突による連続口の字状文 区画内に沈線を沿わせた磨り消し帯 地文は縦位の燃系文	KB2 b5 x7	
TP195	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位施文 地文は燃系文を施文	KB2 b5 314層	
TP196	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 2段LR単節縄文を施文	KB2 b5 143層	
TP197	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	口縁部無文 括れ部以下に条線文を施文	KB2 b5	
TP198	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐色	普通	2段RL単節縄文を施文	KB2 b5 x27	
TP199	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	交互刺突による連続口の字状文 以下に斜位の燃系文を施文	KB2 b5	
TP200	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	3本単位の沈線を垂下 地文は縦位回転の2段LR単節縄文を施文	KB2 b5	
TP201	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	密な条線文を縦位施文	KB2 b5	
TP202	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2段RL単節縄文を施文	KB2 b5 x25	
TP203	縄文土器	深鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線を巡らす 以下に短軸絡糸体第5類・網目状燃系文を施文	KB2 b5 314層	
TP204	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	木目状燃系文を羽状構成に施文	KB2 c1	
TP205	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	竹管状工具による円形刺突文を施文	KB2 c1	PL51
TP206	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	燃系文を施文	KB2 c1	
TP207	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	燃系文を施文	KB2 c1 425層	
TP208	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	燃系文を施文	KB2 c1	
TP209	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段RL単節縄文を施文	KB2 c2	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP210	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	暗赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 c 2 434層	
TP211	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	捺糸文を施文	KB 2 c 2	
TP212	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×15	
TP213	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・繊維	黒褐	普通	4本単位の断続する櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×8	
TP214	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×10	
TP215	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×9	
TP216	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×10	
TP217	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	半截竹管状工具による変形爪形文を施文 地文は捺糸文を施文	KB 2 c 2 ×5	
TP218	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	沈線を沿わせた隆帯を垂下 地文は縦位回転の2段 R L 単節縄文・捺糸文を施文	KB 2 c 2	
TP219	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	7本単位の櫛歯文を微波状 以下に肋のある貝殻の腹縁による波状文を横位・重層施文	KB 2 c 2 452層	PL51
TP220	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 2 452層	
TP221	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 2 451層	
TP222	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	C字状の沈線文を施文 外面捺痕文	KB 2 c 2 ×4	
TP223	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	付加条縄文を施文 以下に3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 c 2 ×13	
TP224	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を施文	KB 2 c 2 ×14	
TP225	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	太い2本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文 2本単位の櫛歯文を縦位施文	KB 2 c 3	PL51
TP226	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	2段 L R ・ R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 c 3	
TP227	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	口唇部押捺 2段 L R ・ R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 c 3	
TP228	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	交互刺突による連続コの字状文 地文は縦位回転の3段 L R L 複節縄文を施文	KB 2 c 3 ×9	
TP229	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	2本単位の櫛歯文を斜め格子状に施文	KB 2 c 3	
TP230	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	木目状捺糸文を施文	KB 2 c 3 ×24	
TP231	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 c 3 ×4	
TP232	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・繊維	にぶい褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 3 ×19	
TP233	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による2段の結節沈線文を巡らす 地文は2段 L R ・ R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 c 3	
TP234	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁部無文 密な捺糸文を縦位施文	KB 2 c 4	
TP235	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 c 4	
TP236	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	沈線を伴う棒状工具による円形刺突文を巡らす 以下に沈線を伴う磨り消し帯を波状に施文 地文は捺糸文	KB 2 c 4 ×20	
TP237	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	口唇部押捺 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 c 4 454層	
TP238	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	地文は0段多糸・前々段多糸カ	KB 2 c 4 454層	
TP239	縄文土器	深鉢	-	(16.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 c 4	
TP240	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2本単位の結節を加えた櫛歯文を横位・重層施文	KB 2 c 4 ×19	
TP241	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を施文	KB 2 c 4 423層	
TP242	縄文土器	深鉢	-	(14.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	斜位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 c 5 ×10	
TP243	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	縦位回転の前々段多糸 R L を施文	KB 2 c 5	
TP244	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線文を巡らす 地文は2段 R L ・ L R 単節縄文を羽状構成に施文 2方向からの穿孔 孔径0.4~0.5cm	KB 2 c 5 ×27	
TP245	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	外・内面捺痕文	KB 2 c 5 ×33	
TP246	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・波状に施文 2方向からの穿孔 孔径0.7~1.1cm	KB 2 c 5 ×27	
TP247	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2・3本単位の沈線を直状・蛇行状に垂下 地文は密な捺糸文を施文	KB 2 c 5 ×21	
TP248	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	密な捺糸文を施文	KB 2 c 5 ×13	
TP249	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐灰	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 c 5 ×27	
TP250	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文を垂下 斜行沈線文を施文 外・内面捺痕文	KB 2 c 5 ×24	
TP251	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	細い隆帯上に刻み目 細かい斜行沈線文・縄文側面圧痕を施文	KB 2 c 5 ×28	
TP253	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	肋のある貝殻の背圧痕文を施文	KB 2 d 1	
TP254	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	1・2本単位の結節を加えた櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 d 2	PL51
TP255	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は2段 R L 単節縄文を施文 S字状結節文	KB 2 d 2	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP256	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d2	
TP257	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段 R L 複節縄文を施文	KB 2 d2	
TP258	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	2本単位の櫛歯文を斜め格子状に施文	KB 2 d2	
TP259	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	木目状燃糸文を施文	KB 2 d2	
TP260	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	半截竹管状工具による肋骨文を施文	KB 2 d2	
TP261	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 地文は2段 L R・R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 d2	
TP262	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	木目状燃糸文を施文	KB 2 d2	x7
TP263	縄文土器	深鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 地文は2段 L R 単節縄文を施文	KB 2 d2	x5
TP264	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の3段 R L R 複節縄文を施文	KB 2 d3	x8
TP265	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	2段 L R 単節縄文を施文	KB 2 d3	
TP266	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモチーフを描出 燃糸文を施文	KB 2 d3	x4
TP267	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	口唇部押捺 2本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 d3	x12
TP268	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石	黒褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に横位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d3	509層
TP269	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文を巡らす 地文は縦位の糸線文を施文	KB 2 d3	423層
TP270	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	口唇部刻み目 2本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 d3	430層
TP271	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	交互刺突による連続口の字状文・沈線文を巡らす 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 2 d3	x3
TP272	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口唇部押捺 斜行沈線文を施文	KB 2 d3	x10
TP273	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	3本単位の櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB 2 d3	455 a層
TP274	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d3	430層
TP275	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2段 L R 単節縄文を施文	KB 2 d2	
TP276	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	竹管状工具による2段の刺突文を巡らす 地文は2段 L R・R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 d2	
TP277	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の3段 R L R 複節縄文を施文	KB 2 d4	
TP278	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	
TP279	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	
TP280	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に横位回転の2段 L R 単節縄文を施文	KB 2 d4	
TP281	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	
TP282	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を巡らす 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 2 d4	x16
TP283	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	口縁部無文 括れ部に交互刺突による連続口の字状文・沈線文を巡らす	KB 2 d4	
TP284	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 d4	x27
TP285	縄文土器	深鉢	-	(2.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	x25
TP286	縄文土器	深鉢	-	(16.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	
TP287	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d4	x25
TP288	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を直状に縦位施文	KB 2 d4	
TP289	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	単軸絡糸体第5類・網目状燃糸文を施文	KB 2 d4	x22
TP290	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 d5	
TP291	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒	普通	半截竹管状工具による平行沈線文・C字状の爪形文を巡らす 地文は燃糸文カ	KB 2 d5	x24
TP292	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	円形刺突文を巡らす 2本単位の櫛歯文を縦・横位施文 地文は2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d5	
TP293	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	口唇部押捺 地文は2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d5	x34
TP294	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 地文は2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d5	x29
TP295	縄文土器	深鉢	-	(19.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 半截竹管状工具による縦位の糸線文を施文	KB 2 d5	他
TP296	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線に沿った磨り消し帯を巡らす 横5字状のモチーフを描出 2段 R L 単節縄文を施文	KB 2 d5	x15
TP297	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモチーフを描出 燃糸文を施文	KB 2 d5	x17
TP298	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 d5	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP299	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 2段R L単節縄文を施文 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KB 2 e1	
TP300	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に櫛歯状工具による条線文を施文	KB 2 e1	
TP301	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	沈線で楕円形区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1	
TP302	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e1	
TP303	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2 他	
TP304	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の前後多糸R Lを施文	KB 2 e2	
TP305	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP306	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・円形のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP307	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	沈線で楕円形区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯・蛇行沈線文を垂下 前々段多糸R Lを施文	KB 2 e2 423層	
TP308	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	4本単位の櫛歯文と3本単位の断続する櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 e2 x14	
TP309	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本の沈線を巡らす 地文は横位回転の3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e2 x4	
TP310	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に施文	KB 2 e2 x13	
TP311	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2本単位の断続する櫛歯文を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2 x14	
TP312	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	半截竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e2 x9	
TP313	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2 x1	
TP314	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP315	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2段R L単節縄文を施文 S字状結節文	KB 2 e2	
TP316	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 e2	
TP317	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP318	縄文土器	深鉢	-	(13.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	擦糸文を施文	KB 2 e2	
TP320	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	沈線を伴うY字状の磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e3	
TP321	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e3	
TP322	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	1本の沈線を縦・横位に巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を曲線状に施文 地文は密な条線文を施文	KB 2 e3	
TP323	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で方形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e3	
TP324	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	半截竹管状工具による3段の結節沈線文を巡らす 以下に同工具による鋸歯状の結節沈線文を充填	KB 2 e3 x14	
TP325	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	1本の沈線文を巡らす 無文	KB 2 e3 x9	
TP326	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	無文 外面粗いナデ	KB 2 e3 x11	
TP327	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	沈線で円形・楕円形区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KB 2 e3	
TP328	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	隆帯と沈線で方形区画・渦巻状のモチーフを形成	KB 2 e3	
TP329	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	隆帯と沈線で円形・楕円形区画を形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP330	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	擦糸文を施文	KB 2 e3 x15	
TP331	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐色	普通	竹管状工具による円形刺突文を巡らす 以下に1・2本単位の櫛歯文を直状・波状に横位・重層施文	KB 2 e3 x19	
TP332	縄文土器	深鉢	-	(5.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	口唇部刻み目 細隆起線文で区画 区画内に斜行沈線文を施文 外・内面条痕文	KB 2 e3 x25	
TP333	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	沈線を伴う棒状工具による円形刺突文を巡らす 地文は縦位の擦糸文を施文	KB 2 e3 x14	
TP334	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e3 x24	
TP335	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐色	普通	2本単位の櫛歯文を格子目状に施文	KB 2 e3 x13	
TP336	縄文土器	深鉢	-	(3.9)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	半截竹管状工具による2段の結節沈線文を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3 x10	
TP337	縄文土器	深鉢	-	(2.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 斜行沈線文を施文 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3 x23	
TP338	縄文土器	深鉢	-	(18.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP339	縄文土器	深鉢	-	(16.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯 蛇行沈線文を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP340	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP341	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP342	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 半截竹管状工具による縦位の条線文を施文	KB 2 e3 x15, x18	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徵ほか	出土位置	備考
TP343	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP344	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e3	
TP345	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線で区画 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP346	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	半截竹管状工具による沈線文を垂下	KB 2 e3	
TP347	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	半截竹管状工具によるコンパス状文を巡らす 地文は2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e3 x6	
TP348	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段L R単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP349	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	隆帯を巡らす 地文は粗い条線文を施文	KB 2 e3 x13	
TP350	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 半截竹管状工具による縦位の条線文を施文	KB 2 e3 x2	
TP351	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	結節文カ	KB 2 e3 x18	
TP352	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	鋸歯状の縄文側面圧痕文を施す	KB 2 e3 x18	
TP353	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e3	
TP354	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e3	
TP355	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KB 2 e3 x19	
TP356	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	5本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 e2 x7	
TP357	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で区画 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2 x7	
TP358	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	2～4本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 e2 x14	
TP359	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	1段L無節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e2 x14	
TP360	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は1段L・R無節縄文を羽状構成に施文	KB 2 e4	PL51
TP361	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	捺糸文を施文	KB 2 e4	
TP362	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・横位回転の3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e4	
TP363	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段R L R複節縄文を施文	KB 2 e4	
TP364	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	2本単位の櫛歯文を鋸歯状に施文	KB 2 e4 x32	
TP365	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	縦位の条線文を施す 口縁部内面に突帯を巡らす	KB 2 e4 x6	
TP366	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	捺糸文を施文	KB 2 e4	
TP367	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KA 2 e4	
TP368	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 前々段多糸L Rを施文	KB 2 e5	
TP369	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 2 e5	
TP370	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 2 e5	
TP371	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦位の捺糸文を施文	KB 2 e5	
TP372	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文 以下に肋のある貝殻の腹縁文を雑に施文	KB 2 e5 x31	
TP373	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	縦位回転の1段R無節縄文を施文	KB 3 a1	
TP375	縄文土器	深鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	竹管状工具による円形刺突文・結節沈線文を垂下 沈線文を放射状に施文	KB 3 a1 ~	
TP376	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細かい条線文を垂下	KB 3 a1	
TP377	縄文土器	深鉢	-	(17.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KB 3 a2	
TP378	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で方形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に横位回転の3段L R L複節縄文を施文	KB 3 a2	
TP379	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	2段L R・R L単節縄文を羽状構成に施文	KB 3 a2 x6	
TP380	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を雑に施文	KB 3 a2 234層	
TP381	縄文土器	深鉢	-	(2.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 地文は捺糸文を施文	KB 3 a2 228層	
TP382	縄文土器	深鉢	-	(2.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文・指頭による刺突を加えた隆帯を巡らす	KB 3 a2 228層	
TP383	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	貝殻の腹縁文を波状に横位・重層施文	KB 3 a1 ~	
TP384	縄文土器	深鉢	-	(2.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒	普通	半截竹管状工具による斜行する平行沈線文を施文 地文は捺糸文を施文	KB 3 a2 228層	
TP385	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	肋のある貝殻の腹縁文を雑に施文	KB 3 a3 x20	
TP386	縄文土器	深鉢	-	(17.7)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 a4 170層	
TP387	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を波状・曲線状に施文	KB 3 a4	
TP388	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	4本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位施文	KB 3 a4	PL51

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP389	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文・磨り消し帯で弧状のモチーフを描出 2段RL単節縄文を施文	KB3 a4	
TP390	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	捺糸文を施文	KB3 a4	
TP391	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画を形成	KB3 a4	
TP392	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・横位回転の2段RL単節縄文を施文	KB3 a4	
TP393	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	2段LR・RL単節縄文を羽状構成に施文	KB3 a4 173層	
TP394	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を多方向に施文	KB3 a4 914層	
TP395	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 以下に粗いナデ	KB3 a4	
TP396	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	縦位回転の1段R無節縄文を施文	KB3 a4	
TP397	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KB3 a4	
TP398	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の結節を加えた櫛歯文を直状・波状に横位施文	KB3 a4 171層	
TP399	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	微隆起線文上に刻み目 竹管状工具による円形刺突文を施文 外・内面条痕文	KB3 a4 173層	
TP400	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB3 a5	
TP401	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文 以下に2本単位の断続する櫛歯文を直状に横位・重層施文	KB3 a5 x7	
TP402	縄文土器	深鉢	-	(20.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 2方向からの穿孔 孔径0.8~1.2cm	KB3 b1	
TP403	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	4~6本単位の櫛歯状工具による条線文を垂下	KB3 b1 x6	
TP404	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	2本単位の沈線で直状・渦巻状のモチーフを描出 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KB3 b1 x2	
TP405	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に微隆帯による楕円形区画を形成 微隆帯間を磨り消す 2段LR単節縄文を施文	KB3 b1 x27	
TP406	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	多方向に1段R無節縄文を施文	KB3 b1	
TP407	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b1 x27	
TP408	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は段LR L複節縄文を施文	KB3 b1 x7	
TP409	縄文土器	深鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	斜行沈線文・蕨手状の縄文側面圧痕文を施文	KB3 b1 x25	
TP410	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	無文 2方向からの穿孔 孔径0.9~1.1cm	KB3 b1 x29	
TP411	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	細隆起線文を施文 内面条痕文	KB3 b1 x26	
TP412	縄文土器	深鉢	-	(3.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 竹管状工具による円形刺突文・平行沈線文を施文	KB3 b1 x23	
TP413	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	隆帯と半截竹管状工具による結節を加えた平行沈線文を巡らす 以下に弧状の平行沈線文を施文	KB3 b1 x25	
TP414	縄文土器	深鉢	-	(2.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす	KB3 b1 x14	
TP415	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b1	
TP416	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	押捺を加えた隆帯を巡らす 地文は縦位の捺糸文を施文	KB3 b1 x12	
TP417	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 2段LR・RL単節縄文を羽状構成に施文	KB3 b1 x25	
TP418	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・竹管状工具による円形刺突文を巡らす 地文は2段RL単節縄文を施文	KB3 b1 x23	
TP419	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を横位施文	KB3 b1 x18	
TP420	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b1 x27	
TP421	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を縦・横位に施文	KB3 b1 x29	
TP422	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を格子目状に施文	KB3 b1 x28	
TP423	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 以下に肋のある貝殻の腹縁文を施文	KB3 b1 x17	
TP424	縄文土器	深鉢	-	(2.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす	KB3 b1 x15	
TP425	縄文土器	深鉢	-	(13.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	口唇部押捺 縦位回転の2段LR単節縄文を施文	KB3 b2	
TP426	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	無文帯下位に2本の沈線を巡らす 地文は縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KB3 b2 x18	
TP427	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本の沈線を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 区画内に櫛歯状工具による条線文を施文	KB3 b2	
TP428	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす 2段RL・L単節縄文を羽状構成に施文	KB3 b2 209層	
TP429	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位施文	KB3 b2 x29・32	
TP430	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2本単位の櫛歯文を格子目状に施文	KB3 b2 209層	
TP431	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	口唇部刻み目 外・内面条痕文 2方向からの穿孔 孔径0.4~1.3cm	KB3 b2	
TP432	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	細い隆帯上に刻み目 細かい斜行沈線文・縄文側面圧痕を施文	KB3 b2 209層	
TP433	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 地文は横位回転の2段RL単節縄文を施文	KB3 b2 x20	
TP434	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	口縁部に隆帯を巡らす 隆帯上に縄文 半截竹管状工具による平行沈線文を横位施文	KB3 b2 209層	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP435	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	波頂部に刻み目を加えたボタン状の突起 半 截竹管状工具による結節沈線文を巡らす	KB 3 b2 ×21	
TP436	縄文土器	深鉢	-	(2.6)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・平行沈線 文を巡らす	KB 3 b2 ×17	
TP437	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯で曲線状のモチーフを 描出 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b2	
TP438	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	微隆帯で区画 区画内に2段R L単節縄文を 施文	KC 3 b2	
TP439	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線で弧状のモチーフを描出 地 文は櫛歯状工具による縦位の条線文を施文	KB 3 b2	
TP440	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b2 ×15・ 17	
TP441	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモ チーフを描出 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 3 b2	
TP442	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と無文帯の以下に3本単位の沈線文を巡ら す 地文は縦位回転の前々段多条R Lを施文	KB 3 b2	
TP443	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位 施文	KB 3 b2 ×30	
TP445	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・鋸歯状の 平行沈線文を巡らす 円形刺突文を施文	KB 3 b2 20層	
TP446	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	1段L無節縄文・S字状結節文を施文	KB 3 b2 ×32他	
TP447	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	幾何学的な細隆起線文を施文 外・内面条痕 文	KB 3 b2 234層	
TP448	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を施文 地文 は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 3 b2 209層	
TP449	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×16	
TP450	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b3 ×3	
TP451	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×3	
TP452	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	明黄褐	普通	縦位回転の1段L無節縄文を施文	KB 3 b3 ×3	
TP453	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×10	
TP454	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×3	
TP455	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に縦位回転のS字状結節 文・2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×14	
TP456	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b3 ×5	
TP457	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地 文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3 ×5	
TP458	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地 文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b3	
TP459	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	3本単位の沈線文で方形区画を形成 地文は 縦位回転の前々段多条R Lを施文	KB 3 b3	
TP460	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	沈線による楕円形区画 区画内に5本単位の 櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KB 3 b3 ×3	
TP461	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 3 b3 ×24	
TP462	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細い隆帯と半截竹管状工具による平行沈線文 を巡らす	KB 3 b3	
TP463	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフ を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB 3 b4	
TP464	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b4	
TP465	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	交互衝突による連続コの字状文を巡らす 沈 線文で曲線状のモチーフを描出 地文は2段 L R単節縄文を施文	KB 3 b4	
TP466	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文で弧状のモチーフを描出 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 3 b4	
TP467	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB 3 b4 18層	
TP468	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に沈線文を巡らす 地文は 縦位の燃糸文を施文	KB 3 b4	
TP469	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形 成 区画内に横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b4	
TP470	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の櫛歯文を曲線状に施文	KB 3 b4 ×16	
TP471	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を直状・鋸歯 状に施文 地文は横位回転の1段R無節縄文を施文	KB 3 b4 205層	
TP472	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	暗褐	普通	沈線文と円形刺突文を巡らす 2本単位の沈 線文を垂下	KB 3 b4 ×7	
TP473	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	沈線に伴う半截竹管状工具による円形刺突文 を巡らす 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 3 b4 ×1	
TP474	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を巡らす	KB 3 b4 ×10	
TP475	縄文土器	深鉢	-	(2.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐灰	普通	幾何学的な細隆起線文を施文 内面条痕文	KB 3 b4 ×14	
TP476	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 b4	
TP477	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯・蛇行沈線文を 垂下 地文は縦位回転の2段L R単節縄文を施文	KB 3 b4 ×2	
TP478	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	3本単位の沈線文で弧状のモチーフを描出 地文は縦位の燃糸文を施文	KB 3 b4	
TP479	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線文を巡らす 地文は縦位の燃 糸文を施文	KB 3 b4	
TP480	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による斜位の平行沈線文・横 位の結節沈線文 以下に付加条線文を施文	KB 3 b4	
TP481	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	棒状工具による刺突文を横位・重層施文	KB 3 b4	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP482	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	3本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文 2方向からの穿孔 孔径0.5~1.2cm	KB3 b4	
TP483	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2・3本単位の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 b4	
TP484	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	沈線による方形区画 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 b4 x4	
TP486	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	1段R・L無節縄文を羽状構成に施文	KB3 b4 x14	
TP487	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	隆帯を垂下 左右に竹管状工具による刺突文を施文 外・内面条痕文	KB3 b4 x19	
TP488	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	細い隆帯上に刻み目 刺突文・縄文側面圧痕文・1段R無節縄文を施文	KB3 b4 x18	
TP490	縄文土器	瓢箪形土器	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	黄灰	普通	微隆帯による曲線状のモチーフを描出	KB3 b4 x4	
TP491	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを描出 地文は2段L・R単節縄文を施文	KB3 b5 x7	
TP492	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b5 x12	
TP493	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R・L単節縄文を施文	KB3 b5 x3	
TP494	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	棒状工具による交互刺突文を巡らす 2本単位の沈線文を垂下 地文は2段R・L単節縄文を施文	KB3 b5 x8	
TP495	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KB3 b5 x7	
TP496	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	棒状工具による2段の円形刺突文 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段L・R・L複節縄文を施文	KB3 b5 x3	
TP497	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を直状・鋸歯状に横位施文	KB3 b5 x3	
TP498	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 b5 x3	
TP499	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b5 x6	
TP500	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	櫛歯状工具による集合沈線文 縄文側面圧痕文を施文	KB3 b5 x9	
TP501	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・細い隆帯を巡らす	KB3 b5 x13	
TP502	縄文土器	深鉢	-	(12.1)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 b5 x6	
TP503	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 b5 x4	
TP504	縄文土器	深鉢	-	(7.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	捺糸文を施文	KB3 b5 x8	
TP505	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細い隆帯上に刻み目 2段L・R・R・L単節縄文を羽状構成に施文	KB3 b5 x3	
TP506	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	竹管状工具による円形刺突文 捺糸文を施文	KB3 b5 x3	
TP507	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	3本単位の沈線文で弧状のモチーフを描出 地文は縦位の捺糸文を施文	KB3 b5 x4	
TP508	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	竹管状工具による刺突文を施文	KB3 b5 x6	
TP509	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を雑に施文	KB3 b5 x8	
TP510	縄文土器	深鉢	-	(14.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	棒状工具による交互刺突文を巡らす 2本単位の沈線文を垂下 地文は2段L・R単節縄文を施文	KB3 c1 KB3 c1	
TP511	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 2・3本単位の沈線文で楕円形区画を形成 区画内に縦位回転の前々段多糸R・Lを施文	KB3 c1	
TP512	縄文土器	深鉢	-	(15.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	口縁部無文 2本単位の沈線文で区画を形成 区画内に斜位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 c1	
TP513	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	木目状捺糸文を施文	KB3 c1	
TP514	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	縦位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 c1	
TP515	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	1段L無節縄文を施文	KB3 c1	
TP516	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	暗褐	普通	沈線で区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の付加条縄文を施文	KB3 c1 13層	
TP517	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に横位回転の3段L・R・L複節縄文を施文	KB3 c1 x18	
TP518	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB3 c1 209層	
TP519	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を直状・鋸歯状に横位施文 地文は斜位回転の2段R・L単節縄文を施文	KB3 c1 x26	
TP520	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい赤褐	普通	3・4本単位の櫛歯文を横位施文	KB3 c1 210層	
TP521	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	幾何学的な細隆起線文を施文 外・内面条痕文	KB3 c1 209層	
TP522	縄文土器	深鉢	-	(3.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文・円形刺突文 地文は横位回転の2段L・R単節縄文を施文	KB3 c1 234層	
TP523	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KB3 c1	
TP524	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段L・R・L複節縄文を施文	KB3 c1	
TP525	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 地文は櫛歯状工具による縦位の条線文を施文	KB3 c1	
TP526	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 地文は櫛歯状工具による縦位の条線文を施文	KB3 c1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP527	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	5本単位の櫛歯文を多方向に施文	KB3 c1 234層	
TP528	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	細隆起線文・斜行沈線文を施文 外・内面糸痕文	KB3 c1 209層	
TP529	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	暗赤褐	普通	半截竹管状工具による平行沈線文を縦・横位及び鋸歯状に施文 地文は捺糸文を施文	KB3 c1 209層	
TP530	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	櫛歯状工具による縦位の条線文を施文	KB3 c1 x1	
TP532	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	縦位回転の反燃の縄 L L カ	KB3 c2	
TP533	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 斜位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c2	
TP534	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に斜位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c2 x13	
TP535	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	口縁部無文 括れ部に連続刺突文を巡らす 以下に5本単位の櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KB3 c2 x1	
TP536	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の櫛歯状工具による重弧文を施文 口縁部内面に突帯を巡らす	KB3 c2	
TP537	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	付加条縄文を羽状構成に施文	KB3 c2	
TP538	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	無文 沈線文を巡らす	KB3 c2 x1	
TP539	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線で波状のモチーフを描出 地文は縦位回転の前々段多糸 R L を施文	KB3 c2	
TP540	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を波状に施文	KB3 c2 x25・29	
TP542	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	横位回転の1段 L 単節縄文・S字状結節文を施文	KB3 c2 x25	
TP543	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	2本単位の断続する櫛歯文を横位・重層施文	KB3 c2 x26	
TP544	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・斜行状に施文	KB3 c2 x27	
TP545	縄文土器	深鉢	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	縦・斜位の沈線文を施す 外・内面糸痕文	KB3 c2 x25	
TP546	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段 L R L 複節縄文を施文	KB3 c2	
TP547	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段 L R L 複節縄文を施文	KB3 c2 x3	
TP548	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	押捺を加えた隆帯を縦・横位に蛇行して貼付 地文は粗い条線文を施文	KB3 c2	
TP549	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の3段 L R L 複節縄文を施文	KB3 c2 x3	
TP550	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	2段 L R ・ R L 単節縄文を羽状構成に施文	KB3 c2	
TP551	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	突起を伴う注口部を有する 注口部下位の左右に4本単位の櫛歯文を斜位施文 2段 L R 単節縄文を施文	KB3 c2	
TP552	縄文土器	深鉢	-	(13.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを描出	KB3 c2 x7	
TP553	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線文を垂下 地文は縦位の捺糸文を施文	KB3 c2 x21	
TP554	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文・連続する弧状の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c2 x21	
TP555	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	6本単位の櫛歯状工具による条線文を蛇行して垂下	KB3 c2 x1	
TP556	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	横位回転の2段 R L 単節縄文 以下に肋のある貝殻の腹縁文を雑に施文	KB3 c2	
TP557	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KB3 c2 x9	
TP558	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP559	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文 2方向からの穿孔 孔径0.4~0.5cm	KB3 c3	
TP560	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 区画内に沈線を伴う隆帯を波状に巡らす 地文は2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP561	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に横位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c3 27層	
TP562	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 半截竹管状工具による刺突文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 L R 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP563	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に横位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP564	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・S字状のモチーフを形成	KB3 c3	
TP565	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段 L R 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP566	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KB3 c3	
TP567	縄文土器	深鉢	-	(3.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 地文は捺糸文を施文	KB3 c3 208層	
TP568	縄文土器	深鉢	-	(19.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線を巡らす 以下に櫛歯状工具による条線文を垂下	KB3 c3	
TP569	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	3本単位の沈線を巡らす 地文は縦位回転の2段 R L 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP570	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線による楕円形区画を形成 区画内に棒状工具による刺突文を施文 磨り消し帯を縦・横位に巡らす	KB3 c3	
TP571	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	無文帯以下に2本の沈線を巡らす 隆帯と沈線で楕円形区画を形成 2段 L R 単節縄文を施文	KB3 c3	
TP572	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 無文	KB3 c4 x1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP573	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP574	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP575	縄文土器	深鉢	-	(11.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	x3
TP576	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP577	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP578	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP579	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に櫛歯状工具による条線文を施文	KB3 c4	
TP580	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP581	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 太い沈線文・磨り消し帯を垂下 3段 L R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP582	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	太い斜行沈線文を垂下 口縁部内面に突帯を巡らす	KB3 c4	
TP583	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	6・7本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB3 c4	
TP584	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を縦・横位に巡らす 区画内に縦位の回転の3段 R L L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP585	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KB3 c4	
TP586	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	擦糸文を施文	KB3 c4	
TP587	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	無文 沈線文を巡らす	KB3 c4	x6
TP588	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	交互衝突による連続コの字状文を巡らす 2本単位の沈線文で弧状のモチーフを描出 地文は擦糸文を施文	KB3 c4	
TP589	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	明黄褐	普通	口唇部刻み目 半截竹管状工具による沈線文を弧状に施文	KB3 c4	
TP590	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成	KB3 c4	
TP591	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	刺突文を加えた3本単位の沈線文を巡らす 以下に横位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	x6
TP592	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文を巡らす 地文は擦糸文を施文	KB3 c4	x13
TP593	縄文土器	深鉢	-	(5.1)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	口唇部に刻み目 沈線文を巡らす 以下に櫛歯状工具による縦位の条線文を垂下	KB3 c4	x9
TP594	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	微隆帯を巡らす 2方向からの穿孔 孔径 0.5-1.2cm	KB3 c4	
TP595	縄文土器	深鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	変形爪形文を巡らす	KB3 c4	x12
TP596	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP597	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP598	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に多方向の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP599	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形・渦巻状の区画を形成 区画内に多方向の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP600	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	肋のある貝殻の腹縁文を波状に施文	KB3 c4	PL51
TP601	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線を巡らす 以下に櫛歯状工具による条線文を垂下	KB3 c4	
TP602	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線を巡らす 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c4	
TP603	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	4・5本単位の櫛歯文を曲線的に施文	KB3 c4	x12
TP604	縄文土器	深鉢	-	(2.2)	8.9	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	無文 底部木葉痕	KB3 c4	
TP605	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 c5	
TP606	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を波状に施文	KB3 c5	
TP607	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 c5	
TP609	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 d1	x32
TP610	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 R L単節縄文を施文	KB3 d1	
TP611	縄文土器	深鉢	-	(15.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段 L R単節縄文を施文	KB3 d1	
TP612	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	縦位回転の2段 L R単節縄文を施文	KB3 d1	x11他
TP613	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段 R L単節縄文を施文	KB3 d1	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP614	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 付加糸縄文を施文	KB3 d1	
TP615	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	4本単位の櫛歯文を曲線的に施文	KB3 d1	
TP616	縄文土器	深鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d2 x23	
TP617	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB3 d2	
TP618	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線文を縦・横位に巡らす 地文は燃糸文を施文	KB3 d2	
TP619	縄文土器	深鉢	-	(20.3)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線文を蛇行して垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d2	
TP620	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	太い斜行沈線文を垂下 括れ部に押捺を加えた隆帯を巡らす	KB3 d2	
TP621	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d2	
TP622	縄文土器	深鉢	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を波状に巡らす 地文は斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d2	
TP625	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d3	
TP626	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d3	
TP627	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d3	
TP628	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に縦位回転の前々段多糸L Rを施文	KB3 d3	
TP629	縄文土器	浅鉢	-	(5.8)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	外面無文 内2本の沈線を巡らす	KB3 d3	
TP630	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	肋のある貝殻の腹縁文を波状に施文	KB3 d3 x24	
TP631	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・円形刺突文を施文 地文は燃糸文を施文	KB3 d3 x15	
TP632	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を波状に巡らす 地文は燃糸文を施文	KB3 d3	
TP633	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成	KB3 d3	
TP634	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦位回転の3段L R L単節縄文を施文	KB3 d3	
TP635	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d3	
TP636	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の1段L無節縄文を施文	KB3 d3	
TP637	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の3段L R L単節縄文を施文	KB3 d3 x11	
TP638	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	縦位回転の1段R無節縄文を施文	KB3 d3	
TP640	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	沈線で渦巻状のモチーフを描出 赤彩	KB3 d3 x15	
TP641	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で区画を形成 隆帯上に刺突列 区画内に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d3 x11	
TP642	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	結節文カ	KB3 d3 x23	
TP643	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	半截竹管状工具による肋骨文を施文 地文は燃糸文を施文	KB3 d3 x14	
TP644	縄文土器	深鉢	-	(20.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段L R単節縄文を施文	KB3 d4	
TP645	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は燃糸文を施文	KB3 e2	
TP646	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d4	
TP647	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段L R単節縄文を施文	KB3 d4	
TP648	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB3 d4	
TP649	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成	KB3 d4	
TP650	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に沈線文・櫛歯状工具による糸線文を施文	KB3 d4	
TP651	縄文土器	深鉢	-	(4.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	橋状把手 沈線を巡らす	KB3 d4	
TP652	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	横位回転の1段L無節縄文・S字状結節文を施文	KB3 d4 x17	
TP653	縄文土器	深鉢	-	(13.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦・横位回転の3段R L R複節縄文を施文	KB3 d4	
TP654	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 地文は櫛歯状工具による糸線文を施文	KB3 d2 x14	
TP655	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d5	
TP656	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦・斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KB3 d5	
TP657	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・平行沈線文・円形刺突文を施文	KB3 d5 x1	
TP658	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい橙	普通	半截竹管状工具による2本単位の押し引き文を直状・波状に横位施文	KB3 e1 x37	
TP659	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	棒状工具による多方向の沈線文 2方向からの穿孔 孔径0.5~1.1cm	KB3 e1 x32	
TP660	縄文土器	深鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	口唇部刻み目 細隆起線文・沈線文を施文 外・内面糸痕文	KB3 e1 x37	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP661	縄文土器	深鉢	-	(7.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	擦糸文を施文	KB 3 e2	x31
TP662	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP663	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP664	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を波状に巡らす 地文は擦糸文を施文	KB 3 e3	
TP665	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	口縁部無文 以下に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP666	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を直状に巡らす 地文は擦糸文を施文	KB 3 e3	
TP667	縄文土器	深鉢	-	(8.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に楕円形の刺突文を施文	KB 3 e3	
TP668	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口縁部無文 以下に隆帯で区画を形成	KB 3 e3	
TP669	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP670	縄文土器	深鉢	-	(7.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	x21
TP671	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	黄褐色	普通	沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP672	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦・横位回転の3段R L R複節縄文を施文	KB 3 e3	
TP673	縄文土器	深鉢	-	(9.2)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP674	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	2本単位の沈線文を巡らす 地文は横位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	x24
TP675	縄文土器	深鉢	-	(19.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	2・3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP676	縄文土器	浅鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	黄褐色	普通	2本単位の沈線文を巡らす 渦巻状のモチーフを描出 以下無文	KB 3 e3	
TP677	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 以下無文	KB 3 e3	x22
TP678	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐色	普通	櫛歯状工具による横位の集合沈線文・肋のある貝殻の腹縁文を施文	KB 3 e3	x24
TP679	縄文土器	深鉢	-	(10.4)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 e4	
TP680	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	沈線による楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は前々段多糸R Lを施文	KB 3 e4	
TP681	縄文土器	深鉢	-	(16.4)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	沈線による楕円形区画を形成 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は前々段多糸R Lを施文	KB 3 e4	
TP682	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	明黄褐色	普通	隆帯と沈線で区画を形成 区画内に縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 a2	x9
TP683	縄文土器	深鉢	-	(16.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC 2 a3	
TP684	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC 2 a3	
TP685	縄文土器	深鉢	-	(9.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 a3	447層
TP686	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の3段R L R複節縄文を施文	KC 2 a4	
TP687	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	黄褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 a5	474層
TP688	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画を形成	KC 2 a5	x21
TP689	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐色	普通	2本単位の櫛歯文を直状・コンパス状に横位・重層施文	KC 2 a5	x30
TP690	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	半截竹管状工具による沈線文を重弧状に施文 口縁部内面に突帯を巡らす	KC 2 a5	
TP691	縄文土器	深鉢	-	(4.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐色	普通	結節文カ	KC 2 a5	455 a層
TP692	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 a5	
TP693	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口縁部無文 微隆帯で区画を形成 微隆帯間は磨り消す 地文は多方向の2段R L単節縄文を施文	KC 2 b1	
TP694	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	口縁部無文 以下に櫛歯状工具による糸線文を垂下	KC 2 b1	
TP695	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	3本単位の断続する櫛歯文を横位・重層施文	KC 2 b1	x8
TP696	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は櫛歯状工具による糸線文を施文	KC 2 b1	
TP697	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は3段R L R複節縄文を施文	KC 2 b2	
TP698	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口縁部無文 以下に縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 b2	
TP699	縄文土器	深鉢	-	(13.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	口縁部無文 微隆帯で区画を形成 微隆帯間は磨り消す 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 b2	
TP700	縄文土器	深鉢	-	(17.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 b3	
TP701	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐色	普通	2段R L単節縄文を施文	KC 2 b3	
TP702	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 b3	
TP703	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 b3	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徵ほか	出土位置	備考
TP704	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 沈線文と刺突文を巡らす 以下に沈線で楕円形区画を形成 地文は2段RL単節縄文を施文	KC2 b3	
TP706	縄文土器	深鉢	-	(4.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	竹管状工具による円形刺突文 地文は2段RL・L単節縄文を羽状構成に施文	KC2 b3	
TP707	縄文土器	深鉢	-	(20.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	多方向の2段RL単節縄文を施文	KC2 b3	
TP708	縄文土器	深鉢	-	(15.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 縦・横位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 b4	
TP709	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦・斜位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 b4	
TP710	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で方形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 b4	x15
TP711	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	半截竹管状工具による刺突文 地文は2段RL・L単節縄文を羽状構成に施文	KC2 b4	x16
TP712	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 b5	
TP713	縄文土器	深鉢	-	(7.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 沈線で方形区画を形成 縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 b5	
TP714	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	木目状燃糸文を施文	KC2 b5	
TP715	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	円形の刺突文と沈線文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯で楕円形区画を形成 2段RL単節縄文を施文	KC2 b5	x22
TP716	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	半截竹管状工具による結節沈線文・竹管状工具による円形刺突文を巡らす 地文は燃糸文を施文	KC2 b5	x24
TP717	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	無文 隆帯を巡らす	KC2 c2	x1
TP718	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は前々段多糸RLを施文	KC2 c3	
TP719	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 c4	
TP720	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	櫛歯状工具による条線文を垂下	KC2 c4	
TP721	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	3本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC2 c4	
TP722	縄文土器	深鉢	-	(16.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 磨り消し帯・蛇行沈線文を垂下 2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP723	縄文土器	深鉢	-	(19.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP724	縄文土器	深鉢	-	(8.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 横位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP725	縄文土器	深鉢	-	(12.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 縦・横位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP726	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で区画を形成 縦・横位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP727	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	横位回転の付加条線文を施文	KC3 a1	
TP728	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈線で渦巻状のモチーフを形成	KC3 a1	
TP729	縄文土器	深鉢	-	(8.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口唇部刻み目 沈線文を巡らす 以下に沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	x7
TP730	縄文土器	深鉢	-	(10.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KC3 a1	
TP731	縄文土器	深鉢	-	(3.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口唇部刻み目 半截竹管状工具による沈線文を弧状に施文	KC3 a1	x2
TP732	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	半截竹管状工具による沈線文を垂下	KC3 a1	
TP733	縄文土器	深鉢	-	(7.7)	-	長石・石英・雲母	明黄褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 多方向の2段RL単節縄文を施文	KC3 a1	
TP734	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成	KC3 a1	
TP735	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 縦・横位の2段RL単節縄文を施文	KC3 a2	
TP736	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a2	
TP737	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内短沈線文を施文 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KC3 a2	274層
TP738	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に短沈線文を施文 沈線を伴う磨り消し帯を垂下	KC3 a2	
TP739	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	4本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段RL単節縄文を施文	KC3 a2	
TP740	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯で弧状のモチーフを形成 地文は燃糸文を施文	KC3 a2	
TP741	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 区画内に櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KC3 a2	
TP742	縄文土器	深鉢	-	(3.1)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯上に半截竹管状工具による刺突文を連続する 地文は単節縄文を施文	KC3 a2	x23
TP743	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 沈線で円形・方形区画を形成 区画内に縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a3	
TP744	縄文土器	深鉢	-	(11.0)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	口縁部無文 沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦位回転の2段RL単節縄文を施文	KC3 a3	
TP745	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で区画を形成 櫛歯状工具による条線文を施文	KC3 a3	
TP746	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	太い沈線文を弧状に施文 口縁部内面に突帯を巡らす	KC3 a3	x3

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP747	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の3段R L単節縄文を施文	KC3 a3	
TP749	縄文土器	深鉢	-	(17.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 a4	
TP750	縄文土器	深鉢	-	(12.2)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に5本単位の櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KC3 a4 x1・2	
TP751	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 沈線文を巡らす 以下に斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 a4 x1	
TP752	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	沈線で渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 a4	
TP753	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 沈線文を巡らす 以下に多方向の2段R L単節縄文を施文	KC3 a5	
TP754	縄文土器	深鉢	-	(16.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	微隆帯で区画・渦巻状のモチーフを形成 微隆帯間は磨り消す 多方向の前々段多糸L Rを施文	KC3 a5	
TP755	縄文土器	深鉢	-	(16.7)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に斜位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 a5	
TP756	縄文土器	深鉢	-	(19.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 a5	
TP757	縄文土器	深鉢	-	(8.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	押捺を加えた隆帯を垂下 地文は太い沈線文を縦位施文	KC3 a5	
TP759	縄文土器	深鉢	-	(20.8)	-	長石・石英・雲母	明黄褐	普通	微隆帯で円形・楕円形区画を形成 縦位回転の2段R L単節縄文・櫛歯状工具による条線文を施文	KC3 b1	
TP760	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に櫛歯状工具による条線文を施文	KC3 b1	
TP761	縄文土器	深鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 b1	
TP763	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で方形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段R L単節縄文を施文	KC3 b1	
TP764	縄文土器	深鉢	-	(18.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 以下に櫛歯状工具による条線文を垂下	KC3 b1	
TP765	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成	KC3 b1	
TP766	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文を巡らす 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 b1	
TP767	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 b1	
TP768	縄文土器	深鉢	-	(19.2)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 b2	
TP769	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁部無文 沈線文を巡らす 以下に2段R L単節縄文・櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KC3 b2	
TP770	縄文土器	深鉢	-	(10.2)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成	KC3 b2	
TP771	縄文土器	深鉢	-	(9.4)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成 外・内面赤彩	KC3 b2 x17, x22	
TP772	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に櫛歯状工具による条線文を縦位施文	KC3 b3 275層	
TP773	縄文土器	深鉢	-	(14.0)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文 2方向からの穿孔 孔径0.7-0.8mm	KC3 b3	
TP775	縄文土器	深鉢	-	(14.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	1段L無節縄文を施文	KC3 b4	
TP776	縄文土器	深鉢	-	(14.4)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	棒状工具による円形刺突文を巡らす 磨り消し帯で曲線的なモチーフを描出 多方向の2段R L単節縄文を施文	KC3 b4	
TP777	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KC3 c1	
TP778	縄文土器	深鉢	-	(15.9)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	口縁部無文 以下に隆帯と沈線で楕円形区画 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC3 c1	
TP779	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄橙	普通	竹管状工具による円形刺突文を施文	KC3 c1 x20	
TP780	縄文土器	深鉢	-	(13.9)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	微隆帯と沈線で渦巻状のモチーフを形成 地文は多方向の2段R L単節縄文を施文	KC3 c1	
TP781	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を曲線的に施文 地文は多方向の2段R L単節縄文を施文	KC3 c2	
TP782	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文 以下に半截竹管状工具による平行沈線文を縦位施文	KC3 c2	
TP783	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	微隆帯で渦巻状のモチーフを形成 微隆帯間は磨り消す 地文は多方向に2段R L単節縄文を施文	KC3 c3	
TP784	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細い隆帯上に刻み目 細隆起線文・円形刺突文を施文 外・内面条痕文	KC3 c3 x22	
TP785	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	単軸絡糸体第5類・網目状捺糸文を施文	KA2 d5 90層他	
TP786	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	口唇部刻み目 沈線文を斜め格子状に施文 外・内面条痕文	KA2 d5 327層	
TP787	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2・3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KA2 d5 115層, 112層	
TP788	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	外・内面条痕文	KA2 e3	
TP789	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	櫛歯文・円形竹管文を施文	KA2 e3 x3	
TP790	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文・沈線文を施文 外・内面条痕文	KA2 e3 x6	
TP791	縄文土器	深鉢	-	(7.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	波頂部にボタン状の貼付文 円形刺突文・2本単位の櫛歯文を微波状に横位施文	KA2 e5 x3, 114層	
TP793	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	肋のある貝殻の腹線文を施文	KA2 e5 112層	
TP794	縄文土器	深鉢	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口唇部刻み目 2本単位の櫛歯文を直位に横位・重層施文	KA2 e5 x3	
TP796	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	細隆起線文を施文 外・内面条痕文	KA2 e5 x3	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP797	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	付加条縄文を羽状構成に施文	KA 2 e5 313層	
TP798	縄文土器	深鉢	-	(6.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい褐	普通	3本単位の櫛歯文を波状に横位・重層施文	KA 2 e5 107層	
TP799	縄文土器	深鉢	-	(5.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	細い隆帯上に刻み目 短い斜行沈線文・縄文側面圧痕文を施文	KA 2 e5 363層	
TP800	縄文土器	深鉢	-	(3.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	半截竹管状工具による3本単位の押し引き文を施文	KA 3 b1 x1	
TP801	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	櫛歯文を格子状に施文	KA 3 c2 132層	
TP802	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	口唇部刻み目 外・内面条痕文	KA 3 c2 123層	
TP803	縄文土器	深鉢	-	(4.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	捺糸文を施文	KA 3 c2 136層	
TP804	縄文土器	深鉢	-	(3.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	口唇部刻み目 幾何学的な沈線文を施文	KA 3 d1 x13	
TP805	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	1段のR無節縄文を施文	KA 3 d3 123層	
TP806	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文で曲線的なモチーフを形成	KA 3 d3 x16, x12	
TP807	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	斜行沈線文・縄文側面圧痕文を施文	KA 3 d3 159層	
TP808	縄文土器	深鉢	-	(6.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文・沈線文を施文 外・内面条痕文 2方向からの穿孔 孔径0.6~0.9cm	KA 3 d3 92層	
TP809	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・微波状に横位施文 波頂部に円窓	KA 3 d3 123層	
TP810	縄文土器	深鉢	-	(6.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	口唇部刻み目 外・内面条痕文	KA 3 d3 92層	
TP811	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	2~4本単位の櫛歯文を縦・横位施文	KA 3 d3 144層	
TP812	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	細隆起線文を施文 外・内面条痕文	KA 3 d3 92層	
TP813	縄文土器	深鉢	-	(4.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文・沈線文を施文 外・内面条痕文	KA 3 d3 159層	
TP814	縄文土器	深鉢	-	(6.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	口唇部刻み目 細隆起線文・沈線文を施文 外・内面条痕文	KA 3 d4 x5	
TP815	縄文土器	深鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	縄文側面圧痕文を巡らす 単軸絡糸体第5類・網目状捺糸文を施文	KA 3 e2 x22	
TP816	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	細い隆帯上に刻み目 短い沈線文・縄文側面圧痕文を施文	KA 3 e5 x5	
TP817	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	5本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 2 b2 x10, x9	
TP819	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	褐	普通	半截竹管状工具による刺突文を巡らす 地文は2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	KB 2 b3	
TP820	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	交互刺突による連続コの字状文を巡らす 沈線文で弧状のモチーフを描出 地文は捺糸文を施文	KB 2 b4	
TP821	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	口唇部刻み目 半截竹管状工具による平行沈線文を横位施文	KB 2 b4 x14	
TP822	縄文土器	深鉢	-	(20.9)	-	長石・石英・雲母	黄褐	普通	磨り消し帯を直状・連弧状に巡らす 地文は縦位回転の2段L R単節縄文を施文	KB 2 b4	
TP823	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	棒状工具による円形刺突文を縦位施文 2~4本単位の櫛歯文を横位施文	KB 2 b4 x11	
TP824	縄文土器	深鉢	-	(2.2)	-	長石・石英・雲母	明褐	普通	刻みを加えた平行沈線文・三角文を施文	KB 2 b4 x13	
TP825	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	口縁部無文 以下に3本単位の沈線を直状・波状に巡らす 地文は前々段反転カ	KB 2 b5	
TP826	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	押捺を加えた隆帯を貼付 半截竹管状工具による沈線文を重弧状に施文 口縁部内面に突帯を巡らす	KB 2 b5 735層	
TP827	縄文土器	深鉢	-	(10.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	口縁部無文 以下に2・3本単位の沈線で渦巻状のモチーフを形成 地文は前々段反転カ	KB 2 b5	
TP828	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	2本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位施文 地文は2段R L単節縄文を施文	KB 2 b5 735層	
TP829	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	竹管状工具による円形刺突文を縦位施文 平行沈線文を斜位施文	KB 2 b5 x21	
TP830	縄文土器	深鉢	-	(3.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	口唇部刻み目 口縁部に指頭による押捺を加えた隆帯を巡らす 以下に3本単位の櫛歯文を横位施文	KB 2 b5 x22	
TP831	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	細隆起線文・沈線文・刺突文を施文 外・内面条痕文	KB 2 b5 732層	
TP832	縄文土器	深鉢	-	(5.7)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	細い隆帯上に刻み目 短い沈線文・蕨手状の縄文側面圧痕文を施文	KB 2 b5 732層	
TP833	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	2本単位の櫛歯文を直状・微波状に横位・重層施文	KB 2 b5 x25	
TP835	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	橙	普通	細隆起線文・沈線文・刺突文を施文 外・内面条痕文	KB 2 c3 x16	
TP836	縄文土器	深鉢	-	(4.8)	-	長石・石英・雲母・繊維	にぶい黄褐	普通	平行沈線文を巡らす 以下に単軸絡糸体第5類・網目状捺糸文を施文 波頂部に円窓	KB 2 d3 x21	
TP837	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 2 e2	
TP838	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	赤褐	普通	捺糸文を施文	KB 3 a1	
TP839	縄文土器	深鉢	-	(8.2)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	竹管状工具による円形刺突文 3本単位の櫛歯文を微波状に横位・重層施文	KB 3 a1	
TP840	縄文土器	深鉢	-	(18.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明黄褐	普通	5本単位の櫛歯文を直状・鋸歯状に横位・重層施文	KB 3 a1 PL51	
TP842	縄文土器	深鉢	-	(15.1)	-	長石・石英・雲母	赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段R L単節縄文を施文	KB 3 a2	
TP843	縄文土器	深鉢	-	(16.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	3本単位の沈線文を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KB 3 a3	
TP844	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	木目状捺糸文を施文	KB 3 a4 PL51	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
TP845	縄文土器	深鉢	-	(13.4)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	前々段多条L R・2段R L単節縄文を羽状構成に施文 2方向からの穿孔 孔径0.9-1.1cm	KB 3 a4	
TP846	縄文土器	深鉢	-	(16.3)	-	長石・石英・雲母・繊維	明褐	普通	1・2本単位の櫛歯文を多方向に施文 2方向からの穿孔 孔径0.7-0.8cm	KB 3 a4	
TP847	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	黄褐	普通	沈線文を斜め格子状に施文	KB 3 a5	
TP848	縄文土器	深鉢	-	(4.5)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	2本単位の櫛歯文を微波状に巡らす 波頂部に楕円形のモチーフを描出 2段R L単節縄文を施文	KB 3 c1 x24	
TP849	縄文土器	深鉢	-	(14.3)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転 2段R L単節縄文を施文	KB 3 d1	
TP850	縄文土器	深鉢	-	(6.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	明赤褐	普通	竹管状工具による円形刺突文・半截竹管状工具による結節沈線文・平行沈線文を施文	KB 3 d1 x27	
TP852	縄文土器	深鉢	-	(13.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 付加条縄文を施文	KB 3 d3	
TP853	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 3段L R L複節縄文を施文	KB 3 d4	
TP854	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	隆帯と沈線で楕円形区画・渦巻状のモチーフを形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 2段L R単節縄文を施文	KB 3 e1	
TP855	縄文土器	深鉢	-	(5.4)	-	長石・石英・雲母	暗灰黄	普通	縄文側面圧痕文を施文 地文は1段L無節縄文を施文	KB 3 e2 x30	
TP856	縄文土器	深鉢	-	(6.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口唇部押捺 半截竹管状工具による刺突文を横位施文	KB 3 e2 x1	
TP857	縄文土器	深鉢	-	(3.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	黒褐	普通	口唇部刻み目 半截竹管状工具による平行沈線文・刺突文を施文 外・内面条痕文	KB 3 e2 x34	
TP859	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす	KB 3 e3 x4	
TP860	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に2段R L単節縄文を施文	KB 3 e3	
TP861	縄文土器	深鉢	-	(15.7)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転 1段L無節縄文を施文	KC 2 a2	
TP862	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	暗赤褐	普通	2本単位の沈線を伴う磨り消し帯を巡らす 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 a3	
TP863	縄文土器	深鉢	-	(9.9)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯と沈線で区画・渦巻状のモチーフを形成 区画内に縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 a3	
TP864	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部無文 沈線で楕円形区画を形成 区画内に縦・横位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 a4	
TP865	縄文土器	深鉢	-	(18.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	沈線で楕円形区画を形成 沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は2段R L単節縄文を施文	KC 2 a5	
TP867	縄文土器	深鉢	-	(19.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	沈線を伴う磨り消し帯を垂下 地文は縦位回転の2段R L単節縄文を施文	KC 2 b5	
TP868	縄文土器	深鉢	-	(9.1)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 付加条縄文・2段L R単節縄文を羽状構成に施文	貝層表土	
TP869	縄文土器	深鉢	-	(5.9)	-	長石・石英・雲母・繊維	灰黄褐	普通	半截竹管状工具による結節沈線文を巡らす 2段R L・L R単節縄文を羽状構成に施文	貝層表土	

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP1	土器片錘	4.1	3.2	1.3	3.8	21.2	KA 3 e3②x1
DP2	土器片円盤	4.0	4.0	1.1	-	18.1	KA 3 e3⑬x1
DP3	土器片錘	4.4	4.2	1.2	4.0	27.8	KA 3 e2⑨
DP4	土器片錘	2.6	2.3	1.1	2.2	9.2	KA 2 c3⑥x2
DP5	土器片錘	4.3	4.0	1.1	3.6	23.2	KB 2 a4⑪x3
DP6	土器片錘	3.7	2.6	1.0	3.1	9.4	KB 2 a4①314層
DP7	土器片錘 素材	5.5	3.2	1.5	-	28.5	KB 2 a5⑨x3
DP8	土器片錘	3.4	3.2	1.3	2.9	14.7	KB 2 a5⑩x6
DP9	土器片錘	2.5	2.3	1.1	2.2	6.8	KB 2 b2⑭x3
DP10	土器片錘	4.0	2.6	1.0	3.7	13.2	KB 2 b3①346層
DP11	土器片錘	4.3	2.7	1.2	3.9	14.5	KB 2 b4⑯x2
DP12	土器片錘	3.5	3.2	0.8	3.2	12.4	KB 2 b4⑮x15
DP13	土器片錘	2.6	2.6	1.0	2.5	7.2	KB 2 b5⑬3465層
DP14	土器片錘	4.1	3.2	1.0	3.6	13.9	KB 2 c5⑥788層
DP15	土器片錘	4.0	2.4	1.3	3.6	11.7	KB 2 c5①x2
DP16	土器片錘	3.4	2.3	1.1	3.2	11.9	KB 2 c5⑥x31
DP17	土器片錘	9.0	6.0	1.2	8.5	82.7	KB 2 d2③x6
DP18	土器片錘	6.2	4.1	1.2	5.8	32.7	KB 2 d2⑦x6
DP19	土器片錘	5.0	4.5	1.2	4.3	21.1	KB 2 d2⑫x6
DP20	土器片錘	4.8	4.1	1.2	4.3	31.4	KB 2 d2⑩x2
DP21	土器片錘	4.1	3.6	1.1	3.4	17.8	KB 2 d2③x5

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP22	土器片錘	3.8	3.2	0.8	3.4	12.4	KB 2 d3⑬450a層
DP23	土器片錘	2.9	3.3	1.1	2.4	11.5	KB 2 d3⑯509層
DP24	土器片錘	3.8	2.5	1.3	3.5	13.7	KB 2 d3⑩
DP25	土器片錘	4.7	3.1	1.2	4.1	18.5	KB 2 d3①433層
DP26	土器片錘	4.5	3.3	0.8	4.3	16.7	KB 2 d4⑧x2
DP27	土器片錘	4.8	3.4	1.2	4.2	24.2	KB 2 d4⑮x13
DP28	土器片錘	2.6	2.5	1.2	2.4	8.7	KB 2 d4⑯x7
DP29	土器片錘	4.4	4.0	1.0	3.8	21.7	KB 2 d4⑬x4
DP30	土器片錘	5.0	4.4	1.0	4.4	21.8	KB 2 e1⑧x4
DP31	土器片錘	3.3	2.9	0.9	3.0	11.5	KB 2 e1⑮x6
DP32	土器片円盤	6.5	5.9	1.2	-	59.8	KB 2 e2⑮
DP33	土器片錘	4.8	3.7	0.7	4.5	16.3	KB 2 e2③x3
DP34	土器片錘	3.2	2.8	1.1	3.2	12.2	KB 2 e2①x1
DP35	土器片錘	3.2	2.6	1.3	2.8	13.9	KB 2 e2③x3
DP36	土器片錘	3.5	2.4	0.9	3.2	7.8	KB 2 e2⑥x3
DP37	土器片錘	5.5	4.1	1.6	5.1	48.2	KB 2 e3⑯x15
DP38	土器片錘	5.1	4.0	1.0	4.6	23.1	KB 2 e3⑬x2
DP39	土器片錘	4.4	3.5	1.1	4.0	22.5	KB 2 e3⑭x12
DP40	土器片錘	4.9	3.3	1.1	4.4	18.2	KB 2 e3⑮x15
DP41	土器片錘	4.2	3.6	0.8	3.7	17.2	KB 2 e3⑦x1
DP42	土器片錘	6.7	6.1	1.4	6.1	56.7	KB 2 e3⑮

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP44	土器片錘	5.9	4.2	1.3	5.2	31.9	KB 2 e4①496層
DP45	土器片錘	3.0	3.2	1.1	2.5	11.4	KB 2 e5①x14
DP46	土器片錘	3.2	2.7	0.9	2.9	10.5	KB 2 e5②x4
DP47	土器片錘	5.4	5.2	1.1	4.8	26.8	KB 2 e5⑤274層
DP48	土器片錘	4.4	3.0	0.7	3.8	14.9	KB 2 e5⑥x15
DP49	土器片錘	4.0	2.4	0.8	3.6	10.8	KB 2 e5⑩x14
DP50	土器片錘	4.2	2.9	1.2	3.8	17.2	KB 2 e5⑬904層
DP51	土器片錘	3.6	3.1	0.9	3.3	13.6	KB 2 e5⑭x9
DP54	土器片円盤	2.4	2.1	0.9	-	4.2	KB 3 a4⑨172層
DP55	土器片錘	3.4	3.4	0.9	3.1	11.9	KB 3 a5①x4
DP56	土器片錘	2.3	2.3	0.9	2.0	5.6	KB 3 b1⑩
DP57	土器片錘	7.2	6.3	1.0	6.9	55.4	KB 3 b2⑥x17
DP58	土器片錘	3.2	2.8	1.1	2.8	11.6	KB 3 b2⑮x19
DP59	土器片錘	4.2	3.9	1.0	4.0	22.3	KB 3 b4⑧41層
DP60	土器片錘	3.6	3.1	0.9	3.1	13.8	KB 3 b4④x8
DP61	土器片錘	3.5	3.2	0.9	3.0	12.3	KB 3 b4⑦x4
DP62	土器片錘	3.5	3.1	0.8	3.1	12.6	KB 3 b4⑬7層
DP63	土器片錘	3.8	2.9	1.1	3.6	13.0	KB 3 b4③44層
DP64	土器片錘	2.9	2.7	1.1	2.5	8.9	KB 3 b4⑩x9
DP65	土器片錘	5.2	6.3	1.3	4.8	45.9	KB 3 b5⑫x1
DP66	土器片錘	2.5	2.6	0.9	2.2	8.3	KB 3 b5⑨x3
DP67	土器片錘	4.2	2.9	1.2	3.7	17.9	KB 3 c1⑦x4
DP68	土器片錘	3.9	3.3	1.1	3.4	15.3	KB 3 c1③x10
DP69	土器片錘	4.6	2.7	1.1	4.2	15.8	KB 3 c1①x2
DP70	土器片錘	2.6	2.7	0.9	2.2	7.2	KB 3 c1⑤x4
DP71	土器片錘	2.5	2.4	0.8	2.3	6.1	KB 3 c1⑥x10
DP72	土器片錘	8.2	6.0	1.3	7.6	62.0	KB 3 c2⑫x10
DP73	土器片錘	6.5	5.0	1.1	5.8	30.8	KB 3 c2⑦
DP74	土器片錘	4.4	4.0	0.9	3.8	17.4	KB 3 c2⑩x8
DP75	土器片錘	4.5	3.2	1.4	4.1	18.9	KB 3 c2⑩x6
DP76	土器片錘	2.6	2.7	0.9	2.2	9.1	KB 3 c2⑫x3
DP77	土器片錘	2.5	2.1	0.9	2.3	6.7	KB 3 c2⑮x2
DP78	土器片錘	4.3	3.5	1.0	3.8	16.5	KB 3 b4①x19
DP79	土器片錘	7.7	4.7	1.3	7.0	52.8	KB 3 c3⑫26層
DP80	土器片錘	3.8	3.3	1.1	3.5	18.9	KB 3 c3③x7
DP81	土器片錘	3.8	3.3	0.9	3.2	15.1	KB 3 c3⑩x20
DP82	土器片錘	4.3	2.9	0.8	3.9	10.7	KB 3 c3⑭x16
DP83	土器片錘	3.4	2.9	0.9	3.2	10.2	KB 3 c3⑭x9
DP84	土器片錘	4.8	3.8	1.3	4.5	23.3	KB 3 c4⑨x17
DP85	土器片錘	4.2	3.2	0.9	3.8	15.8	KB 3 c4③
DP86	土器片錘	4.6	3.0	0.9	4.1	13.8	KB 3 c4⑥x7
DP87	土器片錘	4.4	3.6	0.8	3.9	12.1	KB 3 c4⑭x7
DP88	土器片錘	3.5	3.2	0.9	3.3	13.8	KB 3 c4⑬x12
DP89	土器片錘	3.6	2.7	0.9	3.4	11.4	KB 3 c4⑮x5
DP90	土器片錘	3.3	2.7	1.0	3.0	10.7	KB 3 c4⑬x7
DP91	土器片錘	3.4	2.6	0.9	2.6	8.9	KB 3 c4⑧x5
DP92	土器片錘	2.5	2.3	0.7	2.1	4.9	KB 3 c4⑥x7

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP93	土器片錘	3.5	2.9	1.0	3.1	12.1	KB 3 c5⑬42層
DP94	土器片錘	4.5	3.4	1.0	4.1	18.8	KB 4 b1⑤x1
DP95	土器片錘	3.8	3.6	1.0	3.4	16.8	KB 3 d1⑧x9
DP96	土器片錘	3.2	2.8	0.8	2.6	9.1	KB 3 d1⑧x9
DP98	土器片錘	2.9	3.4	1.2	2.7	14.1	KB 3 d2⑥x21
DP99	土器片錘	3.3	2.9	1.2	2.9	13.2	KB 3 d3⑩x15
DP100	土器片錘	4.4	3.2	1.1	4.0	15.0	KB 3 d3一括
DP101	土器片錘	2.8	2.5	0.8	2.3	7.1	KB 3 d3
DP102	土器片錘	3.3	2.7	0.8	3.0	9.8	KB 3 d3
DP103	土器片錘	3.2	2.6	0.7	2.8	7.8	KB 3 d3⑥x12
DP104	土器片円盤	3.7	3.6	0.9	-	13.0	KB 3 d3⑭x12
DP105	土器片錘	4.1	4.4	0.9	3.3	16.3	KB 3 d4⑮x10
DP106	土器片錘	4.3	4.0	1.2	3.8	25.0	KB 3 d4⑩212層
DP107	土器片錘	4.9	4.1	1.1	4.1	19.4	KB 3 d4⑥x2
DP108	土器片錘	5.3	3.1	1.1	4.6	21.4	KB 3 d4⑫242層
DP109	土器片錘	4.8	3.3	1.0	4.2	15.2	KB 3 d4⑫x1
DP110	土器片錘	3.9	3.4	1.0	3.4	12.0	KB 3 d4⑦x3
DP111	土器片錘	3.3	3.1	1.3	2.7	15.7	KB 3 d4⑫232層
DP112	土器片円盤	(4.7)	(2.7)	0.9	-	(11.9)	KB 3 e4④
DP113	土器片錘	5.2	6.0	1.3	4.7	53.5	KC 2 a2④x10
DP114	土器片錘	4.9	4.3	1.0	4.6	25.9	KC 2 a3⑤446層
DP115	土器片錘	4.5	3.9	1.0	3.9	18.1	KC 2 a3⑨445層
DP116	土器片錘	4.3	3.6	1.1	4.0	19.4	KC 2 a3⑨411層
DP117	土器片錘	4.2	2.8	0.9	3.9	15.3	KC 2 a3⑫1003層
DP118	土器片錘	3.1	2.8	0.9	2.9	10.0	KC 2 a3④408層
DP119	土器片円盤	(5.7)	(3.7)	1.2	-	(21.1)	KC 2 a3⑫410層
DP120	土器片円盤	(4.8)	(2.7)	1.5	-	(17.7)	KC 2 a3⑨411層
DP122	土器片錘	6.3	5.8	1.2	5.7	54.3	KC 2 a5①408層
DP123	土器片錘	5.3	4.3	1.1	4.9	31.6	KC 2 a5⑤479層
DP124	土器片円盤	2.7	2.6	1.0	-	7.5	KC 2 a5⑩x9
DP125	土器片錘	8.5	5.7	1.1	7.5	60.3	KC 2 b1⑧
DP126	土器片錘	4.9	3.9	1.1	4.6	28.6	KC 2 b1②x5
DP127	土器片錘	9.1	7.7	1.5	8.2	93.6	KC 2 b2⑦
DP128	土器片錘	8.0	4.2	0.9	7.5	43.2	KC 2 b2⑤
DP129	土器片錘	5.9	5.9	1.1	5.6	47.2	KC 2 b3⑧x9
DP130	土器片錘	5.7	4.9	1.2	5.3	33.2	KC 2 b3②x9
DP131	土器片錘	5.2	4.9	1.3	4.6	37.3	KC 2 b3⑮x12
DP132	土器片錘	5.7	4.2	1.1	5.0	32.6	KC 2 b3⑨x9
DP133	土器片錘	5.0	4.1	1.0	4.4	22.0	KC 2 b3⑭x10
DP134	土器片錘	6.3	3.8	1.2	5.3	29.6	KC 2 b3⑨x7
DP135	土器片錘	5.4	4.0	1.0	5.0	21.9	KC 2 b3⑥x6
DP136	土器片錘	4.9	3.7	1.0	4.4	17.2	KC 2 b3⑩x7
DP137	土器片錘	4.0	4.0	0.8	3.6	16.9	KC 2 b3⑬x9
DP138	土器片錘	4.4	3.0	1.0	3.9	17.5	KC 2 b3⑭x4
DP139	土器片錘	4.3	2.9	1.3	3.9	17.5	KC 2 b3④x5
DP140	土器片錘	3.6	3.0	1.1	3.0	12.3	KC 2 b3⑧x7
DP141	土器片錘	3.1	2.9	1.0	2.6	10.6	KC 2 b3④x11

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP142	土器片円盤	5.0	5.0	1.7	-	(33.8)	KC 2 b3⑦
DP143	土器片円盤	4.0	4.1	1.0	-	22.6	KC 2 b3⑦x3
DP144	土器片円盤	3.8	3.7	0.9	-	13.1	KC 2 b3⑫
DP145	土器片円盤	(4.9)	(1.4)	0.8	-	(7.5)	KC 2 b3⑯x12
DP146	土器片円盤	(4.2)	(1.7)	0.9	-	(7.9)	KC 2 b3⑯x10
DP147	土器片鍾	4.6	4.6	1.2	4.0	33.7	KC 2 b4③x18
DP148	土器片鍾	3.8	3.6	1.0	3.3	19.0	KC 2 b4③x18
DP149	土器片円盤	3.2	3.0	0.9	-	10.3	KC 2 b4⑮x11
DP150	土器片鍾	7.6	6.3	1.3	7.0	64.5	KC 2 b5③x21
DP151	土器片鍾	6.2	6.2	1.3	5.7	53.7	KC 2 b5②x19
DP152	土器片鍾	7.0	4.9	0.8	6.1	39.7	KC 2 b5①x13
DP153	土器片鍾	5.8	4.8	0.9	4.7	33.6	KC 2 b5②x15
DP154	土器片鍾	3.7	2.3	1.0	3.4	11.4	KC 2 b5⑮x19
DP155	土器片円盤	3.5	3.5	0.9	-	12.6	KC 2 b5⑤x15
DP156	土器片円盤	3.3	3.3	1.0	-	14.0	KC 2 b5⑩x14
DP157	土器片円盤	(4.6)	(1.8)	1.0	-	(11.3)	KC 2 b5③x15
DP158	土器片円盤	(3.9)	(2.1)	1.0	-	(8.8)	KC 2 b5⑩x15
DP159	土器片円盤	4.4	4.7	1.1	-	26.8	KC 2 c2②
DP160	土器片円盤	3.7	3.7	0.8	-	14.3	KC 2 c2③
DP161	土器片鍾	7.6	6.3	1.3	7.0	60.6	KC 2 c4⑥
DP163	土器片鍾	10.2	6.0	1.3	9.5	87.6	KC 3 a1⑨x10
DP164	土器片鍾	9.1	4.9	1.5	8.5	63.2	KC 3 a1一括
DP165	土器片鍾	6.8	4.8	0.9	6.0	49.3	KC 3 a1⑬x19
DP166	土器片鍾	6.6	5.2	1.4	5.7	41.5	KC 3 a1⑮x11
DP167	土器片鍾	6.3	5.5	1.0	5.6	48.7	KC 3 a1⑭x11
DP168	土器片鍾	6.0	5.3	1.5	5.5	33.0	KC 3 a1⑫x17
DP169	土器片鍾	5.7	5.3	1.3	5.1	39.3	KC 3 a1⑪x8
DP170	土器片鍾	6.2	4.2	1.5	5.7	44.5	KC 3 a1⑯x15
DP171	土器片鍾	6.3	3.3	1.2	5.8	26.4	KC 3 a1⑯x17
DP172	土器片鍾	5.6	4.1	1.3	4.9	34.1	KC 3 a1①
DP173	土器片鍾	5.1	4.2	1.2	4.6	29.9	KC 3 a1①x10
DP174	土器片鍾	4.5	4.2	1.1	4.0	23.3	KC 3 a1⑦x16
DP175	土器片鍾	4.9	3.9	1.0	4.2	19.5	KC 3 a1⑬x7
DP176	土器片鍾	4.3	3.4	0.8	4.0	16.0	KC 3 a1⑦x11
DP177	土器片鍾	4.7	3.8	1.2	4.4	19.2	KC 3 a1⑭x14
DP178	土器片鍾	4.2	3.0	1.3	3.9	19.3	KC 3 a1⑧x14
DP179	土器片鍾	4.5	3.7	0.9	3.9	19.3	KC 3 a1⑮x13
DP180	土器片鍾	4.0	3.2	0.9	3.4	13.6	KC 3 a1⑭x11
DP181	土器片鍾	3.8	3.2	1.0	3.5	12.0	KC 3 a1⑮x1
DP182	土器片鍾	3.7	3.2	1.0	3.3	16.1	KC 3 a1⑮x1
DP183	土器片鍾	3.9	2.9	0.9	3.5	12.8	KC 3 a1⑨x18
DP184	土器片鍾	4.8	3.0	1.1	4.1	18.9	KC 3 a1一括
DP185	土器片鍾	4.1	2.9	1.3	3.8	16.8	KC 3 a1①x16
DP186	土器片鍾	3.5	3.4	0.9	3.1	12.4	KC 3 a1⑧x11
DP187	土器片鍾	4.4	2.7	0.9	3.7	12.5	KC 3 a1①x16
DP188	土器片鍾	3.7	2.7	0.9	3.3	14.2	KC 3 a1⑮x1
DP189	土器片鍾	3.1	2.6	1.0	2.8	9.7	KC 3 a1⑮x13

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP190	土器片鍾	3.1	3.0	0.9	2.8	11.2	KC 3 a1⑭x14
DP191	土器片鍾	2.9	2.5	0.9	2.5	8.5	KC 3 a1⑩x14
DP192	土器片鍾	2.8	2.8	0.9	2.4	6.5	KC 3 a1⑧x11
DP193	土器片鍾	3.2	2.7	0.8	3.0	7.1	KC 3 a1①x11
DP194	土器片鍾	2.5	3.4	0.8	1.9	8.7	KC 3 a1⑭x9
DP195	土器片鍾	2.1	2.9	1.1	1.7	7.9	KC 3 a1⑨x11
DP196	土器片鍾	2.7	2.2	0.8	2.4	6.0	KC 3 a1⑦x12
DP197	土器片鍾	2.9	2.1	0.6	2.4	4.8	KC 3 a1④x7
DP198	土器片鍾	2.4	2.1	1.2	1.9	8.7	KC 3 a1⑭x16
DP199	土器片鍾	2.9	1.8	0.8	2.4	4.6	KC 3 a1⑧x8
DP200	土器片鍾	5.6	3.6	1.6	5.3	39.2	KC 3 a1⑬x20
DP201	土器片鍾	4.4	4.4	0.9	3.8	20.4	KC 3 a1⑧x17
DP202	土器片鍾	5.6	3.6	1.1	5.0	24.2	KC 3 a1④x6
DP203	土器片鍾	2.3	2.0	0.8	2.0	4.4	KC 3 a1④x10
DP204	土器片円盤	4.4	4.4	0.9	-	19.6	KC 3 a1⑯x11
DP205	土器片円盤	3.5	3.5	0.9	-	12.6	KC 3 a1⑫x3
DP206	土器片円盤	(4.3)	(2.2)	0.8	-	(7.7)	KC 3 a1⑩x11
DP207	土器片円盤	(3.4)	(1.9)	1.0	-	(6.9)	KC 3 a1⑯
DP208	土器片円盤	(3.1)	(1.7)	0.6	-	(3.5)	KC 3 a1⑯x11
DP210	土器片鍾	8.9	6.8	1.7	8.0	73.2	KC 3 a2①57層
DP211	土器片鍾	5.6	5.9	1.4	4.9	47.3	KC 3 a2⑤55層
DP212	土器片鍾	8.7	4.1	1.6	8.3	63.1	KC 3 a2⑫274層
DP213	土器片鍾	6.0	4.2	1.2	5.4	36.3	KC 3 a2②x7
DP214	土器片鍾	6.1	4.3	0.8	6.0	26.9	KC 3 a2⑤55層
DP215	土器片鍾	5.4	5.4	1.2	4.8	42.5	KC 3 a2⑮x22
DP216	土器片鍾	5.3	4.2	1.5	4.5	38.5	KC 3 a2⑤
DP217	土器片鍾	5.6	3.9	1.3	5.0	35.4	KC 3 a2⑭x12
DP218	土器片鍾	4.9	4.2	1.6	4.3	35.8	KC 3 a2③x1
DP219	土器片鍾	4.6	3.5	1.3	4.3	23.6	KC 3 a2⑫x2
DP220	土器片鍾	4.5	4.0	1.1	4.2	22.2	KC 3 a2⑥x2
DP221	土器片鍾	5.3	2.9	0.9	4.9	15.9	KC 3 a2⑥274層
DP222	土器片鍾	4.4	3.5	1.0	3.7	18.2	KC 3 a2⑪x14
DP223	土器片鍾	4.5	3.8	1.0	4.2	20.0	KC 3 a2⑪x17
DP224	土器片鍾	4.2	3.2	0.8	3.7	15.5	KC 3 a2④264層
DP225	土器片鍾	4.4	3.7	1.1	3.6	18.6	KC 3 a2⑬53層
DP226	土器片鍾	4.4	3.4	1.1	3.8	18.4	KC 3 a2②x17
DP227	土器片鍾	4.3	4.2	2.2	3.9	28.7	KC 3 a2⑦x5
DP228	土器片鍾	3.8	3.4	1.2	3.4	17.3	KC 3 a2⑦x13
DP229	土器片鍾	3.6	3.7	0.7	3.1	12.7	KC 3 a2⑯x6
DP230	土器片鍾	3.9	3.2	0.9	3.3	14.2	KC 3 a2⑧65層
DP231	土器片鍾	3.6	3.4	1.0	3.4	13.9	KC 3 a2②x6
DP232	土器片鍾	3.0	2.5	1.0	2.5	8.2	KC 3 a2⑤56層
DP233	土器片鍾	3.7	2.1	1.0	3.4	9.2	KC 3 a2⑭x22
DP234	土器片鍾	3.3	2.6	1.1	2.9	9.8	KC 3 a2④266層
DP235	土器片鍾	3.0	2.2	0.9	2.8	6.6	KC 3 a2③x3
DP236	土器片鍾	3.4	3.2	0.8	2.9	10.3	KC 3 a2⑥274層
DP237	土器片円盤	3.6	3.6	1.1	-	16.8	KC 3 a2④263層

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP238	土器片円盤	3.4	3.3	0.8	-	13.2	KC 3 a2⑩64層
DP239	土器片円盤	6.0	6.0	1.0	-	46.6	KC 3 a2⑪
DP240	土器片円盤	(5.4)	(2.8)	0.8	-	(13.3)	KC 3 a2⑮
DP241	土器片円盤	(3.9)	(1.9)	1.0	-	(6.8)	KC 3 a2⑮66層
DP242	土器片円盤	3.0	(1.6)	0.8	-	(4.2)	KC 3 a2④65層
DP245	土器片錘	7.6	5.6	0.9	6.3	46.0	KC 3 a3⑤x7
DP246	土器片錘	6.8	5.1	1.0	6.1	36.5	KC 3 a3③x15
DP247	土器片錘	5.5	5.6	1.0	4.5	40.4	KC 3 a3⑥x11
DP248	土器片錘	6.0	4.3	1.1	5.5	30.3	KC 3 a3⑮x5
DP249	土器片錘	5.4	4.3	0.9	4.6	25.2	KC 3 a3①x16
DP250	土器片錘	4.9	4.1	1.2	4.3	34.7	KC 3 a3⑥x7
DP251	土器片錘	4.4	4.1	1.1	3.9	28.6	KC 3 a3⑮x5
DP252	土器片錘	5.1	3.6	1.2	4.4	28.2	KC 3 a3⑯x11
DP253	土器片錘	4.8	3.9	1.1	4.3	23.7	KC 3 a3⑮x5
DP254	土器片錘	4.3	3.7	1.0	3.8	20.8	KC 3 a3④x10
DP255	土器片錘	4.4	3.7	0.9	3.9	19.5	KC 3 a3③x17
DP256	土器片錘	4.7	4.0	1.0	3.8	24.5	KC 3 a3⑤x6
DP257	土器片錘	4.9	3.9	1.0	4.4	22.7	KC 3 a3④x3
DP258	土器片錘	4.4	4.0	1.4	3.9	25.0	KC 3 a3⑩x2
DP259	土器片錘 素材	4.6	3.1	1.1	-	21.8	KC 3 a3⑮x7
DP260	土器片錘	4.1	3.2	0.9	3.5	15.7	KC 3 a3⑯
DP261	土器片錘	3.7	3.7	1.1	3.4	20.1	KC 2 a5⑨404層
DP262	土器片錘	4.5	2.7	1.2	3.8	15.2	KC 3 a3⑮x8
DP263	土器片錘	3.7	3.0	1.6	3.4	17.9	KC 3 a3③x17
DP264	土器片錘	3.8	3.0	1.2	3.5	16.6	KC 3 a3③x7
DP265	土器片錘	3.4	3.0	1.1	2.9	14.3	KC 3 a3⑥x4
DP266	土器片錘	3.5	3.0	1.1	2.6	13.8	KC 3 a3⑥x18
DP267	土器片錘	3.5	2.8	1.1	3.2	13.9	KC 3 a3⑨x18
DP268	土器片錘	3.1	3.7	1.1	2.4	14.5	KC 3 a3⑦x3
DP269	土器片錘	3.6	3.2	0.8	3.0	11.3	KC 3 a3②x4
DP270	土器片円盤	6.0	6.1	1.2	-	46.1	KC 3 a3⑦x5
DP271	土器片円盤	5.0	5.0	1.0	-	35.9	KC 3 a3⑯
DP272	土器片円盤	5.2	5.3	1.0	-	25.8	KC 3 a3一括
DP273	土器片円盤	4.5	4.9	1.4	-	35.4	KC 3 a3③x4
DP274	土器片円盤	3.8	4.1	1.0	-	15.9	KC 3 a3④x3
DP275	土器片円盤	3.0	3.2	1.1	-	11.5	KC 3 a3⑥x11
DP276	土器片円盤	2.9	3.0	1.2	-	12.0	KC 3 a3⑥x2
DP277	土器片円盤	2.7	2.9	0.8	-	8.8	KC 3 a3④
DP278	土器片円盤	2.6	2.8	0.9	-	7.1	KC 3 a3①x18
DP279	土器片円盤	(7.2)	(3.6)	1.5	-	(42.2)	KC 3 a3⑭x5
DP280	土器片円盤	(4.6)	(2.2)	0.8	-	(9.0)	KC 3 a3③x6
DP281	土器片円盤	(4.6)	(2.1)	0.8	-	(6.5)	KC 3 a3⑤
DP282	土器片錘	6.6	5.6	1.3	5.2	52.1	KC 3 a1⑮x9
DP283	土器片錘	4.4	3.3	1.0	3.8	18.2	KC 3 a1⑮x9
DP284	土器片錘	3.4	2.7	1.0	3.0	11.4	KC 3 a1①x9
DP285	土器片円盤	4.8	4.8	1.2	-	31.6	KC 3 a1⑪x11

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP286	土器片錘	9.2	9.1	1.4	7.8	(129.3)	KC 3 a4⑧80層
DP287	土器片錘	8.7	6.5	1.7	7.5	84.3	KC 3 a4⑥x1
DP288	土器片錘	6.9	4.7	1.7	5.7	58.2	KC 3 a4⑭x11
DP289	土器片錘	8.1	4.6	1.5	7.2	66.7	KC 3 a4⑮79層
DP290	土器片錘	6.9	4.3	1.4	6.3	38.1	KC 3 a4⑥x6
DP291	土器片錘	6.6	3.4	1.2	5.9	29.8	KC 3 a4⑮x6
DP292	土器片錘	5.3	4.9	1.1	5.0	25.9	KC 3 a4⑮x1
DP293	土器片錘	4.8	3.5	1.1	4.3	22.1	KC 3 a4⑨62層
DP294	土器片錘	3.9	4.0	0.8	3.4	17.2	KC 3 a4⑧80層
DP295	土器片錘	4.9	3.1	1.2	4.2	16.2	KC 3 a4⑩x4
DP296	土器片錘	5.2	3.6	1.2	4.9	24.4	KC 3 a4⑪x1
DP297	土器片錘	4.7	3.3	1.3	4.0	21.8	KC 3 a4⑬64層
DP298	土器片錘	4.3	4.1	1.1	3.7	15.3	KC 3 a4⑧76層
DP299	土器片錘	4.6	3.1	0.8	4.1	15.6	KC 3 a4⑨
DP300	土器片錘	4.1	3.3	1.1	3.5	19.1	KC 3 a4⑪x15
DP301	土器片錘	3.7	3.9	1.2	3.0	19.2	KC 3 a4⑪x5
DP302	土器片錘	4.5	3.1	1.2	4.0	19.0	KC 3 a4⑥x3
DP303	土器片錘	3.6	3.7	0.9	3.2	17.0	KC 3 a4③x12
DP304	土器片錘	4.1	3.3	1.2	3.7	17.5	KC 3 a4⑨62層
DP305	土器片錘	4.6	2.6	1.0	4.3	18.1	KC 3 a4⑭272層
DP306	土器片錘	4.4	3.5	0.8	4.0	13.1	KC 3 a4⑨x1
DP307	土器片錘	4.0	3.5	1.0	3.5	15.4	KC 3 a4⑤73層
DP308	土器片錘	3.8	3.0	0.9	3.4	13.4	KC 3 a4⑧78層
DP309	土器片錘	2.9	3.0	1.1	2.6	11.7	KC 3 a4⑬62層
DP310	土器片錘	3.3	2.7	1.0	2.8	9.9	KC 3 a4⑤64層
DP311	土器片錘	3.5	2.6	0.7	2.9	8.7	KC 3 a4⑮x1
DP312	土器片錘	4.0	2.7	0.9	3.6	10.5	KC 3 a4⑦x8
DP313	土器片錘	3.4	2.1	1.0	3.2	9.8	KC 3 a4①269層
DP314	土器片錘	2.7	2.3	0.8	2.2	5.9	KC 3 a4④70層
DP315	土器片錘	2.6	2.4	0.7	2.2	5.8	KC 3 a4⑭x2
DP316	土器片円盤	4.9	5.1	1.2	-	40.8	KC 3 a4②
DP317	土器片円盤	5.1	5.3	1.1	-	31.9	KC 3 a4⑥x1
DP318	土器片円盤	4.2	4.1	1.0	-	18.5	KC 3 a4⑥x4
DP319	土器片円盤	3.8	3.6	1.1	-	18.5	KC 3 a4⑯
DP320	土器片円盤	3.2	3.4	1.0	-	13.6	KC 3 a4④64層
DP321	土器片円盤	2.6	2.8	0.9	-	8.1	KC 3 a4②x2
DP322	土器片円盤	3.0	2.8	0.9	-	9.0	KC 3 a4⑮x1
DP323	土器片円盤	2.8	3.1	0.8	-	8.6	KC 3 a4⑬62層
DP324	土器片円盤	2.8	2.4	0.9	-	6.6	KC 3 a4⑧80層
DP325	土器片円盤	2.3	2.2	0.7	-	5.1	KC 3 a4⑤267層
DP326	土器片円盤	2.1	2.0	0.9	-	4.3	KC 3 a4②x5
DP327	土器片円盤	3.8	3.8	0.8	-	13.2	KC 3 a4④64層
DP328	土器片円盤	4.2	4.3	1.0	-	15.1	KC 3 a4⑧77層
DP329	土器片円盤	(6.2)	(3.2)	1.0	-	(22.6)	KC 3 a4⑨
DP330	土器片円盤	(4.3)	(2.2)	0.6	-	(6.3)	KC 3 a4①71層
DP332	土器片錘	3.8	3.7	0.9	3.2	19.2	KC 3 a5②x4
DP333	土器片錘	3.7	3.8	0.7	3.3	15.1	KC 3 a5①x5

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP334	土器片円盤	4.9	4.8	1.0	-	21.2	KC 3 a5⑬
DP335	土器片円盤	4.2	4.2	0.9	-	17.0	KC 3 a5① x 2
DP336	土器片錘	7.6	5.9	1.3	6.8	71.6	KC 3 b1⑫277層
DP337	土器片錘	6.7	5.7	1.0	6.4	47.4	KC 3 b1⑮ x 10
DP338	土器片錘	7.0	3.7	1.1	6.7	31.8	KC 3 b1⑩ x 13
DP339	土器片錘	6.0	4.2	1.2	5.5	37.7	KC 3 b1⑮ x 10
DP340	土器片錘	6.0	3.8	1.4	5.5	24.6	KC 3 b1⑤ x 4
DP341	土器片錘	5.8	3.6	1.5	5.0	27.2	KC 3 b1⑯60層
DP342	土器片錘	5.3	4.2	0.8	4.8	25.0	KC 3 b1⑫50層
DP343	土器片錘	3.7	3.8	0.9	3.0	14.1	KC 3 b1③ x 5
DP344	土器片錘	4.2	4.0	0.7	3.7	12.8	KC 3 b1⑪ x 4
DP345	土器片錘	3.6	3.1	1.1	3.0	16.8	KC 3 b1⑦ x 10
DP346	土器片錘	5.9	2.6	1.1	5.3	17.9	KC 3 b1⑪ x 4
DP347	土器片錘	4.6	3.2	1.2	3.5	16.1	KC 3 b1⑯61層
DP348	土器片錘	2.9	4.5	0.7	2.2	9.9	KC 3 b1① x 9
DP349	土器片錘	4.6	2.8	0.8	4.0	14.3	KC 3 b1③ x 4
DP350	土器片錘	3.4	2.9	0.8	3.1	10.1	KC 3 b1① x 3
DP351	土器片円盤	3.8	4.3	1.1	-	19.0	KC 3 b1⑪ x 7
DP352	土器片錘	5.7	5.4	1.3	5.0	48.9	KC 3 b2⑬ x 13
DP353	土器片錘	7.1	9.3	1.6	6.8	46.3	KC 3 b2③ x 4
DP354	土器片錘	5.4	4.5	1.1	4.9	31.3	KC 3 b2② x 22
DP355	土器片錘	4.7	4.2	0.9	4.1	26.5	KC 3 b2① x 5
DP356	土器片錘	6.0	3.6	1.2	5.5	24.6	KC 3 b2⑧ x 19
DP357	土器片錘	5.6	4.0	1.0	4.8	22.4	KC 3 b2⑬ x 13
DP358	土器片錘	5.0	4.1	1.0	4.4	25.4	KC 3 b2② x 6
DP359	土器片錘	4.7	5.0	1.1	4.2	27.2	KC 3 b2① x 20
DP360	土器片錘	4.6	3.8	1.2	4.0	26.3	KC 3 b2一括
DP361	土器片錘	5.1	3.6	0.9	4.5	20.6	KC 3 b2⑦
DP362	土器片錘	5.5	3.8	1.0	4.8	21.5	KC 3 b2⑪ x 9
DP363	土器片錘	4.8	3.6	1.2	4.3	29.7	KC 3 b2① x 21
DP364	土器片錘	4.5	3.6	1.3	3.8	25.3	KC 3 b2⑮ x 12
DP365	土器片錘	4.2	3.7	0.9	3.6	17.2	KC 3 b2③ x 8
DP366	土器片錘	4.7	3.4	1.2	3.9	22.7	KC 3 b2⑭ x 15
DP367	土器片錘	4.2	3.9	1.1	3.5	22.2	KC 3 b2⑨ x 8
DP368	土器片錘	4.8	3.5	1.3	4.2	22.3	KC 3 b2⑩ x 12
DP369	土器片錘	5.4	2.8	1.3	4.9	21.2	KC 3 b2⑮ x 12
DP370	土器片錘	4.5	4.2	1.0	4.1	22.0	KC 3 b2② x 6
DP371	土器片錘	3.8	3.4	0.8	3.2	11.2	KC 3 b2⑩ x 11
DP372	土器片錘	4.2	2.9	0.9	3.7	12.9	KC 3 b2一括
DP373	土器片錘	3.8	4.1	0.8	3.0	16.2	KC 3 b2⑪ x 7
DP374	土器片錘	4.1	3.9	1.0	3.4	14.0	KC 3 b2⑫ x 7
DP375	土器片錘	4.7	3.6	0.9	4.0	16.5	KC 3 b2⑫ x 6
DP376	土器片錘	4.0	2.8	1.1	3.2	14.1	KC 3 b2⑤ x 11
DP377	土器片錘	3.7	3.5	1.0	3.2	13.4	KC 3 b2⑮ x 8
DP378	土器片錘	4.1	3.3	1.0	3.7	14.7	KC 3 b2⑭ x 5
DP379	土器片錘	3.1	4.0	0.9	2.6	10.8	KC 3 b2④ x 19
DP380	土器片錘	3.4	3.1	1.1	2.9	12.2	KC 3 b2⑧ x 20

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP381	土器片錘	2.6	2.4	0.9	2.1	6.1	KC 3 b2⑪ x 7
DP382	土器片円盤	5.4	5.4	1.3	-	37.9	KC 3 b2⑭
DP383	土器片円盤	4.7	4.9	1.0	-	25.5	KC 3 b2③ x 5
DP384	土器片円盤	4.1	4.2	1.0	-	16.6	KC 3 b2⑪
DP385	土器片円盤	3.4	3.0	1.2	-	13.7	KC 3 b2⑬ x 18
DP386	土器片円盤	3.0	3.0	0.6	-	6.6	KC 3 b2⑫ x 5
DP387	土器片円盤	(3.6)	(2.1)	0.9	-	(7.1)	KC 3 b2⑤
DP388	土器片錘	5.5	3.4	1.3	4.8	23.7	KC 3 b2⑮ x 1
DP389	土器片錘	4.2	4.2	1.0	3.3	18.4	KC 3 b2⑮ x 1
DP390	土器片錘	7.6	6.6	1.3	6.4	72.4	KC 3 b3⑩ x 17
DP391	土器片錘	7.4	5.1	1.3	6.4	60.1	KC 3 b3⑬68層
DP392	土器片錘	5.3	5.6	1.3	4.2	41.0	KC 3 b3⑫285層
DP393	土器片錘	5.8	4.6	1.1	5.2	27.8	KC 3 b3⑭73層
DP394	土器片錘	4.8	3.5	1.3	4.4	28.0	KC 3 b3⑫62層
DP395	土器片錘	5.5	3.2	1.1	4.6	22.3	KC 3 b3⑮ x 16
DP396	土器片円盤	4.1	4.5	1.0	-	23.4	KC 3 b3⑦ x 16
DP397	土器片錘	4.5	3.9	1.0	4.0	17.1	KC 3 b3⑬267層
DP398	土器片錘	4.8	4.3	1.1	4.4	20.2	KC 3 b3⑩ x 3
DP399	土器片錘	4.7	3.5	1.4	4.2	25.8	KC 3 b3⑥ x 10
DP400	土器片錘	5.3	3.5	0.9	4.7	19.7	KC 3 b3⑤69層
DP401	土器片錘	4.9	3.7	1.0	4.4	27.6	KC 3 b3⑨60層
DP402	土器片錘	4.6	3.9	1.1	3.7	22.7	KC 3 b3⑥281層
DP403	土器片錘	3.8	3.7	1.0	3.3	19.5	KC 3 b3⑭73層
DP404	土器片錘	3.7	3.6	1.1	3.0	18.8	KC 3 b3⑭ x 15
DP405	土器片錘	4.5	2.4	1.2	4.0	15.2	KC 3 b3⑨68層
DP406	土器片錘	3.9	3.6	0.9	3.4	15.6	KC 3 b3⑩ x 4
DP407	土器片錘	4.2	3.4	0.9	3.5	16.5	KC 3 b3⑪ x 7
DP408	土器片錘	3.9	3.7	1.1	3.4	15.5	KC 3 b3①64層
DP409	土器片錘	4.4	2.8	1.1	3.8	13.3	KC 3 b3⑥281層
DP410	土器片錘	3.9	3.6	0.7	3.6	11.1	KC 3 b3⑮285層
DP411	土器片錘	4.1	2.5	0.9	3.6	12.9	KC 3 b3⑪ x 16
DP412	土器片錘	4.2	2.4	1.0	3.7	10.9	KC 3 b3⑪ x 7
DP413	土器片錘	3.2	2.8	1.1	2.7	12.2	KC 3 b3⑩ x 5
DP414	土器片錘	3.2	2.7	1.1	2.7	8.5	KC 3 b3①68層
DP415	土器片錘	3.5	2.8	1.0	2.9	11.9	KC 3 b3⑮64層
DP416	土器片錘	3.2	2.8	1.0	2.9	10.9	KC 3 b3①66層
DP417	土器片錘	2.8	2.6	0.9	2.3	8.3	KC 3 b3⑮268層
DP418	土器片錘	3.0	2.7	1.2	2.6	9.8	KC 3 b3⑧64層
DP419	土器片錘	3.0	2.3	0.9	2.6	8.7	KC 3 b3⑭ x 7
DP420	土器片錘	2.7	2.2	0.6	2.2	5.1	KC 3 b3⑨60層
DP421	土器片錘	2.5	2.6	0.9	2.3	7.4	KC 3 b3⑦ x 7
DP422	土器片錘	3.2	1.9	1.1	2.8	6.9	KC 3 b3①66層
DP423	土器片円盤	5.0	4.7	1.3	-	32.8	KC 3 b3⑬275層
DP424	土器片円盤	4.9	4.8	1.3	-	30.1	KC 3 b3④288層
DP425	土器片円盤	4.6	4.6	1.4	-	29.7	KC 3 b3⑬275層
DP426	土器片円盤	3.7	4.1	1.1	-	17.8	KC 3 b3⑭ x 5
DP427	土器片円盤	3.2	3.1	1.0	-	10.9	KC 3 b3②

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP428	土器片円盤	3.6	3.6	0.9	-	14.4	KC 3 b3⑨267層
DP429	土器片円盤	3.9	3.7	0.9	-	13.5	KC 3 b3⑩x4
DP430	土器片円盤	2.6	2.7	1.0	-	8.2	KC 3 b3⑬
DP431	土器片円盤	1.9	2.0	0.7	-	3.0	KC 3 b3⑬60層
DP432	土器片円盤	6.3 (3.5)	1.3	-	(24.6)	KC 3 b3⑭	
DP433	土器片円盤	3.2	3.1	0.8	-	8.3	KC 3 b3⑮68層
DP434	土器片円盤	2.8	2.9	1.0	-	7.1	KC 3 b3⑰
DP435	土器片錘	3.7	3.1	1.0	3.1	15.8	KC 3 b2⑱x19
DP436	土器片錘	7.7	6.9	1.1	6.8	57.0	KC 3 b4⑳x15
DP437	土器片錘	5.2	5.3	1.4	4.1	47.2	KC 3 b4㉑
DP438	土器片錘	6.1	4.7	1.0	5.3	25.0	KC 3 b4㉒
DP439	土器片錘	5.8	4.3	1.2	5.2	35.9	KC 3 b4㉓x14
DP440	土器片錘	5.8	3.9	1.1	4.9	31.6	KC 3 b4㉔x1
DP441	土器片錘	4.7	4.7	1.6	3.7	37.8	KC 3 b4㉕
DP442	土器片錘	5.5	4.1	1.2	4.7	34.7	KC 3 b4一括
DP443	土器片錘	5.7	3.4	1.2	5.1	21.2	KC 3 b4㉖x3
DP444	土器片錘	5.3	3.8	1.2	4.7	27.6	KC 3 b4㉗x3
DP445	土器片錘	5.5	3.2	1.2	5.0	25.7	KC 3 b4㉘
DP446	土器片錘	5.0	4.0	1.0	4.5	25.3	KC 3 b4㉙x4
DP447	土器片錘	5.2	3.9	1.1	4.6	25.3	KC 3 b4㉚x10
DP448	土器片錘	4.8	4.0	1.1	4.6	22.6	KC 3 b4㉛x7
DP449	土器片錘	4.9	2.9	1.0	4.2	16.6	KC 3 b4㉜x9
DP450	土器片錘	4.9	3.3	0.9	4.4	14.5	KC 3 b4㉝
DP451	土器片錘	4.9	4.2	1.0	3.0	19.3	KC 3 b4㉞
DP452	土器片錘	4.4	3.7	0.9	4.0	18.4	KC 3 b4㉟x11
DP453	土器片錘	4.1	2.9	1.1	3.5	14.0	KC 3 b4㊱x6
DP454	土器片錘	4.3	3.2	1.1	3.9	19.5	KC 3 b4㊲
DP455	土器片錘	5.1	3.3	0.9	4.4	15.3	KC 3 b4㊳
DP456	土器片錘	4.5	3.1	1.1	4.1	16.7	KC 3 b4㊴
DP457	土器片錘	3.9	2.9	0.9	3.4	12.3	KC 3 b4一括
DP458	土器片錘	3.4	3.0	0.9	3.0	10.2	KC 3 b4㊵x4
DP459	土器片錘	4.1	2.3	1.1	3.6	10.6	KC 3 b4㊶
DP460	土器片錘	3.5	2.4	0.8	3.1	8.4	KC 3 b4㊷
DP461	土器片錘	3.3	2.7	1.0	2.7	11.9	KC 3 b4㊸x1
DP462	土器片錘	3.2	2.3	1.2	2.9	9.8	KC 3 b4一括
DP463	土器片錘	3.1	2.2	1.3	2.6	9.2	KC 3 b4㊹x8
DP464	土器片錘	2.9	2.4	0.8	2.7	5.7	KC 3 b4㊺x4
DP465	土器片錘	2.1	1.7	0.7	1.8	3.0	KC 3 b4㊻x1
DP466	土器片円盤	4.1 (2.2)	0.9	-	(8.6)	KC 3 b4㊼	
DP467	土器片錘	7.0	6.4	1.3	6.4	53.3	KC 3 b5㊽
DP468	土器片錘	5.3	4.5	1.0	5.0	21.2	KC 3 b5㊾
DP469	土器片錘	4.7	2.7	1.2	4.2	19.1	KC 3 b5㊿x2
DP471	土器片錘	8.1	8.0	1.6	7.4	100.1	KC 3 c1㉑
DP472	土器片錘	8.0	7.4	1.5	6.4	112.3	KC 3 c1㉒x6
DP473	土器片錘	5.7	5.0	1.0	5.0	40.8	KC 3 c1㉓x7
DP474	土器片錘	5.6	4.5	1.1	4.8	29.2	KC 3 c1㉔x13
DP475	土器片錘	6.5	4.9	1.5	5.9	51.7	KC 3 c1㉕x11

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP476	土器片錘	5.6	4.6	1.3	4.8	33.3	KC 3 c1㉖x16
DP477	土器片錘	5.0	4.3	1.1	4.3	24.6	KC 3 c1㉗x16
DP478	土器片錘	5.5	3.9	1.1	4.4	27.7	KC 3 c1㉘x8
DP479	土器片錘	5.1	3.8	1.0	4.5	20.3	KC 3 c1㉙x8
DP480	土器片錘	5.6	3.6	1.3	5.0	23.2	KC 3 c1㉚x13
DP481	土器片錘	4.3	3.7	0.8	3.9	15.7	KC 3 c1㉛x9
DP482	土器片錘	4.1	3.5	1.1	4.0	20.3	KC 3 c1㉜x19
DP483	土器片錘	4.4	3.9	1.0	4.1	19.0	KC 3 c1㉝x22
DP484	土器片錘	4.0	3.2	1.1	3.5	17.3	KC 3 c1㉞x18
DP485	土器片錘	3.8	3.6	1.0	3.1	17.6	KC 3 c1㉟x7
DP486	土器片錘	3.7	3.6	1.0	3.2	14.5	KC 3 c1㊱x22
DP487	土器片錘	5.8	2.6	1.1	5.2	20.6	KC 3 c1㊲x9
DP488	土器片錘	4.4	3.2	1.2	3.7	18.2	KC 3 c1㊳x8
DP489	土器片錘	3.6	3.3	0.9	3.2	14.3	KC 3 c1㊴x5
DP490	土器片錘	3.3	3.4	0.9	2.8	11.2	KC 3 c1㊵x14
DP491	土器片錘	4.1	2.8	0.9	3.4	12.4	KC 3 c1㊶x21
DP492	土器片錘	4.3	2.6	1.0	3.8	14.1	KC 3 c1㊷x13
DP493	土器片錘	3.5	2.8	1.1	3.3	12.4	KC 3 c1㊸x11
DP494	土器片錘	3.4	2.9	1.1	2.9	10.8	KC 3 c1㊹x13
DP495	土器片錘	3.7	2.3	1.1	3.4	10.0	KC 3 c1㊺x16
DP496	土器片錘	3.1	2.6	0.9	2.3	8.7	KC 3 c1㊻x11
DP497	土器片錘	3.0	2.6	1.1	2.7	10.7	KC 3 c1㊼x10
DP498	土器片錘	2.3	2.4	1.3	2.0	7.0	KC 3 c1㊽x1
DP499	土器片錘	2.5	2.2	0.9	2.2	5.9	KC 3 c1㊾x9
DP500	土器片円盤	4.1	4.5	1.0	-	23.0	KC 3 c1㊿
DP501	土器片円盤	3.8	4.2	0.6	-	11.6	KC 3 c1㉑
DP502	土器片円盤	5.0	5.3	1.4	-	40.7	KC 3 c1㉒
DP503	土器片円盤	4.8	4.7	0.9	-	21.6	KC 3 c1㉓
DP504	土器片円盤	5.3 (3.0)	(0.9)	-	(14.6)	KC 3 c1㉔	
DP505	土器片錘	7.0	6.7	1.2	6.1	67.9	KC 3 c2㉕275層
DP506	土器片錘	6.2	4.9	1.3	5.4	47.4	KC 3 c2㉖63層
DP507	土器片錘	6.7	6.5	1.2	6.2	53.4	KC 3 c2㉗274層
DP508	土器片錘	6.2	6.5	1.1	5.3	41.8	KC 3 c2㉘274層
DP509	土器片錘	6.3	6.8	1.3	5.3	51.6	KC 3 c2㉙x13
DP510	土器片錘	6.2	5.2	1.3	5.5	46.6	KC 3 c2㉚269層
DP511	土器片錘	5.4	5.3	1.3	4.5	43.0	KC 3 c2㉛68層
DP512	土器片錘	5.9	4.4	1.3	5.5	48.5	KC 3 c2㉜x1
DP513	土器片錘	5.8	4.4	0.9	5.2	29.6	KC 3 c2㉝x10
DP514	土器片錘	6.0	5.1	1.3	5.3	46.8	KC 3 c2㉞274層
DP515	土器片錘	5.4	4.7	1.2	4.7	32.8	KC 3 c2㉟274層
DP516	土器片錘	4.7	4.1	1.3	4.3	29.3	KC 3 c2㊱274層
DP517	土器片錘	5.3	4.2	1.1	4.8	25.1	KC 3 c2㊲274層
DP518	土器片錘	5.1	3.0	1.1	4.5	20.0	KC 3 c2㊳x13
DP520	土器片錘	4.8	4.7	1.1	4.3	26.2	KC 3 c2㊴x13
DP521	土器片錘	5.7	3.2	1.4	5.0	25.5	KC 3 c2㊵267層
DP522	土器片錘	4.6	3.3	1.1	3.9	22.0	KC 3 c2㊶x10
DP523	土器片錘	5.0	3.6	1.7	4.7	31.7	KC 3 c2㊷267層

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP524	土器片錘	4.3	3.8	0.9	3.6	15.4	KC 3 c2⑥x14
DP525	土器片錘	4.7	4.0	1.0	4.1	20.3	KC 3 c2⑭x1
DP526	土器片錘	3.8	3.1	1.0	3.3	13.0	KC 3 c2⑤275層
DP527	土器片錘	3.8	3.2	1.1	3.4	13.2	KC 3 c2⑨62層
DP528	土器片錘	4.2	3.2	0.9	3.9	12.7	KC 3 c2②x6
DP529	土器片錘	4.0	3.1	1.3	3.7	16.5	KC 3 c2③x5
DP530	土器片錘	4.3	3.7	0.9	3.9	14.1	KC 3 c2⑧274層
DP531	土器片錘	4.6	2.5	1.0	4.2	13.3	KC 3 c2⑦x10
DP532	土器片錘	4.2	2.6	1.1	3.7	14.0	KC 3 c2⑦x14
DP533	土器片錘	4.1	2.8	1.1	3.6	13.9	KC 3 c2⑩268層
DP534	土器片錘	3.9	3.2	0.9	3.5	12.7	KC 3 c2⑮x13
DP535	土器片錘	3.6	3.1	0.8	3.0	13.3	KC 3 c2⑨267層
DP536	土器片錘	3.7	3.0	0.9	3.0	11.4	KC 3 c2①275層
DP537	土器片錘	3.1	3.0	1.0	2.6	12.0	KC 3 c2③x1
DP538	土器片錘	3.2	2.2	0.9	2.7	7.7	KC 3 c2⑨275層
DP539	土器片錘	3.5	2.3	0.9	3.1	7.5	KC 3 c2⑩x11
DP540	土器片錘	2.4	1.6	0.9	2.0	4.3	KC 3 c2⑬274層
DP541	土器片錘	3.6	3.1	0.9	3.3	12.5	KC 3 c2②64層
DP542	土器片円盤	5.3	5.5	1.4	-	33.6	KC 3 c2⑧274層
DP543	土器片円盤	4.3	4.7	1.4	-	35.6	KC 3 c2⑩274層
DP544	土器片円盤	3.3	3.3	1.1	-	13.1	KC 3 c2③x5
DP545	土器片円盤	3.0	3.2	1.3	-	13.2	KC 3 c2⑩274層
DP546	土器片円盤	2.7	2.9	0.9	-	7.4	KC 3 c2一括
DP547	土器片円盤	3.2	3.2	0.9	-	8.8	KC 3 c2⑩
DP549	土器片錘	6.4	4.7	0.9	5.6	42.1	KC 3 c3⑦x10
DP550	土器片錘	5.7	4.9	1.1	5.3	43.4	KC 3 c3③x20
DP551	土器片錘	5.9	4.9	1.2	5.4	36.5	KC 3 c3⑧x8
DP552	土器片錘	5.5	4.4	0.9	5.0	24.3	KC 3 c3⑧x12
DP553	土器片錘	5.0	4.3	1.3	4.7	30.1	KC 3 c3②x9
DP554	土器片錘	6.3	3.8	1.2	5.8	31.1	KC 3 c3⑤x11
DP555	土器片錘	5.7	3.3	1.3	5.1	25.9	KC 3 c3⑬
DP556	土器片錘	4.7	4.4	0.9	4.2	21.7	KC 3 c3⑦x5
DP557	土器片錘	4.7	4.9	1.1	4.2	25.4	KC 3 c3⑥x12
DP558	土器片錘	4.6	4.3	1.0	4.1	19.6	KC 3 c2⑥x3
DP559	土器片錘	4.6	4.1	1.3	4.0	23.3	KC 3 c2⑤x20
DP560	土器片錘	4.4	3.6	1.1	3.8	22.6	KC 3 c2③x6
DP561	土器片錘	5.3	4.3	1.0	4.2	24.1	KC 3 c3⑥x17
DP562	土器片錘	4.5	3.7	1.1	3.7	21.2	KC 3 c3②x13
DP563	土器片錘	4.9	3.3	1.0	4.3	20.7	KC 3 c3⑤x9
DP564	土器片錘	4.8	3.0	1.3	4.4	22.6	KC 3 c3⑨x3
DP565	土器片錘	3.9	3.4	1.3	3.6	22.0	KC 3 c3⑥x3
DP566	土器片錘	4.3	2.7	1.0	3.9	15.8	KC 3 c3⑬x21
DP567	土器片錘	4.7	3.3	0.8	4.1	14.9	KC 3 c3⑫x16
DP568	土器片錘	4.2	3.7	1.0	3.7	18.2	KC 3 c3⑦x9
DP569	土器片錘	3.9	3.6	0.9	3.6	14.3	KC 3 c3⑩x11
DP570	土器片錘	4.5	2.8	1.2	4.0	16.3	KC 3 c3⑤x8
DP571	土器片錘	4.0	2.6	1.0	3.4	14.5	KC 3 c3③x12

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP572	土器片錘	3.5	3.2	1.0	3.1	14.2	KC 3 c3⑭x16
DP573	土器片錘	3.6	2.7	1.0	3.1	13.0	KC 3 c3⑮x4
DP574	土器片錘	4.0	3.2	1.0	3.6	13.7	KC 3 c3⑤x11
DP575	土器片錘	3.5	3.1	0.9	3.3	12.1	KC 3 c3⑨x11
DP576	土器片錘	4.5	3.1	0.9	3.9	14.0	KC 3 c3⑦x16
DP577	土器片錘	4.2	2.9	0.8	3.6	12.0	KC 3 c3⑨x3
DP578	土器片錘	3.7	3.3	0.9	3.2	13.3	KC 3 c3②x16
DP579	土器片錘	4.1	2.9	0.9	3.6	13.2	KC 3 c3⑦x15
DP580	土器片錘	3.5	2.9	0.9	3.0	12.2	KC 3 c3④x5
DP581	土器片錘	3.3	2.5	1.1	2.8	11.5	KC 3 c3⑦x14
DP582	土器片錘	3.3	2.7	1.0	2.9	12.5	KC 3 c3⑦x9
DP583	土器片錘	3.6	2.7	0.9	2.9	9.4	KC 3 c3⑩x11
DP584	土器片錘	3.5	1.9	0.9	3.1	7.2	KC 3 c3⑦x7
DP585	土器片錘	2.8	1.8	1.2	2.4	6.8	KC 3 c3⑧x1
DP586	土器片錘	2.4	1.9	0.9	2.1	4.6	KC 3 c3⑥x4
DP587	土器片円盤	5.0	4.8	0.8	-	22.2	KC 3 c3⑩x14
DP588	土器片円盤	3.7	3.6	0.8	-	13.2	KC 3 c3⑩x9
DP589	土器片円盤	3.5	3.6	0.8	-	11.2	KC 3 c3⑤x11
DP590	土器片円盤	3.1	3.3	1.5	-	15.3	KC 3 c3⑥x11
DP591	土器片円盤	2.7	2.6	0.8	-	7.6	KC 3 c3⑤x12
DP592	土器片円盤	2.3	2.2	1.1	-	5.8	KC 3 c3⑥x4
DP594	土器片円盤	2.6	2.7	0.7	-	5.2	KC 3 d1⑩x13
DP595	土器片錘	6.3	3.8	1.2	5.8	35.6	KC 3 d2④
DP596	土器片錘	2.3	1.9	0.9	2.0	4.9	KC 3 d2④x3
DP597	土器片錘	5.8	4.0	1.2	5.3	23.6	KB 2 a2④x9
DP598	土器片円盤	5.8	6.1	1.1	-	45.7	KC 3 a3⑩
DP599	土器片円盤	3.2	3.2	1.1	-	13.7	KC 3 b2⑧x8
DP600	土器片円盤	3.0	2.9	0.8	-	9.2	KC 3 b2⑧x8
DP601	土器片円盤	4.8	4.8	1.2	-	25.8	KC 3 b4⑥
DP603	土器片錘	7.7	6.4	1.2	6.6	59.1	KA 3 c2⑧267層
DP604	土器片円盤	2.9	2.9	0.9	-	9.1	KA 3 c2⑧267層
DP605	土器片錘	8.4	6.6	1.6	7.5	92.7	KA 3 d2⑭
DP606	土器片円盤	2.7	2.7	0.9	-	7.7	KA 3 e4③x11
DP608	土器片錘	5.9	4.5	0.9	5.3	41.7	KB 2 b4⑮x5
DP609	土器片錘	4.3	4.2	1.0	4.0	21.3	KB 2 b4⑯x4
DP610	土器片錘	4.8	3.5	1.1	4.4	21.4	KB 2 b4⑯x13
DP611	土器片錘	4.8	3.5	1.2	4.2	21.4	KB 2 b4⑮x11
DP612	土器片錘	3.3	2.8	0.9	2.8	10.7	KB 2 b4⑬x10
DP613	土器片錘	4.0	2.6	1.1	3.6	11.9	KB 2 b5⑮x14
DP614	土器片錘	3.9	2.5	1.0	3.2	9.4	KB 2 b5⑦x8
DP615	土器片錘	3.9	2.5	1.1	3.4	10.5	KB 2 b5⑩x19
DP616	土器片錘	3.6	2.6	1.3	3.1	15.3	KB 2 b5⑦302層
DP617	土器片錘	2.9	3.3	0.9	2.5	9.3	KB 2 b5③x17
DP618	土器片錘	2.7	3.0	1.1	2.3	10.5	KB 2 b5⑮x4
DP619	土器片錘	3.1	3.2	1.0	2.7	9.5	KB 2 b5⑮x11
DP620	土器片錘	2.7	2.6	1.0	2.3	9.3	KB 2 b5⑩231層
DP623	土器片錘	4.7	3.8	0.9	3.8	19.5	KB 2 c2⑫433層

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切込み/み間隔	重量	出土位置
DP624	土器片錘	4.2	3.0	1.0	3.8	15.5	KB 2 c3④x8
DP625	土器片錘	4.2	3.8	1.2	3.8	22.3	KB 2 c5⑥x1
DP626	土器片錘	4.6	3.7	1.1	4.1	20.1	KB 2 c5⑬x19
DP627	土器片錘	3.3	2.3	1.0	3.0	8.3	KB 2 c5⑤780層
DP628	土器片錘	5.2	4.6	1.0	4.6	24.1	KB 2 d1⑯421層
DP629	土器片錘	3.5	3.0	1.0	3.1	12.3	KB 2 d3⑮575層
DP630	土器片錘	4.3	3.7	1.2	3.9	24.9	KB 2 d5②x19
DP631	土器片錘	3.9	3.3	1.2	3.5	14.2	KB 2 d5⑫781層
DP632	土器片錘	3.6	3.2	1.1	3.2	13.0	KB 2 d5⑤476層
DP633	土器片錘	3.1	2.6	1.1	2.6	8.8	KB 2 d5⑬461層
DP634	土器片錘	2.7	2.3	1.0	2.4	7.3	KB 2 d5⑮x6
DP635	土器片円盤	2.6	2.5	1.2	-	8.1	KB 2 d5⑯788層
DP637	土器片錘	4.6	3.9	1.2	4.0	23.9	KB 2 e2⑫442層
DP638	土器片錘	5.4	2.6	1.3	5.1	19.3	KB 2 e2①421層
DP639	土器片錘	4.1	3.6	1.3	3.7	18.0	KB 2 e2⑫445層
DP640	土器片錘	3.9	3.3	0.9	3.8	15.3	KB 2 e2⑮x10
DP641	土器片錘	3.8	3.4	1.0	3.4 3.5	14.3	KB 2 e2⑥x7
DP642	土器片錘	3.6	3.2	1.1	3.0	13.0	KB 2 e2⑮x10
DP643	土器片錘	3.8	3.5	0.7	3.3	11.5	KB 2 e2⑨422層
DP644	土器片錘	3.9	2.7	1.3	3.5	13.9	KB 2 e2⑨422層
DP645	土器片錘	7.3	5.7	1.5	6.6	81.9	KB 2 e4⑯471層
DP646	土器片錘	6.5	4.7	1.4	5.8	45.9	KB 2 e4⑬501層
DP647	土器片錘	5.3	4.4	1.4	5.0	39.3	KB 2 e4⑬510層
DP648	土器片錘	4.5	3.5	0.9	4.2	17.3	KB 2 e4⑪x6
DP649	土器片錘	4.0	4.0	1.3	3.5	19.8	KB 2 e4①500層
DP650	土器片錘	4.6	2.7	1.1	4.0	14.4	KB 2 e4⑥x8
DP651	土器片錘	4.3	3.0	1.2	3.8	15.7	KB 2 e4⑩x13
DP652	土器片錘	3.5	3.1	1.2	3.3	12.6	KB 2 e4⑤498層
DP653	土器片錘	3.3	2.8	0.9	3.0	10.2	KB 2 e4⑬512層
DP654	土器片錘	6.3	5.4	1.2	5.9	53.3	KB 2 e5⑧1048層
DP655	土器片錘	5.4	4.7	1.1	4.8	32.5	KB 2 e5⑯540層
DP656	土器片錘	4.5	3.3	1.0	3.9	15.4	KB 2 e5⑮x15
DP657	土器片錘	4.3	2.7	1.0	3.9	14.5	KB 2 e5⑯1048層
DP658	土器片錘	6.7	4.0	1.3	6.3	40.9	KB 3 a1⑭x9
DP659	土器片錘	3.8	2.8	1.1	3.3	9.4	KB 3 a1⑮x11
DP660	土器片錘	3.5	2.2	1.2	3.1	9.5	KB 3 a1⑧x11
DP661	土器片錘	3.8	3.8	0.9	3.2	13.3	KB 3 a4⑩x16
DP662	土器片錘	3.7	3.6	1.2	3.3	16.8	KB 3 a5⑪x2
DP663	土器片錘	5.7	4.0	0.8	4.9	23.1	KB 3 b3④x10
DP664	土器片錘	3.2	2.7	0.9	2.7	9.9	KB 3 b3④x10
DP665	土器片錘	3.2	2.1	0.9	2.8	7.7	KB 3 b3⑬x10
DP666	土器片円盤	3.5	3.6	0.8	-	9.7	KB 3 b3④x10
DP667	土器片円盤	2.8	2.7	0.6	-	6.4	KB 3 b3⑭x10
DP668	土器片錘	5.1	4.6	1.3	4.5	28.6	KB 3 c1⑩x17
DP669	土器片錘	4.6	3.8	1.1	3.9	27.0	KB 3 c3⑮x12
DP670	土器片錘	4.2	4.4	1.1	3.6	19.4	KB 3 c3⑭x15
DP671	土器片錘	4.7	2.3	1.2	4.2	18.7	KB 3 c3④7層

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切込み/み間隔	重量	出土位置
DP672	土器片錘	5.2	4.3	0.9	5.0	26.1	KB 3 c4⑪x4
DP673	土器片錘	4.8	3.2	1.0	4.5	22.3	KB 3 c4⑦x4
DP674	土器片錘	6.4	5.2	1.5	5.7	53.9	KB 3 d1⑦x13
DP675	土器片錘	3.7	3.6	1.3	3.2	15.1	KB 3 d1②x16
DP676	土器片錘	6.3	4.3	1.1	5.6	35.4	KB 3 d2⑩x3
DP677	土器片錘	6.8	4.3	1.5	6.4	41.8	KB 3 d2一括
DP678	土器片錘	3.7	3.3	1.2	3.2	18.5	KB 3 d2⑥x4
DP679	土器片錘	6.5	4.4	1.4	6.1	39.5	KB 3 d3⑪x20
DP680	土器片錘	4.2	3.8	1.0	3.9	21.4	KB 3 d3⑬243層
DP681	土器片錘	4.3	3.5	0.9	4.0	11.7	KB 3 d3⑤217層
DP682	土器片錘	3.5	3.4	0.9	3.1	12.2	KB 3 d3④x9
DP683	土器片錘	3.0	2.3	1.1	2.7	9.2	KB 3 d3一括
DP684	土器片錘	6.5	4.3	1.8	6.0	55.3	KB 3 d4⑬248層
DP685	土器片錘	6.5	4.8	2.2	5.8	49.8	KB 3 d4②x2
DP686	土器片錘	4.3	3.0	1.1	3.8	16.4	KB 3 d4⑨248層
DP687	土器片錘	3.7	3.2	0.9	3.3	12.5	KB 3 d4⑨238層
DP688	土器片錘	4.3	2.9	1.1	4.0	17.4	KB 3 d4⑤212層
DP689	土器片錘	3.7	3.3	1.1	3.2	14.1	KB 3 d5⑨x6
DP690	土器片錘	6.3	4.7	1.1	5.7	39.1	KB 3 e1③x13
DP691	土器片錘	4.9	4.9	1.0	4.3	26.2	KB 3 e1⑫x18
DP692	土器片錘	5.7	3.2	1.4	5.3	25.9	KB 3 e1⑯x27
DP693	土器片錘	3.7	3.4	1.1	3.3	16.0	KB 3 e1⑯x10
DP694	土器片錘	3.7	3.2	1.0	3.3	15.5	KB 3 e1⑯x20
DP695	土器片錘	3.7	3.1	1.1	3.1	16.0	KB 3 e1⑫x24
DP696	土器片錘	3.6	3.4	1.1	3.2	17.1	KB 3 e1⑥x15
DP697	土器片錘	3.5	3.2	1.3	3.2	15.8	KB 3 e1⑫x19
DP698	土器片錘	3.4	3.0	0.9	3.1	9.6	KB 3 e1⑤x22
DP699	土器片錘	3.3	2.4	1.0	2.9	8.2	KB 3 e1④x4
DP700	土器片錘	3.7	2.4	0.9	3.3	8.9	KB 3 e1⑨x28
DP701	土器片錘	3.7	2.2	0.9	3.1	9.2	KB 3 e1⑩x15
DP702	土器片錘	2.9	2.5	0.8	2.7	8.2	KB 3 e1⑩x15
DP703	土器片円盤	2.4	2.6	1.1	-	9.1	KB 3 e1⑯x21
DP706	土器片錘	8.0	5.7	1.4	7.3	96.3	KB 3 e2⑫1025層
DP707	土器片錘	9.1	4.9	2.5	8.4	96.3	KB 3 e2③x22
DP708	土器片錘	7.6	5.0	1.3	6.4	66.2	KB 3 e2②x8
DP709	土器片錘	6.0	5.2	1.2	5.6	44.9	KB 3 e2⑩x8
DP710	土器片錘	6.7	3.9	1.4	6.0	24.6	KB 3 e2⑫1026層
DP711	土器片錘	5.0	4.3	1.0	4.6	28.0	KB 3 e2⑮x14
DP712	土器片錘	4.8	3.8	1.4	4.3	26.9	KB 3 e2⑧217層
DP713	土器片錘	4.0	3.9	1.1	3.2	18.5	KB 3 e2一括
DP714	土器片錘	4.2	3.4	0.8	3.7	15.1	KB 3 e2⑫1024層
DP715	土器片錘	3.8	3.1	0.9	3.3	14.6	KB 3 e2⑬x25
DP716	土器片錘	4.5	3.1	0.9	4.0	15.8	KB 3 e2一括
DP717	土器片錘	4.9	2.7	0.9	4.4	14.4	KB 3 e2⑦x12
DP718	土器片錘	4.3	3.2	1.1	3.3	14.6	KB 3 e2⑦
DP719	土器片錘	4.5	3.3	1.1	4.1	17.1	KB 3 e2①255層
DP720	土器片錘	3.7	3.5	1.0	3.2	14.5	KB 3 e2⑭1023層

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP721	土器片錘	3.9	2.6	1.0	3.5	12.7	KB 3 e2⑨
DP722	土器片円盤	5.1	5.2	1.0	-	32.2	KB 3 e2⑭
DP723	土器片円盤	3.0	2.9	1.0	-	8.1	KB 3 e2⑫
DP725	土器片錘	4.0	2.5	1.2	3.5	14.2	KA 3 e2⑮ x 10
DP726	土器片錘	6.9	5.5	1.2	6.2	63.7	KB 3 e3⑬ x 11
DP727	土器片錘	6.7	5.6	1.0	6.0	49.1	KB 3 e8⑥ x 15
DP728	土器片錘	6.8	5.7	1.3	5.9	52.3	KB 3 e3⑨ x 1
DP729	土器片錘	7.2	4.6	1.0	6.6	40.0	KB 3 e3⑩ x 14
DP730	土器片錘	6.4	4.9	1.2	5.9	48.7	KB 3 e3一括
DP731	土器片錘	6.1	4.5	1.1	5.7	29.0	KB 3 e3⑨ x 24
DP732	土器片錘	6.6	4.2	1.2	5.8	39.4	KB 3 e3⑧ x 13
DP733	土器片錘	5.6	4.2	1.2	5.1	37.9	KB 3 e3④
DP734	土器片錘	6.5	3.2	1.4	6.2	28.3	KB 3 e3⑤ x 8
DP735	土器片錘	5.6	3.7	1.2	5.2	22.7	KB 3 e3⑧ x 16
DP736	土器片錘	5.3	3.6	1.3	5.1	30.8	KB 3 e3⑥ x 8
DP737	土器片錘	4.4	4.5	1.0	4.0	19.3	KB 3 e3① x 11
DP738	土器片錘	4.7	4.3	1.2	4.3	27.4	KB 3 e3⑩
DP739	土器片錘	4.3	3.8	1.1	3.9	23.0	KB 3 e3⑦
DP740	土器片錘	4.2	3.6	0.9	3.9	16.7	KB 3 e3⑨ x 1
DP741	土器片錘	4.0	3.6	1.1	3.1	17.3	KB 3 e3⑨
DP742	土器片錘	4.4	3.2	1.3	4.1	18.2	KB 3 e3⑯ x 15
DP743	土器片錘	3.9	3.5	1.1	3.5	16.6	KB 3 e3⑩
DP744	土器片錘	4.4	3.5	1.2	3.9	19.8	KB 3 e3⑯ x 2
DP745	土器片錘	3.8	3.4	1.0	3.5	16.0	KB 3 e3①
DP746	土器片錘	3.8	3.2	0.9	2.9	13.0	KB 3 e3⑦
DP747	土器片錘	3.4	3.6	1.0	2.9	13.6	KB 3 e3① x 6
DP748	土器片錘	3.8	2.9	1.1	3.2	13.6	KB 3 e3④
DP749	土器片錘	2.8	2.8	0.9	2.5	10.5	KB 3 e3④
DP750	土器片錘	2.9	2.7	0.9	2.6	8.7	KB 3 e3⑦ x 20
DP751	土器片錘	3.1	2.7	1.3	2.6	11.9	KB 3 e3④ x 4
DP752	土器片錘	3.0	2.2	1.0	2.5	7.5	KB 3 e3⑭ x 4
DP753	土器片錘	2.8	2.0	1.0	2.4	6.5	KB 3 e3① x 7
DP754	土器片円盤	5.3	5.2	1.1	-	41.1	KB 3 e3⑥
DP755	土器片錘	6.1	5.4	1.3	5.4	53.0	KB 3 e4⑮ x 3
DP756	土器片錘	5.6	5.1	1.3	4.8	49.7	KB 3 e4⑤64層
DP757	土器片錘	5.8	5.3	1.3	5.4	43.7	KB 3 e4② x 5
DP758	土器片錘	6.5	4.6	1.2	5.6	39.0	KB 3 e4⑨1020層
DP759	土器片錘	7.1	4.0	1.7	6.6	48.1	KB 3 e4⑦ x 9
DP760	土器片錘	4.6	4.8	1.5	4.1	35.8	KB 3 e4③ x 14
DP761	土器片錘	5.1	5.1	1.0	4.2	21.2	KB 3 e4⑪ x 2
DP762	土器片錘	4.4	4.6	0.9	3.8	21.1	KB 3 e4⑦ x 13
DP763	土器片錘	4.8	3.9	1.1	4.3	22.1	KB 3 e4⑩ x 6
DP764	土器片錘	4.3	3.8	1.1	4.0	23.6	KB 3 e4⑮
DP765	土器片錘	4.3	3.3	0.9	4.0	16.2	KB 3 e4③ x 10
DP766	土器片錘	3.9	3.4	0.9	3.6	15.7	KB 3 e4⑤238層
DP767	土器片錘	4.0	3.4	1.2	3.5	20.0	KB 3 e4② x 5
DP768	土器片錘	3.4	3.1	1.1	3.1	15.5	KB 3 e4⑦ x 13

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP769	土器片錘	2.7	2.5	1.0	2.4	11.8	KB 3 e4⑦ x 5
DP770	土器片錘	3.7	2.5	1.1	3.5	14.5	KB 3 e4⑪ x 15
DP771	土器片錘	3.7	2.5	0.8	3.5	9.6	KB 3 e4② x 2
DP772	土器片錘	3.6	2.5	1.0	3.0	9.6	KB 3 e4⑩ x 11
DP773	土器片錘	3.9	2.6	0.9	2.6	9.9	KB 3 e4⑩ x 2
DP774	土器片錘	2.8	2.3	1.0	2.5	9.4	KB 3 e4⑨249層
DP775	土器片錘	3.4	2.0	1.1	3.0	8.3	KB 3 e4⑮ x 9
DP776	土器片錘	2.4	2.1	1.0	2.1	6.3	KB 3 e4⑦ x 11
DP777	土器片錘	5.9	3.5	1.4	5.4	32.2	KB 3 e5⑬ x 1
DP778	土器片錘	5.8	3.8	1.1	5.5	25.7	KB 3 e5⑩ x 6
DP779	土器片錘	5.3	4.7	1.2	5.0	41.0	KB 3 e5⑬ x 2
DP780	土器片錘	4.2	3.3	0.8	3.2	11.2	KB 3 e5② x 4
DP781	土器片錘	3.5	3.2	1.0	2.9	13.4	KB 3 e5⑪ x 5
DP782	土器片錘	3.6	3.1	1.2	3.1	14.5	KB 3 e5⑥ x 5
DP783	土器片錘	3.6	2.8	1.3	3.2	18.6	KC 2 a1⑪ x 7
DP784	土器片錘	6.6	4.8	1.7	5.9	57.0	KC 2 a2④ x 2
DP785	土器片錘	5.7	5.1	1.3	5.2	52.3	KC 2 a2⑬ x 12
DP786	土器片錘	5.3	4.0	1.1	5.0	24.2	KC 2 a2⑫ x 10
DP787	土器片錘	4.1	3.5	1.1	3.5	18.1	KC 2 a2⑧ x 6
DP788	土器片錘	3.7	3.6	1.2	3.4	20.6	KC 2 a2⑩ x 9
DP789	土器片錘	4.7	3.0	1.5	4.3	21.7	KC 2 a2④ x 5
DP790	土器片錘	3.6	3.3	1.1	3.2	14.8	KC 2 a2⑫ x 2
DP791	土器片錘	3.5	2.8	1.0	3.0	11.0	KC 2 a2③ x 10
DP792	土器片錘	3.9	2.7	0.8	3.4	9.8	KC 2 a2⑮ x 11
DP793	土器片円盤	2.5	2.4	0.7	-	5.1	KC 2 a2⑦ x 11
DP794	土器片円盤	4.7 (2.7)		0.8	- (9.6)		KC 2 a2⑭ x 6
DP795	土器片錘	7.4	6.3	1.3	6.9	59.1	KC 2 a3⑤445層
DP796	土器片錘	7.5	6.5	1.2	7.0	62.5	KC 2 a3⑥ x 11
DP797	土器片錘	5.8	2.6	1.0	5.5	17.8	KC 2 a3④
DP798	土器片錘	3.8	4.6	1.3	2.7	27.1	KC 2 a3⑭ x 10
DP799	土器片錘	4.2	3.6	1.2	3.9	21.2	KC 2 a3⑭ x 15
DP800	土器片錘	4.2	4.4	1.0	3.9	19.2	KC 2 a3④512層
DP801	土器片錘	3.8	3.7	1.1	3.4	23.8	KC 2 a3⑦ x 11
DP802	土器片錘	3.7	3.2	1.4	3.5	16.3	KC 2 a3⑬411層
DP803	土器片錘	3.7	2.4	1.5	3.4	15.6	KC 2 a3⑥ x 10
DP804	土器片錘	2.2	1.9	0.7	2.0	3.3	KC 2 a3⑦ x 8
DP805	土器片円盤	3.5	3.5	1.0	-	15.5	KC 2 a3①
DP806	土器片円盤	2.7	2.4	0.7	-	6.3	KC 2 a3⑨408層
DP807	土器片錘	7.3	4.4	1.7	6.7	61.7	KC 2 a4⑬ x 12
DP808	土器片錘	5.4	5.2	1.4	4.8	41.4	KC 2 a4⑧ x 14
DP809	土器片錘	5.8	4.3	0.9	5.1	28.1	KC 2 a4⑭ x 10
DP810	土器片錘	4.2	4.6	0.9	3.8	23.9	KC 2 a4⑭ x 12
DP811	土器片錘	4.6	3.3	0.9	4.3	15.4	KC 2 a4⑬ x 12
DP812	土器片錘	3.6	3.5	1.6	3.3	16.2	KC 2 a4⑬ x 14
DP813	土器片錘	4.2	3.1	1.1	3.8	13.5	KC 2 a4⑨ x 11
DP814	土器片錘	3.5	2.8	0.8	3.2	11.3	KC 2 a4⑨ x 12
DP815	土器片錘	3.0	2.5	0.9	2.7	10.2	KC 2 a4⑪ x 12

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP816	土器片錘	3.8	2.8	1.1	3.6	14.0	KC 2 a4⑩ x 11
DP817	土器片錘	6.3	5.0	1.3	5.8	54.9	KC 2 a5② x 9
DP818	土器片錘	6.4	4.9	1.5	5.9	41.2	KC 2 a5⑩ x 16
DP819	土器片錘	3.6	3.3	1.2	3.2	18.6	KC 2 a5⑥ x 4
DP820	土器片錘	3.9	3.4	1.0	3.8	17.3	KC 2 a5⑩ x 8
DP821	土器片錘	3.8	3.4	1.2	3.5	17.8	KC 2 a5⑬82層
DP822	土器片錘	3.2	3.3	1.2	3.0	17.3	KC 2 a5⑫264層
DP823	土器片錘	3.5	2.6	1.2	3.3	10.6	KC 2 a5⑮ x 10
DP824	土器片錘	2.9	3.1	1.6	2.3	10.8	KC 2 a5⑦ x 11
DP825	土器片錘	2.8	1.7	1.0	2.5	5.7	KC 2 a5⑦82層
DP826	土器片錘	2.2	2.6	1.1	1.5	5.9	KC 2 a5⑫294層
DP827	土器片錘	2.4	2.1	1.1	1.9	5.8	KC 2 a5⑫263層
DP828	土器片錘	2.1	1.7	0.8	2.0	4.1	KC 2 a5⑦ x 9
DP829	土器片円盤	4.4	4.6	0.9	-	23.8	KC 2 a5⑮
DP830	土器片錘	6.7	4.6	1.5	5.8	50.0	KC 2 b2⑫411層
DP831	土器片錘	5.3	4.8	1.4	4.9	37.3	KC 2 b2③ x 8
DP832	土器片錘	5.5	4.8	1.1	4.1	31.7	KC 2 b2② x 6
DP833	土器片錘	5.5	4.7	1.4	5.1	35.0	KC 2 b2⑫411層
DP834	土器片錘	5.9	4.7	1.2	4.8	32.8	KC 2 b2⑧411層
DP835	土器片錘	5.1	4.2	1.2	4.3	27.8	KC 2 b2② x 6
DP836	土器片錘	4.4	4.0	1.0	3.7	20.0	KC 2 b2⑬411層
DP837	土器片錘	4.3	3.4	1.0	3.9	17.7	KC 2 b2①411層
DP838	土器片錘	4.5	3.1	0.9	3.8	15.7	KC 2 b3一括
DP839	土器片錘	3.8	3.8	1.2	3.4	24.9	KC 2 b3⑬ x 3
DP840	土器片錘	3.5	3.2	1.1	3.1	15.8	KC 2 b3⑫ x 5
DP841	土器片錘	7.7	6.8	1.5	6.9	72.0	KC 2 b4⑨411層
DP842	土器片錘	6.0	5.2	1.5	5.4	62.3	KC 2 b4⑤412層
DP843	土器片錘	7.2	4.5	1.4	6.1	53.0	KC 2 b4⑬407層
DP844	土器片錘	6.7	4.9	1.3	6.1	35.8	KC 2 b4④407層
DP845	土器片錘	5.7	4.7	0.8	5.1	33.4	KC 2 b4⑬411層
DP846	土器片錘	5.1	4.7	1.3	4.5	36.5	KC 2 b4② x 7
DP847	土器片錘	4.1	4.0	1.1	3.7	19.0	KC 2 b4⑤411層
DP848	土器片錘	4.0	3.9	1.2	3.8	25.1	KC 2 b4⑪ x 13
DP849	土器片錘	3.6	3.7	1.1	3.1	16.4	KC 2 b4⑮ x 10
DP850	土器片錘	4.3	2.5	0.9	3.6	12.2	KC 2 b4⑦ x 15
DP851	土器片錘	3.2	2.9	0.9	2.7	8.0	KC 2 b4⑩ x 14
DP852	土器片錘	2.1	2.9	1.0	1.6	7.0	KC 2 b4⑨411層
DP853	土器片錘	6.4	4.9	1.2	5.7	30.3	KC 2 b4⑭ x 14
DP854	土器片円盤	6.0	6.3	0.9	-	51.8	KC 2 b4⑬
DP855	土器片円盤	2.5	2.5	0.7	-	5.6	KC 2 b4⑨411層
DP856	土器片錘	6.4	5.0	1.2	5.1	51.9	KC 2 b5⑮ x 25
DP857	土器片錘	4.9	3.6	1.5	4.3	32.4	KC 2 b5⑬ x 15
DP858	土器片錘	4.6	3.7	0.9	3.8	22.9	KC 2 b5⑬548層
DP859	土器片錘	3.7	3.8	0.9	3.1	19.8	KC 2 b5⑫274層
DP860	土器片錘	4.1	2.6	0.7	3.9	9.7	KC 2 b5① x 11
DP861	土器片錘	3.5	2.7	1.0	3.1	12.0	KC 2 b5⑤ x 13
DP862	土器片錘	2.8	2.7	0.9	2.4	8.9	KC 2 b5② x 10

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP863	土器片錘	2.8	1.9	0.8	2.5	6.4	KC 2 b5④294層
DP864	土器片錘	2.7	2.6	0.8	2.4	6.6	KC 2 b5一括
DP865	土器片円盤	5.7	5.8	1.0	-	44.4	KC 2 b5⑮
DP866	土器片錘	7.3	5.5	1.4	6.7	55.6	KC 2 c2② x 6
DP867	土器片錘	6.9	5.2	1.4	6.0	46.0	KC 2 c2⑧ x 8
DP868	土器片錘	6.3	4.8	1.3	6.0	42.6	KC 2 c2⑦ x 5
DP869	土器片錘	4.7	4.3	1.5	3.7	31.2	KC 2 c2④ x 10
DP870	土器片錘	5.0	3.2	1.0	4.0	17.6	KC 2 c2② x 7
DP871	土器片錘	3.7	2.8	1.2	3.0	13.2	KC 2 c2③ x 6
DP872	土器片錘	4.4	5.7	1.2	3.8	36.2	KC 2 c3①411層
DP873	土器片錘	4.9	5.7	1.0	4.5	22.8	KC 2 c3⑧410層
DP874	土器片錘	4.6	3.8	1.1	4.3	22.7	KC 2 c3② x 5
DP875	土器片錘	4.8	2.6	1.0	4.3	17.4	KC 2 c3⑤408層
DP876	土器片錘	4.2	3.7	1.0	3.5	14.5	KC 2 c3③ x 15
DP877	土器片錘	8.2	4.9	1.7	7.6	54.0	KC 2 c4③ x 5
DP878	土器片錘	6.6	3.6	1.6	6.1	47.7	KC 2 c4⑥ x 18
DP879	土器片錘	5.8	5.0	1.5	4.7	34.1	KC 2 c4① x 12
DP880	土器片錘	4.8	4.6	1.2	3.8	25.9	KC 2 c4② x 9
DP881	土器片錘	4.9	3.5	1.2	4.2	24.0	KC 2 c4① x 10
DP882	土器片錘	3.4	2.5	0.9	2.9	10.1	KC 2 c4③ x 15
DP883	土器片錘	2.8	2.7	0.9	2.4	9.1	KC 2 c4① x 4
DP884	土器片錘	3.1	2.2	0.8	2.5	5.3	KC 2 c4⑥ x 12
DP885	土器片円盤	3.9	3.9	1.0	-	22.0	KC 2 c4⑦ x 12
DP886	土器片錘	9.3	7.0	1.3	8.4	118.0	KC 2 c5⑫543層
DP887	土器片錘	5.8	5.3	1.4	4.9	43.7	KC 2 c5⑮ x 24
DP888	土器片錘	6.5	5.1	1.4	5.8	58.2	KC 2 c5⑤407層
DP889	土器片錘	5.8	5.2	1.1	5.1	50.3	KC 2 c5⑥ x 7
DP890	土器片円盤	5.1	5.1	1.2	-	38.9	KC 2 c5①405層
DP891	土器片錘	5.9	3.9	1.2	5.4	33.9	KC 2 c5⑮ x 24
DP892	土器片錘	5.1	3.9	1.2	4.4	20.0	KC 2 c5⑫543層
DP893	土器片錘	4.9	4.0	1.1	4.2	21.5	KC 2 c5⑦ x 13
DP894	土器片錘	4.3	3.3	1.1	4.0	16.5	KC 2 c5⑧
DP895	土器片錘	3.7	3.7	1.0	3.4	16.9	KC 2 c5④50層
DP896	土器片錘	3.9	3.4	1.0	3.6	15.3	KC 2 c5⑩
DP897	土器片錘	4.1	3.0	0.9	3.3	12.6	KC 2 c5⑥ x 20
DP898	土器片錘	4.3	2.5	1.0	3.6	13.6	KC 2 c5④544層
DP899	土器片錘	4.3	3.3	0.7	3.6	11.5	KC 2 c5⑪ x 20
DP900	土器片錘	3.2	3.0	1.0	2.9	11.4	KC 2 c5⑫267層
DP901	土器片錘	3.1	2.2	1.2	2.7	9.6	KC 2 c5⑪ x 18
DP902	土器片円盤	3.7	3.5	0.9	-	13.4	KC 2 c5⑫543層
DP904	土器片錘	7.1	5.0	1.3	6.6	51.8	KC 3 a1一括
DP905	土器片錘	6.8	3.9	1.2	5.3	27.6	KC 3 a1一括
DP906	土器片錘	5.5	5.2	1.1	4.9	28.4	KC 3 a1一括
DP907	土器片錘	4.4	4.3	1.4	3.9	26.7	KC 3 a1⑨ x 20
DP908	土器片錘	4.8	2.5	0.9	4.2	12.4	KC 3 a1⑬
DP909	土器片錘	5.8	4.5	1.4	5.1	41.7	KC 3 a2⑥ x 14
DP910	土器片錘	5.0	4.3	1.0	4.0	20.8	KC 3 a2③ x 16

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP911	土器片錘	3.7	3.9	0.9	3.2	15.0	KC 3 a2⑭x20
DP912	土器片錘	2.4	3.6	1.0	1.8	10.1	KC 3 a2⑥x14
DP913	土器片錘	2.9	2.5	1.1	2.6	8.4	KC 3 a2③x19
DP914	土器片円盤	4.6	4.7	1.3	-	39.8	KC 3 a2⑦x18
DP915	土器片錘	3.6	3.3	1.1	3.0	13.7	KC 3 a1~ a5
DP916	土器片錘	3.6	2.3	1.1	3.3	9.3	KC 3 a1~ a5
DP917	土器片円盤	3.5	3.5	0.8	-	15.1	KB 2 b5⑤
DP918	土器片円盤	5.1	4.8	1.2	-	33.3	KB 3 e5⑩
DP919	土器片錘	8.3	5.2	1.3	7.6	56.2	KC 3 b1⑮x15
DP920	土器片錘	6.2	3.8	1.3	5.7	36.9	KC 3 b3⑩x1
DP921	土器片錘	4.9	3.6	1.2	3.9	19.1	KC 3 b3⑩x12
DP922	土器片錘	6.9	5.0	1.7	6.1	66.6	KC 3 b4③x6
DP923	土器片錘	6.7	4.5	1.0	5.7	35.6	KC 3 b4⑨x13
DP924	土器片錘	3.2	3.0	0.9	2.5	11.0	KC 3 c1⑧x18
DP925	土器片錘	2.7	2.0	0.9	2.4	5.5	KC 3 c1③x20
DP926	土器片錘	5.7	3.7	1.1	5.1	25.3	KC 3 c2⑮x10
DP927	土器片錘	5.3	3.9	1.0	4.8	30.0	KC 3 c2⑥x13
DP928	土器片錘	4.7	3.3	1.1	4.2	16.6	KC 3 c2⑧274層
DP929	土器片錘	4.0	3.2	1.3	3.3	20.3	KC 3 c2④267層
DP930	土器片錘	3.9	2.6	1.1	3.2	13.8	KC 3 c2一括
DP931	土器片錘	3.0	2.4	0.8	2.7	8.5	KC 2 c3④267層
DP932	土器片錘	3.5	2.3	1.0	3.2	9.3	KC 3 c2⑪x1
DP933	土器片錘	2.3	2.5	0.9	2.1	6.9	KC 3 c2⑪x12
DP934	土器片錘	2.8	2.9	1.1	2.5	10.0	KC 3 c3⑦x14
DP935	土器片錘	6.0	4.3	1.1	5.7	33.7	中央ベルト一括
DP936	土器片錘	6.2	6.0	1.3	4.7	57.8	貝層表土
DP937	土器片錘	7.3	4.7	1.6	6.8	48.5	貝層表土
DP938	土器片錘	6.2	4.1	1.1	5.9	33.1	貝層表土
DP939	土器片錘	5.4	4.4	1.2	5.0	27.5	貝層表土
DP940	土器片錘	4.8	4.5	1.1	4.4	28.7	貝層表土
DP941	土器片錘	4.7	4.6	0.8	4.2	24.8	貝層表土

番号	種別	長さ/径	幅/厚さ	厚さ/孔径	切り込み間隔	重量	出土位置
DP942	土器片錘	5.4	3.8	1.2	5.0	29.9	貝層表土
DP943	土器片錘	4.4	4.6	1.2	3.4	28.5	貝層表土
DP944	土器片錘	5.0	4.1	1.1	4.5	26.5	貝層表土
DP945	土器片錘	4.5	4.0	1.1	3.7	23.4	貝層表土
DP946	土器片錘	4.5	4.1	0.7	4.0	17.9	貝層表土
DP947	土器片錘	4.1	4.3	1.4	3.6	30.6	貝層表土
DP948	土器片錘	4.7	4.4	0.8	4.1	20.8	貝層表土
DP949	土器片錘	4.2	4.2	1.1	3.3	23.4	貝層表土
DP950	土器片錘	4.5	3.7	0.9	3.6	15.9	貝層表土
DP951	土器片錘	4.4	3.2	1.0	3.7	17.8	貝層表土
DP952	土器片錘	4.6	3.9	1.2	4.1	19.4	貝層表土
DP953	土器片錘	4.5	3.8	1.0	3.8	19.3	貝層表土
DP954	土器片錘	4.2	3.3	1.2	3.7	21.2	貝層表土
DP955	土器片錘	4.0	3.7	0.9	3.1	7.8	貝層表土
DP956	土器片錘	3.5	3.5	1.1	3.0	17.8	貝層表土
DP957	土器片錘	3.6	3.6	1.2	3.3	18.2	貝層表土
DP958	土器片錘	3.8	2.7	1.0	3.4	13.9	貝層表土
DP959	土器片錘	4.4	2.8	1.0	4.0	13.2	貝層表土
DP960	土器片錘	4.0	3.5	0.9	3.6	14.3	貝層表土
DP961	土器片錘	3.4	3.2	0.9	2.9	13.0	貝層表土
DP962	土器片錘	4.1	2.7	0.9	3.5	11.6	貝層表土
DP963	土器片錘	3.5	2.8	1.1	3.2	12.2	貝層表土
DP964	土器片錘	3.3	2.6	1.3	2.9	12.2	貝層表土
DP965	土器片錘	3.7	3.0	1.1	3.2	11.3	貝層表土
DP966	土器片錘	3.4	2.7	1.0	2.6	13.5	貝層表土
DP967	土器片錘	3.5	2.3	1.0	2.5	9.2	貝層表土
DP968	土器片錘	2.6	2.5	0.8	2.4	5.7	貝層表土
DP969	土器片錘	2.2	2.0	0.7	1.8	3.2	貝層表土
DP970	土器片円盤	3.9	4.0	1.2	-	18.1	貝層表土
DP971	土器片錘	7.1	5.7	1.4	5.6	50.7	KC 2 b3⑤x6

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質/胎土	特徴	出土位置	備考
DP43	耳栓	(2.3)	(2.6)	(2.7)	(11.7)	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	両面皿状・側面溝状にくぼむ 丁寧な指頭によるナデ調整 一部欠損	KB 2 e4	
DP52	耳栓	(2.2)	2.9	1.9	(8.7)	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	両面皿状・側面溝状にくぼむ 丁寧なナデ調整 一部欠損	KB 2 a5	
DP53	スプーン形土製品	4.9	3.7	2.4	12.4	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	粘土紐で環状の把手を付ける 指頭によるナデ調整	KB 2 e2	PL55
DP97	耳栓	3.0	3.0	2.9	12.7	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	片面に棒状工具による沈線文で3方向の重弧状のモチーフを形成 側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整	KB 3 d1	PL55
DP121	環状土製品	(3.9)	(1.6)	1.3	(4.5)	粘土	表面丁寧なナデ調整 大半を欠損	KC 2 a5 x18	
DP162	大珠形土製品	4.4	2.7	2.1	21.9	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	中央部に2方向からの穿孔 孔径0.4~0.7cm 丁寧な指頭によるナデ調整 半分欠損	KC 2 c4 x17	PL55
DP209	不明土製品	4.0	2.5	1.7	8.8	粘土	指頭痕明瞭	KC 3 a1 x6	
DP243	環状土製品	(2.9)	(1.3)	0.6	(2.2)	粘土	表面丁寧な研磨調整 大半を欠損	KC 3 a2 54層	
DP244	耳栓	(1.4)	(1.8)	(1.4)	(2.0)	粘土/白色粒子・黄褐色粒子	両面皿状・側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 大半を欠損	KC 3 a2 x1	
DP331	不明土製品	(2.5)	(2.1)	1.5	(6.9)	粘土	小形の把手状 両面に盲孔 指頭によるナデ調整 大半を欠損 土器の把手の可能性あり	KC 3 a4 80層	
DP470	耳栓	1.7	1.3	1.1	2.4	粘土/白色粒子	円柱状 指頭によるナデ調整	KC 3 c1	
DP548	不明土製品	(5.1)	(3.8)	(2.9)	(23.1)	粘土/長石	粘土紐で人間の鼻状のモチーフを形成 大半を欠損 土器の装飾の一部の可能性あり	KC 3 c2 62層	
DP593	耳飾り	(3.5)	3.9	1.8	(11.5)	粘土/白色粒子	環状 両面丁寧なナデ調整 側面指頭痕明瞭 大半を欠損	KC 3 c3 x8	
DP607	不明土製品	6.6	3.7	3.7	55.0	粘土/長石	指頭痕明瞭	KB 2 b3	
DP621	耳栓	(1.9)	1.6	1.7	(4.0)	粘土/白色粒子	円柱状 中央部に穿孔 孔径0.1~0.2cm 指頭によるナデ調整 一部を欠損	KB 2 b5 x35	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質 / 胎土	特徴	出土位置	備考
DP622	不明土製品	(5.2)	(3.1)	(2.5)	(30.4)	粘土 / 長石	指頭痕明瞭	KB 2 b5 x11	
DP636	不明土製品	(2.3)	(5.9)	(1.6)	(14.2)	粘土 / 長石	魚の尾鱗状のモチーフを形成 大半を欠損	KB 2 d5 x33	
DP704	環状土製品	(5.0)	(2.5)	1.6	(14.7)	粘土 / 白色粒子	表面丁寧なナデ調整 片面及び側面に列点文を施文 大半を欠損	KB 3 e1 x24	
DP705	不明土製品	5.4	4.9	3.7	51.4	粘土 / 長石	指頭痕明瞭	KB 3 e1 x26	
DP724	耳栓	2.8	2.9	2.8	13.4	粘土 / 白色粒子	両面皿状・側面溝状にくぼむ 丁寧な指頭によるナデ調整	KB 3 e2	PL55
DP903	垂飾り	(4.0)	(4.0)	1.0	(15.5)	粘土 / 白色粒子・ 黄褐色粒子	上部部に2方向からの穿孔 孔径0.3cm 沈線文で鋸歯状の区画 列点文を充填 ナデ調整 下半部欠損	KC 2 c5 x20	
DP972	耳栓	(2.1)	(2.9)	(1.6)	(6.2)	粘土 / 白色粒子	両面皿状・側面溝状にくぼむ 指頭によるナデ調整 大半を欠損	KC 2 a3 445層	
DP973	土製 球状耳飾	(4.3)	(2.9)	1.3	(12.6)	粘土 / 白色粒子・ 赤色粒子	環状 表面丁寧なナデ調整 鍵穴状の切り込み 半分欠損	貝層表土	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 1	楔形石器	4.2	3.6	1.2	17.7	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KA 2 e3 ¹⁰ x3	
Q 2	打製石斧	8.8	7.9	3.2	288.2	緑色片岩	磨製石斧転用 剥離調整による再加工 部分的に敲打痕	KA 3 e2 ¹⁶	PL53
Q 3	打製石斧	8.3	5.3	1.7	102.6	ホルンフェルス	片側からの剥離により刃部を形成	KA 3 b2 ¹⁵ x2	PL53
Q 4	磨製石斧	6.2	4.1	1.5	50.6	ホルンフェルス	片側からの剥離により刃部を形成後研磨調整	KA 2 e4 一括	PL53
Q 5	浮子	4.8	4.4	4.9	18.0	軽石	円柱状に敲打・研磨調整 括れ部を作出	KA 2 e4 ¹²	PL54
Q 7	敲石	8.9	5.7	4.9	(299.4)	石英斑岩	片面中央部及び側縁部に痘痕状の敲打痕	KA 3 c1 ³ x6	PL53
Q 8	楔形石器	4.2	3.1	1.1	21.7	チャート	上下方向からの剥離痕 両面に礫面を残す	KA 3 c1 ¹⁵ x10	
Q 9	軽石製品	2.9	2.1	0.8	0.5	軽石	全面研磨痕	KA 3 c2 ⁷ x8	
Q10	楔形石器	3.4	2.8	0.8	7.1	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KA 3 c3 ¹⁴ x3	
Q11	磨石	6.3	4.6	1.5	46.2	安山岩	全面研磨痕	KA 3 c4 ¹³ x1	
Q12	楔形石器	3.5	2.2	1.4	11.0	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KA 3 c4 ¹⁵ x7	PL53
Q13	尖頭器	4.4	3.0	0.7	8.9	チャート	両面調整 尖頭状に加工	KA 2 e5 ⁴ 90層	PL53
Q14	凹石	15.8	14.6	10.3	2527.3	泥岩	表面に複数の断面V字状の凹み	KA 2 e5 ¹³	
Q15	敲石	4.8	4.5	2.1	62.5	ホルンフェルス	側縁部に敲打痕	KA 2 b4 ⁴ x1	
Q16	石鏃	2.1	1.5	0.4	0.6	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KA 2 c5 ¹⁰	PL53
Q17	軽石製品	5.7	5.3	3.3	21.5	軽石	攪み状の突起を有する	KA 3 d4 ¹⁵ x4	
Q18	砥石	(10.7)	(6.8)	(2.5)	(198.0)	凝灰岩	片面及び側面に樋状の凹み	KA 3 e1 ¹⁵	PL54
Q19	敲石	(4.9)	7.9	4.3	(271.8)	安山岩	両面に痘痕状の敲打痕	KA 3 e1 ¹⁶ x18	
Q20	磨製石斧	(6.9)	(5.7)	(2.9)	(134.5)	砂岩	刃部及び基部欠損 敲打・研磨調整	KA 3 e1 ⁵	
Q21	敲石	7.5	4.8	2.3	150.8	砂岩	両面及び側縁部に痘痕状の敲打痕	KA 3 e1 ¹⁵ x18	
Q22	敲石	(4.4)	(6.0)	(4.5)	(12.2)	砂岩	磨製石斧転用 下部部に痘痕状の敲打痕	KA 3 e1 ³	
Q24	軽石製品	6.8	6.0	1.9	25.3	軽石	全面研磨痕 楕円形 扁平	KA 3 e4 ¹³	
Q25	磨製石斧	(11.1)	5.7	3.6	(387.1)	輝石安山岩	研磨調整 刃部欠損	KA 3 e2 ¹²	
Q26	研磨器	6.9	5.1	3.6	42.7	軽石	複数の溝状の凹み	KA 3 e5 ⁷ x1	
Q27	敲石	10.9	6.0	6.2	525.0	砂岩	側縁部を中心に痘痕状の敲打痕	KB 2 a2 ¹² 319層	
Q28	軽石製品	(5.7)	(5.1)	(1.7)	(8.0)	軽石	研磨痕 扁平	KB 2 a2 ¹¹	
Q29	研磨器	7.3	5.9	5.3	165	軽石	複数の溝状の凹み	KB 2 a3 ⁸	
Q30	軽石製品	8.2	5.4	2.3	18.6	軽石	全面研磨痕 楕円形 扁平	KB 2 a3 ¹²	
Q31	楔形石器	3.1	3.4	1.1	14.2	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 a3 ⁸ x7	
Q32	打製石斧	7.6	6.2	1.7	102.1	ホルンフェルス	背面に大きく礫面を残す 背面側からの急角度の剥離調整を全周に施す	KB 2 a4 ³ x16	
Q33	楔形石器	3.4	2.1	1.1	6.2	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 b3 ⁸ 313層	
Q34	楔形石器	2.9	2.6	1.1	7.2	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 b5 ³ x25	
Q35	楔形石器	5.2	5.0	2.2	51.1	チャート	上下方向からの剥離痕 縦断面不整菱形	KB 2 c1 ² x1	
Q36	楔形石器	4.1	3.4	1.5	14.8	流紋岩	上下方向からの剥離痕 縦断面不整菱形	KB 2 c3 ³	
Q37	磨石	13.3	11.5	5.5	1117.5	安山岩	全面研磨痕 片面に痘痕状の凹み	KB 2 c3 ¹⁵	PL54
Q38	敲石	8.1	6.8	2.9	241.0	砂岩	側縁部を中心に痘痕状の敲打痕	KB 2 c3 ⁵	PL54
Q39	削器	2.6	2.3	0.9	4.5	黒曜石	両面調整 側縁を弧状に整形	KB 2 c4 ⁸	PL53
Q40	楔形石器	4.6	3.1	1.4	22.0	チャート	上下方向からの剥離痕 縦断面不整菱形 背面に礫面を残す	KB 2 c5 ¹⁰ x25	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備考
Q41	楔形石器	3.8	2.8	1.1	9.4	安山岩	上下・左右方向からの剥離痕 両面に礫面を残す	KB 2 c5 ¹⁰ x 24	
Q42	楔形石器	2.0	1.4	0.9	2.3	黒曜石	上下方向からの剥離痕 縦断面不整菱形	KB 2 c5 ¹⁴	
Q43	磨石	9.4	8.0	5.2	543.1	安山岩	全面研磨痕 片面中央部に痘痕状の凹み	KB 2 c5 ⁶	
Q44	楔形石器	2.7	2.6	1.2	9.8	チャート	上下方向からの剥離痕 縦断面不整菱形 礫面を残す	KB 2 d2 ³ x 8	PL53
Q45	石皿	(17.8)	(11.5)	(8.2)	(1245.6)	安山岩	皿状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み	KB 2 d2 ³	PL54
Q46	磨石	(6.6)	6.3	2.7	(146.9)	安山岩	研磨痕 片面中央部に痘痕状の凹み	KB 2 d2 ⁵	
Q47	敲石	12.2	7.3	7.2	844.6	花崗岩	片方の端部に敲打痕 部分的に痘痕状の凹み	KB 2 d2 ¹⁴	
Q48	敲石	9.6	4.7	4.2	280.2	砂岩	両端部に敲打痕	KB 2 d2 ¹³	
Q49	敲石	7.1	7.1	2.2	102.4	安山岩	側縁部を中心に痘痕状の敲打痕	KB 2 d2 ⁶	
Q50	凹石	13.0	6.7	5.6	688.2	砂岩	片面中央部に2か所の断面V字状の凹み	KB 2 d2 ¹⁶	
Q51	敲石	(6.2)	(4.5)	(4.2)	(179.9)	石英斑岩	片方の端部に敲打痕	KB 2 d2 ¹⁴	
Q52	石鏃	3.2	2.3	0.9	5.7	流紋岩	未製品 凹基 両面調整	KB 2 d3 ¹⁴ 575層	
Q53	打製石斧	13.4	8.2	2.8	418.5	ホルンフェルス	磨製石斧転用 刃部剥離調整による再加工 基部に痘痕状の敲打痕	KB 2 e2 ¹⁶	
Q54	楔形石器	3.9	4.6	1.1	21.1	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 e3 ¹² x 24	
Q55	削器	2.5	1.7	0.9	3.6	チャート	両面調整 側縁を弧状に整形	KB 2 e3 ¹³ x 19	
Q56	有茎尖頭器	3.7	1.2	0.5	1.7	安山岩	凸基 両面調整 両面中央に稜 断面菱形	KB 2 d2 ⁷	
Q57	磨製石斧	(6.5)	(3.4)	(2.4)	(53.7)	緑色片岩	剥離・敲打調整後研磨調整 刃部欠損	KB 2 e2 ¹	
Q58	打製石斧	9.7	7.5	2.4	185.6	安山岩	分銅形 両面調整 左右の側縁部に挟り調整を施す 素材は扁平な礫 両面に礫面を残す	KB 2 e4 ⁸	PL53
Q59	磨石	8.1	6.5	3.1	216.7	ホルンフェルス	側縁部を中心に研磨痕	KB 2 e5 ⁵ 901層	
Q60	磨石	8.6	6.2	4.2	51.7	軽石	全面研磨痕	KB 2 e5 ¹³	
Q61	浮子	(4.7)	(5.8)	(1.8)	(6.6)	軽石	研磨痕 扁平 上部1か所に穿孔 孔径0.6cm	KB 2 e5 ¹³ x 11	
Q62	剥片	3.2	3.2	1.2	9.6	チャート	両面に2次加工を有する	KB 3 a1 ²	
Q63	軽石製品	3.7	3.2	1.2	3.1	軽石	全面研磨痕	KB 3 a1 ¹² x 18	
Q64	石鏃	1.8	1.4	0.3	0.5	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KB 3 b1 ¹⁵	PL53
Q65	石皿	(11.9)	(9.5)	(4.1)	(326.3)	安山岩	突堤状に加工 磨面は平坦	KB 3 b1 ¹⁰	PL54
Q66	楔形石器	2.6	3.3	1.1	7.4	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 3 b2 ¹⁰ x 20	
Q67	敲石	10.4	9.2	5.0	555.8	緑色凝灰岩	片面及び側縁部に痘痕状の敲打痕	KB 3 b2 ⁷	
Q68	軽石製品	3.5	3.3	1.3	2.3	軽石	全面研磨痕	KB 3 b2 ⁴ 234層	
Q69	剥片	4.7	3.4	1.5	20.0	安山岩	縦長剥片 背面に礫面を残す	KB 3 b2 ⁹	
Q70	楔形石器	3.4	2.6	0.9	8.1	安山岩	上下・左右方向からの剥離痕 縦断面不整菱形	KB 3 b2 ¹³	
Q71	楔形石器	4.5	1.8	1.3	7.2	頁岩	上下方向からの剥離痕	KB 3 b3 ⁷	
Q72	石匙	(5.0)	(2.4)	(1.2)	(10.8)	瑪瑙	両面調整 撮み部を作出 連続する周辺調整を施す	KB 3 b3 ² x 17	
Q73	敲石	6.0	4.4	2.2	97.0	緑色片岩	磨製石斧転用 下端部痘痕状の敲打痕	KB 3 b3 ¹⁶	
Q74	磨石	5.8	6.3	4.7	147.0	安山岩	全面研磨痕 両面に皿状の凹み	KB 3 b4 ¹⁶	
Q75	石鏃	2.1	1.6	0.5	1.8	チャート	平基 両面調整 連続する周辺調整を施す	KB 3 b5 ⁹ x 10	
Q76	楔形石器	2.8	3.0	0.8	7.9	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KB 3 b5 ⁴ x 8	
Q77	磨石	(4.0)	(8.0)	(2.8)	(144.8)	砂岩	研磨痕 大半を欠損	KB 3 b5 ⁶	
Q78	石鏃	(2.2)	(1.0)	(0.3)	(0.8)	チャート	凹基 両面調整 大半を欠損	KB 3 c1 ⁶	
Q79	楔形石器	5.3	2.5	2.1	32.0	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KB 3 c1 ⁴	
Q80	石鏃	2.7	2.2	0.9	(4.7)	チャート	凸基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KB 3 c2 ⁷	
Q81	楔形石器	3.1	2.1	1.1	7.3	チャート	上下方向からの剥離痕	KB 3 c2 ⁷ x 7	
Q82	磨製石斧	12.6	4.6	2.7	242.7	緑色片岩	敲打調整後研磨調整	KB 3 c2 ¹¹	PL54
Q83	石皿	(7.9)	(11.1)	(5.2)	(564.1)	安山岩	皿状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み 大半を欠損	KB 3 c2 ³ x 6	
Q84	敲石	8.4	4.6	4.4	206.8	砂岩	片方の端部に敲打痕	KB 3 c2 ¹⁵ x 26	
Q85	敲石	(6.2)	(5.8)	(2.9)	(148.8)	石英閃緑岩	側縁部に痘痕状の敲打痕	KB 3 c2 ³	
Q86	石棒	(10.8)	(7.6)	(4.9)	(609.9)	緑泥片岩	敲打・研磨調整 大半を欠損	KB 3 c2 ³ x 3	
Q87	磨製石斧	(7.1)	(2.8)	(1.1)	(30.1)	粘板岩	研磨調整 片刃状 大半を欠損	KB 3 c3 ¹²	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備考
Q88	敲石	(3.7)	(6.0)	(4.8)	(127.7)	花崗岩	側縁部に痕状の敲打痕	KB 3 c3 ⁹ 27層	
Q89	石鏃	(2.2)	1.3	0.4	(1.2)	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す 両端部欠損	KB 3 c4 ⁶ x1	
Q90	軽石製品	10.8	7.3	5.7	146.9	軽石	研磨痕	KB 3 c4 ⁴	
Q91	楔形石器	6.3	3.7	2.2	84.0	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KB 3 c5 ¹ 43層	
Q92	楔形石器	2.2	1.5	0.8	2.8	チャート	上下方向からの剥離痕 縦断面不整形	KB 4 c1 ¹ x1	
Q93	敲石	7.1	5.4	2.6	130.5	砂岩	全面敲打痕	KB 3 d1 ¹⁰ x5	
Q94	磨製石斧	(5.4)	(5.8)	(3.0)	(120.6)	ホルンフェルス	研磨調整 刃部以外欠損	KB 3 d2 ⁴	
Q95	磨石	(6.2)	(6.5)	(3.9)	(180.3)	安山岩	研磨痕 両面に皿状の凹み 側縁部に痕状の凹み	KB 3 d2 ¹⁶	
Q96	打製石斧	(4.6)	(3.6)	(1.2)	(24.9)	安山岩	両面調整 背面に礫面を残す 基部欠損	KB 3 d2 ¹ x1	
Q97	磨石	(6.9)	(7.2)	(4.7)	(248.1)	安山岩	研磨痕 両面に痕状の凹み	KB 3 d3 一括	
Q98	楔形石器	3.8	2.3	0.9	6.6	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 3 d4 ¹¹	
Q99	磨石	(6.9)	(7.6)	(3.7)	(283.3)	砂岩	研磨痕 両面中央部に皿状の凹み	KB 3 d4 ¹⁶	
Q100	軽石製品	(9.1)	6.0	2.3	(24.4)	軽石	研磨痕 楕円形 扁平 両端部欠損	KB 3 d4 ⁸	PL54
Q101	敲石	10.3	7.1	2.2	258.6	石英閃緑岩	片面及び側縁部に痕状の敲打痕	KB 3 e1 ¹¹	
Q102	打製石斧	(8.1)	(8.1)	(3.7)	(341.2)	安山岩	両面調整 両面に擦痕と礫面を残す 基部欠損	KB 3 e4 ⁹	
Q103	磨石	(6.2)	(9.8)	(4.6)	(278.4)	砂岩	研磨痕 側縁部に痕状の凹み	KC 2 a2 ¹⁶	
Q104	敲石	(7.3)	(9.2)	(5.2)	(459.2)	砂岩	両面及び側縁部に痕状の敲打痕	KC 2 a2 ⁷ x10	
Q105	楔形石器	2.9	3.2	0.7	6.4	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 2 a5 ¹¹ x19	
Q106	剥片	2.2	2.0	0.5	1.9	黒曜石	微細剥離痕を有する	KC 2 a5 ⁷ x2	
Q107	削器	5.3	4.2	1.3	34.0	安山岩	両面調整 刃部は腹面側からの急角度の調整を施す	KC 2 a5 ¹³	
Q108	敲石	8.5	2.8	2.3	91.8	ホルンフェルス	上端部痕状の凹み 下端部剥離痕	KC 2 a5 ¹¹ x17	
Q109	軽石製品	3.6	2.5	2.0	1.4	軽石	全面研磨痕	KC 2 a5 ³ x20	
Q110	磨石	(10.4)	(6.9)	(2.8)	(244.2)	砂岩	両面研磨痕・中央部皿状の凹み 側縁部痕状の凹み・剥離痕	KC 2 b2 ¹⁰	
Q111	打製石斧	(8.3)	5.5	2.0	(130.8)	ホルンフェルス	刃部及び側縁上部に連続する剥離痕 大きく礫面を残す 基部欠損	KC 2 b3 ¹⁶ x14	
Q112	磨石	(9.0)	(7.6)	(5.0)	(470.7)	花崗岩	研磨痕・痕状の凹み	KC 2 b3 ⁹	
Q113	軽石製品	4.7	4.4	2.5	7.3	軽石	全面研磨痕	KC 2 b4 ⁷ x17	
Q114	敲石	6.2	5.9	3.9	181.6	石英斑岩	両面及び側縁部に痕状の敲打痕	KC 2 b5 一括	
Q115	敲石	7.0	4.3	3.7	163.7	チャート	両端部に痕状の敲打痕	KC 2 b5 一括	
Q116	敲石	(6.1)	6.6	4.3	(243.7)	石英斑岩	端部に痕状の敲打痕	KC 2 b5 ²	
Q117	石錐	4.2	1.2	0.6	2.1	チャート	両面調整 連続する剥離調整で尖頭状に加工 先端部断面菱形	KC 2 c2 ⁶	PL53
Q118	石皿	(8.3)	(9.4)	(6.2)	(450.5)	安山岩	皿状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み 大半を欠損	KC 2 c2 ¹⁶	
Q119	剥片	1.7	3.6	0.8	4.3	黒曜石	打面調整剥片	KC 3 a1 ⁵	
Q120	石皿	(12.6)	(9.4)	(4.6)	(552.4)	安山岩	両面研磨痕・断面V字状の凹み 大半を欠損	KC 3 a1 ¹¹	
Q121	磨石	(6.3)	(7.6)	(5.3)	(361.9)	安山岩	研磨痕 片面中央部に皿状の凹み 側縁部に痕状の凹み 下半部欠損	KC 3 a1 ⁸ x12	
Q122	敲石	7.6	5.4	3.0	172.8	石英斑岩	片面中央部及び側縁部に痕状の敲打痕	KC 3 a1 ¹⁵ x17	
Q123	敲石	8.7	6.0	4.0	266.2	石英斑岩	側縁部痕状の敲打痕	KC 3 a1 ¹¹	
Q124	楔形石器	3.8	2.5	0.6	4.0	チャート	上下方向からの剥離痕	KC 3 a2 ¹ 57層	
Q125	磨製石斧	(4.6)	(3.2)	(1.0)	(24.9)	ホルンフェルス	刃部片刃状に研磨調整 1側縁のみ急角度の剥離調整 基部欠損	KC 3 a2 ¹³	PL53
Q126	敲石	9.6	3.8	4.8	196.6	ホルンフェルス	端部及び側縁部中心に痕状の敲打痕	KC 3 a2 ¹	
Q127	敲石	9.1	5.6	2.1	(154.7)	石英斑岩	端部及び側縁部痕状の敲打痕	KC 3 a2 ⁴	
Q128	打製石斧	(5.2)	3.3	2.1	(44.6)	砂岩	磨製石斧転用 刃部欠損 両面に剥離調整 側縁部剥離調整後敲打調整	KC 3 a3 ²	
Q129	敲石	4.9	4.9	2.5	74.5	安山岩	両面中央部及び側縁部痕状の敲打痕	KC 3 a3 ¹	
Q130	楔形石器	4.9	2.9	2.6	41.6	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KC 3 a4 ⁵ 287層	
Q131	楔形石器	3.2	2.7	1.2	13.6	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 a4 ¹ 272層	
Q132	石核	2.0	3.5	2.8	18.7	チャート	複剥離面打面	KC 3 a4 ¹⁰ x16	
Q133	磨石	(10.1)	(7.2)	(5.0)	(382.1)	安山岩	全面研磨痕・痕状の凹み 大半を欠損	KC 3 a4 ¹⁰ x2	
Q134	敲石	9.4	7.3	4.8	452.6	流紋岩	下端部平坦 疎らな周辺調整	KC 3 a4 ¹¹	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備考
Q135	楔形石器	2.0	2.1	0.9	2.8	チャート	上下方向からの剥離痕	KC 3 a5⑭x5	
Q136	削器	2.9	3.5	0.7	6.9	チャート	両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 a5⑮x8	
Q137	楔形石器	2.9	3.0	1.2	10.7	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 b1⑦x5	
Q138	楔形石器	3.2	2.8	1.1	8.5	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 b1⑥x26	
Q139	磨石	(6.2)	(7.3)	(3.8)	(248.3)	安山岩	研磨痕・痘痕状の凹み 大半を欠損	KC 3 b1⑧	
Q140	敲石	4.6	4.4	3.8	64.3	安山岩	端部痘痕状の敲打痕	KC 3 b1⑬	
Q141	敲石	(8.4)	6.8	3.8	(269.1)	砂岩	両面中央部及び側縁部痘痕状の敲打痕	KC 3 b1⑬x17	
Q142	石核	5.3	3.3	1.7	33.4	チャート	扁平な楕円礫を素材 小形の不整形剥片を剥離	KC 3 b2⑦x22	
Q143	石核	3.8	3.1	1.6	23.8	チャート	扁平な楕円礫を素材 小形の不整形剥片を剥離	KC 3 b2④x25	
Q144	楔形石器	2.5	1.5	1.4	4.9	黒曜石	上下方向からの剥離痕 縦断面不整形	KC 3 b3⑤60層	
Q145	石鏃	1.8	1.5	0.3	0.6	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 b3⑬	
Q146	凹石	(5.8)	6.1	4.5	(141.7)	安山岩	両面中央部に皿状の凹み 一部欠損	KC 3 b3⑤	
Q147	楔形石器	4.9	4.3	1.5	28.3	頁岩	上下方向からの剥離痕 腹面側の側縁部に微細剥離痕	KC 3 b4④x3	
Q148	打製石斧	11.9	5.9	3.6	332.6	ホルンフェルス	扁平な楕円礫を2つに分割 腹面側に平坦な周辺調整を施す	KC 3 b4⑫	
Q149	敲石	7.8	5.0	3.8	204.3	砂岩	両端部及び側縁部痘痕状の敲打痕	KC 3 b4②	
Q150	楔形石器	3.4	4.7	1.3	24.1	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 c1⑮x20	PL53
Q151	楔形石器	3.8	2.2	1.2	12.6	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KC 3 c1⑦x23	PL54
Q152	楔形石器	2.4	1.9	0.5	2.8	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 c1⑥	
Q153	楔形石器	4.2	3.3	1.4	19.4	チャート	上下方向からの剥離痕 縦断面不整形	KC 3 c1⑦x8	
Q154	削器	3.6	2.6	0.6	6.5	チャート	扁平な縦長剥片を素材 両面に細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 c1⑧	
Q155	磨製石斧	5.0	3.2	1.3	34.9	砂岩	全面研磨痕 基部欠損後再加工	KC 3 c1⑧x20	PL54
Q156	楔形石器	3.8	2.8	1.0	9.0	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 c2⑨274層	
Q157	楔形石器	2.1	1.9	0.5	1.8	チャート	上下方向からの剥離痕	KC 3 c3⑮	
Q158	楔形石器	4.5	2.8	0.9	14.2	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 3 c3⑦x10	
Q159	石核	2.1	3.5	1.7	11.6	黒曜石	複剥離面打面 小形の不整形剥片を剥離	KC 3 c3⑦	
Q160	磨製石斧	(8.0)	(4.1)	(2.2)	(118.9)	凝灰岩	研磨痕 刃部欠損	KC 3 c3⑦	
Q161	軽石製品	5.2	3.7	1.3	3.9	軽石	全面研磨痕 穿孔2か所 孔径0.3~0.4cm	KC 3 c3⑤x14	
Q162	石鏃	2.3	1.9	0.4	1.1	頁岩	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 c3④	PL53
Q163	石匙	3.6	1.5	0.6	2.5	チャート	扁平な縦長剥片を素材 両面に細かい連続する周辺調整を施す 先端部尖頭状	KC 3 a2⑭	PL53
Q164	磨製石斧	(8.0)	(5.2)	(2.9)	(227.1)	変質安山岩	研磨痕 基部痘痕状の敲打痕 刃部欠損	KC 3 a3⑦	
Q165	磨石	3.7	3.9	3.9	79.5	石英閃緑岩	全面研磨痕 球状	KC 3 b2③x5	
Q166	石刃	(5.4)	1.9	0.7	(5.1)	珪質頁岩	縦長剥片の両側縁に微細剥離痕 先端部欠損	KC 3 b3⑩	
Q167	石鏃	3.2	1.6	0.6	(1.7)	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 b3⑮	PL53
Q168	磨製石斧	4.0	2.2	1.0	14.4	蛇紋岩	全面研磨痕 刃部直状 穿孔痕	KC 3 b3②	PL53
Q169	石鏃	(1.9)	(1.2)	(0.3)	(0.6)	黒曜石	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す 大半を欠損	KC 3 b5②	
Q170	ナイフ形石器	(2.8)	1.4	0.4	(0.9)	頁岩	2側縁にプランティングを施す 先端部欠損	KC 3 c2⑥	
Q171	敲石	5.0	3.7	2.6	63.3	砂岩	側縁部痘痕状の敲打痕	KA 2 e5③360層	
Q172	楔形石器	2.7	3.5	1.0	10.3	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KA 3 e4⑩x9	
Q173	打製石斧	7.6	3.6	1.3	42.0	頁岩	扁平な長楕円礫を素材 刃部のみ剥離調整	KA 3 e4④177層	PL53
Q174	磨石	7.5	8.1	3.4	312.0	チャート	全面研磨痕	KA 3 e5⑪	
Q175	磨石	(5.8)	8.7	2.5	(145.6)	安山岩	研磨痕 両面中央部に皿状の凹み	KB 2 a5④	PL54
Q176	楔形石器	3.3	4.1	1.0	12.9	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 b3③x9	
Q177	楔形石器	2.7	2.7	0.7	4.7	チャート	上下方向からの剥離痕 礫面を残す	KB 2 b5⑩x20	
Q178	打製石斧	6.8	4.3	1.3	53.2	ホルンフェルス	扁平な楕円礫を素材 刃部及び1側縁のみ剥離調整	KB 2 b5⑮752層	PL53
Q179	敲石	10.5	7.0	4.1	441.8	石英斑岩	両端部を中心に痘痕状の敲打痕	KB 2 b5⑧736層	
Q180	敲石	8.9	7.8	3.9	257.8	石英斑岩	両端部を中心に痘痕状の敲打痕・剥離痕	KB 2 c2⑧450層	
Q181	楔形石器	4.8	2.4	1.4	17.7	石英	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 c4⑦x2	
Q182	楔形石器	4.0	3.4	1.2	16.8	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 c4⑧423層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材 質	特 徴	出土位置	備考
Q183	打製石斧	6.7	6.0	3.4	132.1	砂岩	刃部及び腹面側に連続する剥離調整を施す 背面に礫面を残す	KB 2 c5⑦	
Q184	楔形石器	3.5	4.0	1.3	20.0	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 c5⑩x2	
Q185	磨製石斧	5.2	3.1	1.4	38.4	ホルンフェルス	全面研磨痕 刃部弧状 基部剥離痕	KB 2 d5⑦	PL53
Q186	楔形石器	2.9	2.9	0.7	7.5	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 2 e5⑫268層	PL53
Q187	磨製石斧	5.6	3.3	1.2	39.5	緑色凝灰岩	全面研磨痕 刃部弧状 基部剥離痕	KB 3 a1①x2	PL53
Q188	打欠石錘	5.7	4.1	0.7	21.8	安山岩	扁平な楕円礫を素材 短径方向に挟り調整を施す	KB 3 a1 一括	PL54
Q189	尖頭器	3.1	2.2	(0.7)	(4.1)	チャート	両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KB 3 a2③	
Q190	石匙	5.2	3.2	1.5	15.7	チャート	厚みのある剥片を素材 両面調整 撥状	KB 3 a5⑨	PL53
Q191	尖頭器	(3.4)	(2.1)	(1.1)	(7.3)	チャート	両面調整 基部欠損	KB 3 b3⑮x10	
Q192	磨石	(6.0)	(7.6)	(3.5)	(151.3)	安山岩	研磨痕 両面中央部に血状の凹み 下半部欠損	KB 3 d5⑰x5	
Q193	石錐	3.3	2.0	0.8	3.9	チャート	両面調整 連続する剥離調整で尖頭状に加工 先端部断面菱形	KB 3 e3⑨x1	PL53
Q194	磨製石斧	(6.8)	(3.8)	(1.5)	(64.5)	緑色片岩	研磨痕 側縁部剥離・敲打痕 刃部欠損	KB 3 e3⑮x11	
Q195	楔形石器	3.4	2.8	1.0	8.4	チャート	上下・左右方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KB 3 e4 一括	
Q196	磨石	(8.7)	(10.0)	(3.8)	(413.4)	安山岩	研磨痕 両面中央部に血状の凹み 上半部欠損	KB 3 e5⑱	PL54
Q197	石皿	(10.6)	(11.8)	(6.2)	(511.9)	安山岩	血状の凹み 裏面に複数の断面V字状の凹み 大半を欠損	KC 2 a3⑨	PL54
Q198	磨製石斧	(2.8)	(2.0)	(1.3)	(14.7)	蛇紋岩	研磨痕 刃部欠損	KC 2 a4②x8	
Q199	磨石	(5.6)	(8.0)	(3.6)	(14.8)	砂岩	研磨痕 両面中央部に血状の凹み 下半部欠損	KC 2 a4①	
Q200	楔形石器	2.7	4.2	1.1	14.5	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	KC 2 a5②x24	PL53
Q201	敲石	6.5	3.9	2.1	88.3	緑色凝灰岩	磨製石斧転用 1側縁中央部に痘痕状の敲打痕	KC 2 b4⑥x11	
Q202	敲石	10.5	5.5	4.6	356.1	ホルンフェルス	側縁部を中心に痘痕状の敲打痕	KC 2 b4⑥x15	
Q203	敲石	(6.3)	(7.6)	(6.4)	(346.5)	安山岩	片面に痘痕状の敲打痕 下半部欠損	KC 2 c5③x9	
Q204	尖頭器	3.4	1.8	0.7	3.1	チャート	両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KC 3 a1⑦x21	
Q205	石核	1.6	2.4	1.5	4.7	黒曜石	複剥離面打面	貝層表土	
Q206	敲石	11.0	3.9	2.2	119.5	ホルンフェルス	打製石斧転用 下端部敲打痕 痘痕状の敲打痕 基部両面剥離調整	貝層表土	
Q207	磨製石斧	8.5	3.4	1.7	61.7	緑色凝灰岩	刃部片面剥離調整後研磨調整 基部剥離痕	KB 3 a1⑥	
Q208	垂飾り	4.6	3.5	1.2	16.4	泥岩	扁平な楕円礫を素材 中央部1方向からの穿孔 孔径0.7~1.1cm	KB 3 a5⑥	
Q209	打製石斧	9.5	5.8	3.5	265.0	砂岩	両面調整 礫面に弱い痘痕状の敲打痕	KB 3 e2⑨	
Q210	石鏃	2.0	(1.2)	0.3	(0.6)	チャート	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す 一部欠損	KC 3 a2⑨x1	
Q211	楔形石器	2.6	2.3	0.6	3.4	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	貝層表土	PL54
Q212	楔形石器	3.1	3.0	0.9	9.7	チャート	上下方向からの剥離痕 背面に礫面を残す	貝層表土	
Q213	尖頭器	2.8	1.8	0.8	4.3	チャート	両面調整 細かい連続する基部調整を施す	貝層表土	PL53
Q214	磨製石斧	5.2	2.6	1.4	31.5	緑色凝灰岩	全面研磨痕 刃部直状	貝層表土	PL53
Q215	打製石斧	8.6	5.4	1.6	67.8	緑泥片岩	石皿片転用 撥形	貝層表土	PL53
Q216	磨製石斧	4.6	3.1	1.2	17.6	頁岩	両面剥離調整後部分的に研磨調整 刃部弧状	貝層表土	PL53
Q217	磨製石斧	(2.0)	(0.9)	(1.1)	(2.6)	蛇紋岩	研磨痕 1側面に擦り切り痕を残す 刃部欠損	貝層表土	
Q218	磨製石斧	(5.1)	(4.9)	(2.1)	(64.0)	緑色凝灰岩	研磨痕 欠損後剥離調整 大半を欠損	貝層表土	
Q219	打製石斧	(7.4)	(6.4)	(3.0)	(141.9)	多孔質安山岩	側縁中央部に挟り調整 刃部欠損	貝層表土	
Q220	打製石斧	(6.1)	(6.9)	(2.1)	(106.7)	安山岩	扁平な礫を素材 両面調整 側縁中央部に弱い挟り調整 礫面を残す	貝層表土	
Q221	石鏃	1.7	1.9	0.5	1.1	頁岩	凹基 両面調整 細かい連続する周辺調整を施す	KB 2 a5①	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
B1	弭形角器	(4.9)	1.9	2.1	(8.1)	鹿角	先端部を根挟み状の二股に加工 二股下部に突帯を巡らす 中心部下端からの穿孔	KA 2 d5⑩	PL58
B2	切断痕を有する鹿角	9.4	4.8	4.4	79.8	鹿角	複数の擦り切り痕	KA 2 d5②	
B3	刺突具	(6.8)	1.4	0.7	(4.3)	鹿角	片側に返刺 反対側に刻み 基部欠損	KA 2 e3⑦	PL59
B4	切断痕を有する鹿角	21.3	10.9	7.0	253.9	鹿角	複数の擦り切り痕	KA 3 e2⑤	PL58
B5	刺突具	(6.1)	0.7	0.5	(1.9)	イノシシ・豚骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 b1⑨x7	
B6	刺突具	(6.2)	0.9	0.6	(1.3)	イノシシ・豚骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 b2⑩x1	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
B7	刺突具	(5.4)	1.3	0.7	(2.9)	鹿角	片側に返刺 先端部欠損	KA 2 e4 ¹² x7	PL59
B8	刺突具	3.8	0.6	0.3	0.4	鹿角	片側に5か所の返刺	KA 3 c2 ³	PL59
B9	垂飾り	5.8	1.8	1.2	9.8	ツキノワグマ・犬歯	基部側1か所に穿孔 孔径0.5cm	KA 2 e5 ¹⁶	PL58
B10	垂飾り	(2.8)	1.2	1.3	(1.7)	アオザメ・歯	基部側左右2か所に穿孔 孔径(0.4)cm	KA 2 e5 ⁸	PL58
B11	刺突具	3.8	0.7	0.6	1.7	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 e5 ⁹ 312層	
B12	切断痕を有する鹿角	8.6	5.8	5.0	88.6	鹿角	複数の擦り切り痕	KA 3 d1 ³	
B13	切断痕を有する鹿角	23.0	10.3	4.0	71.9	鹿角	複数の擦り切り痕	KA 2 e5 ⁹	PL58
B14	切断痕を有する鹿角	13.9	11.0	5.3	97.8	鹿角	複数の擦り切り痕 鹿角先端部摩滅	KA 3 d2 ¹⁰ x3	PL58
B15	刺突具	(11.0)(1.1)	0.6	(4.7)		イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d2 ² x2	
B16	刺突具	(3.2)(0.8)(0.6)	(1.2)			イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d2 ¹⁰ x2	
B17	垂飾り素材	2.7	1.1	0.9	1.0	アオザメ・歯	未製品	KA 2 c4 ¹²	PL58
B18	刺突具	(4.8)	1.1	0.7	(2.4)	鹿角	片側に2か所の返刺 先端部欠損	KA 2 c5 ³	PL59
B19	刺突具	(4.5)	1.2	0.7	(2.0)	鹿角	片側に返刺 両端部欠損	KA 2 c5 ⁷	
B20	刺突具	(9.2)	1.1	0.5	(2.9)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 c5 ³	
B21	刺突具	(2.9)(0.7)	0.5	(1.0)		骨	先端部欠損 基部丁寧に研磨 表面擦痕	KA 3 d4 ⁹ x7	
B22	刺突具	4.5	1.2	0.7	1.9	鹿角	片側に1か所返刺	KA 2 d3 ⁶	PL59
B23	刺突具	(2.3)(0.6)	0.5	(0.6)		骨	先端部欠損 基部丁寧に研磨 表面擦痕	KA 3 e3 ⁶	
B25	切断痕を有する鹿角	10.1	5.9	5.0	106.2	獣骨角	複数の擦り切り痕	KA 3 e3 ¹	
B27	札状加工品	(2.7)(0.7)(0.3)	(0.6)			骨	片面に複数の円形の盲孔 隅に穿孔1か所 孔径0.3cm	KA 4 e1 ¹⁴ x2	PL58
B28	切断痕を有する鹿角	15.5	7.6	6.1	168.6	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 c2 ¹³	
B29	ヘラ状加工品	8.2	3.1	1.9	9.2	シカ・脛骨	先端部U字状 扁平	KB 2 c2 ¹⁰ x8	
B30	切断痕を有する鹿角	49.6	17.4	-	596.6	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 c3 ¹⁵	PL58
B31	刺突具	7.6	0.8	0.6	2.7	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 c3 ² x17	
B32	刺突具	(3.1)(0.9)(0.8)	(1.3)			鹿角	未製品の可能性あり	KB 2 c3 ¹¹ x22	
B33	切断痕を有する鹿角	20.2	14.4	5.2	176.3	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 e1 ³	
B34	切断痕を有する鹿角	12.3	7.0	5.4	125.0	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 e2 ⁷	
B35	刺突具	4.2	1.1	0.5	1.8	イノシシ・腓骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 2 e4 ⁹ 512層	PL59
B36	ヘラ状加工品	(6.7)(3.2)(1.1)	10.2			シカ・脛骨	上半部欠損 扁平	KB 2 e4 ⁶	
B37	垂飾り	5.5	2.0	0.5	2.0	イノシシ・犬歯	穿孔痕1か所 穿孔1か所 孔径0.3cm	KB 2 a2 ³	PL58
B38	刺突具	(7.8)	0.7	0.4	(1.7)	イノシシ・腓骨	下端部欠損 表面擦痕	KB 2 c2 ¹⁶	PL58
B39	装飾品素材	-	-	0.7	0.7	サメ・椎骨	径1.4cm 未製品	KB 2 c2 ⁶	
B40	装飾品素材	-	-	0.7	0.7	サメ・椎骨	径1.4cm 未製品	KB 2 c2 ⁶	
B41	装飾品素材	-	-	0.7	0.7	サメ・椎骨	径1.3cm 未製品	KB 2 c2 ¹⁰	
B43	刺突具	(7.0)	1.4	0.8	(4.5)	シカ角	片側に返刺 反対側の先端部付近に弱い返刺 基部欠損	KB 2 d3 ¹⁶ 503層	PL59
B44	刺突具	(8.3)	1.0	0.9	(4.0)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 2 d4 ⁶	PL59
B45	垂飾り	4.3	1.5	0.9	4.3	オオカミ・犬歯	基部側1か所に穿孔 孔径0.3~0.7cm 内側の中央部に研磨による溝状の凹み2か所	KB 2 d5 ⁵	PL58
B46	刺突具	(3.4)	1.0	0.6	(1.4)	鹿角	片側に返刺 基部欠損	KB 2 e4 ¹²	
B47	垂飾り素材	2.9	1.5	0.9	1.4	アオザメ・歯	未製品	KB 2 e5 ⁸ 274層	
B48	針	(3.0)	0.55	0.42	(0.6)	鹿角	断面円形 4列以上の溝を巡らす 両端部欠損 表面擦痕	KB 3 a3 ⁷ x22	PL58
B49	切断痕を有する鹿角	11.0	7.0	4.8	70.5	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 3 a5 ³	
B50	刺突具	(3.2)	0.9	0.7	(0.7)	鹿角	片側に返刺 両端部欠損	KB 3 b2 ⁶ x23	
B51	装飾品素材	-	-	0.7	0.3	サメ・椎骨	径1.2cm 未製品	KB 3 b2 ¹¹	
B52	切断痕を有する鹿角	12.8	6.5	6.4	158.5	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 3 b2 ⁹	
B53	刺突具	6.1	0.8	0.5	2.3	イノシシ・腓骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 3 b2 ⁹	PL59
B54	垂飾り	2.5	1.4	0.9	0.9	アオザメ・歯	基部側左右2か所に穿孔 孔径(0.3)cm	KB 3 b2 ¹¹	PL58
B55	垂飾り	2.8	0.9	0.6	1.5	バンドウイルカ・歯	中央部に研磨による溝を巡らす	KB 3 b2 ¹³ 234層	PL58
B56	刺突具	(2.7)	1.3	0.6	(1.5)	鹿角	両側に返刺 両端部欠損	KB 3 b3 ⁵	PL59

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
B58	刺突具	(5.5)	1.4	0.9	(4.2)	鹿角	片側に返刺 両端部欠損	KB 3 c2 ¹⁵ x 24	PL59
B59	刺突具	(2.4)	0.9	0.6	(0.7)	鹿角	片側に返刺 基部欠損	KB 3 c2 ¹³ x 26	
B60	刺突具力	4.7	1.0	0.65	1.7	鹿角	未製品 表面に削痕	KB 3 c3 ³ x 10	
B61	垂飾り	(2.9)	(1.5)	(0.5)	(1.8)	イノシシ・犬歯	表面研磨 穿孔痕1か所 刻み3か所	KB 3 c4 ⁴ x 7	
B62	切断痕を有する鹿角	5.6	5.2	5.0	65.3	鹿角	複数の擦り切り痕	KC 3 b2 ¹³	
B63	刺突具	(5.2)	(0.9)	(0.7)	(1.9)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 基部欠損	KC 3 c1 ² x 19	PL59
B64	切断痕を有する鹿角	(5.0)	(1.1)	(0.9)	(2.7)	ガンカモ・骨	上端部切断痕 下端部欠損 表面擦痕	KC 3 b3 ¹¹ x 8	
B65	切断痕を有する鹿角	9.6	5.2	4.5	62.3	鹿角	複数の擦り切り痕	KA 2 c5 ¹² 97層	
B66	切断痕を有する鹿角	6.4	1.2	1.2	7.5	鹿角	複数の擦り切り痕 表面擦痕	KA 2 d5 ¹² 115層	
B67	垂飾り	3.1	0.7	0.6	1.2	バンドウイルカ・歯	基部側1か所に穿孔 孔径0.3~0.4cm	KA 3 d1 x 5	PL58
B68	刺突具	6.3	0.9	0.5	1.6	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KA 3 e2 ¹⁵ x 22	PL59
B69	切断痕を有する鹿角	7.1	4.0	2.8	25.2	シカ・橈骨	複数の擦り切り痕	KB 2 a4 ² x 6	
B70	釣り針	(5.0)	(1.0)	0.4	(1.1)	鹿角	基部溝状の挟り込み 表面研磨 針先端部欠損	KB 2 b2 ¹¹ x 5	
B71	切断痕を有する鹿角	4.8	1.7	1.3	8.1	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 b3 ¹⁴ x 10	PL60
B72	切断痕を有する鹿角	7.3	6.2	6.4	105.5	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 2 b4 ⁸	
B73	加工痕を有する骨	(5.1)	(1.1)	(0.4)	(1.7)	骨	表面研磨・刻み痕 両端部欠損	KB 2 b5 ¹⁴	
B74	切断痕を有する鹿角	11.5	5.6	3.0	31.2	鹿角	複数の擦り切り痕 鹿角先端部摩滅	KB 2 c4 ⁵ 423層	
B75	刺突具	(3.7)	(0.8)	(0.4)	(0.6)	エイ尾骨	片側に返刺 両端部欠損	KB 2 d4 ³ x 26	PL60
B76	刺突具	(7.4)	0.8	0.7	(4.0)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 3 a2 ⁹ 234層	PL59
B77	切断痕を有する鹿角	15.9	7.9	5.1	112.8	鹿角	複数の擦り切り痕	KB 3 a4 ¹ 171層	PL59
B78	刺突具	(6.9)	(1.1)	(0.4)	(2.5)	イノシシ・腓骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 3 c3 ¹⁶	
B79	垂飾り	2.8	1.7	1.0	1.1	アオザメ・歯	基部側左右2か所に穿孔 孔径0.2~0.3cm	KA 2 e5 ⁸ 104層	PL59
B80	垂飾り	3.1	1.1	0.7	1.7	バンドウイルカ・歯	基部側1か所穿孔 孔径0.3~0.5	KB 2 b4 ¹⁰	PL58
B81	錐状加工品	(4.6)	1.7	0.6	(2.7)	イノシシ・腓骨力	削り調整で錐状の先端部を作出	KB 3 e3 ¹² x 6	PL58
B82	刺突具	5.1	0.7	0.4	1.5	エイ尾骨	基部擦痕 両端部欠損	KC 2 a3 ¹³	PL60
B83	刺突具	(3.6)	(1.0)	(0.5)	(1.5)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KC 2 a4 ¹⁴ x 10	PL59
B84	刺突具	(4.3)	(1.3)	(0.7)	(2.2)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KC 2 c4 ⁵ x 12	
B85	垂飾り	2.3	0.8	0.4	0.4	キツネ・犬歯	基部側1か所穿孔 孔径0.2~0.3cm	KC 3 a2 ⁴ 266層	
B86	刺突具	(4.6)	1.1	0.7	(2.8)	鹿角	両側に返刺 基部欠損	貝層表土	PL58
B87	刺突具	(2.8)	(1.0)	(0.6)	(0.9)	鹿角	片側に返刺 基部欠損	KB 2 d5 ⁴ 788層	
B88	刺突具	(2.4)	(0.8)	(0.5)	(0.8)	鹿角	片側に返刺 両端部欠損	KA 3 c2 ¹ x 1	
B89	針	(3.7)	(0.5)	(0.4)	(0.7)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 d3 ⁷ x 4	
B90	針	(2.4)	(0.7)	(0.6)	(0.7)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d3 ² x 9	
B91	針	(2.7)	(0.7)	(0.5)	(0.8)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 c3 ⁵ x 3	
B92	針	(2.9)	0.7	0.4	(0.5)	骨	先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.3)cm	KA 3 e1 ³ x 4	PL58
B93	刺突具	(7.3)	(1.4)	(0.9)	(3.0)	鹿角	片側に返刺 基部欠損	KA 3 e1 ⁵ x 12	
B94	刺突具	(4.1)	(0.7)	(0.4)	(0.6)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d2 ¹³ x 11	
B95	刺突具	(2.9)	(0.6)	(0.3)	(0.5)	鹿角	基部欠損	KA 2 c4 ¹⁶ x 3	
B96	刺突具	(1.8)	(0.6)	(0.4)	(0.4)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 e1 一括	
B97	針	(2.6)	(0.6)	(0.3)	(0.3)	骨	先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.4)cm	KA 3 e1 ⁹ x 12	PL58
B98	刺突具	(5.6)	(0.7)	(0.5)	(0.5)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 e3 ⁶ x 15	
B99	刺突具	(2.7)	(0.7)	(0.7)	(1.2)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 e3 ¹⁶ x 5	
B100	垂飾り	(2.9)	0.9	0.8	(1.1)	バンドウイルカ・歯	先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.3)cm	KA 3 e5 ⁴ x 5	PL58
B101	垂飾り	(3.9)	0.9	0.6	(1.9)	イノシシ・犬歯	先端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.4)cm	KB 2 a3 ¹³ x 13	PL58
B102	刺突具	(6.0)	(0.9)	(0.5)	(2.4)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 a2 ⁴ 319層	
B103	刺突具	(5.6)	(0.9)	(0.5)	(1.5)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 a2 ⁸ 319層	
B104	刺突具	(3.2)	(0.7)	(0.7)	(0.8)	骨	先端部欠損 表面擦痕	KB 2 b5 ¹⁵ x 24	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
B 105	針	(3.3)	(0.7)	(0.7)	(1.4)	鹿角	大半を欠損 穿孔痕	KB 3 a2①144層	PL58
B 106	刺突具	(3.2)	(0.8)	(0.4)	(0.7)	エイ尾骨	基部擦痕 両端部欠損	KB 2 d2⑪x5	PL59
B 107	切断痕を有する骨	5.4	4.7	2.7	21.1	シカ・橈骨	複数の擦り切り痕	KB 2 d2⑩	PL60
B 108	刺突具	(4.1)	(1.0)	(0.6)	(2.0)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 d4⑧x21	
B 109	錐状加工品	6.2	1.6	0.5	3.3	骨	錐状の先端部を作出	KB 2 d4⑪x25	PL60
B 110	垂飾り	(2.1)	(0.9)	(0.9)	(0.9)	バンドウイルカ・歯	基部側1か所穿孔 孔径(0.3)cm	KB 2 e2⑤x2	
B 111	針	(3.0)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	骨	先端部欠損 先端部穿孔痕 孔径(0.3)cm	KB 2 e3①x20	PL58
B 112	切断痕を有する骨	2.5	1.9	0.5	1.6	骨	複数の擦り切り痕	KB 2 e3⑫x23	
B 113	刺突具	(4.9)	(1.4)	(0.7)	(3.7)	鹿角	片側に返刺 両端部欠損	KB 2 e3③x18	
B 114	刺突具	(5.0)	(0.9)	(0.6)	(1.6)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 3 a2⑨234層	
B 115	ヘラ状加工品	(2.4)	(1.0)	(0.3)	(0.7)	骨	大半を欠損 表面擦痕	KB 3 c1⑤x17	
B 116	針	(2.3)	(0.4)	(0.4)	(0.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 c2⑬x24	
B 117	刺突具	(3.7)	(0.7)	(0.6)	(1.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 c2⑦x22	
B 118	垂飾り	(3.3)	(1.0)	(0.9)	(1.7)	バンドウイルカ・歯	基部側1か所穿孔 孔径(0.5)cm	KB 3 c2⑪x24	PL58
B 119	刺突具	(3.1)	(1.1)	(0.5)	(1.1)	イノシシ・腓骨	先端部欠損 表面擦痕	KB 3 b1⑪x22	
B 120	刺突具	(2.0)	(1.3)	(1.2)	(0.9)	鹿角	両側に返刺 両端部欠損	KB 3 b2⑪x27	
B 121	刺突具	(2.4)	(1.0)	(0.5)	(0.5)	鹿角	両側に返刺 基部欠損	KB 3 b2⑩x26	
B 122	切断痕を有する骨	5.1	3.8	2.2	11.9	シカ・橈骨	複数の擦り切り痕	KB 3 b2⑮x28	
B 123	刺突具	(4.4)	(0.8)	(0.4)	(1.1)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KB 3 b4⑮x20	
B 124	ヘラ状加工品	(1.1)	(1.7)	(0.2)	(0.5)	骨	扁平 擦り切りにより頭部を作出	KB 3 c1⑨x1	
B 125	刺突具	(2.6)	(0.6)	(0.4)	(0.6)	骨	先端部欠損 表面擦痕	KC 2 b5⑥x22	
B 126	針	(2.2)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 b3②x12	
B 127	垂飾り	(5.4)	(1.2)	(0.4)	(1.3)	イノシシ・犬歯	基部欠損 表面擦痕	KC 3 a4⑧78層	
B 128	針	(1.7)	(0.5)	(0.4)	(0.3)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KC 3 a1⑮x24	
B 129	刺突具	(4.7)	(0.9)	(0.7)	(2.1)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 e5⑤327層	
B 130	ヘラ状加工品	4.0	1.5	0.4	0.9	骨	研磨調整 先端部U字状	KA 2 e5④112層	PL58
B 131	刺突具	(2.9)	(0.8)	(0.5)	(1.1)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 e5⑩x8	
B 132	刺突具	(4.4)	(1.0)	(0.5)	(1.9)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 2 e5⑪363層	
B 133	ヘラ状加工品	(4.7)	(1.7)	(0.8)	(4.7)	骨	先端部欠損 基部側に穿孔痕 孔径(0.3)cm	KB 2 a5⑫907層	
B 134	針	(2.4)	(0.5)	(0.4)	(0.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 b4⑧x22	
B 135	垂飾り	10.3	4.0	3.1	29.5	イノシシ・踵骨	基部側1か所穿孔 孔径0.3cm	KA 3 d1⑬x2	PL60
B 136	刺突具	(3.8)	(0.9)	(0.5)	(1.2)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d1⑬x6	
B 137	刺突具	(5.2)	0.8	0.4	(1.1)	イノシシ・腓骨	基部欠損 表面擦痕	KA 3 d2⑭x11	PL59
B 138	刺突具	(2.6)	(0.8)	(0.5)	(0.7)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d3⑩x22	
B 139	刺突具	(2.5)	(0.8)	(0.6)	(0.7)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KA 3 d3⑬168層	
B 140	管状加工品	(4.9)	(1.7)	(1.4)	(2.1)	ハクチョウ・骨	大半を欠損 表面擦痕	KB 3 e4⑩x11	
B 141	刺突具	(3.1)	(1.0)	(0.7)	(1.3)	鹿角	片側に返刺 先端部欠損	KB 3 d3⑩x15	
B 142	切断痕を有する骨	2.9	1.9	1.1	1.0	カモ・上腕骨	擦り切り痕	KC 3 b1⑮x27	PL60
B 143	刺突具	(6.7)	1.0	0.7	(3.2)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 両端部欠損	KC 3 b1⑮	PL59
B 144	刺突具	4.0	1.0	0.5	1.7	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KC 3 b1⑯	PL59
B 145	刺突具	5.5	1.0	0.5	2.3	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕	KC 3 b2⑰x20	PL59
B 146	刺突具	(3.5)	(0.9)	(0.5)	(1.1)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 基部欠損	KC 3 b3③x11	
B 147	切断痕を有する骨	6.8	1.6	1.1	4.2	イノシシ・中手骨	複数の擦り切り痕	KC 3 c1⑫x15	
B 148	刺突具	(1.8)	(0.9)	(0.6)	(0.6)	骨	表面擦痕 両端部欠損	KC 3 d2②	
B 149	刺突具	(6.0)	(0.9)	(0.5)	(1.7)	イノシシ・腓骨	先端部欠損 表面擦痕	KC 3 b2④x13	
B 150	刺突具	(5.5)	(0.9)	(0.6)	(2.0)	イノシシ・腓骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 d3⑪x10	
B 151	線刻を有する骨	8.6	4.7	2.8	24.1	イノシシ・肩甲骨	鋸歯状の線刻	KB 2 d3③x23	PL60

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
B 152	針	(2.9)(0.5)(0.4)	(0.5)	(0.4)	(0.5)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 d5⑬430層	
B 153	刺突具	(4.6)(1.0)(0.8)	(1.0)	(0.8)	(2.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 d5⑯732層	
B 154	刺突具	(6.3)(1.1)(0.8)	(1.1)	(0.8)	(2.5)	鹿角	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 e4①455a層	
B 155	切断痕を有する鹿角	10.4	2.6	2.0	18.6	鹿角	擦り切り痕	KB 2 e4⑦x23	PL60
B 156	研磨痕を有する骨	(4.0)(1.7)(0.6)	(1.7)	(0.6)	(2.6)	骨	研磨痕	KB 2 e4⑬512層	
B 157	刺突具	(4.4)(0.9)(0.4)	(0.9)	(0.4)	(1.3)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 両端部欠損	KA 3 d1⑤x12	PL59
B 158	針	(4.6)(1.0)(0.4)	(1.0)	(0.4)	(1.6)	骨	両端部欠損 上端部穿孔痕 孔径(0.4)cm	KA 2 d4⑭x7	PL58
B 159	刺突具	(3.8)(1.0)(0.5)	(1.0)	(0.5)	(1.9)	シカ・中手骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 2 e2⑩x13	
B 160	研磨痕を有する骨	(3.1)(2.3)(0.5)	(2.3)	(0.5)	(2.6)	骨	研磨痕	KB 2 e2⑩x13	
B 161	刺突具	(3.7)	0.8	0.3	(0.7)	エイ尾骨	基部擦痕 両端部欠損	KB 2 c2⑮x9	
B 162	切断痕を有する鹿角	3.2	1.6	1.1	3.1	鹿角	擦り切り痕	KB 2 c4④454層	
B 163	錐状加工品	(6.8)	1.8	0.6	(3.3)	骨	先端部を錐状に加工 先端部欠損	KB 3 a3⑨x9	
B 164	刺突具	(2.5)(0.8)(0.6)	(0.8)	(0.6)	(0.9)	鹿角	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 a4⑨173層	
B 165	切断痕を有する鹿角	3.8	4.3	2.5	10.6	シカ・橈骨	複数の擦り切り痕	KB 3 a4⑩	
B 166	研磨痕を有する骨	7.7	2.1	0.9	5.5	イノシシ・犬歯	研磨痕	KC 3 c2⑧269層	
B 167	刺突具	(3.4)(0.6)(0.3)	(0.6)	(0.3)	(0.5)	エイ尾骨	基部擦痕 両端部欠損	KC 3 c3⑦x13	
B 168	刺突具	(3.8)(1.6)(0.9)	(1.6)	(0.9)	(2.6)	鹿角	片側に返刺 反対側の先端部付近に返刺1か所 両端部欠損	KB 3 a2⑯165層	
B 169	研磨痕を有する骨	(3.0)(1.2)(0.3)	(1.2)	(0.3)	(1.4)	イノシシ・犬歯	研磨痕	KC 2 a5⑬529層	PL58
B 170	研磨痕を有する骨	4.6	1.3	0.8	3.0	骨	研磨痕	KC 2 c5⑭x24	
B 171	刺突具	(4.4)(0.8)(0.6)	(0.8)	(0.6)	(1.0)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 両端部欠損	KA 3 e2⑤143層	PL59
B 172	ヘラ状加工品	(7.2)(1.3)(0.7)	(1.3)	(0.7)	(3.5)	骨	研磨調整 先端部U字状 基部欠損	KA 3 d3①123層	PL60
B 173	針	(2.8)(0.5)(0.5)	(0.5)	(0.5)	(0.7)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 a2②x18	
B 174	垂飾り	(4.7)(1.8)(0.5)	(1.8)	(0.5)	(2.8)	イノシシ・犬歯	大半を欠損 穿孔痕 孔径(0.3)cm	KB 3 c3④7層	
B 175	刺突具	(3.2)	0.8	0.5	(1.0)	骨	尖頭状に研磨 表面擦痕 基部欠損	KB 3 e3⑨x22	PL59
B 176	刺突具	(3.3)(1.2)(0.7)	(1.2)	(0.7)	(1.7)	イノシシ・腓骨	先端部欠損 表面擦痕	KC 3 b1⑫59層	
B 177	刺突具	(4.3)(1.3)(0.6)	(1.3)	(0.6)	(2.4)	骨	両端部欠損 表面擦痕	KB 3 e3③x9	
B 178	磨製刃器	4.0	1.9	0.8	4.7	骨	研磨調整 刃部両刃状	KC 2 a5⑫294層	PL58
B 179	切断痕を有する鹿角	5.3	4.8	1.8	12.4	鹿角	複数の擦り切り痕	KC 2 b5⑯	
B 180	端平頭棒状角製品	(8.2)(1.8)(1.8)	(1.8)	(1.8)	(12.0)	鹿角	先端部は丸みを持つ 摩滅 基部欠損 表面擦痕	KC 2 b5⑯	
B 181	垂飾り	2.7	0.9	0.7	1.4	バンドウイルカ・歯	基部側1か所穿孔 孔径(0.2~0.5)cm	KB 3 e1⑬x32	PL58
B 182	垂飾り素材	2.7	0.8	0.8	1.8	バンドウイルカ・歯	表面摩滅	KB 3 e2⑯1032層	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
S 1	貝製品	3.5	0.7	-	1.2	ツノガイ	ツノガイの両端を切断後研磨	KA 3 c1①x1	
S 2	貝輪素材	5.5	8.9	0.5	43.9	サルボウ	未製品 殻頂部付近を欠く	KA 2 c5⑭	PL57
S 3	貝輪	(6.0)(6.5)	(6.5)	0.3	(9.8)	サルボウ	環状に腹縁部を加工 腹縁部表面研磨	KA 3 d4⑭	
S 4	貝刃	5.0	6.2	1.8	12.2	ハマグリ	腹縁に連続する剥離痕	KA 3 e3⑧	PL57
S 5	貝刃	5.1	5.3	1.4	9.2	カガミガイ	腹縁に連続する剥離痕	KA 3 e3⑬	PL57
S 6	貝製品素材	4.8	7.7	2.2	27.3	ナミガイ	化石 性格不明 貝器の一種	KB 2 d2②	
S 8	貝輪	(6.8)(8.6)	(8.6)	0.4	(36.9)	サルボウ	環状に腹縁部を加工 大形のサルボウを素材	KB 3 b5⑪x2	
S 9	貝器	(9.3)	16.5	(3.0)	(178.3)	ミルクイガイ	化石 表面に酸化した鉄分と砂の付着	KB 3 c1⑧227層	
S 10	貝器	11.9	15.8	3.8	158.0	ミルクイガイ	化石 表面に細かい擦痕	KC 3 b2⑫	
S 11	貝輪	(4.8)(6.5)	(6.5)	0.5	(12.1)	サルボウ	環状に腹縁部を加工 腹縁部表面研磨	KB 2 b2⑮	
S 12	貝輪	6.8	9.7	0.5	41.2	アカガイ	環状に腹縁部を加工	KB 2 b4⑤	PL57
S 13	貝輪素材	8.15	9.3	2.8	77.4	ベンケイガイ	加工痕なし	KB 2 c5⑮	
S 14	貝輪	(7.0)(3.7)	(3.7)	0.4	(9.9)	サルボウ	環状に腹縁部を加工	KC 2 a2⑨x11	
S 15	貝輪	(5.3)(7.2)	(7.2)	0.4	(16.7)	サルボウ	環状に腹縁部を加工	KC 2 c5⑦x15	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	素 材	特 徴	出土位置	備考
S 16	刃物加工品	4.1	1.3	0.3	(3.4)	ホンダワラ	縦方向に擦り切る 切断面平滑	KB 2 e5①	PL57
S 17	貝刃	5.2	6.7	1.7	14.7	ハマグリ	腹縁に連続する剥離痕	貝層表土	PL57
S 18	貝輪	(5.6)	(7.1)	0.4	(20.8)	サルボウ	未製品 殻頂部付近を欠く	KA 3 e4③ x2	

番号	種 別	部位	重量(g)	出土位置
BH1	人骨	頭蓋骨	350.2	KC 3 c1
BH3	人骨	歯	64.3	KC 2 c5
BH4	人骨	上腕骨	38.5	KC 3 b1
BH5	人骨	上腕骨	48.3	KC 3 c1
BH6	人骨	指骨	5.4	KB 3 c2
BH7	人骨	大腿骨	146.4	KC 3 c1
BH10	人骨	大腿骨	85.5	KB 3 e2
BH11	人骨	脛骨	29.9	KC 2 b3
BH12	人骨	大腿骨	24.2	KC 2 b3
BB1	鳥骨 / カモ	上腕骨	1.3	KA 2 d3
BB24	鳥骨 / カモ	上腕骨	4.2	KC 3 a1
BA5	獣骨 / シカ	尺骨	29.5	KA 2 b5
BA10	獣骨 / シカ	大腿骨	64.4	KA 2 c3
BA13	獣骨 / シカ	寛骨	18.8	KA 2 c4
BA16	獣骨 / シカ	上腕骨	33.7	KA 2 c4
BA18	獣骨 / シカ	上腕骨	32.4	KA 2 c4
BA20	獣骨 / シカ	橈骨	35.5	KA 2 c4
BA21	獣骨 / シカ	橈骨	6.3	KA 2 c4
BA22	獣骨 / シカ	踵骨	17.5	KA 2 c4
BA35	獣骨 / シカ	肩甲骨	42.2	KA 2 c4
BA47	獣骨 / シカ	上腕骨	33.9	KA 2 d5
BA48	獣骨 / シカ	肩甲骨	28.0	KA 2 d5
BA52	獣骨 / シカ	肩甲骨	38.3	KA 2 d5
BA55	獣骨 / シカ	肩甲骨	48.5	KA 2 d5
BA58	獣骨 / シカ	橈骨	21.9	KA 2 e2
BA59	獣骨 / シカ	肩甲骨	28.8	KA 2 e2
BA64	獣骨 / イノシシ	肩甲骨	23.7	KA 2 e3
BA71	獣骨 / シカ	脛骨	36.5	KA 2 e4
BA74	獣骨 / シカ	大腿骨	30.3	KA 2 e4
BA75	獣骨 / シカ	肩甲骨	30.7	KA 2 e4
BA76	獣骨 / シカ	肩甲骨	27.3	KA 2 e4
BA77	獣骨 / シカ	尺骨	24.2	KA 2 e4
BA79	獣骨 / シカ	大腿骨	20.1	KA 2 e4
BA80	獣骨 / シカ	肩甲骨	32.6	KA 2 e4
BA81	獣骨 / シカ	脛骨	42.9	KA 2 e4
BA82	獣骨 / シカ	寛骨	18.2	KA 2 e4
BA84	獣骨 / シカ	尺骨	10.1	KA 2 e4
BA86	獣骨 / シカ	踵骨	8.4	KA 2 e4
BA106	獣骨 / シカ	寛骨	13.5	KA 2 e5
BA126	獣骨 / シカ	上腕骨	39.7	KB 2 a3
BA129	獣骨 / シカ	上腕骨	28.8	KB 2 a3
BA131	獣骨 / シカ	大腿骨	24.5	KB 2 a3

番号	種 別	部位	重量(g)	出土位置
BA132	獣骨 / シカ	脛骨	11.4	KB 2 a3
BA135	獣骨 / シカ	上腕骨	28.2	KB 2 a3
BA137	獣骨 / シカ	距骨	13.9	KB 2 a3
BA138	獣骨 / シカ	距骨	15.0	KB 2 a3
BA140	獣骨 / シカ	肩甲骨	54.6	KB 2 a4
BA151	獣骨 / シカ	上腕骨	18.0	KB 2 a4
BA160	獣骨 / シカ	寛骨	56.0	KB 2 a5
BA163	獣骨 / シカ	肩甲骨	30.8	KB 2 a5
BA166	獣骨 / シカ	上腕骨	29.2	KB 2 a5
BA167	獣骨 / シカ	大腿骨	38.7	KB 2 a5
BA169	獣骨 / シカ	寛骨	10.8	KB 2 a5
BA170	獣骨 / シカ	上腕骨	21.2	KB 2 a5
BA172	獣骨 / シカ	脛骨	18.6	KB 2 a5
BA173	獣骨 / シカ	寛骨	37.4	KB 2 a5
BA174	獣骨 / シカ	大腿骨	23.2	KB 2 a5
BA177	獣骨 / シカ	寛骨	19.9	KB 2 a5
BA182	獣骨 / シカ	角	73.5	KB 2 b1
BA210	獣骨 / シカ	肩甲骨	18.5	KB 2 b5
BA231	獣骨 / シカ	肩甲骨	49.9	KB 2 c3
BA234	獣骨 / シカ	脛骨	19.0	KB 2 c3
BA251	獣骨 / シカ	大腿骨	27.9	KB 2 c5
BA257	獣骨 / シカ	距骨	26.1	KB 2 d1
BA258	獣骨 / シカ	距骨	12.1	KB 2 d1
BA259	獣骨 / シカ	肩甲骨	52.9	KB 2 d2
BA260	獣骨 / シカ	上腕骨	19.2	KB 2 d2
BA261	獣骨 / シカ	脛骨	13.9	KB 2 d2
BA263	獣骨 / シカ	肩甲骨	37.0	KB 2 d2
BA264	獣骨 / イノシシ	大腿骨	20.8	KB 2 d2
BA266	獣骨 / シカ	橈骨	11.7	KB 2 d2
BA270	獣骨 / シカ	上腕骨	15.2	KB 2 d2
BA271	獣骨 / シカ	第 2 頸椎	29.0	KB 2 d2
BA279	獣骨 / シカ	橈骨	26.7	KA 2 d3
BA289	獣骨 / シカ	踵骨	33.4	KB 2 d4
BA293	獣骨 / シカ	上腕骨	49.4	KB 2 d4
BA295	獣骨 / シカ	脛骨	25.8	KB 2 d4
BA300	獣骨 / シカ	脛骨	21.7	KB 2 d4
BA304	獣骨 / シカ	距骨	20.7	KB 2 d5
BA308	獣骨 / シカ	上腕骨	16.3	KB 2 e1
BA318	獣骨 / シカ	脛骨	49.1	KB 2 e3
BA334	獣骨 / シカ	上腕骨	28.3	KC 2 b1
BA339	獣骨 / シカ	第 2 頸椎	37.3	KC 2 b3
BA349	獣骨 / イノシシ	寛骨	49.9	KC 2 c5

番号	種別	部位	重量(g)	出土位置
BA359	獣骨/シカ	橈骨	19.8	KA 3 b1
BA372	獣骨/シカ	肩甲骨	32.6	KA 3 c2
BA384	獣骨/シカ	角	107.7	KA 3 d1
BA405	獣骨/シカ	肩甲骨	19.9	KA 3 d3
BA407	獣骨/シカ	脛骨	35.4	KA 3 d3
BA409	獣骨/シカ	踵骨	30.4	KA 3 d3
BA411	獣骨/シカ	肩甲骨	51.1	KA 3 d3
BA414	獣骨/シカ	大腿骨	55.8	KA 3 d3
BA415	獣骨/シカ	大腿骨	41.9	KA 3 d3
BA423	獣骨/シカ	大腿骨	20.6	KA 3 e1
BA424	獣骨/シカ	大腿骨	39.9	KA 3 e1
BA425	獣骨/シカ	肩甲骨	52.1	KA 3 e1
BA431	獣骨/シカ	肩甲骨	43.1	KA 3 e1
BA434a	獣骨/シカ	橈骨	1.6	KA 3 e1
BA434b	獣骨/シカ	橈骨	0.8	KA 3 e1
BA436	獣骨/シカ	脛骨	27.7	KA 3 e1
BA440	獣骨/シカ	肩甲骨	35.6	KA 3 e2
BA441	獣骨/イノシシ	大腿骨	47.8	KA 3 e2
BA443	獣骨/シカ	脛骨	41.8	KA 3 e2
BA446	獣骨/シカ	肩甲骨	36.6	KA 3 e3
BA447	獣骨/シカ	脛骨	17.0	KA 3 e3
BA452	獣骨/イノシシ	上腕骨	13.7	KA 3 e3
BA453	獣骨/シカ	大腿骨	15.5	KA 3 e3
BA454	獣骨/シカ	頸椎	28.8	KA 3 e3
BA458	獣骨/シカ	大腿骨	15.0	KA 3 e5
BA459	獣骨/シカ	角	77.0	KA 3 e5
BA469	獣骨/シカ	距骨	18.6	KC 2 a2
BA471	獣骨/シカ	肩甲骨	39.4	KB 3 a3
BA480	獣骨/イノシシ	踵骨	19.3	KB 3 a4
BA483	獣骨/シカ	肩甲骨	25.3	KB 3 a5
BA491	獣骨/シカ	上腕骨	41.8	KB 3 a5
BA496	獣骨/シカ	肋骨	36.8	KB 3 a5
BA497	獣骨/シカ	脛骨	14.7	KB 3 a5
BA500	獣骨/シカ	橈骨	16.2	KB 3 b1
BA501	獣骨/イノシシ	大腿骨	29.3	KB 3 b1
BA505a	獣骨/シカ	距骨	18.0	KC 3 b2
BA511	獣骨/シカ	大腿骨	36.7	KB 3 c1
BA515	獣骨/シカ	距骨	19.9	KB 3 c2
BA520	獣骨/シカ	肩甲骨	20.0	KB 3 e1
BA521	獣骨/シカ	距骨	23.5	KB 3 e1
BA526	獣骨/シカ	角	25.8	KC 2 a5
BA530	獣骨/シカ	上腕骨	32.3	KC 3 a1
BA536	獣骨/シカ	大腿骨	28.9	KA 3 e3
BA537	獣骨/シカ	寛骨	68.3	KC 3 b1
BA538	獣骨/シカ	脛骨	14.3	KC 3 b2
BA546	獣骨/シカ	大腿骨	33.3	KC 3 b3
BA549	獣骨/シカ	距骨	13.3	KC 3 c1
BA552	獣骨/シカ	角	146.8	KC 3 c1

番号	種別	部位	重量(g)	出土位置
BA553	獣骨/シカ	角	40.5	KC 3 c1
BA557	獣骨/シカ	尺骨	17.6	KC 3 c2
BA558	獣骨/シカ	踵骨	17.7	KC 3 c2
BA560	獣骨/シカ	距骨	8.1	KC 3 c3
BA561	獣骨/シカ	距骨	8.9	KC 3 c3
BA562	獣骨/シカ	中足骨	3.6	KC 3 c3
BA563	獣骨/シカ	膝蓋骨	6.1	KC 3 c3
BA564	獣骨/シカ	歯	9.3	KC 3 d2
BA566	獣骨/シカ	角	100.7	KB 3 c1
BA567	獣骨/シカ	大腿骨	33.2	KB 3 c1
BA585	獣骨/イノシシ	肋骨	9.2	KA 2 c4
BA587	獣骨/シカ	寛骨	7.5	KA 2 c4
BA593	獣骨/イノシシ	肩甲骨	53.5	KA 2 d5
BA596	獣骨/イノシシ	肩甲骨	29.5	KA 2 e4
BA598	獣骨/イノシシ	脛骨	29.1	KA 2 e4
BA610	獣骨/イノシシ	上腕骨	48.8	KA 2 e5
BA611	獣骨/イノシシ	下顎骨	54.3	KA 2 e5
BA616	獣骨/イノシシ	脛骨	43.3	KB 2 a2
BA618	獣骨/イノシシ	大腿骨	26.1	KB 2 a3
BA629	獣骨/シカ	大腿骨	33.1	KB 2 a5
BA636	獣骨/イノシシ	上顎骨	27.5	KB 2 b3
BA639	獣骨/イノシシ	距骨	28.8	KB 2 b4
BA644	獣骨/イノシシ	肩甲骨	41.6	KB 2 b5
BA669	獣骨/イノシシ	脛骨	12.0	KB 2 d2
BA673	獣骨/イノシシ	下顎骨	109.2	KB 2 d3
BA679	獣骨/イノシシ	肩甲骨	42.2	KB 2 d4
BA680	獣骨/イノシシ	尺骨	15.6	KB 2 d4
BA683	獣骨/イノシシ	肩甲骨	26.8	KB 2 e1
BA685	獣骨/イノシシ	下顎骨	42.3	KB 2 e2
BA699	獣骨/イノシシ	歯	8.1	KC 2 b3
BA709	獣骨/イノシシ	寛骨	62.7	KC 2 b5
BA713	獣骨/イノシシ	第1頸椎	32.7	KC 2 c5
BA715	獣骨/イノシシ	脛骨	35.9	KC 2 c5
BA716	獣骨/イノシシ	歯	22.2	KB 2 b5
BA719	獣骨/イノシシ	下顎骨	36.4	KC 2 c5
BA720	獣骨/イノシシ	下顎骨	33.8	KC 2 c5
BA724	獣骨/イノシシ	橈骨	8.9	KA 3 b1
BA725	獣骨/イノシシ	踵骨	17.8	KA 3 b1
BA727	獣骨/イノシシ	尺骨	28.6	KA 3 c1
BA747	獣骨/イノシシ	上腕骨	66.4	KA 3 d3
BA749	獣骨/イノシシ	膝蓋骨	11.4	KA 3 d3
BA750	獣骨/イノシシ	第1頸椎	22.1	KA 3 d3
BA755	獣骨/イノシシ	肩甲骨	94.9	KA 3 e1
BA764	獣骨/イノシシ	上顎骨	41.6	KA 3 e2
BA769	獣骨/イノシシ	第1頸椎	33.7	KA 3 e3
BA770	獣骨/イノシシ	距骨	28.2	KA 3 e3
BA771	獣骨/イノシシ	距骨	14.9	KA 3 e3
BA772	獣骨/イノシシ	脛骨	22.8	KA 3 e3

番号	種別	部位	重量(g)	出土位置
BA781	獣骨/イノシシ	下顎骨	59.5	KB 3 a1
BA786	獣骨/イノシシ	肩甲骨	22.4	KB 3 a2
BA787	獣骨/イノシシ	上腕骨	32.1	KB 3 a2
BA794	獣骨/イノシシ	踵骨	18.7	KB 3 a4
BA795	獣骨/イノシシ	肩甲骨	25.2	KB 3 a4
BA798	獣骨/イノシシ	尺骨	22.0	KB 3 a4
BA801	獣骨/イノシシ	脛骨	11.5	KB 3 a4
BA802	獣骨/イノシシ	脛骨	11.3	KB 3 a4
BA804	獣骨/イノシシ	肩甲骨	19.5	KB 3 a5
BA805	獣骨/イノシシ	肩甲骨	32.6	KB 3 a5
BA806	獣骨/イノシシ	上顎骨	29.7	KB 3 b1
BA823	獣骨/イノシシ	尺骨	20.3	KB 3 e2
BA828	獣骨/イノシシ	中手骨	13.7	KB 2 c5
BA830	獣骨/イノシシ	寛骨	40.2	KB 3 e3
BA831	獣骨/イノシシ	肩甲骨	30.3	KB 3 e3
BA832	獣骨/イノシシ	下顎骨	37.4	KB 3 e3
BA834	獣骨/イノシシ	第2頸椎	10.6	KB 3 e3
BA835	獣骨/イノシシ	中手・中足骨	4.9	KC 3 a5
BA836	獣骨/イノシシ	下顎骨	4.2	KC 3 a1
BA837	獣骨/イノシシ	上顎骨	63.2	KC 3 a2
BA840	獣骨/イノシシ	上顎骨	33.0	KC 3 a2
BA842	獣骨/イノシシ	歯	11.1	KC 3 a2
BA847	獣骨/イノシシ	上腕骨	16.8	KC 3 a3
BA848	獣骨/イノシシ	寛骨	8.7	KC 3 a3
BA850	獣骨/イノシシ	大腿骨	48.2	KC 3 a4
BA851	獣骨/イノシシ	上顎骨	27.1	KA 3 e3
BA874	獣骨/イノシシ	上顎骨	39.9	KC 3 c1
BA875	獣骨/イノシシ	尺骨	35.4	KC 3 c1
BA876	獣骨/イノシシ	上顎骨	11.6	KC 3 c1
BA877	獣骨/イノシシ	脛骨	13.0	KC 3 c1
BA878	獣骨/イノシシ	上顎骨	27.7	KC 3 c1
BA879	獣骨/イノシシ	脛骨	10.9	KC 3 c1
BA881	獣骨/イノシシ	下顎骨	80.1	KC 3 c1
BA888	獣骨/イノシシ	踵骨	31.4	KC 3 c2
BA889	獣骨/シカ	上腕骨	10.4	KC 3 d2
BA891	獣骨/イヌ	大腿骨	13.5	KA 2 e3
BA892	獣骨/イヌ	下顎骨	6.9	KA 2 e3
BA900	獣骨/タヌキ	下顎骨	7.3	KB 2 b5
BA902	獣骨/タヌキ	下顎骨	3.4	KB 2 c5
BA912	獣骨/イヌ	歯	2.6	KB 3 b2
BA920	獣骨/タヌキ	尺骨	3.5	KC 3 c1
BA923	獣骨/イヌ	下顎骨	29.9	KA 2 e3
BA926	獣骨/イヌ	下顎骨	27.1	KB 2 a4
BA928	獣骨/イヌ	下顎骨	27.5	KB 2 a4
BA933	獣骨/イヌ	脛骨	9.6	KA 2 e3
BA934	獣骨/イヌ	第2頸椎	9.6	KA 2 e3
BA936	獣骨/イヌ	大腿骨	12.6	KB 2 b4
BA939	獣骨/イヌ	上腕骨	7.2	KB 2 e3

番号	種別	部位	重量(g)	出土位置
BA942	獣骨/イヌ	歯	3.0	KC 3 b2
BA945	獣骨/ウサギ	下顎骨	2.8	KC 3 b3
BA948	海獣骨/イルカ	椎骨	29.3	KA 3 e2
BA957	獣骨	-	3.0	KA 2 c4
BA959	獣骨	-	46.6	KA 2 c5
BA962	獣骨	脛骨	13.1	KA 2 c5
BA987	獣骨	-	14.1	KA 2 e2
BA991	獣骨	-	3.3	KA 2 e3
BA992	獣骨	椎骨	7.3	KA 2 e3
BA995	獣骨	歯	1.8	KA 2 e3
BA996	獣骨	下顎骨	7.5	KA 2 e3
BA1000	獣骨	-	2.4	KA 2 e4
BA1014	獣骨	上腕骨	16.6	KB 2 a3
BA1043	獣骨	-	0.8	KB 2 b4
BA1044	獣骨	-	36.7	KB 2 b5
BA1054	獣骨	-	41.2	KB 2 c2
BA1067	獣骨	歯	1.6	KB 2 d1
BA1069	獣骨	椎骨	31.0	KB 2 d2
BA1074	獣骨	歯	3.4	KB 2 d4
BA1092	獣骨	-	29.9	KB 2 e3
BA1093	獣骨	-	12.3	KB 2 e3
BA1099	獣骨/シカ	肩甲骨	40.0	KB 2 e4
BA1110	獣骨	-	0.1	KC 2 b1
BA1153	獣骨	橈骨	0.3	KA 3 c1
BA1159	獣骨	-	38.2	KA 3 d2
BA1177	獣骨	距骨	23.4	KA 3 e1
BA1188	獣骨	肩甲骨	12.5	KA 3 e1
BA1211	獣骨/シカ	角	5.2	KA 3 e3
BA1229	獣骨	-	25.7	KB 3 b1
BA1256	獣骨	肩甲骨	30.2	KB 3 c5
BA1266	獣骨	-	4.1	KB 3 e1
BA1276	獣骨	-	18.4	KC 3 a1
BA1286	獣骨	-	3.6	KB 3 c3
BA1287	獣骨	下顎骨	24.6	KC 3 a3
BA1288	獣骨	寛骨	8.3	KC 3 a3
BA1295	獣骨	-	3.1	KC 3 a3
BA1296	獣骨	-	1.5	KC 3 a3
BA1300	獣骨	-	7.4	KC 3 a4
BA1303	獣骨	-	31.8	KC 3 b1
BA1328	獣骨	指骨	4.4	KC 3 b4
BA1329	獣骨	-	9.1	KC 3 c1
BA1331	獣骨	下顎骨	9.4	KC 3 c1
BA1335	獣骨	-	13.9	KC 3 c1
BA1337	獣骨	椎骨	22.6	KC 3 c2
BA1344	獣骨	下顎骨	3.7	KC 2 b3

(6) 土坑墓

ア 第1号土坑墓(第324図)

位置 調査区北西部のE 4 g6区で、標高24.1mの斜面部に位置している。

確認状況 斜面貝層の地区設定ではKA 2 b5区に位置し、前期中葉の混貝土層及び黒褐色土を掘り込んでいる。

規模と形状 長径1.23m、短径1.01mの楕円形で、長径方向はN - 85° - Wである。深さは55cmで、壁は外傾して立ち上がっている。底面は皿状にくぼんでいる。

覆土 3層に分かれ、埋め戻されている。

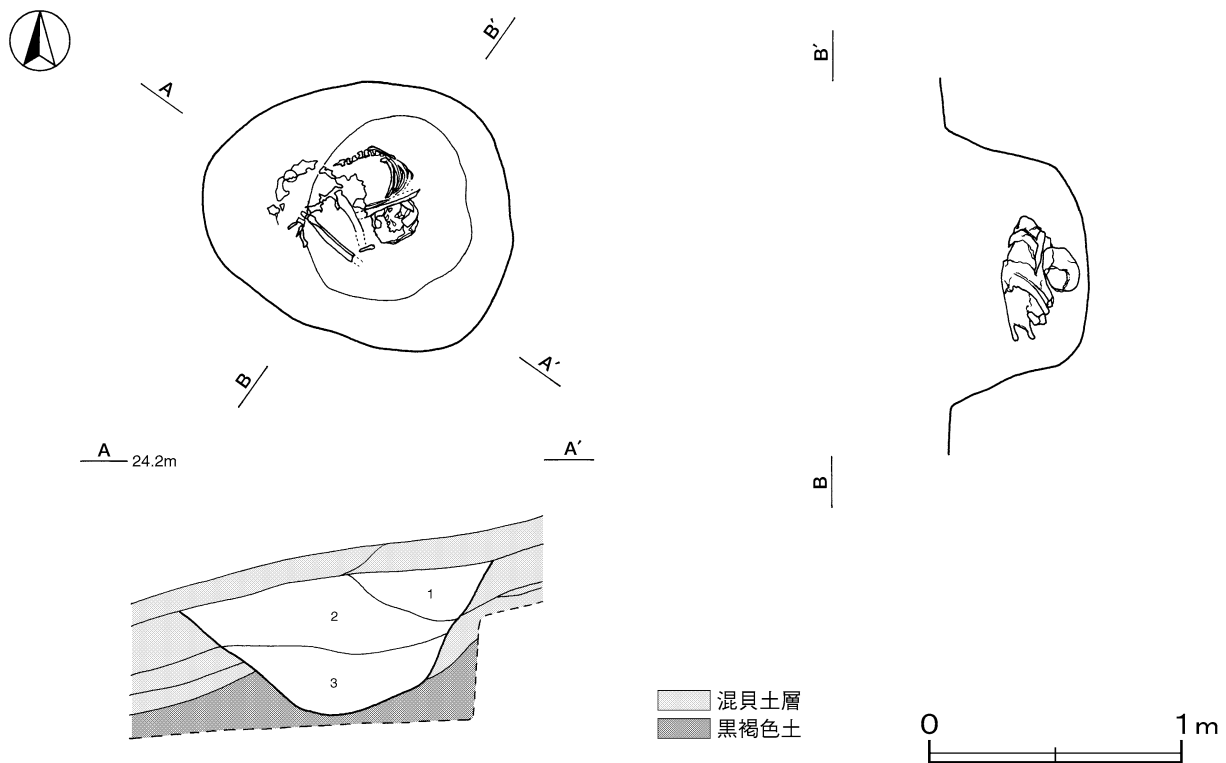
土層解説

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・灰・2~5cm大のハマグリ・2~3cm大のハイガイ少量 | 3 黒色土 | ロームブロック・炭化物・灰・2~4cm大のハマグリ少量 |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック・灰・2~6cm大のハマグリ少量 | | |

人骨出土状況 埋葬姿勢は横臥屈葬で、左側を下にして、頭を南東方向に向け、下肢を極度に屈曲させている。胴体の方向は斜面部の傾斜に対してはほぼ直交し、頭を下にした斜位の状態で出土している。

遺物出土状況 縄文土器の細片3点が、覆土中から出土している。

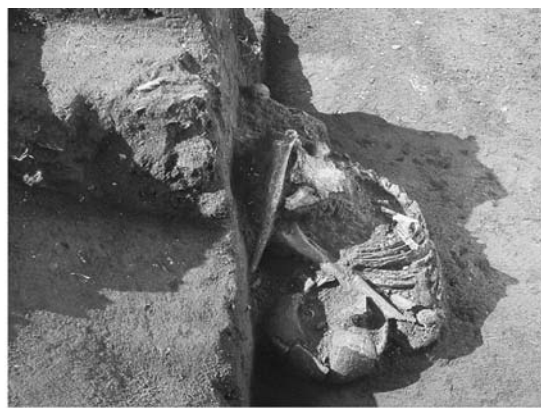
所見 貝層断面の観察から、掘り込み面より上層に中期後葉の混貝土層が堆積していることや、覆土から出土した土器片の様相などから、時期は前期中葉から中期前半である。なお、台地部を含めて前期後半から中期前半に属する土器の出土量は極めて少ないことを考慮すると、前期中葉の可能性が最も高いと考えられる。



第324図 第1号土坑墓・出土遺物実測図

イ 第1号土坑墓の人骨について（第324図）

第1号土坑墓の人骨は、遺存状況が良好で、ほぼ全身骨格が遺存していたが、非常に脆弱な状態であった。現地における人骨の取り上げでは、出土状況や埋葬姿勢などの詳細な観察が困難であることから、ウレタン・フォームを用いて、遺構全体を地面から切り離し、美浦村文化財センター(陸平研究所)に搬出した。その後、人骨の出土状況の観察や骨の部位の特定、骨のクリーニング・保存処理、人骨の鑑定については、古人骨に詳しい谷畑美帆氏に委託した。谷畑氏の鑑定によると、性別は男性、年齢は壮年後半、骨病変は、クリブラ・オルピタリア、変形性脊椎症、骨膜炎、骨関節症（足根骨）が確認された。また、吉田邦夫氏の放射性炭素年代測定によると、「 $5610 \pm 60\text{BP}$ (TKa-14475)」の年代が得られた。土坑墓の時期が、前期中葉の黒浜式(古段階)期併行である可能性が高いことから、妥当な年代と考えられる。なお、鑑定結果の詳細については、下巻「付章」を参照されたい。



写真⑥ 第1号土坑墓出土人骨の取り上げ

茨城県教育財団文化財調査報告第317集

大 谷 貝 塚

国道125号大谷バイパス建設事業
に伴う埋蔵文化財調査報告書2

上 巻

平成21(2009)年3月18日 印刷

平成21(2009)年3月23日 発行

発行 財団法人茨城県教育財団
〒310 0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL 029 - 225 - 6587

印刷 (有)川田プリント
〒310 - 0041 水戸市上水戸4丁目6 - 53
TEL 029 - 253 - 5551